N-05C

ISSUE DATE: '11.6

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書〈詳細版〉

docomo SMART series

目次／注意事項

ご使用前の確認

電話／テレビ電話

電話帳

音／画面／照明設定

あんしん設定

メール

ｉモード／フルブラウザ

ｉモーション・ムービー／ｉチャネル／ｉコンシェル

カメラ

ワンセグ

Music

ｉアプリ／ｉウィジェット

おサイフケータイ／トルカ

地図･GPS機能

データ管理

便利な機能

文字入力

ネットワークサービス

海外利用

パソコン接続

Wi-Fi

付録／困ったときには

索引

はじめに

「docomo SMART series N-05C」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

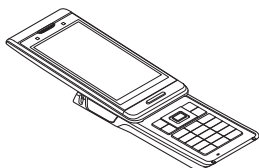
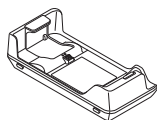
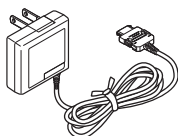
FOMA端末のご使用にあたって

- N-05Cは、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ、伝言メモ、音声メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.、Go Daddy, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。
SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。
  当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本体付属品および主なオプション品

＜本体付属品＞
N-05C （保証書、リアカバー N52含む）
N-05C取扱説明書
電池パック N26
卓上ホルダ N33

＜主なオプション品＞
FOMA ACアダプタ 01／02 （保証書、取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.544

本書の見かた

- この『N-05C取扱説明書』の本文中においては、『N-05C』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本書の中ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカードについて→P.359
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 画面の配色やアイコンは本体色WHITEのお買い上げ時の表示で記載しています。メインメニューは「スタンダード」の表示で記載しています。
- 本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」にした状態で、背景を白、文字を黒にし、待受時計表示を「英語、大きく表示、ブラック」にして記載しています。また、操作説明の画面は説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
- 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応　ｉアプリ」と記載しています。
- 本書の操作説明では、ボタンを押す操作を簡略なボタンイラストで表現しています。また、ボタンでもタッチパネルでも操作できる場合はボタン操作を優先して記載しています。

本書のご使用にあたって

- 本FOMA端末は、きせかえツール（P.126）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度にあわせてメニュー構成が変わるものや機能番号（P.504）を押しても機能を呼び出せないものがあります。また、メニューの機能番号が表示されなかったり、表示されていてもダイヤルボタンに対応していない場合があります。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた

本書では、原則として操作手順を次のように簡略に記載しています。タッチ操作ができる場合でも、ボタン操作を優先して記載しています。

■操作手順の記載例と実際の操作

1 MENU ▶「便利ツール」▶「アラーム」▶ 設定する項目を反転 ▶ MENU［サブメニュー］

①　②　③　④　⑤

① 待受画面で MENU ボタンを押します。
② ✥で反転表示を「 」内のメニューに移動し■［選択］を押します。
③ ✥で反転表示を「 」内の項目に移動し■［選択］を押します。
　または「 」内の項目のメニュー番号に対応する 1 〜 9 0 ＊ ＃ を押します。
④ ✥で反転表示を移動します。
⑤［ ］内に示したファンクション表示に対応するボタンを押します。

表記ルール

■「選択」「確定」操作における■の省略

- 記載例②、③のようにメインメニューや一覧から目的の機能を選択するときは■［選択］を省略して記載しています。
- 同様に「項目を選択」「端末暗証番号を入力」などと記載している場合も■［選択］または■［確定］を省略して記載しています。
- ■［選択］を押さずに次の操作に移る場合は、記載例④のように「〜を反転」と記載しています。

■すばやい操作を優先記載

- 原則として、メインメニューからの操作を主体に記載していますが、ショートカットボタンによる操作（P.49）がある場合はその操作を優先記載しています。
- シンプルメニューから機能を選択する場合は、「シンプルメニュー一覧」（P.530）をご覧になって操作してください。

■操作終了後の記載の省略

- 目的の機能操作を終了したあとの操作説明は省略しています。
- 「操作の取り消しかた、待受画面への戻りかた」→P.53

■ボタンやメニュー表示の簡略記載について

- 本書の操作説明ではボタンイラスト／メニュー表示／ボタンの長押し操作を、次のように簡略に記載しています。

	ボタン	メニュー表示	ボタンの長押し操作
実際の表示・操作	1	iMenu・検索	＃ を１秒以上押す
本書の表記	1	i Menu・検索	＃（1秒以上）

■メニュー説明の省略と、メニュー項目の合併記載

- メニュー説明を省略した項目をまとめて記載する場合や、複数の項目をまとめて説明する場合は、項目を「､」でつないで記載しています。

目次

本体付属品および主なオプション品 …… 1
本書の見かた …… 2
目次 …… 4
N-05Cの主な機能 …… 6
安全上のご注意 …… 8
取り扱い上のご注意 …… 15
防水／防塵性能 …… 18

ご使用前の確認 P.23	• 各部の名称と機能 • ディスプレイの見かた • タッチパネルの操作 • メニューの選択 • 各種画面の基本操作 • 音声クイック起動 • 使いかたガイド • ドコモUIMカード • 電池パックの取り付け／取り外し • 充電 • 電源ON／OFF • 初期設定 • 日付時刻設定 • 発信者番号通知 • 通信モード など
電話／テレビ電話 P.69	• FOMA音声電話／テレビ電話のかけかた • FOMA音声電話とテレビ電話の切り替え • ハンズフリー • リダイヤル／着信履歴 • WORLD CALL • FOMA音声電話／テレビ電話の受けかた • 受話音量調節 • 着信中／通話中保留 • 公共モード（ドライブモード／電源OFF） • 伝言メモ／テレビ電話伝言メモ • テレビ電話の設定 など
電話帳 P.93	• 電話帳登録 • グループ設定 • 電話帳検索 • 電話帳修正／削除 • 電話番号やメールアドレスごとの発着信設定 • 直デン など
音／画面／照明設定 P.105	• 着信音 • 着信音量 • バイブレータ • マナーモード • 待受画面設定 • プライバシーアングル • 照明設定 • カラーテーマ設定 • メニュー画面設定 • 着信イルミネーション • メモイルミネーション • マチキャラ設定 • きせかえツール など
あんしん設定 P.127	• 端末暗証番号 • PINコード • ダイヤルロック／おまかせロック • シークレットモード • シークレットフォルダ • オリジナルロック • ボタン操作の自動ロック • ICカード認証 • 着信拒否設定 • 設定リセット • 端末初期化 など
メール P.151	• ｉモードメール作成／送信 • デコメール®／かんたんデコメ • ファイルの添付 • メール受信 • メール／メッセージ問合せ • メールの返信／転送 • 迷惑メール報告 • 添付ファイルの確認・保存・削除 • メールBOXの操作 • メール設定 • メッセージサービス • 緊急速報「エリアメール」 • SMS など
ｉモード／フルブラウザ P.191	• ｉモードパスワード • サイトやインターネットホームページの見かたと操作 • クイック検索 • インターネット接続 • Bookmark • ブラウザの便利な機能 • ｉモードブラウザ設定／フルブラウザ設定 など
ｉモーション・ムービー／ｉチャネル／ｉコンシェル P.219	• ｉモーション・ムービーの利用 • ｉチャネルの利用 • ｉコンシェルの利用 など
カメラ P.227	• 静止画撮影 • ビューティー撮影 • 自分撮り • アートフォトモード • 顔登録機能 • 動画撮影 • 撮影時の設定 • バーコードリーダー など

項目	内容
ワンセグ P.251	・チャンネル設定　・ワンセグ視聴　・データ放送　・テレビリンク ・ワンセグ録画　・視聴／録画予約　・ワンセグ設定 など
Music P.265	・Music&Videoチャネル　・着うたフル®の取得　・曲の再生 ・ミュージックプレーヤー　・プレイリストの利用　など ※「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
ｉアプリ／ｉウィジェット P.279	・ｉアプリのダウンロード　・ｉアプリの起動 ・お買い上げ時に登録されているソフト　・ｉアプリコール ・ｉアプリ待受画面設定　・ｉウィジェットの利用　など
おサイフケータイ／トルカ P.303	・ｉＣお引っこしサービス　・おサイフケータイの利用 ・ICカードロック　・トルカ取得 など
地図・GPS機能 P.311	・地図・ナビ　・現在地確認　・地図・GPSアプリ　・位置提供 ・現在地通知　・位置履歴　・位置情報　・オートGPS機能 など
データ管理 P.323	・データBOX　・静止画　・ｉモーション・ムービー ・ビデオ　・キャラ電　・マチキャラ　・メロディ ・きせかえツール　・フォント　・コンテンツパッケージ ・データ検索　・microSDカード　・ドコモUIMカード操作 ・赤外線通信／IrSS™送信／ｉＣ通信／Bluetooth®通信 ・PDFデータの表示　・ドキュメントの表示
便利な機能 P.389	・歩数計　・マルチアクセス　・マルチタスク ・ライフヒストリービューア　・アラーム　・スケジュール ・アラーム通知設定　・プロフィール登録　・ボイスレコーダー ・通話時間・料金確認　・電卓　・メモ ・電子辞書　・スイッチ付イヤホンマイク　・Bluetooth　など
文字入力 P.427	・文字入力　・かな方式　・タッチ入力 ・文字のコピー／切り取り／貼り付け　・定型文／単語登録 ・学習履歴クリア　・ダウンロード辞書　・2タッチ方式 ・T9入力方式　・音声による文字入力　など
ネットワークサービス P.443	・留守番電話サービス　・電源OFF・圏外時着信お知らせサービス ・キャッチホン　・転送でんわサービス ・迷惑電話ストップサービス　・番号通知お願いサービス　・2in1 など
海外利用 P.459	・WORLD WING　・ご利用できるサービス　・ご利用時の確認 ・海外での電話のかけかた／受けかた　・ネットワークサーチ設定 など
パソコン接続 P.467	・FOMA端末から利用できるデータ通信　・準備　など ※詳細については、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」に掲載しています。
Wi-Fi P.473	・アクセスポイントモード　・クライアントモード ・Wi-Fi音声電話のかけかた／受けかた　・インターホン機能 ・DLNA　・カンタン転送ツール　など
付録／困ったときには P.503	・メニュー一覧　・ダイヤルボタンの文字割り当て一覧 ・記号／絵文字／顔文字読み一覧　・マルチアクセスの組み合わせ ・オプション／関連機器　・故障かな？と思ったら ・こんな表示が出たら　・ソフトウェア更新　・主な仕様　など
索引 P.593	・索引

N-05Cの主な機能

■ｉコンシェル →P.223

ｉコンシェルとは、待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）が役立つ情報(インフォメーション)を教えてくれるサービスです。FOMA端末でメモやスケジュールを作ったり、トルカを取得したり、サイトからｉスケジュールをダウンロードすることにより便利にご利用いただくことができます。
FOMA端末に保存されたメモやスケジュールに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店や会社の住所情報などを自動で追加したりできます。

■オートGPS →P.320

オートGPS機能により、お客様の居場所付近の天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせする便利なサービスをご利用いただけます。
また、お客様の居場所や移動した距離などを利用するゲームもご利用いただけます。

■国際ローミング →P.287、460

本FOMA端末は、電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSMエリアに対応）。
また、海外でも3G･GPRSエリアにいる時はｉモードを利用したり、GPS機能を利用して現在地を確認したり、対応ｉアプリを利用することができます。
日本語で話しかければ英語に、英語で話しかければ日本語に翻訳する「日英版しゃべって翻訳」をプリインストールしています。

■カメラ機能 →P.227

- 有効画素数約810万画素のCMOSで、8M（最大）サイズ（2,448×3,264ドット）の大画像も撮影できます。
- 少ない操作で撮影できる「クイックショット」を搭載。シャッターチャンスを逃しません。
- 高画素なHDムービーの撮影、再生が可能です。
- 自動シーン判定機能で、撮影状況に応じて最適な設定で撮影できます。
- 超高感度カメラで暗い室内でも明るく撮影できます。
- 高速動画撮影機能「スピードムービー」を搭載。動きの速いシーンもスローモーションで再生できます。

■声の宅配便 →P.77

音声電話でメッセージを預かり、相手にメッセージを預かっていることをSMSで通知するサービスです。
また相手が再生すると、メッセージが再生されたことをSMSでお知らせします。電話をかけるのと同じように簡単な操作で、メッセージを預けたり、再生することができます。

■ecoモード →P.118

ディスプレイの明るさなどを調整することにより、電池の消費を抑えることができる機能です。また、電池残量に応じて自動でecoモードをONにすることができます。

■使いかたガイド →P.57

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。
お手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。
キーワードを入力したり、機能一覧から検索することにより、機能の説明や操作方法を確認することができ、さらにその機能を呼び出すこともできます。

■音声クイック起動 →P.56

利用したい機能名やキーワードを話しかけるだけで、機能を起動させることができます。使いたい機能がメニューのどこにあるのかわからないときや、すぐに起動させたいときに便利です。

■高速無線LAN（IEEE802.11 b/g/n対応、AOSS・らくらく無線スタート・WPS対応） →P.479

- IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11nの無線LAN規格に対応し、高速での大容量通信が可能です。
- AOSS・らくらく無線スタート・WPS対応でアクセスポイントに接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定することができます。

■メディアスビューアとパーソナルアルバム →P.333

- 写真や動画、ワンセグ録画データを一覧表示で閲覧できます。
- 撮影した静止画から人物の顔と名前を登録して、登録した人が写っている静止画のみを抽出して表示することができます。

■タッチパネル →P.40

ディスプレイはタッチパネルになっています。指で直接画面に触れて項目を選択したり、画面上をなぞってスクロールするなどのさまざまな操作ができます。

■アクセスポイントモード →P.474

FOMA端末とWi-Fi対応機器を接続してゲーム対戦やホームページ閲覧などができます。

■ DLNA →P.497

FOMA端末をパソコンなどとWi-Fi接続して、保存されている画像や動画、音楽を共有することができます。
たとえば、FOMA端末で撮影した動画をパソコンにアップロードして表示したり、パソコンに接続された大画面テレビなどで見たりすることができます。また、パソコン内のコンテンツデータをFOMA端末にダウンロードして外出先で楽しむことができます。

■ カンタンデータ転送 →P.500

Wi-Fi機能を使って、マイピクチャやｉモーション・ムービーフォルダに保存されている静止画や動画を、お使いのパソコンに簡単に転送することができます。

■ Audysseyの新音響技術とお風呂モード →P.262、276

「Audyssey」の新音響技術を搭載し、スピーカ再生時、原音に限りなく近い音を提供します。また、お風呂での音楽やワンセグの視聴に最適な「お風呂モード」を搭載しています。

■ ワンセグ →P.251

モバイル向け地上デジタル放送の「ワンセグ」を視聴することができます。また、ワンセグ視聴中に静止画録画やビデオ録画を行うことができます。

■ 電子辞書 →P.415

電子辞書を起動して、複数の辞典から単語の意味を調べることができます。また、日常生活や海外旅行、ビジネスでの英会話の例文などを検索することもできます。

■ ボイスレコーダー →P.409

ボイスレコーダーを使って、音声を録音します。
録音したデータは再生したり、着信音として利用したりできます。

■ フルブラウザ →P.194

フルブラウザを使うと、パソコン向けのインターネットホームページも表示できるようになり、より多くの情報を得ることができます。

■ その他

- テレビ電話→P.69
- きせかえツール→P.126
- あんしん設定→P.127
- Music＆ Video チャネル／着うたフル®／うた・ホーダイ→P.266、269、270
- ミュージックプレーヤー→P.274
- ｉアプリ／メガｉアプリ／直感ゲーム→P.279
- おサイフケータイ／トルカ→P.303
- 地図・GPS→P.311
- 各種ネットワークサービス→P.443
- 高速通信対応→P.468

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）……8
2. FOMA端末の取り扱いについて……9
3. 電池パックの取り扱いについて……11
4. アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて 11
5. ドコモUIMカードの取り扱いについて…12
6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて・12

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。防水性能については下記をご参照ください。→P.18「防水／防塵性能」

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

FOMA端末内のドコモUIMカード挿入口やmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

ディスプレイの表面に、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保を目的（強化ガラスの飛散防止）とする保護フィルムがあります。
この保護フィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

保護フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.13「材質一覧」

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4.アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：
DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ側　側面	PC樹脂	※1
	ディスプレイ側　背面	ステンレス合金	塗装
	ディスプレイ側　背面（キャップ部）	PC樹脂	UVコーティング
	ボタン側　側面	ナイロン樹脂	※1
	ボタン側　背面		
	リアカバー	PC樹脂、シリコーンゴム	UVコーティング
	スライドバネ	ステンレス合金	ニッケルメッキ
ディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム、ハードコート
受話口／スピーカパネル		ステンレス合金	塗装
カメラパネル		アクリル樹脂	ハードコート
カメラ周囲パネル		PC樹脂	※1
ボタン	決定ボタン	PC樹脂	アルミ蒸着、UVコーティング
	画面ロックボタン／MULTIボタン	PC樹脂	※2
	その他のボタン	PC樹脂	UVコーティング
ボタン周囲シート		PET樹脂	ハードコート
メインメニューボタン周囲パネル		PC樹脂	UVコーティング
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂、ポリエステル系熱可塑性エラストマー	※1
	止水部	PC樹脂、シリコーンゴム	－
充電端子		ステンレス合金	金メッキ

使用箇所		材質	表面処理
ストラップ取り付けピン		ステンレス合金	※3
ワンセグアンテナ	上段および中段	ステンレス合金	ー
	下段	ニッケルチタン合金	ー
	根元ヒンジ部	ステンレス合金	ー
	先端キャップ	ABS樹脂	ー
	ワンセグアンテナ収納筒	PP樹脂	ー
	ワンセグアンテナ固定部	亜鉛ダイカスト	ニッケルメッキ
	ネジ	ステンレス合金	ー
電池パック収納部	収納面	金属部：ステンレス合金 樹脂部：ナイロン樹脂	金属部：ニッケルメッキ 樹脂部：ー
	ドコモUIMカードカバー	ステンレス合金	ニッケルメッキ
	microSDカードスロットカバー	ステンレス合金	ー
電池端子	電池端子コネクタ本体	ナイロン樹脂	ー
	端子部	チタン銅	金メッキ
電池パック	電池パック本体	樹脂部：PC樹脂 ラベル：PET樹脂	ー
	端子部	ガラスエポキシ樹脂	金メッキ

※1 本体色WHITEは「UVコーティング」、BLACKは「ウレタン塗装」、PURPLEは「すず蒸着、UVコーティング」です。
※2 本体色WHITE、BLACKは「UVコーティング」、PURPLEは「すず蒸着、UVコーティング」です。
※3 本体色BLACK、PURPLEは「ニッケルメッキ」、WHITEは表面処理をしておりません。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

● **N-05Cは防水／防塵性能を有しておりますが、FOMA端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

● **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

● **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

● **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

● **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

● **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

● **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

● **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
タッチパネルが破損する原因となります。

● **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

● **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

● **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

● **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

● **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
故障、破損の原因となります。

● **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

● **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

● **通常は外部接続端子（イヤホンマイク端子）キャップを閉じた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

● **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

● **受話口／スピーカ部分に鋭利な硬いものを入れないでください。**
FOMA端末の故障、破損の原因となります。

● **FOMA端末を開いたときにできる、ディスプレイ背面部のすきまに異物などを入れないでください。**
火災、感電、故障の原因となります。

● **ボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
故障、破損、誤動作の原因となります。

● **FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールなどを貼らないでください。**
FOMA端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損の原因となります。

●microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
●磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
●FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

●電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
●充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
●電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
●電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

●充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。
●次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
●充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
●DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
●抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
●強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。
●卓上ホルダのスタンドを収める場合は、指やアダプタのコードなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

●ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
●他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
●IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
●お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
●お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
●ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
●ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
●ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
●ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

●FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
●Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。（対応しているBluetooth機器のみ）
●周波数帯について

FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4　FH　1

2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH	：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
■■■	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■**Bluetooth機器使用上の注意事項**

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

● **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**

● **無線LANについて**

- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

● **周波数帯について**

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS	：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF	：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ■■■	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■**2.4GHz機器使用上の注意事項**

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCa リーダー／ライターについて

- **FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〔技〕」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth 機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **ICカード認証機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のICカード認証機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水／防塵性能

N-05Cは、外部接続端子キャップを閉じ、リアカバーをしっかりと取り付けた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能と、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX8とは、常温で水道水の水深1.5m のところにN-05Cを沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することかつ、水中に沈めている約30分間は、カメラが使用できることを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

- 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときは、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 洗面器などに張った常温の水道水につけて、静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水を当てながら手で洗うことができます。
  ※ リアカバーをしっかり取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま洗ってください。
  ※ 洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
  ※ 送話口／マイクや受話口／スピーカに蛇口の水を直接当てないでください。
- 塩水や海水がかかったり、泥や土などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。
  ※ 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  ※ 風呂場での長時間のご使用はお避けください。

ご利用にあたって

- ご使用前に、外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかり閉じ、完全に装着している状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると水や粉塵の侵入の原因となります。
- 次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けないでください。

<例>

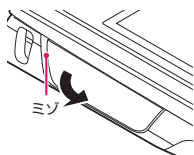
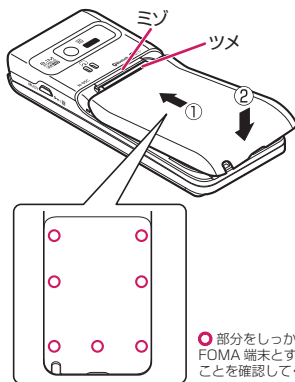
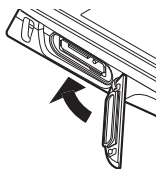
せっけん／洗剤／入浴剤

海水

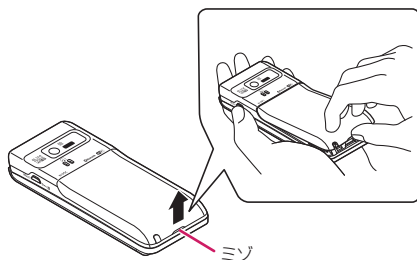
温泉

● 外部接続端子キャップの開けかた／閉じかた

■開けかた

ミゾに指などをかけて矢印の方向に開けてください。

■閉じかた
矢印の方向にしっかりと押し、取り付けます。

● リアカバーの取り付けかた／取り外しかた

■取り外しかた

1 FOMA端末を手に持ち、ミゾに指などをかけて、無理な力を加えないよう矢印の方向にリアカバーを取り外す

■取り付けかた

1 リアカバーのツメをFOMA端末のミゾに差し込み、①の方向に取り付け、②の方向にしっかりと押し、取り付ける

おしらせ

◆リアカバーを取り外すときは、水抜き（P.20）を行い、FOMA端末の水分をよく拭き取ってください。
◆リアカバーを取り付けるときは、リアカバー周辺（特にゴムパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
◆リアカバーを確実に取り付けないと、水や粉塵の侵入の恐れがあります。
◆リアカバーを取り付ける際は、ドコモUIMカードやmicroSDカード、電池パックが確実に取り付けられていることを確認してください。
ドコモUIMカードやmicroSDカードの挿入が不十分だと、電池パックがドコモUIMカードやmicroSDカードに乗り上げ、リアカバーを取り付けた際に、FOMA端末とリアカバーの間にすきまが生じて防水／防塵性能を損なう場合があります。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

● 重要事項

- 外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、リアカバーのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
外部接続端子キャップ、リアカバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形した場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

- 外部接続端子キャップやリアカバーのすきまに、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵の侵入の原因となることがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへはFOMA端末が常温になってから持ち込んでください。
- 規定（P.18）以上の強い水流（たとえば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。N-05CはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。
- 濡れたまま放置しないでください。電源端子がショートする恐れがあります。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカに水滴を残さないでください。水滴が付着していると受話音やメロディ音などが小さくなり、音質が悪くなったり、カメラ利用時に駆動音が鳴る場合があります。
このような場合は、水抜きを行うことで元に戻ります。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

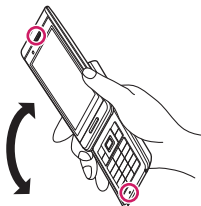
水に濡れたときの水抜き

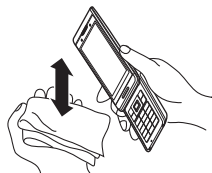
FOMA端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

- 送話口／マイクや受話口／スピーカに水滴が付着していると受話音やメロディ音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。その場合、以下の手順で水抜きを行い、その後十分に自然乾燥させることで元に戻ります。

1 FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

2 FOMA端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

<送話口／マイク、受話口／スピーカの水抜き>

3 送話口／マイク、受話口／スピーカ、ボタン、スライド部などのすきまに溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取る

※ すきまに溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

※ 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

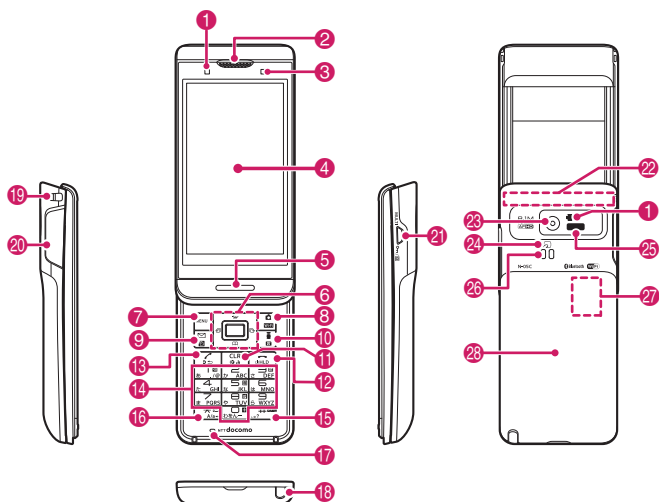
充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

- FOMA端末が濡れていないか確認してください。
  水に濡れた後はよく水抜きをして、乾いた清潔な布などで拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
  外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
  ※ FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
  ※ 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
  ※ ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

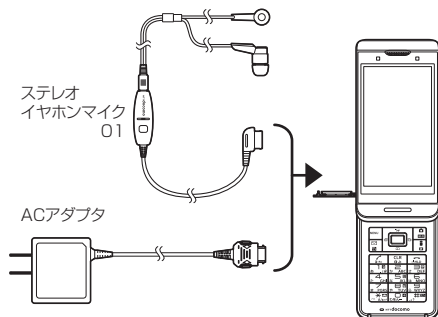
ご使用前の確認

各部の名称と機能……24
ディスプレイの見かた……27
デスクトップアイコン／表示アイコンの利用……35
画面の縦表示／横表示の切り替え……39
タッチパネルの操作……40
メニューの選択……47
各種画面の基本操作……51
サブメニュー……54
音声クイック起動……56
ボタン操作を忘れてしまったとき……57
ドコモUIMカード……58
電池パックの取り付け／取り外し……59
充電……60
電池残量確認……63
電源ON／OFF……63
初期設定……64
日付時刻設定……65
発信番号通知設定……66
電話番号表示……66
通信モード……66

各部の名称と機能

<イヤホンのご利用について>

別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

外部接続端子用　ステレオイヤホンマイク01（別売）接続例

ACアダプタ（充電）およびステレオイヤホンマイク01（イヤホンマイク端子）の差込口が共通になっております。

■各部の主な機能

❶ **着信イルミネーション／充電ランプ／撮影認識ランプ**
- 電話着信／メール受信時などに点滅→P.120
- 充電時は赤色で点灯
- 撮影時に点灯／点滅→P.229

❷ **受話口／スピーカ**

❸ **照度センサー**→P.118

❹ **ディスプレイ（タッチパネル）**

❺ **メインメニューボタン**→P.46

❻ **マルチファンクションボタン**

上／下ボタン
- カーソルや表示内容などを上下方向へ移動（押し続けると連続スクロール）
- ：ｉウィジェット画面を表示→P.300
- ：電話帳検索メニュー画面を表示

左／右ボタン
- カーソルを左右方向へ移動
- 表示内容を画面単位で上方向や下方向へスクロール→P.51
- ：着信履歴を表示→P.75
- ：リダイヤルを表示→P.75

決定ボタン
- ファンクション表示の内容を実行（主に選択／確定）→P.33

❼ **ファンクションボタン1**
- ファンクション表示の内容を実行（主にサブメニュー）→P.33
- メインメニュー／シンプルメニューを表示→P.47、51

❽ **ファンクションボタン2**
- ファンクション表示の内容を実行→P.33
- テレビ電話をかける→P.70
- 「カメラボタン設定」で設定した機能の起動→P.396

❾ **ファンクションボタン3**
- ファンクション表示の内容を実行→P.33
- メールメニューを表示
- 文字入力での文字種切り替え→P.433

❿ **ファンクションボタン4**
- ファンクション表示の内容を実行→P.33
- 「ｉモードボタン設定」で設定した機能の起動→P.194

⓫ CLR **戻る（クリア）／ｉチャネルボタン**
- 操作を1つ前の状態に戻す→P.53
- ｉチャネル一覧を表示→P.222
- 通話を保留→P.85
- 入力した電話番号や文字を削除→P.70、434

⓬ **電源／終了／応答保留ボタン**
- 電源を入れる（1秒以上）／切る（2秒以上）→P.63
- 各機能の終了→P.53
- 通話の終了→P.70
- 応答を保留→P.85

⓭ **開始ボタン**
- 音声電話をかける→P.70
- 音声電話／テレビ電話を受ける→P.82
- 直デンを表示→P.102
- かな方式の文字入力で、1つ前の読みに戻す→P.428

⓮ 0～9 **ダイヤルボタン**
- 電話番号や文字、数字を入力

⓯ # **マナーボタン**
- マナーモードの設定（1秒以上）→P.111
- 「#」や句読点などを入力→P.531

⓰ * **公共モード（ドライブモード）ボタン**
- 公共モード（ドライブモード）の設定（1秒以上）→P.86
- 入力した文字の「大文字／小文字」の切り替え→P.433
- 「＊」や濁点／半濁点などを入力→P.531

⓱ **送話口／マイク**

⓲ **ワンセグアンテナ**
- ワンセグ放送を受信→P.253

⓳ **ストラップ取付穴**

⓴ **外部接続端子**
- 充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。
- AC アダプタ（別売）、DC アダプタ（別売）、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）、ステレオイヤホンマイク01（別売）などを接続

㉑ **画面ロックボタン／MULTIボタン**
- 画面ロックの設定→P.46
- TASK MENU画面を表示→P.394

㉒ **FOMAアンテナ／GPSアンテナ**
- アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

㉓ **カメラ**
- 静止画や動画を撮影

㉔ **マーク**
- ICカード読み取り→P.304
- ｉC通信→P.380

㉕ **赤外線ポート**→P.379

㉖ **充電端子**

㉗ **microSDカードスロット**
- microSDカードを挿入→P.359

※ microSD カードはリアカバーを外して取り付けます。

㉘ **リアカバー**
- リアカバーを外すと、ドコモUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。

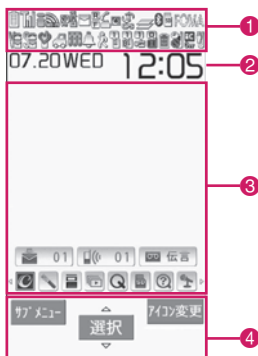
● ボタンの長押し操作について

待受画面でボタンを１秒以上押すことによって使える機能は以下のとおりです。

ボタン	機能	参照ページ
	受信アドレス一覧の表示	P.180
	送信アドレス一覧の表示	P.180
1	GPS機能による現在地確認	P.314
2	2in1の設定	P.455
3	ICカードロックを設定	P.305
4	シークレットモードの切替	P.131
5	ecoモードの切替	P.118
6	フェムトセル設定	P.425
7	フォント設定画面の表示	P.123
8	プライバシーアングルの切替	P.117
9	メニュー画面リセット	P.397
0	「+」の入力	P.80
*	公共モード（ドライブモード）の設定／解除	P.86
#	マナーモードの設定／解除	P.111
	電話帳登録	P.94
	メール／メッセージ問合せ	P.166
	音声クイック起動	P.56
	ｉアプリのソフト一覧表示	P.281
	アクセスポイントのスキャン	P.483
	通信モード設定画面の表示	P.67
CLR	デスクトップアイコンの消去	P.36

ディスプレイの見かた

●ディスプレイに表示されるマーク（、、など）をアイコンといいます。
●ディスプレイにはカレンダーなどを設定することができます。→P.116

■ディスプレイ

❶ FOMA端末の各種状態をアイコンで表示するエリア→P.28
クイックインフォ表示エリア→P.171
❷ 待受時計表示→P.123
❸ デスクトップアイコン表示エリア
- 01など：情報を通知するデスクトップアイコン→P.36
- など：貼り付けたデスクトップアイコン→P.36
- お買い上げ時のデスクトップアイコン→P.519

❹ ファンクション／ｉチャネルテロップ表示エリア→P.33、222

● FOMA端末の各種状態を表示するアイコン

	アイコン	アイコンの内容
❶		電池残量→P.63
		温度監視→P.60
❷	／	FOMAの受信レベル（DUALモード（Wi-Fi優先）またはFOMAシングルモード）／FOMAの受信レベル（DUALモード（FOMA優先））→P.63、66
		ドコモUIMカード未挿入のときに表示（DUALモード（FOMA優先）） ※ DUALモード（Wi-Fi優先）またはFOMAシングルモードのときは非表示
	圏外／圏外	FOMAの電波が届かないところにいるときに表示（DUALモード（Wi-Fi優先）またはFOMAシングルモード）／FOMAの電波が届かないところにいるときに表示（DUALモード（FOMA優先））→P.63、66
	TML	使用できないドコモUIMカードを挿入中→P.58
❸		ｉモード中→P.192
		ｉモード通信中→P.192
		パケット通信中（データ送受信なし）※
		パケット通信中（発信）※
		パケット通信中（着信）※
		パケット通信中（データ送信中）※
		パケット通信中（データ受信中）※
❹	／	Wi-Fiの受信レベル（DUALモード（FOMA優先）またはWi-Fiシングルモード）／Wi-Fiの受信レベル（DUALモード（Wi-Fi優先））→P.63、66
		Wi-Fiの接続先が未登録、または接続先がすべて無効に設定されているときに表示→P.477 ※ DUALモード（FOMA優先）またはWi-Fiシングルモードのときは非表示
	／	Wi-Fiの電波が届かないところにいるときに表示（DUALモード（FOMA優先）またはWi-Fiシングルモード）／Wi-Fiの電波が届かないところにいるときに表示（DUALモード（Wi-Fi優先））→P.63、66
	self	セルフモード→P.144
❺		Wi-Fi通信中→P.66
		Wi-Fi接続中→P.66
	SIP	SIP通信可→P.63、66
	（青色）	ホームU通信可・接続中→P.66
		ホームU使用不可→P.66
		Auto-IPを利用してDLNAを利用中→P.497
❻		SSL／TLS対応ページを表示中→P.197
❼	／ （赤色）	未読メールあり／受信BOX満杯→P.163
		ドコモUIMカードのSMS満杯→P.375
	／ （赤色）	未読メールあり・ドコモUIMカードのSMS満杯／受信BOX満杯・ドコモUIMカードのSMS満杯→P.163、375
	／ （赤色）	ｉモードセンターにメールあり／満杯→P.166

アイコン		アイコンの内容
❼	／ (赤色)	ｉモードセンターのメール満杯・未読メールあり／ｉモードセンターのメール満杯・受信BOX満杯→P.163、166
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメールあり・ドコモUIMカードのSMS満杯／ｉモードセンターのメール満杯・ドコモUIMカードのSMS満杯→P.166、375
	／ (赤色)	ｉモードセンターのメール満杯・未読メールあり・ドコモUIMカードのSMS満杯／ｉモードセンターのメール満杯・受信BOX満杯・ドコモUIMカードのSMS満杯→P.163、166、375
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメールあり・未読メールあり／ｉモードセンターにメールあり・受信BOX満杯→P.163、166
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメールあり・未読メールあり・ドコモUIMカードのSMS満杯／ｉモードセンターにメールあり・受信BOX満杯・ドコモUIMカードのSMS満杯→P.163、166、375
		「メール選択受信設定」が「ON」のとき
		ｉモードセンターにメールあり→P.165
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメールあり・未読メールあり／ｉモードセンターにメールあり・受信BOX満杯→P.163、165
		ｉモードセンターにメールあり・ドコモUIMカードのSMS満杯→P.165、375
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメールあり・未読メールあり・ドコモUIMカードのSMS満杯／ｉモードセンターにメールあり・受信BOX満杯・ドコモUIMカードのSMS満杯→P.163、165、375
		未読エリアメールあり→P.185

アイコン		アイコンの内容
❽	／ (赤色)	未読メッセージRあり／満杯→P.183
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメッセージRあり／満杯→P.183
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメッセージRあり・未読メッセージRあり／ｉモードセンターにメッセージR満杯・未読メッセージRあり→P.183
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメッセージRあり・メッセージR満杯／ｉモードセンターにメッセージR満杯・メッセージR満杯→P.183
	／ (赤色)	未読メッセージFあり／満杯→P.183
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメッセージFあり／満杯→P.183
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメッセージFあり・未読メッセージFあり／ｉモードセンターにメッセージF満杯・未読メッセージFあり→P.183
	／ (赤色)	ｉモードセンターにメッセージFあり・メッセージF満杯／ｉモードセンターにメッセージF満杯・メッセージF満杯→P.183
❾		FOMA音声通話中→P.70
		64Kデータ通信中※
		テレビ電話中→P.70
		FOMA音声電話・テレビ電話切替中→P.73、84
		ダイヤルロック→P.130
		シークレットモードまたはシークレット専用モード→P.131
	／	オリジナルロック／一時解除中→P.134、135
	／	シークレットモードまたはシークレット専用モードでオリジナルロック／一時解除中→ P.131、134、135
		赤外線通信中→P.379
		赤外線リモコン操作中→P.382

	アイコン	アイコンの内容
❾		ICカード認証中→P.140
		ｉC通信中（データ送受信）→P.380
❿		ｉコンシェルのインフォメーションあり→P.225
		招集通知（ｉアプリコール）あり→P.295
		ｉコンシェルのインフォメーションあり／招集通知（ｉアプリコール）あり→P.225、295
⓫		GPS位置提供設定中（位置提供ON）でオートGPS ON→P.316、321
		GPS位置提供設定中（許可期間設定中の位置提供OFF）でオートGPS ON→P.316、321
		GPS位置提供設定中（位置提供ON）でオートGPS OFF→P.316、321
		GPS位置提供設定中（許可期間設定中の位置提供OFF）でオートGPS OFF→P.316、321
		GPS位置提供設定OFFでオートGPS ON→P.316、321
		GPS測位動作中→P.314

	アイコン	アイコンの内容
⓬	3Gネットワーク（パケット通信可） 3Gネットワーク（パケット通信可／通話可） 3Gネットワーク（パケット通信不可） GSM／GPRSネットワーク（パケット通信可） GSM／GPRSネットワーク（パケット通信可／通話可） GSM／GPRSネットワーク（パケット通信不可）	利用中のネットワークの種類→P.461
		OFFICEEDエリア圏内→P.456
		フェムトセル利用可能→P.425
	／	マルチタスク利用中（1つの機能が起動中／複数の機能が起動中）→P.394
	／／／	ワンセグ視聴中／ワンセグ録画中／ワンセグ予約録画中／ワンセグ録画一時停止中
		Music機能起動中
⓭	(青色)	Bluetooth電源オン状態（点灯）／Bluetooth通信中（点滅）→P.421
		Bluetooth通話中→P.423
		Bluetooth機器を使って音楽などを再生中→P.424
	(黒色)	Bluetooth省電力中→P.421

アイコン		アイコンの内容
⑭		microSDカード取り付け時→P.359
		microSDカード（不正）取り付け時→P.359
		microSDリーダー／ライター使用中→P.372
		microSDアクセス中→P.365
		microSDにライトプロテクトがかかっている
⑮	FOMA／Wi-Fi	現在の通信モードがFOMA／Wi-Fiのどちらのネットワークを利用しているかを表示 ※「FOMA／Wi-Fi接続切替」があるサブメニューを開いたときに表示
⑯		バイブレータ→P.108
⑰		着信音量が「消去」→P.107 メール／メッセージ鳴動が「OFF」→P.110
⑱		マナーモード→P.111
	／	自動マナーモード起動ON／解除ON→P.111
⑲		公共モード（ドライブモード）→P.86
⑳		Music&Videoチャネル予約中→P.266
㉑		アラーム通知機能→P.261、402
㉒		Enjoy Exerciseの歩数計／活動量計が「ON」→P.391
㉓	～	音声電話／テレビ電話の留守番電話メッセージ件数→P.444
㉔	～	2in1のモードがデュアルモードで、Bナンバーへの留守番電話の伝言メッセージあり→P.444

アイコン		アイコンの内容
㉕		［伝言メモON･自動音声メモON］
		伝言メモ･自動音声メモともになし→P.87、408
		伝言メモのみあり→P.87
		自動音声メモのみあり→P.408
		伝言メモ･自動音声メモともにあり→P.87、408
		［伝言メモOFF・自動音声メモON］
	～	自動音声メモ0件～2件→P.408
		［伝言メモ　ON・自動音声メモOFF］
	～	伝言メモ0件～5件→P.87
㉖	～	テレビ電話伝言メモの件数→P.87
㉗		ecoモード「ON」→P.118
		ecoモード自動起動設定「ON」
		プライバシーアングル「ON」→P.117
		プライバシーアングル「ON」とecoモード「ON」→P.117、118
㉘		自動キーロック中→P.139
㉙		ICカードロック設定中またはICカードロック設定中･オートロック設定中→P.305
		ICカードロック解除中・オートロック設定中→P.305
㉚	／	microSDモード中／MTPモード中→P.372
	／／	USBケーブル接続時で、通信モード中／microSDモード中／MTPモード中→P.372
	／／	ハンズフリー対応機器接続時で、通信モード中／microSDモード中／MTPモード中→P.82、372
	／／	USBケーブル・ハンズフリー対応機器接続時で、通信モード中／microSDモード中／MTPモード中→P.82、372
		積算料金上限値を超過（ACMmax規制中）→P.553

※ パケット通信や64Kデータ通信の詳細については、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

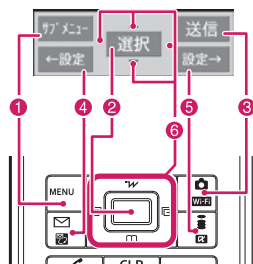
おしらせ

◆ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、その特性上、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
◆表示アイコンの名称は、MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「表示アイコン説明」で確認できます。

ファンクション表示とボタン操作

画面にはMENU、■、📷、✉、iに対応するソフトキー（ファンクション表示）と✣に対応する方向アイコンが表示されます。これらのアイコンは、対応するボタンが使用できるときのみ表示されます。

■ファンクションボタンに割り当てられている機能を実行する場合

❶～❺に対応するボタンを押すと、その機能が実行されます。

❶［サブメニュー］［閉］［MENU］などが表示されます。
　［サブメニュー］が表示されているときにMENUを押すと、サブメニューが表示されます。→P.54
❷［選択］［確定］［再生］［発信］などが表示されます。
❸［設定］［編集］［完了］［デモ］［送信］［新規］などが表示されます。
❹［戻る］［microSD］［声宅配］などが表示されます。
❺［切替］［削除］などが表示されます。

■画面を移動、スクロールする場合（❻）

アイコン（◁⇳▷）は移動またはスクロールできる方向のみ表示されます。✣を押すと、その方向に移動またはスクロールします。

表記ルール

■ファンクション表示の記載について

本書の操作説明では、ファンクション表示に対応するボタンを押すときは原則として、■［選択］、MENU［サブメニュー］のように、［　］内にファンクション表示を記載しています。

ｉウィジェットの表示と操作

ｉウィジェット画面では、複数のウィジェットアプリを同時に起動して一覧で表示できます。

● ｉウィジェットの詳しい操作について→P.300

ｉウィジェット画面

❶ ウィジェットアプリ
ウィジェットアプリを表示します。
ウィジェットアプリを選択すると個別表示できます。

❷ ナビゲーション表示
ボタン操作に対応したナビゲーションを表示します。
ｉウィジェット画面で［シャッフル］を押すと、ウィジェットアプリの表示順をランダムに入れ替えることができます。

デスクトップアイコン／表示アイコンの利用

待受画面に表示されるアイコンを利用して、不在着信や新着メールの確認、待受画面に貼り付けた電話番号の表示や、機能の呼び出しなどが利用できます（デスクトップアイコン）。
また、待受画面上の日付表示や時刻表示などのアイコンを選択して、設定画面などを表示することもできます（表示アイコン）。

●デスクトップアイコンの設定について→P.124
●表示アイコンの設定について→P.125

1 待受画面で■を押し、デスクトップアイコン／表示アイコンを選択できる状態にする

反転表示されたデスクトップアイコンに、吹き出しタイトルが表示されます。

2 ✥で反転表示をデスクトップアイコン／表示アイコンに移動して■を押す

■情報を通知するデスクトップアイコン

アイコン	説明
01	不在着信あり
伝言／伝言	伝言メモあり／テレビ電話伝言メモあり
留守	留守番電話あり
更新	ケータイデータお預かりサービスの更新ができなかった場合
01	新着メールあり
メッセージ	新着メッセージあり
保存メール	保存メールあり
送信結果	予約メール送信あり
トルカ	新着トルカあり
終了／アラーム	ワンセグ予約録画終了あり／未視聴予約あり
更新／失敗	Music&Videoチャネルのダウンロード終了／失敗
ソフト	未起動ｉアプリあり
アプリ	ｉアプリ待受画面の異常終了
ソフト	ｉアプリコールあり
再検索	ネットワーク再検索
接続中	USBモード
アラーム	未通知アラームあり
誕生日	誕生日お知らせあり
上限	通話料金通知
更新	マチキャラ更新のお知らせ あり
更新	ソフトウェア更新のお知らせ、終了、書換え予告
更新	スキャン機能のパターンデータ自動更新終了、更新失敗、新規パターンデータあり
不在／成功／失敗	GPS機能の位置提供の要求あり／操作なしに位置提供の応答に成功／操作なしに位置提供の応答に失敗

※ 情報を通知するデスクトップアイコンは、各機能を呼び出したり実行すると消えます。
※ 情報を通知するデスクトップアイコンの表示を消したい場合はCLRを1秒以上押します（ネットワーク再検索、USBモード、通話料金通知、ソフトウェア更新、スキャン機能のデスクトップアイコンは消えません）。

■貼り付けられるデスクトップアイコン

アイコン	説明
データ画面を表示するもの	
	電話番号
／	メールアドレス／SMSアドレス
	受信BOXフォルダ
／	URL（ｉモード）／URL（フルブラウザ）
／	保存メール一覧／Bookmarkフォルダ
	ワンタッチマルチウィンドウ
	ｉアプリのソフト（アイコンはソフトによって異なります。）
／	画像／動画・ｉモーション
	受信フォルダ（シークレット）
	キャラ電
	メロディ
	PDFデータ
機能を起動するもの	
	オリジナルメニュー
	クイック検索
／	ｉチャネル／ｉコンシェル
	静止画撮影
／	動画撮影／ボイスレコーダー
／	ビューティーモード／アートフォトモード
	バーコードリーダー
	ワンセグ視聴
／	Music&Videoチャネル／ミュージックプレーヤー
	メディアスビューア
	赤外線受信
	ライフヒストリービューア
	スケジュール
	電卓

アイコン	説明
	アラーム
	現在地を通知先に通知
	オートGPS動作設定切替
	microSD
	顔登録
	メモ
	音声クイック起動
	Enjoy Exercise
	使いかたガイド
	番組表
	電子辞書
	画面メモ
	みんなNらんど
	アクセスポイントモード
	Wi-Fiスタートアップ
	DLNA
	カンタンデータ転送
	Bluetooth
	インターホン
	メモの再生／消去
	テレビ電話メモ再生／消去

デスクトップアイコンを反転しているときに表示されるタイトルは、先頭から全角11文字、半角22文字までです。
タイトルは編集することができます。→P.125

■選択できる表示アイコン

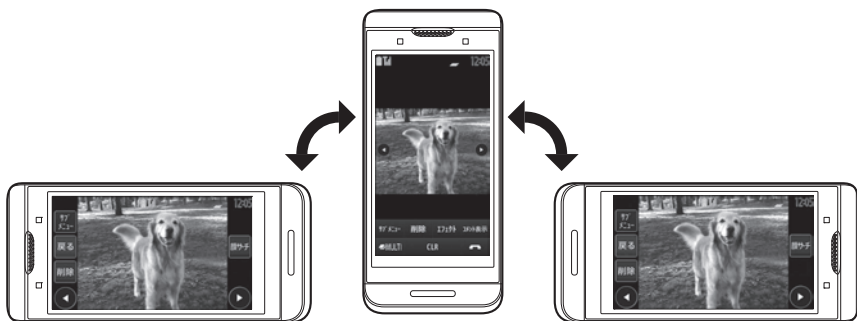
アイコン	選択後の表示内容
	「電池アイコン」を表示
圏外	「アンテナアイコン」を表示
self	「セルフモード」を解除する画面を表示
	未読メールの一覧を表示
	「受信BOX」を表示
	メール／メッセージ問合せを実行
	メール選択受信を実行
	「未読メール一覧」「受信BOX」「iモード問い合わせ」「メール選択受信」のいずれかの項目を選択する画面を表示
	未読メールの一覧を表示
R R F F	「メッセージR」「メッセージF」を表示
R R R R F F F F	「受信BOX」を表示
	メール／メッセージ問合せを実行
など	「メッセージR」「メッセージF」「メール／メッセージ問合せ」のいずれかの項目を選択する画面を表示（組み合わせによって選択する項目は異なります。）
	ロック機能の選択画面を表示
	「位置提供設定」を表示
	「オートGPS動作設定」を表示
	「位置提供」「オートGPS動作設定」の選択画面を表示
	iコンシェル画面を表示
	「iアプリコール履歴」を表示
	「iコンシェル」「iアプリコール履歴」の選択画面を表示
、 、 、 、 、	「ミュージックプレーヤー再生画面」「Music&Videoチャネル再生画面」「ワンセグ視聴画面」を表示
	Bluetoothメニュー画面を表示

アイコン	選択後の表示内容
	「バイブレータ設定」「メール／メッセージ鳴動」「マナーモード解除」のいずれかの項目を選択する画面を表示 （マナーモードの設定により選択する項目は異なります。）
	「着信音量」「メール／メッセージ鳴動」「マナーモード解除」のいずれかの項目を選択する画面を表示 （マナーモードの設定により選択する項目は異なります。）
	「マナーモード解除」と「マナーモード選択」の選択画面を表示
	「マナーモード解除」と「マナー解除時間設定」の選択画面を表示
	「マナー起動時間設定」を表示
	「スケジュール」「アラーム」「メモ」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」の選択画面を表示
～	留守番電話画面、留守番メッセージ再生画面を表示
～ ～	伝言メモ・音声メモ・自動音声メモがすべて録音されていない場合：伝言メモの設定を解除 伝言メモ・音声メモ・自動音声メモのいずれかが録音されている場合：「伝言メモ設定解除」と「メモの再生／消去」の選択画面を表示
	テレビ電話メモが録画されていない場合：伝言メモの設定を解除 テレビ電話メモが録画されている場合：「伝言メモ設定解除」と「テレビ電話メモの再生／消去」の選択画面を表示
	「プライバシーアングル」を選択する画面を表示
	「自動キーロック」を表示

アイコン	選択後の表示内容
	「ICカードロック設定」を解除する画面を表示
	「ICカードロック設定」「オートロック設定」のいずれかの項目を選択する画面を表示（組み合わせによって選択する項目は異なります。）
	「USBモード」を表示
日付	「スケジュール」を表示 時計設定をしていないときは「メイン時計設定」を表示
メイン時計	「アラーム」を表示 時計設定をしていないときは「メイン時計設定」を表示
サブ時計	「サブ時計設定」を表示

画面の縦表示／横表示の切り替え

ワンセグ視聴中やフルブラウザ表示中などに、FOMA端末を左または右へ90度傾けて横向きにすると、自動で画面表示も横向きに切り替わります。

●FOMA端末を横向きから縦向きに戻すと、画面の表示も縦向きに戻ります。

●以下の表示画面で、画面表示の向きを切り替えることができます。

- フルブラウザ表示中→P.194
- カメラで確認画面表示中→P.235など
- ワンセグ視聴中→P.254
- Music&Videoチャネルの番組再生中→P.268
- ｉモーション・ムービー再生中→P.340
- マイピクチャで静止画表示中→P.326
- メディアスビューア起動中→P.333
- ビデオ再生中→P.347

おしらせ

◆ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、FOMA端末を縦横に傾けても画面表示は切り替わりません。

◆「画面縦横自動切替」（P.122）が「OFF」の場合は、サブメニューからの操作やボタン操作で画面を切り替えます。

◆起動方法によっては、起動時の画面操作に従い、自動で画面表示が切り替わらない場合があります。

タッチパネルの操作

本FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっています。指で直接画面に触れて項目を選択したり、画面上をなぞってスクロールするなどのさまざまな操作ができます。

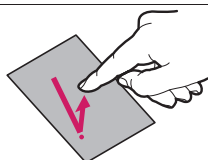
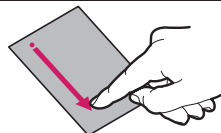
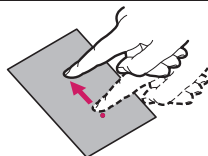
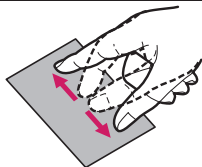
- ディスプレイ消灯時はタッチパネルを利用できませんのでタッチスタイルで操作するときは画面ロックボタン／MULTIボタンを押して、ディスプレイの照明を点灯させてください。
- 確認音やバイブレータ、スタイルごとのタッチパネルの利用については設定を変更できます。→ P.109、122

タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。
また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- 水中での操作

● タッチパネルの操作

＜タッチ＞ 項目選択や実行するときはアイコン、パレット、タッチボタンなどを指で直接タッチして選択します。 ※ タッチボタンを1秒以上タッチすることで、ソフトキーの長押しと同じ機能を実行することができます。	
＜ドラッグ＞ スクロールバーなどを調整したり、項目を選んだまま画面をスクロールするときなどは画面をタッチしながら上下や左右に指をスライドさせます。	
＜フリック＞ 前後の項目がある場合は、ディスプレイを指で上下にすばやくスライドしながら指を離すと画面をスクロールできます。	

<2本の指の間隔を広げる／狭める>
画像表示画面などでは画面に親指と人差し指をおき、2本の指をスライドさせて指を広げたり、狭めたりすると指の間隔に合わせ拡大／縮小表示させることができます（機能や画像サイズによっては拡大／縮小ができない場合があります）。

タッチスタイル時の機能の選択

タッチスタイルのままですばやく機能を呼び出すことができます。

● 待受画面から機能を選択する

待受画面のデスクトップアイコンやタッチボタンから機能を呼び出すことができます。また、日付やカレンダー、ｉチャネルテロップなどが表示されている場合、対応した機能を呼び出すことができます。

1 タッチスタイルの待受画面で目的の機能をタッチする

■各機能の主なタッチ操作

- **日付**→P.398
  スケジュールの起動
- **時刻**→P.397
  アラームの起動
- **カレンダー**→P.398
  スケジュールの起動
- **デスクトップアイコン**→P.35
  それぞれの機能を起動
- **各種機能起動アイコン**→P.42
  カメラ、ｉモードブラウザ、メールメニュー、発信パレットの起動
- **ｉチャネルテロップ**→P.222
  ｉチャネル一覧画面を表示

● ワンタッチで機能を呼び出す

待受画面の上部をタッチして、便利な機能を集めたパレットをすばやく呼び出すことができます。

1 待受画面上部をタッチする

表示されたパレットの領域外をタッチするとパレットは消えます。

■各種機能起動アイコンについて

アイコン	機能	アイコン	機能
	カメラを起動		ｉモードブラウザを起動
	受信BOXを開く		着信履歴、リダイヤル、直デン、電話帳検索、電話番号入力のいずれかの方法で電話発信

■パレットについて

アイコン	機能	アイコン	機能	アイコン	機能
	マナーモードを設定→P.111		プライバシーアングルを設定→P.117		未読メールを表示→P.164
	公共モードを設定→P.86		ecoモードを設定→P.118		ICカードロックを設定→P.305
	Bluetooth の ON ／ OFF→P.423		アクセスポイントをスキャン→P.483		ｉウィジェット画面を表示→P.299
	電池残量を表示				

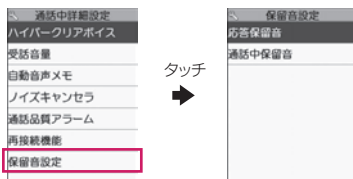
タッチボタン

タッチスタイル時では画面下部にアイコン表示のタッチボタンが表示され、タッチ操作ができます。

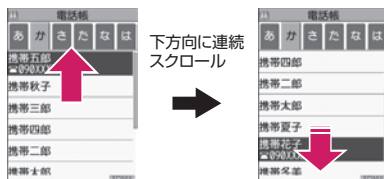
各種画面の基本操作

●タッチパネルによる基本操作について説明します。

● 項目を選択する

1 項目をタッチする

● 選択する項目が複数ページにわたる場合

項目が複数ページにわたる画面や前後の項目がある画面ではすばやくスライドすると画面を自動的にスクロールさせることができます。

1 上下の方向にすばやくスライドしながら指を離す

● スクロールバーを操作する場合

ミュージック、マイピクチャ、ｉモーション／ムービー、ワンセグのフォルダ一覧画面やファイル一覧画面では、スクロールバーによる操作ができます。

1 スクロールバーにタッチしながら上下方向にドラッグする

● タブを選択する

1 タブをタッチし、反転表示（選択状態）にする

「か行」の一覧を表示

「た行」の一覧を表示

● 日付の入力

各種操作用の日付や時刻入力時には数字のドラムを上から下もしくは下から上にスライドさせます。

● 端末暗証番号の入力

各種操作用の端末暗証番号入力時には数字のアイコンをタッチします。

1 4～8桁の端末暗証番号をタッチし 確定 をタッチする

入力した端末暗証番号は「●」で表示されます。正しい端末暗証番号を入力するとロック解除や機能の詳細画面が表示されます。 をタッチすると1番号ごとに消すことができます。

■ 端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

● 自動キーロックを解除する

自動キーロックを解除するには画面下のアイコンをタッチして操作します。

自動キーロックについて→P.139

● 誤操作防止機能を解除する

タッチスタイルのままで、誤操作防止機能を解除するには画面下のロックバーの[⇨]を左から右へすばやくスライドさせて指を離します。
誤操作防止機能について→P.140

● ダイレクト操作アイコンを利用する

画面左右に配置されるアイコンをタッチすることで操作ができます。起動中の機能の状況に応じて表示されるアイコンは変わります。ダイレクト操作アイコンはカメラ起動中（P.230）、メディアスビューア起動中（P.333）に利用できます。

メディアスビューア画面

● パレットを利用する

画面上をタッチするだけで設定や調整を行うためのボタンをまとめたパレットが表示されます。カメラ起動中（P.230）、ワンセグ視聴中（P.255）、待受画面表示中（P.42）、ビデオ再生画面（P.347）で利用できます。
また、[閉じる]が表示されているときは、パレットが表示されていない画面上をタッチするだけでパレットを閉じることができます。

カメラ起動中画面

● 音量の調整

受話音量画面などでは、音量バーによる操作ができます。

1 音量バーにタッチしながら上下方向にドラッグする

操作の取り消しかた、待受画面への戻りかた

間違ってメニュー項目を選択した場合など、直前の操作を取り消したいときには、CLRを押します。原則として1つ前の画面に戻りますが、機能によっては、戻り先が異なることもあります。設定などの各種操作を終了し、待受画面に戻りたいときは、を1秒以上押すかスタイルを切り替えを押します（タッチボタンではをタッチします）。その機能を終了し、原則として待受画面に戻りますが、表示されている画面状況や機能によっては、戻り先が異なることもあります。設定の途中などにを1秒以上押すかを押した場合、設定中の内容を破棄して待受画面に戻ります。

タッチスタイル時の誤動作防止

タッチスタイルのときに画面をロックし、操作できないようにします。

1

画面ロックが設定され、ディスプレイには何も表示されない状態となります。
タッチパネル操作の自動ロックの設定や解除について→P.140

メニューの選択

FOMA端末の各種機能を実行、設定、確認する方法は1つだけではありません。本書では、メインメニューから機能を呼び出す方法を基準に説明しています。メニューは機能ごとに分類されています。→P.504

メインメニューからの選択

FOMA端末の各種機能は、待受画面でMENUを押して表示されるメインメニューから選択することができます。
<例：「着信イルミネーション」の機能を設定する場合>

1 待受画面でMENUを押し、メインメニューを表示する

ワンポイント
メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合、メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

2 [キー]で反転表示を移動して[■]［選択］を押し、表示されるメニューを順次選択する

・ページが複数あるメニューアイコンを選択した場合は、画面右下に、[next »]、[prev »]が表示され、ページを切り替えることができます。

・反転した項目が2行表示になり、現在の設定値が表示されます。
・[✉]［←設定］、[i]［設定→］で前後のメニューアイコンの項目に移動できます。

ワンポイント
[キー]を押し続けると、反転表示を連続して移動することができます。

● 機能番号を押して機能を呼び出す

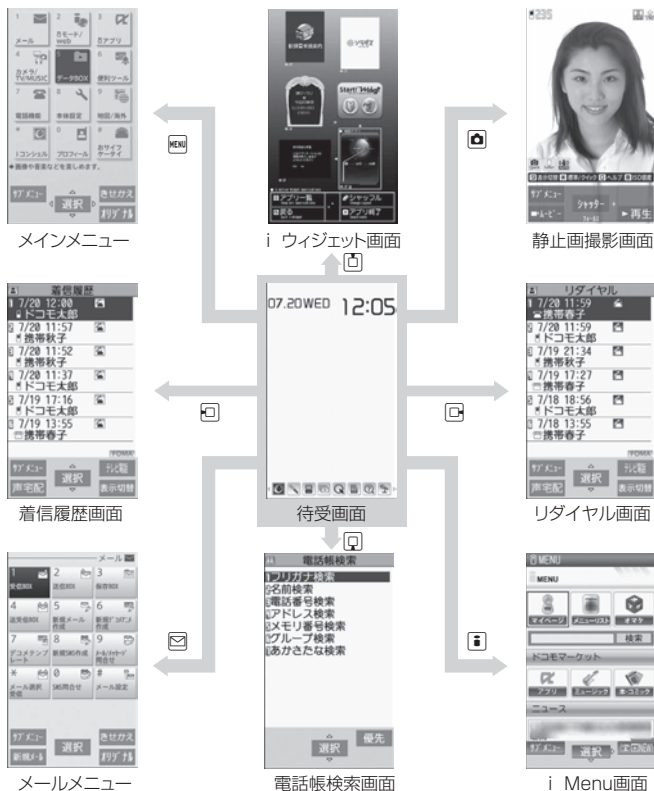
あらかじめ機能に割り当てられている機能番号（P.504）は、ダイヤルボタンに対応しています。同じ番号のダイヤルボタンを押すと、機能をすばやく呼び出すことができます。

おしらせ

◆きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度にあわせてメニュー構成が変わるものや機能番号を押しても機能を呼び出せないものがあります。また、メニューの機能番号が表示されなかったり、表示されていてもダイヤルボタンに対応していない場合があります。

ショートカットボタンからの機能の呼び出し

画面ごとに、あらかじめ機能が割り当てられているファンクションボタンを押すと、その機能をすばやく呼び出すことができます。

1 待受画面でファンクションボタンを押す

おしらせ

◆シンプルメニュー（P.51）を利用しているときは、待受画面で[✉]を押すと、シンプルメニューが表示されます。

◆[i]、[📷]ボタンで呼び出せる機能は、変更することができます。→P.194、396

オリジナルメニューからの選択

自分がよく使う機能をあらかじめ登録しておくと（P.120）、その機能を簡単に呼び出せます。

1 待受画面でMENUを押してメインメニューを表示し、続けてi［オリジナル］を押す

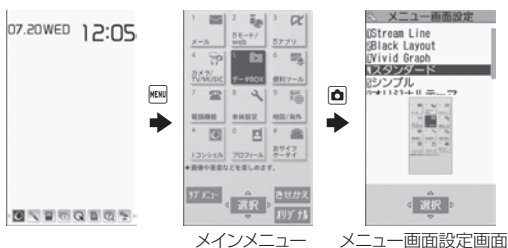
iを押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

メインメニューの切り替え

メインメニューのデザイン（背景やアイコンなどの表示スタイル）は自由に変更することができます。

●きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度にあわせてメニュー構成が変わるものがあります。また、機能番号を入力しても項目を選択できないものがあります。

1 待受画面でMENUを押し、さらに📷［きせかえ］を押す

メインメニュー　メニュー画面設定画面

2 項目を選択する

「Stream Line」～「スタンダード」…それぞれのメニューにデザインが切り替わります。

「シンプル」…P.51

「オリジナルテーマ」…P.120

メインメニューの各アイコンと背景のイメージを変更します。自分で撮影した写真を背景にするなどのカスタマイズも可能です。

「きせかえツール」…P.126

メインメニューをはじめFOMA端末のさまざまなデザインを、きせかえツールを使って一括設定します。「拡大メニュー」を選択すると、大きな文字で表現したメニューに切り替わります。

おしらせ

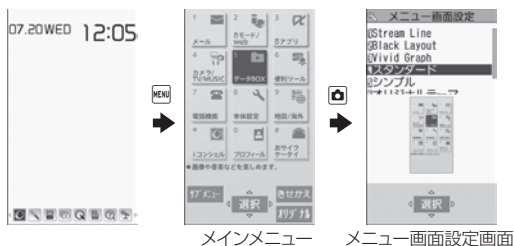
◆ユーザカスタマイズに対応しているメニューを設定した場合、メインメニューでMENU［サブメニュー］を押し「入替え機能」を選択すると、メニュー項目を並び替えることができます。→P.397

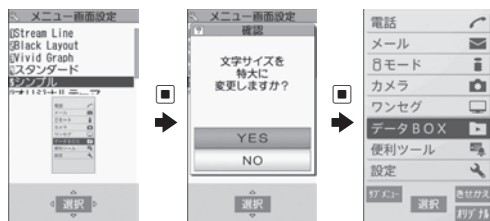
シンプルメニューの切り替え

代表的なメニューだけを集めたもので、文字も大きく、メニューの選択操作も簡単に行えます。

- 各種画面の文字サイズも「特大」に一括設定できます。→P.123
- シンプルメニューの内容については「シンプルメニュー一覧」をご覧ください。→P.530

1 待受画面でMENUを押し、さらに📷［きせかえ］を押す

メインメニュー　　メニュー画面設定画面

2 「シンプル」を選択し、文字サイズを特大に変更するときは「YES」を選択する

文字サイズを変えないときは「NO」を選択します。

各種画面の基本操作

ボタンによる基本操作について説明します。

● 画面単位でスクロールする場合

1 [ボタン]

[ボタン]を押すと上方向へ、[ボタン]を押すと下方向へ画面単位でスクロールします。

●「YES／NO」などを選択する場合

1 [↕]で囲み枠を移動し[■]［選択］を押す

● ピクチャ一覧で画像を表示する場合

1 [✥]で囲み枠を移動し[■]［表示］を押す

● 端末暗証番号の入力

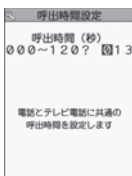
1 4〜8桁の端末暗証番号を入力し[■]［確定］を押す

入力した端末暗証番号は「● 」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。

■ 端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

● 数値を入力する場合

1 [0]〜[9]を押して数値を入力する

3桁の数値入力画面で1桁または2桁の数値を入力する場合は最初に[0]を2回または1回押します。

■「3」を入力する場合

▶[0][0][3]

● 操作の取り消しかた、待受画面への戻りかた

■[CLR]について

間違ってメニュー項目を選択した場合など、直前の操作を取り消したいときには[CLR]を押します。原則として1つ前の画面に戻りますが、機能によっては、戻り先が異なることもあります。

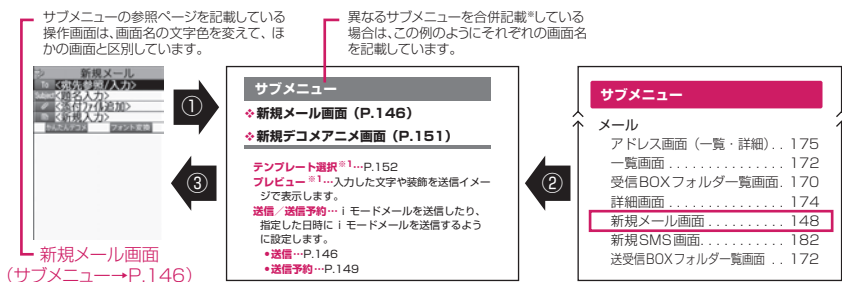
■[終話]について

設定などの各種操作を終了し、待受画面に戻りたいときは[終話]を押します。その機能を終了し、原則として待受画面に戻りますが、表示されている画面状況や機能によっては、戻り先が異なることもあります。設定の途中などに[終話]を押した場合、設定中の内容を破棄して待受画面に戻ります。

サブメニュー

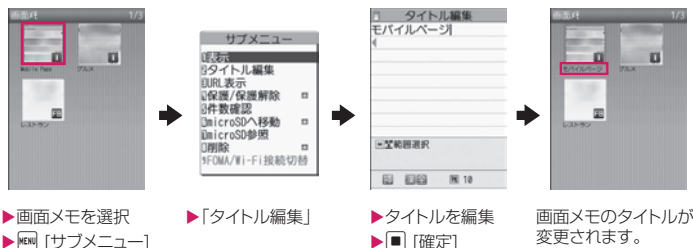
FOMA端末のメニューの1つに、ファンクション表示機能から呼び出す「サブメニュー」があります。サブメニューは各種画面での補助的な機能を実行するものです。
たとえばメールを読んだあとにそのメールを削除したり、カメラで撮影した画像の保存先フォルダを選択するときに使います。

● サブメニューの利用のしかた

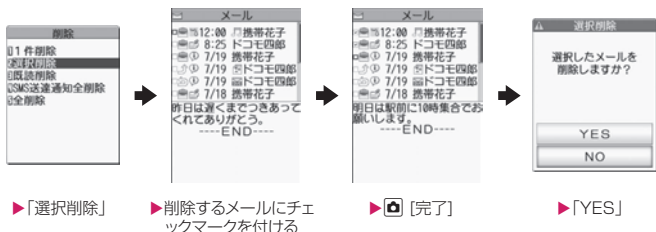
サブメニューには主に、3とおりの利用方法があります。状況に応じてご利用ください。
① 操作画面に記載している参照ページから、サブメニュー項目の説明を見る
② サブメニュー索引のページから、サブメニュー項目の説明を見る
③ サブメニューの参照ページから、操作画面を表示するまでの手順を調べる

※ 合併記載しているサブメニューでは、メニュー項目の配列が本書とは異なることがあります。

● 一覧画面の操作対象について

一覧画面のサブメニューは、一覧で反転表示したデータが操作対象になる場合と、一覧中のすべてのデータが操作対象になる場合があります。たとえば、「タイトル編集」や「1件削除」は反転表示したタイトルやデータが操作対象となり、「全削除」はすべてのデータが操作対象になります。
「タイトル編集」や「1件削除」のように、一覧中の1つのデータを対象とするサブメニューを選択する場合は、あらかじめそのデータを反転表示させてから MENU ［サブメニュー］を押してください。
＜例：一覧画面の画面メモタイトルを編集する場合＞

▶画面メモを選択 ▶ MENU ［サブメニュー］
▶「タイトル編集」
▶タイトルを編集 ▶■［確定］
画面メモのタイトルが変更されます。

● 複数選択について

不要になったデータを削除したり、大切なデータを保護したり、ほかの人に見られたくないデータをシークレットフォルダに保管するときなどには、1件のデータやすべてのデータを操作対象とするだけではなく、複数のデータを操作対象にすることもできます。このような場合、次のように操作します。
＜例：受信メール一覧画面で複数のメールを削除する場合＞

▶「選択削除」　▶削除するメールにチェックマークを付ける　▶[完了]　▶「YES」

チェックマークの付けかた

で囲み枠を選択する項目に移動し［選択］を押すと、チェックボックスが□から☑になります。
これが選択された状態です。［選択］を押すたびに、□と☑が切り替わります。
ピクチャ一覧では選択された状態になると、☑が表示されます。未選択状態では何も表示されません。

● 表示が交互に切り替わるメニューについて

メニューによっては、メニュー名が以下のように交互に切り替わるものがあります。

<画面例1>　<画面例2>

着信履歴画面を表示しているとき、着信履歴の文字のサイズを小さく表示しているときは、<画面例１>のように「拡大表示」と表示されます。この状態で「拡大表示」を選択すると、着信履歴の文字のサイズが大きくなり、次にサブメニューを表示したときには、メニュー名が「標準表示」に切り替わります。
本書ではこのようなメニューは「拡大表示⇔標準表示」と記載しています。

おしらせ

◆表示されているサブメニューの配下にさらにメニューがある場合は右側に「＋」が表示されます。
◆操作中の機能や設定状態などによって、表示されるサブメニューの内容が異なったり、サブメニューの項目を選択できない場合があります。選択できないサブメニューの項目はグレーで表示されます。

音声クイック起動

待受画面から音声で機能を呼び出して実行することができます。
利用したい機能がメニューのどこにあるのかわからないときや、利用したい機能をすばやく起動させたいときに利用します。
はじめて音声クイック起動を利用する場合は、使いかたの説明画面が表示されます。
内容を確認して「利用する」または［開始］を選択します。

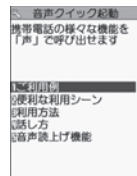
1 待受画面表示中▶（1秒以上）

待受画面表示中▶■▶「」を選択しても起動することができます。

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合

▶MENU［サブメニュー］▶「デスクトップ貼付」

■ ガイドを表示する場合

▶［ガイド］

音声入力ガイド画面

2 「それではどうぞ　★★音声受付中★★」と表示されたら10秒以内で送話口／マイクに機能のキーワードを話しかける

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

音声入力画面

■ 音声を認識できなかった場合

▶■［決定］
もう一度音声を入力します。

■ 機能を終了する場合

▶▶「YES」

音声入力

音声クイック起動では利用したい機能の機能名を発声する以外に、利用したい機能のキーワードを発声することでも起動することもできます。

■利用したい機能の機能名を発声する

「電卓」…電卓が起動します。
「ワンセグ」…ワンセグが起動します。

■利用したい機能のキーワードを発声する

「計算」…電卓が起動します。
「テレビ」…ワンセグが起動します。
「アドレス交換」…赤外線でプロフィールの送受信が起動します。

■利用したい機能のキーワードを複数発声する

「写真　見る」…マイピクチャが起動します。
「メール　問合せ」…メール問合せが起動します。
「スケジュール　4月25日」…その年の4月25日のスケジュールが表示されます。
「○○さんにメール」※…○○さん宛の新規メール作成画面が表示されます。
※ 電話帳に登録している名前を発声してください。同じ名前を複数登録している場合は電話帳の一覧が表示されます。

おしらせ

◆起動する機能が特定できない場合は、「使いかたガイド」で候補を検索します。
◆音声を認識しづらい場合は下記に注意してお話してみてください。
- 少し大きな声でお話しいただくか、送話口／マイクに近づいてお話してみてください。
- 音声入力開始時をはっきりとお話いただくと認識しやすくなります。

◆ご利用になる環境や話し方によって認識結果が異なる場合があります。

● マチキャラ音声を設定する

「マチキャラおしゃべり設定」が「ON」の場合、ガイダンスの音声が再生されます。→P.122
音声はで音量を調節できます。
また、で音声の設定を変更できます。

on : マチキャラ音声ON（スピーカから読み上げ）
※ 受話口／スピーカから大きな音で読み上げ
on : マチキャラ音声ON（受話口から読み上げ）
※ 受話口／スピーカから小さな音で読み上げ
off : マチキャラ音声OFF（読み上げなし）

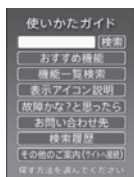
おしらせ

◆「バイリンガル」を「English」に設定中は、音声クイック起動を利用できません。

◆お買い上げ時に登録されているマチキャラで、音声合成機能に対応しているのは「メイドのメイちゃん」「セイリアン」です。

ボタン操作を忘れてしまったとき

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては「使いかたガイド」から実行できるものもあります。

1 MENU▶「便利ツール」▶「使いかたガイド」▶項目を選択

使いかたガイド画面（サブメニュー→P.57）

おすすめ機能…おすすめの機能を表示します。

機能一覧検索…機能の一覧から検索します。

表示アイコン説明…アイコン一覧の表示とアイコンの説明を表示します。

故障かな？と思ったら…故障と思われる症状の一覧から検索します。

お問い合わせ先…お問い合わせ先一覧を表示します。

検索履歴…過去の検索履歴を30件※まで表示します。

※ 検索方法によっては、30件まで表示されない場合があります。

その他のご案内（サイトへ接続）…Web To機能でサイトに接続し、サービスや機能を確認できます。

- 各項目を反転して📷［ヘルプ］を押すと詳しい操作方法が表示されます。
- お買い上げ時にデスクトップに貼り付けられている使いかたガイドのアイコン「?」を選択して、使いかたガイドの画面を表示させることもできます。

■ キーワードで探す場合

▶キーワード入力欄を選択▶キーワードを入力▶「検索」

検索結果が50件まで表示されます。

2 機能を選択▶項目を選択

機能の説明…機能の説明を表示します。

操作のしかた…操作方法を表示します。

この機能を使う…機能を実行します。各機能の操作を行います。

- 機能によっては■［選択］を数回押して選択します。
- 機能を反転して📷［説明］を押しても機能の説明が表示されます。
  📷［説明］の操作ができない項目は、さらに下に項目があります。
- 検索履歴を削除するにはMENU［サブメニュー］を押して「削除」を選択し、「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

おしらせ

◆「バイリンガル」を「English」に設定中は、使いかたガイドは起動しません。

サブメニュー

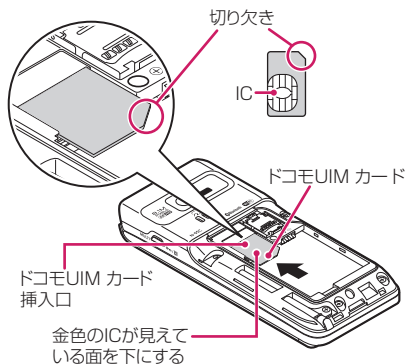
❖使いかたガイド画面（P.57）

デスクトップ貼付…P.124

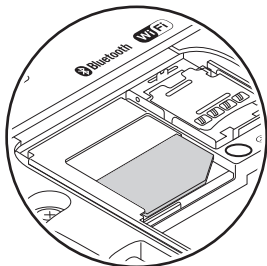
ドコモUIMカード

ドコモUIMカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
ドコモUIMカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください。→P.60
また、FOMA端末を閉じた状態で手で持ったまま行ってください。
- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）はご使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

● 取り付けかた／取り外しかた

1 ドコモUIMカードの金色のIC面を下にして、図のような向きでドコモUIMカード挿入口に差し込む

2 ドコモUIMカードが固定されるまで奥に差し込む

ドコモUIMカードを取り外す場合は、以下の状態からまっすぐ静かに引き抜いてください。

正しく取り付けられた状態

おしらせ
- ◆ドコモUIMカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、ドコモUIMカードが破損するおそれがありますのでご注意ください。

暗証番号

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。→P.128

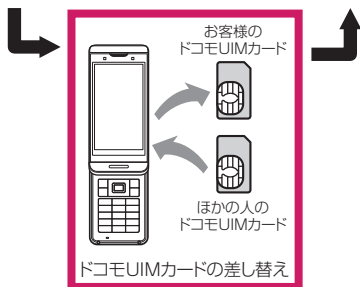
ドコモUIMカード（FOMAカード）のセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのドコモUIMカードセキュリティ機能（ドコモUIMカード動作制限機能）が搭載されています。
- サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータなどを取得すると、それらのデータやファイルにはドコモUIMカードセキュリティ機能が自動的に設定されます。
- ドコモ UIM カードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、取得時と同じドコモUIMカードが挿入されているときのみ操作することができます。ただし、ムービーは対象外となります。
- ドコモ UIM カードセキュリティ機能の対象となるデータやファイルは以下のとおりです。
  - ｉモードメールに添付されているファイル（トルカを除く）
  - 画面メモ
  - デコメール®や署名に挿入されている画像
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - 画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - メロディ
  - トルカ（詳細）の画像
  - ケータイデータお預かりセンターからダウンロードした画像
  - Music&Videoチャネルの番組
  - コンテンツ移行対応のデータ
  - ｉモーション
  - キャラ電
  - 着うた®※・着うたフル®
  - PDFデータ
  - きせかえツール
  - テレビ電話伝言メモ
  - 動作制限となるデータが含まれたメールテンプレート
  - マチキャラ
  - フォント
  - ダウンロード辞書
  - コンテンツパッケージ
  - ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージR／F

※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

●このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたドコモUIMカードを「お客様のドコモUIMカード」、それ以外のドコモUIMカードを「ほかの人のドコモUIMカード」として説明しています。

データをダウンロードしたり、メールを受信したときのドコモUIMカードが挿入されている場合は、ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータの閲覧や再生ができます。

データをダウンロードしたり、メールを受信したときとは別のドコモUIMカードが挿入されている場合は、ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されているデータの閲覧や再生ができません。

おしらせ

◆ドコモUIMカードを取り付けていないときやほかの人のドコモUIMカードに差し替えると、ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは「 」が付いて表示され、「各種画面設定」や「着信音選択」などに設定することができなくなります。
◆ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、ほかの人のドコモUIMカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできます。
◆ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルを「各種画面設定」や「着信音選択」などに設定しているときに、ドコモUIMカードを抜いたり、ほかの人のドコモUIMカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のドコモUIMカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
◆ほかの人のドコモUIMカードに差し替えると、お客様がダウンロードしたウィジェットアプリはｉウィジェット画面およびウィジェットアプリ一覧画面から表示されなくなります。

ドコモUIMカード（FOMAカード）差し替え時の設定

FOMA端末に取り付けられているドコモUIMカードを、別のドコモUIMカードに差し替えた場合、以下の設定は差し替え前の設定から変更されます。

●差し替えたドコモUIMカードの設定となる機能
- バイリンガル
- センター設定
- 有効期間設定
- UIM（FOMA）カード設定

●お買い上げ時の設定に戻る機能
- ｉモード設定の接続先設定
- フルブラウザ利用設定

●「無効」に設定される機能
- Cookie設定
  （Cookieの情報は残ります）

●差し替え前のドコモUIMカードの設定が無効となる機能
- Music&Videoチャネルの番組設定
  （再度番組を設定してください）

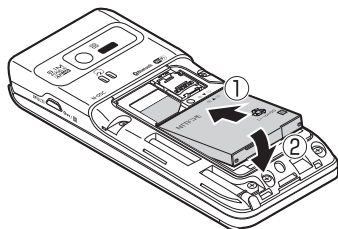
電池パックの取り付け／取り外し

●電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、FOMA端末を閉じた状態で手に持ったまま行ってください。

● 取り付けかた

1 リアカバーを取り外す（P.19）

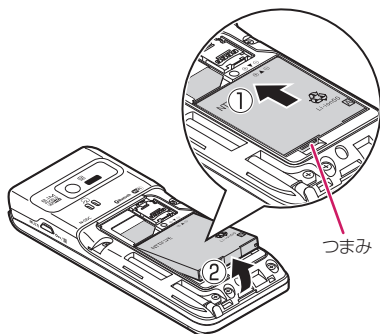
2 電池パックを取り付ける

「A」と書かれている面を上にして、電池パックとFOMA端末の金属端子が合うように①の方向に取り付けて、②の方向へはめ込みます。

3 リアカバーを取り付ける（P.19）

● **取り外しかた**

1 リアカバーを取り外す（P.19）

2 電池パックを取り外す

電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げ、取り外します。

おしらせ

◆リアカバーの先端部を本体に差し込んだ状態で、無理に押さえ込まないでください。リアカバーのツメが壊れることがあります。

充電

FOMA端末専用の電池パック N26をご利用ください。

■電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

Li-ion00

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■充電について

- 詳しくは FOMA AC アダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。
- FOMA ACアダプタ 02およびFOMA海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電は、電池パックをFOMA端末に付けた状態で行ってください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。「照明設定」の「充電時」を「常時点灯」に設定しているときも充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電ランプが点滅し、ディスプレイの「℃」が点滅しているときは、温度監視中により充電可能温度になるまで充電はできません。
- 高温環境下で充電中に、電話をかけたりパケット通信などを行ったときに、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。この場合、使用している機能があるときは終了し、FOMA端末の温度が下がるのを待ってから充電を行ってください。
- ご使用の状況によっては、電池残量が100%になる前に充電が停止する場合があります。この場合、使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または付属の卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度取り付け直してください。
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、ワンセグ視聴／録画中、ｉアプリの動作中などに充電を開始すると充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。

■電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間置くと、充電が終わったあと、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度取り付け直してください。

■電池の使用時間の目安（使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります）

連続待受時間
FOMAシングルモード FOMA／3G ・静止時（「自動」設定時※）：約700時間 ・移動時（「3G」設定時※）：約520時間 ・移動時（「自動」設定時※）：約470時間 GSM ・静止時（「自動」設定時※）：約310時間
Wi-Fiシングルモード 通常プロファイル：約510時間 ホームUプロファイル：約430時間
DUALモード 通常プロファイル：約350時間 ホームUプロファイル：約280時間

※ ネットワークの接続切り替え設定は、「3G／GSM切替」（P.463）で行います。

連続通話時間
FOMA音声電話 FOMA／3G ・音声電話時：約240分 ・テレビ電話時：約100分 GSM ・音声電話時：約240分
Wi-Fi音声電話 通常プロファイル ・パワーセーブOFF時：約500分 ・パワーセーブON（Legacy）時：約1,040分 ・パワーセーブON（U-APSD）時：約1,040分 ホームUプロファイル：約470分

ワンセグ視聴時間
通常視聴：約300分 ワンセグecoモード：約380分

- Wi-FiシングルモードまたはDUALモードでは、Wi-Fiの電波状況、アクセスポイントおよびFOMA端末の設定、SIPサーバの状態により、連続待受時間、連続通話時間は異なります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなることがあります。
- 通話やｉモード通信をしなくても、メールやｉアプリ、ワンセグなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況などにより、通話（通信）・待受時間が短くなることがあります。
- 国内で利用する場合は、「3G／GSM切替」（P.463）を「3G」に設定すると、通話（通信）・待受時間は長くなります。
- お客様がご利用の無線LAN環境により、通話（通信）・待受時間が短くなることがあります。

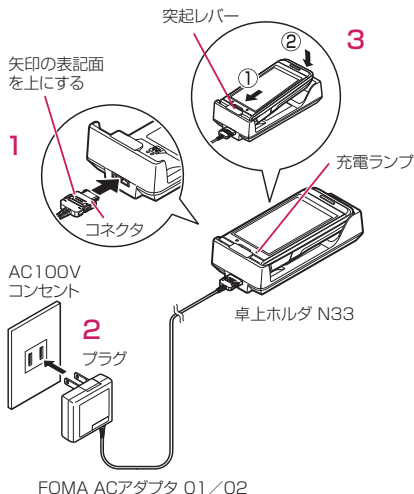
■電池パックの充電時間の目安

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間です。

ACアダプタ	約130分
DCアダプタ	約130分

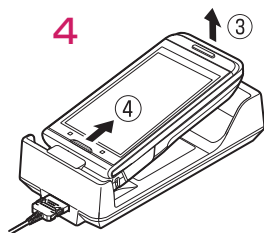
■防水／防塵性能に関して

- 電池パック、ACアダプタ、付属の卓上ホルダは防水／防塵性能を有していません。FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- 外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 充電完了後は外部接続端子キャップを確実に閉じてください。水や粉塵の侵入の恐れがあります。

卓上ホルダでの充電

1 **ACアダプタ（別売）のコネクタを付属の卓上ホルダ背面の端子に水平に差し込む**

2 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

3 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を①の方向に差し込み、②の方向にしっかりと取り付ける

4 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を③の方向へ取り外し、④の方向へ持ち上げる

おしらせ

◆充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です（フル充電）。

◆電池が切れた状態などでは、充電をはじめても充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電自体ははじまっています。

<ACアダプタ／DCアダプタ>

◆電源が入っている場合、充電中は「」が点滅し、電池残量値が表示されます。充電が終了すると、「」が点灯します。

◆DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万が一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

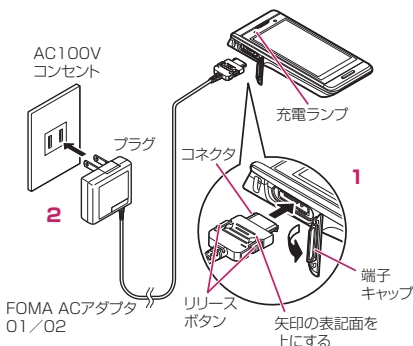
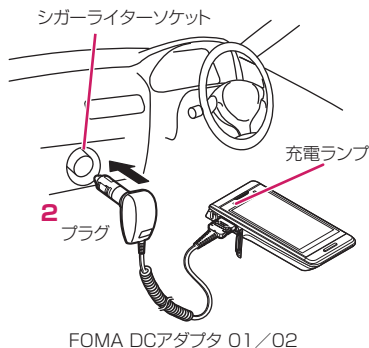
<卓上ホルダ>

◆FOMA端末は付属の卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。

ACアダプタ／DCアダプタでの充電

■ACアダプタ（別売）の場合

■DCアダプタ（別売）の場合

FOMA DCアダプタ 01／02

1 外部接続端子の端子キャップを開け（P.18）、ACアダプタ／DCアダプタのコネクタを外部接続端子に水平に差し込む

2 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む、または、DCアダプタのプラグを車のシガーライターソケットに差し込む

充電がはじまります。

3 充電が終わったら、リリースボタンを押しながらACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末から水平に引き抜く

無理に引っ張ろうとすると故障の原因になります。

4 ACアダプタのプラグをコンセントから抜く、またはDCアダプタのプラグを車のシガーライターソケットから抜く

5 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる（P.18）

電池残量確認

電池残量の表示は目安としてご利用ください。

- 使用状況によっては電池残量の表示が大きく変動することがあります。

電池残量表示の確認

FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが表示されます。

- 電池アイコンを反転すると電池残量が表示されます。電池残量が10％以下の場合「LOW」と表示されます。

電池残量は81％〜100％です 十分残っています。
電池残量は61％〜80％です すこし少なくなっています。
電池残量は41％〜60％です 少なくなっています。
電池残量は21％〜40％です かなり少なくなっています。
電池残量は0％〜20％です ほとんどありません。充電してください。

おしらせ

◆電池パックを取り付けた直後やご使用時の温度状況などによっては電池残量が正確に表示されない場合があります。

電池残量を音と表示で確認する方法

電池残量を音と表示でお知らせします。

1 MENU ▶「本体設定」▶「電池」▶「電池残量」

確認画面が表示され、電池残量にあわせて電池確認音が鳴ります。約3秒後に電池残量の表示は消えます。

「ピッピッピッピッピッ」:電池残量は81％〜100％です 十分残っています。
「ピッピッピッピッ」:電池残量は61％〜80％です すこし少なくなっています。
「ピッピッピッ」：電池残量は41％〜60％です 少なくなっています。
「ピッピッ」：電池残量は21％〜40％です かなり少なくなっています。
「ピッ」：電池残量は0％〜20％です ほとんどありません。充電してください。

おしらせ

◆マナーモード設定中や「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合、電池残量確認音は鳴りません。

電池が切れたときは？

電池切れアラームとともに次のような画面が点滅表示されます。

電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームを止める場合はいずれかのボタンを押してください。

おしらせ

◆音声電話中は電池切れ画面と「ピッピッピッ」音、テレビ電話中は電池切れ画面（相手側には「カメラオフ Camera Off」というメッセージ）によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。

電源ON／OFF

電源ON

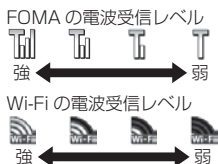
- 電源を入れる前にドコモUIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。

1 ［終話キー］（1秒以上）

ウェイクアップ音が鳴ると同時にウェイクアップ画面が表示されたあと、待受画面または初期設定画面が表示されます。電池パックを取り付けたときや、電源を切ってからすぐに電源を入れ直したときなどは、しばらくの間「WAIT A MINUTE」と画面に表示される場合があります。

待受画面

■「圏外」「(Wi-Fi圏外アイコン)」の表示が出ている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。受信レベルは以下のように表示されます。

接続するアクセスポイントを1 件も設定していない場合、電源を入れただけでは電波受信レベルは表示されません。クライアントモードからアクセスポイントに接続するために必要な設定を行ってください。→P.479

■「(SIPアイコン)」が表示されない場合

アクセスポイントのスキャンを行ってください。→P.483

クライアントモードが正しく設定されていないためWi-Fi音声電話が利用できません。

ネットワークの管理者にお問い合わせください。

■ 初期設定画面が表示された場合→P.64

■ PIN1コード、PIN2コード入力画面が表示された場合→P.128

■ お買い上げ時に保存されているメール

お買い上げ時は、「NEW　i モーション！」のメールが保存されています。→P.171

おしらせ

◆ウェイクアップ音は「各種画面設定」の「ウェイクアップ表示」のサブメニューで「ON」または「OFF」を設定できます。→P.115

◆ウェイクアップ音のメロディは変更できません。また、音量は「着信音量」の「FOMA電話」で設定した音量になります（ただし、「ステップ」の場合は「レベル2」で鳴動）。メロディを止める場合は、いずれかのボタンを押します。

◆ドコモUIMカードを差し替えたときは、電源を入れたあと、4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しい端末暗証番号が入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます（ただし、再度電源を入れることは可能です）。

◆前回電池切れや自動電源OFFによって電源が切れた場合、その旨をお知らせする画面が表示されます。

◆電源を切ったあとは、しばらくたってから電源を入れてください。

電源OFF

1 **(終話ボタン)（2秒以上）**

終了画面「SEE YOU」が表示され、電源が切れます。

初期設定

電源を入れたあとに初期設定として「メイン時計設定」「端末暗証番号の変更」「文字サイズ」「位置提供」「ボタン確認音」を設定します。

1 **初期設定画面▶「YES」**

初期設定画面

2 **メイン時計を設定→P.65**

3 **端末暗証番号を変更→P.129**

端末暗証番号はお買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。

4 **文字サイズを設定→P.123**

5 **GPS機能の位置提供の可否の設定→P.316**

位置提供を「位置提供ON」に設定した場合は、端末暗証番号を入力します。

6 **ボタン確認音を設定→P.109**

7 **ソフトウェア更新に関する内容を確認したら「OK」**

おしらせ

◆すべての機能を設定すると、以後電源を入れたときに初期設定の画面は表示されなくなります。

日付時刻設定

メイン時計設定でFOMA端末の日付・時刻を設定します。サブ時計設定では、サブ時計の表示／非表示や、表示する場合の表示方法を設定します。

●FOMA端末には時刻情報とタイムゾーン情報を取得し、時計を自動的に補正する機能があります。

●タイムゾーンは、協定世界時に対する時差が設定されています。同じ時差で別の都市・地域名が登録されているときは、ファンクション表示に「変更」が表示され、[カメラ]で表示する都市・地域名を変更できます。

メイン時計設定

1 [MENU]▶「本体設定」▶「時計」▶「メイン時計設定」▶「自動時刻時差補正」

■ サマータイムを設定する場合

▶「サマータイム」

「ON」に設定すると1時間加算して時刻を表示します。

2 以下の項目から選択

自動…メイン時計の日付・時刻を自動的に補正するように設定します。

- **自動**…取得した時刻情報とタイムゾーン情報に基づいて日付・時刻を自動的に補正します。国際ローミング中は、滞在先の時計が表示されます。
- **手動（タイムゾーン選択）**…タイムゾーンを選択し、その地域の時計を表示します。

手動時刻設定…メイン時計の年月日と時刻を手動で設定します。タイムゾーンを選択し、年月日と時刻を入力します。

・年月日・時刻の入力
[十字キー]で反転表示を移動し、ダイヤルボタンで入力します。

おしらせ

◆日付・時刻を設定すると、「アラーム」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。

◆設定できる日付・時刻は、2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

◆設定した日付・時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約30秒以上電池パックを外した状態が続くとリセットされることがあります。また、電池残量のない状態で放置するとリセットされることがあります。

<自動時刻時差補正>

◆ドコモUIMカードを取り付けた状態で、電源をONにしたときに自動補正されます。

◆電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。

◆数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況によっては補正できない場合があります。

◆海外で利用中の通信事業者のネットワークによっては、時差補正が行われない場合があります。
その場合は手動でタイムゾーンを指定してください。

サブ時計設定

1 [MENU]▶「本体設定」▶「時計」▶「サブ時計設定」▶「表示方法」

■ サマータイムを設定する場合

▶「サマータイム」

「ON」に設定すると1時間加算して時刻を表示します。

2 以下の項目から選択

自動（ローミング時自動表示）…国際ローミング中はサブ時計を自動で表示します。たとえば、メイン時計の時差補正を「自動」に設定していると、メイン時計は滞在先の時計に自動で切り替わりますが、このときサブ時計には日本の時計が表示されます。

常時表示（タイムゾーン選択）…タイムゾーンを選択し、その地域の時計をサブ時計に常時表示するように設定します。

OFF…サブ時計を表示しません。

おしらせ

◆「待受時計表示」の「表示サイズ」が「上に小さく表示」に設定されている場合は、サブ時計は表示されません。

◆本機能で「自動（ローミング時自動表示）」を設定すると、「メイン時計設定」のタイムゾーンが「UTC +9」以外の場合は、サブ時計に日本の時計が表示されます（「UTC +9」の場合、日本国内ではサブ時計は表示されません）。

発信番号通知設定

電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させるように設定します。
- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
- 「圏外」のときは操作できません。

1 **MENU ▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「発信者番号通知」▶以下の項目から選択**

設定…発信者番号を通知するかしないかを設定します。

設定確認…現在の発信者番号通知設定の内容を確認します。

おしらせ

◆本機能は相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。

◆国際電話では、「186」／「184」を付けてダイヤルしても無効になる場合がありますので、サブメニューから「発信者番号通知」を選択してください。

◆「186」／「184」を付けて電話をかけたときは、リダイヤルや発信履歴に「186」／「184」を付けた電話番号で記憶されます。

◆発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直しください。

電話番号表示

お客様のドコモUIMカードに登録されている電話番号（自局番号）と機種名を表示して確認します。

1 **MENU ▶「プロフィール」**

- MENU ▶ 0 でも確認できます。

おしらせ

◆「プロフィール」に登録した情報は、サイトなどで所有者情報（名前、メールアドレスなど）を入力するとき、簡単に引用できます。→P.434

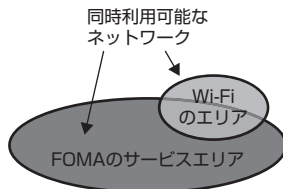
◆ｉモードのメールアドレスは、i ▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「メール設定」▶「メール設定確認」の順に操作すると確認できます。

◆2in1のモードがデュアルモードの場合、i でプロフィール表示が切り替えられます。

◆2in1利用中にドコモUIMカードを入れ替える場合は、Bナンバーのプロフィールを初期化したあと、ドコモUIMカードを入れ替えてください。→P.406

◆ホームＵサービスの050番号は を押すと表示されます（ホームＵご契約時に有効です）。

通信モード

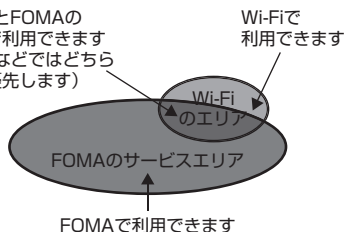
N-05Cは、FOMA／Wi-Fiのネットワークに対応しています。音声電話やインターネットへの接続などでどちらのサービスも利用することができます。
- Wi-FiはWireless Fidelityの略で、本FOMA端末では無線LANを意味しています。

おしらせ

◆2in1のモードがBモードの場合、Wi-Fiの機能を利用できません。→P.453

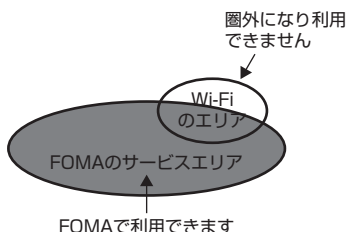
通信モード設定

FOMA端末の利用シーンや接続するネットワークの電波状態などに応じて、FOMAとWi-Fiのどちらを優先的に利用するかを設定できます（DUALモード）。また、FOMAのみ、Wi-Fiのみを利用するようにも設定できます（シングルモード）。
- お買い上げ時は、「FOMAシングルモード」に設定されています。

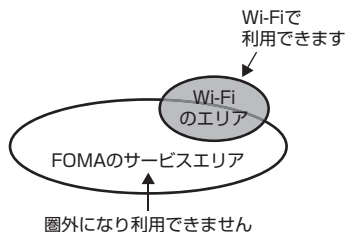
■DUALモード（FOMA優先／Wi-Fi優先）

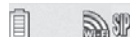
FOMA／Wi-Fiの両方のサービスを利用できます。FOMA優先の場合は優先的にFOMAの電波を使用し、Wi-Fi優先の場合は優先的にWi-Fiの電波を使用します。

Wi-Fiのエリアと FOMAのサービスエリア圏内
• FOMA音声電話とWi-Fi音声電話の両方を待ち受けします。 • FOMAのサービスと、Wi-Fiのサービスのどちらも利用できます。

アイコン表示例
FOMA優先の場合
Wi-Fi優先の場合

■FOMAシングルモード
FOMAのサービスのみ利用できます。
FOMAの電波のみ使用します。

Wi-Fiのエリアと FOMAのサービスエリア圏内
• FOMA音声電話のみ待ち受けします。 • FOMAのサービスのみ利用できます。 • Wi-Fiのサービスは利用できません。

アイコン表示例

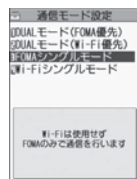
■Wi-Fiシングルモード
Wi-Fiのサービスのみ利用できます。
Wi-Fiの電波のみ使用します。

Wi-Fiのエリアと FOMAのサービスエリア圏内
• Wi-Fi音声電話のみ待ち受けします。 • Wi-Fiのサービスのみ利用できます。 • FOMAのサービスは利用できません。

アイコン表示例

おしらせ

◆ホームU接続先に接続した場合は、画面に「 」がアイコン表示されます。

● 通信モード設定を切り替える

●ダイヤルロック設定中、セルフモード設定中、2in1のモードがBモードの場合は、通信モード設定を切り替えることができません。
●ほかのタスクが起動している場合は、通信モード設定を切り替えることができません。

1 待受画面表示中に［カメラ］（1秒以上）

通信モード設定画面

2 通信モードを選択

おしらせ

◆FOMA端末の電源を入れたときは、前回電源を切ったときの通信モード設定で起動します。

● 通信切替のメッセージ表示について設定する

「通信モード設定」をDUALモードに設定している場合、圏外の通信方法からもう一方の通信方法に接続を切り替えて通信しようとするとき、メッセージ画面が

表示されます。切り替え時に表示されるメッセージ画面の表示について本機能で「表示する、表示しない」から選択します。（通信モードをDUALモードに設定かつ、接続先一覧に接続先が1件以上登録されている場合のみ設定可能）

- ホームU接続先に接続中の場合、Wi-FiからFOMA、FOMAからWi-Fiに関わらず、接続を切り替えるときにメッセージ画面が表示されます。
- ホームU以外の接続先に接続中の場合、Wi-FiからFOMAに接続を切り替えるときのみ、メッセージ画面が表示されます。

1 **MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「クライアントモード」▶「共通設定」▶「優先接続設定」▶「接続切替画面設定」▶以下の項目から選択**

表示する…通信方法が切り替わるときにメッセージが表示されます。

表示しない…もう一方の通信方法へ自動で切り替えて接続を行います。

おしらせ

◆Wi-Fi→FOMA切替後のｉモードサービスはFOMAのパケット料金で通信を行います。本機能を「表示しない」に設定した場合、モード切替メッセージ画面は表示されませんのでご注意ください。

◆ホームU以外の接続先に接続中の場合、FOMAからWi-Fiに接続を切り替えるときは本機能の設定に関わらずメッセージを表示しません。

◆ｉアプリによる通信開始時には、モード切替メッセージ画面が表示されません。「表示しない」でご利用ください。

電話／テレビ電話

■電話／テレビ電話のかけかた

FOMA音声電話／テレビ電話のかけかた 70
FOMA音声電話／テレビ電話の切り替え 73
ハンズフリー 74
リダイヤル／発信履歴／着信履歴 75
声の宅配便 77
発信者番号通知／非通知 78
プッシュ信号 78
プレフィックス機能 79
国際電話（WORLD CALL） 79
サブアドレス設定 81
再接続設定 81
ハイパークリアボイス 81
ノイズキャンセラ 82
ハンズフリー対応機器の利用 82

■電話／テレビ電話の受けかた

FOMA音声電話／テレビ電話の受けかた 82
相手がFOMA音声電話／テレビ電話を切り替えたとき 84
着信アンサー 84
クローズ動作 84
受話音量調節 85

■電話／テレビ電話に出られないとき、出られなかったとき

着信中／通話中保留 85
公共モード 86
不在着信 87
伝言メモ／テレビ電話伝言メモ 87
クイック伝言メモ 88
伝言メモ・音声メモ・テレビ電話メモの再生／消去 88

■テレビ電話の設定

送信画像設定 89
テレビ電話設定 89
外部機器と接続してテレビ電話を使用 91

FOMA音声電話／テレビ電話のかけかた

※ N-05Cには内側カメラがないため、テレビ電話で相手に送信する画像は代替画像（キャラ電）または外側カメラの映像になります。なお、代替画像（キャラ電）は「画像選択」でマイピクチャの画像などに変更することができます。→P.90

- ●Wi-Fiシングルモードでは FOMA音声電話／テレビ電話をかけることはできません。
- ●DUALモード（FOMA優先／Wi-Fi優先）の場合、電話番号入力中に、FOMA音声電話／テレビ電話でかけるかWi-Fi音声電話でかけるかを選択することができます。
  Wi-Fi音声電話について→P.492

<例：DUALモードの場合>

1 相手の電話番号をダイヤル

同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

電話番号は80桁まで入力できます。ただし、表示されるのは26桁までです。

「Wi-Fi」が表示されている場合、[i]［Wi-Fi FOMA］を押して「FOMA」を表示させてください。

電話番号入力画面（サブメニュー→P.72）

■ 電話番号の入力を間違えた場合

・番号を挿入する場合

▶[◁▷]で挿入したい位置の1つ左の番号にカーソルを移動し、番号を入力

・番号を削除する場合

▶[◁▷]で削除したい番号にカーソルをあわせ、[CLR]

▶[CLR]を1秒以上押すと、カーソルのあたっている番号とその左側にあるすべての番号が削除されます。

■ テレビ電話の場合

・キャラ電画像でかける場合

▶[MENU]［サブメニュー］▶「テレビ電話画像選択」▶「キャラ電」▶キャラ電を選択

■ 声の宅配便を利用する場合

▶[✉]［声宅配］▶音声ガイダンスに従ってメッセージを録音

声の宅配便について→P.77

2 [⌒]（FOMA音声電話）、[📷]（テレビ電話）

■ FOMA音声電話の場合

発信中は「[アイコン]」が点滅し、通話中は点灯します。

FOMA音声通話中画面（サブメニュー→P.72）

- 「ツーツー」という話中音が聞こえる場合
  相手が話し中です。しばらくたってからおかけ直しください。
- 電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合
  相手の携帯電話の電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。しばらくたってからおかけ直しください。
- 電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合
  電話番号を通知しておかけ直しください。
  →P.66、78
- 送信する音声をミュート（消音）する場合
  ▶[✉]［ミュートon］
  「MUTE」が点滅します。
  再度[✉]［ミュートoff］を押すと、ミュートが解除されます。

■ テレビ電話の場合

テレビ電話発信中は「[アイコン]」が点滅し、通話中は点灯します。

テレビ電話中画面（サブメニュー→P.72）

- テレビ電話がかからなかった場合→P.73
- カメラ映像と代替画像を切り替える場合
  ▶[MENU]［サブメニュー］▶「代替画像切替」⇔「カメラ画像切替」
- 親画面表示を切り替える場合
  ▶[■]（1秒以上）

「親画面表示切替」→P.72
- 送信するカメラ映像を拡大する場合
  ▶でズームを調節
  ズームについて→P.91
- 送信する音声をミュート（消音）する場合
  ▶[■]［ ］
  「MUTE」が点滅します。
  再度[■]［ ］を押すと、ミュートが解除されます。

■ Wi-Fi音声電話をかける場合

▶「Wi-Fi」が表示されていることを確認して

「FOMA」が表示されている場合、［FOMA Wi-Fi］を押して「Wi-Fi」を表示させてからを押します。

■ ハイパークリアボイスの設定を切り替える場合→P.81

■ 通話中にFOMA音声電話／テレビ電話を切り替える場合→P.73

■ 通話中のFOMA音声電話／テレビ電話を保留にする場合→P.85

■ FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話する（P.423）かを切り替える場合

▶（1秒以上）

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合

発信番号選択画面が表示されます。発信番号を選択してください。

3 通話が終了したら

■ FOMA端末を、閉じたままの状態で終了する場合

▶（1秒以上）

おしらせ

◆音声通話中に、約5秒間ボタン操作が行われなかった場合、省電力モードに移ります。

◆テレビ電話中にメールやメッセージR／Fは受信できません（SMSは受信できます）。ｉモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「メール／メッセージ問合せ」を行って受信してください。

◆テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、デジタル通信料がかかります。

◆DUALモード(FOMA優先)／DUALモード(Wi-Fi優先）で「Wi-Fi」が表示されているときにテレビ電話をかけると、自動的に「FOMA」に変更されます。

● 緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

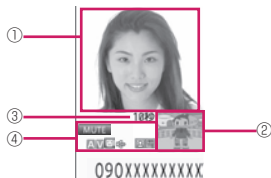
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的にFOMA音声電話発信となります。

テレビ電話

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでご利用いただけます。
- ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。

※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2 3G-324M
第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

■テレビ電話画面の見かた

① 親画面（お買い上げ時は相手側のカメラ映像を表示）
② 子画面（お買い上げ時は自分側の代替画像（キャラ電）を表示）
③ 通話時間
④ 各種機能の設定内容

: ハイパークリアボイス（ふつう／強め）

: 音声送受信中／送受信失敗

: 映像送受信中／送受信失敗

: カメラ映像／代替画像／キャラ電送信中

: ハンズフリー ON／OFF

MUTE（点滅中）: ミュート中（消音中）

: 撮影モード（人物、風景、接写）

: キー操作モード（DTMFモード※1／全体アクションモード※2／パーツアクションモード※2）

※1「DTMF送信／DTMF解除」→P.73
※2「キャラ電」→P.89

サブメニュー

❖電話番号入力画面（P.70）

発信モード選択※…発信モードを「FOMA」または「Wi-Fi」から選択します。
発信者番号通知…P.78
プレフィックス…P.79
内線特番…Wi-Fi音声電話をかけるときの内線特番を入力します。→P.493
国際電話発信…P.80
マルチナンバー…P.450
電話帳登録…P.94
メール作成…P.152
テレビ電話画像選択…テレビ電話中に送信する画像を「キャラ電」から選択します。
設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

※ 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。

サブメニュー

❖FOMA音声通話中画面（P.70）

通話機切替…FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話する（P.423）かを切り替えます。
直デン…P.102
電話帳…P.97
リダイヤル…P.75
着信履歴…P.75
通話中音声メモ…P.408
ミュート ON⇔ミュート OFF…送信する音声をミュート（消音）するかしないかを切り替えます。

サブメニュー

❖テレビ電話中画面（P.70）

代替画像切替⇔カメラ画像切替…カメラ画像と代替画像を切り替えます。
親画面表示切替…親画面の表示を切り替えます。
切り替えるたびに「親画面に相手側のカメラ映像を表示」→「親画面に自分側の画像を表示」→「相手側のカメラ映像のみを表示」→「自分側の画像のみを表示」の順で画面が切り替わります。
通話機切替…FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話する（P.423）かを切り替えます。
テレビ電話設定…テレビ電話の画面について設定します。
- **受信画質設定**…受信する映像を「標準、画質優先、動き優先」から選択します。
  通話中のみ設定が保持されます。
- **明るさ調節**※…画像の明るさを「－2～＋2」の5段階で調節します。
- **ホワイトバランス設定**※…P.233
- **色調切替**※…画像の効果を「通常、セピア、白黒」から選択します。
  通話中のみ設定が保持されます。
- **撮影モード選択**※…撮影する場面に合ったモードを「人物」、「風景」、「接写」から選択します。

キャラ電設定…キャラ電を利用している場合は以下の設定ができます。カメラ映像のときは設定できません。
- **キャラ電切替、アクション一覧、アクション切替**…P.350（サブメニュー項目）

・**静止画切替**…相手側の画面に「代替画像選択」（P.90）で設定した画像を表示します。

照明設定…ディスプレイの照明を常時点灯するか、「照明設定」の「通常時」の設定に従って点灯するかを設定します。

通話中音声メモ…テレビ電話中に相手の声を録音します。

自局番号…テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。

DTMF送信⇔DTMF解除…キャラ電中にプッシュ信号の送信モードを設定、解除します。
キャラ電以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号モードになります。

音声電話切替…P.73

現在地通知…P.319

ミュート ON⇔ミュート OFF…送信する音声をミュート（消音）するかしないかを切り替えます。

※ 代替画像のときは利用できません。

● テレビ電話がかからなかった場合

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由が表示されます。

- 状況によっては接続できなかった理由が表示されない場合があります。
- 接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手がお話し中の場合 ・相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。
パケット通信中です	相手がパケット通信中の場合
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手がFOMA圏外にいる、または電源が入っていない場合
転送致しますのでお待ち下さい	転送中の場合（転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末であればテレビ電話にかかります）
音声電話でおかけ直しください	転送先がテレビ電話非対応の場合
電話番号を通知しておかけ直しください	相手が番号通知お願いサービスを設定している場合
この電話番号へはおつなぎできません	相手が迷惑電話ストップサービスを設定している場合
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付料金プランの上限額を超えている場合
接続できませんでした	発信者番号非通知で接続した場合 ・上記以外の場合にも表示されることがあります。 発信者番号非通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。

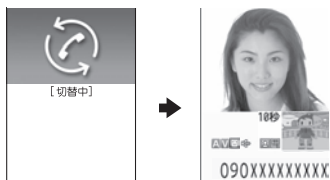
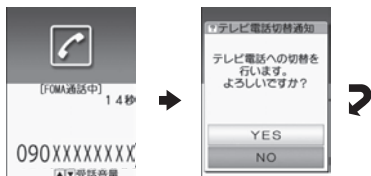
- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、「音声自動再発信」を「ON」に設定していると、自動的にFOMA音声電話に切り替えて発信します。ただし、ISDNの同期64Kのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2011年5月現在）にかけたときや間違い電話をしたときなどは、正しい動作にならないことがあります。また、通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

FOMA音声電話／テレビ電話の切り替え

- FOMA音声電話⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。
- 切り替え操作は、発信側からのみ行うことができます。
- 切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替機能通知」を通知するように設定しておく必要があります。→P.90

＜例：FOMA音声電話からテレビ電話に切り替える場合＞

1 FOMA音声通話中画面（P.70）▶■［テレビ電話］▶「YES」

切り替え中は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。

この画面からデジタル通信料がかかります

■ テレビ電話からFOMA音声電話に切り替える場合

▶テレビ電話中画面（P.70）
▶MENU［サブメニュー］▶「音声電話切替」

おしらせ

◆切り替えには、5秒程度の時間がかかります。なお、電波の状態などにより、切り替えるまでに時間がかかることがあります。
◆以下の場合は、通話中にFOMA音声電話とテレビ電話を切り替えることができません。
- 相手側が通話を保留にしているとき
- 相手側が音声メモを起動したとき

◆表示されている通話時間は、通話を切り替えるたびに0秒にリセットされます。ただし、FOMA音声電話からテレビ電話へ切り替えた場合は通話終了後にFOMA音声電話とテレビ電話の合計時間が表示されます。
- テレビ電話から FOMA 音声電話へ切り替えた場合は、通話終了後に合計時間は表示されずに待受画面に戻ります。
- 通話時間は切り替えるたびに0秒にリセットされますが、切り替える前の通話料金も加算されています。

◆相手側の利用状態や電波の状態などにより、切り替えることができず、通話が切断されることがあります。
◆切り替え操作を行った場合でも、リダイヤル／発信履歴、着信履歴には、最初に発信または着信した電話の履歴が記憶されます。

<FOMA音声電話⇒テレビ電話切り替え時>

◆発信側がｉモード中の場合は、ｉモード接続を切断してテレビ電話に切り替えます。
◆相手側がパケット通信中（ｉモード含む）の場合は、「切替できません」というメッセージが表示され、FOMA音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
◆「キャッチホン」が動作しているときは、切り替えることができません。

ハンズフリー

通話中の相手の音声をスピーカから流して通話します。

1 FOMA音声通話中画面（P.70）、テレビ電話中画面（P.70）▶📷［🔈→On］▶「YES」

ハンズフリー通話中は「🔈」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます。
呼出中に📷［🔈→On／🔈→Off］を押してハンズフリーを切り替えることもできます。

音声電話の場合　テレビ電話の場合

■ タッチスタイルでハンズフリーに切り替える場合

▶🔈→On▶（ボタン）を右にドラッグ
「ロックバー設定」（P.140）を「OFF」に設定しても操作が必要です。

■ ハンズフリーを解除する場合

▶ハンズフリー通話中に📷［🔈→Off］または🔈→Off
音声電話の場合は「🔈」が消えます。テレビ電話の場合は「🔈」が「🔈」に変わります 。

● ハンズフリーを利用するときは

ハンズフリー通話では、FOMA端末から約30cm程度離して使用することを推奨します。これより離れたり近づき過ぎたりすると、相手側で聞き取り難い場合や、音声の聞こえ方が変わることがあります。

おしらせ

◆ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してハンズフリーに切り替えてください。
◆通話が終了すると、ハンズフリーの設定は解除されます。

リダイヤル／発信履歴／着信履歴

かけたり、かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は、リダイヤル／発信履歴／着信履歴として記憶されます。これらを利用すると、かけたり、かかってきた相手に簡単に電話をかけられます。

- 同じ電話番号に繰り返し発信すると、リダイヤルには最新の1件が、発信履歴には別の1件として情報が記憶されます。
- リダイヤルは音声電話とテレビ電話の電話番号を30件まで記憶できます。
- 発信履歴／着信履歴は音声電話とテレビ電話の履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件まで記憶できます。
- 履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

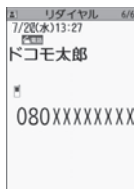
<例：リダイヤル、着信履歴の一覧から電話をかける場合>

1 待受画面表示中▶（リダイヤル）、（着信履歴）

例：リダイヤル画面（一覧）（サブメニュー→P.76）

■ 発信履歴を確認する場合
▶MENU▶「電話機能」▶「発着信履歴」▶「発信履歴」

2 リダイヤル、着信履歴を反転

■ リダイヤル、着信履歴の詳細を確認してから電話をかける場合
▶リダイヤル、着信履歴を選択

例：リダイヤル画面（詳細）（サブメニュー→P.76）

■ 声の宅配便を利用する場合
▶［声宅配］▶音声ガイダンスに従ってメッセージを録音
声の宅配便について→P.77

3 （音声電話）、（テレビ電話）

● 不在着信の件数を確認する

■着信履歴から不在着信だけを確認する場合
▶MENU▶「電話機能」▶「発着信履歴」▶「着信履歴」
全着信の件数、不在着信の件数、および不在着信のうち未確認の件数が表示されます。
「不在着信」を選択すると、不在着信のみ表示されます。

■表示されるリダイヤル／発信履歴／着信履歴のアイコンについて

アイコン※1	説明
電話／不在／	音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
／／	国際音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
電話／不在／	テレビ電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
／／	国際テレビ電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
／	声の宅配便の発着信
B※2	2in1のBモードの発着信
伝言／伝言	音声伝言メモ／テレビ電話伝言メモに用件が録音／録画されているもの
パケット・パケット／不在／	パケット通信の発着信／不在着信／未確認不在着信
64K／不在／	64Kデータ通信の発着信／不在着信／未確認不在着信
AP／AP	アクセスポイントモードの通信
／フェムトセル	フェムトセルでの発信（音声電話・テレビ電話共通）
接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けたパケット通信や64Kデータ通信の着信
UTC	「自動時刻時差補正」（P.65）の設定にかかわらず、タイムゾーンが「UTC +9」以外のときの発着信（サマータイムが設定されている場合は、サマータイムの設定を反映して表示）

※1 詳細表示画面と一覧表示画面では、一部見えかたが異なるものがあります。

※2 2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示されます。

■表示される発信モード／着信モードのアイコンについて

アイコン※1	説明
FOMA	FOMAでの発着信
Wi-Fi	Wi-Fiでの発信、Wi-Fi（内線または外線）での着信※2
Wi-Fi／Wi-Fi	Wi-Fi（内線）での着信※2
Wi-Fi／Wi-Fi	Wi-Fi（外線）での着信※2
Wi-Fi	ホームUサービスのWi-Fi音声電話の発着信※3
Wi-Fi／Wi-Fi	発信に失敗したWi-Fi電話、着信に失敗したWi-Fi電話（内線または外線）※2
Wi-Fi／Wi-Fi	着信に失敗したWi-Fi電話（内線）※2
Wi-Fi／Wi-Fi	着信に失敗したWi-Fi電話（外線）※2
Wi-Fi	発着信に失敗したホームUサービスのWi-Fi音声電話※3

※1 詳細表示画面と一覧表示画面では、一部見えかたが異なるものがあります。
※2 Wi-Fiの着信の場合に表示されるアイコンは、SIPサーバの設定によって異なります。
※3 ホームUご利用時に表示されます。

おしらせ

◆2in1利用時はモードにかかわらず、リダイヤル／発信履歴／着信履歴がAナンバーで30件ずつ、Bナンバーで30件ずつまで記憶されます。

<リダイヤル／発信履歴>

◆「指定発信制限」を設定すると、それまでのリダイヤル／発信履歴はすべて削除されます。
◆マルチナンバーをサブメニューから選択して発信した場合、リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）の電話番号の下に、付加番号の登録名が表示されます。マルチナンバーの「電話番号設定」で電話番号を登録している場合には、番号も表示されます。サブメニューを利用せずに発信した場合は、「通常発信番号設定」（P.450）を付加番号に設定していても、何も表示されません。
◆010で国際電話をかけた場合、「 」や「 」ではなく「 電話」や「 電話」が表示されます。

<着信履歴>

◆電話帳未登録でリダイヤルに履歴のある電話番号からのFOMA音声電話／Wi-Fi音声電話の着信履歴画面には、「折り返し着信」が表示されます。
◆「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているとき、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信を受けた場合は、着信履歴に表示されません。
◆相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。
◆同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録している場合、着信履歴には、電話帳のフリガナの検索順に従って電話帳の名前が表示されます。→P.98
◆マルチナンバーの契約をしている場合、着信履歴画面から発信すると「通常発信番号設定」（P.450）の設定にかかわらず、着信を受けた番号で発信します。
◆マルチナンバーの付加番号に着信した場合、着信履歴画面（詳細）の電話番号の下に、付加番号の登録名が表示されます。マルチナンバーの「電話番号設定」で電話番号を登録している場合には、番号も表示されます。

サブメニュー

❖リダイヤル画面／発信履歴画面／着信履歴画面（P.75）

発信モード選択※1※2…発信モードを「FOMA」または「Wi-Fi」から選択します。
発信者番号通知※3…P.78
プレフィックス※3…P.79
内線特番※1※3…Wi-Fi音声電話をかけるときの内線特番を入力します。→P.493
国際電話発信※3…P.80
2in1／マルチナンバー※3…2in1設定がONでデュアルモードのときは「Aナンバー、Bナンバー、設定消去」（P.456）から選択します（Aモード、Bモードのときは利用できません）。
2in1設定がOFFのときはマルチナンバーの「基本契約番号、付加番号1、付加番号2、設定消去」（P.451）から選択します。
発信モード表示※5※6…発信モードのアイコンが表示されます。表示を終了するにはCLRを押します。
呼出時間表示※5※7…不在着信履歴が表示され、呼出時間が表示されます。
着信モード表示※5※7…着信モードのアイコンが表示されます。表示を終了するにはCLRを押します。
電話帳登録…P.96
電話帳参照…「リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す」→P.98
デスクトップ貼付…P.124
メール作成…P.152
SMS作成※4…P.186

居場所を確認…ｉモードサイトに接続し、電話番号からイマドコかんたんサーチを実行します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

送信アドレス一覧※6**、受信アドレス一覧**※7…それぞれの一覧画面を表示します。

テレビ電話画像選択…テレビ電話中に送信する画像を「キャラ電」から選択します。
設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

拡大表示⇔標準表示※5…表示する名前の文字サイズを切り替えます。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2 通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。
※3 詳細表示画面でのみ利用できる機能です。
※4 2in1のモードをAモードまたはデュアルモードにし、Aモードの履歴を選択している場合のみ利用できる機能です。
※5 一覧表示画面でのみ利用できる機能です。
※6 リダイヤル画面、発信履歴画面でのみ利用できる機能です。
※7 着信履歴画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

◆リダイヤル画面／発信履歴画面から「全削除」を行うと、リダイヤルと発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、また発信履歴を「1件削除」「選択削除」してもリダイヤルからは削除されません。

◆2in1設定がONのときにリダイヤル画面／発信履歴画面／着信履歴画面から「全削除」を行うと、2in1のモードにかかわらず、Aモード・Bモードのすべてのリダイヤル／発信履歴／着信履歴が削除されます。

<メール作成>

◆電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合、登録されているメールアドレスを宛先としたメールを作成します。メールアドレスが複数登録されている場合は1番目のメールアドレスを宛先とします。

声の宅配便

FOMA音声電話をかけることができる画面で、ソフトキーなどを押して音声発信を行い、メッセージを録音することで相手側へお客様の声を届けることができるサービスです。(お申し込み:不要、月額使用料:無料)

- メッセージは1件あたり最長15分、最大500件録音でき、最長720時間保存されます。
また、大切なメッセージを最大5件保護することもできます（保護を解除すると、720時間経過後に自動的に消去されます）。
- 声の宅配便は以下の画面から発信できます。
  - 電話帳一覧／詳細画面→P.97
  - 電話番号入力画面→P.70
  - リダイヤル、発信履歴、着信履歴の一覧／詳細画面→P.75
  - ポーズダイヤルの送信先電話番号入力画面→P.79
  - FOMA音声電話の伝言メモ再生中画面→P.88
  - 直デン画面→P.103
- テレビ電話、Wi-Fi音声電話では、声の宅配便を利用できません。
- 声の宅配便の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

声の宅配便サービスの基本的な流れ

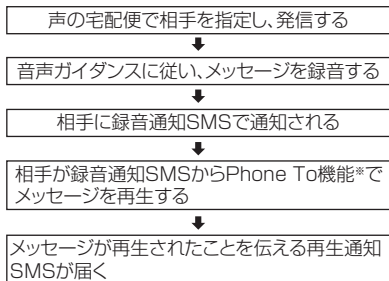
声の宅配便で相手を指定し、発信する

音声ガイダンスに従い、メッセージを録音する

相手に録音通知SMSで通知される

相手が録音通知SMSからPhone To機能※でメッセージを再生する

⬇

メッセージが再生されたことを伝える再生通知SMSが届く

※ Phone To機能について→P.213

● メッセージの録音について

- メッセージ録音時は、「186」／「184」を付けて発信できます。ただし、電話番号を通知しないで発信した場合、相手側が「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定していると、メッセージを録音できません。
- メッセージ録音は、相手側の「迷惑電話ストップサービス」の着信拒否設定の対象となります。

● メッセージ録音通知SMSについて

- 発信者がメッセージの録音を終了すると、相手側に録音通知SMSが送信されます。受信者は、録音通知SMS本文内の項目を選択して音声発信（Phone To機能）により、録音メッセージを直接再生することができます。

● 再生通知機能について

- 録音通知SMSの受信者がメッセージ再生をすると、メッセージの送信者に対して再生通知SMSが送信されます。

●再生したことを相手に知らせたくない場合は、再生通知機能を「停止」に設定することで再生通知SMSが送信されなくなります（お買い上げ時は、再生通知機能が「開始」に設定されています）。
●受信者が同一のメッセージを複数回再生した場合は、初回の再生のみの再生通知SMSが送信されます。
●番号非通知の録音メッセージを再生した場合は、再生通知SMSが送信されません。

おしらせ

◆メッセージの録音、再生には通話料金がかかります。
◆声の宅配便は、海外からはご利用できません。
◆声の宅配便の SMS は、受信者が SMS 拒否設定（P.149）を設定していても受信されます。

サービスおよび再生通知機能の開始・停止

1 MENU ▶「電話機能」▶「声の宅配便」▶「設定」

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合
▶「Aナンバー」または「Bナンバー」

2 「YES」▶音声ガイダンスの指示に従って設定

メッセージの一覧再生

録音通知SMS本文内の項目を選択するだけでメッセージを簡単に再生することができます。

1 録音通知SMS詳細画面で「再生」▶「YES」

音声ガイダンスに従い、メッセージを再生します。
再生後、音声ガイダンスに従い、そのままメッセージの返信をしたり大切なメッセージを保護したりできます。

■ メインメニューから再生する場合
▶MENU▶「電話機能」▶「声の宅配便」▶「メッセージ再生」▶「YES」
※ 2in1のモードがデュアルモードのときは、「Aナンバー」か「Bナンバー」を選択します。

発信者番号通知／非通知

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けてダイヤル

電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」を、通知しない場合は「184」を付けてダイヤルします。
●Wi-Fi音声電話では本機能は利用できません。

■電話番号を通知する場合
186－［相手先の電話番号］▶ [通話]（音声電話）、[カメラ]（テレビ電話）

■電話番号を通知しない場合
184－［相手先の電話番号］▶ [通話]（音声電話）、[カメラ]（テレビ電話）

サブメニューから通知／非通知の選択

電話番号入力画面および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面のサブメニューから通知／非通知を選択します。
<例：電話番号入力画面からFOMA音声電話をかける場合>

1 相手の電話番号を入力

2 MENU ［サブメニュー］▶「発信者番号通知」▶「通知しない」または「通知する」

■「発信者番号通知」を解除する場合
▶「設定消去」
「設定消去」を選択すると「発信者番号通知」の「設定」で設定した内容になります。

3 [通話]（音声電話）、[カメラ]（テレビ電話）

プッシュ信号

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。
プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録し、送信します。p（ポーズ）を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。
●登録できるダイヤルデータは1件のみです。
●ダイヤルデータに登録できる文字は0～9、#、＊、p（ポーズ）です。

●p（ポーズ）をダイヤルデータの先頭に入力したり、連続して入力することはできません。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「発信詳細設定」▶「ポーズダイヤル」

■ すでにダイヤルデータが登録されている場合
登録されているダイヤルデータが表示されます。
表示されているダイヤルデータをそのまま送る場合は操作3に進みます。

■ ダイヤルデータを削除する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「削除」▶「YES」

2 📷［編集］▶ダイヤルデータを入力
0～9、#、＊を押してダイヤルデータを入力してください。

■ p（ポーズ）を入力する場合
▶＊（1秒以上）

3 ■［送信］▶送信先の電話番号をダイヤル▶✓または■［発信］
入力した電話番号に電話がかかり、呼出中になると最初のp（ポーズ）までのダイヤルデータが表示されます。p（ポーズ）は表示されません。

■ 声の宅配便を利用する場合
▶✉［声宅配］▶音声ガイダンスに従ってメッセージを録音
声の宅配便について→P.77

4 ✓または■［送信］
✓または■［送信］を押すたびに、p（ポーズ）までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話中画面になります。

■ ダイヤルデータをまとめて送出する場合
▶📹（1秒以上）▶「一括送出」
相手によっては一括送出できない場合があります。

おしらせ

◆受信側の機器によっては、プッシュ信号を受信できない場合があります。

プレフィックス機能

国際アクセス番号や発信者番号の通知／非通知（186／184）など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号をあらかじめ登録しておき、電話をかけるときに付加します。

プレフィックス番号の登録

●プレフィックスは7件まで登録できます。
●番号に登録できる文字は0～9、#、✗、＋です。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「発信詳細設定」▶「プレフィックス設定」

■ プレフィックスを削除する場合
▶MENU［サブメニュー］▶削除方法を選択

2 「<未登録>」または変更する項目を反転▶📷［編集］

3 登録名を入力

4 番号（プレフィックス）を入力
番号は10桁まで入力できます。

プレフィックス番号を付加した発信

●プレフィックス番号を付加できるのは、電話番号入力画面および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。
<例：電話番号入力画面でプレフィックス番号を付加して音声電話をかける場合>

1 相手の電話番号を入力

2 MENU［サブメニュー］▶「プレフィックス」▶登録名を選択▶✓

国際電話（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモのFOMA端末からご利用いただける国際電話（音声電話・テレビ電話）サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
●音声電話は世界約240の国･地域にかけられます。海外の一般電話や携帯電話と音声電話がご利用できます。
●国際テレビ電話は世界約50の国・地域にかけられます。
テレビ電話に対応した海外通信事業者の携帯電話や一般電話と国際テレビ電話をご利用できます。
●接続可能な国および海外通信事業者などの情報については、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- WORLD CALLの料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLの詳細については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときには、各国際電話サービス会社にお問い合わせください。
- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。
- 国際テレビ電話は接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
- 国際電話をかけるには電話番号を直接ダイヤルしてかける方法以外に、「+」を利用してかけたり、電話番号入力画面および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面のサブメニューから「国際電話発信」や「プレフィックス」を選択してかけることができます。

ダイヤルによる国際電話のかけかた（一般電話にかける場合）

1 010▶国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。（イタリアなど一部の国・地域を除く）
「010」のかわりに、「+」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

2 [発信キー]（音声電話）、[カメラキー]（テレビ電話）

国際電話がかかります。

ダイヤルによる国際電話のかけかた（携帯電話にかける場合）

1 010▶国番号▶相手先携帯電話番号の順にダイヤル

相手先携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。（イタリアなど一部の国・地域を除く）
「010」のかわりに、「+」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

2 [発信キー]（音声電話）、[カメラキー]（テレビ電話）

国際電話がかかります。

簡単な操作での国際電話のかけかた

- 国番号や国際アクセス番号は「国際ダイヤルアシスト」で登録できます。

●「+」を利用して国際電話をかける

「+」が「自動変換機能」で設定した「国際アクセス番号」に置き換わり、国際アクセス番号をダイヤルすることなく、国際電話をかけることができます。

- お買い上げ時は「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能」が「ON」（自動付加）に設定されているため、国際アクセス番号が自動的にダイヤルされます。

1 待受画面表示中に、+（0（1秒以上））▶国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 [発信キー]▶「発信」（音声電話）、[カメラキー]（テレビ電話）▶「発信」

国際電話がかかります。

■ 端末に入力した番号のままで発信する場合

▶「元の番号で発信」
国際電話がかかります。

■ 電話をかけるのをやめる場合

▶「中止」

● サブメニューから国際電話をかける

サブメニューから国番号や国際アクセス番号を付加し、国際電話をかけます。

- 国際電話発信機能が利用できるのは、電話番号入力画面および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話番号入力画面で国際電話発信機能を利用する場合>

1 相手の電話番号をダイヤル

2 [MENU]［サブメニュー］▶「国際電話発信」▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択

選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます（ただし、国番号で「イタリア」を選択した場合を除く）。

3 [通話キー]（音声電話）、[カメラキー]（テレビ電話）

国際電話がかかります。

おしらせ

◆通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。

国際電話設定

国際電話を発信するときの「+」の自動変換の設定を変更したり、国番号、国際アクセス番号を編集、登録することができます。

1 [MENU]▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「国際ダイヤルアシスト」▶以下の項目から選択

自動変換機能…国際電話をかけるときの「+」の自動変換について設定します。

▶「ON」▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択

■ 自動変換しない場合

▶「OFF」

国番号…国際電話をかけるときに使用する国名と国番号を最大22件登録できます。国番号についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

▶項目を反転▶[カメラキー]［編集］▶国名称を入力▶国番号を入力

■ 国番号を削除する場合

▶[MENU]［サブメニュー］▶「削除」▶削除方法を選択

国際プレフィックス…国際電話をかけるときに使用する国際アクセス名と国際アクセス番号を登録します。3件まで登録できます。

▶登録または変更する項目を反転▶[カメラキー]［編 集］▶国際アクセス名を入力▶国際アクセス番号を入力

■ 国際プレフィックスを削除する場合

▶[MENU]［サブメニュー］▶削除方法を選択

サブアドレス設定

電話番号に含まれる「✗」を区切り文字とし、「✗」以降をサブアドレスとして認識するかしないか（ON、OFF）を設定します。

●サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときなどに利用します。

1 [MENU]▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「発信詳細設定」▶「サブアドレス設定」▶「ON」または「OFF」

おしらせ

◆以下のような場合、「✗」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「✗」も含めて普通の電話番号として認識されます。

・電話番号の先頭に「✗」がある場合

・電話番号内に「✗590#／✗591#／✗592#」がある場合

・Wi-Fi音声電話で発信した場合（TTC-SIPを除く）

再接続設定

FOMA端末はFOMA音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態がよくなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続しているときのアラームの鳴りかたを設定します。

●ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。

●Wi-Fi音声電話では通話が途切れても再接続されません。

1 [MENU]▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中詳細設定」▶「再接続機能」▶アラーム音を選択

「アラームなし、アラーム高音、アラーム低音」から選択します。

おしらせ

◆再接続されるまでの間（最長約10秒間）も通話料金がかかります。

ハイパークリアボイス

周囲の騒音を検知し、音声電話やテレビ電話の相手の声を聞きやすくします。

●ハンズフリーが「ON」の場合や、イヤホンマイク（別売）などの外部機器に接続している場合は、本機能は無効になります。

1 FOMA音声通話中画面（P.70）、テレビ電話中画面（P.70）▶[i]［ふつう→強め→Off］

[i]を押すごとに「ふつう（[アイコン]）」→「強め（[アイコン]）」→「OFF（アイコンなし）」に切り替わります。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

強め…周囲の騒音レベルに関係なく、静かな環境でも動作します。

ふつう…周囲の騒音レベルが高いときのみ動作します。

OFF…本機能は動作しません。

■ **メインメニューから設定する場合**

▶MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中詳細設定」▶「ハイパークリアボイス」▶「強め」「ふつう」または「OFF」

おしらせ

◆本機能によって音質や音量が変化しますので、お好みに応じて設定してください。

◆相手の声や、個人差によって効果が異なる場合があります。

◆本機能は本体送話口／マイクで検出した周囲騒音に応じて動作しますので、ご自身の声によっても動作することがあります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑え、音声電話やテレビ電話の声を相手に聞きやすくします。

1 MENU▶**「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中詳細設定」▶「ノイズキャンセラ」▶「ON」または「OFF」**

ハンズフリー対応機器の利用

FOMA端末をカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器からFOMA音声電話の発着信などの操作ができます。

ハンズフリー対応機器との接続方法には、ケーブル接続（USB接続）とBluetooth接続（ワイヤレス）の2つがあります。

ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

● Wi-Fi音声電話では車載ハンズフリーを利用できません。

おしらせ

◆ハンズフリー対応機器から操作する場合は、USBモードの設定を「通信モード」にしてください。

◆着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。

◆ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「消去」に設定中でも、ハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。

◆公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。

◆伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ設定」の設定に従います。

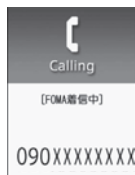
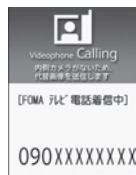
◆FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

FOMA音声電話／テレビ電話の受けかた

※ N-05Cには内側カメラがないため、テレビ電話で相手に送信する画像は代替画像（キャラ電）または外側カメラの映像になります。なお、代替画像（キャラ電）は「画像選択」でマイピクチャの画像などに変更することができます。→P.90

1 **FOMA音声電話、テレビ電話を着信する**

着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。

「スライドアクション設定」（P.396）の「着信応答」を「ON」に設定しておくとFOMA端末を開いたときに通話状態になり、すぐに電話に出られます。

着信中画面

テレビ電話着信中画面

左画面：サブメニュー→P.83
右画面：サブメニュー→P.83

2 FOMA端末を開く

■ 着信中にFOMA音声電話／テレビ電話を応答保留にする場合→P.85

3 [通話キー]または[■]［通話］／［代替画像］

テレビ電話は代替画像でのみ受けることができます。

■ テレビ電話中の操作について

テレビ電話では、代替画像とカメラ映像を切り替えたり、送信する音声をミュート（消音）するなど、テレビ電話中にさまざまな操作が行えます。→P.70

■ ハイパークリアボイスの設定を切り替える場合→P.81

■ 通話中に相手がFOMA音声電話／テレビ電話の通話を切り替えた場合→P.84

■ 通話中のFOMA音声電話／テレビ電話を保留にする場合→P.85

■ FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話する（P.423）かを切り替える場合

▶[通話キー]（1秒以上）

4 通話が終了したら[終話キー]

■ FOMA端末を閉じたままの状態で、終了する場合

▶[サイドキー]（1秒以上）

着信中の表示

■相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号が画面に表示されます。電話帳に登録されている相手からの着信の場合、電話帳に登録した名前が画面に表示されます（自動キーロック中は名前のみ表示されます）。→P.94

- 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録していると、電話帳のフリガナの検索順による最初の名前が表示されます。→P.98
- 名前が表示できる文字数より多い場合は、スクロールして表示します。
- シークレットデータとして登録されている場合は名前などは表示されず、電話番号のみ表示されます。
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、着信中画面に付加番号の登録名が表示されます。

■相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者の非通知理由が表示されます。

■折り返し着信が表示されるとき

電話帳未登録でリダイヤルに履歴のある電話番号からのFOMA音声電話／Wi-Fi音声電話の着信中画面には、「折り返し着信」が表示されます。

サブメニュー

❖着信中画面／テレビ電話着信中画面（P.82）

着信拒否…電話を受けないで着信をそのまま切ります。着信中に着信を拒否しても、着信履歴は残ります。

転送でんわ…「転送でんわサービス」の「転送サービス開始、転送サービス停止」にかかわらず転送先に接続します。

留守番電話…「留守番電話サービス」の「留守番サービス開始、留守番サービス停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターへ接続します。

伝言メモ…「伝言メモ」の設定にかかわらず伝言メモが起動します。

表示切替…付加番号1または付加番号2から転送元番号に表示を切り替えます。マルチナンバー（付加番号1または付加番号2）着信で、かつ転送でんわ着信のときに選択できます。

おしらせ

◆イヤホンマイク（別売）を使って電話を受けることができます。→P.418

◆キャッチホン、留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかをご契約されていれば、「通話中着信設定」を有効にし、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が鳴ります。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合、現在の通話を終了して着信に応答することができます。
- キャッチホンをご契約の場合、FOMA音声電話は現在の通話を保留にして着信に応答することができ、テレビ電話は現在の通話を終了して着信に応答することができます。

◆「音量制限」（P.110）を設定している場合は、着信音の鳴りはじめの3秒間はレベル1の音量で鳴ります。

◆電話帳に登録されていない相手からの動作を設定することができます。→P.144

◆電話帳に登録されている電話番号ごとに着信を制限することができます。→P.141

<テレビ電話>

◆カメラ映像から代替画像（キャラ電）に切り替える場合、キャラ電によっては切り替えに数秒程度の時間がかかることがあります。

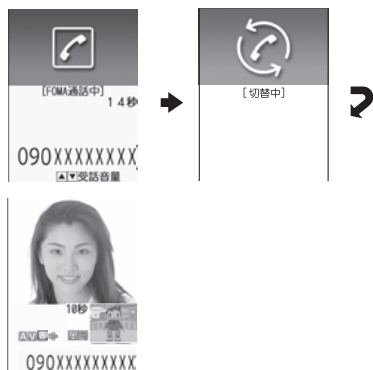
相手がFOMA音声電話／テレビ電話を切り替えたとき

相手からかかってきたFOMA音声通話中／テレビ電話中に、相手が操作を行うことによりFOMA音声電話とテレビ電話が切り替わります。

- 着信側からは切り替え操作を行うことができません。
- 切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替機能通知」を通知するように設定しておく必要があります。→P.90
- FOMA音声電話⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

＜例：相手がFOMA音声電話からテレビ電話に切り替えた場合＞

1 FOMA音声通話中画面（P.70）▶相手がテレビ電話切り替えを行う

切り替え中は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。テレビ電話に切り替わると、代替画像が相手側に送信されます。

■ テレビ電話からFOMA音声電話に切り替えた場合

▶テレビ電話中画面（P.70）▶相手がFOMA音声電話切り替えを行う

FOMA音声電話に切り替わります。

着信アンサー

電話がかかってきたとき、すぐに着信音を止めたり、電話に出られるように設定します。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「着信詳細設定」▶「着信アンサー設定」▶以下の項目から選択

エニーキーアンサー…音声電話に対して有効な機能で、以下のボタンで通話を開始できます。

［通話］、■［通話］、0～9、＊、CLR、カメラ、メール、i、マルチ

※ テレビ電話の場合、通常のボタン操作（［通話］、■［代替画像］でのみ通話を開始できます。

クイックサイレント…以下のボタンを押すかFOMA端末を開くと、相手には呼び出し音を鳴らしたまま、着信音を止めることができます。

0～9、＊、CLR、マルチ、カメラ、メール、i、［サイドボタン］

※ ［サイドボタン］はテレビ電話の場合のみ、着信音を止めることができます。

電話に出るときは、［通話］、■［通話／代替画像］を押します。

OFF…通常のボタンでのみ通話を開始できます。

［通話］、■［通話／代替画像］

おしらせ

◆「クイックサイレント」に設定していても、マナーモード設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。

◆「クイックサイレント」に設定していても、FOMA端末を開くと「スライドアクション設定」の「着信応答」が優先になります。

◆「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」に設定中でも、5（ecoモードのON／OFF）や8（プライバシーアングルのON／OFF）を1秒以上押すと、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は動作しません。

クローズ動作

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「スライド設定」▶「クローズ動作設定」▶以下の項目から選択

ミュート…音声をミュート（消音）します。テレビ電話の場合、相手側に「代替画像」が送信されます。保留音は流れません。

保留…通話を保留（通話中保留）にします。閉じている間、相手に保留音が流れます。テレ

ビ電話の場合、相手側に通話中保留画像が送信されます。

- **スピーカー鳴動する**…相手に保留音が流れ、スピーカからも保留音が流れます。
- **スピーカー鳴動しない**…相手にのみ保留音が流れます。

終話…通話を終了します。[終話キー]を押す操作と同じです。

通話継続…通話を継続します。

おしらせ

◆マナーモード設定中は「スピーカー鳴動する」を選択していてもスピーカから音は鳴りません。
◆イヤホンマイク（別売）を接続している場合、本機能は無効になります。
◆「保留」に設定していても、「キャッチホン」で切り替え通話しているときにFOMA端末を閉じると「ミュート」の動作になります。
◆通話中にCLRを押して保留にしたあとでFOMA端末を閉じた場合、「保留」の設定は無効となります。

受話音量調節

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中詳細設定」▶「受話音量」▶[上下キー]で音量を調節▶■［確定］

「レベル1」（最小）～「レベル6」（最大）の6段階で調節します。

■ **通話中に調節する場合**
音声電話中：[上下キー]
テレビ電話中：[上下キー]
- 通話が終わっても設定は保持されます。

※ 受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、受話音量調節を終了します。

おしらせ

◆ハンズフリーのときも調節できます。

着信中／通話中保留

<例：着信中の電話を保留にする場合>

1 着信中▶[終話キー]

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。
相手には現在応答できないとのガイダンスが流れ、電話がつながった状態のまま保留されます。

■ **FOMA端末を閉じたままの状態で、応答保留にする場合**
▶[サイドキー]（1秒以上）

■ **通話中の電話を保留にする場合**
▶通話中▶CLR
テレビ電話の場合、「テレビ電話設定」の「画像選択」の「通話保留選択」（P.90）で設定した画像が送信されます。

■ **応答保留中／通話保留中に電話を切る場合**
▶[終話キー]

2 電話に出られるようになったら[開始キー]

CLRを押しても保留を解除できます。
テレビ電話の場合は、代替画像が送信されます。

■ **通話中保留の場合**
▶■またはCLR▶「YES」

おしらせ

◆応答保留中や通話保留中でも、通話料金がかかります。
◆「クローズ動作設定」を「保留」にしている場合は、FOMA端末を閉じても通話を保留できます。この場合、FOMA端末を開くと通話を再開できます。

保留音設定

応答保留中または通話保留中に、相手に流れるガイダンスを設定します。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中詳細設定」▶「保留音設定」▶「応答保留音」または「通話中保留音」▶保留音を選択

「応答保留音1、応答保留音2、通話中保留音、おしゃべり1※、おしゃべり2※」から選択します。
[📷]［デモ］を押すと、反転表示している保留音を確認できます。
※ おしゃべりが録音されていないときは利用できません。

公共モード

公共モード（ドライブモード／電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。
- 公共モードとネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。

※1 呼出時間が「0秒」以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスのあとにサービスが動作します。

※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。

公共モード（ドライブモード）

公共モード（ドライブモード）を設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控えるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 待受画面表示中▶[＊]（1秒以上）

公共モード（ドライブモード）に設定され、「🚗」が表示されます。

■ 公共モード（ドライブモード）を解除する場合

▶待受画面表示中▶[＊]（1秒以上）

公共モード（ドライブモード）が解除され、「🚗」の表示が消えます。

● 公共モード（ドライブモード）を設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話、テレビ電話の着信があっても着信音は鳴りません。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。
- FOMA 音声電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手には、公共モード（ドライブモード）の映像ガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。ただし、電源が入っていないときや電波が届かないところにいるときは、公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- メールを受信したときには着信音は鳴らずに「新着メール」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、以下の音が鳴りません。
  - 音声電話／テレビ電話
  - メール、メッセージなどの着信音
  - 各種アラーム音
  - ウェイクアップ音
  - スライド音
  - 充電確認音
  - ｉアプリのソフトの鳴動
  - パケット通信／64Kデータ通信着信音
  - GPS機能の検索要求通知音
- Wi-Fi音声電話を着信しても応答しません。Wi-Fi音声電話をかけてきた相手にガイダンスは流れず、着信を切断します。

おしらせ

◆公共モードの設定／解除ができるのは待受中のみです。「圏外」表示のときも、設定／解除はできます。
◆公共モードを設定していても通常どおり電話をかけることができます。
◆緊急通報番号（110番、119番、118番）へFOMA音声電話をかけると、公共モードは解除されます。
◆公共モードとマナーモードや伝言メモを同時に設定しているときは、公共モードが優先されます。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 待受画面表示中

▶[＊][2][5][2][5][1]▶[📞]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。

■ 公共モード（電源OFF）を解除する場合

▶待受画面表示中▶[＊][2][5][2][5][0]▶[📞]

■ 公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

▶待受画面表示中▶[＊][2][5][2][5][9]▶[📞]

● 公共モード（電源OFF）を設定すると

「*25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
サービスエリア外または電波が届かないところにいるときも、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- Wi-Fi音声電話を着信しても応答しません。Wi-Fi音声電話をかけてきた相手にガイダンスは流れず、着信を切断します。

不在着信

かかってきた電話に出られなかったとき、待受画面に「 01」が表示されます。
「 01」を選択すると、着信日時や発信者の名前などを確認できます。

- 「スライドアクション設定」(P.396）の「不在着信履歴閲覧」を「ON」にすると、FOMA端末を開いたときにすぐに電話の相手を確認できます。
- 「情報を通知するデスクトップアイコン」→P.36
- 「不在着信」のデスクトップアイコンは発信者ごとに設定することができます。
  「相手別アイコンの変更」→P.125

1 待受画面表示中▶■▶「 01」を選択

不在着信履歴一覧画面が表示されます。

● 着信イルミネーションの点滅について

不在着信や新着メールなどがあると着信イルミネーションが、それぞれの設定色に従って点滅し続けます。

- 電話／テレビ電話：「FOMA電話」の設定色
- 新着メール：「メール」の設定色

■点滅色・点滅条件について

- 「着信イルミネーション」の不在お知らせを「OFF」に設定すると、点滅しません。
- 「着信イルミネーション」でグラデーションを設定している場合は、お買い上げ時の設定色で点滅します。
- 電話帳に、個別の着信イルミネーションを設定できます。→P.101
- 公共モード（ドライブモード）中は点滅しません。

■消灯するときは

- ディスプレイに表示されている「不在着信あり」「新着メール」のアイコンを選択して内容を確認するか、CLR（1秒以上）を押します。

伝言メモ／テレビ電話伝言メモ

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音／録画します。

- 1件につき最大20秒で、音声電話は5件、テレビ電話は2件まで録音／録画できます。

伝言メモ設定

1 MENU▶「電話機能」▶「伝言メモ／音声メモ」▶「伝言メモ設定」▶以下の項目から選択

ON…「電話」または「テレビ電話」を選択し、応答メッセージの種類を「標準、プライベート、英語、おしゃべり1※、おしゃべり2※」から選択し、伝言メモを設定します。
📷［デモ］を押すと、反転表示している応答メッセージが再生されます。

OFF…伝言メモの設定を解除します。

※ おしゃべりが録音されていないときは利用できません。

2 呼出時間（000〜120秒の3桁）を入力

伝言メモが設定され、待受画面に「」と「」が表示されます。

おしらせ

- ◆「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときに伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。
- ◆「呼出時間表示設定」で設定した無音時間が伝言メモの呼出時間よりも長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
- ◆「個別着信音／画像」で電話番号ごと、「グループ着信音／画像」でグループごとに応答メッセージを設定することもできます。

電話がかかってきたときの伝言メモ機能の動作

設定した時間を経過すると伝言メモが起動します。

- 音声電話をかけてきた相手には、応答メッセージが流れ録音を開始します。

●テレビ電話をかけてきた相手には、「伝言メモ準備中 Preparing」画像を送信し応答メッセージを再生、「伝言メモ録画中 Recording」画像を送信し録画を開始します。

■伝言メモの録音／録画がはじまると

●録音／録画中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。

例：音声電話

■録音／録画中に音声電話／テレビ電話に出る場合

▶

■伝言メモの録音／録画が終了すると

●元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」または「テレビ電話伝言メモあり」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンを選択すると、それぞれの内容を確認できます。→P.88

●ディスプレイ上部のアイコン表示エリアには、それぞれの録音／録画件数を示すアイコンが表示されます。

～: 音声電話伝言メモあり（数字は件数）

／: テレビ電話伝言メモあり（数字は件数）

自動音声メモがONの場合は、以下のようなアイコンが表示され、件数は表示されません。

: 音声電話伝言メモあり

: 音声電話伝言メモ・自動音声メモともにあり

おしらせ

◆マナーモードを設定している場合、録音中の相手の声は聞こえません。

◆伝言メモの録音／録画中はほかの電話がかかってきても受けることができません。

クイック伝言メモ

伝言メモ設定を「ON」に設定していなくても、着信中にボタン1つで用件を録音／録画します。

1 着信中▶#

伝言メモの録音／録画が開始され、同時にマナーモードに設定されます。テレビ電話の場合は、相手には「画像選択」の「伝言メモ選択」で設定した画像が送信されます。

おしらせ

◆この操作で「伝言メモ設定」を「ON」に設定することはできません。

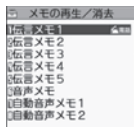
◆録音／録画件数がいっぱいのときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモは起動せず着信し続けます（「マナーモード選択」で設定された動作条件で着信し続けます）。

伝言メモ・音声メモ・テレビ電話メモの再生／消去

●未再生の伝言メモがある場合は待受画面に「伝言」（伝言メモあり）または「伝言」（テレビ電話伝言メモあり）が表示されます。

<例：未再生の伝言メモを確認する場合>

1 待受画面表示中▶■▶「伝言」（伝言メモあり）または「伝言」（テレビ電話伝言メモあり）を選択

録音されている項目に、着信種別を示すアイコンが表示されます。テレビ電話伝言メモが録画されている場合と音声メモが録音されている場合は「★」が付きます。

メモの再生／消去画面

■ メニュー操作で再生する場合

▶MENU▶「電話機能」▶「伝言メモ／音声メモ」▶「メモの再生／消去」または「テレビ電話メモの再生／消去」

■ 伝言メモや音声メモを消去する場合

▶MENU［サブメニュー］▶消去方法を選択

2 再生する項目を選択

■ 伝言メモ／音声メモ／自動音声メモ
「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終了すると「ピッピッ」という音が鳴ります。

- 再生中に次のメモを再生する場合
  ▶[ ]［ ］
  [ ]［ ］を押すごとに、伝言メモ→音声メモ→自動音声メモの順に新しいものから再生されます。
- 停止する場合
  ▶[■]［停止］またはCLR
  メモの再生／消去画面に戻ります。
- 再生中に表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話を発信する場合
  ▶[ ]（音声電話※）、[ ]（テレビ電話）

※ 電話番号入力画面（P.70）が表示されます。以降の操作は「FOMA音声電話／テレビ電話のかけかた」（P.70）を参照してください。

- 声の宅配便を利用する場合
  ▶[ ]［声宅配］▶音声ガイダンスに従ってメッセージを録音
  声の宅配便について→P.77
- 再生中のメモを消去する場合
  ▶MENU［サブメニュー］▶「消去」▶「YES」

■ テレビ電話伝言メモ
再生がはじまります。再生が終了すると、テレビ電話メモの再生／消去画面に戻ります。

- 再生中に音量を調節する場合
  ▶[ ]
- 停止する場合
  ▶[■]［ ■ ］またはCLR
  テレビ電話メモの再生／消去画面に戻ります。
- 再生中のメモを消去する場合
  ▶[ ]［消去］▶「YES」

■表示される伝言メモ／音声メモのアイコンについて

アイコン	説明
電話	FOMA音声電話の伝言メモ
Wi-Fi	Wi-Fi音声電話（内線または外線）の伝言メモ※1
Wi-Fi／Wi-Fi	Wi-Fi音声電話（内線）の伝言メモ※1
Wi-Fi／Wi-Fi	Wi-Fi音声電話（外線）の伝言メモ※1
Wi-Fi	ホームUサービスのWi-Fi音声電話の伝言メモ※2
★	テレビ電話伝言メモ、音声メモ

※1 Wi-Fi音声電話の伝言メモの場合に表示されるアイコンは、SIPサーバの設定によって異なります。
※2 ホームUご利用時に表示されます。

送信画像設定

テレビ電話で自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。「キャラ電」→P.350

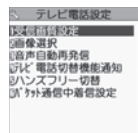
●「画像選択」の「代替画像選択」から「キャラ電」を設定しておくと、お気に入りのキャラ電を表示できます。
また、電話帳や個別着信音／画像にキャラ電を設定しておいてもキャラ電を利用できます。

1 テレビ電話で代替画像（キャラ電）を送信中▶ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

キャラ電

ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているアクションを行います。
「キャラ電を表示して操作」→P.350

テレビ電話設定

1 MENU▶「電話機能」▶「テレビ電話設定」

テレビ電話設定画面

2 以下の項目から選択

受信画質設定…テレビ電話中の画質を「標準、画質優先、動き優先」から選択します。

画像選択…P.90

音声自動再発信…テレビ電話に接続できなかった場合、FOMA音声電話に切り替えて電話をかけるかどうか（ON、OFF）を設定します。
テレビ電話切替機能通知…P.90
ハンズフリー切替…テレビ電話での通話開始時に、自動的にハンズフリーに切り替えるかどうか（ON、OFF）を設定します。
パケット通信中着信設定…P.90

テレビ電話中に送信する画像

- ファイル制限が設定されている画像は設定できません。

1 テレビ電話設定画面（P.89）▶「画像選択」▶以下の項目から選択
応答保留選択、通話保留選択、代替画像選択、伝言メモ選択、伝言メモ準備選択、音声メモ選択…画像を選択します。

2 送信する画像を選択
内蔵…メッセージのみを送信します。
自作…画像とメッセージを送信します。
画像を変更する場合は、サブメニューの「設定内容変更」で、マイピクチャの画像から選択します。
キャラ電※…「代替画像設定」で設定されているキャラ電を送信します。
キャラ電一覧画面のサブメニュー→P.350
キャラ電の優先順位→P.95
キャラ電を変更する場合は、サブメニューの「設定内容変更」で、キャラ電一覧から選択します。
※「代替画像選択」を選択したときのみ利用できます。

FOMA音声電話とテレビ電話の切り替え設定

自分のFOMA端末がFOMA音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを、相手側のFOMA端末に通知するかしないかを設定します。
- 「切替機能通知停止」に設定すると、切り替えることができなくなります。
- 通話中、Wi-Fiシングルモード、FOMA圏外の場合、本機能の設定を行うことはできません。

1 テレビ電話設定画面（P.89）▶「テレビ電話切替機能通知」▶以下の項目から選択
切替機能通知開始、切替機能通知停止…切替機能通知を開始または停止します。
切替機能通知設定確認…「テレビ電話切替機能通知」の設定状態を確認します。

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法

- テレビ電話はマルチアクセスを使用できないため、iモード通信中やメールの送受信中のテレビ電話の着信に対しては、本機能の設定に従って動作します。→P.542

1 テレビ電話設定画面（P.89）▶「パケット通信中着信設定」▶以下の項目から選択
テレビ電話優先…テレビ電話の着信中画面に移ります。テレビ電話の着信に応答するとiモード通信が切断されます。
パケット通信優先…テレビ電話の着信を拒否します。
留守番電話…留守番電話サービスをご契約されている場合、「留守番電話サービス」の「留守番サービス開始、留守番サービス停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。ご契約されていない場合は、「パケット通信優先」の動作になります。
転送でんわ…転送でんわサービスをご契約されている場合、「転送でんわサービス」の「転送サービス開始、転送サービス停止」にかかわらず転送先に接続します。転送先を設定していないときやご契約されていない場合は、「パケット通信優先」の動作になります。

おしらせ

<受信画質設定>
◆テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、「受信画質設定」の設定内容にかかわらず、画像がモザイク表示になるときがあります。

<画像選択>
◆代替画像に設定したキャラ電を削除したときなど、「キャラ電」の代替画像が表示できない場合は、内蔵されているキャラ電「ビーンズ（Beans）」を送信します。内蔵されているキャラ電「ビーンズ（Beans）」が削除されている場合は「内蔵」の静止画の代替画像を送信します。

<音声自動再発信>
◆FOMA音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、デジタル通信料ではなく音声通話料になります。
◆再発信が行われたとき、「リダイヤル／発信履歴」にはFOMA音声電話の履歴だけが記憶されます。
◆音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手が話し中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

＜ハンズフリー切替＞

◆以下の場合はハンズフリー切替を「ON」に設定していても、自動的にハンズフリーに切り替わりません。
- マナーモード設定中の場合
- イヤホンマイク（別売）接続中（ただし、マイクは「イヤホンマイク設定」の設定に従います）
- 着信時に応答保留または伝言メモが起動した場合

＜パケット通信中着信設定＞

◆「テレビ電話優先」に設定していても、音声通話中にｉモード通信を行っているときなど、マルチアクセスを使用している場合はテレビ電話の着信に応答することはできません。

◆「パケット通信優先」「留守番電話」「転送でんわ」に設定した場合、テレビ電話の着信は「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶されます。

◆「テレビ電話優先」または「パケット通信優先」に設定していても、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。

送信する画像の拡大

テレビ電話中に自分側の映像を拡大して相手側に送信します。

●ズームは、約5.5倍まで16段階に調節できます。テレビ電話を終了すると、ズームは1倍（標準）に戻ります。

●代替画像を送信中のときは画像を拡大できません。

1 テレビ電話中▶ を押して倍率を調節

外部機器と接続してテレビ電話を使用

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。

この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイク（別売）やUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

●USBモードの設定を「通信モード」にしてください。なお、外部機器との接続に関する設定は不要です。

●テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定･操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。

●本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフトは、ドコモのホームページからダウンロードしてご利用ください。

おしらせ

◆音声通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。

◆キャッチホン、留守番電話、転送でんわのいずれかをご契約いただいていると、FOMA音声通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、現在の通話を終了してから着信に応答することができます。外部機器からテレビ電話中にFOMA音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳 94
電話帳登録 94
リダイヤルや発信履歴などからの電話帳登録 96
グループ設定 96
電話帳検索 97
電話帳修正 100
電話帳削除 100
登録状況確認 101
電話番号やメールアドレスごとの発着信設定 101
直デン 102
ツータッチダイヤル 103

FOMA端末で使用できる電話帳

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるドコモUIMカードの電話帳の2種類の電話帳があります。お客様の用途にあわせて使い分けてください。

FOMA端末電話帳とドコモUIMカードの電話帳の違い

■登録内容

登録項目	FOMA端末の電話帳	ドコモUIMカードの電話帳
件数	最大1,000件	最大50件
グループ	グループなし、01～19	グループなし、01～10
電話番号の登録	1件に5番号（電話帳全体で5,000番号）	1件に1番号
	23種類のアイコンから選択	「☎」のみ
メールアドレスの登録	1件に5アドレス（電話帳全体で5,000アドレス）	1件に1アドレス
	5種類のアイコンから選択	「✉」のみ
画像の登録	1件に静止画、キャラ電を1件ずつ（電話帳全体でそれぞれ100件）	－
そのほかのデータの登録	名前、フリガナ、郵便番号、住所、位置情報、誕生日、メモ、iコンシェル 住所※、iコンシェル URL※、iコンシェル メモ※	名前、フリガナ

※ ケータイデータお預かりサービスで電話帳データが更新されたときに自動的に登録／更新されます。自分で登録することはできません。また、iコンシェルをご契約されていない場合は表示されません。

■FOMA端末の電話帳の特徴

FOMA端末の電話帳に登録すると、以下のような便利な機能が使えます。

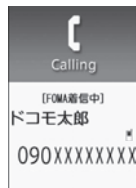
- 「直デン」→P.102
- 「ツータッチダイヤル」→P.103
- 「個別着信音／画像」「グループ着信音／画像」→P.101
- 「個別発着信動作選択」→P.141
- シークレットデータとして登録→P.131
- シークレットコードの設定→P.100

■ドコモUIMカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがドコモUIMカードに登録されるので、ドコモUIMカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示

■音声電話、テレビ電話

電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。

電話帳に静止画を登録していると、その画像が表示されます。ただし、登録した画像のサイズやデータ量によっては、表示が遅れることがあります。
「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

■iモードメール、SMSの名前表示について

電話帳に登録した相手にiモードメールまたはSMSを送受信すると、送信メールや受信メールの一覧画面、詳細画面、アドレス一覧には相手の名前が表示されます。

電話帳登録

- 「名前」を入力しないと電話帳の登録ができません。

1 待受画面表示中▶[]（1秒以上）▶登録先を選択▶名前を入力

漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号、絵文字（本体のみ）で入力します。登録できる文字数は、本体で全角16文字、半角32文字、ド

コモUIMカードで全角10文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで21文字までです。

2 フリガナを確認▶■［確定］

■ フリガナが間違っていた場合
カタカナ（本体は半角、ドコモUIMカードは全角）、半角の英数字、記号で修正します。
登録できる文字数は、本体で半角32文字、ドコモUIMカードで全角12文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで25文字までです。

3 以下の項目から選択

グループ選択…登録するグループを本体では「グループ01～19」から、ドコモUIMカードでは「グループ01～10」から選択します。グループを選択しないと、自動的に「グループなし」に登録されます。

電話番号入力…電話番号を登録します。
- 本体ではさらにアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。
- 「<電話番号>」を選択すると電話番号を追加登録できます。
- 電話番号にはWi-Fi音声電話の電話番号も登録できます。

メールアドレス入力…メールアドレスを登録します。
- 半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。本体ではさらにアイコンを選択します。
- 「<メールアドレス>」を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

郵便番号入力、住所入力…住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、絵文字などを、全角50文字、半角100文字まで入力できます。

位置情報付加…位置情報を「現在地確認から付加、位置履歴から付加、画像から付加」から選択して登録します。
「位置情報詳細」を選択すると、登録済みの緯度・経度、測地系、測位レベルを確認できます。「位置情報削除」を選択すると、登録済みの位置情報を削除できます。

誕生日入力…「年月日入力」を選択して誕生日（西暦・月日）を入力します。設定できる西暦は、1800年から2099年までです。入力した誕生日はスケジュールに表示されます。→P.400
「お知らせ設定」を選択して誕生日をお知らせする日を「1週間前、3日前、前日、当日」から選択します（設定した項目には「★」が付きます）。ここで登録した日の午前0:00になると、着信イルミネーションの点滅およびディスプレイにデスクトップアイコンを表示して、お知らせがあることを通知します。
→P.36

メモ入力…漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角100文字、半角200文字まで入力できます。

静止画登録…着信時に表示される静止画を撮影または選択します。

キャラ電選択…テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

メモリ番号入力…メモリ番号は電話帳の登録時に自動的※に割り当てられますが、000～999の範囲でお好きな番号を入力することもできます。

※ 010～999の空き番号に、若い順に割り当てられます。010～999に空き番号がないときは000～009の空き番号に割り当てられます。

4 ［完了］

おしらせ

◆記号、絵文字を使って登録された電話帳は、赤外線通信などでデータ転送を行うと正しく表示されない場合があります。

◆メールアドレスは、ドメインまで正しく登録してください。ドメインとは、@（アットマーク）よりあとの文字のことです。
ただし、相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。

◆2in1利用時に電話帳を登録すると、「電話帳2in1設定」（P.455）も設定します。Aモードのときは「A」に、Bモードのときは「B」に自動的に設定され、デュアルモードのときはどちらかを選択します。
「電話帳2in1設定」の設定内容（A／B／AB）は、電話帳一覧画面や電話帳詳細画面に表示されます（デュアルモード時のみ）。

<キャラ電設定の優先順位>

◆キャラ電の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
① 個別着信音／画像のキャラ電設定
② グループ着信音／画像のキャラ電設定
③ 電話帳登録のキャラ電
④ 画像選択の代替画像選択

編集を中断した電話帳があるとき

編集中に電池切れになった場合やマルチタスクを利用してツールグループのタスクを新たに起動させた場合など中断した電話帳の編集を再開できます。

1 MENU▶「電話機能」▶「電話帳」▶「電話帳登録」▶登録先を選択▶「再編集」

編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

■ 新規に登録する場合
▶「新規」

リダイヤルや発信履歴などからの電話帳登録

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」「受信アドレス一覧」「送信アドレス一覧」またはｉモードブラウザ画面、電話番号入力画面などから電話帳に登録します。
<例:「着信履歴」からFOMA端末電話帳に追加登録する場合>

1 着信履歴画面(P.75)▶MENU[サブメニュー]▶「電話帳登録」

2「本体」

■ ドコモUIMカードに登録する場合
▶「UIM(FOMA)カード」

3「追加登録」▶登録する電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.97

■ 新規に登録する場合
▶「新規登録」

■ ドコモUIMカードの場合
▶「新規登録」または「上書き登録」

4 電話帳詳細画面を表示▶■[選択]

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。電話帳の修正のしかた→P.100

5 修正が終わったら▶📷[完了]

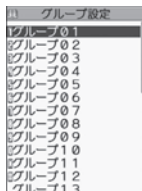
■ 上書きするかどうかのメッセージが表示された場合
▶「YES」

おしらせ

◆「発信履歴」「リダイヤル」に表示される発信者番号通知の情報(「通知」/「非通知」)は、電話帳には登録されません。
◆Wi-Fi音声電話の履歴は、ドコモUIMカードの電話帳に登録できない場合があります。

グループ設定

電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、「野球」や「サッカー」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。
●「グループなし」のグループ名は変更できません。

1 電話帳一覧画面(P.97)▶MENU[サブメニュー]▶「設定」▶「グループ設定」

グループ設定画面(サブメニュー→P.96)

2 グループを選択▶グループ名を入力

「▦」が表示されているグループは、ドコモUIMカードのグループを示します。FOMA端末の電話帳とドコモUIMカードの電話帳に同じグループ名を付けた場合でも、別々のグループとして表示されます。

サブメニュー

❖グループ設定画面(P.96)

グループ名編集…グループ名を編集します。
グループ着信音/画像…P.101
グループ名初期化…変更したグループ名を初期化して、お買い上げ時のグループ名に戻します。

おしらせ

◆グループ名を初期化しても、「グループ着信音/画像」の設定は解除されません。

電話帳検索

電話をかける相手の電話帳を呼び出して電話をかけます。

1 [MENU]▶「電話機能」▶「電話帳」▶「電話帳検索」

2 **検索方法を選択**

フリガナ検索…▶フリガナを入力▶[◎]
　フリガナを先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

名前検索…▶名前を入力▶[◎]
　名前を先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

電話番号検索…▶電話番号を入力▶[◎]
　電話番号の最初の数桁または途中の数桁を入力します。電話番号入力画面（P.70）で電話番号の一部を入力し[◎]でも検索できます。

アドレス検索…▶メールアドレスを入力▶[◎]
　アドレスは一部を入力するだけで構いません。

メモリ番号検索…▶3桁のメモリ番号を入力
　ドコモUIMカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。

グループ検索…▶目的のグループを選択
　ドコモUIMカードの電話帳はFOMA端末の電話帳のグループとは別グループになります。

あかさたな検索…50音タブの一覧画面から検索します。

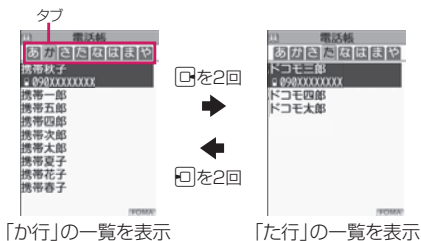
検索が終了すると、検索条件を満たした電話帳一覧画面が表示されます。
ドコモUIMカードに登録されている電話帳は「[UIM]」が表示されます。
ｉコンシェル 住所、ｉコンシェル URL、ｉコンシェルメモが登録されている電話帳には「[ｉコンシェル]」が表示されます。

■ **一覧画面から音声電話をかける場合**
▶電話をかける電話帳を反転▶[発信]
電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

電話帳一覧画面（サブメニュー→P.98）

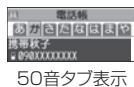
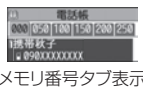
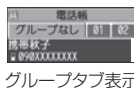
■ **声の宅配便を利用する場合**
▶メッセージを録音する電話帳を反転▶[カメラ]［[声の宅配便]］
▶音声ガイダンスに従ってメッセージを録音
声の宅配便について→P.77

■ **タブを切り替える場合**
<例：50音タブ表示のときに、「か行」から「た行」にタブを切り替える場合>

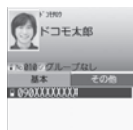
「か行」の一覧を表示　　「た行」の一覧を表示

■ **タブ表示を切り替える場合**
▶[MENU]［サブメニュー］▶「表示」▶「タブ表示切替」
「50音タブ表示、メモリ番号タブ表示、グループタブ表示」から選択します。

50音タブ表示

メモリ番号タブ表示

グループなし 01 02
携帯秋子
090XXXXXXXX

グループタブ表示

■ **50音タブ表示、グループタブ表示でフリガナを入力して電話帳を探す場合**
▶フリガナを入力

3 **目的の電話帳を選択**

電話帳詳細画面（サブメニュー→P.99）

4 **[◎]で目的の電話番号を表示▶[発信]または[■]［発信］（音声電話）、[カメラ]（1秒以上）（テレビ電話）**

■ **メールを送信する場合**
▶[◎]で、目的のメールアドレスを表示させる
▶[■]［MAIL］

「ｉモードメール作成／送信」→P.152

■ 声の宅配便を利用する場合
▶[ ]▶音声ガイダンスに従ってメッセージを録音
声の宅配便について→P.77

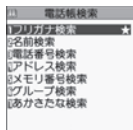
■ 赤外線通信で電話帳データを送信する場合
▶［赤外線］
「赤外線通信によるデータ転送」→P.379

おしらせ

◆通話中にを押した場合はグループ検索画面が表示され、を押した場合はあかさたな検索画面が表示されます。
◆電話帳一覧画面で［▲ページ］、［▼ページ］を押すと同一タブ内におけるページの切り替えが可能です。
◆電話帳一覧画面で電話帳の名前や名前の一部を入力すると、入力した名前の電話帳を呼び出せます。入力中は、1文字入力する毎に最も近い名前の電話帳が検索されます。
◆電話帳詳細画面でｉコンシェルURLを表示してを押すと、そのURLサイトやインターネットホームページを表示することができます。
Web To機能→P.213

検索方法を指定してすばやく電話帳を呼び出す

目的に応じて、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、あかさたな順の7とおりの検索方法から選んで、電話帳を検索します。
●電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、以下の順で検索します（メモリ番号検索以外）。
50音→英字→数字→記号→フリガナが登録されていないもの
※ フリガナの先頭にスペースが入力されていると最初に検索されます。

1 待受画面表示中▶

■ 優先して表示する検索方法を設定する場合
▶優先したい検索方法を反転▶［優 先］
▶「OK」
優先に設定した検索方法には「★」が付きます。
待受画面表示中にを押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

■ 検索方法の優先設定を解除する場合
▶待受画面表示中▶▶CLR▶「★」が付いている検索方法を反転▶［解除］

2 検索方法を選択

フリガナ検索、名前検索、電話番号検索、アドレス検索、メモリ番号検索、グループ検索、あかさたな検索…P.97

● リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」「受信アドレス一覧」「送信アドレス一覧」の各画面のサブメニューから「電話帳参照」を選択すると、登録済みの電話帳詳細画面を呼び出すことができます。

サブメニュー

●検索方法、表示のしかたによって利用できる機能が異なります。

❖電話帳一覧画面（P.97）

新規登録…P.94
編集…P.100
設定…以下の設定を行います。
- **グループ設定**…P.96
- **誕生日お知らせ**※1…誕生日お知らせ画面を表示します。
「誕生日お知らせ一覧」を選択すると、誕生日のお知らせ設定が設定されている電話帳の一覧を表示します。
「お知らせイルミネーション」を「ON」に設定すると、続けて着信イルミネーションの点滅色と点滅パターンを設定できます。電話帳の誕生日のお知らせ設定で登録した日になると、ここで設定したパターンで着信イルミネーションが点滅します。
- **電話帳2in1設定**…P.455
- **個別発着信動作選択**…P.141

発信モード選択※2…発信モードを「FOMA、Wi-Fi」から選択します。
表示…以下を表示します。
- **拡大表示⇔標準表示**…表示する文字サイズの「拡大、標準」を切り替えます。
- **ソート**※3…指定した条件に従って電話帳一覧を並び替えます。
- **タブ表示切替**…「50音タブ表示、メモリ番号タブ表示、グループタブ表示」から選択します。
- **電話帳切替**…「本体＋UIM（FOMA）カード、本体、UIM（FOMA）カード」から選択します。

データコピー…データのコピーを行います。

・**UIM（FOMA）カードコピー**※4…P.375
・**microSDへコピー**※5…P.367
「全コピー」を選択した場合、電話帳データ以外に、プロフィールのデータをコピーするかしないかを選択します。

データ送信※5…データ送信を行います。
・**赤外線送信**…P.379
・**ｉC送信**…P.380
・**Bluetooth送信**…P.381
・**メール添付**…電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

お預かりセンターに接続…P.145

居場所を確認…ｉモードサイトに接続し、電話番号からイマドコかんたんサーチを実行します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

情報確認…以下の確認を行います。
・**電話帳登録件数**…P.101
・**microSD参照⇔本体参照**…microSDカード内、FOMA端末の電話帳を参照します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。
「全削除」を行うとドコモUIMカードの電話帳も削除されます。

※1「お知らせ設定」が設定されていない場合は利用できません。
※2 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。
※3 フリガナ検索など、条件を入力して電話帳検索を行ったときに表示される結果画面で利用することができます。
※4 ドコモUIMカードの電話帳を参照しているときは「本体へコピー」になります。
※5 ドコモUIMカードに登録されている電話帳の場合は機能しません。

おしらせ

<全削除>
◆電話帳を全削除すると、グループ名がお買い上げ時の状態に戻ります。

サブメニュー

❖電話帳詳細画面（P.97）

編集…P.100

設定…以下の設定を行います。
・**個別着信音／画像**※1…P.101
・**直デン登録**※1…P.102
・**デスクトップ貼付**…P.124
・**シークレット設定**※1※2…P.131
・**シークレットコード**※1…P.100
・**電話帳2in1設定**…2in1利用時、モードによって表示される電話帳を「A、B、共通」から選択します。
・**第1電話番号に設定**※1※3…電話番号、メールアドレスが複数登録されている場合、表示している電話番号、メールアドレスを1番目に移動します。
・**個別発着信動作選択**※1…P.141

発信オプション…以下を選択します。
・**発信モード選択**※4※5…発信モードを「FOMA、Wi-Fi」から選択します。
・**プレフィックス**…P.79
・**国際電話発信**…P.80
・**2in1／マルチナンバー**…P.76（サブメニュー項目）
・**テレビ電話画像選択**…テレビ電話中にキャラ電で送信する画像を選択します。設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。
・**発信者番号通知**…P.78
・**内線特番**…Wi-Fi音声電話をかけるときの内線特番を入力します。→P.493

メール／SMS作成…メール、SMSを作成します。
・**メール作成**…P.152
・**SMS作成**※4…P.186

拡大表示⇔標準表示…表示する文字サイズの「拡大、標準」を切り替えます。

データコピー…データのコピーをします。
・**UIM（FOMA）カードコピー**※6…P.375
・**microSDへコピー**※1…P.367
・**項目コピー**…名前や電話番号（選択している項目によって「メールアドレス、住所、位置情報、誕生日、メモ、ｉコンシェル 住所、ｉコンシェルURL、ｉコンシェル メモ」）をコピーします。

データ送信…データの送信を行います。
・**赤外線送信**※1…P.379
・**ｉC送信**※1…P.380
・**Bluetooth送信**…P.381
・**メール添付**※1…電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

位置情報／居場所…以下の確認をします。
・**居場所を確認**…ｉモードサイトに接続し、電話番号からイマドコかんたんサーチを実行します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。
・**GPSアプリ一覧**※1…地図・GPS機能に対応したｉアプリの一覧を表示します。
・**地図を見る**※1…「地図選択」（P.313）で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。

・**メール貼り付け**※1…電話帳に登録されている位置情報のURLを貼り付けた新規メール画面を表示します。
・**画像に付加**※1…静止画に位置情報を付加します。

削除…P.100

※1 ドコモUIMカードに登録されている電話帳の場合は機能しません。
※2 シークレットデータの電話帳を参照しているときは「シークレット解除」になります。
※3 メールアドレスのときは「第1メールアドレスに設定」と表示されます。
※4 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※5 通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。
※6 ドコモUIMカードの電話帳を参照しているときは「本体へコピー」になります。

おしらせ

<直デン登録>
◆直デンに登録するとサブメニューに「★」が表示されます。

● シークレットコードについて

相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」で、その相手がシークレットコードを登録している場合、メールの宛先には「電話番号+シークレットコード@docomo.ne.jp」を指定する必要があります。このような相手にメールを送信するには、次の2とおりの方法があります。

- 電話帳詳細画面のサブメニューから電話帳にシークレットコードを設定する(メールアドレス参照時に、電話帳のメールアドレスにシークレットコードが自動的に付加されます)。
- 電話帳のメールアドレスにシークレットコードを付加して登録する。

おしらせ

◆シークレットコードの設定が有効なのは、「電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレスまたは「電話番号」だけです。

電話帳修正

1 電話帳詳細画面(P.97)▶MENU[サブメニュー]▶「編集」▶それぞれの項目を編集

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。
電話帳の登録のしかた→P.94

■ 新しいメモリ番号に登録する場合
▶「No」を選択▶電話帳が登録されていないメモリ番号(000〜999)を入力
修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

2 修正が終わったら▶📷[完了]▶「YES」

■ ドコモUIMカードの場合
▶📷[完了]▶「上書き登録」または「追加登録」
「上書き登録」を選択すると、修正した内容で登録します。
「追加登録」を選択すると、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

◆ｉコンシェル 住所、ｉコンシェル URL、ｉコンシェル メモは修正できません。
◆修正した電話帳が直デンに登録されている場合は、直デンも自動的に修正されます。ただし、静止画の修正は反映されません。
◆電話帳のメモリ番号を修正すると、修正前の電話帳にて直デンに登録されていた場合、その内容は変更後の電話帳には引き継がれません。

電話帳削除

1 電話帳詳細画面(P.97)▶MENU[サブメニュー]▶「削除」▶以下の項目から選択

電話番号削除※…選択した電話番号を削除します。

1件削除…電話帳を1件削除します。

※ 選択している項目によって機能名は「メールアドレス削除、住所削除、位置情報削除、誕生日削除、メモ削除、静止画削除、キャラ電削除」と表示されます。「ｉコンシェル 住所」「ｉコンシェル URL」「ｉコンシェル メモ」を選択しているときは利用できません。

おしらせ

◆複数の電話番号、メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号、メールアドレスを削除すると、削除した以降の電話番号、メールアドレスの順番が繰り上がって登録されます。

登録状況確認

1 電話帳一覧画面（P.97）▶[MENU]［サブメニュー］▶「情報確認」▶「電話帳登録件数」

■ 本体（FOMA端末に登録されている電話帳）

電話帳…電話帳の登録件数を表示
登録されている件数／1,000（登録できる件数）

シークレット…シークレットデータ登録されている件数を表示（「シークレットモード」「シークレット専用モード」時のみ表示）

静止画…電話帳に登録されている静止画の件数を表示
登録されている件数／100（登録できる件数）

キャラ電…電話帳に登録されているキャラ電の件数を表示
登録されている件数／100（登録できる件数）

誕生日お知らせ…電話帳に登録されている誕生日「お知らせ設定」の件数を表示
登録されている件数／100（登録できる件数）

■ UIM（FOMA）カード（ドコモUIMカードに登録されている電話帳）

電話帳…電話帳の登録件数を表示
登録されている件数／50（登録できる件数）

電話番号やメールアドレスごとの発着信設定

電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定します。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。

- FOMA 端末の電話帳の「グループなし」、ドコモUIMカードの電話帳とグループには設定できません。
- 相手が電話番号を通知してこない場合、個別着信音／画像およびグループ着信音／画像は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。

1 電話帳詳細画面（P.97）▶[MENU]［サブメニュー］▶「設定」▶「個別着信音／画像」

■ グループごとに発着信の設定を変える場合
▶グループ設定画面（P.96）▶[MENU]［サブメニュー］▶「グループ着信音／画像」

2 着信を識別する項目のタブを選択

「音声、テレビ、SMS」から選択します。
電話帳詳細画面で選択した項目によって、利用できる設定が異なります。

3 以下の項目から選択

着信音設定※1…誰からの電話、メールかを、着信音で区別します。
「着信音設定」→P.106

着信画面設定※1※2…誰からの電話かを、着信画像で区別します。
「各種画面設定」→P.115

キャラ電設定※3…テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

イルミネーション設定※1…誰からの電話、メールかを、イルミネーションで区別します。

バイブレーション設定※1…誰からの電話、メールかを、バイブレーションで区別します。
「バイブレータ設定」→P.108

応答メッセージ設定※2…伝言メモ※4、クイック伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えます。「伝言メモ／テレビ電話伝言メモ」→P.87

※1 64Kデータ通信の着信時も区別できます。
※2「音声着信設定」または「テレビ電話着信設定」を選択したときのみ利用できます。
※3「テレビ電話着信設定」を選択したときのみ利用できます。
※4「伝言メモ設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

■ 設定されている機能を解除する場合
▶設定されている機能を反転▶[カメラ]［設定解除］

■個別着信音／画像を設定すると
電話帳の詳細画面に設定されていることを示すアイコンが表示されます。

[アイコン]：着信音（音声、テレビ電話）
[アイコン]：着信音（メール、SMS）

: イルミネーション（音声、テレビ電話）
: イルミネーション（メール、SMS）
: バイブレーション（音声、テレビ電話）
: バイブレーション（メール、SMS）
: 着信画面（音声、テレビ電話）
: 応答メッセージ（音声、テレビ電話）
: キャラ電（テレビ電話）

おしらせ

◆シークレットデータとして登録された電話帳には設定できません。またグループで設定しても、シークレットデータとして登録された電話帳の場合、本機能の設定は無効になります。
◆電話番号に対して設定する「SMS 着信設定」は、SMS や相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」からのメールを受信したときに動作します。
◆個別着信音／画像、グループ着信音／画像の着信設定と、ほかの機能の着信設定が重なった場合の優先順位については、以下のページをご覧ください。
- 着信音の優先順位→P.107
- バイブレータの優先順位→P.109
- 着信画像の優先順位→P.107
- 着信イルミネーションの優先順位→P.121
- キャラ電の優先順位→P.95

直デン

よく使う電話帳を直デンに登録し、すばやく電話をかけたり、メール送信をできるようにします。

- 直デンはFOMA端末の電話帳データ（電話番号、メールアドレス）を引用して登録します。電話帳未登録の場合、直デン画面からFOMA端末の電話帳を登録したあと、直デンに登録します。
- 1件の直デンに登録できる電話番号、メールアドレスはそれぞれ1件のみです。
- 最大5件登録できます。
- 直デンに登録した複数のメールアドレスに i モードメールを一斉送信（最大5人）することもできます。
- シークレット専用モード中は利用できません。
- シークレットモード中は利用できますが、シークレットデータとして登録している電話帳を直デンに登録することや、電話帳にデータを登録してからの直デンへの登録はできません。

直デンへの登録

1 待受画面表示中▶

登録したデータがある場合、登録されている最も若いタブの番号の直デン画面が表示されます。

直デン画面（サブメニュー→P.103）

■ 登録する場所を変更する場合
▶でタブを移動する
1～5を押して該当する番号のタブに移動することもできます。

2 ［登録］

■ 登録内容を変更する場合
▶［編集］

3 「電話帳参照」▶電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.97

■ 電話帳にデータを登録してから直デンに登録する場合
▶「直接入力」
電話帳登録（P.94）したあと、操作5に進みます。

4 ［選択］

5 で□（チェックボックス）を選択

登録する電話番号、メールアドレスをそれぞれ1つだけ選択します。
チェックボックスが選択状態になっていると、ほかの電話番号またはメールアドレスはグレー表示され、チェックボックスを選択できません。変更する場合はチェックボックスの選択を一度解除してから行ってください。

6 ［完了］

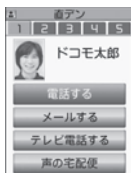
おしらせ

◆「電話帳2in1設定」の設定内容は、2in1のモードがデュアルモードの場合、直デン画面に表示されます。
◆電話帳に画像が登録されている場合、電話帳の画像を登録します。

直デンから電話をかける／メールの作成

<例：電話をかける場合>

1 直デン画面（P.102）▶で電話をかける直デン画面を表示

[1]～[5]を押して該当する番号のタブに移動することもできます。

2 [◎]で「電話する」を選択

■ 発信モードを切り替える場合

「FOMA Wi-Fi／Wi-Fi FOMA」が表示されている場合は、[i]を押すたびに発信モード（FOMA／Wi-Fi）が切り替わります。

■ メールを作成する場合

▶[◎]で「メールする」を選択→P.152

■ テレビ電話をかける場合

▶[◎]で「テレビ電話する」を選択→P.70

■ 声の宅配便を利用する場合

▶[◎]で「声の宅配便」を選択▶音声ガイダンスに従ってメッセージを録音→P.77

サブメニュー

❖直デン画面（P.102）

発信モード選択※1…発信モードを「FOMA」または「Wi-Fi」から選択します。

登録、編集※2…直デンを登録／編集します。

画像変更※2…「マイピクチャ」から画像を選択し、直デンで表示される画像を変更します。

画像解除※3…変更した画像を解除して、設定前の状態に戻します。

メール一斉送信…直デンに登録したすべてのメールアドレスを宛先に設定し、新規メール画面を表示します。→P.152

1件解除、全解除…直デンを削除します。

※1 通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。

※2 登録済みの直デンで表示されます。

※3 画像が変更されていないときは利用できません。

おしらせ

◆内線電話をかけるときは、発信モードを「Wi-Fi」に切り替えてから「電話する」を選択してください。「テレビ電話する」を選択しても接続はできません。

<画像変更>

◆ファイルサイズが300Kバイト以下で、縦854ドット×横480ドット以下、または縦480ドット×横854ドット以下の画像が登録できます。ただしJPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

ツータッチダイヤル

電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録すると、[0]から[9]（メモリ番号の下1桁）と[発信]を押すだけで電話をかけることができます。

1 [MENU]▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「ツータッチダイヤル設定」▶「ON」

■ ツータッチダイヤルを使用しない場合

▶「OFF」

● ツータッチダイヤルで電話をかける

1 [0]～[9]▶[発信]（音声電話）／[カメラ]（テレビ電話）

おしらせ

◆電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。

音／画面／照明設定

■音の設定

着信音設定 106
着信音量設定 107
3Dサウンド設定 108
バイブレータ設定 108
メロディコール 109
ボタン確認音設定 109
GPS機能の通知音／イルミネーション設定 109
スライド音設定 110
充電確認音設定 110
通話品質アラーム設定 110
メール鳴動時間設定 110
スピーカ音量制限設定 110
イヤホン切替設定 111
マナーモード設定 111
マナーモード変更 115

■画面／照明の設定

各種画面設定 115
待受画面設定 116
電話帳画像表示設定 117
発着信番号表示設定 117
プライバシーアングル 117
充電中のディスプレイ表示設定 117
照明設定 118
ecoモード設定 118
閉じたときの照明設定 119
カラーテーマ設定 119
電池・アンテナのアイコン設定 119
ソフトキーの背景色の設定 120
メインメニューの表示変更 120
着信時の着信イルミネーション設定 120
スケジュール、メモのアラーム通知時の着信イルミネーション設定 121
表示画質モードの設定 121
画面縦横の切り替えかたの設定 122
スタイルごとのタッチパネルの利用設定 122
マチキャラの設定 122
マチキャラ音声の設定 122
文字の設定 123
待受画面の時計表示の設定 123
英語表示への切り替え 123
デスクトップアイコンの利用 124
待受画面の表示アイコン選択 125
きせかえツール設定 126

着信音設定

FOMA音声電話、Wi-Fi音声電話、テレビ電話、メール、メッセージ、ｉコンシェルなどの着信音や着信画面を設定します。また、電話番号やメールアドレス、電話帳のグループを指定して、それぞれに着信音を設定することもできます。→P.101

●「メロディ一覧の見かた」→P.353

1 **MENU▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「着信音選択」▶着信音を設定する項目を選択**

「FOMA電話、Wi-Fi外線電話、Wi-FiホームU／内線電話、テレビ電話、メール、メッセージR、メッセージF、ｉコンシェル」から選択します。

- 「FOMA電話」を選択すると、FOMA音声電話や64Kデータ通信の着信音が設定されます。
- 「メール」を選択すると、ｉモードメールやSMS、パケット通信の着信音が設定されます。

2 **「着信音」▶以下の項目から選択**

メロディ…着信音やメロディを設定します。

ｉモーション…FOMA端末に取得したｉモーション、着うた®やカメラで撮影した動画（ｉモーション）を設定します。

着信時には、選択したｉモーションに応じて映像や音声が再生されます（着モーション）。

ミュージック…着うたフル®を設定します。着うたフル®に配信元が指定した着信音設定部分がある場合は、以下の項目から設定します。

- **まるごと着信音設定**…1曲すべてを着信音に設定します。
- **オススメ着信音設定**…曲の一部を着信音に設定します。

▶[上下キー]で着信音に設定する部分を指定▶■［選択］

[カメラ]［デモ］を押すと指定した曲の一部をデモ再生します。

おしゃべり…「おしゃべり機能」で録音した音声を設定します。

OFF…着信音を鳴らしません。

■ **着信画像を設定する場合**

▶「着信画面」または「メール着信画面」

「着信画面」の場合、設定する画像をマイピクチャ、ｉモーションから選択します。

「メール着信画面」の場合、設定する画像をマイピクチャから選択します。

3 **着信音を選択**

メロディを選択すると、そのメロディが鳴ります。

[終話]、MENU、[カメラ]、[メール]、[ｉ]のいずれかのボタンを押すと、メロディは止まります。

■**お買い上げ時に登録されている着信音・メロディ・アラーム音一覧**

表示	曲名	作曲者	3Dサウンド対応
着信音1～4	－	－	×
Gentle Breeze	－	－	×
Buzz Buzz	－	－	×
黒電話	－	－	×
交響曲第七番イ長調	交響曲第七番イ長調作品92～第一楽章	VAN BEETHOVEN LUDWIG	×
威風堂々	行進曲「威風堂々」第1番	ELGAR EDWARD	×
アイーダ	歌劇『アイーダ』より「凱旋行進曲」	VERDI GIUSEPPE	○
トゥーランドット	歌劇『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」	PUCCINI GIACOMO	×
You've got mail	－	－	×
Lucky Charm	－	－	×
Small Message	－	－	×
Soundroid	－	－	×
Stairstep Notes	－	－	×
Caribbean Wind	－	－	×
Baroque Cathedrals	－	－	×
Magic Whisper	－	－	×
Ping&Pong	－	－	○
ひよこ	－	－	×
Prime Time	－	－	×

表示	曲名	作曲者	3Dサウンド対応
オープン1～2、クローズ1～2	－	－	×
まちへ行くのうた	－	－	×

■お買い上げ時に登録されている着モーション

a la carte

おしらせ

◆ｉモーション（映像のみのｉモーションなど）や着うたフル®によっては着信音に設定できないものがあります。
◆ｉコンシェルの着信音に設定できるｉモーションは音声のみのｉモーションです。
◆音声のみのｉモーションは着信画面に設定できません。
◆Flash画像を着信画面／メール着信画面に設定することができますが、着信音は「着信音」で設定した音が鳴ります。
◆プログレッシブ型再生のFlash®Videoを設定しても再生されません。
◆着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」で設定した音量で鳴ります。
◆電話／テレビ電話においては、着信音と着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信音に設定されたｉモーションが再生されます。
◆電話／テレビ電話においては、着信音に映像と音声が含まれるｉモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたｉモーションが再生されます。
◆メール／SMS着信音においては、メール／SMS着信音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合には、メール受信結果でメール／SMS着信音に設定されたｉモーションが再生されます。
◆メールの着信音にｉモーションや着うたフル®を設定している場合、パケット通信の着信音はお買い上げ時の「メール」の着信音になります。また、着信画面の設定にかかわらず、パケット通信の着信時には専用の着信画面が表示されます。
◆着うたフル®を着信音に設定した場合、着うたフル®にジャケット画像が含まれていても、着信時に表示されません。
◆複数のメールやメッセージR／Fを同時に受信した場合の着信音（着信イルミネーション）の動作は以下のとおりです。

受信内容	着信音（着信イルミネーション）の動作
メールを複数受信	最後に受信したメールに設定されている着信音（着信イルミネーション）で動作します。
メールとメッセージR／Fを同時に受信	（同上）
メッセージR／Fを同時に受信	メッセージRに設定されている着信音（着信イルミネーション）で動作します。

<電話着信音／テレビ電話着信音の優先順位>

◆電話着信音／テレビ電話着信音の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。

① 個別着信音／画像の音声／テレビ電話着信設定
② グループ着信音／画像の音声／テレビ電話着信設定
③ 2in1 のＢモードへの着信音／マルチナンバー（付加番号1、2）の着信音設定
④ 着信音選択／きせかえツール設定のFOMA電話／テレビ電話着信音

<メール（SMSを含む）着信音の優先順位>

◆メール着信音の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。

① 個別着信音／画像のメール着信音、SMS着信音
② グループ着信音／画像のメール着信音
③ 2in1のBモードへのメール着信音
④ 着信音選択の着信音／きせかえツール設定のメール着信音

<電話着信画像／テレビ電話着信画像の優先順位>

◆着信画像の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。

① 個別着信音／画像の着信画面設定
② グループ着信音／画像の着信画面設定
③ 電話帳登録の静止画
④ 2in1のBモードへの着信画面設定
⑤ 着信音選択／きせかえツール設定のFOMA電話／テレビ電話着信画面

着信音量設定

音声電話、テレビ電話がかかってきたときや、メール、メッセージR／F、ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節します。また、着信音を消したり、次第に音量を大きくすることもできます。

1 **MENU▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「着信音量」▶音量を調節する項目を選択**

「FOMA電話」を選択すると、FOMA音声電話、64Kデータ通信などの着信音量が調節されます。

「メール」を選択すると、ｉモードメール、エリアメール、SMS、パケット通信の着信音量が調節されます。

2 **[◆]で音量を調節▶[■]［確定］**

■ **次第に音量を大きくする場合**
▶「レベル6」のときに[▲]
「ステップ」に設定すると、3秒ごとに着信音量が大きくなります。

■ **着信音を消す場合**
▶「レベル1」のときに[▼]
待受画面のアイコンで、「消去」に設定されている項目が確認できます。

[アイコン]:「FOMA電話」「Wi-Fi外線電話」「Wi-FiホームU／内線電話」「テレビ電話」を1つ以上「消去」に設定

[アイコン]:「メール」「メッセージR」「メッセージF」を1つ以上「消去」に設定

[アイコン]:「[アイコン]」と「[アイコン]」の両方を設定

おしらせ

◆本機能で設定した、「FOMA 電話」の着信音量は、FOMA音声電話の「着信音選択」「スケジュール」や「メモ」のアラーム音などに反映されます。また、「Wi-FiホームU／内線電話」の着信音量は、インターホン機能の各種着信音に反映されます。

3Dサウンド設定

ステレオイヤホンマイク（別売）などを接続しているときのメロディ再生や着信音、受信音、効果音、ｉモーション再生音などを表現豊かに再生します。

1 **[MENU]▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「ステレオ・3Dサウンド設定」▶「ON」**

■ **ステレオ･3Dサウンド設定を設定しない場合**
▶「OFF」

● 3Dサウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオイヤホンマイクを使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド機能によって、臨場感あふれるｉアプリによるゲームやメロディ再生などをお楽しみいただけます。

- 個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感を感じる場合は、「ステレオ・3Dサウンド設定」を「OFF」に設定してください。

●「音響効果あり」のｉモーションを再生したときは

イヤホンから聞こえてくるステレオ再生音には「自然な立体感」「豊かな低音」「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が同時に加わります。

- 音響効果ありのｉモーションは、動画一覧画面のアイコンで確認できます。→P.327

おしらせ

◆本体内蔵のスピーカから流れる再生音は、本機能を「ON」に設定しても音響効果は加わりません。

◆「イヤホン切替設定」を「イヤホンとスピーカー」に設定している場合、ステレオイヤホンマイクなどを接続しているときの着信音･メロディアラーム音の再生音には本機能が無効になり、「イヤホンのみ」に設定すると有効になります。

バイブレータ設定

FOMA電話、Wi-Fi外線電話、Wi-FiホームU／内線電話、テレビ電話、メール、メッセージR、メッセージF、ｉコンシェルのインフォメーションなどを受けたときの、それぞれの振動パターンを設定します。

1 **[MENU]▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「バイブレータ設定」▶バイブレータを設定する項目を選択**

「FOMA電話」を選択すると、FOMA音声電話や64Kデータ通信のバイブレータが設定されます。
「メール」を選択すると、ｉモードメール、SMS、パケット通信のバイブレータが設定されます。

2 **振動パターンを選択**

パターン1～パターン3…それぞれのパターンで振動します。
項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。

メロディ連動…着信音に設定されているメロディのパターンにあわせてFOMA端末が振動します。

OFF…振動しません。

■**バイブレータ設定時の待受画面のアイコン表示**

[アイコン]: 音声電話、テレビ電話のいずれかの着信で振動

[アイコン]: メール、メッセージR、メッセージFのいずれかの着信で振動

[アイコン]:「[アイコン]」と「[アイコン]」の両方の状態

おしらせ

◆タッチ操作時のバイブレータは「タッチパネル有効設定」の「バイブレータ」の設定に従います。
◆バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。
◆「メロディ連動」を選択しても、必ずしも主旋律に連動するわけではありません。またメロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、着信音をｉモーションや着うたフル®に設定している場合は、パターン2で振動します。
◆エリアメール受信時は本機能の設定にかかわらず、着信音やブザー音に連動して振動します。ただし、「メール」の振動パターンが「OFF」に設定されているときには、エリアメール（着信音）受信時にバイブレータは振動しません。

<バイブレータの優先順位>

◆バイブレータの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
① 個別着信音／画像のバイブレーション設定
② グループ着信音／画像のバイブレーション設定
③ 2in1のBモードへのバイブレータ設定
④ バイブレータ設定

メロディコール

電話がかかってきたときに相手に聞こえる呼出音を変更するかしないか（YES、NO）を設定します。

1 MENU▶「電話機能」▶「メロディコール」▶「YES」または「NO」

「YES」を選択した場合、メロディコールのｉモードサイトに接続します。設定サイトはパケット通信料無料です。ただし、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。
画面の指示に従って設定してください。

おしらせ

◆Wi-Fi音声電話、テレビ電話から発信された場合は、相手側にはメロディコールは流れません。

ボタン確認音設定

●本機能を「OFF」に設定すると、電池残量表示の音や各種警告音やディスプレイをタッチしたときの音が鳴りません。
●ボタン確認音の音量は、通話中の場合には「受話音量」で設定した音量、通話していない場合には一定の音量になります。

1 MENU▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「その他音設定」▶「ボタン確認音」▶「ON」または「OFF」

GPS機能の通知音／イルミネーション設定

現在地確認、現在地通知、位置提供にて測位したときの通知音やイルミネーションについて設定します。

●「位置提供設定」を「位置提供 ON」に設定し、公共モード（ドライブモード）を設定している場合、位置提供の要求があると通知音、バイブレータ、イルミネーションは動作せずに位置情報が提供されます。

1 MENU▶「地図／海外」▶「地図・GPS設定／履歴」▶「イルミネーション／鳴動音設定」

2 以下の項目から選択

音量…通知音の音量を設定する項目を選択し、[上下キー]で音量を調節します。

音選択…通知音を設定する項目を選択し「メロディ、OFF（鳴らさない）」から選択します。

バイブレータ…バイブレータを設定する項目を選択し、「パターン1～3、メロディ連動、OFF（振動しない）」から選択します。
「メロディ連動」を選択した場合は、設定されているメロディのパターンにあわせて振動します。

通知時間設定…通知音を鳴らす時間を設定する項目を選択し、「ON、OFF（鳴動しない）」から選択します。
「ON」を選択した場合は、鳴動時間（01～30秒の2桁）※も入力します。

イルミネーション選択…イルミネーションを設定する項目を選択し、「色1～7、グラデーション、OFF」から選択します。「位置提供／許可」と「位置提供／毎回確認」を選択した場合は、「OFF」を設定することはできません。

※「位置提供／毎回確認」については、01～20秒の2桁を入力します。

スライド音設定

待受画面表示中にFOMA端末を開いたり閉じたりしたときに鳴る音を設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「スライド設定」▶「スライド音」▶「オープン音」または「クローズ音」

2 以下の項目から選択

メロディ…メロディのフォルダから選択します。

鳴動時間…音が鳴る時間を選択します。

OFF…音は鳴りません。

おしらせ

◆スライド音の音量は調整できません。

◆ｉモーションを待受画面に設定している場合やｉアプリ待受画面を設定している場合はスライド音は鳴りません。

充電確認音設定

充電開始、終了時に「ピッピッ」と確認音を鳴らします。

●待受画面以外の画面を表示中やマナーモード設定中、公共モード（ドライブモード）設定中などでは、充電確認音は鳴りません。

1 MENU▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「その他音設定」▶「充電確認音」▶「ON」または「OFF」

通話品質アラーム設定

電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

●急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中詳細設定」▶「通話品質アラーム」

2 以下の項目から選択

FOMA通話品質アラーム…FOMA音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなったときにアラームを鳴らします。

Wi-Fi通話品質アラーム…Wi-Fi音声通話中に電波の状態が悪くなったときにアラームを鳴らします。

Wi-Fi受信レベル低下通知…Wi-Fi音声通話中に電波の状態が悪くなりアクセスポイントが変更される際にアラームを鳴らします。

3 アラーム音を選択

アラーム音は「アラームなし、アラーム高音、アラーム低音」から選択します。

メール鳴動時間設定

メール、メッセージR／F、ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音を鳴らす時間を設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「その他音設定」▶「メール／メッセージ鳴動」▶時間を設定する項目を選択

「メール」を選択すると、ｉモードメール、エリアメール、SMSの鳴動時間が設定されます。

2 「ON」▶鳴動時間（01～30秒の2桁）を入力

■ 着信音を鳴らさない場合

▶「OFF」

バイブレータや着信イルミネーションも動作しません。

スピーカ音量制限設定

着信音／アラーム音などが鳴るとき、鳴りはじめの3秒間は音量を制限（レベル1）します。3秒後は、「着信音量」や、アラーム、ワンセグの視聴予約リストの「アラーム音量」で設定した音量で鳴ります。

1 MENU▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「その他音設定」▶「音量制限」▶「ON」または「OFF」

おしらせ

◆以下のように設定している場合も、鳴りはじめの3秒間のスピーカ音は、レベル1になります。

・「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」が「ON」（設定した無音時間経過後）
・「マナーモード選択」の「オリジナルマナー」

◆「着信音量」が「ステップ」に設定されている場合、「音量制限」の設定にかかわらず、通常のステップ動作のままとなります。

イヤホン切替設定

イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、イヤホンとスピーカから着信音やアラーム通知音などが鳴るように設定します。

1 **MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「イヤホン機能設定」▶「イヤホン切替設定」▶「イヤホンとスピーカー」または「イヤホンのみ」**

おしらせ

◆「着信音量」を「消去」に設定している場合は、イヤホンからもスピーカからも着信音は鳴りません。

◆「イヤホンのみ」に設定していても、イヤホンを接続していないときはスピーカから音が鳴ります。

◆マナーモード（オリジナルマナー）で「電話着信音量」「メール着信音量」を「消去」以外に設定している場合は、本機能に従って着信音が鳴ります。ただし、マナーモード（マナーモード、スーパーサイレント）設定中は、イヤホンからのみ着信音が鳴ります。

◆イヤホン切替設定を「イヤホンのみ」に設定しても、鳴音時には20秒後にスピーカからも着信音やアラーム通知音が鳴ります。

マナーモード設定

FOMA端末のスピーカから出る着信音やボタン確認音などを、ボタン1つの操作で鳴らさないように設定します。

●マナーモードの設定内容の詳細については別表1（P.113）、別表2（P.114）をご覧ください。

●マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード、スーパーサイレント、オリジナルマナー」の3種類から選択することができます。

1 **待受画面表示中▶[#]（1秒以上）**

マナーモードが設定されて「 」が表示され、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

: 「バイブレータ設定」で通知

: 「着信音量」を「消去」に設定

など：「伝言メモ設定」「テレビ電話伝言メモ」で録音、録画するように設定

通話中に[#]を1秒以上押してもマナーモードを設定できます。通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。

■ **マナーモードを解除する場合**

▶待受画面表示中▶[#]（1秒以上）

通話中に[#]を1秒以上押してもマナーモードを解除できます。

マナーモードが解除されて「 」の表示が消えます。通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

◆マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音／オートフォーカスロック完了音、動画撮影やボイスレコーダーの開始音／終了音／一時停止音は鳴ります。

◆バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。

マナーモードの自動起動／解除設定

決められた時刻に自動的にマナーモードを起動／解除します。

●マナーモードの起動時間と解除時間はそれぞれ2件まで登録できます。

<例：自動で起動する場合>

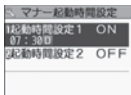
1 **MENU▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「マナーモード設定」▶「マナー起動時間設定」**

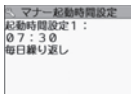
■ **自動で解除する場合**

▶「マナー解除時間設定」

■ **前回の設定内容のまま「ON、OFF」を切り替える場合**

▶設定項目を反転▶[i]［ON／OFF］

[i]を押すたびに「ON、OFF」が切り替わります。

マナー起動（解除）時間設定一覧画面（サブメニュー→P.112）

■ 前回の設定内容を確認する場合
▶設定項目を選択

マナー起動（解除）時間設定詳細画面（サブメニュー→P.112）

2 設定する項目を反転▶[カメラ]［編集］

3 以下の項目から選択

時刻入力…自動起動または解除する時刻を入力します。

繰り返し…自動起動または解除の繰り返しを「設定なし、毎日（D）、曜日指定（W）」から選択します。

4 [カメラ]［完了］

おしらせ

◆FOMA端末の電源が切れているときに自動マナーモードの起動／解除の時刻になっても、本機能は動作しません。

◆自動マナーモードの起動／解除の時刻になっても、ほかの機能を利用中は起動／解除は行われません。機能終了後に起動／解除が行われます。

● 自動マナーモードを設定すると

- 待受画面に以下のアイコンが表示されます。

  : 自動起動設定中

  : 自動解除設定中

- [#]（1秒以上）でマナーモードを設定しても、自動解除設定をしているときは、その時刻になるとマナーモードは解除されます。
- 自動起動設定でマナーモードに移行した場合でも[#]（1秒以上）でマナーモードは解除できます。

サブメニュー

❖マナー起動（解除）時間設定一覧画面（P.112）

❖マナー起動（解除）時間設定詳細画面（P.112）

編集…マナーモード起動時間／解除時間を編集します。

詳細表示※…設定内容を表示します。

完了（1件ON）…設定を有効にします。

1件OFF…設定を1件無効にします。

全件OFF…設定をすべて無効にします。

※ マナー起動（解除）時間設定一覧画面でのみ利用できます。

■［別表1］マナーモードに設定すると

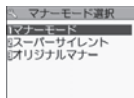
項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
伝言メモの起動	「伝言メモ設定」（P.87）の設定		「伝言メモ」の設定値
バイブレータ設定	ON		「バイブレータ設定」の設定値 「電話帳個別設定優先」に設定している場合は電話帳の「個別着信音／画像」の設定値
音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信音量、ｉウィジェット効果音設定	消去		「電話着信音量」の設定値
メール、パケット通信、メッセージR／F、ｉコンシェルのインフォメーション、ｉアプリコールの着信音量	消去		「メール着信音量」の設定値
アラームの音量（スヌーズ機能を含む）	消去		「アラーム音量」の設定値
ウェイクアップ音	消去		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は「レベル2」
ｉアプリの音量	消去		「ｉアプリ音量」の設定値
スケジュール／ワンセグ視聴予約･録画予約／料金通知のアラーム音量	消去		「電話着信音量」の設定値
音声メモや伝言メモなどの確認音、起動音、終了音	ON	OFF	「メモ確認音」の設定値
ボタン確認音、電池残量の確認音	OFF		「ボタン確認音」の設定値
通話中のマイクの感度	アップ		「通話中マイク感度」の設定値
通話中保留音	消去		「電話着信音量」の設定値 「消去」以外に設定している場合は一定の音量で鳴動
応答保留音	消去		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は「レベル2」
電池切れアラーム	OFF		「低電圧アラーム」の設定値 「電話着信音量」を「消去」に設定していても、「低電圧アラーム」を「ON」に設定すると、電池切れアラームは「レベル1」
受信メールの読み上げ	「着信音量」の「FOMA電話」の設定値 「消去」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」 メールの読み上げは、受信メール詳細画面のサブメニューで「メール読み上げ」を選択したときのみ有効		
トルカ取得音	消去		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は「レベル4」
GPS機能の現在地確認音や通知音	消去		オリジナルマナーの設定値にかかわらず、すべて消去
スライド音	OFF		

■［別表2］イヤホン接続時は

項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
受信メールの読み上げ	「着信音量」の「FOMA電話」の設定値 「消去」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」		
ミュージックプレーヤーの音量	ミュージックプレーヤーでの音量設定値（P.275）		
ワンセグ視聴中／録画再生中の音量	ワンセグ視聴中／録画再生中の音量設定値（P.255）		
スライド音	「レベル2」		

マナーモード変更

マナーモード設定中の動作を選択します。

1 MENU ▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「マナーモード設定」▶「マナーモード選択」

マナーモード選択画面

2 以下の項目から選択

マナーモード…スピーカから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。ただし、受話口から鳴る確認音（音声メモや伝言メモを再生したときなど）は消去しません。

スーパーサイレント…スピーカから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。

オリジナルマナー…P.115

オリジナルマナーモード

お好みのマナーモードの動作を設定します。

- お買い上げ時の「オリジナルマナー」の動作は以下のように設定されています。
  - 伝言メモ：OFF
  - バイブレータ：ON
  - 電話着信音量：消去
  - メール着信音量：消去
  - アラーム音量：消去
  - ｉアプリ音量：消去
  - メモ確認音：ON
  - ボタン確認音：OFF
  - 通話中マイク感度：アップ
  - 低電圧アラーム：OFF

1 マナーモード選択画面（P.115）▶「オリジナルマナー」▶以下の項目から選択

伝言メモ…P.87

バイブレータ…「ON、OFF、電話帳個別設定優先」から選択します。
「バイブレータ設定」→P.108
「電話番号やメールアドレスごとの発着信設定」→P.101

電話着信音量…音声電話とテレビ電話、64Kデータ通信の着信音量を設定します。
→P.107

メール着信音量…メール、パケット通信、メッセージR／F、ｉコンシェルのインフォメーション、ｉアプリコールの着信音量を設定します。→P.107

アラーム音量…P.397

ｉアプリ音量…P.284
ただし、「ステップ」は設定できません。

メモ確認音…「伝言メモ設定」や「音声メモ」などの確認音を設定します。

ボタン確認音…P.109

通話中マイク感度…通話中のマイク感度を「標準、アップ」から選択します。

低電圧アラーム…電池切れアラームを設定します。「電池が切れたときは?」→P.63

2 📷［完了］

おしらせ

◆「オリジナルマナー」で設定した伝言メモは、「伝言メモ設定」（P.87）で設定した呼出時間で伝言メモを開始します（「OFF」に設定している場合は13秒後に開始）。

◆通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。また、マイクの感度は「カメラ」の動画撮影時には「標準」になります。

各種画面設定

撮影した静止画やダウンロードした画像などを発着信画面などに設定できます。

1 MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「各種画面設定」

2 以下の項目から選択

ウェイクアップ表示…FOMA端末の電源を入れたときに表示されるメッセージや画像を設定します。

- **OFF**…画像などを表示せず、ウェイクアップ音を鳴らしません。
- **メッセージ**…ウェイクアップ表示のメッセージを入力します。
- **マイピクチャ**…表示される画像を、マイピクチャから選択します。

■ ウェイクアップ音の設定
サブメニューから設定（ON／OFF）します。

FOMA電話発信、FOMA電話着信、Wi-Fi電話発信、Wi-Fi外線電話着信、Wi-FiホームU／内線電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信…音声電話、テレビ電話、メール（iモードメール、SMS）の発着信時や送受信時に表示される画像を設定します。

■ 発信画面、送信画面の設定
マイピクチャから選択します。

■ 着信画面、受信画面の設定
「着信音設定（操作2）」→P.106

問合せ、メール受信結果…「メール／メッセージ問合せ」（iモードメール、メッセージ）、「SMS問合せ」のときやメール受信結果画面に表示される画像を、マイピクチャから選択します。

おしらせ

◆ iモーションによっては設定できないものがあります。

<ウェイクアップ表示>
◆Flash画像をウェイクアップ表示に設定すると、Flash画像の種類によってはすぐに待受画面が表示されない場合があります。

待受画面設定

撮影した静止画やダウンロードした画像などを待受画面に設定できます。
- 表示タイミングなどによりイメージが変わるものもあります。
- マチキャラ設定中にiアプリ待受画面を設定するとマチキャラの設定は解除されます。

1 **MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「待受画面設定」▶「待受画面」**

OFF…画像などを表示しません。

カレンダー（1ヶ月）、カレンダー（2ヶ月）…カレンダーを設定します。カレンダー（2ヶ月）では当月と翌月のカレンダーを表示します。

- **背景画像あり**…カレンダーの背景に表示される画像を、マイピクチャから選択します。
- **背景画像なし**…カレンダーの背景色を選択してカレンダーのみを表示します。
  [i]［切替］を押すと、選択できる色の数を16色から256色に切り替えられます。[i]［切替］を押すごとに16色と256色が切り替わります。

マイピクチャ…待受画面に表示される画像を選択します。

iモーション…待受画面に表示されるiモーションを選択します。

iアプリ待受画面…iアプリ待受画面を設定します。→P.297
iアプリ待受画面が設定されているときは、「★」が表示されます。

iアプリ待受画面終了…設定中のiアプリ待受画面を解除します。→P.298

ランダム待受画面…待受画面を表示させたときに選択したフォルダ内の画像をランダムに表示します。

■ 表示方法を設定する画面が表示された場合
▶表示方法を選択▶画像を確認▶[■]［確定］
表示方法には、以下の項目があります。
- センタリング表示（画面中央に表示）
- 画面サイズで表示（縦横どちらかが画面サイズになるまで拡大、縮小して表示）
- 並べて表示（左上から並べて表示）
- 全画面表示（画面サイズいっぱいに拡大、切り出して表示）

おしらせ

◆選択した画像の種類によっては、表示方法を選択できない場合があります。

◆ iモーションを待受画面に設定した場合、「充電中ディスプレイ」を「フォトスライドショー」に設定して充電中の場合を除き、FOMA端末を開閉すると再生されます。
途中で終了させる場合は[CLR]を押します。再生が終了すると1コマ目が待受画面に表示されます。※

◆カレンダーの背景にきせかえツールの画像やFlash画像を設定することはできません。

◆Flash画像、GIF形式のアニメーション、自作アニメを待受画面に設定した場合、以下の操作を行うと再生されます（メロディは再生されません）。※
- FOMA端末を開閉する
- ほかの画面から待受画面に戻る

◆ iモーション、Flash画像、GIF形式のアニメーション、自作アニメを待受画面に設定した場合、自動キーロックなどが設定されていると、再生されませんのでロックを解除してください。

◆プログレッシブ型再生のFlash®Videoを設定しても再生されません。

※ FOMA端末を閉じたときに再生を途中で終了させるには[]を1秒以上押します。
「クローズ動作照明設定」（P.119）を「消灯」に設定している場合は、待受画面の画像の種類にかかわらず、「クローズ動作設定」が優先され、画面が消灯されます。

<時計として機能するFlash画像について>
◆Flash画像の時計が止まった場合は、Flash画像の再生を行うと再開できます。時計の時刻がずれてい

た場合は、再生終了後1分以内に更新され、正しい時刻となります。
◆待受画面を表示すると、時計などの Flash 画像やGIF形式のアニメーションは、一定時間再生したあとに停止します。

<待受画面の優先順位>
◆待受画面の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
① ｉアプリ待受画面に設定したソフト
② 待受画面（本機能）／きせかえツール設定

● 待受画面にカレンダーを設定すると

待受画面にカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールを起動できます。

■前後の月のカレンダーを確認する場合
待受画面表示中に■を押すと、デスクトップアイコンやカレンダーが選択できるようになります。でカレンダーを反転させて■［選択］を押すと、デスクトップアイコンの表示が消え、で前の月や次の月のカレンダーが確認できます。

■スケジュール機能を起動する場合
またはで前の月、次の月のカレンダーが表示される状態で■［選択］を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

電話帳画像表示設定

静止画を登録している電話帳の相手から音声電話やテレビ電話がかかってきた場合、着信時に静止画を表示するかしないか（ON、OFF）を設定します。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「着信詳細設定」▶「電話帳画像着信設定」▶「ON」または「OFF」

発着信番号表示設定

リダイヤル／着信履歴画面や、送信／受信アドレス履歴一覧画面などに表示される名前や電話番号・メールアドレスを、文字色を変えて表示するように設定します。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「着信詳細設定」▶「発着信番号表示設定」▶色を選択

おしらせ
◆i［切替］を押すと、選択できる色の数を16色から256色に切り替えられます。i［切替］を押すごとに16色と256色が切り替わります。
◆「カラーテーマ」の設定により、本機能の設定が変更される場合があります。本機能の設定を変更後に［リセット］を押すと「カラーテーマ」に対応した設定に戻ります。
◆2in1ご利用の場合は、Aナンバー・Aアドレスの情報がここで設定した文字色で表示されます。Bナンバー・Bアドレスの情報を色分けして表示する場合は、「2in1」の「番号別発着信設定」の「発着信番号表示設定」から設定します。→P.455

プライバシーアングル

1 8（1秒以上）
プライバシーアングルが設定されて「」が表示されます。

■ 解除する場合
▶8（1秒以上）

おしらせ
◆文字編集中などの機能を利用中にプライバシーアングルの設定や解除ができない場合があります。あらかじめ待受画面などで設定や解除を行ってください。
◆プライバシーアングル設定中に電源を切ると、プライバシーアングルは解除されます。

表示の調整

1 MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「プライバシーアングル」▶「表示調整」▶濃度を選択▶明るさを選択▶「ON」
調整を反映してプライバシーアングルが設定されます。

■ 設定しない場合
▶「OFF」

充電中のディスプレイ表示設定

待受画面表示中にFOMA端末を閉じて充電しているときにフォトスライドショーを表示するかどうかを設定します。

●他の機能が起動している場合、フォトスライドショーの表示はできません。

1 MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「充電中ディスプレイ」▶「フォトスライドショー」

■ 待受画面など、通常の画面表示を行う場合
▶「OFF」

おしらせ

◆USB接続中はフォトスライドショーは表示されません。
◆「フォトスライドショー」に設定している場合は、メディアスビューアに表示できるフォルダの画像を表示します。
◆「フォトスライドショー」に設定している場合は、充電時間が長くなります。
◆フォトスライドショーの画像の切り替え時間は約5秒で、変更できません。
◆「クローズ動作照明設定」(P.119)を「消灯」に設定している場合は、フォトスライドショーは表示されません。なお、FOMA端末を閉じた状態で充電を開始した場合は表示されますが、FOMA端末の開閉を行うと表示されなくなります。

照明設定

1 MENU▶「本体設定」▶「照明・イルミネーション」▶「照明設定」▶以下の項目から選択

通常時…通常時のディスプレイとボタンの照明動作と省電力モードを、それぞれ「ON、OFF」から選択します。通常時を「ON」に設定する場合、点灯時間を選択します。

省電力モードを「ON」に設定する場合、省電力モードに移るまでの待ち時間も選択します。

- 省電力モードを「ON」にすると、設定した待ち時間後ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイの表示が消えるとタッチ操作もできなくなります。省電力モード中にボタン操作を行うと省電力モードは解除されます。

充電時…充電時のディスプレイとボタンの照明動作を「通常時と同じ、常時点灯」から選択します。

- 「通常時と同じ」の場合は、通常時の設定で動作します。
- 「常時点灯」の場合は点灯し続けます。

範囲…照明の点灯範囲を「液晶+ボタン、液晶」から選択します。

明るさ…ディスプレイとボタンの照明の自動調整を行うかどうかを「自動調整ON、自動調整OFF」から、明るさをレベル1〜6から選択します。

- 「自動調整ON」に設定すると照度センサーが周囲の明るさを検知し、ディスプレイの明るさを自動で調整します。また、ボタンの照明のON、OFFを自動で切り替えます。

おしらせ

◆「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときにディスプレイとボタンの照明を「点灯時間」の設定で点灯します。
カメラ起動中、動画/iモーション再生中はディスプレイの照明は常時点灯します。「OFF」に設定すると点灯しません。ただし、動画撮影中やパノラマ撮影中は「通常時」の設定にかかわらず、常時点灯します。ボイスレコーダーではバックライトの点灯時間は30秒となります。
◆照度センサーを指などで覆うと、明るさを正しく検知できない場合があります。
◆タッチスタイルで待受画面を表示中、またはEnjoy Exercise動作中(「RUN」で計測中を除く)は、省電力モードの設定にかかわらず、「通常時」の「点灯時間」で設定した時間経過後(通常時OFFのときは5秒後)に省電力モードになります。
◆「充電中ディスプレイ」を「OFF」以外に設定している場合、「充電時」の設定にかかわらず充電中は省電力モードになりません。

ecoモード設定

ecoモードに設定すると、電池の消費を抑えるような設定に一括で変更されます。電池の残量を節約したいときに有効です。

●お買い上げ時は「ecoモード自動起動設定」が「ON」に設定されているため、電池残量によっては自動でecoモードに切り替わり、確認画面が表示される場合があります。→P.119
●ecoモード設定中に利用が制限されたり、設定が変更される機能は以下のとおりです。
- 照明関連:照明設定
- 音関連:ステレオ・3Dサウンド設定、メール読み上げ設定、動画自動再生設定、ボタン確認音、スライド音、ハイパークリアボイス
- 画面関連:タッチパネル有効設定のバイブレータ、画面縦横自動切替、Enjoy Exercise(ecoモード設定中にEnjoy Exerciseは利用できません。)

1 5(1秒以上)

ecoモードが設定され、「」が表示されます。

■ 解除する場合
▶5(1秒以上)

ecoモードが解除されます。ecoモード自動起動設定が「ON」の場合は、「■」が点灯します。「OFF」の場合はecoモードが解除されてアイコンが消えます。

■ メインメニューから設定する場合
▶MENU▶「本体設定」▶「電池」▶「eco　モード」▶「ON」または「OFF」

おしらせ

◆文字編集中やｉアプリ実行中などは、ecoモードの設定や解除はできません。
◆ecoモードは、電源をON／OFFしても設定は解除されません。
◆ecoモードを設定しても、各機能の設定は変更されません。また、各機能で設定を変更してもecoモードの動作には影響しません。

ecoモード自動起動／解除設定

電池残量が一定の量より多いか少ないかによって、自動でecoモードを起動／解除します。

●「電池残量確認」→P.63

1 MENU▶「本体設定」▶「電池」▶「ecoモード自動起動設定」

ecoモード自動起動設定画面

2 「ON」▶「電池残量」▶「20%、40%、60%、80%」から選択

■ ecoモード自動起動設定を設定しない場合
▶「OFF」

3 [📷] [完了]

おしらせ

◆お買い上げ時は設定が「ON」となっており、電池残量が40%以下の状態で待受画面が表示されると、自動的にecoモードが設定されます。
◆「ecoモード自動起動設定」が「ON」でecoモード状態でない場合、待受画面に「■」が表示されます。
◆電源を切った状態で eco モードが起動／解除される電池残量になった場合、次に電源を入れたときに「ecoモード自動起動設定」によるecoモードの起動／解除は行われません。

● 設定アシスト機能を利用する

「ecoモード自動起動設定」のアシスト機能を利用するかしないかを設定します。

1 ecoモード自動起動設定画面(P.119)▶「ON」▶「設定アシスト機能」▶「ON」または「OFF」

2 [📷] [完了]

おしらせ

◆「設定アシスト機能」が「ON」の場合、一度 ecoモードを解除しても、待受画面が省電力モードになると再度ecoモードが設定されます。

閉じたときの照明設定

待受画面表示中にFOMA端末を閉じたときの照明動作（省電力モード移行）を設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「スライド設定」▶「クローズ動作照明設定」▶「消灯」または「点灯」

カラーテーマ設定

1 MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「カラーテーマ設定」▶項目から選択

おしらせ

◆ｉモードブラウザ画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらない画面や機能があります。

電池・アンテナのアイコン設定

1 MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「待受画面設定」▶「アイコンパターン」▶項目を選択▶パターンを選択

おしらせ

◆アンテナアイコンは FOMA と Wi-Fi で別々の設定はできません。

ソフトキーの背景色の設定

1 MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「ソフトキー」▶項目から選択

メインメニューの表示変更

メニュー表示のしかたの設定

メインメニューのデザインを変更します。

1 MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」

2 以下の項目を選択

Stream Line～シンプル…メインメニューを選択します。

オリジナルテーマ…P.120

きせかえツール…P.126

メインメニューでのオリジナルテーマの設定

メインメニューのアイコンや背景イメージを「スタンダード」をベースに変更します。

1 MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」▶「オリジナルテーマ」

■ 変更したアイコン／背景イメージをお買い上げ時の設定に戻す場合

▶ MENU［サブメニュー］▶リセット方法を選択

2 以下の項目から選択

メール～おサイフケータイ…メインメニューの各アイコンをマイピクチャから選択します。

背景イメージ…メインメニューの背景イメージをマイピクチャから選択します。

おしらせ

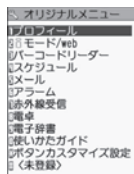
◆以下の画像は設定できません。
- 横または縦が854ドットより大きな画像
- ファイルサイズが500Kバイトを超える画像
- Flash画像

◆画像表示エリアより大きい場合は、縦横が同じ比率で縮小表示され、小さい場合は中央に表示されます。

オリジナルメニューの作成

よく使う機能を「オリジナルメニュー」として登録しておくと、簡単に機能を呼び出すことができます。
→P.50

- オリジナルメニューは、最大12件登録できます。
- オリジナルメニューに登録できる機能は、「メール」「ｉモード／web」「ｉアプリ」「ｉコンシェル」「プロフィール」の大項目と「データBOX」「カメラ／TV／MUSIC」「便利ツール」「電話機能」「本体設定」「地図／海外」「おサイフケータイ」の各中項目および小項目です。
- 同じ項目を登録することはできません。

1 MENU ▶ i［オリジナル］▶ 📷［設定］

オリジナルメニュー画面（サブメニュー→P.120）

2 登録または変更する項目を反転▶ MENU［サブメニュー］▶「メニュー登録」▶ ✥で機能を選択

サブメニュー

❖オリジナルメニュー画面（P.120）

メニュー登録…メニューを登録します。

背景イメージ変更…オリジナルメニューの背景に表示される画像を選択します。

デスクトップ貼付…P.124

メニュー初期化…お買い上げ時の設定に戻します。

解除、全解除…メニューを解除／全解除します。

おしらせ

<解除、全解除>

◆解除すると「<未登録>」になり、お買い上げ時の項目には戻りません。

着信時の着信イルミネーション設定

音声電話、テレビ電話の着信があったときや、メール、メッセージR／F、ｉコンシェルのインフォメー

ションを受信したときの着信イルミネーションの点滅色や点滅パターンを設定します。
●指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。→P.101

1 MENU▶「本体設定」▶「照明・イルミネーション」▶「イルミネーション設定」▶「着信イルミネーション」▶以下の項目から選択

着信イルミネーション選択…「FOMA電話、Wi-Fi外線電話、Wi-FiホームU／内線電話、テレビ電話、メール、メッセージR、メッセージF、iコンシェル」の着信イルミネーションの点滅色を「色1～色7、グラデーション」から選択します。

「メール」を選択すると、iモードメールやSMSの着信イルミネーションが設定されます。

パターン設定…着信イルミネーションの点滅パターンを「パターン1～パターン11、メロディ連動」から選択します。

不在お知らせ…ディスプレイに不在着信または新着メール（iモードメール、メッセージR、メッセージF、エリアメール、SMS）のアイコンが表示されているときに、着信イルミネーションを点滅させ続けるか点滅させないか（ON／OFF）を設定します（点滅の間隔は約5秒間です。省電力モード時は約10秒間です）。不在お知らせの点滅はFOMA端末を閉じた状態およびFOMA端末を開いた状態で待受画面を表示しているときに動作します。

おしらせ

◆項目選択のときに反転表示を移動すると、着信イルミネーションが点灯します。
◆「メロディ連動」に設定していても、着信音にメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていない場合、着モーションや着うたフル®の場合は「パターン1」で点滅します。
◆「メロディ連動」に設定していても、着信音にメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていない場合、着モーションや着うたフル®の場合は「フラッシュ 1」で点滅します。
◆エリアメールの着信イルミネーションの点滅色は本機能の設定にかかわらず「色5」（赤色）で点滅します。
◆緊急地震速報のエリアメール受信時には本機能の設定にかかわらず、着信音に連動して着信イルミネーションが点滅します。
◆複数のメールやメッセージR／Fを同時に受信した場合の着信イルミネーションの動作は、着信音の動作と同じになります。→P.107

<着信イルミネーションの優先順位>
◆着信イルミネーションの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
① 個別着信音／画像のイルミネーション設定
② グループ着信音／画像のイルミネーション設定
③ 2in1のBモードへの着信イルミネーション設定
④ 着信イルミネーションの設定

スケジュール、メモのアラーム通知時の着信イルミネーション設定

スケジュール、メモのアラーム通知時の着信イルミネーションの点滅色や点滅パターンを設定します。
●「スケジュール登録」→P.398
●「メモの作成」→P.413

1 MENU▶「本体設定」▶「照明・イルミネーション」▶「イルミネーション設定」▶「メモイルミネーション」▶以下の項目から選択

イルミネーション選択…着信イルミネーションの点滅色を「色1～色7、グラデーション」から選択します。「OFF」を選択すると点灯しません。

パターン設定…着信イルミネーションの点滅パターンを「パターン1～パターン11、メロディ連動」から選択します。

おしらせ

◆項目選択のときに反転表示を移動すると、その色やパターンで着信イルミネーションが点滅します。

表示画質モードの設定

画面表示の画質モードを「ノーマル」、「ビビッド」、「ダイナミック」から選択できます。

1 MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「表示画質モード設定」▶以下の項目から選択

ノーマル…標準画質で表示します。

ビビッド…鮮やかな画質で表示します。

ダイナミック…コントラストが強い画質で表示します。

おしらせ

◆ワンセグ視聴時の表示画質は「ワンセグ効果」の「映像効果」の設定に従います。

◆項目選択のとき反転表示を移動すると、各モードのプレビュー画像が表示され画質の効果を確認できます。

画面縦横の切り替えかたの設定

傾きを検知した場合、自動で画面の縦横表示を切り替えるか（ON）、手動で切り替えを行うか（OFF）を設定します。→P.39

1 MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「画面縦横自動切替」▶「ON」または「OFF」

おしらせ

◆画面縦横自動切替の設定画面で［練習］を押すと切り替えの操作を試すことができます。
◆ecoモード設定中は、本機能を「ON」に設定しても、自動で画面切替ができません。手動で画面を切り替えてください。

スタイルごとのタッチパネルの利用設定

タッチスタイル、コミュニケーションスタイルにしたとき、タッチ操作ができるかどうか（ON／OFF）をスタイルごとに設定します。また、タッチ操作時のバイブレータの動作についても設定できます。

1 MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「タッチパネル有効設定」▶設定する項目を選択▶「ON」または「OFF」

マチキャラの設定

マチキャラを設定すると待受画面にキャラクタが表示され、iコンシェルのインフォメーション、不在着信／新着メール／未読メールなどのお知らせをします。
マチキャラはFOMA端末の状況や時間帯などによりキャラクタの動作や表示が変化します。
●マチキャラはダウンロードすることができます。→P.210

1 MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「マチキャラ設定」▶「表示設定」

■マチキャラの自動アップデートの設定をする場合
▶「自動アップデート設定」▶「ON」／「OFF」

■マチキャラのアップデート通知の設定をする場合
▶「アップデート通知設定」▶「ON」／「OFF」

2 「ON」

■マチキャラを設定しない場合
▶「OFF」

3 フォルダを選択

「マチキャラ一覧画面の見かた」→P.352

■iモードでマチキャラを検索する場合
▶「iモードで探す」▶「YES」

4 マチキャラを選択▶［設定］

■「Not Available」または「No Preview Data」を選択する場合
「Not Available」と表示されたマチキャラは設定できません。
「No Preview Data」と表示されたマチキャラは設定できる場合があります。

おしらせ

◆待受画面にiアプリを設定している場合は、マチキャラを同時設定できません。
◆アクションによっては、マチキャラの一部が表示されない場合があります。
◆自動アップデートは、「表示設定」で設定しているマチキャラが対象になります。
◆「自動アップデート設定」を「ON」に設定するとiコンシェル未契約の場合でも、マチキャラの更新が可能になります。
◆「アップデート通知設定」を「OFF」に設定すると通知をしないでアップデートします。アップデート時にはパケット通信料がかかります。

マチキャラ音声の設定

音声クイック起動でのマチキャラのおしゃべり（音声）の出力先や音量を設定をします。
●本機能が「ON」に設定されているときは、「マチキャラ設定」の「表示設定」が「OFF」でも、おしゃべり（音声）の出力は有効です。
●設定中のマチキャラがおしゃべり機能に対応していない場合は、本機能が「ON」に設定されていてもおしゃべりは行いません。

1 MENU▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「マチキャラおしゃべり設定」

2「おしゃべり」▶「ON」▶「スピーカー」または「受話口」

■ マチキャラ音声の音量を設定する場合
▶「音量」▶ で音量を調整▶■［確定］

■ マチキャラ音声をOFFに設定する場合
▶「おしゃべり」▶「OFF」

文字の設定

ディスプレイに表示される文字の大きさなどを設定します。
フォントはダウンロードすることができます。
→P.210

1 待受画面表示中▶7（1秒以上）▶以下の項目から選択

フォント選択…フォントをフォントフォルダから選択します。（設定された項目には「★」が表示されます。）

■「Not Available」「No Preview Data」を選択する場合
「Not Available」と表示されたフォントは設定できません。「No Preview Data」と表示されたフォントは設定できる場合があります。

太さ…太さを「細字、太字」から選択します。

文字サイズ…各種画面の文字サイズを設定します。

- **一括設定**…各種画面の文字の大きさを「小、中、大、特大」から選択されたサイズに一括設定します。
- **個別設定**…各画面の文字サイズを「最小、超小、極小、小、中、大、特大、超大」から個別に設定します。画面の種類によっては選択できる文字サイズが異なります。

■個別設定の対象となる画面

項目	設定の対象となる画面
文字入力	文字入力（編集）画面、新規メール画面（SMSは除く）、各プレビュー画面（SMS送信など一部を除く）
メール	メール画面（メールメニューと新規作成画面は除く）
iモード	iモードブラウザ画面
フルブラウザ	フルブラウザ画面
電話帳	電話帳の一覧／詳細画面、プロフィール画面
発着信履歴	リダイヤル／発着信履歴画面（一覧）、アドレス画面（一覧）
iチャネルテロップ	iチャネルのテロップ表示
電子辞書	辞典詳細画面

おしらせ

◆電話番号入力画面などの文字は、本機能の設定対象外です。
◆文字サイズは個別設定の対象となる項目の設定メニューやサブメニューなどからも変更できます。

待受画面の時計表示の設定

待受画面の曜日を日本語または英語に設定したり、時刻の表示サイズや色を設定します。メイン時計の日付や時刻を表示しないように設定することもできます。

- 待受画面以外の画面では、本設定にかかわらず時刻のみを画面上に小さく表示します。

1 MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「待受画面設定」▶「待受時計表示」▶以下の項目から選択

表示方法…曜日の表示を「日本語、英語」から選択します。「OFF」を選択すると、日付や時刻は表示されません。

表示サイズ…時刻の表示を「大きく表示、小さく表示、上に小さく表示」から選択します。

文字色…「ブラック、ホワイト」から選択します。

英語表示への切り替え

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 MENU▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「Select language」▶「English」

■ 英語表示から日本語表示に切り替える場合
▶MENU▶「Setting」▶「Text display/input」▶「バイリンガル」▶「日本語」

おしらせ

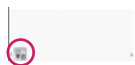
◆ドコモUIMカードを挿入している場合、Select languageの設定はドコモUIMカードに記憶されます。
◆「Select language」の設定が「English」のときは、「待受時計表示」(Clock display)の「表示方法」(Display method)の選択肢が「ON、OFF」の2項目になります。

デスクトップアイコンの利用

よくかける電話番号やよく使う機能をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能を呼び出したりできます。また、かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあったときなど、待受画面にアイコンでお知らせします。
デスクトップアイコンの一覧→P.36

デスクトップアイコンの貼り付け

貼り付けたい機能の画面、データの一覧画面または詳細画面でサブメニューから「デスクトップ貼付」を選択します。
●デスクトップアイコンはアイコンセット1～3それぞれに16件まで貼り付けることができます。
<例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合>

1 電話帳詳細画面(P.97)▶MENU[サブメニュー]▶「設定」▶「デスクトップ貼付」▶「YES」

デスクトップアイコンからのデータや機能の呼び出し

1 待受画面表示中▶■

デスクトップアイコンが選択できる状態になります。反転表示されたデスクトップアイコンには吹き出しタイトルが表示されます。

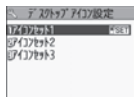
デスクトップアイコン画面(サブメニュー→P.124)

2 でデスクトップアイコンを選択

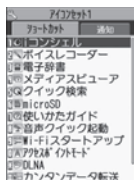
■デスクトップアイコンが8件以上登録されている場合
画面の左右に「◀▶」が表示されます。でデスクトップアイコンをスクロールできます。

待受画面のアイコンセットの変更

1 MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「待受画面設定」▶「デスクトップアイコン設定」

設定中のアイコンセットには「SET」が表示されます。

デスクトップアイコン設定画面(サブメニュー→P.124)

2 アイコンセットを反転▶■[設定]▶「YES」

■アイコンセットの内容を確認する場合
▶アイコンセットを反転▶[編集]▶ショートカットタブを選択

アイコンセット画面(サブメニュー→P.124)

サブメニュー

❖デスクトップアイコン画面(P.124)

❖デスクトップアイコン設定画面(P.124)

❖アイコンセット画面(P.124)

ショートカット追加※1…機能名一覧から貼り付けるアイコンを選択し、デスクトップアイコンを追加します。
アイコン変更※2…デスクトップアイコンを静止画やデコメ絵文字®に変更します。

機能を起動するデスクトップアイコンの場合は、「ショートカット」タブを選択し、画像を変更したいショートカットを選択します。

情報を通知するデスクトップアイコンの場合は、「通知」タブを選択し、画像を変更したいショートカットを選択して「アイコン画像変更、相手別アイコン画像設定」から選択します。「アイコン画像変更」を選択するとアイコンを変更できます。「相手別アイコン画像設定」を選択すると誰からの不在着信、新着メールなのかわかりやすいように相手別に画像を設定できます。ｉチャネル、ｉコンシェル、Music&Videoチャネルのデスクトップアイコンは変更できません。

ショートカット並び替え※1…アイコンの並び順を変更します。

他アイコンセットへコピー※2…「1件コピー、選択コピー、全コピー」から選択し、アイコンをほかのアイコンセットにコピーします。

他アイコンセットへ移動※2…「1件移動、選択移動、全移動」から選択し、アイコンをほかのテーマに移動します。

タイトル編集…タイトルを編集します。

ショートカット情報※1…アイコンのタイトル、種別、内容などを表示します。

グループ切替※3…アイコンセットを切り替えます。

デスクトップ表示設定※4…アイコンの表示方法を「常に表示、使用時のみ表示」から選択します。「使用時のみ表示」を選択すると、待受画面で[■]を押したときに表示されます。

待受関連設定※3…待受画面に関する様々な設定を行います。

- **待受画面設定**※5…P.116
- **きせかえツール設定**…P.126
- **ボタンカスタマイズ設定**…[カメラ]のファンクションボタンに機能を割り当てます。→P.396
- **時計設定**…待受画面の時計表示を設定します。→P.123

デスクトップ初期化※3…表示中のアイコンセットをお買い上げ時の状態に戻します。

※ 初期化されるのは、現在設定されているアイコンセットのデスクトップのみです。

削除※1…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 デスクトップアイコン設定画面では表示されません。
※2 アイコンセット画面のみ表示されます。
※3 デスクトップアイコン画面のみ表示されます。
※4 アイコンセット画面では表示されません。
※5 2in1設定がBモードまたはデュアルモードに設定されているときには、現在設定中の2in1設定のモード別待受画面を変更します。→P.455

相手別アイコンの変更

誰からの不在着信、新着メールかわかりやすいように相手別に画像を設定できます。

1 デスクトップアイコン画面（P.124）▶[カメラ]［アイコン変更］▶[□]で「通知」タブを表示▶「不在着信通知アイコン」

「ｉコンシェル」のデスクトップアイコンに囲み枠を移動したときは、アイコン変更は無効です。

2 「相手別アイコン画像設定」▶「<相手別アイコン未登録>」▶登録したい相手の電話帳を検索

■ 登録を解除する場合
▶解除したい電話帳を反転▶[カメラ]［登録解除］▶「YES」

■「アイコン画像変更」を選択した場合
▶フォルダを選択▶画像を選択
「相手別アイコン画像設定」に登録した相手以外の着信で表示されます。
お買い上げ時の画像に戻すときは、[カメラ]［画像解除］▶「YES」を押します。

3 フォルダを選択▶画像を選択

おしらせ

◆シークレットデータとして登録された電話帳の場合、画像を設定できません。
◆設定できる画像は「240×320ドット」または「320×240ドット」以下のJPEG画像、GIF画像、アニメーションGIFとデコメ絵文字®です。
◆ドコモUIMカードに登録されている電話帳は選択できません。
◆複数の相手から着信／メール受信があった場合、「相手別画像アイコン設定」を設定しているデータの中で新しい着信相手のアイコンが表示されます。

待受画面の表示アイコン選択

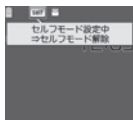
待受画面上のアイコンや日付表示、時刻表示を[十字キー]で選択できるようにするかしないか（ON、OFF）を設定します。
選択できるアイコンの一覧→P.37

1 [MENU]▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「表示アイコン設定」▶「ON」または「OFF」

表示アイコンを選択する

<例：マルチファンクションボタン（[十字]）で選択する場合>

1 待受画面表示中▶[■]▶[十字]でアイコンを反転

反転したアイコンのタイトルが表示されます。

2 [■]［選択］

選択したアイコンの設定画面などが表示されます。

きせかえツール設定

画面や着信音など、FOMA端末のさまざまなデザインをきせかえツールで一括設定します。

- お買い上げ時は「拡大メニュー」が登録されています。
- きせかえツールは、サイトからダウンロードすることもできます。→P.210
  ダウンロードしたきせかえツールはデータBOXに保存され、内容を確認することができます。→P.354
- 一括設定できる対象項目は以下のとおりです。きせかえツールによって設定できる項目が異なります。
  - 「各種画面設定」
  - 「待受画面設定」
  - 「着信音選択」
  - 「メニュー画面設定」
  - 「待受時計表示」
  - 「ｉチャネル」－「テロップ表示設定」－「テロップ色設定」
  - 「カラーテーマ設定」
  - 「着信イルミネーション」－「着信イルミネーション選択」
  - 「アラーム」－「アラーム音」
  - 「ｉアプリ」－「ｉアプリ設定」－「ｉアプリコール機能設定」－「ｉアプリコール音設定」－「着信鳴動音選択」
- 2in1設定時は、待受画面、音声電話／テレビ電話の着信画面・着信音・着信イルミネーションおよびメールの着信音・着信イルミネーションの変更はAモードにのみ反映されます。
  そのほかの変更はすべてのモードに反映されます。
- きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度にあわせてメニュー構成が変わるものや機能番号（P.504）を押しても機能を呼び出せないものがあります。また、メニューの機能番号が表示されなかったり、表示されていてもダイヤルボタンに対応していない場合があります。

きせかえツール設定

1 [MENU]▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「きせかえツール設定」▶フォルダを選択

きせかえツール設定一覧画面（サブメニュー→P.126）

2 項目を反転▶[カメラ]［一括設定］▶「YES」

■ 設定内容を確認する場合
▶項目を選択▶項目を選択

■ ｉモードできせかえツールを検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

おしらせ

◆きせかえツールを設定すると、発着信番号表示設定の色が変更される場合があります。

サブメニュー

❖きせかえツール設定一覧画面（P.126）

ソート…選択した条件に従ってきせかえツールを並べ替えます。

一覧表示切替…きせかえツール設定一覧画面の表示方法を「タイトル、画像」から選択します。

あんしん設定

■暗証番号

FOMA端末で利用する暗証番号……128
端末暗証番号変更……129
PINコード設定……129
PINロック解除……129

■操作・機能の制限

ダイヤルロック／おまかせロック……130
シークレットモード……131
シークレットフォルダ……133
オリジナルロック……134
ボタン操作の自動ロック……139
タッチパネル操作の自動ロック……140
ICカード認証機能……140

■発着信・送受信の制限

BOXロック／フォルダロック……141
指定電話番号の着信／発信制限……141
着信拒否設定……143
呼出時間表示設定……144
セルフモード……144
ケータイデータお預かりサービス……144
設定リセット……147
端末初期化……148
遠隔初期化……148

■その他の「あんしん設定」

その他の「あんしん設定」……149

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。
用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は、「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■端末暗証番号

端末暗証番号とは、各種端末操作用の暗証番号です。お買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.129
端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、■［確定］を押します。

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「●」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。

■ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、iモードからは、i▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ネットワーク暗証番号変更」で変更できます。
※「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

■iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります（このほかにも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
iモードパスワードは、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様自身で番号を変更できます。
iモードから変更される場合は、i▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「iモードパスワード変更」から変更できます。

■PIN1コード・PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.129
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コード入力設定を「ON」にした場合、PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。
※ 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる

場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

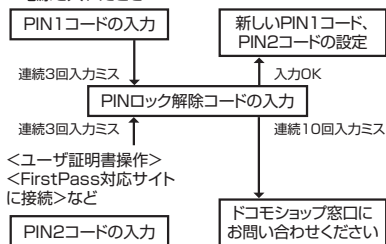
PIN1コードまたはPIN2コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、■［確定］を押します。

例：PIN1コード

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。
- 3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残りの回数が画面に表示されます）。正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると入力可能な回数が3回に戻ります。

■PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、ドコモUIMカードがロックされます。

端末暗証番号変更

1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」▶現在の端末暗証番号を入力▶新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶「YES」

PINコード設定

ドコモUIMカードのPIN1コード、PIN2コードを設定します。PIN1コード・PIN2コードについて→P.128

- PIN1コード、PIN2コード、およびPIN1コード入力設定はドコモUIMカードに記憶されます。
- PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「UIM（FOMA）カード設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

PIN1コード変更…現在のPIN1コード（4～8桁）を入力後、新しいPIN1コードを2回（うち1回は確認のため）入力します。

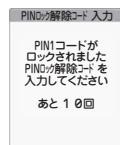
PIN2コード変更…現在のPIN2コード（4～8桁）を入力後、新しいPIN2コードを2回（うち1回は確認のため）入力します。

PIN1 コード入力設定…電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうか（ON、OFF）を設定します。

PINロック解除

PIN1コード、PIN2コードの入力を続けて3回誤った場合は、PIN1コード、PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード、PIN2コードを設定する必要があります。

<例：PIN1コードのロックを解除する場合>

1 8桁のPINロック解除コードを入力

2 4～8桁の新しいPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力

ダイヤルロック／おまかせロック

ほかの人が使用できないようにロックを設定する方法は、FOMA端末を操作して行う「ダイヤルロック」と遠隔操作で行う「おまかせロック」があります。

- ダイヤルロック、おまかせロックは電源を切っても解除されません。

● ダイヤルロック／おまかせロック設定中に利用できる操作や機能

機　能	ダイヤルロック	おまかせロック
電源を入れる／切る	○	○
緊急通報番号(110番、119番、118番)に電話をかける	○	×
ダイヤルロックを設定／解除する	○	×
おまかせロックを設定／解除する	○	○
音声電話、テレビ電話の着信を受ける※	○	○
ケータイデータお預かりサービスの更新を受ける	○	×
GPS機能の位置提供を行う(ドコモの「イマドコサーチ」などの位置提供サービスを利用した相手からの要求による位置提供)	○	○

○：利用できます。×：利用できません。

※ 指定着信拒否／指定着信許可の設定にかかわらず着信します。
音声電話、テレビ電話を発信することはできません。また、公共モード（ドライブモード）設定中は、着信を受けることができません。

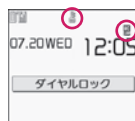
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームは通知されません。ダイヤルロック／おまかせロックを解除後、「アラーム(未通知アラームあり)」「アラーム(未視聴予約あり)」「終了(ワンセグ予約録画終了あり)」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、デスクトップアイコンは表示されなくなります。ダイヤルロック／おまかせロック解除後、アイコンが再び表示されます。
- 電話帳に登録されている相手からの着信でもダイヤルロック／おまかせロック設定中は電話番号だけが表示されます。

ダイヤルロック設定

「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」を「拒否」に設定しているときは、ダイヤルロックを設定できません。ダイヤルロックを設定するときは「登録外着信拒否」を「許可」に設定してください。

1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力▶「ダイヤルロック」

● ダイヤルロック設定中の動作について

- ディスプレイに「ダイヤルロック」と「」「」が表示されます。同時にICカードロックも「ON」となり、ICカード機能も利用できなくなります。

- ダイヤルロック設定中にメッセージR／F、iモードメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。ダイヤルロック解除後、受信したことを示すアイコンが待受画面に表示されます。
  - エリアメールの自動受信と内容表示はできます。

ダイヤルロック解除

- ダイヤルロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

1 ダイヤルロック設定中の画面で端末暗証番号を入力▶■

ダイヤルロックが解除されて「」「」の表示が消えます。

おまかせロックの利用

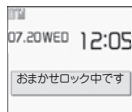
FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからなくても、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、解約・電話番号保管・電話番号変更を行った場合や紛失時などで新しいドコモUIMカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかか

りません。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。
※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります（ただしご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります）。
※ おまかせロック中も「位置提供設定」の設定を「位置提供ON」（P.316）にしていれば、ケータイお探しサービスなどのGPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360 受付時間24時間（年中無休）
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。
※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

※ おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（基本編）』をご覧ください。

● おまかせロック設定中の動作について

- ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示します。

- おまかせロック設定中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答と電源を入れる／切るの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ICカードを含む）を使用することができなくなります。
- 音声電話、テレビ電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック設定中に受信したメールはｉモードセンターに保管されます。エリアメールは破棄されます。
- 電源を入れる／切ることはできますが、電源を切ってもおまかせロックは解除されません。
- ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

◆ほかの機能が動作中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます（編集中のデータがある場合は編集中のデータを破棄して終了することがあります）。
◆ほかのロック機能の設定中でも、おまかせロックをかけることができます。この場合、おまかせロックを解除すると、おまかせロック設定前のロック状態に戻ります（ただしシークレットモード／シークレット専用モードは解除されます）。
◆FOMA端末の圏外・電源OFF時・海外での使用時・Wi-Fiシングルモード時は、ロックおよびロック解除はできません。その他お客様の利用方法などにより、ロックおよび解除ができない場合があります。
◆「デュアルネットワークサービス」をご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックがかかりません。
◆ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
◆おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のドコモUIMカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
◆おまかせロックを解除しようとしたときにFOMA端末が音声通話中またはテレビ電話中の場合は、通話終了後にロックが解除されます。

シークレットモード

シークレットモードまたはシークレット専用モードで電話帳やメモ、スケジュールを登録すると、シークレットデータになり、通常のモードでは表示されなくなります。表示するときは、シークレットモード（シークレットデータも含めたすべてのデータを表示）か、シークレット専用モード（シークレットデータのみを表示）にします。
- ほかの人に見られたくない「マイピクチャ」や「ｉモーション」の各データを、シークレットフォルダに保管することもできます。→P.133

シークレットモード／シークレット専用モード

1 **MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「シークレット」▶「シークレットモード」または「シークレット専用モード」▶端末暗証番号を入力▶「YES」**

シークレットモードに設定すると「S」が表示されます。
シークレット専用モードに設定すると「S」が点滅表示され、シークレットデータ登録件数が約2秒間表示されます。
ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.28

● シークレットデータの登録・表示と、通常のデータへの戻しかた

- ドコモUIMカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。

■電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにして登録します。
電話帳の登録のしかた→P.94
スケジュールの登録のしかた→P.398

■登録済みの電話帳をシークレットデータにするには

電話帳詳細画面のサブメニューから「設定」▶「シークレット設定」を選択します。
※ 直デンに登録されている電話帳を、シークレットデータにすると、直デンから削除されます。

■シークレットデータを表示するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにし、電話帳やスケジュールを表示します。
電話帳の検索のしかた→P.97
スケジュールの確認のしかた→P.399

■シークレットデータを通常のデータに戻すには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにしてから、電話帳詳細画面（P.97）を表示し、サブメニューから「設定」▶「シークレット解除」を選択します。または、メモ一覧画面／詳細画面（P.414）、スケジュール一覧画面／詳細画面（P.399）を表示し、サブメニューから「シークレット解除」を選択します。

シークレットデータとして登録した相手からの不在着信、新着メールを電池アイコンで通知

シークレットデータとして登録した相手からの不在着信、新着メールがあるかどうかを電池アイコンで通知できるように設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「シークレット」▶「シークレット通知設定」▶端末暗証番号を入力▶「通知する」または「通知しない」

「通知する」に設定すると、シークレット対象の不在着信、新着メールがあるときに、電池アイコンが「」に変わります。
「」に設定されている場合、「」に変わります。

おしらせ

◆シークレットモードまたはシークレット専用モード中に、着信履歴（不在着信履歴）の一覧画面を表示したり、対象のメールを確認したりすると、元の電池アイコンに戻ります。

シークレットデータとして登録した相手からの着信動作設定

通常モードのときに、シークレットデータとして登録した相手から着信があった場合の着信動作を設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「シークレット」▶「着信動作設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

登録外着信の扱い…電話帳に登録されていない相手からの着信として動作します。→P.143

サイレント着信…「マナーモード選択」の設定にかかわらず、着信音は鳴らずにバイブレータや着信イルミネーションも動作しません。

おしらせ

◆シークレットモードまたはシークレット専用モード中に、シークレットデータとして登録した相手から着信した場合は、本設定にかかわらず通常の着信動作と同じになります。

シークレットモード／シークレット専用モードの解除

1 シークレットモード、シークレット専用モード中の待受画面で［終話］

シークレットモード、シークレット専用モードが解除され、「」の表示が消えます。ほかの機能が起動している場合は解除できません。
MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「シークレット」▶「シークレットモード」または「シークレット専用モード」でも解除できます。

おしらせ

◆シークレットモード中に、一覧画面でシークレットデータを反転したとき、またはシークレットデータを詳細表示したときは、点灯している「」が点滅に変わります。
◆シークレットモード、シークレット専用モード中に入力した文字は予測候補に登録されません。
◆シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除、参照ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。
◆通常のモードでは、シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合、登録されている名前や画像は表示されず電話番号が表示されます。なお「着信履歴」には表示さ

れません。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると、「着信履歴」に表示されます。
◆シークレットデータとして登録した相手がメールを送ってきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると、受信結果画面やデスクトップ上に「✉」「 01」は表示されず、メールの着信音も鳴りません。
◆通常のモードでは、シークレットデータとして登録した相手からのメールアドレスは、「受信アドレス一覧」に表示されません。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると、「受信アドレス一覧」に表示されます。
◆シークレットデータとして登録した相手からのメールは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると表示されません。また、シークレットデータとして登録した相手に送ったメールも同様です。
◆シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、電話帳を修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての情報がシークレットデータになります。
◆「ダイヤルロック／おまかせロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合は、「ダイヤルロック／おまかせロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
◆シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたりメールを送信した場合は、通常のモードに戻すと「リダイヤル」や「発信履歴」「送信アドレス一覧」には表示されません。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると表示されます。
◆シークレットデータとして登録した「電話帳」は、誕生日お知らせを行いません。

シークレットフォルダ

ほかの人に見られたくない画像、動画／ｉモーションの各データを、シークレットモードおよびシークレット専用モードでのみ表示されるシークレットフォルダに保管します。
●FOMA端末に保存されているデータのみ保管できます。
●各フォルダ内のシークレットフォルダに保管できるデータの最大件数は次のとおりです。

マイピクチャ	ｉモーション
約250件（約7Mバイト）	約10件（約10Mバイト）

※1 1件あたりのデータ容量によって最大件数まで登録できない場合があります。
※2 1件あたりのデータ容量によってはシークレットフォルダへ保管できない場合があります。

<例：マイピクチャの画像をシークレットフォルダに保管する場合>

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.131

2 画像一覧画面（P.327）▶[十字キー]で画像の囲み枠を移動▶[MENU]［サブメニュー］▶「シークレットに保管」

おしらせ

◆シークレットフォルダは、FOMA端末にあらかじめ用意されています。シークレットフォルダの追加や削除、フォルダ名の変更はできません。

<デスクトップアイコン>
◆デスクトップアイコンとして貼り付けた画像、動画、ｉモーションをシークレットフォルダに保管すると、デスクトップアイコンを選択しても表示されなくなります。

● シークレットフォルダのサブメニューについて

シークレットフォルダでは、フォルダやフォルダ内のデータに対して、行える機能は制限されています。フォルダ一覧画面、データ一覧画面、データ詳細画面の各画面で操作できる機能は以下のとおりです。
「シークレットから出す」については「シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す方法」（P.134）をご覧ください。
なお、シークレット設定されたメールフォルダやフォルダ内のメールに対して行える機能は、通常のユーザ作成フォルダと同じです。

■フォルダ一覧画面でシークレットフォルダが反転しているときのサブメニュー

マイピクチャ（P.374）	ｉモーション（P.374）
フォルダ追加 赤外線全件送信※ フォルダ内全削除 保存容量確認	フォルダ追加 赤外線全件送信※ 保存容量確認

※ シークレットフォルダ内のデータは対象となりません。

■データ一覧画面のサブメニュー

マイピクチャ（P.329）	ｉモーション（P.341）
ピクチャ情報 DLNA 保存容量確認 削除 シークレットから出す	ｉモーション情報 保存容量確認 削除 シークレットから出す

■データ詳細表示画面のサブメニュー

マイピクチャ（P.329）	ｉモーション（P.343）
ピクチャ情報 DLNA 表示サイズ設定 削除 リトライ	通常再生 チャプター一覧※1 スロー再生 早見再生（1.25倍速） 早見再生（2倍速） 高速再生 停止 再生位置選択 ｉモーション情報 グリッド表示 表示サイズ設定 全画面モード切替※2 サウンドエフェクト

※1 チャプターがあるｉモーション詳細画面でのみ利用できます。

※2「画面縦横自動切替」（P.122）を「OFF」に設定しているときのみ利用できます。

メールのフォルダにシークレット設定

受信BOX内、送信BOX内のユーザ作成フォルダにシークレットを設定します。

1 受信BOX／送信BOXフォルダー覧画面（P.172）▶シークレット設定するフォルダを反転▶MENU［サブメニュー］▶「フォルダ操作」▶「シークレット設定」

おしらせ

◆お買い上げ時にすでにあるフォルダ（メールや送信BOXなど）には、シークレットを設定できません。

◆シークレット設定されたフォルダ、シークレット設定されたフォルダ内のメールは、シークレットモードまたはシークレット専用モードでのみ表示されます。

◆シークレット設定されたフォルダへは、自動振分けを設定することができます。
「自動振分けを設定する」→P.176

◆シークレット設定されたフォルダをデスクトップアイコンとして貼り付けた場合、シークレットモードまたはシークレット専用モードでのみデスクトップアイコンが表示されます。また、すでに貼り付けてある通常のフォルダをシークレット設定に変更した場合も同様です。

シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す方法

メール以外のシークレットデータを通常のデータに戻すにはシークレットフォルダから別のフォルダに移動します。

<例：マイピクチャのシークレットフォルダの画像を通常のデータに戻す場合>

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.131

2 フォルダー覧画面（P.326）▶「シークレット」▶で画像囲み枠を移動▶MENU［サブメニュー］▶「シークレットから出す」

3 保存するフォルダを選択

シークレットのメールフォルダを通常のフォルダに戻す方法

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.131

2 受信BOX／送信BOXフォルダー覧画面（P.172）▶シークレット設定されたフォルダを反転▶MENU［サブメニュー］▶「フォルダ操作」▶「シークレット解除」

オリジナルロック

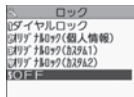
メールや電話帳などの個人情報を利用する機能にロックをかけて、ほかの人にそれらの情報を見られたり、不正に書き換えられたりすることを防ぎます。また、音声電話やテレビ電話の発着信を制限したり、ｉモードメールやSMSの送信を制限します。

●あらかじめオリジナルロック（個人情報）の設定が用意されています。また、オリジナルロック（カスタム1）、（カスタム2）は、ロック対象の機能・データを個別に登録できますので、用途・目的に応じて使い分けることができます。

●ロックは電源を切っても解除されません。

●オリジナルロックの対象となる機能や項目、データは別表1（P.137）のとおりです。各グループごと、項目ごとにロック対象とするかどうかを設定（カスタマイズ）できます。→P.135

オリジナルロックの有効化

1 **MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力**

ロック機能選択画面

2 **オリジナルロック(個人情報)～(カスタム2)から選択**

ロックが有効になり、ロック対象の機能やデータにロックがかかります。
画面には「🔒」が表示されます。
ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.28

■ **タイトルを編集する場合**
▶オリジナルロック(カスタム1)または(カスタム2)を反転▶MENU［サブメニュー］▶「タイトル編集」▶タイトルを入力

■ **オリジナルロックを解除する場合**
▶「OFF」

● オリジナルロック設定中の操作について

オリジナルロック設定中にロック対象の機能やデータを利用しようとすると、端末暗証番号の入力が求められます。

- 端末暗証番号を入力すると一時的にロックが無効になり、ロック対象の機能やデータを利用できるようになります(「発信・メール送信」と「着信・メール受信表示」の機能は一時解除して利用することはできません)。起動中の機能を終了して待受画面に戻ると、再度ロックが有効になります。

<例：オリジナルロック設定中にｉモードメールを閲覧する場合>

1 **待受画面表示中▶✉**

2 **端末暗証番号を入力**

オリジナルロックが一時的に解除され、メールメニューが表示されます。

3 **ｉモードメールを読む**

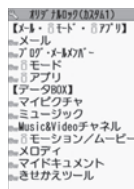
4 **メールメニューを終了し、待受画面に戻る**

オリジナルロックが有効になり、画面に「🔒」が表示されます。

ロックする機能やデータのカスタマイズ

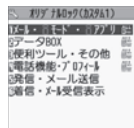
- たとえば「電話帳だけをロックする」「電話とメール発信だけを制限したい」といった設定を個別に登録できますので用途・目的に応じて使い分けることができます。
- ロック対象の設定(カスタマイズ)は、別表1(P.137)のようにグループ、機能ごとに行います。

1 **ロック機能選択画面(P.135)▶オリジナルロック(カスタム1)または(カスタム2)を反転▶📷［詳細］**

ロックの設定内容が表示されます。
ロック対象になっている場合は「🔑」が付いて表示されます。

ロック状態一覧画面

■ **表示された内容でロックする場合**
▶■［確定］

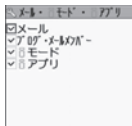
2 **📷［編集］**

グループ内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「🔑」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「ALL🔑」が付いて表示されます。

グループ一覧画面

3 **設定変更したいグループを選択**

4 **[↕]で□(チェックボックス)を選択▶📷［完了］**

チェックを付けた(☑にした)項目が、ロック対象となります。対象外にしたい項目はチェックを外します。

- MENU［サブメニュー］から「全選択／全選択解除」ができます。

機能一覧画面

5 設定変更が終わったら CLR ▶ ■［確定］

■［別表1］オリジナルロックの対象となる機能やデータについて

グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
メール・ｉモード・ｉアプリ	メール	メールの起動をロックします。 ●エリアメールの内容表示はできます。
	ブログ・メールメンバー	ブログ・メールメンバーの起動をロックします。
	ｉモード	ｉモード機能（ｉモードブラウザやフルブラウザ、ｉチャネル、Bookmarkなど）の起動をロックします。
	ｉアプリ	ｉアプリ機能の起動、ICカード一覧の表示、ｉウィジェット画面の表示をロックします。 ●ICカード機能はロックされません。 ●ｉアプリ待受画面を設定していると、ロック中はｉアプリ待受画面は表示されません。
データBOX	マイピクチャ、ミュージック、Music&Videoチャネル、ｉモーション／ムービー、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、コンテンツパッケージ、マチキャラ、キャラ電、ワンセグ録画データ、ドキュメントビューア、SDその他ファイル	各機能の起動をロックします。 ●ほかの機能からもデータを呼び出せません。 ●プリインストール以外のデータを着信音や着信画面などに設定していると、ロック中はお買い上げ時の設定で動作します（待受画面に設定している画像やｉモーションは、ロック中も待受画面に表示されます）。 ●「マイピクチャ」または「キャラ電」がロック対象になっている場合、ロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。 ●ロック中でもMusic&Videoチャネルの番組はダウンロードします。 ●「マチキャラ」がロック対象になっている場合でも待受画面のマチキャラは表示されます。
便利ツール・その他	カメラ、バーコードリーダー、おしゃべり機能、ｉコンシェル	各機能の起動をロックします。
	アラーム、スケジュール／メモ	各機能の起動をロックします。 ●ロック中はアラーム通知を行わず「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが表示されます。
	GPS	GPS機能の起動をロックします。 ●ドコモの「イマドコサーチ」などの位置提供サービスを利用した相手からの要求による位置提供はできます。
	トルカ	トルカフォルダ一覧画面の表示をロックします。 ●ロック中でも読み取り機からトルカを取得できます。
電話機能・プロフィール	電話帳／直デン	電話帳や直デンの起動をロックします（電話帳参照などあらゆる機能に影響があります）。 ●ロック中は発着信履歴やメール一覧画面などでも、登録されている名前は表示されません。電話番号やメールアドレスが表示されます。 ●「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」と同時に設定することはできません。 ●「指定着信拒否」「指定着信許可」「指定転送でんわ」「指定留守番電話」の設定は無効になります。

グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
電話機能・プロフィール	発信履歴	「発信履歴」「リダイヤル」「送信アドレス一覧」の起動をロックします。
	着信履歴	「着信履歴」「受信アドレス一覧」の起動をロックします。
	メモの再生／消去 テレビ電話メモの再生／消去	各機能の起動をロックします（伝言メモを設定することはできます）。
	待受中音声メモ 通話中音声メモ	各機能の起動をロックします。 ●メモの再生／消去はロックされません（「メモの再生／消去」にロックを設定してください）。
	通話料金通知	設定した上限料金を超えても待受画面やアラームなどで通知しません。 ●ロックを解除すると、「通話料金通知」のデスクトップアイコンが表示されます。
	プロフィール	プロフィールの起動をロックします。
発信・メール送信	ダイヤル発信	電話番号の直接ダイヤルによる発信および電話帳未登録の相手へのリダイヤル／発信履歴／着信履歴からの発信をロックします。 ●電話帳の新規登録や編集などの操作はできません（ドコモUIMカード、microSDカード含む）。 ●緊急通報番号（110番、119番、118番）にはFOMA音声電話をかけることができます。
	メールアドレス直接入力	宛先の直接入力によるｉモードメールやSMSの送信をロックします（電話帳に登録されていない相手へのリダイヤル／発信履歴／送信アドレス一覧／着信履歴／受信アドレス一覧からのメールやSMSの作成を禁止します）。 ●電話帳の新規登録や編集などの操作はできません（ドコモUIMカード、microSDカード含む）。 ●保存 BOX 内のメールは宛先が削除され、さらに題名、本文ともに未入力のメールはメール自体が削除されます。
	メール送信	ｉモードメール、SMSの送信の起動をロックします。
着信・メール受信表示	着信	電話やパケット通信の着信を拒否します（不在着信履歴として記憶されます）。 ●ロックを解除すると「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。
	メール／メッセージ受信表示	メッセージR／F、ｉモードメール、SMS、ｉコンシェルのインフォメーションの自動受信はできますが、受信中画面および受信結果画面は表示されません。着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。 ●エリアメールの自動受信と内容表示はできます。 ●ロックを解除すると「新着メール」などのデスクトップアイコンが表示されます。

※ ロック対象となるデータを「デスクトップアイコン」として待受画面に貼り付けている場合、ロック中はそのデスクトップアイコンは表示されません。

ボタン操作の自動ロック

FOMA端末を閉じたときや、電源を切ったとき、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけます。

- 自動キーロック時に着信イルミネーションが水色で点滅します。
- 自動キーロックは電源を切っても解除されません。
- 「クローズロック設定」「無操作ロック設定」のどちらかを「OFF」以外に設定すると、電源を切ったときに自動キーロックがかかります。

自動キーロックの設定

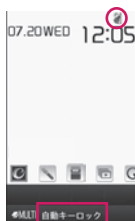
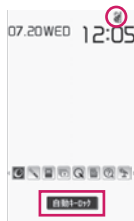
1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「自動キーロック」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

クローズロック設定…FOMA端末を閉じてからロックがかかるまでの時間を、「OFF、0秒、30秒後ON、1分後ON、5分後ON、15分後ON、30分後ON」から選択します。
たとえば、「5分後ON」に設定するとFOMA端末を閉じてから5分経過すると自動的にロックがかかります。「0秒」に設定するとFOMA端末を閉じると同時にロックがかかります。
「OFF」を選択するとタイマーは無効になり、FOMA端末を閉じても、ロックはかかりません。
タイマー動作中にFOMA端末を開くと、タイマーは無効になります。

無操作ロック設定…「OFF、30秒後ON、1分後ON、5分後ON、15分後ON、30分後ON」から選択します。
たとえば、「5分後ON」に設定するとFOMA端末を何も操作しない状態が5分間続くと自動的にロックがかかります。
「OFF」を選択するとタイマーは無効になり、ロックはかかりません。

2 📷［完了］

● 自動キーロック中の動作について

- 自動キーロック中はディスプレイに「🔒」と「自動キーロック」を表示します。

- 自動キーロック中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答、電源を入れる／切る、ICカード認証機能の利用を除くすべてのボタン操作ができなくなります。
- 自動キーロック中にメッセージR／F、iモードメール、SMSの着信動作は行われますが、内容の閲覧やメール読み上げ機能の利用はできません。
  - エリアメールの自動受信と内容表示はできます。
  - iコンシェルのインフォメーションを受信したときはポップアップメッセージが表示されますが選択はできません。
- 自動キーロック中でも、「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームは通知されます。
- 電話着信時やアラーム通知時など、自動キーロック中でも操作可能な場合はファンクション表示の下に「🔒」が表示されます。

おしらせ

◆自動キーロック中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルしてFOMA音声電話をかけることができます。

◆「クローズロック設定」と「無操作ロック設定」のタイマーを両方設定した場合は、先にどちらかのタイマーが満了した時点で自動キーロックがかかります。

◆iアプリのソフト起動中や、GPS測位動作中、位置提供中のときは、それぞれの画面を表示したままロックがかかります。iアプリのソフト起動中にロックがかかった場合は、ロックを一時解除することができます。→P.140

◆通話中、メロディ／iモーション／ミュージックの再生中、カメラ起動中などロックがかからない場合もあります。

◆自動キーロック中でも、オートGPSが動作します。オートGPSは一時停止することができます。→P.321

自動キーロックの一時解除

● FOMA端末を開いているときに解除する

1 自動キーロック中の画面で端末暗証番号を入力▶■

■ ICカード認証機能を利用して一時解除する場合→P.141

● タッチスタイルで解除する

1 キー操作ロック中の待受画面で「自動キーロック」をタッチする▶端末暗証番号を入力▶「確定」をタッチする

タッチパネル操作の自動ロック

FOMA端末がタッチスタイルでディスプレイが消灯するときに、タッチパネルが誤操作しないように自動的にロックします。

誤操作防止機能の設定

1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロックバー設定」▶「ON」または「OFF」

● 誤操作防止中の動作について

- 誤操作防止中は、すべてのタッチパネル操作ができなくなります。
- 誤操作防止中でも、「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームは通知されます。

おしらせ

◆誤操作防止機能は、通話中、発信中、呼出中、伝言メモ、応答保留中、通話保留中、充電中ディスプレイ中には起動しません。
◆待受画面で自動キーロック中には起動しません。

誤操作防止機能の一時解除

1 タッチスタイルでディスプレイ消灯中▶━━または▷

2 ロックバーの⇨をすばやく右端までスライドさせる

FOMA端末を開いても解除することができます。

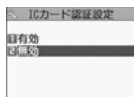
ICカード認証機能

FeliCa に対応した非接触ICカード（外部ICカード）に重ね合わせるだけで、自動キーロックを解除できるようにします。

- ICカードロック設定中でも、ICカード認証機能を利用することができます。

ICカード認証機能の有効化

非接触ICカードを登録してユーザ認証ができるように設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ICカード認証設定」▶端末暗証番号を入力

ICカード認証設定画面（サブメニュー→P.140）

2 「有効」▶「OK」

■ 登録済みの非接触ICカードを有効にする場合
▶「有効」

■ ICカード認証機能を無効にする場合
▶「無効」▶「YES」または「NO」

3 非接触ICカードをFOMA端末のマークに重ね合わせる

登録されると「IC」が消えます。

サブメニュー

❖ICカード認証設定画面（P.140）

外部ICカード登録…非接触ICカードのデータを2枚まで登録できます。2枚登録済みの場合は、古いデータを削除して登録します。
ICカード認証設定画面で📷［登録］を押しても登録できます。

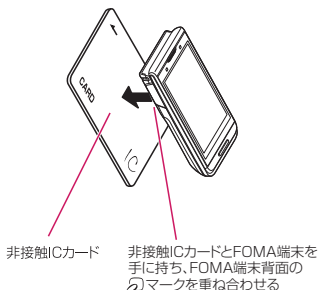
外部ICカード削除…データを削除して未登録にします。

ICカード認証機能の利用

1 自動キーロック中にFOMA端末を開く

ディスプレイに「IC」が表示されて約10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。待受画面表示中に［IC認証］を押しても同じ状態になります。

2 非接触ICカードをFOMA端末のマークに重ね合わせる

ユーザ認証が正しく行われるとロックが解除されます。

※ イラストのように重ね合わせてください。ICカードによっては認識しにくい場合があります。そのときは上下左右にずらしてください。

おしらせ

◆FeliCa に対応した非接触カードでも、カードによっては本機能を利用できない場合があります。

◆ICカード認証機能を利用するときは、非接触ICカードとFOMA端末を手に持って行ってください。

◆認証に５回連続して失敗するとICカード認証機能は使用できなくなり、認証は端末暗証番号のみになります。その後、端末暗証番号による認証が正常に行われた場合は、再度ICカード認証機能を利用できるようになります。

BOXロック／フォルダロック

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXやそれぞれのフォルダにロックをかけます。ロックをかけたBOXやフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

- 端末暗証番号を入力するとメールのタスクを終了させるまで有効ですので、その間はロックがかかっていても端末暗証番号を入力せずに開くことができます。
- ロックをかけたBOXには、「」などのアイコンが表示されます。
- ロックをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「」「」などの表示になります。
- BOXやフォルダにロックを設定すると、ロック対象のメールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。
- 送受信BOXまたは送受信BOX内のフォルダのみにロックをかけることはできません。受信BOX、送信BOXまたはそれぞれのBOX内のフォルダにロックをかけると自動的にロックがかかります。
- メッセージR、メッセージFのフォルダにはロックがかけられません。

BOX別のロック設定

1 ▶「メール設定」▶「BOXロック」▶端末暗証番号を入力

2 で□（チェックボックス）を選択

ロックを解除するには、チェックボックスのチェックを外します。

3 ［完了］

フォルダ別のロック設定

1 メールフォルダ一覧画面（P.171、172）▶ロックを設定するフォルダを反転▶MENU［サブメニュー］▶「フォルダ操作」▶「フォルダロック」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

■ 解除する場合

▶メールフォルダ一覧画面▶ロックを解除するフォルダを反転▶MENU［サブメニュー］▶「フォルダ操作」▶「フォルダロック」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

指定電話番号の着信／発信制限

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限します。

- 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
- ドコモUIMカードの電話帳には設定できません。

●相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「着信拒否設定」もあわせて設定することをおすすめします。
●同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。
●指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、個別発着信動作選択の各機能は解除されます(ただし、「指定発信制限」を設定した場合は電話帳の編集や削除ができません)。

電話番号ごとの発信／着信制限の設定

1 電話帳詳細画面(P.97)▶MENU[サブメニュー]▶「設定」▶「個別発着信動作選択」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

指定発信制限…指定した電話番号以外への電話をかけられないようにします。指定した電話番号に電話をかけるときは、電話帳から発信します。

指定着信拒否…指定した電話番号からの電話を受けないようにします。

指定着信許可…指定した電話番号からの電話だけを受けるようにします。

指定転送でんわ…指定した電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始、停止の設定にかかわらず、自動的に転送するようにします。

指定留守番電話…指定した電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始、停止の設定にかかわらず、留守番電話サービスセンターに自動的に接続するようにします。

■ **設定されている機能を解除する場合**
▶設定されている機能を選択

■ **複数の電話番号に設定したい場合**
▶MENU[閉]▶CLRを押して電話帳一覧画面に戻る▶目的の電話帳を選択▶操作1を行う

指定発信制限を設定したあとに[終話]を押して待受画面に戻ると、個別発着信動作選択が続けて登録できなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

● 指定発信制限を設定すると

●指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。また、指定した電話番号以外の呼び出しと、電話帳の登録、修正、削除、FOMA端末とドコモUIMカード間でのコピー、「UIM(FOMA)カード操作」での電話帳の操作もできません。
●設定前に記録されていたリダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。ただし、指定発信制限の設定後に記録されたリダイヤル／発信履歴からの発信や、送信アドレス一覧からのメール送信は行えます。

おしらせ

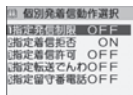
<指定発信制限>
◆指定発信制限設定中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)には音声電話をかけることができます。

<指定着信拒否><指定着信許可>
◆iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
◆指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
◆指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になりますのでご注意ください。

<指定転送でんわ><指定留守番電話>
◆指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
◆転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

個別発着信動作選択の設定状況確認

1 電話帳一覧画面(P.97)▶MENU[サブメニュー]▶「設定」▶「個別発着信動作選択」▶端末暗証番号を入力

個別発着信動作選択	
指定発信制限	OFF
指定着信拒否	ON
指定着信許可	OFF
指定転送でんわ	OFF
指定留守番電話	OFF

個別発着信動作選択画面(サブメニュー→P.143)

サブメニュー

❖個別発着信動作選択画面（P.142）

設定確認…機能が設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。

設定解除…設定が解除されます。

着信拒否設定

電話番号を通知してこない音声電話やテレビ電話の着信許可／拒否を、非通知理由ごとに設定します。「登録外着信拒否」はFOMA端末およびドコモUIMカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を許可するか拒否するかを設定します。

- ●「登録外着信拒否」は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- ●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」が「ON」に設定されている場合は、「登録外着信拒否」を設定できません。

1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「着信拒否設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

■ 電話機能から起動する場合

▶MENU▶「電話機能」▶「発着信･通話設定」▶「着信拒否設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

登録外着信拒否…FOMA端末およびドコモUIMカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を許可するか拒否するかを設定します。着信音、着信画面は設定できません。

非通知設定…発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。

公衆電話…公衆電話などから発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。

通知不可能…海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。

経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。

Wi-Fi発番号なし…電話番号を通知しないで発信してきた場合のWi-Fi音声電話の着信許可、拒否を設定します。

2 「許可」または「拒否」

■「許可」を選択した場合

▶「着信音」または「着信画面」

- •「着信音」は「通常着信音と同じ、メロディ、ｉモーション、ミュージック、おしゃべり、OFF」から選択します（「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「FOMA電話」の設定で着信しますまた、「Wi-Fi発番号なし」で「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「Wi-Fi外線電話」、「Wi-FiホームU／内線電話」の設定に従って着信します）。
- •「着信画面」は「通常着信画面と同じ、マイピクチャ、ｉモーション」から選択します（「通常着信画面と同じ」を選択したときは、「各種画面設定」の「FOMA電話着信」の設定で着信しますまた、「Wi-Fi発番号なし」で「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「Wi-Fi外線電話」、「Wi-FiホームU／内線電話」の設定に従って着信します）。

■「拒否」を選択した場合

着信を拒否し、相手に話中音が流れます。

おしらせ

- ◆「登録外着信拒否」を「拒否」に設定している場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときや「圏外」時、電源が入っていない場合は、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になりますのでご注意ください。
- ◆本機能で選択する着信音や着信画像は非通知の音声電話の設定です。非通知のテレビ電話がかかってきたときは、「着信音選択」の「テレビ電話」や「各種画面設定」の「テレビ電話着信」と同じになります。
- ◆「公衆電話」「非通知設定」「通知不可能」「Wi-Fi発番号なし」を「拒否」に設定しているときに非通知の電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。
- ◆ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

呼出時間表示設定

FOMA端末電話帳またはドコモUIMカードの電話帳に登録されていない電話番号から着信があった場合、呼出動作が開始されるまでの時間を設定します（無音時間設定）。呼出動作が短い迷惑電話などに対し、着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

- 非通知の着信があった場合や通話中に着信があった場合にも無音時間設定は動作します。
- 「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されている場合は、「無音時間設定」を設定できません。

1 **MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「着信詳細設定」▶「呼出時間表示設定」▶以下の項目から選択**

無音時間設定…呼出動作を開始するまでの時間を入力できます。

- **FOMA電話**…「ON」を選ぶとFOMA音声電話、テレビ電話の呼出動作を開始するまでの時間（01～99秒）を入力できます。「OFF」を選ぶと呼出動作を開始するまでの時間を0秒に設定します。
- **Wi-Fi電話**…「ON」を選ぶとWi-Fi音声電話の呼出動作を開始するまでの時間（01～99秒）を入力できます。「OFF」を選ぶと呼出動作を開始するまでの時間を0秒に設定します。

時間内不在着信表示…呼出動作を開始しなかった着信の不在着信履歴やデスクトップアイコンについて設定します。

- **FOMA電話**…呼出動作を開始しなかったFOMA音声電話、テレビ電話の着信の不在着信履歴やデスクトップアイコンを表示するかしないかを設定します。
- **Wi-Fi電話**…呼出動作を開始しなかったWi-Fi音声電話の着信の不在着信履歴やデスクトップアイコンを表示するかしないかを設定します。

おしらせ

◆シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、「無音時間設定」を0秒として電話番号のみを表示します。

◆無音時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。

セルフモード

音声電話やテレビ電話の発着信、iモードの利用、メールの送受信などができないように設定します。音声電話やテレビ電話の着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

- セルフモード設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）にはFOMA音声電話をかけることができます。緊急通報番号にFOMA音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。
このとき、DUALモード（FOMA優先）またはWi-Fiシングルモードの場合は、DUALモード（Wi-Fi優先）に切り替わります。

1 **MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「セルフモード」▶「YES」**

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

■ **セルフモードを解除する場合**

▶再度操作1を行う

セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

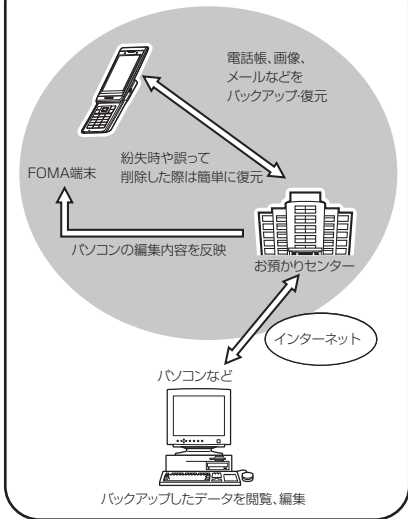
● セルフモードを設定すると

- 音声電話やテレビ電話の着信は着信履歴には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されません。
- 送られてきたメッセージR／FやiモードメールはiモードセンターでSMSはSMSセンターでお預かりします。
- 音声電話やテレビ電話をかけてきた相手には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスやメッセージで通知します。「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。
- 赤外線通信機能／iC通信機能によるデータの送受信、パソコンなどと接続してのパケット通信、64Kデータ通信、ICカード認証機能によるユーザ認証、Bluetooth通信もできません。ただし、USBケーブル接続によるデータ転送（OBEX™通信）や、マークを読み取り機にかざしてICカード内のデータの読み書きをすることはできます。

ケータイデータお預かりサービス

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・動画・メール・Bookmark・スケジュール・メモ・トルカ・

現在地通知先・メロディ・メール振り分けなどの設定情報（以下「端末データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターにバックアップすることができ、万が一の紛失時や誤って削除した際などに復元できるサービスです。
また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳、画像（「自動お預かり」フォルダ内）、Bookmark、メモ、スケジュール、トルカ、メール振り分けなどの設定情報は、自動更新機能※により、定期的に自動でバックアップできます（※端末データにより、自動更新の初期設定状態（自動更新する／しない）が異なりますので、MENU▶「便利ツール」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「詳細設定／通信履歴」▶「自動更新設定」よりご確認・変更ください）。
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる恐れがありますので、iモードパケット定額サービスへのご契約をおすすめします。
- 「WORLD WING」ご契約の場合、海外でも利用することができます。
  ただし、パケット通信料が日本国内よりも高額になる恐れがありますのでご注意ください（お客様がiモードパケット定額サービスをご契約されていても、国際ローミング利用中におけるFOMAパケット通信料は、iモードパケット定額サービスの対象外となります）。
- ケータイデータお預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはiモード契約が必要です）。

おしらせ

◆ドコモのお預かりセンターにバックアップできるデータは、著作権保護されていないデータのみです。

電話帳、Bookmark、スケジュール、メモ、トルカをお預かりセンターにバックアップ（更新）

FOMA端末の電話帳、Bookmark、スケジュール、メモ、トルカをドコモのお預かりセンターにバックアップ（更新）します。

- iモードサービスエリア圏外などでは利用できません。

1 **MENU▶「便利ツール」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「電話帳等を更新」**

■ 電話帳内の画像送信について設定する場合

▶「詳細設定／通信履歴」▶「電話帳画像送信設定」▶「ON」

- 電話帳に登録されている画像もお預かりセンターにバックアップされます。

■ メモ内の画像送信について設定する場合

▶「詳細設定／通信履歴」▶「メモ添付画像送信設定」▶「ON」

- メモに登録されている画像もお預かりセンターにバックアップされます。

■ 通信履歴を確認する場合

▶「詳細設定／通信履歴」▶「通信履歴確認」▶通信履歴項目を選択

電話帳だけでなく、FOMA端末とお預かりセンターとのすべての通信履歴が表示され、データの復元結果、復元された項目を確認できます。復元するデータを設定した場合は、復元に成功した項目のみ表示されます。

■ 通信履歴を削除する場合

▶「詳細設定／通信履歴」▶「通信履歴確認」▶通信履歴項目を反転▶MENU［サブメニュー］▶「1件削除」／「選択削除」／「全削除」

2 🔘で□（チェックボックス）を選択▶「実行」

3 端末暗証番号を入力

お預かりセンターに接続してデータのバックアップを開始します。

4 📷［完了］

おしらせ

<バックアップ（更新）>

◆データの更新ができなかった場合、「更新」のデスクトップアイコンでお知らせします。

◆ドコモUIMカードに登録されている電話帳はお預かりセンターにバックアップできません。

<通信履歴確認>

◆通信履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

<自動更新設定>

◆電話帳などの自動更新時にほかの機能を起動していた場合、自動更新はされません。

お預かりセンターのデータ確認とバックアップしたデータの復元

お預かりセンターにバックアップしてあるデータの確認や、バックアップしてあるデータをFOMA端末に復元できます。また、お預かりセンターにバックアップした電話帳を誤って消去した場合などに備え、コピーの作成（うっかり防止機能）もできます。

FOMA端末のデータを削除すると、データの更新時にお預かりセンターのデータも同様に削除されますのでご注意ください。バックアップしてあるデータをFOMA端末に復元する場合は、以下の手順で行ってください。

1 MENU▶「便利ツール」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「データ確認／ダウンロード」▶「YES」▶ｉモードパスワード入力▶「決定」▶画面の表示に従って操作する

■ ｉモードから接続する場合

▶ｉ▶「マイページ」▶「マイメニュー／マイボックス」▶「ケータイデータお預かり」※▶「お預かりデータ確認」▶ｉモードパスワード入力▶「決定」▶画面の表示に従って操作する

※ ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり／ｉコンシェル」と表示されます。

約15秒後に復元が開始されますので、待受画面に戻してください。

おしらせ

<復元>

◆お預かりセンターにバックアップしている電話帳データをFOMA端末に復元すると、電話番号やメールに登録されているアイコンが「☎」や「✉」に置き換わることがあります。

画像、メール、スケジュール、メモ、トルカなどをお預かりセンターにバックアップ

FOMA端末に保存されている画像、ｉモーション、ｉモードメール／SMS、Bookmark、スケジュール、メモ、トルカ、現在地通知先、メロディをお預かりセンターにバックアップします。

<例：画像、ｉモーションをバックアップする場合>

1 画像一覧画面（P.327）、動画一覧画面（P.340）▶MENU［サブメニュー］▶「お預かりセンターに保存」▶画像、ｉモーションを選択▶📷［完了］▶■［確定］

画像、ｉモーションは最大30件選択できます。

2 端末暗証番号を入力▶「YES」

お預かりセンターに接続して画像、ｉモーションのバックアップを開始します。

3 📷［完了］

■ メールをバックアップする場合

メール一覧画面（P.171）のサブメニューから「データ交換／管理」を選択し、「お預かりセンターに保存」を選択します。

メールは最大30件選択できます。

■ Bookmarkをバックアップ（更新）する場合

Bookmarkフォルダ一覧画面（P.203）のサブメニューから「お預かりセンター接続」を選択します。

■ トルカ、スケジュール、メモをバックアップ（更新）する場合

トルカフォルダ一覧画面（P.307）、スケジュール画面（P.398）、スケジュール一覧画面（P.399）、スケジュール詳細画面（P.399）、メモ一覧画面（P.414）、メモ詳細画面（P.414）のサブメニューから「お預かりセンターに接続」を選択します。

■ 現在地通知先をバックアップする場合

現在地通知先登録画面（P.318）のサブメニューから「お預かりセンターに保存」を選択します。

■ メロディをバックアップする場合

メロディ一覧画面（P.352）のサブメニューから「移動／コピー」を選択し、「お預かりセンターに保存」を選択します。

おしらせ

◆1件あたりのファイルサイズが10Mバイトを超えるデータや、FOMA端末外への出力が禁止されているデータはバックアップできません。

<メール>

◆ドコモUIMカードに保存されているSMSはお預かりセンターにバックアップできません。

◆ｉモードメールに添付されているファイルは削除してバックアップされます。

◆FOMA端末外への出力が禁止されている画像が受信メールに挿入されている場合は、削除してバックアップされます。

◆「色分け」の設定はバックアップされません。

設定情報をお預かりセンターにバックアップ

FOMA端末のメール振り分け設定、メールの文字サイズ、発着信履歴などの設定情報をお預かりセンターにバックアップします。バックアップした設定情報をダウンロードし、FOMA端末に設定することもできます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「設定情報を更新」

2 「設定情報のお預かり」を選択▶「実行」

■ お預かりセンターにバックアップされている設定情報をFOMA端末に設定する場合

▶「設定情報のダウンロード」▶「実行」

3 端末暗証番号を入力▶📷［完了］

自動お預かりフォルダ内の画像をお預かりセンターにバックアップ

自動お預かりフォルダに保存されている画像は、定期的に自動でお預かりセンターにバックアップされます。

■手動でお預かりセンターにバックアップする場合

1 MENU▶「便利ツール」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「画像を更新」

2 端末暗証番号を入力▶「追加」▶📷［完了］

おしらせ

◆「自動お預かり」フォルダ内の画像は、自動更新設定に従い定期的にお預かりセンターへバックアップすることもできます。自動更新設定はケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。

◆自動バックアップをご利用の際送信データが大きくなり、パケット通信料が高額になる可能性があるため、ｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。

◆「お預かり済アイコンクリア」（P.330）を行うと、自動お預かりフォルダ内の著作権のある画像以外が、次回バックアップする時に、再度お預かりセンターへバックアップされます。アイコンについては「設定できる項目アイコン」（P.328）をご覧ください。

ｉコンシェルでのケータイデータお預かりサービスの利用

ｉコンシェルのメニューからもFOMA端末内に保存されている電話帳、メモ（スケジュール）、Bookmark、トルカをお預かりセンターにバックアップできます。

● ｉコンシェルについて→P.223

1 MENU▶「ｉコンシェル」▶「設定」を選択▶「お預かりデータ確認／設定／更新」▶画面の表示に従って操作する

設定リセット

各機能の設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。→P.148

- 設定リセットされる機能について、詳しくは「メニュー一覧」（P.504）をご覧ください。
- パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード」はお買い上げ時の設定内容に戻りません。

1 MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

◆「3G／GSM切替」は、ネットワークの状態によりお買い上げ時の設定内容に戻らない場合があります。

端末初期化

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、iアプリ、ウィジェットアプリ、PDFデータ、カメラで撮影した写真（静止画）や動画、各種履歴や情報など、お客様の大切なデータ、履歴、情報がすべて削除されます（保護されているデータも削除されます）。

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- ドコモUIMカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータは削除されません。
- ネットワークに接続して設定する項目は初期化されません。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリやウィジェットアプリを削除した場合、端末初期化を行っても元に戻りません。
- 以下の場合、ｉアプリやウィジェットアプリは端末初期化を行うと削除されます。
  - お買い上げ時に登録されている ｉ アプリやウィジェットアプリをバージョンアップした場合
  - お買い上げ時に登録されている ｉ アプリやウィジェットアプリを一度削除して再度ダウンロードした場合
  - お買い上げ時に登録されているDCMXクレジットアプリ、モバイルSuica登録用ｉアプリ、マクドナルド トクするアプリ（削除されない場合もあります）。
- 2in1のモードにかかわらず、Aモード･Bモードのすべてのデータが初期化されます。
- お客様が編集したグループ名やフォルダ名などはお買い上げ時の状態に戻ります。
- シークレットデータ、シークレットフォルダのデータも削除されます。
- 「端末初期化」を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 「端末初期化」を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、ほかの機能を使用できません。また、音声電話、テレビ電話の着信やメールの受信などもできません。

「端末初期化」を行うと、FOMA端末はお買い上げ時の状態に戻ります。FOMA端末に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、ドコモケータイdatalink（P.471）やmicroSDカードを利用して保管することをおすすめします。

1 MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「端末初期化」▶端末暗証番号を入力

2 「YES」▶「YES」

端末の初期化が開始されます。初期化が終了するまでに数分かかる場合があります。端末の初期化が終了すると、自動的に再起動したあと、初期設定画面が表示されます。

■ **端末初期化が正常に終了しなかった場合**

▶電源が入ったあとに「OK」

再度初期化が実行されます。

おしらせ

◆端末初期化を行った場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、CLRを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

◆パソコンを用いるデータ通信に関する設定は初期化されません。

◆おサイフケータイ対応 ｉ アプリと IC カード内のデータは削除できない場合があります。

◆端末初期化を行うと「NEW ｉモーション！」のWelcomeメールが受信BOXに保存された状態になります。

遠隔初期化

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／

microSDカード／ドコモUIMカード内のメモリ）を初期化することができます。

お問い合わせ先

ドコモの法人向けサイト

docomo Business Online

パソコンから　http://www.docomo.biz/

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

その他の「あんしん設定」

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

機能／サービス名称	目的	参照ページ
ICカードロック設定	ICカード機能の不正使用を防止したい	P.305
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	P.447
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	P.448
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※ FirstPass対応サイトに限ります。	P.216
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	P.564
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	P.573
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	P.165
「災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 ●URL付きメール拒否設定 ●受信／拒否設定 ●かんたん設定 ●iモード／spモードメール大量送信者からのメール受信制限 ●SMS拒否設定 ●未承諾広告※メール拒否 ●メール設定確認		
メール機能停止／再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

おしらせ

◆見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

＜迷惑電話防止機能の優先順位＞

◆迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
① 迷惑電話ストップサービス
②「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」／「非通知設定」／「指定着信拒否」または「呼出時間表示設定」

メール

ｉモードメール 152
■ｉモードメール／デコメール®作成
ｉモードメール作成／送信 152
デコメール®作成／送信 155
かんたんデコメ作成／送信 157
デコメアニメ®作成／送信 157
デコメテンプレート 158
ファイルの添付 160
ｉモードメールの保存／送信 161
ブログ・メールメンバー登録 162
■ｉモードメール受信・操作
ｉモードメール受信 163
ｉモードメール選択受信 165
メール／メッセージ問合せ 166
ｉモードメール返信 166
ｉモードメール転送 167
迷惑メール報告 167
メールアドレスの登録 168
添付ファイルの確認・保存・削除 168
メール読み上げ 169
新着メールのテロップ表示 171
■メールBOXの操作
受信／送信／未送信メールBOXの表示 171
■メールの履歴の利用
メール送受信履歴 180
■メールの設定
メール設定 181
■メッセージサービスの利用
メッセージを受信したとき 183
メッセージBOXのメッセージの表示 184
■緊急速報「エリアメール」の利用
緊急速報「エリアメール」 185
緊急速報「エリアメール」受信 185
緊急速報「エリアメール」設定 186
■SMS
SMSの作成／送信 186
SMS受信 188
SMS設定 188
ドコモUIMカード（FOMAカード）へのSMS保存 189

ｉモードメール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード対応端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を10個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えられるほか、デコメ絵文字®も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。
さらにメッセージや画像を挿入したFlash画像のデコメアニメ®にも対応しております。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
- Wi-Fiシングルモードでは、SMSの送受信や問合せをすることはできません。

ｉモードメール作成／送信

ｉモードメールを新規に作成して送信します。

- メール本文の文字色やサイズを変更したり、本文に動きを付けたり、画像やラインを挿入して装飾できます。デコメール®について→P.155
- 送信メール（ｉモードメールとSMS）は、最大1,000件保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 ✉▶✉［新規メール］

メールメニュー

新規メール画面

右画面：サブメニュー→P.154

メールメニュー画面で「新規メール作成」を選択しても新規メール画面が表示されます。
2in1のモードがAモードの場合はAアドレス、Bモードの場合はBアドレスが送信元メールアドレスとなります。
2in1のモードがデュアルモードで送信元アドレスがBアドレスの場合、タイトル部分に「B」を表示します。デュアルモード時はサブメニューの「送信者アドレス切替」からも、Aアドレス、Bアドレスを切り替えることができます。
※ 電話帳詳細画面から「メール作成」を選択した場合や、送受信メールから返信、転送、再編集などを行った場合は、自動で送信元アドレスが設定されます。

2「To＜宛先参照／入力＞」▶宛先を入力

宛先の入力方法を選択し、宛先を入力します。
宛先を追加するには✉［宛先追加］を押します。

■ 電話帳から参照する場合
▶「電話帳」▶参照先を検索（P.98）▶電話帳詳細画面で宛先を選択

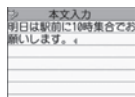
■ アドレス一覧から参照する場合
▶「送信アドレス一覧」または「受信アドレス一覧」▶宛先を選択

■ ブログ・メールメンバーから参照する場合
▶「ブログ・メールメンバー」▶ブログ・メールメンバーを選択
ブログ・メールメンバーについて→P.162

■ 宛先を直接入力する場合
▶「直接編集」▶宛先を入力
宛先は半角の英字、数字、記号で入力できます。

3「Subject＜題名入力＞」▶題名を入力

題名入力画面が表示されます。

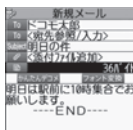
4「＜新規入力＞」▶本文を入力

本文入力画面（サブメニュー→P.155）

本文編集中に改行することができます。文末では▢を押しても改行できます。「↵」も全角1文字分としてカウントされます。スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

■ かんたんデコメを作成する場合
▶「かんたんデコメ」
かんたんデコメの作成について→P.157

■ フォントを変更する場合
▶「フォント変換」▶「YES」または「YES（以降非表示）」▶■［確定］
フォントは✉［前候補］または▢［次候補］を押すたびに切り替わります。
📷［フォントリスト］を押してフォントリストから選択することもできます。
デコメール®を作成することもできます。
→P.155
テンプレートを利用してデコメール®を作成し送信することもできます。→P.158

■ 辞典検索する場合
✉［辞書検索］を押すと、未確定の文字を辞典で検索することができます。→P.432

5 [カメラキー]［送信］

本文を入力すると、本文欄右上に本文のバイト数が表示されます。
メール送信中はアニメーション画面が表示されます。送信後、自動的にメールメニューに戻ります。

■ 2in1のモードがデュアルモード時に宛先を直接入力した場合
▶「Aアドレス」または「Bアドレス」

■ 送信を途中で中止する場合
▶[■]［Cancel］
[i]［中止］または[CLR]（1秒以上）を押しても送信を途中で中止できます。
ただし、タイミングによりｉモードメールが送信されることもあります。

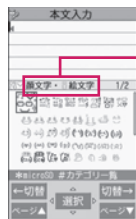
■ 圏外で送信予約する場合
▶「YES」
FOMA端末が圏内に入ると自動的に送信されます。

おしらせ

<フォント変換>
◆フォント変換後の画像が90Kバイトを超えるか、本文挿入画像とあわせて90Kバイトを超えてしまう場合、または本文が3Kバイトを超えている場合は変換できません。
◆フォント変換したメールはデコメール®として扱われます。
◆フォント変換した文字は編集できません。

● デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャの入力について

デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャとは、動く絵文字をはじめ一定の条件を満たす画像のことです。本FOMA端末では、デコメ絵文字®をカテゴリ別に分類しているので、目的のデコメ絵文字®をすばやく入力できます。
- デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャは、お買い上げ時に登録されているものだけでなく、サイトからダウンロードすることもできます。→P.208
- デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャを入力したメールは、デコメール®として扱われます。
- microSDに保存されているデコメ絵文字®も入力できます。

■デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャの入力
本文入力画面で[i]［絵記］を押し、[MENU]または[カメラキー]で「デコメ」または「デコメピクチャ」タブを表示します。次に[方向キー]で囲み枠を移動し[■]［選択］を押すとデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャが入力されます。
「デコメ」タブでは[#]を押すと、カテゴリ別のデコメ絵文字®入力画面が表示されます。

［カテゴリ分類］
顔文字･ｉ絵文字
表情･気持ち
装飾
ハート･キラキラ
天気･季節
移動･生活
食べ物
キャラクター
文字

［その他のボタン操作］
[MENU]［←切替］：前のカテゴリを表示
[カメラキー]［切替→］：次のカテゴリを表示
[メールキー]［ページ▲］：前のページに移動
[i]［ページ▼］：次のページに移動
[＊]：microSDのデコメ絵文字®と本体のデコメ絵文字®を切り替え
[#]：カテゴリ別のデコメ絵文字®を表示／カテゴリ一覧を表示
[CLR]：デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャ入力の終了

■デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャのよみがなからデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャを入力
入力した読みがデコメ絵文字®やデコメ®ピクチャに変換できる場合は、文字の変換確定前に[MENU]［デコメ］を押して、デコメ絵文字®やデコメ®ピクチャに変換できます（よみがなが登録されているデコメ絵文字®やデコメ®ピクチャのみ）。またさらに入力した読みがデコメ絵文字®やデコメ®ピクチャに変換できない場合は、入力した読みをデコメ絵文字®やデコメ®ピクチャのよみがなとして登録できます。→P.332

● デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャのよみがな登録について

本文入力中に、デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャの読みがなを登録できます。
- デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャ1つに対して、最大5件読みがな登録できます。

1 本文入力画面（P.152）▶登録するよみがなを入力（文字の変換確定前）▶[MENU]［デコメ］▶[MENU]または[カメラキー]でタブを選択▶[＊]▶登録するデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャを選択

デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャのよみがな登録について→P.332

● 電話帳の画面からｉモードメールを作成する

電話帳に登録されているメールアドレスを表示して■［MAIL］を押すと、表示したメールアドレスが宛先に貼り付けられた新規メール画面が表示されます。
電話帳の検索のしかた→P.97

おしらせ

◆圏外から送信すると、送信予約するかどうかの確認画面が表示されます。送信予約を行うと、圏内に移動したときに自動で送信されます。「NO」を選択した場合は保存BOXに保存されます。
◆FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、メールを送信したとき、古い送信メールから順に削除されます（保護されているメールは削除されません）。
◆受信側の機種によっては、題名の一部を受信できない場合があります。
◆題名や本文に絵文字を使用してほかの携帯電話会社の機器に送信すると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。また、送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「〓」に変換されます。
◆宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると「184」または「186」を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。
◆電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても「送信できませんでした」と表示される場合があります。
◆宛先を入力すると、入力した宛先欄の下に新たな宛先欄が追加されます。追加された宛先欄に別の宛先を入力し、一度に複数の宛先にメールを送信することができます（同報送信）。宛先は5件まで入力できます。
◆シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

サブメニュー

❖新規メール画面（P.152）

❖新規デコメアニメ画面（P.157）

テンプレート選択※1…P.158
プレビュー※1…入力した文字や装飾を送信イメージで表示します。
送信／送信予約…ｉモードメールを送信したり、指定した日時にｉモードメールを送信するように設定します。
- **送信**…P.152
- **送信予約**…P.155

保存…P.161
宛先…宛先を削除したり、宛先のタイプを変更します。
- **宛先削除**…入力した宛先が2件以上の場合に、反転している宛先を削除します。
- **宛先タイプ変更**…宛先を反転した状態で宛先のタイプを変更します。
  - ・To…送信相手の宛先です。Toの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。
  - ・Cc…同報の宛先です。Ccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。Toの宛先に送信するメールのコピーとしてほかの宛先に送信する場合に選択します。
  - ・Bcc…同報の宛先です。Bccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。

デコメール※2…デコメール®テンプレートを読み込んだり、デコメール®をテンプレートとして保存します。
- **デコメール読込み**…P.158
- **デコメール保存**…P.159

デコメアニメ切替※2…作成中のｉモードメールをデコメアニメ®に切り替えます。
カメラ起動…カメラ機能を起動して静止画または動画を撮影し、そのデータを添付して送信します。
冒頭文／署名※2…「冒頭文／署名設定」で登録した冒頭文と署名を貼り付けます。
- **冒頭文貼付**…冒頭文を貼り付けます。
- **署名貼付**…署名を貼り付けます。

送信者アドレス切替…2in1のモードがデュアルモードのときに送信元アドレスを変更します。
メール削除…作成中のｉモードメールを削除します。題名、宛先、本文すべてが削除され、メール作成を終了します。

※1 新規メール画面では利用できません。
※2 新規デコメアニメ画面では利用できません。

おしらせ

＜宛先タイプ変更＞
◆「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

＜撮影＞
◆添付ファイルの残容量によっては、選択できない画像サイズがあります。

サブメニュー

❖本文入力画面（P.152）

●下記の項目以外については、文字入力（編集）画面のサブメニュー（P.434）を参照してください。

デコレーション…「デコレーションメニューの種類」→P.156

デコメール読込み…P.158

範囲選択…範囲選択した文字の装飾やコピー、切り取りなどができます。

データ引用／入力…電話帳やプロフィール、位置情報などから引用して入力します。

- **位置情報**…位置情報URLを本文に貼り付けます。
  - ・現在地確認…現在の位置情報を取得し貼り付けます。
  - ・位置履歴…確認した位置情報の履歴から貼り付けます。
  - ・電話帳…電話帳を検索し、電話帳に登録されている位置情報から貼り付けます。
  - ・プロフィール…プロフィールに登録されている位置情報から貼り付けます。

元に戻す…入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。5回まで戻せます。

音声で文字入力…P.440

プロパティ…本文に挿入した画像の左にカーソルがあるときに、ファイル名、ファイルサイズを表示します。

プレビュー…入力した文字や装飾などを送信イメージで表示します。

おしらせ

<位置情報>

◆位置情報URLを本文に貼り付けた場合、位置情報URLの先頭に「」が表示されます。

◆貼り付けられた位置情報URLは、メール本文の文字数にカウントされます。

<元に戻す>

◆「元に戻す」で1つ前の状態に戻したあと、「元に戻す」の取り消しはできません。

指定日時にｉモードメール送信

指定した日時にｉモードメールを自動で送信します。

●最大200件の送信予約を設定できます。

●同じ日時に設定できる送信予約は20件までです。

●送信予約を設定すると保存メール一覧画面で「」のアイコンが表示されます。

1 新規メール画面（P.152）、新規デコメアニメ画面（P.157）▶MENU

[サブメニュー]▶「送信／送信予約」▶「送信予約」▶送信日時を設定

送信予約を設定したｉモードメールは、保存BOXに保存されます。

送信予約を設定したｉモードメールが自動送信を完了するとデスクトップに「送信結果」のアイコンが表示されます。

おしらせ

◆メールの送信予約を設定したあとで、別のドコモUIMカードを使用すると、メールの送信予約が全て解除されます。

◆予約送信が正常に行われた場合でも相手側の圏外などのネットワーク状況により送信予約で指定した時間にはメールが届かないことがあります。

◆送信予約を設定したｉモードメールが自動送信に失敗してもデスクトップに「送信結果」が表示されます。

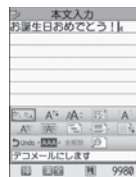
◆「オリジナルロック」の「メールアドレス直接入力」を設定すると、メールの送信予約が全て解除されます。

デコメール®作成／送信

デコメール®とは、ｉモードメール本文に、文字色や文字サイズ、背景色を変更する、文字に動きをつける、画像を挿入するなど、各種の装飾（デコレーション）することによって、表現力豊かなメールにしたものです。

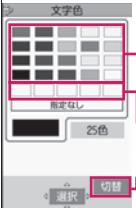
●メール本文を装飾すると、装飾していないｉモードメールに比べて、入力できる文字数が少なくなります。

●文字を装飾する場合、装飾しながら文字を入力する方法と、入力済みの文字を装飾する方法があります。

1 本文入力画面（P.152）▶✓▶ で囲み枠を移動しデコレーションメニューを選択

デコレーションメニュー

■ 装飾しながら文字を入力する場合
デコレーションメニューを選択後は、装飾された文字が入力されます。

■ 入力済みの文字を装飾する場合
デコレーションメニューの[AAA]または[＊]を1秒以上押し、装飾する範囲を指定してから（[＊]（1秒以上）の場合はさらに「デコレーション」を選択）装飾するメニューを選択すると、範囲指定した文字が装飾されます。
文字が反転している間は、続けてデコレーションを設定できます。

2 デコレーションメニューを閉じるときは[MENU]［閉］

3 [カメラ]［送信］

おしらせ

◆受信したデコメール®を引用返信、転送した場合は、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。
◆メール送信できない画像が含まれたデコメール®を引用返信、転送した場合は、画像が削除されます。
◆送信先のｉモード端末によっては、閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、非対応機種によっては本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。

● デコレーションメニューの種類

●行単位で行われる機能（テロップ、スウィング、ライン挿入、文字の表示位置）は、メニューを選択すると自動的に改行されます。
●複数の装飾を組み合わせて装飾することもできます（例：文字色と文字サイズを変更して点滅させるなど）。

メニュー	説明
[かんたん]※1	「かんたんデコメ作成／送信」→P.157
[A]	文字色を変更します。色は25色パレット／256色パレットから選択することができます。 ＜25色パレット＞ 文字色 / 指定なし / 25色 / 選択 / 切替 [方向キー]で囲み枠を移動し、変更する色を選択します。 256色パレットで選択した最新の5色が最下段に表示されます。 [カメラ]［切替］を押すごとに、25色と256色が切り替わります。
[AA]	文字サイズを[AA]／[AA]／[AA]（大／標準／小）から選択します。
[画像]※1	マイピクチャのフォルダから選択した画像を挿入するかカメラを起動します。
[A]／[A]／[A]	文字を「点滅／右から左へ移動（テロップ表示）／右左往復（スウィング表示）」させます。
[A開始] [A終了]※1	装飾を「開始」または「終了」します。
[設定] [解除]※2	指定した範囲の装飾を「設定」または「解除」します。
[表示位置]	文字の表示位置を[左]／[中]／[右]（左寄せ／中央／右寄せ）から選択します。
[ライン]※1	ラインを挿入します。
[背景]※1	本文の背景色を変更します。 文字色の変更と同様、カラーパレットから背景色を選択します。
[Undo]	入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。5回まで戻せます。 [クリア]（1秒以上）でも戻すことができます。
[AAA]※1	すでに入力した文字の装飾、または装飾の変更／解除を行う範囲を選択します。
[解除]※2	装飾を解除します。
[全解除]※1	すべての装飾を解除します。
[プレビュー]	設定した装飾をプレビュー画面に表示します。

※1「[AAA]」を選択したときのデコレーションメニューでは利用できません。
※2「[AAA]」を選択したときのデコレーションメニューでのみ利用できます。

おしらせ

<文字色の変更>
◆絵文字の色も指定した文字色で表示されます。元の色に戻したいときは「[AAA]」を選択し、戻す範囲を指定して「[解除]」を選択してください。ただし、デコメ絵文字®には文字色の指定が反映されません。

<画像挿入>
◆メール本文のバイト数や添付ファイルのファイルサイズに関係なく、最大20種類、90Kバイトまでの JPEG形式またはGIF形式の画像やデコメ絵文字®、Flash画像を挿入することができます。ファイルサイズによって、最大件数は変動します。また、Flash画像の最大件数は2件です。
◆同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。ただし、一度保存や送信をしたあとで再編集して挿入した場合は、別途1件として扱われます。

◆アニメーションを挿入した場合、一定の時間が経過すると停止します。
◆埋め込み型のFlash®Videoを挿入した場合、再生することはできません。ただし、Flash画像が表示されます。
◆Flash画像が挿入されたデコメール®をデコメール®非対応端末に送信した場合は、端末の機能にあわせて変換した画像を閲覧するためのURLが付与されたメールか送信者が挿入したメッセージのみが付与されたメールか、画像などの装飾が解除された本文のみのメールが届きます。
◆マイピクチャから選択した画像を挿入する場合、フルスクリーンより大きいサイズで縦向きに撮影した画像を選択すると、横向きに挿入されることがあります。その場合、「ピクチャ編集」で画像編集後に再度選択すると正しく挿入されます。

<文字の点滅／テロップ表示／スウィング表示>
◆点滅、テロップ、スウィングの動作は、一定の時間が経過すると停止します。

<本文編集>
◆装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力できる文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押した場合は、装飾データも含めてすべての文字が削除されます。

かんたんデコメ作成／送信

入力したメールの文面から感情を理解し、絵文字などの最適なデコレーションを加えたメールに自動変換します。
●サイトからかんたんデコメピクチャをダウンロードすると（P.210）、そのピクチャも自動変換の対象になります。

1 本文入力画面（P.152）▶本文を入力▶［ペン］▶［方向キー］で囲み枠を移動し「かんたん」を選択

2 いずれかのデコレーションを表示▶［■］［確定］▶［カメラ］［送信］

デコレーションパターンは［i］［次候補］を押すたびに切り替わります。

■ **かんたんデコメの設定を変更する場合**

▶［メール］［設定］▶文字色、文字サイズ、背景色の有無および絵文字挿入の位置（文中＋文末、文末）を設定▶［カメラ］［完了］

■ **デコレーションを編集する場合**

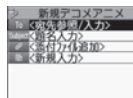
［カメラ］［編集］を押すと、デコレーションを編集することができます。→P.155

おしらせ

◆本文のみで1,000バイト以上ある場合、かんたんデコメは作成できません。
◆メールの文面によっては、内容に合わないデコメール®イメージが表示される場合があります。
◆文字色、文字サイズ、背景色のいずれかのチェックを外した場合や、絵文字挿入の位置を「文末」に設定した場合は、かんたんデコメピクチャでの装飾は行われません。

デコメアニメ®作成／送信

デコメアニメ®は、デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。
お買い上げ時に登録されているテンプレートやIP（情報提供者）サイトから購入したテンプレートを利用して作成できます。

1 ［メール］▶「新規デコメアニメ作成」

新規デコメアニメ画面（サブメニュー→P.154）

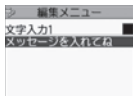
2 宛先、題名を入力

3 「［本文］<新規入力>」▶デコメアニメ®テンプレートを選択▶［カメラ］［確定］

■ **プレビュー画面でテンプレートを確認する場合**

▶［■］［選択］
プレビュー表示中は［左右キー］で前または次のテンプレートを表示することができます。

4 文字入力欄を選択▶本文を編集

文字入力を編集したり、画像を挿入したりします。
あらかじめ、文字入力欄には「ここに本文を」などの文字が表示されています。この内容はテンプレートによって異なります。また、テンプレートによっては1行の文字数が決まっており、文字入力画面が送信画面イメージで表示されます。
挿入する画像はマイピクチャから選択するかカメラで撮影できます。

編集メニュー画面（サブメニュー→P.158）

5 [📷]［完了］▶[📷]［送信］

■ 2in1のモードがデュアルモード時に直接宛先を入力した場合

▶「Aアドレス」または「Bアドレス」

おしらせ

◆デコメアニメ®の編集は、画像や文字を挿入する場所がテンプレートによって決まっており、変更できません。
◆デコメアニメ®には冒頭文、署名は貼付されません。
◆デコメアニメ®はテンプレート、本文、画像の合計で90Kバイトまで作成できます。90Kバイトを超えた場合は、本文や画像が挿入できません。
◆デコメアニメ®では画像ファイルのサイズが大きくなるため、メールの残バイト数以下の画像が挿入できない場合があります。
◆画像や本文を挿入する場合は、合成後にサイズを計算するため、メールのバイト数が増えます。
◆GIF形式のアニメーションを挿入した場合、作成時に容量が超えてしまう場合があります。
◆埋め込み型のFlash®Videoを挿入した場合、再生することはできません。ただし、Flash画像が表示されます。
◆メロディ付きのテンプレートを選択し、メロディを添付した場合、添付したメロディが再生されテンプレートのメロディは再生されません。
◆デコメアニメ®非対応端末に送信した場合は、端末の機能にあわせて変換した画像を閲覧するためのURLが付与されたメールか送信者が挿入したメッセージのみが付与されたメールが届きます。
◆デコメール®とは違い、受信したデコメアニメ®はデコメアニメ®テンプレートとして保存できません。
◆デコメアニメ®に返信する場合は引用できません。
◆デコメアニメ®を転送する場合は編集できません。
◆メール編集中に強制終了すると、再編集ができません。
◆デコメアニメ®は保存すると再編集できません。
◆デコメアニメ®は送信すると再編集できません。
◆テンプレートによっては再生したときにボタンを押して操作できます。
◆デコメアニメ®のプレビュー中は「添付ファイル自動再生設定」の設定に従って再生されます。
添付ファイル自動再生設定→P.181
◆画像を挿入する際、メールの残バイト数が少ないと、「カメラ起動」でカメラが起動しない場合があります。
◆デコメアニメ®には、効果音が鳴るものやバイブレータを振動させるものがあります。
◆デコメアニメ®によっては、文字入力欄にデコメ絵文字®の挿入や、デコメアニメ®の文字サイズ、文字フォントが変更できるものがあります。

サブメニュー

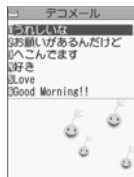
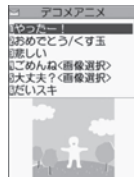
❖編集メニュー画面（P.158）

テンプレート選択…P.158
プレビュー…本文のプレビュー画面を表示します。
文字色選択…P.156
画像削除…選択した画像を削除します。

デコメテンプレート

テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール®／デコメアニメ®用の雛形です。テンプレートを利用すると、簡単にデコメール®／デコメアニメ®を作成できます。

● テンプレートは、サイトからダウンロードすることもできます。→P.210
● 以下のような場合にデコメール®テンプレートを使用しようとすると本文の編集内容を破棄するか確認するメッセージが表示されます。
・すでにメール本文が入力されている場合
・冒頭文・署名が自動挿入されている場合

1 [✉]▶「デコメテンプレート」▶「デコメール」または「デコメアニメ」

デコメールテンプレート一覧画面

デコメアニメテンプレート一覧画面

左画面：サブメニュー→P.159
右画面：サブメニュー→P.159

・新規メール画面（P.152）、本文入力画面（P.152）のサブメニューから「デコメール読込み」を選択して、デコメール®テンプレートを利用することもできます。

■ microSDカードのデコメアニメ®テンプレートを利用する場合

▶✉［microSD］▶フォルダを選択

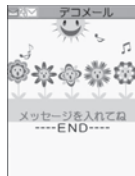
■ iモードでデコメール®テンプレートやデコメアニメ®テンプレートを検索する場合

▶「iモードで探す」▶「YES」

■ ほかのテンプレートを確認する場合

▶◈

■ プレビュー画面を表示する場合

▶■

デコメールテンプレートプレビュー画面

デコメアニメテンプレートプレビュー画面

左画面：サブメニュー→P.159
右画面：サブメニュー→P.159

2 📷［MAIL］▶本文を編集

デコメール®テンプレートの保存

作成したデコメール®をテンプレートとして保存します。

- デコメール®テンプレートは最大300件保存できます。
- 挿入画像以外の添付ファイルは削除して保存されます。
- テンプレートは、メールメニューの「デコメテンプレート」に保存されます。

1 **デコメール®を作成▶MENU［サブメニュー］▶「デコメール」▶「デコメール保存」▶「YES」**

おしらせ

◆作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

サブメニュー

❖デコメールテンプレート一覧画面（P.158）

❖デコメールテンプレートプレビュー画面（P.159）

メール作成…テンプレートを利用してデコメール®を作成します。→P.158

ソート※1…選択した条件に従ってテンプレートを並び替えます。

タイトル編集※1…テンプレートのタイトルを編集します。

情報表示※1…テンプレートのサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。

保存件数確認※1…テンプレートの保存件数を表示します。

削除※1…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

編集※2…テンプレートの編集をします。

挿入画像保存※2…テンプレートに挿入されている画像を選択し、マイピクチャのフォルダに保存します。保存後、待受画面などに設定できる画像の場合、設定するかしないかを選択できます。

※1 デコメールテンプレート一覧画面でのみ利用できる機能です。

※2 デコメールテンプレートプレビュー画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

<編集>

◆別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

サブメニュー

❖デコメアニメテンプレート一覧画面（P.158）

❖デコメアニメテンプレートプレビュー画面（P.159）

デコメアニメ作成…テンプレートを利用してデコメアニメ®を作成します。→P.157

タイトル編集※1※2…テンプレートのタイトルを編集します。

情報表示※2…タイトル名、ファイル名、ファイル種別、ファイル制限、バージョンを表示します。

保存件数確認※2…テンプレートの保存件数を表示します。

データ交換／管理…iC通信、赤外線通信、microSDカードでデータ交換をします。

- **i C送信**…P.380
- **赤外線送信**…デコメアニメテンプレート一覧画面では、「1件送信、全送信」から選択します。→P.379
- **microSDへコピー**…デコメアニメテンプレート一覧画面では、「1件コピー、選択コピー、全コピー」から選択します。→P.367

削除※2…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 プリインストールされているデコメアニメ®テンプレートはタイトル編集できません。
※2 デコメアニメテンプレート一覧画面でのみ利用できる機能です。

ファイルの添付

i モードメールにファイルを添付して送信します。

- 以下のファイルを添付できます。
  - 静止画、画像
  - SWF形式のFlash画像
  - 動画、i モーション
  - メロディ
  - PDFデータ
  - microSDカード内のドキュメント
  - トルカ、トルカ（詳細）
  - 電話帳のデータ
  - プロフィールの登録データ
  - スケジュールまたはメモの登録データ
  - Bookmark
  - microSDカード内のSDその他ファイル
  - ムービー※

  ※ ムービーが添付された受信メールを転送／再編集するときにのみ、添付して送信することができます。

1 新規メール画面（P.152）、新規デコメアニメ画面（P.157）▶「 <添付ファイル追加>」▶以下の項目から選択

イメージ、i モーション、メロディ、PDF、トルカ…本体のフォルダか、microSDフォルダを選択後、添付するファイルを選択します。
i モーションとメロディは本体のフォルダから選択します。保存先（本体・microSD）によって、フォルダを選択する回数は異なります。

ドキュメント…microSDカード内のドキュメントデータを選択します。

電話帳…本体の電話帳か、microSDカードの電話帳を選択後、電話帳を検索（microSDの場合はフォルダを選択）して、添付するファイルを選択します。
電話帳の検索のしかた→P.97

プロフィール…P.407

スケジュール…スケジュールを選択後、添付するファイルを選択します。

メモ…添付するファイルを選択します。

Bookmark…フォルダを選択後、添付するファイルを選択します。

その他…microSDカード内のSDその他ファイルのデータを選択します。

添付するかどうかまたは画像を除いた100Kバイト以上のファイルを添付するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後非表示）」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

■ すでに添付ファイルがある場合
▶「添付あり」▶「添付ファイル追加」

■ mova端末へ画像をｉショットとして送信する場合
画像を添付したメールをmova端末へｉショットとして送信できます。
mova端末へ送信する場合、添付できるファイルはJPEG形式の画像1つだけです。また、サイトなどからダウンロードしたGIF形式の画像を添付した場合は、添付したファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。
mova端末へ送信する場合、相手側が受信文字数設定をしていないときは、相手が受信できる本文は最大全角184文字（369バイト）になります。相手側が受信文字数設定をしているときは、相手が受信できる本文はｉショットのURL（画像の保管先）を含み全角2,000文字までになります。

2 i モードメールまたはデコメアニメ®を作成して送信

■ 添付したファイルを確認する場合
▶「添付あり」▶ファイルを選択
100Kバイトを超えるメロディ、500Kバイトを超えるSWF形式のFlash画像は再生できません。

■ 添付したファイルを削除する場合
▶「添付あり」▶ファイルを反転▶MENU［サブメニュー］▶「添付ファイル削除」▶「YES」
すべての添付ファイルを削除する場合は、「添付ファイル全削除」を選択します。
📷［添付削除］を押しても反転している添付ファイルを1件削除できます。

これ以降の詳しい操作手順については、「i モードメール作成／送信」（P.152）「デコメアニメ®作成／送信」（P.157）をご覧ください。

おしらせ

◆ｉモードメールには、メール本文のバイト数や挿入画像のファイルサイズに関係なく、最大10件、2Mバイトまでのファイルを添付することができます（ファイルサイズによって、最大ファイル数は変動します）。なお、トルカの添付は1件につき、トルカは1Kバイト、トルカ（詳細）は100Kバイトまでです。
◆メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは、添付することができません。
◆カメラで撮影した静止画や動画の場合、「ファイル制限」が「あり」に設定していても添付することができます。
◆受信側の端末が対応していない添付ファイルを送信した場合、添付ファイルがｉモードセンターで自動的に削除される場合があります。その場合、メール本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
◆「イメージ」で画像を添付する場合は、「ｉモードメール添付」が表示され、「そのまま添付」「サイズ中（640×480）」「サイズ小（320×240）」から選択することができます。
◆送信相手の機種によっては、画像が正しく表示されなかったり、表示できない場合があります。また、画像が粗く表示されることもあります。
◆受信側の端末で画像が正しい向きで表示されない場合は、「ピクチャ編集」で画像編集後に添付して送信すると正しく表示される場合があります。その場合は画像サイズが縮小されます。
◆ｉモーションメール（ｉモーションを添付したｉモードメール）に対応していない端末にｉモーションメールを送信した場合、受信側にはｉモーション閲覧用URL付メールが送信され、その閲覧用URLを選択することによりｉモーションを閲覧することができます。
◆ｉモーションメールを送信した場合、送信相手の機種によっては、正しく受信や表示がされなかったり、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。なお、2Mバイト対応機種以外に送信する場合は、動画撮影時の「ファイルサイズ」を「500KB」、「サイズ」を「QCIF」、「品質／音質」を「高品質」に設定することをおすすめします。
動画の撮影について→P.245
◆受信側の端末によっては、メロディが正しく再生されない場合があります。
◆添付ファイルのサイズによっては、送信済みメールが複数件削除される場合があります。

ｉモードメールの保存／送信

作成中のメールを、FOMA端末に一時保存しておき、あとで保存しているメールを編集して送信します。

ｉモードメールの保存

- SMSとあわせて最大200件保存できます。
- 保存メールがいっぱいのときは、メールを作成することができません。

1 新規メール画面（P.152）▶MENU［サブメニュー］▶「保存」

編集されていないメールは保存できません。

■ **編集を終了する場合**
▶[CLR]▶「保存して終了」または「破棄して終了」

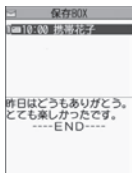
■ **2in1のモードがデュアルモード時に宛先が未入力または直接入力した場合**
▶「Aアドレス」または「Bアドレス」

■ **デスクトップアイコンに表示する場合**
▶「YES」
デスクトップアイコンから保存メールを編集できます。

おしらせ

◆メール編集中に新たにメール編集が発生した場合、先に編集していたメールを「保存して終了」、「破棄して終了」から選択して編集を終了するか、「戻る」を選択して編集を継続します。「保存して終了」を選択したときは、あとに編集したメールの処置完了後に、編集を継続するかしないかを選択します。編集中のメールが複数あった場合は、最新の保存メール1件についてのみ編集継続の確認をします。
◆メモに添付している保存メールのタイトルを編集すると、メモに添付された保存メールのタイトルも変更されます。

保存ｉモードメールの送信

1 ✉▶「保存BOX」

保存メール一覧画面（サブメニュー→P.162）

2 メールを選択▶宛先、題名、本文を編集して送信

サブメニュー

❖保存メール一覧画面（P.162）

フリーワード検索…P.177

送信予約…ｉモードメールの送信予約の設定・解除・確認をします。

- **設定**…ｉモードメールの送信日時を設定（送信予約）します。
- **解除**…ｉモードメールの送信予約を解除します。
- **予約確認**…送信日時を指定したｉモードメールの予約内容を表示します。
- **送信失敗確認**…予約送信に失敗したｉモードメールの失敗理由を表示します。

一覧表示切替…メール一覧画面の表示行数は「2行表示、1行表示、1行+本文表示、1行+題名表示」から、表示方法は「題名表示、名前表示、アドレス表示」から選択して切り替えます。

データ交換／管理…ｉC、赤外線、Bluetooth、microSDでデータ交換をします。

- **ｉC送信**…「1件送信、全送信」から選択します。→P.380
- **赤外線送信**…「1件送信、全送信」から選択します。→P.379
- **Bluetooth送信**…「1件送信、全送信」から選択します。→P.381
- **microSDへコピー**…「1件コピー、選択コピー、全コピー」から選択します。→P.367
- **お預かりセンターに保存**…P.146

保存件数確認…保存メールの保存件数を表示します。

デスクトップ貼付…P.124

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

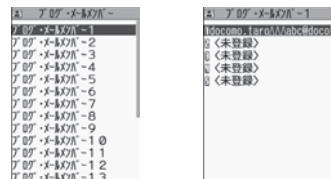
ブログ・メールメンバー登録

ブログ･メールメンバーを登録することにより簡単に画像をブログに投稿できたり、ブログ・メールメンバーを指定するだけで簡単に複数の宛先を入力できます。

また、メール本文中のメールアドレスをブログ・メールメンバーに登録することもできます。→P.168

- ブログ･メールメンバーは20件まで登録でき、1件あたりメールアドレスを5件まで登録できます。
- ブログ投稿先に設定できるブログ･メールメンバーは1件のみです。

1 MENU▶「電話機能」▶「電話帳」▶「電話帳設定・確認」▶「ブログ・メールメンバー」▶ブログ・メールメンバーを選択

■ ブログ・メールメンバーの一覧／詳細画面

ブログ･メール
メンバー一覧画面

ブログ･メール
メンバー詳細画面

左画面：サブメニュー→P.163
右画面：サブメニュー→P.163

■ ブログ投稿先に設定する場合

▶ブログ・メールメンバーを反転▶ｉ［ブログ］
反転したブログ・メールメンバーが投稿先のアドレスとして設定され「★」が表示されます。再度ｉ［解除］を押すと、ブログ投稿先設定が解除されます。

2 「<未登録>」を反転▶📷［編集］▶メールアドレスを入力

メールアドレスを追加登録するときは、操作2を繰り返します。

■ 電話帳、アドレス一覧から登録する場合

▶「<未登録>」▶「電話帳」または「送信アドレス一覧」または「受信アドレス一覧」▶宛先を選択
電話帳の検索のしかた→P.97

サブメニュー

❖ブログ・メールメンバー一覧画面（P.162）

メール作成…ブログ・メールメンバーを宛先に貼り付けたｉモードメールを作成します。

メンバー名編集…ブログ･メールメンバーのメンバー名（グループ名）を編集できます。

メンバー名初期化…ブログ・メールメンバー名をお買い上げ時の状態に戻します。

サブメニュー

❖ブログ・メールメンバー詳細画面（P.162）

アドレス編集…ブログ・メールメンバーのアドレスを編集できます。

アドレス参照入力…電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してメールアドレスを入力します。

1件削除…ブログ・メールメンバーのアドレスを1件削除します。

全削除…選択しているブログ・メールメンバーに登録されているアドレスをすべて削除します。

ｉモードメール受信

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールやメッセージR／Fが送られてきます。

- 受信メール（ｉモードメールとSMS）は、最大2,500件保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。
- 受信したメールは読み上げることもできます。→P.169

受信時の自動表示動作

① メールやメッセージの受信がはじまると受信中画面が表示され、受信が終了すると受信結果画面が表示されます。

- メール受信中は「✉」が点滅し、受信が終了すると、「✉」が点灯表示に変わります。
- メッセージ受信中は「R」または「F」が点滅します。

② 受信結果画面には、受信したメール、メッセージR／Fの件数が表示されます。

- メールの件数には、SMSの件数も含まれます。
- 受信結果画面でメールやメッセージを選択すると、受信メール一覧画面（P.171）やメッセージ一覧画面（P.184）が表示されます。
- 受信結果画面表示中に、何も操作しないで約15秒間経過するとメールの場合は元の画面に戻り、メッセージの場合は詳細画面が表示されます。表示時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります。
- メッセージR／Fの詳細画面が自動表示されるのは、待受画面表示中に受信した場合です。
- メッセージ詳細画面表示中に何も操作しないで約15秒間経過すると、待受画面に戻ります。ただし、スクロールなどの操作をすると、詳細画面は表示され続けます。
- メッセージR／Fの詳細画面の自動表示は、「メッセージ自動表示設定」で設定することができます。
- 「クイックインフォ設定」で「表示しない」以外を設定している場合、メールの情報がテロップ表示されます。→P.171

■100Kバイトを超えたメールを受信した場合

ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトを超えるときは添付ファイルを自動で受信できません。

100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→P.168

おしらせ

◆FOMA端末に保存した受信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、メールを受信したとき、既読の古い受信メールから順に削除されます（未読または保護されているメールは削除されません）。

◆FOMA端末がこれ以上メールを受信できない（未読または保護されているメールでいっぱい）場合、✉（赤色）が表示されます。未読のメールを読むか、いらないメールの保護を解除してください。

◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、現在利用していないモードのメールアドレスにのみメールを受信するとメール受信中の画面が表示されたあと、受信結果画面や「✉」は表示されません。また、メールの着信音も鳴りません。

◆「各種画面設定」でメール受信結果の画像を設定しても､メール受信結果画面では2in1モードのAモードまたはBモードともに同じ画像が表示されます。受信メール一覧画面または受信メール詳細画面で確認してください。

◆To、Cc、Bccを設定できる端末からｉモードメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのうちど

の宛先タイプで受信したかは、メール詳細画面で確認できます。→P.174

◆待受画面以外を表示しているときにｉモードメールを受信した場合で、「受信時動作設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。

◆mova端末から送信されたｉショットサービスのメールを受信した場合、画像は添付ファイルとして受信します。

◆メール一覧画面でデコメアニメ®を選択すると自動再生されます。

新着ｉモードメールの表示

●「新着メールあり」のデスクトップアイコンは発信者ごとに設定することができます。
「相手別アイコンの変更」→P.125

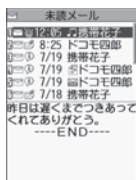
1 待受画面表示中▶■▶「 01」を選択

■ **新着メールが1件の場合**
受信メール詳細画面を表示します。

■ **複数メールを受信し、「デスクトップアイコン設定」で相手別にアイコンを設定している相手からのメールを含む場合**
受信BOXフォルダ一覧画面を表示します。アイコンを設定している相手からのメールが1件の場合はそのフォルダを反転表示します。アイコンを設定している相手からのメールが複数の場合は最新のメールのあるフォルダを反転表示します。

■ **複数メールを受信し、「デスクトップアイコン設定」で相手別にアイコンを設定している相手からのメールを含まない場合**
受信BOXフォルダ一覧画面を表示します。最新の新着メールのあるフォルダを反転表示します。

■ **未読メールの一覧を表示する場合**
▶待受画面表示中▶■▶で「」を選択
未読メールの一覧表示は、以下の手順でも行えます。

- 受信BOXフォルダ一覧画面（P.171）▶［未読メール］

未読メール一覧画面（サブメニュー→P.179）

おしらせ

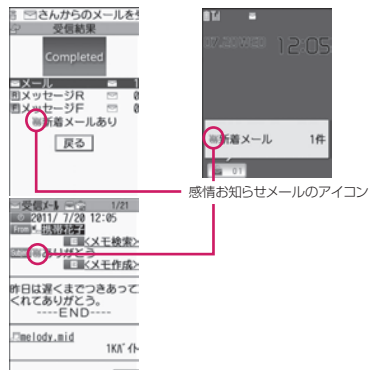
◆表示できない文字は「･」などで表示されます。

◆ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。

◆受信するｉモードメールのサイズがｉモードメニューの「ｉMenu・検索」の「お客様サポート」の「メールサイズ制限」で設定したサイズ（データ量）を超えた場合、貼り付けデータはｉモードセンターで削除され、再取得はできません。メールのサイズはｉ▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「メール設定」▶「その他設定」▶「メールサイズ制限」の順に操作すると設定できます。

◆パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信した場合、その装飾が正しく表示されないことがあります。

● 感情お知らせメールについて

メールを受信したとき、そのメールの内容に合った感情をアイコンでお知らせします。

●表示される感情お知らせメールのアイコンには次の種類があります。

アイコン：意味	アイコン：意味
：好き	：アドバイス
：哀しみ	：お誘い・募集
：急ぎ	：お願い
：驚き	：OK
：嫌い	：感想
：怒り	：返事
：喜び	：質問
：楽しい	：通知
：ファイト	：お知らせ
	―― ：アイコン通知対象外※1

※1「アイコン通知対象外」は、以下のようなメールなどで表示されます。
- 赤外線通信／ｉＣ通信／Bluetooth通信などにより転送されたメール
- お預かりセンターから復元したメール
- ドコモUIMカードからコピーまたは移動したSMS
- ドコモUIMカードのSMS
- microSDカードからコピーしたメール

●「感情／キーワードお知らせ」でアイコンを表示するかどうかを設定できます。また、自分でキーワードを設定してなどを表示させることもできます。→P.183

●受信したメールに、感情お知らせメールのアイコンとキーワードお知らせのアイコンを表示させるキーワードが含まれる場合、キーワードお知らせのアイコンが表示されます。

おしらせ

◆受信したメールによっては、内容に合わない感情お知らせメールのアイコンが表示される場合があります。

◆受信したメールの感情やキーワードの検出は、感情お知らせメールのアイコンの場合、メールの受信日時、題名、本文の先頭から1,000バイト（全角500文字）までが対象となり、キーワードお知らせのアイコンの場合、題名と本文のすべてが対象となります。

◆BOXロックやフォルダロックによって受信したメールの閲覧に制限がかかっていると、受信結果画面やデスクトップアイコンに感情お知らせメールのアイコンは表示されません。

◆複数のメールを同時に受信した場合は、最も新しいメールのアイコンが表示されます。

ｉモードメール選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

●メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

メールが届いたときは

ｉモードセンターにメールが保管されている旨のメッセージと、「」アイコンが画面上部に表示されます。メッセージを確認し、いずれかのボタンを押すとメッセージとアイコンが消えます。

メールの選択受信

1 ▶「メール選択受信」

メールの選択受信は、以下の手順でも行えます。
- ▶「メニューリスト」▶「メール選択受信」

■「メール選択受信設定」が「OFF」に設定されている場合

メール選択受信を設定するかどうかのメッセージが表示され、「メール選択受信設定へ」を選択すると「メール選択受信」を設定できます。

2 **メールごとに項目を選択して設定**

受信：選択したメールを受信します。
削除：選択したメールを削除します。
保留：選択したメールはそのままｉモードセンターに保管されます。
「メール／メッセージ問合せ」などで受信してください。

■ メールをすべて削除する場合

▶ページの一番下にある「削除」▶「決定」

■ ページが複数ある場合

▶「前ページ」または「次ページ」▶ページを前後に移動して選択受信

2ページ目を表示した場合、1ページ目の選択内容はそのまま有効となります。
「サイズ：XXXバイト」のあとに表示されているアイコンの意味は以下のとおりです。

: 画像ファイルが添付
: メロディファイルが添付
: ｉモーションが添付
: トルカが添付
: その他ファイルが添付

3「受信／削除」▶「決定」

完了画面が表示され、メールの受信がはじまります。

■ 選択受信を中止する場合

▶「キャンセル」

■ ページが複数ある場合

ページの途中で「受信／削除」を選択すると、選択したページまで選択受信（保留、受信、削除）を行い、それ以降のページのメールについては、iモードセンターにすべて保管されます。

おしらせ

◆「メール選択受信設定」を「ON」に設定した場合でも「メール／メッセージ問合せ」をすると、すべてのメールを受信します。受信したくない場合は、「メール／メッセージ問合せ設定」で「メール」のチェックを外してご利用ください。

◆電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「 」のアイコンは消灯します。

メール／メッセージ問合せ

FOMA端末が受信できなかったiモードメールやメッセージは、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに問い合わせると、保管されているiモードメールやメッセージを受信することができます。

● iモードセンターに保管されるのは、以下の場合です。
- FOMA端末の電源が入っていないとき
- 「圏外」のとき
- 受信BOXが満杯のとき
- 「メール選択受信設定」が「ON」のとき（iモードメールのみ）
- テレビ電話中
- セルフモード設定中
- FirstPassセンター接続中

●問い合わせる項目は「メール／メッセージ問合せ設定」で設定します。

1 ✉（1秒以上）

メール問合せ画面が表示されます。

以下の手順でも、メール／メッセージ問合せは行えます。

- ✉▶「メール／メッセージ問合せ」

■ 問い合わせを中止する場合

▶問い合わせ中に📷［中止］またはCLR（1秒以上）

中止したタイミングにより受信することがあります。

2 新しく受信したiモードメールとメッセージR／Fの件数を確認▶「戻る」

おしらせ

◆電波状態によっては、問い合わせできなかったり問い合わせが中断される場合があります。

◆iモードセンターにiモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」のときにセンターに届いた場合などは、「 」のアイコンが表示されないことがあります。

iモードメール返信

iモードメールの送信元にiモードメールまたはデコメアニメ®で返信します。受信したiモードメールの本文を引用して返信することもできます。

1 受信メール一覧画面（P.171）、受信メール詳細画面（P.171）▶📷［返信(+引用)］

返信先のメールアドレスが電話帳に登録されていない場合、自動的に電話帳登録の確認画面を表示するので「YES」を選択すると電話帳に登録します。

■ 本文を引用して返信する場合

▶📷［返信(+引用)］（1秒以上）

引用符（お買い上げ時は「>」）が、引用返信するメールの本文の先頭に1つだけ付きます。

引用符を編集するには→P.167

※「メール返信引用設定」（P.167）で「引用返信優先」を設定している場合、📷［引用返信(+返信)］で引用返信、📷［引用返信(+返信)］（1秒以上）でiモードメール返信になります。

■ デコメアニメ返信する場合

▶MENU［サブメニュー］▶「返信／転送」▶「デコメアニメ返信」

■ 複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合

▶MENU［サブメニュー］▶「返信／転送」▶「返信」「デコメアニメ返信」または「引用返信」▶「送信元へ」

■ 複数の宛先があるメールの送信元とすべての宛先に返信する場合

▶MENU［サブメニュー］▶「返信／転送」▶「返信」「デコメアニメ返信」または「引用返信」▶「すべてへ」

送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

2 題名、本文を編集▶[送信]

送信が終了すると「」が「」に変わります。

おしらせ

◆メール本文にメロディやｉアプリの起動指定などの貼付データがある場合、貼付データは削除されます。

◆送受信BOXメール一覧画面でも受信メールを反転しているときは、送受信BOXに登録されたメールアドレスへ返信ができます。

◆受信メールの電話帳に登録していない複数のメールアドレスに返信する場合、送信元メールアドレスのみを登録します。

メールを引用してかんたんに返事を出す

受信メール一覧画面および受信メール詳細画面でを押したときにｉモードメールの返信（元の文章を引用しないで返信）を優先するか引用返信を優先するかを設定します。また、引用返信するときの引用した本文の先頭に挿入される引用符を編集することもできます。

「ｉモードメール返信優先」を設定した場合は「」、「引用返信優先」を設定した場合は「」が表示されます。

1 メール設定画面（P.181）▶「メール返信引用設定」▶「返信ボタン設定」

■ 引用符を編集する場合

▶「引用文字編集」▶引用符を入力

2 「ｉモードメール返信優先」または「引用返信優先」

おしらせ

◆SMS、デコメアニメ®には引用返信できません。

ｉモードメール転送

受信したｉモードメールをほかの人に転送します。

1 受信メール一覧画面（P.171）、受信メール詳細画面（P.171）▶MENU[サブメニュー]▶「返信／転送」▶「転送」▶「To <宛先参照／入力>」▶宛先を入力

送信する前に、題名、本文を編集できます。

2 [送信]

送信が終了すると「」が「」に変わります。

おしらせ

◆メールへの添付が禁止されているファイルや、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。

◆メール本文にメロディやｉアプリの起動指定などの貼付データがある場合、貼付データは削除されます。

◆取得が完了していない添付ファイルが存在する場合、そのファイルは添付されません。→P.168

◆その他ファイルが添付されているｉモードメールを転送する場合、その他ファイルは削除されません。

迷惑メール報告

簡単な操作で、受信したメールから法令に違反して送信された広告宣伝を目的とした迷惑メールや迷惑SMSをドコモに転送したりすることができます。

※ ドコモでは法令に違反した迷惑メール／SMSの送信者への措置などの対策を講じるため、お客様からの情報提供をお願いしております。

1 受信メール一覧画面（P.171）、受信メール詳細画面（P.171）▶MENU[サブメニュー]▶「迷惑メール報告」▶「OK」

2 [送信]

おしらせ

◆宛先には、迷惑メール情報提供用のアドレスが自動で設定されます。

◆自動で設定された宛先、題名、本文、添付ファイルの編集はできません。

◆送信するメールの題名は、受信メールの題名となります。SMSの場合は、題名は「SMS」となります。

◆本文には、受信したメールの受信日時、送信元アドレスが冒頭に付加されます。SMSの場合は、受信したSMSの受信日時、送信元電話番号が冒頭に付加されます。

◆冒頭文/署名の自動貼付はできません。

◆迷惑メール／SMSの情報をドコモに転送いただく際、お客様による受信時には削除されている対象迷惑メール／SMSの送信経路情報などを、システムまたはFOMA端末の機能により自動的に付加させていただいた上で情報提供いただく場合があります。

メールアドレスの登録

受信したメールの送信元のメールアドレスやメール本文中のメールアドレス、電話番号を、電話帳やブログ・メールメンバーに登録することができます。

- 受信SMSの場合は、送信元の電話番号が電話帳の電話番号に登録されます。

<例:送信元のメールアドレスを電話帳に登録する場合>

1 受信メール詳細画面（P.171）▶登録するメールアドレスまたは電話番号を反転▶MENU［サブメニュー］▶「アドレス／番号登録」

2 「電話帳」▶保存先を選択

電話帳の登録のしかた→P.94

■ ブログ・メールメンバーに登録する場合
▶「ブログ・メールメンバー」▶登録先を選択

添付ファイルの確認・保存・削除

送受信したｉモードメールの添付ファイルを確認・保存します。挿入画像を保存することもできます。

- 添付ファイルのアイコンとデータの種類

アイコン	データの種類
	メロディ
	画像
	ｉモーション、ムービー
	トルカ、トルカ（詳細）
PDF	PDFデータ、ドキュメント
	ツールデータ（電話帳、スケジュール、メモ、Bookmark）
	その他ファイル
	選択受信が必要な添付ファイル→P.168

<例：受信メールの添付ファイルを保存する場合>

1 受信メール詳細画面（P.171）▶添付ファイル名を反転

■ 添付画像の保存について
本文の下に添付されている画像は、ファイル名で表示される場合と画像で表示される場合があります。これらの表示は、「ファイル名」または「画像」を選択すると切り替わります。
「画像」で表示されている添付画像を保存するときは、囲み枠で指定します。

■ 挿入画像の保存について
本文内に挿入されている画像は、添付画像のように保存する画像に囲み枠は表示されません。

2 MENU［サブメニュー］▶「保存」▶「添付ファイル保存」

■ 挿入画像の保存について
▶「挿入画像保存」▶「選択保存」または「全保存」
以降の操作については、メール詳細画面のサブメニューを参照してください。→P.179

3 画面表示に従ってフォルダや項目を選択

おしらせ

<メロディ保存>
◆送信元がN-05C以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
◆複数のデータが貼り付けられている場合は、貼付データ自体が表示されないことがあります。
◆メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合は、「メール設定」の「添付ファイル自動再生設定」を「自動再生しない」に設定してください。

<ツールデータ保存>
◆スケジュールはmicroSDカードには保存できません。
◆複数件の情報が存在しているファイルをFOMA端末内に保存した場合、保存されるのは先頭の1件のみです（microSDカードに保存した場合は、すべての情報が保存されます）。

<ムービー保存>
◆ムービーはFOMA端末には保存できません。microSDカードに保存してください。

<その他ファイル保存>
◆その他ファイル（表示／再生に対応していないファイル、BMP形式やPNG形式などのファイル）は自動的にmicroSDカードの「OTHER」フォルダに保存されます。なお、保存するとファイル名が変更されます。→P.360

選択受信添付ファイルの取得

メール本文と挿入画像と添付ファイルの容量の合計が100Kバイトを超えるときは、メール受信時に添

付ファイルを自動で受信することができません。この場合、あとから手動で取得する必要があります。

- ●「メール設定」の「添付ファイル優先受信設定」で、チェックを外している種類のファイルについても、同様に手動で取得する必要があります。
- ●受信メール詳細画面で、添付ファイルの取得を行っていない場合は「」のアイコンが、途中まで添付ファイルの取得を行っている場合は「」のアイコンが表示されます。

1 受信メール詳細画面（P.171）▶「」または「」のアイコンが表示されている添付ファイルを選択

データの取得が開始されます。

データの取得が完了すると、完了したことを示す画面が表示されます。

■ 取得を途中で中止する場合

▶[カメラ]［中止］

途中まで取得したデータを保存します。この場合、再度操作1を行うことで残りのデータを取得することができます。

2 データ取得後、ファイル内容を表示

おしらせ

◆取得が完了していない添付ファイルが 1 つでも存在する場合は、受信メール詳細画面（P.171）で、添付ファイルの保存期限が表示されます。すべての添付ファイルの取得が完了すると、保存期限の表示は消えます。なお、保存期限を過ぎた添付ファイルは取得できません。

◆添付ファイルを受信した際、受信BOXの保存容量を超えた場合は、添付ファイルのサイズに従い受信メールが自動的に削除されます（添付ファイルのサイズによっては大量に受信メールが削除されることがあります）。なお、未読のメールと保護されている受信メールは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。→P.178、179

メール読み上げ

- ●読み上げる際には、音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してください。
- ●読み上げの音量は「着信音量」の「FOMA電話」で設定した音量になります。「消去」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。
- ●以下の場合、読み上げは行われません。
  - •「メール読み上げ設定」の「受信時読み上げ設定」を「無効」に設定
  - •通話中、通信中（パケット通信中を除く）
  - •マナーモード設定中でイヤホンマイク（別売）などを接続していないとき
  - •ミュージックプレーヤー再生中

新着メール読み上げ

メールを受信し、受信結果確認画面が表示されているときや、「メール／メッセージ問合せ」を実行し、問い合わせ結果画面が表示されているときにも、新着メールを読み上げることができます。

<例：メール／メッセージ問合せを実行した場合>

1 問い合わせ結果画面が表示されている間に[i]［読上げ］

送信元の名前とメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、「○○さんからのメール」という音声通知のあとに本文を読み上げます。

メールの読み上げが完了すると「ピピッ」という音が鳴り、メールの読み上げ画面を終了します。

■ 複数のメールを同時に受信した場合

受信日時の新しいメールから順に読み上げます。

読み上げ中に[▷]を押すと、「ピー」という音が鳴り、次のメールを読み上げます。次のメールがない場合は、メールの読み上げを停止します。

メールBOXのメール読み上げ

1 受信メール詳細画面（P.171）▶[MENU]［サブメニュー］▶「メール読み上げ」

■ 読み上げを中止する場合

▶[■]［停止］

もう一度[■]［再生］を押すと、最初から読み上げを開始します。

■ 読み上げを終了する場合

▶[カメラ]［閉］または[CLR]

おしらせ

◆メール読み上げ時は、画面上半分に画像が表示されます。また、受信メールの送信元アドレスと画像が電話帳に登録されている場合は、登録されている画像が表示されます。

◆メール読み上げ中に[▲▼]を押すと、メール本文をスクロールします。これら以外のボタンを押すと、読み上げを中止します。ただし、[5]や[8]を1秒以上押して、ecoモードやプライバシーアングルのON／OFFの切り替えを行うときは、読み上げを中止しません。

◆メール読み上げ中に着信があると読み上げを終了し、着信中画面が表示されます。

◆メール読み上げ中に新しくメールなどを受信したときは、「受信時動作設定」の設定内容に従います。

また、メール読み上げ中にアラームの指定時刻になった場合は、「アラーム通知設定」の設定内容に従います。
◆メール連動型ｉアプリのメールは受信結果画面で読み上げできませんが、受信メール詳細画面では読み上げができます。
◆SMS送達通知は読み上げできません。
◆デコメアニメ®は読み上げできません。
◆パソコンなどから受信したメールは、読み上げできない場合があります。
◆「バイリンガル」を「English」に設定中、受信結果画面で読み上げできませんが、受信メール詳細画面では読み上げができます。

読み上げルール

メール読み上げ機能では、おおむね以下の規則に基づいて受信メールを読み上げます。

■記号・絵文字

記号・絵文字の読み上げはしません。記号･絵文字がある文章の場合は、正しく読み上げできないこともあります。ただし、一部の記号は読み上げをします。

＄	％	￥	°	℃	¥	$	%	㍉	㌔
㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦
㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄
㎡									

■数字

数字が並んでいる場合は最大16桁を桁読みします。
例：1234 → 「センニヒャクサンジュウヨン」

■金額

数字の先頭に「¥（半角・全角可）」などが入力されていると、最大16桁を金額として読み上げます。入力文字列に区切り記号「,」を使用する場合は、3桁ごとに「,」で区切られていなければ金額と判定しません。
例：¥12345、¥12,345→「イチマンニセンサンビャクヨンジュウゴエン」

■電話番号

数字が「-」「(」「)」により一般電話、携帯電話、フリーダイヤルの電話番号のパターンで区切られていると、桁読みをせず、電話番号として読み上げます。また数字の先頭に「Tel:」がある場合も電話番号として読み上げます。
例：Tel：0120-XXX-XXX→「テルゼロイチニーゼロ XXX XXX」

■時刻

数字が「:」で時刻パターンで区切られていると、時刻として読み上げます。※「時」については1～2桁、「分」については2桁の場合に時刻と判断します。また、文字列の前後に「AM」または「PM」（大文字）が付加されていると、「午前」「午後」を先頭に付けて時刻を読み上げます。

「時」:「分」（「時」は0～29、「分」は00～59） 例： 23:15 → 「ニジュウサンジ　ジュウゴフン」
AM「時」:「分」または「時」:「分」AM （「時」は0～12、「分」は00～59） 例：AM5:05 → 「ゴゼン　ゴジ　ゴフン」

※「時」:「分」:「秒」の形で入力されている場合（例：23：15：10）、読み上げを行いません。

■日付

数字が「/」や「.」で日付パターンで区切られていると、日付として読み上げます。また、日付の前に「M」「T」「S」「H」（M、T、S、Hは大文字のみ）が挿入されていると、年を元号（明治、大正、昭和、平成）として読み上げます。

「年」/「月」/「日」または「年」.「月」.「日」（「年」は0～9999、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：2010/12/05、2010/12/5、2010.12.5、2011.12.05→「ニセンジュウイチネン　ジュウニガツ　イツカ」
「H」「年」/「月」/「日」または「H」「年」.「月」.「日」（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31）例：H22.10.3→「ヘイセイ　ニジュウサンネン　ジュウガツ　ミッカ」

●数字、金額、電話番号、時刻、日付においてすべてのパターンは全角文字にも対応しています。
●金額、電話番号、時刻、日付を読み上げるとき、その文字列の直前あるいは直後に以下の文字がある場合には正確に読み上げないことがあります。金額、電話番号、時刻、日付を正確に読み上げたい場合は、その文字列の前後にスペースなどの区切り文字を置くことをおすすめします。
「0～9」「A～Z（大文字）」「:」「¥」「/」「.」「-」（半角・全角）

■その他

●英字はアルファベット読みで読み上げますが、組み合わせによってはアルファベット読みしない場合があります。
●文章の内容や、記載内容（とくに地名や固有名詞など）により、読み上げをしなかったり、読みかたを誤る場合があります。
●読み上げの音声は自然音声と異なります。聞きづらい発音やアクセントになる場合があります。
●句読点（「、」「。」）、ピリオド（「.」）、改行、スペースなどがある場合は、その位置で読み上げを区切ります。ただし、「.」「,」の前後が数字の場合は、区切りません。区切りがない場合は、文章を自動的に区切って読み上げます。
文章によっては声が出るまでに時間がかかる場合があります。漢字を使用した場合は、正しく読み上げができない場合があります。文章の内容をより正確に読み上げたい場合は、よくメールをやりとりす

る相手の方に以下のことをお願いすることをおすすめします。
- 名詞、とくに地名、人名といった固有名詞はカタカナで作成してください。
- 句読点などを用いた文章でメールを作成してください。

新着メールのテロップ表示

新着メールの通知情報を操作画面上にテロップ表示します。テロップ表示する通知情報は、ｉモードメール、SMS、メッセージR／Fの新着情報です。

1 **MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「クイックインフォ設定」▶以下の項目から選択**

送信元のみ表示…送信元の名前（メールアドレス）を表示します。

送信元と題名を表示…送信元の名前（メールアドレス）、感情お知らせメールのアイコン、題名を表示します。

表示しない…クイックインフォを表示しません。

おしらせ

◆以下の場合は新着通知のみを表示します。
- メッセージR／F
- フォルダロック設定済みのフォルダに振り分け対象の新着メールの場合
- 受信BOXにロックがかかっている場合
- メールにオリジナルロック設定中の場合

◆ｉモーション、ムービー、Music&Videoチャネルの全画面再生中はテロップ表示しません。
◆複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールの情報を通知します。
◆クイックインフォ表示中は「」が表示されません。
◆「送信元と題名を表示」に設定した場合、受信したメールに題名がなくても送信元の名前（アドレス）を表示します。

受信／送信／未送信メールBOXの表示

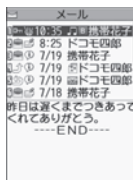
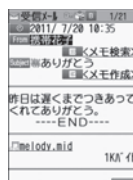
- お買い上げ時は、「NEW ｉモーション！」（Welcomeメール）のメールが受信BOXに保存されています。このメールには通信料はかかりません。また返信することはできません。
- 受信メールはｉモードメールとSMSをあわせて最大2,500件、送信メールはｉモードメールとSMSをあわせて最大1,000件保存されます。
- 受信メールは最大2,500件、送信メールは最大500件保護することができます。
- 保存および保護できるメールの件数は、データ量により変動します。ファイルサイズが大きいデータを保存したときは、保存および保護できる件数が少なくなります。

ｉモードメールの本文を読む

<例：受信メールの本文を読む場合>

1 **✉▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶メールを選択**

メールメニュー

受信BOXフォルダ一覧画面

受信メール一覧画面

受信メール詳細画面

上段右画面：サブメニュー→P.175
下段左画面：サブメニュー→P.178
下段右画面：サブメニュー→P.179

メール詳細画面で⊡を押すと、前後のメールを表示できます。

■ **デコメアニメ®の場合**

本文表示画面が表示されます。

おしらせ

◆題名／名前／アドレスの一部が表示されない場合があります。
◆受信メール詳細画面では、メール本文を読み上げることができます。→P.169

● メール一覧画面／詳細画面の便利なボタン

■メール一覧画面

ボタン操作	動作
#（1秒以上）	■1行表示、1行+本文表示の場合「名前表示」「アドレス表示」「題名表示」の切り替え ■2行表示、1行+題名表示の場合「名前表示」「アドレス表示」の切り替え

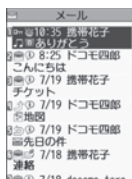
■メール詳細画面

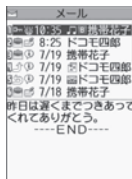
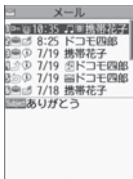
ボタン操作	動作
	押した方向にスクロール
	前後のメールを表示
（1秒以上）	文字サイズを変更
	画面単位で上方向または下方向にスクロール

おしらせ

◆上記のボタン操作により表示を切り替えたときは、「フォント設定」の「文字サイズ」の「メール」、および「文字サイズ設定」の設定も変更されます。

● メール一覧画面の表示切替（2行表示／1行表示／1行+本文表示／1行+題名表示）

●「メール設定」の「表示設定」で「メール一覧表示設定」を選択すると、「2行表示」「1行表示」「1行+本文表示」「1行+題名表示」を切り替えられます。

2行表示

1行表示

1行+本文表示

1行+題名表示

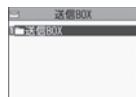
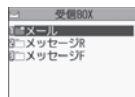
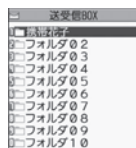
おしらせ

◆「メール一覧表示設定」で「2行表示」以外を設定している場合、送受信BOXメール一覧画面では常に「題名表示」となります。

● ディスプレイとボタンの照明機能について

●FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、iモードメールやSMSを送受信したときなどにディスプレイとボタンの照明が点灯します（点灯時間は「照明設定」の「点灯時間」や「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わります）。ただしiモードメールやSMSの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。

●「照明設定」の「通常時」を「OFF」に設定しているときはディスプレイの照明を点灯しません。

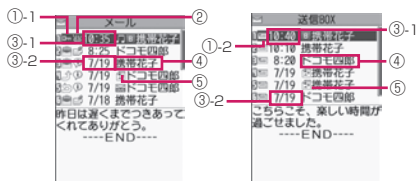
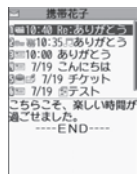
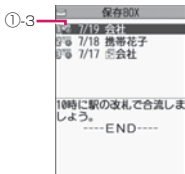
メールフォルダ一覧画面の見かた

送信BOXフォルダ一覧画面

受信BOXフォルダ一覧画面

送受信BOXフォルダ一覧画面

アイコン	説明
	通常のフォルダ
	メール連動型iアプリ専用フォルダ
	シークレットが設定されているフォルダ

：未読メールがあるとき（フォルダはオレンジ）

：フォルダロックが設定されているとき

：自動振分け設定（P.176）がされているとき

メール一覧画面の見かた

受信メール一覧画面　　送信メール一覧画面

送受信BOXメール一覧画面

保存メール一覧画面

① メールの状態

①-1 受信

アイコン	説明
	未読メール
	既読メール
	保護されている既読メール
	転送済みメール
	返信済みメール
	迷惑メール報告メール

：保護されているとき

①-2 送信

アイコン	説明
	宛先が1件のメール
	宛先が複数のメール（同報メール）

：保護されているとき

：一部送信が失敗したもの

：送信が失敗したもの

①-3 送信予約状態

アイコン	説明
	圏内自動送信予約を設定中の保存メール
	自動送信失敗メール
	日時指定送信予約を設定中の保存メール

：迷惑メール報告メール

② メールの内容

アイコン	説明
など	感情お知らせメール→P.164

③ 送受信した時刻や日付

③-1 当日送受信したメールは時刻表示

③-2 前日までに送受信したメールは日付表示

④ 送信元／宛先、題名、通知内容など

題名がない場合は「無題」と表示

⑤ メール種別、添付ファイル情報

アイコン	説明
	FOMA端末内のSMS
	ドコモUIMカード内のSMS
	SMS送達通知受信済みのSMS（「メール一覧表示設定」を「2行表示」にしているときに表示）
	エリアメール
※	2in1のBアドレスで送受信したメール
	時差補正されたメール
	メロディ添付または貼付メール
	画像添付または挿入メール
	ｉモーション、ムービー添付メール
	トルカ、トルカ（詳細）添付メール
	PDFデータ添付メール
	ツールデータ（電話帳、スケジュール、メモ、Bookmark）添付メール
	ドキュメント添付メール
	その他ファイル添付メール
	メール本文からｉアプリが起動可
	メール連動型ｉアプリで送受信したメール

アイコン	説明
	未取得ファイル添付メール →P.168
	未完成ファイル添付メール →P.168
	取得不可ファイル添付メール
	複数ファイルが添付されている、または添付ファイルと貼付データが混在しているメール
	複数データが貼り付けられているメール（データがｉアプリToと一緒に貼り付けられている場合にも表示）
	ドコモUIMカードセキュリティ機能がかかっているメール（メールを送受信したときとは違うドコモUIMカードを使用）

※ 2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示

：添付ファイルが削除されているもの

：複数ファイルのうち、一部のファイルが削除されているもの

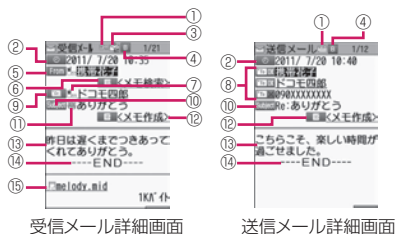
：複数ファイルで、すべてのファイルが削除されているもの

おしらせ

◆画像が添付されたｉモードメールは、受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で画像に囲み枠を移動し、■［選択］を押すごとに画像表示とファイル名表示が切り替わります。

◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、現在利用していないモードのメールは表示されません。

◆受信／送信メール一覧画面、保存メール一覧画面、送受信BOXメール一覧画面で、選択したメールの日時、名前（アドレス）、題名の表示が収まらない場合はテロップ表示されます。

メール詳細画面の見かた

受信メール詳細画面　　送信メール詳細画面

① メールの状態
「メール一覧画面の見かた」（P.173）の①参照

② 送受信した時刻と日付

③ 宛先のタイプ（受信メール）

アイコン	説明
To Cc Bcc	送信元の宛先のタイプ→P.154

④ 2in1のメールアドレス情報

アイコン	説明
B※	2in1のBアドレスで送受信したメール

※ 2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示

⑤ 送信元（受信メール）

アイコン	説明
From Fm	送信元の名前またはメールアドレス

：返信不可のもの

⑥ メモ検索（受信メール）

アイコン	説明
※1※2	送信元アドレスに関連するメモを検索

※1 ｉコンシェル未契約のときは利用できません。
※2 ドコモUIMカード内のSMSでは表示されません。

⑦ 電話帳に登録されているアイコン
メールアドレスや電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳に登録されているアイコンを表示

⑧ 宛先と宛先のタイプ（送信メール）

アイコン	説明
To OK To Cc OK Cc Bcc OK Bcc	宛先の名前またはメールアドレス、および宛先のタイプ→P.154

：送信失敗のもの

⑨ 同報メールの宛先と宛先のタイプ（受信メール）
最大4件を表示

アイコン	説明
To To Cc Cc	同報メールで、自分以外の宛先の名前またはメールアドレス、および宛先のタイプ→P.154

：返信不可のもの

⑩ 題名
題名がないときは「無題」と表示
受信したSMSには「SMS」（ドコモUIMカード内にあるときは「 」）と表示
SMS送達通知を受信済みの場合は、「 」もあわせて表示
エリアメールの場合は「エリアメール」と表示

⑪ メールの内容（受信メール）

アイコン	説明
など	感情お知らせメール→P.164

⑫ メモ作成

アイコン	説明
※	メモ作成→P.413

※ ドコモUIMカード内のSMSでは表示されません。

⑬ メール本文

⑭ 本文の終わりに表示

⑮ 添付ファイル情報
ファイル名、ファイルサイズも表示

アイコン	説明
	貼り付けられたメロディ（不正なメロディは本文にテキスト表示）
	正しくない挿入画像

※ 上記以外に一覧画面と同じアイコンが表示される場合があります。それらについては、P.173の「⑤メール種別、添付ファイル情報」をご覧ください。

おしらせ

◆以下の場合は、電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていても「名前」が表示されず、メールアドレスのままの表示となります。
- 「指定発信制限」が設定中で、「指定発信制限」に指定されていない電話番号のとき
- 2in1のモードがAモードに設定中で「電話帳2in1設定」が「B」のとき、またはBモードに設定中で「電話帳2in1設定」が「A」のとき

◆添付画像や挿入画像によっては、画像の向きが正常に表示されない場合があります。

サブメニュー

❖受信BOXフォルダ一覧画面（P.171）
❖送信BOXフォルダ一覧画面（P.172）

フォルダ操作…フォルダの操作を行います。
- **フォルダ追加**…フォルダを追加し、追加したフォルダに自動振分けを設定します。また、受信BOX、送信BOXに同じフォルダを追加するかどうかを設定します。追加できるフォルダは22個までです。
  「自動振分けを設定する」→P.176
- **フォルダ名編集**…追加したフォルダのフォルダ名を編集します。
- **フォルダ並び替え**…移動先の位置を選択し、フォルダを並び替えます。
- **フォルダロック**…フォルダのロックを設定、解除します。→P.141
- **シークレット設定⇔シークレット解除**※1…
  「メールのフォルダにシークレット設定」→P.134
- **フォルダ削除**…追加したフォルダを削除します。

自動振分け設定…P.176
フリーワード検索…P.177
データ交換／管理…ｉC、赤外線、Bluetooth、microSDでデータ交換をします。
- **ｉC全送信**…P.380
- **赤外線全送信**…P.379
- **Bluetooth全送信**…P.381
- **microSDへ全コピー**…P.367

保存件数確認…保存件数を確認します。
デスクトップ貼付※2…P.124
削除※2…既読メール、受信メールをそれぞれ削除します。
- **既読メール全削除**…既読メールをすべて削除します。
- **受信メール全削除**…受信メールをすべて削除します。

送信メール全削除※3…送信メールをすべて削除します。

※1 シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※2 受信BOXフォルダ一覧画面でのみ利用できる機能です。
※3 送信BOXフォルダ一覧画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

◆お買い上げ時にすでにあるフォルダ（メールや送信BOXなど）は、削除やフォルダ名の変更、シークレット設定はできません。また各フォルダに自動振分けを設定することもできません。

<フォルダ追加>
◆メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、メール連動型ｉアプリ専用フォルダが自動的に作成されます（最大5個）。

<フォルダ並び替え>
◆メール、送信BOXは並び替えできません。

<フォルダ削除>
◆対応するメール連動型ｉアプリがある場合、メール連動型ｉアプリ用フォルダを削除することはできません（ソフトがない場合は削除できます）。
◆「自動振分け設定」が設定されていたフォルダを削除すると、そのフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。

<保存件数確認>
◆次のｉモードメールやSMSの件数は確認できません。
- シークレット設定されたフォルダ内のもの
- 2in1の設定により表示されていないもの
- シークレットのモードにより表示されていないもの

◆メッセージR／Fの件数は確認できません。

<ｉC全送信><赤外線全送信><Bluetooth全送信><microSDへ全コピー>
◆メッセージR／Fは対象となりません。

<既読メール全削除><受信メール全削除><送信メール全削除>
◆保護されているｉモードメールやSMSは削除されません。
◆送信メール全削除、受信メール全削除の場合、2in1の設定により表示されていないメール、シークレットモードにより表示されていないメールも削除されます。
◆メッセージR／Fは削除されません。

● 自動振分けを設定する

メールアドレスや題名など、あらかじめ条件を設定し、自動的に指定したフォルダにメールを振り分けます。
●受信メール一覧画面でも自動振分け設定ができます。

1 送信BOX／受信BOXフォルダ一覧画面（P.171、172）▶振分け先のフォルダを反転▶MENU［サブメニュー］▶「自動振分け設定」▶以下の項目から自動振分けを設定

すでに振分け条件を設定している場合は設定中の条件が表示されます。さらに MENU ［サブメニュー］を押します。

■ オリジナルロックを電話帳やブログ・メールメンバーに設定している場合

グループ名は「グループ」、ブログ・メールメンバーは「ブログ・メールメンバー」と表示されます。

アドレス振分け…メールアドレスを設定します。
- **アドレス参照入力**…電話帳やアドレス一覧を参照してメールアドレスを設定します。
- **グループ参照**…電話帳のグループを設定します。
- **ブログ・メールメンバー参照**…ブログ・メールメンバーを設定します。
- **直接入力**…メールアドレスを直接入力して設定します。

題名振分け…メールの題名を設定します。

返信不可振分け（送信失敗振分け）…返信不可または送信が失敗したメールを振り分ける場合に設定します。

すべて振分け…メール連動型ｉアプリ専用フォルダだけに設定できます。すべてのメールをメール連動型ｉアプリに振り分けます。

A／Bモード振分け…2in1のAアドレスまたはBアドレスを振り分ける場合に設定します。

電話帳登録なし…電話帳未登録のメールを振り分ける場合に設定します。

アドレス／題名編集…設定済みのメールアドレスやメールの題名を編集します。

一覧表示切替…メールアドレスの一覧の表示方法を「名前表示、アドレス表示」から選択します。
自動振分け設定のアドレス一覧で # （1秒以上）を押して切り替えることもできます。

解除…「1件解除、選択解除、全解除」から選択し、自動振分けの条件を解除します。

おしらせ

◆複数の振分け条件に該当したときの優先順位は以下のとおりです。
① すべて振分け
② 題名振分け
③ 返信不可振分け／送信失敗振分け
④ メールアドレス／電話番号
⑤ ブログ・メールメンバー
⑥ 電話帳グループ
⑦ A／Bモード振分け
⑧ 電話帳登録なし

◆自動振分け設定を設定する前に受信または送信したメールは、振り分けられません。
◆同報送信した送信メールは、入力した宛先の順番で振分け条件を検索します。
◆エリアメールは、「アドレス振分け」「題名振分け」「返信不可振分け」「A／Bモード振分け」「電話帳登録なし」の対象となりません。

<アドレス振分け>
◆アドレス振分けの条件は、全フォルダで700件まで設定できます（1つのフォルダに複数設定できます）。

<アドレス振分け（直接入力）>
◆メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく入力してください。ただし、「電話

番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。

<題名振分け>

◆題名が複数のフォルダの振分け条件にあてはまる場合、メール、送信BOXの各フォルダに最も近いフォルダに振り分けられます。

◆「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けられません。

◆SMSは題名振分けができません。

<返信不可振分け>

◆SMS送達通知は振り分けられません。

◆「返信不可振分け」は受信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<送信失敗振分け>

◆「送信失敗振分け」は送信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<すべて振分け>

◆SMS送達通知やドコモUIMカードに直接受信したSMSは振り分けられません。

◆「すべて振分け」は、受信と送信それぞれ1つのメール連動型ｉアプリ専用フォルダにしか設定できません。

<A／Bモード振分け>

◆2in1のモードがデュアルモードのときのみ設定できます。

◆Aアドレス／Bアドレスの設定は受信BOX／送信BOXにそれぞれ1フォルダしか設定できません。

◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、「A／Bモード振分け」の自動振分け設定がされているフォルダには自動振分け設定がされているアイコン（ ）は表示されません。

◆A／Bモード振分け設定は、2in1のモードにかかわらず有効となります。

◆2in1をOFFにすると、フォルダに設定されていた「A／Bモード振分け」の自動振分けの設定はそのまま残りますが、機能しません。

<電話帳登録なし>

◆「電話帳登録なし」は、受信と送信それぞれ1つのフォルダにしか設定できません。

● フリーワードでメールを検索する

検索したい言葉を自由に検索語として入力し、検索語が含まれるメールを一覧で表示します。また、複数の検索語を入力して検索することもできます。

- 受信BOXフォルダ一覧画面、送信BOXフォルダ一覧画面、受信メール一覧画面、送信メール一覧画面、保存メール一覧画面で検索することができます。
- 検索語の検索範囲はメールの本文のみになります。宛先や題名などは検索の対象になりません。

<例：メールを検索する場合>

1 送信BOX／受信BOXフォルダ一覧画面（P.171、172）または送信／受信メール一覧画面（P.171、173）、保存メール一覧画面（P.162）▶✉［ ］

フォルダ一覧画面で検索した場合、すべてのフォルダのメールが検索対象となり、メール一覧画面で検索した場合は、一覧のメールのみが検索対象となります。

2 検索語を入力▶■［確定］

■ 複数の検索語で検索する場合

▶📷［and/or］または📷［and/or］（1秒以上）

📷［and/or］を押すと半角スペースが入力されます。検索語と検索語を半角スペースで区切ると、複数入力した検索語のすべてが含まれるメールが検索されます（and検索）。
📷［and/or］を1秒以上押すと縦線（|）が入力されます。検索語と検索語を縦線で区切ると、複数入力した検索語のどれか一つでも含まれていればメールが検索されます（or検索）。

● 送受信BOXに送受信メールを表示できるようにアドレスを登録する

アドレスを登録することにより、送受信BOXに登録したアドレスの送受信メールを表示できます。

- 送受信BOXフォルダはお買い上げ時に10個登録されており、1個あたりメールアドレスを1件登録できます。

1 ✉▶「送受信BOX」▶フォルダを反転▶📷［登録］▶メールアドレスを設定

メールアドレスの登録方法を選択し、メールアドレスを登録します。

■ 電話帳からメールアドレスを登録する場合

▶「電話帳」▶参照先を検索（P.98）▶電話帳詳細画面でメールアドレスを選択

■ アドレス一覧からメールアドレスを登録する場合

▶「送信アドレス一覧」または「受信アドレス一覧」▶メールアドレスを選択

■ 直接入力してメールアドレスを登録する場合

▶「直接編集」▶メールアドレスを入力

サブメニュー

❖送受信BOXフォルダ一覧画面（P.172）

フォルダ名編集…フォルダ名を編集できます。

登録解除…反転している送受信BOXフォルダに登録されているメールアドレスを解除します。送受信BOXフォルダはお買い上げ時の状態に戻ります。

フォルダ内メール全削除…フォルダ内のメールをすべて削除します。

サブメニュー

❖ メール一覧画面（P.171）

返信／転送※1…P.166、167

再編集※2…送信済みメールの宛先や題名、本文を編集します。[カメラ]［送信］を押すと、メールを送信できます。

フリーワード検索…P.177

検索※3…条件を指定してメールを検索します。

- **送信元検索**※4…電話帳やメールアドレス一覧からメールアドレスを指定したり、メールアドレスを直接入力して送信元を検索します。
- **宛先検索**※5…電話帳やメールアドレス一覧からメールアドレスを指定したり、メールアドレスを直接入力して宛先を検索します。
- **題名検索**…題名からメールを検索します。
- **未読のみ**※4…未読メールを検索します。
- **既読のみ**※4…既読メールを検索します。
- **保護のみ**…保護を設定したメールを検索します。
- **添付ファイル**…添付ファイルのあるメールを検索します。添付ファイルの種類ごとに検索できます。
  受信メールでは「未取得のみ※4、取得途中のみ※4」を選択して検索することもできます。
- **色分け**…色分けされたメールを検索します。
- **ｉアプリのみ**※4…ｉアプリのソフトの起動指定が貼り付けられているメールを検索します。
- **SMSのみ**…SMSを検索します。
- **エリアメールのみ**※4…エリアメールを検索します。
- **キーワードお知らせ**※4…キーワードお知らせメールを検索します。キーワードごとに検索できます。
- **感情お知らせ**※4…感情お知らせメールを検索します。感情お知らせメールのアイコンごとに検索できます。
- **送信失敗のみ**※5…送信に失敗したメールを検索します。

ソート※3…選択した条件に従ってメールを並び替えます。

検索／ソート解除※3…検索、ソートによる表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。

すべて既読※4…フォルダ内のすべての未読メールを既読メールにします。

色分け…メールに付ける色を「赤、青、指定なし（黒）」から選択します。メール一覧画面で[＊]（1秒以上）を押しても切り替えられます。

自動振分け設定※4…「送信者アドレス振り分け、題名振り分け」から選択します。再振分けをする場合は「YES」を選択します。

「自動振り分けを設定する」→P.176

一覧表示切替…メール一覧画面の表示行数は「2行表示、1行表示、1行＋本文表示、1行＋題名表示」から、表示方法は「題名表示、名前表示、アドレス表示」から選択して切り替えます。

保護／保護解除…メールに保護を設定したり、保護を解除したりします。

- **保護**…受信メールの場合は「1件保護、選択保護、全保護」から選択します。送信メールの場合は選択したメールに保護を設定します。
- **保護解除**…受信メールの場合は「1件保護解除、選択保護解除、全保護解除」から選択します。送信メールの場合は選択したメールの保護を解除します。
- **全保護解除**※5…保護を設定しているメールをすべて保護解除します。

フォルダ移動※3…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、メールをほかのフォルダに移動します。

データ交換／管理…ｉC、赤外線、microSD、Bluetooth、ドコモUIMカード（FOMAカード）などでデータ交換をします。

- **ｉC送信**…P.380
- **赤外線送信**…P.379
- **Bluetooth送信**…P.381
- **microSDへコピー**…P.367
- **お預かりセンターに保存**※3…P.146
- **FOMAカード操作**※3…「メール画面からSMSの移動またはコピー」→P.375

メール情報※1…送信元などの情報を表示します。

受信／拒否設定※1…送信元アドレス（電話番号）を指定して「受信／拒否設定」を登録します。

迷惑メール報告※1…選択したメールを迷惑メールとしてｉモードセンターに報告します。

削除…「1件削除、選択削除※3、全削除※3」から選択します。

受信メールでは「既読削除※4、SMS送達通知全削除※4」を選択して、既読メールやSMS送達通知のみを一括削除することもできます。

※1 受信メール一覧画面または、送受信BOXメール一覧画面で受信メールを反転しているときに利用できます。

※2 送信メール一覧画面または、送受信BOXメール一覧画面で送信メールを反転しているときに利用できます。
※3 送受信BOXメール一覧画面では利用できません。
※4 受信メール一覧画面でのみ利用できます。
※5 送信メール一覧画面でのみ利用できます。

サブメニュー

❖未読メール一覧画面（P.164）

返信／転送…P.166、167
一覧表示切替…メール一覧画面の表示行数は「2行表示、1行表示、1行+本文表示、1行+題名表示」から、表示方法は「題名表示、名前表示、アドレス表示」から選択して切り替えます。
保護／保護解除…未読メールに保護を設定、または解除します。
1件削除…未読メールを1件削除します。

おしらせ

◆2in1のモードが B モードの場合は、送受信BOXフォルダ一覧画面を表示できません。
◆2in1のモードがデュアルモードの場合、送受信BOXにはBアドレス宛てのメールは表示されません。

<検索>
◆検索は合計3回まで重ねて検索できます。
◆題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<ソート>
◆メール一覧画面を終了するとソートは解除されます。

<すべて既読>
◆検索機能でメールを表示させたあとに「すべて既読」を選択すると、表示されているメールのみ既読メールになります。

<保護／保護解除>
◆2in1の設定により表示されていないメール、シークレットのモードにより表示されていないメールは、「全保護」や「全保護解除」を選択しても設定の対象となりません。
エリアメールは、「全保護」を選択しても設定の対象となりません。

<受信／拒否設定>
◆「拒否設定」を設定したあとに「受信設定」を設定しても、設定したメールアドレスからｉモードメールを受信することはできません。設定解除はｉモードメニューの「ｉMenu・検索」の「お客様サポート」から行ってください。
◆詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

サブメニュー

❖メール詳細画面（P.171）

●microSDカードに保存されているときは「返信／転送」、「再編集」、「再送信」、「本体へコピー」、「添付ファイル保存」、「表示設定」が利用可能です。

返信／転送※1…P.166、167
再編集※2…送信済みメールの宛先や題名、本文を編集します。📷［送信］を押すと、メールを送信できます。
再送信※2…送信済みのメールを再送信します。
メモ作成…表示中のメールを元に、メモが作成できます。P.413
メモ検索※1※4…メール送信元アドレスに関連するメモを検索することができます。
保存…メールに含まれるデータを保存します。
- **添付ファイル保存**…P.168
- **挿入画像保存**…メール本文中にあるデコメ®ピクチャを保存します。20個まで保存できます。デコメ®ピクチャのよみがなを登録できます。→P.332
  - ・選択保存※1…選択したデコメ®ピクチャを保存します。
  - ・全保存※1…メール本文中のデコメ®ピクチャをすべて保存します。

  続けて保存先のフォルダを選択します。
- **デコメール保存**…デコメール®をデコメール®テンプレートとして保存します。→P.159
- **デコメ絵文字保存**※1…メール本文中にあるデコメ絵文字®を保存します。20個まで保存できます。デコメ絵文字®のよみがなを登録できます。→P.332
  - ・選択保存…選択したデコメ絵文字®を保存します。
  - ・全保存…メール本文中のデコメ絵文字®をすべて保存します。

コピー…メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。コピーした文字は本文入力画面に貼り付けることができます。→P.436
アドレス／番号登録…P.168
デスクトップ貼付…P.124
クイック検索…P.201
保護／保護解除…メールの保護、保護解除を設定します。
フォルダ移動※3…移動先のフォルダを選択し、メールを移動します。
データ交換／管理…iC、赤外線、microSD、Bluetooth、ドコモUIMカード（FOMAカード）でデータ交換をします。
- **ｉC送信**…P.380

- **赤外線送信**…P.379
- **Bluetooth送信**…P.381
- **microSDへコピー**…P.367
- **FOMAカード操作**※3…「メール画面からSMSの移動またはコピー」→P.375

メール読み上げ※1…P.169

プロパティ…画像を選択し、デコメール®の本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。

SMS送達通知表示※2…SMS送達通知のみ表示します。

表示設定…メールを表示したときの動作を設定します。

- **スクロール設定**…画面のスクロール行数を「1行スクロール、3行スクロール、5行スクロール」から選択します。
- **文字サイズ設定**…表示される文字サイズを「最小、超小、極小、小、中、大、特大」から選択します。→P.123

受信／拒否設定※1…送信・同報アドレス（電話番号）を指定して「受信／拒否設定」を登録します。また、メールの本文中のメールアドレス（電話番号）を反転して、「受信／拒否設定」を登録することもできます。

迷惑メール報告※1…選択したメールを迷惑メールとしてｉモードセンターに報告します。

添付ファイル削除…メールに添付されているファイルを削除します。「1件削除、全削除」から選択します。

削除…メールを1件削除します。

※1 受信メール詳細画面でのみ利用できます。
※2 送信メール詳細画面でのみ利用できます。
※3 送受信BOXメール詳細画面では利用できません。
※4 ｉコンシェル未契約のときは利用できません。

おしらせ

<受信／拒否設定>
◆「拒否設定」を設定したあとに「受信設定」を設定しても、設定したメールアドレスからｉモードメールを受信することはできません。設定解除はｉモードメニューの「ｉMenu・検索」の「お客様サポート」から行ってください。
◆詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

<添付ファイル削除>
◆メール本文に貼り付けられたデータや取得不可ファイル（ ）は削除できません。

メール送受信履歴

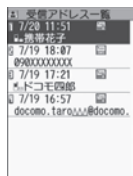
メールを送信または受信すると、送信アドレス一覧や受信アドレス一覧にアドレスが記録されます。アドレス一覧からメールアドレスを選択してメールを送信することができます。

- 送信アドレス一覧、受信アドレス一覧は、ｉモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記録されます（2in1利用時はモードにかかわらず、受信アドレス・送信アドレスがそれぞれAアドレス（Aナンバー）で30件まで、Bアドレス（Bナンバー）で30件まで記憶されます）。
- 受信BOX、送信BOXにBOXロックを設定していると、メールアドレスはアドレス一覧に記録されません。

アドレス一覧の確認

<例：受信アドレス画面を表示する場合>

1 待受画面表示中▶ （1秒以上）

受信アドレス画面（一覧）が表示されます。

受信アドレス画面（一覧）（サブメニュー→P.181）

■ **送信アドレス画面（一覧）を表示する場合**
▶ （1秒以上）

■ **アドレス画面（一覧・詳細）の表示アイコン**

・／・：ｉモードメール送受信成功／送信失敗

・／・：SMS送受信成功／送信失敗

B：2in1のBアドレスで送受信したメール／Bナンバーで受信したSMS（2in1のモードがデュアルモードのみ表示）

UTC：「自動時刻時差補正」（P.65）の設定にかかわらず、タイムゾーンが「UTC +9」以外のときの送受信（サマータイムが設定されている場合は、サマータイムの設定を反映して表示）

2 送信元を選択

受信アドレス画面（詳細）が表示されます。

受信アドレス画面（詳細）（サブメニュー→P.181）

3 内容を確認

おしらせ

◆電源を切ったり、送受信メールを削除してもアドレス一覧は削除されません。ほかの人に見られたくないときは、アドレス一覧を削除してください。
◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しているメールアドレスで送受信した履歴のみが30件まで表示されます。

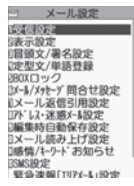
サブメニュー

❖アドレス画面（一覧・詳細）（P.180）

電話帳登録…P.94
電話帳参照…メールアドレスが登録されている電話帳の詳細画面を表示します。
デスクトップ貼付…P.124
メール作成※1…メールアドレスを宛先に貼り付けたｉモードメールを作成します。
電話発信…メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号にPhone To、AV Phone To機能で音声電話、テレビ電話を発信します。
→P.213
着信履歴表示※2、**リダイヤル表示**※3、**発信履歴表示**※3…P.75
拡大表示⇔標準表示※4…文字サイズの「拡大、標準」を切り替えます。
削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 SMSを選択したときは「SMS作成」になります。電話番号を宛先に貼り付けたSMSを作成します。「SMSの作成／送信」→P.186
※2 受信アドレス画面（一覧・詳細）でのみ利用できる機能です。
※3 送信アドレス画面（一覧・詳細）でのみ利用できる機能です。
※4 アドレス画面（一覧）でのみ利用できる機能です。

メール設定

1 ✉▶「メール設定」

メール設定画面

2 以下の項目から選択

受信設定…メール、メッセージR／Fを受信したときの動作を設定します。
- **メール選択受信設定**※…メールを選択受信するか（ON）自動受信するか（OFF）を設定します。
  メール選択受信について→P.165
- **添付ファイル優先受信設定**※…メールを受信したときに、同時に受信する添付ファイルの種類を「イメージ、ｉモーション、メロディ、PDF、トルカ、ツールデータ（電話帳、スケジュール、メモ、Bookmark）、その他」から選択します。
  受信しないように設定した添付ファイルは、ｉモードセンターに保管されます。
- **添付ファイル自動再生設定**…受信したｉモードメールやメッセージR／Fを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを「自動再生する、自動再生しない」から選択します。
- **メール着信音**…P.106

表示設定…メール、メッセージR／Fを表示したときの動作を設定します。
- **メモ検索ボタン表示設定**…受信メール詳細画面に表示されるメモ検索ボタンを表示するか（ON）表示しないか（OFF）を設定します。
- **受信時動作設定**…FOMA端末の操作中にメール、メッセージR／F、ｉコンシェルのインフォメーション（P.225）を受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。
  ・通知優先…受信中画面および受信結果画面を表示します。

・操作優先…受信中画面および受信結果画面を表示せず、操作中の画面の表示を優先します。

- **メッセージ自動表示設定**…メッセージR／Fの自動表示のしかたを設定します。
- **スクロール設定**…メール詳細画面やメッセージR／Fの詳細画面で[キー]を押したときに画面を何行分送る（スクロールする）かを「1行スクロール、3行スクロール、5行スクロール」から選択します。
- **文字サイズ設定**…メール一覧画面・詳細画面、メッセージR／F一覧画面・詳細画面で表示される文字サイズを「最小、超小、極小、小、中、大、特大」から選択します。→P.123
- **メール一覧表示設定**…メール一覧画面の表示行数と表示内容を設定します。表示行数は「2行表示、1行表示、1行+本文表示、1行+題名表示」から、表示方法は「題名表示、名前表示、アドレス表示」から選択します。
- **メッセージ一覧表示設定**…メッセージ一覧画面の表示行数を設定します。
- **メール本文表示設定**…メール本文を表示するときの表示開始位置を設定します。

・通常表示…メールの先頭（受信日時、送信日時）から表示します。

・本文から表示…メールの本文から表示します。

冒頭文／署名設定…P.183

定型文／単語登録…P.436

BOXロック…P.141

メール／メッセージ問合せ設定…P.183

メール返信引用設定…P.167

アドレス・迷惑メール設定…アドレス・迷惑メール設定サイトに接続し、アドレスを指定して受信／受信拒否を設定します。

編集時自動保存設定…メール作成中に[キー]を2回押してメール作成を中止した場合に、保存BOXに自動保存するかしないか（ON／OFF）を設定します。

メール読み上げ設定…読み上げ時の音声や受信時の読み上げ可否について設定します。

- **読み上げ音声設定**…メールを読み上げるときの声の種類を設定します。
- **受信時読み上げ設定**…メール受信時の読み上げの有効、無効を設定します。

感情／キーワードお知らせ…P.183

SMS設定…SMSの送達通知、有効期間、入力方法を設定します。

- **送達通知設定**…SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。→P.187
- **有効期間設定**…送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を「0日、1日、2日、3日」から選択します。「0日」を設定すると、SMSセンターに保管されません。
- **本文入力設定**…SMSの本文の入力方法を設定します。日本語入力は、全角、半角問わず、すべての文字を70文字まで入力できます。半角英数入力は、半角の英数文字を160文字まで入力できます。
- **センター設定**…P.188

緊急速報「エリアメール」設定…P.186

メール設定確認…「メール設定」で設定した内容を確認します。

メール設定リセット…「メール設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※ メールのみの設定で、メッセージの受信には反映されません。

おしらせ

<受信時動作設定>

◆音声電話の着信中や発信中、音声通話中、またｉアプリやカメラなどの機能を利用しているときは、「通知優先」に設定していても、メール、メッセージR／Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面が表示されない場合があります。

◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、設定していないモードのアドレス宛てにのみメール受信した場合は、「通知優先」に設定していても受信中画面は表示されますが、受信結果画面は表示されません。

◆通常モード時にシークレットデータに設定された相手からのメールを受信、またシークレット専用モード時にシークレットデータ以外の相手からのメールを受信した場合は、「通知優先」に設定していても受信中画面は表示されますが、受信結果画面は表示されません。

<メール選択受信設定>

◆本設定は、ｉモードメールのみ適用されます。SMS、メッセージR／Fは、この設定にかかわらず自動受信します。

<添付ファイル優先受信設定>

◆ファイルの内容を確認するには、あとから手動で取得する必要があります。→P.168

◆「その他」のチェックを外した場合、ドキュメント、ムービーも受信しません。

<SMS設定>

◆有効期間設定、センター設定はドコモUIMカードに記憶されます。

冒頭文／署名の編集

冒頭文や署名をあらかじめ登録しておくと、自動でｉモードメール本文に貼り付けることができます。
●2in1がOFFまたはAモードの場合はAアドレスで、Bモードの場合はBアドレスで、デュアルモードの場合はAアドレスまたはBアドレスで冒頭文、署名を設定できます。

1 メール設定画面（P.181）▶「冒頭文／署名設定」

2 「冒頭文編集」または「署名編集」▶■［編集］

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合
▶「Aアドレス」または「Bアドレス」

3 冒頭文、署名を入力▶📷［完了］

冒頭文または署名を装飾することができます。→P.155

■ 冒頭文、署名の自動貼り付け設定を行う場合
▶「自動貼付設定」▶「冒頭文自動貼付」または「署名自動貼付」のチェックボックスを選択▶📷［完了］
自動貼り付けしない場合はチェックボックスのチェックを外します。

おしらせ

◆「自動貼付」のチェックボックスを選択しても、テンプレート、メール連動型ｉアプリからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。
◆「自動貼付」のチェックボックスを選択している場合、2in1がOFFまたはAモードの場合はAアドレス、Bモードの場合はBアドレスの冒頭分、署名を自動で貼り付けることができます。デュアルモードの場合は、電話帳または送信アドレス一覧、受信アドレス一覧からメールを作成した時にAアドレスまたはBアドレスに対応した冒頭文、署名が貼り付けられます。

ｉモードセンターへ問い合わせをする内容の設定

「メール／メッセージ問合せ」の問い合わせ内容を「メール」（ｉモードメール）「メッセージR」「メッセージF」それぞれについて設定します。

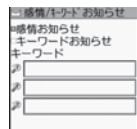
1 メール設定画面（P.181）▶「メール／メッセージ問合せ設定」

2 🔘で□（チェックボックス）を選択▶📷［完了］

「□」（チェックを外した状態）に設定すると、その項目は問い合わせません。

感情お知らせメールの通知方法設定

メールを受信したときに感情お知らせメールのアイコンを表示するかどうかを設定します。キーワードを設定して「🔑」などのアイコンを表示させることもできます。
●「感情お知らせメールについて」→P.164

1 メール設定画面（P.181）▶「感情／キーワードお知らせ」

感情／キーワードお知らせ画面

■「感情お知らせ」を利用する場合
▶「感情お知らせ」の□（チェックボックス）を選択
「☑」にすると、メール受信時に感情お知らせメールのアイコンが表示されます。

■「キーワードお知らせ」を利用する場合
▶「キーワードお知らせ」の□（チェックボックス）を選択▶キーワードを1つ以上入力
「☑」にすると、「キーワード」に対応するキーワードお知らせのアイコン（①、②、③）が表示されます。

■ キーワードを削除する場合
▶MENU［サブメニュー］▶削除方法を選択

2 📷［完了］

おしらせ

◆キーワードを変更または削除した場合は、メール一覧画面などでそのキーワードに対応して表示されていたキーワードお知らせアイコンの表示も削除されます。

メッセージを受信したとき

メッセージサービスは、ニュース速報やお得な情報などの情報をｉモードで自動的にお届けするサービスです。

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR／Fがｉモードセンターから自動的に送られてきます。
→P.163

- メッセージR／Fは、FOMA端末にそれぞれ最大100件保存できます（データ量によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。
- ｉモードセンターに保管されているメッセージを受信するには、「メール／メッセージ問合せ」を行ってください。→P.166

おしらせ

◆FOMA端末に保存したメッセージが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、メッセージを受信したとき、既読の古いメッセージから順に削除されます（未読または保護されているメッセージは削除されません）。

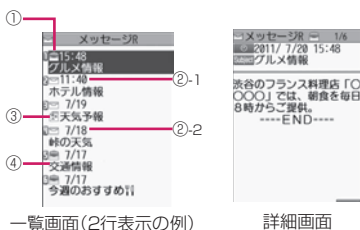
◆FOMA端末がこれ以上メッセージを受信できない（未読または保護されているメッセージでいっぱい）場合、R（赤色）／F（赤色）が表示されます（RF（赤色）、RF（R：赤色）、RF（F：赤色）のように2種類の状態を同時に表示する場合もあります）。未読のメッセージを読むか、いらないメッセージの保護を解除してください。

◆ｉモードセンターにメッセージが保管されていると、R／Fが表示されます。また、ｉモードセンターに保管されているメッセージがいっぱいのときは、R（赤色）／F（赤色）が表示されます。

◆待受画面以外を表示中、ｉアプリ起動中、公共モード（ドライブモード）設定中、ダイヤルロック設定中、「メール」または「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロックを設定中は、メッセージR／Fを受信しても自動表示しません。

メッセージR／F画面の見かた

一覧画面（2行表示の例）

詳細画面

① メッセージの状態

アイコン	説明
（未読アイコン）	未読メッセージ
（既読アイコン）	既読メッセージ
（保護アイコン）	保護されている既読メッセージ

：保護されているとき

② 受信した時刻や日付
　②-1 当日受信したメッセージは時刻表示
　②-2 前日までに受信したメッセージは日付表示

③ 添付ファイル情報
　<一覧画面>

アイコン	説明
（メロディアイコン）	メロディ添付または貼付メッセージ
（画像アイコン）	画像添付または挿入メッセージ
（トルカアイコン）	トルカ添付メッセージ
（複数データアイコン）	複数データ添付または貼付メッセージ

：一部のデータが正しくないもの
：データが正しくないもの

<詳細画面>

アイコン	説明
（メロディアイコン）	貼付メロディ

：データが正しくないもの

④ 題名

おしらせ

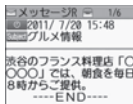
◆メッセージR／F一覧画面で、選択したメッセージR／Fの日時、題名の表示が収まらない場合はテロップ表示されます。

メッセージBOXのメッセージの表示

- ｉモードセンターからFOMA端末にメッセージR／Fが届くと画面の上部に「R」や「F」が表示されます。

1 ✉▶「受信BOX」▶「メッセージR」または「メッセージF」

メッセージ一覧画面（サブメニュー→P.185）

2 メッセージを選択

メッセージ詳細画面（サブメニュー→P.185）
メッセージ詳細画面で前または次のメッセージを表示させるときは[←→]を押します。
メッセージ詳細画面で[CLR]を押すと、メッセージ一覧画面に戻ります。

サブメニュー

❖メッセージ一覧画面（P.184）

全表示…ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。
ソート…選択した条件に従ってメッセージを並び替えます。
フィルタ…選択した条件に一致するメッセージのみを表示します。
保護／保護解除…メッセージの保護、保護解除を設定します。
保護全解除…保護されているメッセージをすべて解除します。
保存件数確認…メッセージの保存件数を表示します。
削除…「1件削除、選択削除、既読削除、全削除」から選択します。
・「既読削除」を選択すると、既読メッセージのみを一括削除できます。

おしらせ

<ソート><フィルタ>
◆ソートとフィルタを併用することができます。たとえば未読メッセージだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択したあと、フィルタメニューの「未読のみ」を選択します。
◆メッセージR／F一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。

サブメニュー

❖メッセージ詳細画面（P.185）

保護／保護解除…メッセージR／Fを保護、保護解除します。
クイック検索…P.201
アドレス／番号登録…P.168
データ保存、挿入画像保存、背景画像保存…画面表示に従ってフォルダや項目を選択し、メッセージR／Fに添付されているデータ／画像を保存します。
文字サイズ設定…メール一覧画面・詳細画面、メッセージR／F一覧画面・詳細画面で表示される文字サイズを「最小、超小、極小、小、中、大、特大」から選択します。→P.123
削除…メッセージを1件削除します。

おしらせ

<データ保存>
◆保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

<文字サイズ設定>
◆本機能の設定を変更した場合は、「メール設定」（P.181）の「文字サイズ設定」も変更されます。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急情報などを受信することができるサービスです。
●ｉモードを契約しなくても、エリアメールは受信できます。
●下記のような場合は、受信設定にかかわらずエリアメールの受信はできません。
・電源OFF時
・「圏外」時
・音声電話中
・テレビ電話中
・国際ローミング中
・おまかせロック中
・セルフモード設定中
・赤外線／ｉC通信／Bluetooth 通信中
・通信モードをWi-Fiシングルモードに設定中
・メモリリフレッシュの実行中
●下記のような場合は受信できないことがあります。
・ｉモード通信中
・データ通信中
・USB通信中
・ソフトウェア更新中
・パターンデータ更新中

緊急速報「エリアメール」受信

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にエリアメールが送られてきます。
●エリアメールを受信すると画面の上部に「[アイコン]」が表示されます。
●バイブレータは着信音、ブザー音に連動して振動します。ただし、着信音の場合は、「バイブレータ設定」の「メール」が「OFF」に設定されていると振動しません。
●「マナー／公共モード時設定」を「各モードに従う」に設定している場合は、以下の動作となります。
・マナーモード設定中のブザー音と着信音の鳴動は、「マナーモード設定」の設定に従います。た

だし、「オリジナルマナー」を設定している場合、着信音はメール着信音量の設定に従い、ブザー音は以下の項目のいずれかが「消去」または「OFF」以外に設定されていると鳴動します。
  - 伝言メモ
  - 電話着信音量
  - メール着信音量
  - アラーム音量
  - ｉアプリ音量
  - メモ確認音
  - ボタン確認音
  - 低電圧アラーム
- マナーモード設定中のバイブレータの振動は、着信音の場合は「マナーモード設定」の設定に従います。また、ブザー音の場合は「マナーモード設定」の設定にかかわらず、常に振動します。
- 公共モード設定中のブザー音と着信音の鳴動、バイブレータの振動、着信イルミネーションの点滅はありません。

●受信したエリアメールは、メールに保存されます。
●エリアメールは、FOMA端末に最大100件保存できます。

おしらせ

◆エリアメールの保存領域がいっぱいになると、エリアメールを受信したとき、既読の古いエリアメール、未読の古いエリアメールの順に削除されます。

● 緊急地震速報のエリアメールを受信した場合

エリアメールを受信すると内容通知画面が表示され、ブザー音とバイブレータの振動でお知らせします。■、CLR、⌐のいずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。

●ブザー音の音量は調整できません（レベル6固定）。ただし、ブザー音の鳴動時間は、「緊急速報「エリアメール」設定」の「ブザー鳴動時間」で設定できます。

● 緊急地震速報以外のエリアメールを受信した場合

エリアメールを受信すると「エリアメールを受信しました」の画面または内容通知画面が表示され、エリアメール用の着信音でお知らせします（どちらの画面が表示されるかは配信者が決定します）。
「エリアメールを受信しました」の画面は一定時間何も操作しないか、いずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。内容通知画面は■、CLR、⌐のいずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。

●着信音の音量は、「着信音量」の「メール」で設定した音量になります。

おしらせ

◆下記のような場合などにエリアメールを受信したときは、内容通知画面または「エリアメールを受信しました」の画面が表示されない場合があります。
- 公共（ドライブ）モード中
- ストリーミング再生中
- microSDカードアクセス中

緊急速報「エリアメール」設定

エリアメール受信に関する設定を行います。

1 メール設定画面（P.181）▶「緊急速報「エリアメール」設定」▶以下の項目から選択

受信設定…エリアメールを受信するかどうかを設定します。

ブザー鳴動時間…ブザーの鳴動時間を01～30秒の間で設定します。

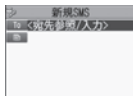
マナー／公共モード時設定…マナーモード／公共モード設定中にエリアメールを受信した場合、鳴動するかどうかを設定します。「マナー／公共モード時でも鳴動」ではマナーモード／公共モード設定中でもエリアメール受信時に鳴動し、「各モードに従う」ではマナーモード／公共モードの設定に従った鳴動を行います。

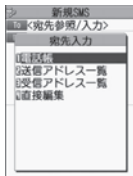
着信音確認…緊急地震速報と災害・避難情報のエリアメール受信時の着信音を鳴らします。
バイブレータと着信イルミネーションの動作も確認できます。

その他…受信するエリアメールのIDを登録します。
- **受信登録**…緊急情報以外に受信したい情報の「エリアメール名称」（任意の名称を入力）と「Message ID」（サービス提供者から発行されるメッセージIDを入力）を登録します。受信登録画面で「<未登録>」を選択後、端末暗証番号を入力して登録します。なお、緊急情報は受信登録に関係なく受信されます。

SMSの作成／送信

●SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。
●ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1 ✉▶「新規SMS作成」

新規SMS画面（サブメニュー→P.187）

2 「To ＜宛先参照／入力＞」▶宛先を入力

宛先の入力方法を選択し、宛先を入力します。電話帳やアドレス一覧から参照する方法、直接入力する方法について→P.152

■ 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合

▶＋（0（1秒以上））、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力

携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。

また、「010」、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。

3 「📄」▶本文を入力

入力できる文字の種類と文字数は「SMS本文入力設定」の設定に従います。

スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

4 📷［送信］

メール送信中のアニメーション画面が表示され、SMSが送信されます。

おしらせ

◆以下の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。
- 宛先に数字、「⁎」「#」以外の文字が含まれているとき
- 宛先の先頭以外に「+」が含まれているとき
- 宛先にスペースが含まれているとき

◆電波状況や送信する文字の種類、相手側の端末によっては文字が正しく表示されない場合があります。

◆発信者番号通知を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。

◆改行は「日本語入力」の場合は2文字、「半角英数入力」の場合は1文字としてカウントされます。

◆マルチナンバーの付加番号からはSMSの送信ができません。通常発信者番号を基本契約番号に設定してください。

◆2in1のモードがBモードの場合は、SMSを作成・送信できません。

◆SMSを分割（連結SMS）して送信することはできません。

サブメニュー

❖新規SMS画面（P.187）

送信…作成したSMSを送信します。

送信プレビュー…送信する前にSMSの宛先や内容を確認します。

保存…P.188

SMS送達通知設定※…SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかしないかを設定します。

SMS有効期間設定※…送信したSMSが圏外などで届かなかった場合に、SMSセンターに保管する期間を「0日、1日、2日、3日」から選択します。「0日」を選択すると一定時間後、再送したあとにSMSセンターから削除します。

SMS本文入力設定※…SMSの本文の入力方法を「日本語入力（全角半角問わず70文字）、半角英数入力（160文字）」から選択します。

SMS削除…作成中のSMS を削除します。宛先、本文すべてが削除され、SMS作成を終了します。

※ 作成中のSMS1件に限り有効です。すべてのSMSに設定を保持させたい場合は、「メール設定」（P.181）で設定してください。

● SMS送達通知について

SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたこと（送達された日時）をお知らせするメールです。SMS送達通知は受信BOX、または送信したSMSの送信メール詳細画面のサブメニュー「SMS送達通知表示」で確認できます。SMS送達通知は題名に「SMS送達通知」と表示されます。

SMSがあるかを問い合わせる

FOMA端末が受信できなかったSMSは、SMSセンターに保管されます。SMSセンターに問い合わせると、保管されているSMSを受信することができます。

●SMSセンターに保管されるのは、以下の場合です。
- FOMA端末の電源が入っていないとき
- 「圏外」のとき
- 受信BOXが満杯のとき
- セルフモード設定中

1 ✉▶「SMS問合せ」

問い合わせ中は、「SMS問い合わせ中…」と表示されます。問い合わせが終わったら■［選択］を押してください。センターにSMSが保管されていれば、自動受信がはじまります。
問い合わせを行ったあと、自動受信がすぐにははじまらない場合があります。

SMSの保存

SMSを保存します。

- ｉモードメールとあわせて最大200件保存できます。
- 保存メールがいっぱいのときは、SMSを作成することができません。

1 新規SMS画面（P.187）▶MENU［サブメニュー］▶「保存」

編集されていないSMSは保存できません。

SMS受信

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。

- SMS受信時の動作はｉモードメールを受信したときと同じです。また、最大保存件数や、受信メールの保存領域がいっぱいになったときの動作も同じです。→P.163
- 受信メール一覧画面のSMSの題名には本文の先頭が表示されます。
- 海外から送られてきたSMSにはUTCが表示される場合があります。

おしらせ

◆mova端末などからショートメールを受信した場合は、送信元の電話番号が表示されます。ただし、発信者番号が通知されないときは、通知されない理由が表示されます。
◆受信したSMSに区点コード一覧表にない全角文字が含まれている場合は「･」で表示されます。区点コード一覧表は、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」をご覧ください。
◆表示したSMSの送信元を反転表示した状態で■［選択］を押すと、音声電話やテレビ電話の発信、SMSの作成ができます（Phone To／AV Phone To、Mail To機能）。→P.213
◆連結SMSを受信した場合、連結せずに1件ずつ表示します。

受信したSMSに返信／転送

SMSの送信元に返信／転送します。

- SMSの送信元への転送／返信については、「ｉモードメール返信」（P.166）や「ｉモードメール転送」（P.167）を参照してください。
- 題名の入力はできません。

おしらせ

◆送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
◆ドコモUIMカード内のSMSを返信／転送しても、受信メール一覧画面、受信メール詳細画面で「」／「」のアイコンは表示されず「」のアイコンの表示のままとなります。
◆2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bナンバー宛てのSMSに返信できません。

SMS設定

- SMSセンター以外のSMS設定については、メール設定画面の「SMS設定」（P.182）を参照してください。

SMSセンター設定

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。

1 メール設定画面（P.181）▶「SMS設定」▶「センター設定」▶以下の項目から選択

ドコモ…ドコモのSMSセンターを利用します。
ユーザ設定…SMSセンターのアドレスを入力後、「International、Unknown」を選択して、他社のSMSセンターを利用します。
リセット…「ユーザ設定」の内容を削除し、「ドコモ」に設定します。

おしらせ

◆SMSセンターの設定はドコモUIMカードに記憶されます。
◆入力したSMSセンターのアドレスに「#」や「*」が含まれている場合は、「International」を選択することはできません。

ドコモUIMカード(FOMAカード)へのSMS保存

- ドコモUIMカードの操作については、「ドコモUIMカードで電話帳やSMSを管理」(P.375)を参照してください。

ｉモード／フルブラウザ

ｉモード……………… 192
フルブラウザ……………… 194
サイトやインターネットホームページの見かたと操作……………… 197
キーワード検索……………… 201
URL入力……………… 202
Bookmark……………… 203
ワンタッチマルチウィンドウ……………… 204
画面メモ……………… 205
■サイトやインターネットホームページからのダウンロード
有料コンテンツのダウンロード……………… 207
データのダウンロード……………… 208
Flash機能……………… 211
■サイトやインターネットホームページへのアップロード
データのアップロード……………… 212
■ｉモードの便利な機能
ブラウザの便利な機能……………… 213
■ｉモードブラウザ／フルブラウザの設定
ｉモードブラウザ／フルブラウザ設定……………… 213
Cookie設定……………… 215
Referer設定……………… 216
■証明書の利用
SSL／TLS証明書設定……………… 216
FirstPass設定……………… 216
接続先設定（ISP接続通信）……………… 218

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ●ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ●ｉモードの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ｉモードのご利用にあたって

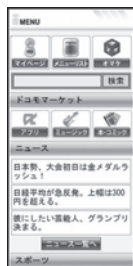
- ・サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイトやインターネットホームページからｉモード対応端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ・別のドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源を入れた場合、サイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示、再生できません。
- ・ドコモUIMカードにより表示、再生が制限されているファイルが待受画面や着信音などに設定されている場合、別のドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げ時の設定内容で動作します。

ｉMenuの表示

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます（別途申し込みが必要な場合があります）。

- ●1ページあたりｉモードブラウザは、サイト内の画像などそれぞれが500Kバイトを超えない限りすべて表示できます。ただし、画像などのいずれかが500Kバイトを超えた場合は通信を中断します。

1 [i]

ｉモードセンターとの通信中は「⇕」が点滅し、ｉモードのサービスを受けているとき（ｉモード中）は「[i]」が点滅します。
「ｉモードボタン設定」（P.194）を「ｉモードメニュー表示」に設定すると[i]でｉモードメニュー画面を表示します。

ｉMenu画面、ｉモードブラウザ画面（サブメニュー→P.195）

■マイメニューに登録したサイトを表示する場合

▶「マイページ」▶「マイメニュー／マイボックス」▶サイトを選択

2 項目やリンク先を選択し、目的のサイトを表示

サイトやインターネットホームページの見かたと操作→P.197
タブについて→P.195
クイック検索について→P.201

■ページの取得を中止する場合

▶[CLR]

3 ｉモードを終了するときは[—]▶「YES」

おしらせ

- ◆ｉモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。
- ◆サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- ◆サイトによっては、サイトの画面の表示色数がFOMA端末の最大表示色数を超えるため、実際のサイトの画面と表示が異なることがあります。
- ◆ｉモード対応のサイトやインターネットホームページによっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。
- ◆サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求されたときは、楽曲情報の送信に関する確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

マイメニューの登録

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- ●マイメニューは最大45件登録できます。
- ●マイメニューに登録できないサイトもあります。
- ●サイトやインターネットホームページに簡単に接続するには、「Bookmark」をご利用ください。

1 iモードで表示したサイト▶「マイメニュー登録」▶「iモードパスワード入力」のボックスを選択▶iモードパスワードを入力▶「登録する」

iモードパスワードについて→P.193

おしらせ

◆iMenu画面のメニューリスト内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。

iモードパスワードの変更

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやメール設定などをするときは、4桁の「iモードパスワード」が必要になります。

- ●ご契約時は、「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。お客様のお好みで、iモードパスワードを変更してください。
- ●iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- ●iモードパスワードを万が一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

1 [i]▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「iモードパスワード変更」

2 「現在のパスワード」のボックスを選択▶現在のiモードパスワードを入力

入力した数字は「＊」で表示されます。

3 「新パスワード」のボックスを選択▶新しく設定するiモードパスワードを入力

4桁の数字で入力してください。

4 「新パスワード確認」のボックスを選択▶新しく設定するiモードパスワードを再度入力

操作3で入力した数字と同じものを入力します。

5 「決定」

「みんなNらんど」について

iMenuの中のサイト「みんなNらんど」から、FOMA端末で利用できるiアプリ、辞書、デコメール®テンプレートなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。お買い上げ時に登録されているiアプリやPDFデータ、デコメ絵文字®などを削除した場合、元に戻したいときは「みんなNらんど」からダウンロードしてください。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

「みんなNらんど」への接続のしかたには以下の3とおりの方法があります。

- •[■]▶「みんなNらんど」
- •[i]▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「みんなNらんど」の順に選択
- •次のQRコードを読み取り、表示されたURLを選択→P.248

携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選択すると、携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号を送信することを示すメッセージが表示されることがあります。

- ●携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号が送信される前には必ず、送信することを示すメッセージが表示されます。自動的に送信されることはありません。

おしらせ

◆送信される「携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IPの提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。

◆送信するお客様の「携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、こ

の操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIPなどに通知されることはありません。

ｉモードボタンのショートカット機能変更

待受画面から[i]を押したときに呼び出す機能を変更します。ｉモードメニュー画面を表示したい場合は「ｉモードメニュー表示」を選択してください。

1 [MENU]▶「ｉモード／web」▶「ｉモード／web設定」▶「共通設定」▶「ｉモードボタン設定」

2「ｉMenu・検索接続」または「ｉモードメニュー表示」を選択

ｉモードブラウザからフルブラウザへの切り替え

ｉモードブラウザで表示できなかったサイトやインターネットホームページをフルブラウザに切り替えて表示します。
パソコン向けに作成されたサイトやインターネットホームページなど、ｉモードブラウザでは正しく表示できない場合、フルブラウザに切り替えて表示することが可能です。
- ｉモードブラウザとフルブラウザは料金体系が異なりますので、切り替えの際にはご注意ください。

1 ｉモードで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶[MENU][サブメニュー]▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ切替」▶「YES」または「YES（以後確認しない）」

おしらせ

◆デュアルモードでFOMAに接続しているｉモードブラウザの表示をフルブラウザに切り替えて表示してもFOMAに接続したままになります。
ｉ モードブラウザからフルブラウザへ切り替えを行うときに、接続しているネットワークを変える場合は、サブメニューの「設定」の「通信設定」から「FOMA ／Wi-Fi接続切替」を選択して接続するネットワークを変更してください。

フルブラウザ

パソコン向けに作成されたサイトやインターネットホームページをフルブラウザの機能を利用して閲覧します。ｉモードでは正しく表示できないサイトやインターネットホームページでも、一部については表示が可能です。
- サイトやインターネットホームページによっては表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。
- FOMA または Wi-Fi を使用してフルブラウザを利用することができます（P.479）。Wi-FiからFOMAのネットワークに切り替えるとパケット通信料がかかります。「接続切替画面設定」（P.67）を「表示しない」に設定した場合、接続先切替確認画面は表示されません。また、FOMAのネットワークに切り替えた場合、自動的にWi-Fiには戻りませんのでご注意ください。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 1ページあたりフルブラウザは、サイト内の画像などそれぞれが1,524Kバイトを超えない限りすべて表示できます。ただし、画像などのいずれかが1,524Kバイトを超えた場合は通信を中断します。

フルブラウザの表示

1 [MENU]▶「ｉモード／web」▶「フルブラウザホーム」

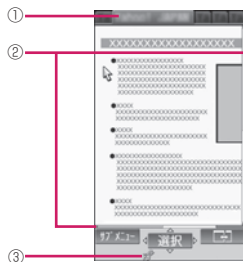
■ **Wi-Fi接続でアクセスポイントを利用する場合**
「アクセスポイントモード」（P.474）または「クライアントモード」（P.479）をご覧ください。

■ **DUALモード時に利用するネットワークを切り替える場合**
ｉモードメニューでは[✉]、サイト表示中や画面メモはサブメニューで切り替えます。

■ **フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示された場合**
お買い上げ時は「フルブラウザ利用設定」（フルブラウザを利用するかどうかの設定）が「利用しない」に設定されています。
「フルブラウザ利用設定」が「利用しない」に設定されている場合は、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。表示される注意事項をよくお読みになり、設定を行ってください。
ここで「利用する」を選択すると、「フルブラウザ利用設定」（P.214）が「利用する」に変更され、設定が保持されます。
Wi-Fi接続の場合は、「フルブラウザ利用設定」を「利用しない」に設定していても、フルブラウザの利用が可能な場合があります。

おしらせ

◆「フルブラウザ利用設定」はドコモUIMカードを挿入していないと設定できません。
◆「フルブラウザ利用設定」を「利用する」に設定していても、別のドコモUIMカードに差し替えた場合は、「利用しない」に変更されます。

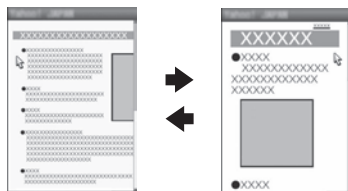
画面の見かた

フルブラウザ画面（サブメニュー→P.195）

① タブ
- 表示しているページのタイトルを表示（タイトルがない場合は、URLを表示）
- 同時に開いているページの数にあわせ、タブも表示

② スクロールバー
表示しているページの現在位置

③ FBまたはFB
フルブラウザでインターネット接続中に表示
（ケータイモード時は「FB」を表示）

レイアウト

フルブラウザ画面には、PCレイアウトモード／ケータイモードの2つの表示方法があります。

PCレイアウトモード　　ケータイモード

■PCレイアウトモード
パソコン上で横1,024×縦768ドットの表示をしたときの大きさと同じようにページを表示します。表示されていない領域は、上下左右にスクロールして閲覧します。

■ケータイモード
FOMA端末の画面幅でページを表示します。上下のスクロール操作だけでページを閲覧できます。

■表示方法の切り替え
サブメニューの「設定」の「表示モード設定」で「PCレイアウトモード」または「ケータイモード」を選択するたびに、PCレイアウトモード／ケータイモードが切り替わります。

フルブラウザ画面の便利なボタン

「ショートカット」（P.214）ではボタンに機能を割り当てることができます。

- ショートカット一覧画面で変更するボタンを選択し、■［編集］を押して機能を選択したあと、📷［完了］を押すとボタンにショートカットが設定されます。
- お買い上げ時の状態に戻すには、i［リセット］を押して「YES」を選び、📷［完了］を押します。
- お買い上げ時に「ショートカット一覧」でボタンのショートカットに割り当てられている機能は次のようになります。

ボタン	説明
1	ズームアウト
2	上ページスクロール
3	ズームイン
4	左ページスクロール
5	PagePilot
6	右ページスクロール
7	前のページへ戻る
8	下ページスクロール
9	次のページへ進む
0	Bookmark一覧
*	左タブに切替
#	右タブに切替

サブメニュー

❖ i モードブラウザ画面（P.192）

❖ フルブラウザ画面（P.195）

Bookmark…P.203
画面メモ…P.205
サイト閲覧履歴…P.201
i Menu・検索※1…P.192
フルブラウザホーム※2…P.214
検索／移動…キーワードを検索したり、表示中のページ内を移動したりします。
　•クイック検索…P.201

- **ページ内検索**…表示中のページの文字を検索します。大文字と小文字を区別して検索できます。続けて検索するには✉［前検索］または🅘［次検索］を押します。
- **ページ先頭に移動**…表示中のページの先頭を表示します。
- **ページ末尾に移動**…表示中のページの末尾を表示します。

ページ内操作…表示中のページにあるコンテンツを操作します。

- **画像保存**…画像や背景画像を保存します。→P.208
- **テキスト範囲選択**…表示中のページの文字をコピーしたり、その場所の地図を表示します。
  ▶✥でコピーする部分の先頭の文字にカーソルをあわせる▶■［選択］（始点を選択）▶✥でコピーする最後の文字まで反転▶■［選択］（終点を選択）▶「テキストコピー」または「地図を見る」
- **電話帳登録**…P.200
- **URLをメールで送信**…ページのURLを本文に貼り付けたｉモードメールを作成します。
- **ドラッグモード**…P.198
- **リトライ**…ページのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。ただし、フルブラウザではFlash画像のリトライはできません。
- **ホーム登録**※2…表示中のページのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

フルブラウザ※1…フルブラウザの表示や切り替えを行います。

- **フルブラウザホーム**…フルブラウザホーム設定に登録したページを表示します。
- **フルブラウザ切替**…ｉモードブラウザで表示できなかったページをフルブラウザに切り替えます。→P.194

ｉモードブラウザ※2…ｉモードブラウザの表示や切り替えを行います。

- **ｉMenu・検索**…P.192
- **ｉモードブラウザ切替**…フルブラウザで表示できなかったページをｉモードブラウザに切り替えます。→P.197

再読み込み…ページを新しい情報に更新します。

タブ操作…タブの操作を行います。

- **新しいタブで開く**…「複数のサイトやインターネットホームページの表示」→P.200
- **タブを閉じる**…表示中のタブを閉じます。
- **タブ切替**…複数のページを表示しているとき、タブを切り替えます。
- **ワンタッチマルチウィンドウ**…P.204

URL入力・情報…URLを入力したり、URLの情報を表示したりします。

- **URL入力**…URLを入力してサイトやインターネットホームページに接続します。
- **URL入力履歴**…P.202
- **URL表示**…ページのURLを表示し、確認します。すべてのURLが表示されない場合は、✥でスクロールさせて確認します。URLをコピーするときは🅘［コピー］を押します。

表示…サイト表示に関する操作を行います。

- **ズームイン**※2…ページを拡大表示します。
- **ズームアウト**※2…ページを縮小表示します。
- **ポインタ位置でズーム**※2…ポインタのある位置を中心にページを拡大表示します。もう一度実行すると元の倍率に戻ります。
- **拡大縮小表示**※2…表示サイズの倍率を「60%、80%、100%、120%、150%、180%、200%、250%、400%」から選択します。
- **PagePilot**…ページ全体と現在の表示位置を示すPage Pilot画面を表示します。→P.198
- **ビジュアル履歴**…接続したサイトやインターネットホームページの履歴を表示します。
- **タブ表示切替**…タブを表示するかしないかを切り替えます。
- **タイトル表示**…ページのタイトルを表示し、確認します。
- **文字サイズ変更**…文字サイズを「小、中、大、特大、超大」から選択します。→P.123
  サイトによっては、文字サイズが変更できない場合があります。
- **文字コード変換**…ページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示しなおします。
- **フレーム全体表示**…フレーム内表示画面からフレーム全体表示画面に戻ります。→P.200
- **証明書表示**…ページがSSL／TLS対応の場合にSSL／TLS証明書の内容（所有者・発行者・有効期限・シリアル番号）を表示します。
- **横画面モード切替⇔横画面モード解除**※2※3…ページを横画面で表示、または解除（縦画面に戻る）します。

設定…ｉモードブラウザ、フルブラウザの設定を行います。

- **セキュリティ設定**…「Cookie設定（P.216）、Referer設定（P.216）、Script動作設定（P.213）、端末情報利用設定※1（P.215）」を設定します。

- **ポインタ設定**※4…ポインタの表示の設定、ポインタの移動距離の設定、ポインタの加速度の設定をします。
- **画像・動画・サウンド**…「画像表示設定(P.213)、サウンド設定(P.213)、動画自動再生設定(P.213)」を設定します。
- **タブ自動起動設定**…P.214
- **通信設定**…「ページ内データ取得(P.213)、自動通信サイズ制限(P.214)、FOMA／Wi-Fi接続切替※5※6」を設定します。
- **自動PagePilot**※4…P.198
- **表示モード設定**※2…「PCレイアウトモード」と「ケータイモード」を切り替えます。
- **ショートカット一覧**※2…P.195

※1 iモードブラウザのときに利用できます。
※2 フルブラウザのときに利用できます。
※3「画面縦横自動切替」(P.122)を「OFF」に設定しているときのみ利用できます。
※4 タッチスタイルでは利用できません。
※5 通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。
※6 iモードブラウザではホームUご契約時に有効です。

おしらせ

<画面メモ保存><画像保存>
◆画像の保存が禁止されているページでは、画像や画面メモ(キャプチャを含む)を保存できないことがあります。

<画像保存>
◆BMP形式やPNG形式の画像の場合、自動的にmicroSDカードの「OTHER」フォルダ内の「OUDXXX」(XXXは数字)フォルダに保存されます。

<テキスト範囲選択>
◆コピーによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーすると前に記憶していた文字は上書きされます。
◆文字のコピーが禁止されているページでは文字がコピーできないことがあります。

<文字コード変換>
◆正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作をすると、元の文字コードで表示されます。
◆変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
◆正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

<証明書表示>
◆証明書が表示されているときは、「スクロール設定」の設定にかかわらず一定の速度でスクロールします。

フルブラウザからiモードブラウザへの切り替え

フルブラウザで表示しているページをiモードブラウザに切り替えて表示します。

1 フルブラウザで表示したページ▶MENU[サブメニュー]▶「iモードブラウザ」▶「iモードブラウザ切替」

おしらせ

◆タブ表示中のページのみ切り替え後にキャッシュに取得済みのページに戻ったり、進んだりすることができます。
◆テキストボックスへの入力中に切り替えると文字情報はクリアされます。

サイトやインターネットホームページの見かたと操作

サイトやインターネットホームページを見るときに使う操作について説明します。

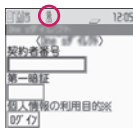
SSL／TLS対応ページの表示

SSL／TLS※対応ページを表示するには、以下の証明書が必要です。

- CA証明書:認証会社が発行した証明書が、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書:FirstPassセンターへ接続するために必要な証明書が、ドコモUIMカード内に保存されています。
- ユーザ証明書:「FirstPassセンターに接続」(P.217)の操作により、FirstPassセンターからダウンロードした証明書が、ドコモUIMカード内に保存されます。
- Wi-Fi CA証明書／Wi-Fiクライアント証明書:Wi-Fiを利用するためにインストールする証明書で、インストール時にFOMA端末内に保存されます。

※ SSL／TLSとは、認証／暗号技術を使用して安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL／TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやり取りできるようにしています。

1 SSL／TLS対応ページを表示

SSL／TLS対応ページの画面が表示され、「[SSL]」が表示されます。

SSL／TLS対応ページの画面

■ 認証中に中止する場合
▶CLR

2 SSL／TLS対応ページから通常のページを表示▶「YES」

SSL／TLS通信が終了し、「🔒」の表示が消えます。

おしらせ

◆SSL／TLS対応ページを表示するときに「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」などのメッセージが表示されることがあります。このようなメッセージは、ページのSSL／TLS証明書が期限切れになっている場合や、サポートしていない場合などに表示されます。「YES」を選択すると、続けてページを表示できますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。

画像の表示

- 本FOMA端末では、GIF形式、JPEG形式、PNG形式、BMP形式の各画像と、Flash画像（P.211）が表示できます。ただし、画像によってはそれらの形式であっても表示できない場合があります。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
- 画像を表示するかしないかを「画像表示設定」で設定できます。

■表示される画像のアイコンについて

🖼：画像を取得中、または「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合に表示

✕：画像を取得できなかった場合に表示

？：取得できない画像の場合に表示

スクロール機能

サイトやインターネットホームページのページで文章や一覧が画面内に収まらずに続きがあるときは、スクロールすることにより続きを見ることができます。

ボタン	説明
✥	押した方向にリンクを移動しながらスクロールします。 押し続けると、その方向に連続してスクロールします。 ▲▼については押し続けると、スクロール速度が加速します。

■ソフトキーでスクロールする場合

ｉモードブラウザ画面やフルブラウザ画面、画面メモで✓を押すと✉、ｉで画面がスクロールします。解除するには✓を押します。

ボタン	説明
✉、ｉ	画面単位で上方向または下方向にスクロールします。

■ポインタでスクロールする場合

「ポインタ表示設定」（P.214）を「表示する」に設定している場合、✥を押してカーソルを移動し、カーソルが画面の端までくると画面がスクロールします。

■Page Pilot機能でスクロールする場合

「自動PagePilot設定」（P.214）を「移動中に表示する」に設定している場合、ポインタ表示中にスクロールするとページ全体のイメージ画面と現在の表示位置を示す枠を表示します。✥で枠を移動することで簡単にページ内を移動します。サブメニューの「表示」の「PagePilot」を選択しても、PagePilot機能を利用できます。

Page Pilot画面

ドラッグモード中の操作

「ポインタ表示設定」（P.214）を「表示する」に設定している場合、サブメニューの「ドラッグモード」を選択してドラッグモードに切り替えると、ドラッグモードに対応したコンテンツを操作できます。

- ドラッグモード中にできる操作はコンテンツによって異なります。
- ポインタをコンテンツ上に置いて■（1秒以上）を押すことで「✋」に切り替え、■を押すことで「✊」に切り替わり（始点）、コンテンツをつかんで移動できるようになります。移動したい位置で■を押すと「✋」の表示に切り替わり（終点）、コンテンツが離れます。
CLRを押すと、元のポインタに戻ります。

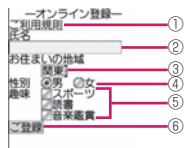
ダブルクリック機能

コンテンツに拡大表示などの特定の動作が割り当てられている場合に、■を素早く2回押すことでその動作を実行できます。ただし、ドラッグモード中は利用できません。

タッチ操作

- ｉモードブラウザではタッチスタイルでサイトやインターネットホームページを表示中に[アイコン]をタッチしてタッチボタンを切り替えることができます。表示された◀ ▲ ▼ ▶と選択などを使うことでタッチスタイルのままコミュニケーションスタイルと同じように操作ができます。
- タッチ操作で画面の拡大／縮小表示を行った場合、ｉモードブラウザでは「文字サイズ」(P.123)の動作となり、フルブラウザでは「拡大縮小表示」(P.214)の動作となります。

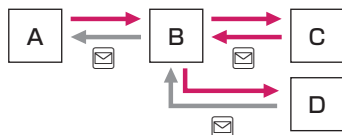
リンク先や項目の選択

サイトやインターネットホームページによっては以下の操作が必要となる場合があります。

① リンク先
項目を選択するとリンク先のページに移動します。
② テキストボックス
文字を直接入力します。選択すると文字入力（編集）画面が表示されます。
③ プルダウンメニュー
選択肢の一覧から項目を選択します。選択肢の一部だけが見えている状態で表示され、選択すると隠れている複数の選択肢が一覧で表示されます。
④ ラジオボタン
選択肢の中から1つだけ選択します。◉が選択された状態です。
⑤ チェックボックス
選択肢の中から複数の項目を選択できます。☑が選択された状態です。
⑥ ボタン
選択すると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。

前のページに戻る／進む

1タブあたり50ページ（ｉチャネルを除く全タブでは最大250ページ）キャッシュに記憶されます。キャッシュに記憶されたページに戻ったり、進んだりできます。

1 前のページに戻るときは✉［戻る］、次のページに進むときはｉ［進む］

■ 画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合

━ ：ページの表示順
━ ：画面「D」から前のページに戻ったとき

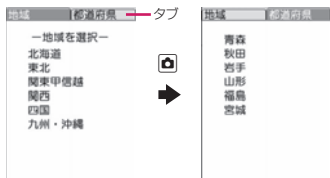
■ ビジュアル履歴から操作する場合
ビジュアル履歴とは、キャッシュとして取得したサイトやインターネットホームページなどのサムネイル表示です。
画面メモのビジュアル履歴には「[アイコン]」が表示されます。
▶MENU［サブメニュー］▶「表示」▶「ビジュアル履歴」▶[アイコン]または[アイコン]
✉［戻る］またはｉ［進む］が表示されている場合、✉（1秒以上）またはｉ（1秒以上）でビジュアル履歴を表示できます。
■［選択］を押すと通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。
※ タブ表示のときは[アイコン]でタブを切り替えることができます。

■キャッシュに記憶されたページを表示する場合

- キャッシュとは、表示したサイトやインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。サイトやインターネットホームページなどを表示中に✉、ｉ、またはサブメニューでページを移動すると、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示するときは、前のページに戻ったり次のページに進んだ場合でも通信を行います。また、ページがキャッシュに記憶されていても、そのページの日付時刻情報が更新されている場合は通信を行って最新情報を表示します。
- ｉモード、フルブラウザを終了すると、キャッシュはクリアされます。
- SSL／TLS対応のページをキャッシュから読み込んだときは、SSL／TLSページを表示するという内容のメッセージが表示されます。

複数のサイトやインターネットホームページの表示

最大5つのサイトやインターネットホームページ、PDFデータを同時に開くことができます（ｉチャネルを含む場合は最大6つ）。

- 複数のページを同時に開くとタブが表示され、[カメラ]またはサブメニューの「タブ操作」の「タブ切替」でページを切り替えられます。
- 通信中のタブには「」、裏で通信完了したタブに「」が表示されます。

● 新しいページを開く

1 ｉモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶リンクを反転▶[カメラ]（1秒以上）

新しいタブにページが表示されます。

新しいページのタブでの開き方について
→P.214

■ サブメニューで新しいタブにページを表示する場合

▶[MENU]［サブメニュー］▶「タブ操作」▶「新しいタブで開く」▶「リンク」

■ 開いているページを閉じる場合

▶[CLR]▶「YES」

● リンク先以外のページを開く

1 ｉモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶[MENU]［サブメニュー］▶「タブ操作」▶「新しいタブで開く」▶以下の項目から選択

リンク…[カメラ]（1秒以上）と同じように、リンク先のページを表示します。

Bookmark一覧…Bookmark登録したページを表示します。

サイト閲覧履歴…サイト閲覧履歴に保存されたページを表示します。

ｉMenu・検索※1…P.192

ｉチャネル※1…P.222

フルブラウザホーム※2…フルブラウザホーム設定に登録したページを表示します。

URL入力…URLを入力してページを表示します。

URL入力履歴…URL入力履歴に保存されたページを表示します。

※1 ｉモードブラウザのときに利用できます。
※2 フルブラウザのときに利用できます。

おしらせ

◆同時に開いたページを並べて表示することはできません。

◆ｉモードブラウザ表示中にフルブラウザのBookmarkやURLを選択すると、ｉモードブラウザで開いているウィンドウをすべて閉じてフルブラウザのウィンドウを開きます。
※ フルブラウザ表示中にｉモードブラウザを表示しても同様です。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録

サイトのページや画面メモなどに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
<例:サイトに表示されている電話番号を登録する場合>

1 ｉモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面で電話番号を反転▶[MENU]［サブメニュー］▶「ページ内操作」▶「電話帳登録」▶「YES」▶電話帳に登録

電話帳の登録のしかた→P.94

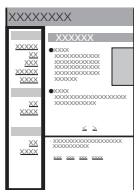
電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されている場合は、電話番号とともに入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

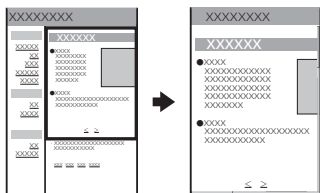
フレーム対応のページを表示する

フレーム※で作成されたページをフレーム単位で表示することができます。
※ 本章での「フレーム」はフレーム撮影のフレームとは異なり、ウィンドウ内を分割して作成されているページのことを指します。

- フレーム対応のページを表示する場合、一部のフレームがSSL／TLS非対応のページである場合、取得確認画面が表示されます。「YES」を選択するとSSL／TLSを示すアイコンが消え、SSL／TLS非対応のページを表示します。
- フレームを選択して、フレーム内表示画面を表示しているときは「」、フレームを選択して表示中

に、別のフレームが通信中のときは「 」を表示します。

1 iモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶フレームで作成されたページを表示

2 でフレームを選んで ［選択］

選択したフレームが表示されます。

フレーム全体表示画面　フレーム内表示画面

■ フレーム全体表示画面に戻る場合

▶CLR

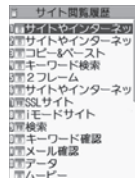
おしらせ

◆フレームでの分割数が多いページの場合、すべてのフレームを表示できないことがあります（文字や画像のないフレームとなります）。

これまでに表示したサイトやインターネットホームページに再接続

これまでに表示したサイトやインターネットホームページが、「サイト閲覧履歴」に30件まで記録されます。「サイト閲覧履歴」を使って、これまでに表示したサイトやインターネットホームページに再接続します。

● iモードで表示したサイトやインターネットホームページには「 」、フルブラウザでは「 」が表示されます。

1 MENU▶「iモード／web」▶「サイト閲覧履歴」

サイト閲覧履歴画面（サブメニュー→P.201）

2 履歴を選択

サブメニュー

❖サイト閲覧履歴画面（P.201）

接続…サイトやインターネットホームページに接続します。

URL表示…P.196

URLをメールで送信…サイト閲覧履歴のURLを本文に貼り付けたiモードメールやデコメール®を作成します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

FOMA／Wi-Fi接続切替※…FOMAとWi-Fiを切り替えます。

※ 通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。

キーワード検索

待受画面のデスクトップアイコンや各種画面のサブメニューからクイック検索を起動し、知りたいキーワードをiモードやGoogleなどの検索サイトまたは辞典などで検索して、さまざまな情報やデータをすばやく表示します。

<例：iモードブラウザまたはフルブラウザでクイック検索を利用する場合>

1 iモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶MENU［サブメニュー］▶「検索／移動」▶「クイック検索」

2 で検索したい項目のタブに切り替える

iモード…iモードから検索します。

フルブラウザ…「Google検索」「Google画像検索」「Googleニュース検索」から選択し、フルブラウザで検索します。※

辞典検索…P.415

地図を見る…P.313
電話帳名前カナ検索…P.97
使いかたガイド…P.57
※「クイック検索接続先設定」で登録した接続先が追加されます。→P.202

クイック検索タブ切替画面（サブメニュー→P.202）

3 キーワードを入力▶[カメラ]［検索］

■ 直接入力する以外の方法でキーワードを入力する場合
▶[i]［入力方法］▶以下の項目から選択

範囲選択…キーワードを範囲選択します。
受信／送信メール詳細画面、スケジュール詳細画面、メモ詳細画面でのみ利用できます。
音声入力…P.440
検索履歴…以前検索した履歴からキーワードを選択します。

サブメニュー

❖クイック検索タブ切替画面（P.202）

デスクトップ貼付…P.124
i Menu・検索…P.192

おしらせ

<辞典検索>
◆クイック検索では日本語のキーワード（全角ひらがな、全角カタカナ、漢字）でのみ検索が可能です。
<範囲選択>
◆文字のコピーが禁止されているページでは文字のコピーができないことがあります。

クイック検索の検索先設定

フルブラウザでクイック検索するときの接続先を設定します。最大6件の検索先が登録できます。

1 [MENU]▶「本体設定」▶「その他設定」▶「クイック検索接続先設定」

2 「未登録」を選択▶「YES」

検索先が登録されているサイトから検索先（URL）をダウンロードします。

■ 登録済みの検索先を削除する場合
▶登録済みの検索先を反転▶[MENU]［サブメニュー ］▶「1件削除」▶「YES」

URL入力

任意のURLを入力してサイトやインターネットホームページを表示します。

1 [MENU]▶「i モード／web」▶「URL入力」▶「URL入力」

2 URLを入力

■ i モードで表示する場合
▶「i モードで接続」

■ フルブラウザで表示する場合（「フルブラウザ確認表示」が「毎回表示」）
▶「フルブラウザで接続」▶「YES」または「YES（以後確認しない）」

■ フルブラウザで表示する場合（「フルブラウザ確認表示」が「表示しない」）
▶「フルブラウザで接続」

URL履歴を使って表示

これまでに入力したURLをURL履歴として10件まで記録します。
● i モードで表示したURLは「[i]」、フルブラウザで表示したURLは「[FB]」が表示されます。

1 [MENU]▶「i モード／web」▶「URL入力」▶「URL入力履歴」

URL入力履歴画面（サブメニュー→P.203）

2 URLを選択

■ i モードで表示する場合
▶「i モードで接続」

■ フルブラウザで表示する場合（「フルブラウザ確認表示」が「毎回表示」）
▶「フルブラウザで接続」▶「YES」または「YES（以後確認しない）」

■ フルブラウザで表示する場合（「フルブラウザ確認表示」が「表示しない」）
▶「フルブラウザで接続」

サブメニュー

❖URL入力履歴画面（P.202）

接続…URLに接続してサイトやインターネットホームページを表示します。

URL表示…P.196

URLをメールで送信…URLを本文に貼り付け、iモードメールを作成します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

FOMA／Wi-Fi接続切替※…FOMAとWi-Fiを切り替えます。

※ 通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。

Bookmark

よく見るサイトやインターネットホームページをすぐに接続できるようにしたいときは、Bookmarkに登録します。

- 登録したBookmarkは、タイトルとURLを変更したり、フォルダごとに分けて管理することができます。
- Bookmarkに登録したサイトのうち、最大5件に一括して接続することができます。→P.204
- 「Bookmark 表示設定」が「サムネイル」のとき、iモードのBookmarkには「i」、フルブラウザのBookmarkには「FB」が表示されます。「リスト」のときには、iモードのBookmarkには「 」、フルブラウザのBookmarkには「FB」が表示されます。
- 最初にサムネイルまたはリストで表示されるかを「Bookmark表示設定」（P.214）で設定することができます。

Bookmark登録

- Bookmarkは、iモードとフルブラウザで最大200件登録できます。
- 登録できるURLの文字数は、iモードが半角256文字、フルブラウザが半角512文字までです。
- サイトやインターネットホームページによっては、Bookmarkに登録できない場合があります。

＜例：サイト表示中の場合＞

1 iモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶MENU［サブメニュー］▶「Bookmark」▶「Bookmark登録」▶「OK」▶フォルダを選択▶「OK」

必要に応じてタイトルを編集して登録できます。

おしらせ

◆Bookmarkのタイトルは、全角12文字、半角24文字まで登録され、超えた部分は削除されます。タイトルがないときはURLが表示されます。

Bookmarkからサイトやインターネットホームページの表示

- Bookmarkは登録したときのブラウザでサイトやインターネットホームページを表示します。

1 MENU▶「iモード／web」▶「Bookmark」▶フォルダを選択▶Bookmarkを選択

■ Bookmarkの一覧画面

Bookmarkフォルダ一覧画面

Bookmark一覧画面

左画面：サブメニュー→P.203
右画面：サブメニュー→P.204

サブメニュー

❖Bookmarkフォルダ一覧画面（P.203）

- お買い上げ時にすでにあるBookmarkフォルダは削除できません。

フォルダ管理…Bookmarkフォルダを管理します。

- **フォルダ追加**…フォルダ名を入力してフォルダを追加します。追加できるフォルダは19

個（お買い上げ時に登録されているフォルダは含みません）です。
- **フォルダ名編集**…追加したフォルダのフォルダ名を編集します。
- **フォルダ並べ替え**…移動先の位置を選択し、フォルダを並び替えます。
- **フォルダセキュリティ**…フォルダにセキュリティを設定します。

赤外線全送信…P.379
iC全送信…P.380
microSDへ全コピー…P.367
Bluetooth全送信…P.381
お預かりセンター接続…P.146
件数確認…すべてのフォルダ内のBookmarkの件数を表示します。
Bookmark表示切替…Bookmarkをサムネイルまたはリストに切り替えて表示します。
デスクトップ貼付…P.124
Bookmark削除…BookmarkのフォルダおよびBookmarkを削除します。
- **フォルダ削除**…追加したフォルダを削除します。削除したくないBookmarkがある場合は、あらかじめ別のフォルダに移動しておきます。
- **Bookmark全削除**…Bookmarkをすべて削除します。ただし、Bookmarkのフォルダは削除されません。

おしらせ

<件数確認>
◆microSDフォルダ内の件数は表示されません。

サブメニュー

❖Bookmark一覧画面（P.203）

接続…登録したときのブラウザでサイトやインターネットホームページに接続します。
編集…BookmarkのタイトルやURLを編集します。
URL表示…ページのURLを表示し、確認します。すべてのURLが表示されない場合は、[十字キー]でスクロールさせて確認します。接続するときは[カメラ]［接続］を押します。URLをコピーするときは[i]［コピー］を押します。
フォルダ移動…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、Bookmarkをほかのフォルダに移動します。
メール作成…Bookmarkを添付したiモードメールを作成します。
赤外線送信…「赤外線送信、赤外線全送信」から選択します。→P.379
iC送信…「送信、全送信」から選択します。→P.380
microSDへコピー…「1件コピー、選択コピー、全コピー」から選択します。→P.367
ワンタッチマルチウィンドウ登録…Bookmarkに登録したサイトやインターネットホームページをワンタッチマルチウィンドウに登録します。→P.204
Bluetooth送信…「送信、全送信」から選択します。→P.381
件数確認…Bookmarkの登録件数を表示します。
Bookmark表示切替…Bookmarkをサムネイルまたはリストに切り替えて表示します。
デスクトップ貼付…P.124
削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。
FOMA／Wi-Fi接続切替※…FOMAとWi-Fiを切り替えます。
※ 通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。

ワンタッチマルチウィンドウ

Bookmarkに登録しているサイトやインターネットホームページをワンタッチマルチウィンドウに登録します。また、登録したサイトやインターネットホームページに一括接続して接続します。
- iモードとフルブラウザで最大20グループ（1グループ最大5件）登録できます。

Bookmarkに登録しているサイトやインターネットホームページの登録

- iモードブラウザのBookmarkとフルブラウザのBookmarkを同じグループに登録することはできません。

[i]：iモードブラウザで登録したグループ
[FB]：フルブラウザで登録したグループ
[?]：未登録のグループ

1 **Bookmark一覧画面（P.203）▶[MENU]［サブメニュー］▶「ワンタッチマルチウィンドウ登録」▶「YES」**

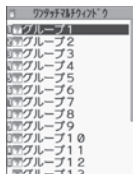
2 **グループを選択▶「<未登録>」**

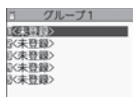
■ 登録済みのサイトやインターネットホームページに上書き登録する場合
▶登録済みのサイトやインターネットホームページを選択▶「YES」

登録したサイトやインターネットホームページに一括接続

●複数のページを開くとタブが表示されます。表示するページを切り替えるときは、📷で切り替えられます。→P.200

● iモードメニューから接続する

1 MENU▶「iモード／web」▶「ワンタッチマルチウィンドウ」▶グループを選択

グループ一覧画面（サブメニュー→P.205）

■ グループ内データを一覧表示する場合
▶📷［詳細］

データ一覧画面（サブメニュー→P.205）

● サイトやインターネットホームページから表示する

1 iモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶MENU［サブメニュー］▶「タブ操作」▶「ワンタッチマルチウィンドウ」▶グループを選択▶「YES」

サブメニュー

❖グループ一覧画面（P.205）

グループ名編集…グループ名を編集します。
デスクトップ貼付…P.124
グループ削除…登録したサイトやインターネットホームページを削除し、グループ名をお買い上げ時の状態に戻します。
グループ全削除…すべてのグループをお買い上げ時の状態に戻します。

サブメニュー

❖データ一覧画面（P.205）

1件削除…サイトやインターネットホームページを1件削除します。
全削除…選択したグループ内のサイトやインターネットホームページをすべて削除します。
並び替え…登録順序を並び替えます。
URL表示…サイトやインターネットホームページのURLを表示します。
タイトル編集…タイトルを編集します。

おしらせ

◆接続するサイトやインターネットホームページを登録する際、操作によってはサブメニューが表示されない場合があります。

画面メモ

乗り換え案内の検索結果など、一度表示したページを画面メモ、キャプチャ（画面に表示されるページをイメージにしたもの）としてFOMA端末やmicroSDカードに保存します。

画面メモの保存

●画面メモ、キャプチャはiモードとフルブラウザで最大250件保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量などにより変動します。
●iモードの画面メモには「i」、フルブラウザの画面メモには「FB」が表示されます。
●1件の最大登録サイズはiモードでは画面メモが500Kバイト、フルブラウザでは画面メモが1,524Kバイトになります。
●ページによっては全体または一部が画面メモに保存できない場合があります。
●サイト側が画面メモ保存不可の指定をしている場合など、画面メモに保存できない場合があります。

1 iモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶MENU［サブメニュー］▶「画面メモ」▶「画面メモ保存」▶保存先を選択

■ 画面メモ、キャプチャを保存する場合
▶「YES」

■ キャプチャのみ保存する場合
▶「表示のみ保存」

2「OK」

おしらせ

◆SSL／TLS対応ページの画面を保存すると、そのページのSSL／TLS証明書も保存されます。
◆同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。
◆サイトやインターネットホームページの画面を画面メモに保存するときにラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスに項目を入力していても、登録した画面メモには入力されていません。
◆Flashを利用したページをmicroSDカードに保存する際、ページ上で変更された内容（ゲームスコアやお客様が更新された記録など）はmicroSDカードには保存できず削除されます。
◆画面メモを microSD カードへ保存・移動する際、ページサイズが取得時より大きくなります。そのため、メモリの空き容量が少ない場合は画面メモをFOMA端末へ戻せないことがあります。
◆microSDカードに画面メモを保存した場合、タイトルが正しく表示されない場合があります。

画面メモの表示

画面メモのリンク先を選択すると画面メモを保存したときのブラウザでサイトやインターネットホームページを表示します。
●画面メモは、サイトに接続せずに表示できます。

1 **[MENU]▶「ｉモード／web」▶「画面メモ」▶「本体」または「microSD」▶画面メモを選択**

画面メモの表示中は[✉]［前へ］または[i]［次へ］を押して、前後の画面メモを表示できます。

■ 画面メモの一覧／詳細画面

画面メモ一覧画面

画面メモ
（画面メモ詳細画面）

左画面：サブメニュー→P.206
右画面：サブメニュー→P.206

おしらせ

◆サイト表示中に画面メモを表示した場合、[CLR]を2回押すと元のサイトに戻ります。
◆画面メモの情報は、保存したときの情報のため、最新の情報とは異なる場合があります。

サブメニュー

❖画面メモ一覧画面（P.206）

表示…保存した画面メモをブラウザで表示します。
タイトル編集…画面メモのタイトルを編集します。
URL表示…ページのURLを表示し、確認します。すべてのURLが表示されない場合は、[✣]でスクロールさせて確認します。接続するときは[📷]［接続］を押します。URLをコピーするときは[i]［コピー］を押します。
保護／保護解除※1…「1件保護／解除、選択保護／解除、全件保護、全件保護解除」から選択します。
件数確認※1…画面メモの保存件数を表示します。
microSDへ移動／本体へ移動…P.368
本体の画面メモをmicroSDカードに移動します。またはmicroSDカードの画面メモを本体に移動します。
microSD参照／本体参照…microSD／本体にある画面メモの一覧を表示します。
削除※2…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。
FOMA／Wi-Fi接続切替※3…FOMAとWi-Fiを切り替えます。
※1 microSD内の画面メモ一覧では表示されません。
※2 画面メモが全件保護されている場合は操作できません。
※3 通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。

おしらせ

<タイトル編集>
◆タイトルは削除できません。

<microSDへ移動>
◆保護した画面メモはmicroSDへ移動できません。

サブメニュー

❖画面メモ詳細画面（P.206）

タイトル編集…画面メモのタイトルを編集します。
保護／保護解除※1…画面メモの保護、保護解除をします。
キャプチャ表示※2**⇔画面メモ表示**※3…画面メモのキャプチャ（画面に表示されるページをイメージにしたもの）を表示します。
取得元URL接続※3…キャプチャの表示中に、元のサイトの内容を読み込み直して表示します。
画像保存※2…画像や背景画像を保存します。「画像をダウンロード」（P.208）の操作2へ

表示…サイト表示に関する操作を行います。
- **ズームイン**※4…ページを拡大表示します。
- **ズームアウト**※4…ページを縮小表示します。
- **ポインタ位置でズーム**※4…ポインタのある位置を中心にページを拡大表示します。
- **拡大縮小表示**※4…表示サイズの倍率を「60%、80%、100%、120%、150%、180%、200%、250%、400%」から選択します。
- **文字サイズ変更**…文字サイズを「小、中、大、特大、超大」から選択します。→P.123
  サイトによっては、文字サイズ変更できない場合があります。
- **表示モード設定**※4…「PCレイアウトモード」と「ケータイモード」を切り替えます。
- **PagePilot**…ページ全体と現在の表示位置を示すPage Pilot画面を表示します。→P.198
- **フレーム全体表示**…フレーム内表示画面からフレーム全体表示画面に戻ります。→P.200
- **タブ表示切替**…タブを表示するかしないかを切り替えます。

タブ切替…複数のページを表示しているとき、タブを切り替えます。

ドラッグモード※2…P.198

テキスト範囲選択※2…表示中のページの文字をコピーします。

▶[方向キー]でコピーする部分の先頭の文字にカーソルをあわせる▶[決定]［選択］（始点を選択）▶[方向キー] でコピーする最後の文字まで反転▶[決定]［選択］（終点を選択）▶「テキストコピー」または「地図を見る」

ページ内検索※2…表示中のページの文字を検索します。大文字と小文字を区別して検索できます。
続けて前後を検索するには[メール]［前検索］または[i]［次検索］を押します。

URLをメールで送信…ページのURLを本文に貼り付けたｉモードメールを作成します。

文字コード変換※2…ページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。

リトライ※2…ページのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

クイック検索…P.201

タイトル表示※2…ページのタイトルを表示し、確認します。

URL表示…P.196

証明書表示※2…ページがSSL／TLS対応の場合にSSL／TLS証明書の内容（所有者・発行者・有効期限・シリアル番号）を表示します。

設定…ｉモードブラウザ、フルブラウザの設定を行います。
- **Cookie設定**…P.216
- **Referer設定**…P.216
- **画像表示設定**※2…P.213
- **自動PagePilot**…P.198
- **ポインタ表示設定**…P.214
- **ポインタ移動距離セット**…P.214
- **ポインタ加速度設定**…P.214
- **Bookmark表示設定**…P.214
- **タブ自動起動設定**…P.214
- **Script動作設定**…P.213
- **サウンド設定**…P.213
- **端末情報利用設定**…P.215
- **動画自動再生設定**…P.222
- **ページ内データ取得**…P.213
- **自動通信サイズ制限**※4…P.214

ページ先頭に移動※2…現在表示しているページの先頭を表示します。

ページ末尾に移動※2…現在表示しているページの最後を表示します。

電話帳登録※2…P.200

削除…画面メモを削除します。

FOMA／Wi-Fi接続切替※5※6…FOMAとWi-Fiを切り替えます。

※1 microSD内の画面メモ表示では表示されません。
※2 キャプチャを表示しているときは利用できません。
※3 キャプチャを表示しているときに利用できます。
※4 フルブラウザの画面メモを選択しているときに利用できます。
※5 通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。
※6 ｉモードブラウザではホームＵご契約時に有効です。

おしらせ

<タイトル編集>
◆タイトルは削除できません。

有料コンテンツのダウンロード

サイトからダウンロードできる各種コンテンツ（画像やメロディ、着うたフル®など）の中には、有料のものがあります。有料コンテンツをダウンロードしようとしたときには、購入確認のメッセージおよびｉモードパスワード入力画面が表示されます。

おしらせ

◆ｉモードパスワードを入力してから、ダウンロードを開始するまでに2分以上経過していると、そのコ

ンテンツのダウンロードはできません。再度ｉモードパスワードを入力してください。

データのダウンロード

各種データをサイトからダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用します。

- ダウンロードできるデータの件数および1件あたりの最大サイズは、お買い上げ時に登録されているデータを含めて次のようになります。

種類	保存・登録可能件数	最大サイズ
画像※1	3,500件※2	ｉモード：500Kバイト フルブラウザ：1,524Kバイト
デコメ®ピクチャ		－
かんたんデコメピクチャ		5,000バイト
デコメ絵文字®※3		－
デコメール®テンプレート※4	300件※2	200Kバイト（10,000バイト＋90Kバイト）
デコメアニメ®テンプレート	300件※2	100Kバイト
ｉモーション（標準タイプ）	3,500件※2	ｉモード：50Mバイト フルブラウザ：10Mバイト
着うたフル®	3,500件※2	5Mバイト
メロディ	3,500件※2	100Kバイト
PDFデータ	3,500件※2	ドキュメント：2Mバイト ドキュメント定義ファイル（DDF）：100Kバイト
きせかえツール※5	3,500件※2	2Mバイト
キャラ電	3件	100Kバイト
マチキャラ※5	3,500件※2	5Mバイト
ムービー	3,500件※2	10Mバイト
ｉアプリ※6	200件※2	約2Mバイト
ダウンロード辞書※6	5件	20Kバイト
トルカ※7	495件※2	100Kバイト
スケジュールデータ ｉスケジュール	2,500件	1Mバイト
フォント※6	3,500件※2	10Mバイト
コンテンツパッケージ※6	3,500件※2※8	60Mバイト

※1 GIF形式のアニメーション、GIF形式、JPEG形式、BMP形式、PNG形式の画像、スタンプまたはフレーム画像になります。Flash画像は、ｉモードでのみ500Kバイトになります。
※2 データ量によって実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。
※3 お買い上げ時に登録されているデータは件数に含みません。
※4 本文のみで10,000バイト。挿入画像のみで90Kバイトになります。
※5 メタファイルの最大サイズは30Kバイトになります。
※6 フルブラウザではダウンロードできません。
※7 トルカの最大サイズは1Kバイト、トルカ（詳細）の最大サイズは100Kバイトになります。
※8 コンテンツパッケージと各コンテンツの件数を含みます。

おしらせ

◆接続するサイトやデータのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。
◆ダウンロード辞書の種類によっては、ダウンロードできない場合があります。
◆再生制限が設定されているデータのダウンロードを行い、ダウンロード中に再生期間や再生期限が過ぎてしまった場合、保存、再生ができません。
◆フルブラウザで Flash 画像からデータをダウンロードした場合、microSD の「ADOBE」フォルダ（P.362）に直接保存されます。
◆「ADOBE」フォルダに保存されたデータはFOMA端末では利用できません。
◆データ量の大きいデータをダウンロードする場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

画像のダウンロード

表示中のサイトやインターネットホームページや画面メモ、ｉモードメール、メッセージR／Fに表示または添付されている画像や背景画像、アニメーションを保存すると、待受画面やウェイクアップ表示などに設定できます。

<例：サイトに表示されている1件の画像を保存する場合>

1 iモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶MENU［サブメニュー］▶「ページ内操作」

2 「画像保存」▶「画像1件保存」▶「OK」▶画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択

■ 複数の画像を保存する場合
▶「画像保存」▶「画像複数保存」▶◎で画像を選択▶📷［完了］▶「YES」▶フォルダを選択

■ 画像を一括保存する場合
▶「画像保存」▶「画像一括保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ ポインタをあわせた画像を保存する場合
▶「画像保存」▶「選択中画像」▶フォルダを選択

■ 背景画像を保存する場合
▶「画像保存」▶「背景画像保存」▶「1件保存、複数保存、一括保存」から選択

3 「YES」▶項目を選択

■ 待受画面などに設定しない場合
▶「NO」

■ デコメ絵文字®に重複チェックを設定する場合
▶MENU［設定］▶「ON」▶フォルダを選択

■ デコメ絵文字®によみがなを追加する場合
▶「YES」
デコメ絵文字®のよみがなの登録について
→P.332

おしらせ

◆デコメ絵文字®の対象画像の場合、「マイピクチャ」の「デコメ絵文字」フォルダ内に直接保存されます。
◆デコメ絵文字®を保存する場合、重複チェック設定を「ON」に設定すると保存済みのデコメ絵文字®は保存されません。
◆デコメ絵文字®を保存する場合、件数によっては重複チェックに時間がかかる場合があります。
◆BMP形式、PNG形式の画像は、microSDカードにのみ保存できます。

PDFデータのダウンロード

サイトやインターネットホームページからPDF形式で作成されたPDFデータをダウンロードして表示／保存します。

1 iモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶PDFデータファイルを選択

PDFデータ画面（P.383）が表示されます。
PDFデータを閲覧するときの操作について
→P.385
※ ページ単位でデータを取得するPDFデータの場合、最初に取得したページが表示されます。以降、まだ取得していないページに移動しようとするたびにデータの取得が行われます。

■ ダウンロードを中止する場合
▶📷［中止］またはCLR
途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかのメッセージが表示された場合は、「YES」を選択するとダウンロードしたところまでが保存されます。この場合、あとで残りすべてのデータを追加でダウンロードできます。
→P.209

■ パスワード入力画面が表示された場合
PDFデータに設定されているパスワードを入力してください。

■ すべてのページを表示できないと表示された場合
▶「YES」
部分的に取得して表示できないPDFデータです。ダウンロードしない場合は「NO」を選択してください。

■ PDFデータを保存する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「保存」▶「YES」▶フォルダを選択
最初にすべてのデータを取得するPDFデータの場合は、すべてのページが保存されます。ページ単位でデータを取得するPDFデータの場合は、取得したところまでのデータ（ページ）が保存されます。まだ取得していないページは、あとから追加でダウンロードできます。→P.209

■ PDFデータの表示を終了する場合
▶CLR
PDFデータを保存していない場合は、保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存する場合は「YES」を選択します。

● 部分的に取得したPDFデータを追加で取得する

部分的に取得したPDFデータの残りのページ（データ）を、追加でダウンロードします。ダウンロードの方法はPDFデータの取得状態により異なります。

■ページ単位で取得したPDFデータ（、）を取得する場合

1 PDFデータ一覧画面（P.382）▶表示したいPDFデータを選択

部分的に取得したPDFデータ画面（P.383）が表示されます。
PDFデータを閲覧するときの操作について
→P.385

2 [進む］または [戻る］で、まだ取得していないページを表示

サイトに接続して該当ページがダウンロードされます。

■ 取得するページ番号を指定してダウンロードする場合

▶ ［サブメニュー］▶「ページ移動」▶「指定のページ」▶表示したいページを入力

■ 残りすべてのデータを一括でダウンロードする場合

▶ ［サブメニュー］▶「表示」▶「残り全てを取得」▶「YES」

■ PDFデータを保存する場合

▶ ［サブメニュー］▶「保存」▶「YES」▶「OK」
新たに取得したページが含まれた状態で保存されます。

■一部のデータしか取得できなかった PDF データ（、）を取得する場合

1 PDFデータ一覧画面（P.382）▶表示したいPDFデータを選択

PDFデータが表示される前に、残りすべてをダウンロードするかどうかのメッセージが表示されます。

2 「YES」▶「OK」

サイトに接続して、残りすべてのデータのダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了するとPDFデータ画面（P.383）が表示されます（データによっては閲覧可能なPDFデータにならず、表示されない場合があります）。

おしらせ

◆PDF データによっては、表示に時間がかかることがあります。
◆PDFビューアに対応していない形式や複雑なデザインを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。
◆500Kバイトを超えるPDFデータをダウンロードする場合は、ダウンロードするかどうかの確認メッセージが表示されます。
◆2M バイトを超える PDF データおよびサイズが不明のPDFデータはダウンロードできません。
◆ダウンロードするPDFデータと同じ定義ファイル（PDF識別用の情報ファイル）を持つPDFデータがFOMA端末内やmicroSDカード内に保存されている場合は、同じPDFデータと見なされるため、ダウンロードされず、保存されているPDFデータが表示されます。
◆PDFデータをダウンロード後に同じｉモードグループのタスクを新たに起動させた場合、表示中のPDFデータを保存せずにタスクが切り替わります。

各種データのダウンロード

サイトからかんたんデコメピクチャ、デコメアニメ®テンプレート、デコメール®テンプレート、デコメ®ピクチャ、メロディ、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、スケジュール、ｉスケジュール、ダウンロード辞書、トルカ、フォントなど各種データをダウンロードします。
<例：データを保存する場合>

1 ｉモードで表示したサイト▶データ（メロディなど）を選択

2 「保存」▶「YES」

ダウンロード時に表示される選択項目はデータの種類によって異なり、「再生、プレビュー、保存、部分保存、情報表示、再DL」などが表示されます。

3 画面表示に従ってフォルダや項目を選択

おしらせ

◆ダウンロードしたｉメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があり、着信音などに設定した場合、指定部分だけが再生されます。
◆お買い上げ時に登録されているきせかえツール、マチキャラ、キャラ電を削除したあと、元に戻すときは「みんなＮらんど」からダウンロードしてください。→P.193
◆スケジュールデータをダウンロードするには ｉコンシェルサービスのご契約が必要です。→P.223

コンテンツパッケージのダウンロード

サイトやインターネットホームページからスケジュール、ｉスケジュール、画像、ｉモーション、デコメ絵文字、デコメテンプレート、デコメアニメテンプレート、トルカ、マチキャラ、きせかえツール、着うたフル、うた・ホーダイのライセンス情報、メロディ、ｉアプリのダウンロードURLなどの各種データをまとめてダウンロードします。

●ダウンロードしたコンテンツパッケージに含まれる各種データは、データBOXのそれぞれのフォルダに保存されます。

データBOXについて→P.324

1 iモードで表示したサイト▶コンテンツパッケージを選択

コンテンツパッケージに含まれるデータが順番にダウンロードされます。

■ 途中でダウンロードを中止する場合
▶■［Cancel］

2 ■［OK］

■ すべてのデータを取得できなかった場合
「YES」を選択すると未取得のデータを再度ダウンロードします。また、コンテンツパッケージ利用画面からでも再ダウンロードできます。

おしらせ

◆スケジュールデータをダウンロードするにはｉコンシェルサービスのご契約が必要です。
◆ダウンロードしたコンテンツパッケージのｉスケジュールが、すでにダウンロード済みのコンテンツパッケージのｉスケジュールと同じ場合、新しくダウンロードしたコンテンツパッケージからのみ直接起動できます。

Flash機能

Flashに対応しているサイトやインターネットホームページでは、Flashを再生することができます。
Flash端末情報の利用について→P.215

- Flash画像は1ページあたり最大サイズはｉモードで500Kバイト、フルブラウザで1,524Kバイト表示できます。

Flash画像の操作

絵や音によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、ｉモードブラウザでFOMA端末にダウンロードしたり、待受画面に設定することもできます。

- ｉモードブラウザではバイブレータ振動が設定されているFlash画像を再生すると、「バイブレータ設定」の設定にかかわらず振動しますのでご注意ください。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- 画面下部に「◁⇔▷」が表示されていなくても、Flash画像の操作ができる場合があります。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像も表示されません。
- 「端末情報利用設定」を「利用する」に設定した場合は、端末情報データ（P.213）を利用することができます。
- フルブラウザではFlash画像からデータをダウンロードしたりアップロードすることができます。

おしらせ

◆Flash画像によっては、効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、「サウンド設定」を「OFF」に設定してください。なお、「バイブレータ設定」が「メロディ連動」に設定されていても、Flash画像の効果音には連動しません。
◆「待受画面」でFlash画像を待受画面などに設定した場合、Flash画像に設定されている効果音やバイブレータ振動は動作しません。また、「リトライ」の機能は使えません。→P.196
◆Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。
◆ブラウザでFlash画像を再生している間は「照明設定」で設定した待ち時間に従いますが、ブラウザでFlash®Video※を再生している間は「照明設定」で設定した時間にかかわらず、省電力モードには移りません。
※ Flash®Videoによっては省電力モードに移るものがあります。
◆ブラウザでFlash画像を再生中にFOMA端末を何も操作しない状態が約5分間続くとFlashを一時停止します。ボタン操作などを行うと停止した位置からFlashを再生します。

Flash®Video

Flash®Videoとは、Adobe Flash Playerで再生できる映像です。
再生可能なFlash®Videoは以下の2種類です。

- Flash®Videoは、ｉモードブラウザ（ｉチャネルを除く）、フルブラウザ、画面メモ※、マイピクチャ※で再生できます。

※ 埋め込み型のFlash®Videoのみ

- Flash®Videoを再生できない場合、Flash画像のみ表示されます。

種類	説明
プログレッシブ型再生	Flash画像とは別に作成されたビデオデータを配信サーバからダウンロードしながら再生するタイプの方法です。
埋め込み型再生	Flash画像の中に、要素の1つとして、ビデオデータを埋め込むタイプの方法です。

●Flash®Videoの再生仕様は次のとおりです。

拡張子	FLV	F4V※
コーデック	ビデオ：SorensonSpark／On2VP6／H.264※ オーディオ：MP3／AAC※	ビデオ：H.264 オーディオ：AAC
ビットレート	ビデオ：400kbps オーディオ：96kbps	ビデオとオーディオを合わせたビットレート：700kbps
ビデオサイズ	QVGA（横320ドット×縦240ドット）	VGA（横640ドット×縦480ドット）
フレームレート	15fps	15fps

※ H.264のビデオまたはAACのオーディオが含まれているFlash®Videoはフルブラウザでのみ再生できます。

●FLVのストリーミング型の再生はできません。
●サイトやホームページによっては再生できないことがあります。
●プログレッシブ型のFLVは最大約10Mバイトのファイル再生に対応しており、大容量データを受信する可能性があります。データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
●プログレッシブ型のFLVは保存や画面メモはできますが、再生ができません。Flash画像を表示します。
●本機種はAdobe Flashテクノロジーを採用しています。
●Flash画像によっては、本機種で正しく動作しない場合があります。

サイトやインターネットホームページのFlash再生

「画像表示設定」を「表示する」に設定するとFlashを再生することができます。
Flash再生中の音量は「サウンド設定」で調節できます。

1 **Flashに対応したサイトやインターネットホームページを表示する**

2 **Flashにポインタをあわせる**

ポインタが「（指マーク）」に切り替わり、Flashが再生されます。

おしらせ

◆埋め込み型再生のFlash画像はｉモードブラウザで2件、フルブラウザでは10件まで同時に再生することができます。
また、どちらもGIF形式のアニメーションと同時に再生できます。
◆Flashが画面外にある場合は、Flashが表示されるまでスクロールすると再生されます。
◆Flashによっては保存できない場合があります。
◆Flashによっては効果音が鳴らなかったり、なめらかに再生できない場合があります。
◆Flash画像にポインタをあわせていても再生されない場合、ポインタを動かすと再生されることがあります。
◆表示するサイトによってはFlashが自動再生されることがあります。

データのアップロード

ファイルのアップロードに対応しているサイトやインターネットホームページから、FOMA端末やmicroSDカードに保存されている画像や動画をアップロードできます。

●画像や動画をアップロードする方法は、ページによって異なります。表示される画面に従って操作してください。
●アップロードできるデータの条件は次のようになります。

通信方式	容量	データ形式／種類
FOMA	2Mバイト	アニメーションを含むGIF形式の画像（フレーム、スタンプを除く）、JPEG形式の画像、ｉモーション※
Wi-Fi	10Mバイト	

※ Flash画像からはアップロードすることができません。

1 **サイトやインターネットホームページ上のファイル選択用ボタン（「参照」など）を選択**

2 **「マイピクチャ」または「ｉモーション」を選択**

3 **フォルダを選択▶画像または動画を選択**

4 **サイトやインターネットホームページ上の送信用ボタン（「送信」など）を選択▶「OK」**

選択したファイルがアップロードされます。

■ アップロードを中止する場合

▶CLR

おしらせ

◆ページによってはアップロードできない場合があります。

◆FOMA端末外へ出力が禁止されている画像や動画はアップロードできません。

◆選択した画像、動画以外のデータが80Kバイトを超える場合はアップロードすることができません。

ブラウザの便利な機能

サイトやインターネットホームページ、メールなどに表示されている情報を選択するだけで、電話をかけたり、メールを送信するなどの機能が利用できます。

- ●利用できる機能は以下のとおりです。
  - ・電話番号（Phone To／AV Phone To機能）：電話をかける、SMSを送信
  - ・メールアドレス（Mail To機能）：メールを送信
  - ・URL（Web To機能）：ｉモードブラウザまたはフルブラウザでサイトやインターネットホームページを表示
  - ・番組情報のリンク（Media To機能）：ワンセグ視聴の起動や視聴予約・録画予約
- ●パソコンなどから送信されたメールやサイトによっては、利用できない場合があります。
- ●電話番号、メールアドレス、URL以外でも、「ご連絡先はこちら」などの項目を選択して、利用できる場合もあります。

＜例：ｉモードブラウザ画面で音声電話をかける場合＞

1 ｉモードで表示したサイト▶電話番号を選択

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合

▶「Aナンバー」または「Bナンバー」

2 「音声発信」▶[発信キー]

■ テレビ電話で発信する場合

▶「テレビ電話発信」▶「発信」

「テレビ電話画像選択」を選択すると、相手に送信する画像を選択できます。

■ SMSを送信する場合

▶「SMS作成」

SMSを作成して送信する→P.186

おしらせ

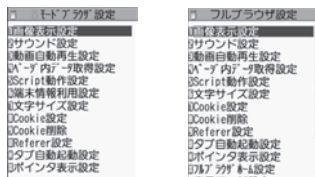
＜Mail To機能＞

◆メールアドレスが 2 つ以上続けて表示されていると、利用できない場合があります。

＜Media To機能＞

◆情報を選択しても利用できない場合があります。

ｉモードブラウザ／フルブラウザ設定

1 MENU▶「ｉモード／web」▶「ｉモード／web設定」▶「ｉモードブラウザ設定」または「フルブラウザ設定」

左画面：ｉモードブラウザ設定画面
右画面：フルブラウザ設定画面

2 以下の項目から選択

画像表示設定…サイトのページ、インターネットホームページ、画面メモの詳細画面の画像やFlashを表示するかしないかを設定します。「表示しない」を設定した場合は、表示されない画像の代わりに「[アイコン]」のアイコンが表示されます。

サウンド設定…Flashを音ありで再生するか（ON）音なしで再生するか（OFF）を設定します。「ON」を設定するとFlashの音量を調節します。

動画自動再生設定…P.222

ページ内データ取得設定…サイトやインターネットホームページ内のFLVなどのデータを読み込む際に自動的に通信するかどうかを設定します。「毎回確認」を設定すると、通信するときに確認をします。

Script動作設定…ページを表示したとき、JavaScript※1を有効にするかどうかを設定します。ページによっては「有効」に設定しないと、正常に表示できない場合があります。

端末情報利用設定※2…P.215

文字サイズ設定…サイトのページ、インターネットホームページ、画面メモの文字サイズを「小、中、大、特大、超大」から選択します。→P.123

Cookie設定…P.216

Cookie削除…P.216

Referer設定…P.216

タブ自動起動設定…JavaScript※1で新規ウィンドウを自動で開くようにするかどうかを設定します。「自動起動しない」に設定すると自動でウィンドウが開かなくなります。

ポインタ表示設定…ポインタを表示するかしないかを設定します。

フルブラウザホーム設定※3…フルブラウザのホームURLの設定を行います。

表示モード設定※3…最初に表示されるモードの設定をします。「PCレイアウトモード」または「ケータイモード」から選択します。

フルブラウザ確認表示※3…フルブラウザに接続をするときに確認画面の表示を行うかどうかを設定します。「毎回表示」を設定すると、接続するときに確認をします。

自動通信サイズ制限※3…ページの最大サイズを超える通信を行うかどうかを設定します。「毎回確認」を設定すると、ページ最大サイズを超える通信を行うか確認をします。

フルブラウザ利用設定※3…フルブラウザを利用するかどうかを設定します。Wi-Fi接続の場合は、「利用しない」に設定していても、フルブラウザの利用が可能な場合があります。

拡大縮小表示※3…表示サイズの倍率を「60%、80%、100%、120%、150%、180%、200%、250%、400%」から選択して[カメラ]［完了］を押します。

ショートカット※3…ショートカット一覧に割り当てる機能を設定します。→P.195

※1 JavaScriptとは、ブラウザ上で動作する簡易なプログラミング言語です。お客様の操作にあわせて、ウェブサイトの表示を動的に変更するなどダイナミックな表現を行うことができます。例えば、ウェブサイト全体を再読み込みすることなく、お客様の操作に応じて地図部分のみをスクロールさせて表示するようなことができるのはJavaScriptによるものです。JavaScriptを有効化することによって、お客様がウェブサイトに入力した情報やウェブサイトの訪問履歴などが第三者に知られる可能性もありますので、十分ご注意ください。

※2 ｉモードブラウザ設定のみで利用できます。

※3 フルブラウザ設定のみで利用できます。

おしらせ

<画像表示設定>

◆ｉモードブラウザ設定の「画像表示設定」を変更した場合は、ワンセグの「ユーザ設定」およびワンセグ視聴画面のサブメニューの「画像表示設定」も変更されます。

◆本機能を「表示しない」に設定していても、i Menu画面では画像が表示されます。

<サウンド設定>

◆本機能を「ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<ポインタ表示設定>

◆本機能を「表示する」に設定していると、Flashのコンテンツなどが操作できない場合があります。その場合は「表示しない」に設定しなおしてから操作してください。

ブラウザの共通設定

1 [MENU]▶「ｉモード／web」▶「ｉモード／web設定」▶「共通設定」

2 以下の項目から選択

証明書設定…P.216

接続先設定…P.215

セキュア通信サービス設定…ユーザ証明書についての設定を行います。

- **ユーザ証明書操作**…P.217
- **センター接続先設定**…P.218

ｉモードボタン設定…[i]を押して呼び出す機能を変更します。「i Menu・検索接続」または「ｉモードメニュー表示」が選択できます。

スクロール設定…サイトやインターネットホームページのページ、画面メモのスクロールの行数を「1行スクロール、3行スクロール、5行スクロール、1画面スクロール」から選択します。

自動PagePilot設定…「移動中に表示する」を選択すると、ポインタ表示中にポインタを移動することでページ全体と現在の表示位置を示すPage Pilot画面を表示します。→P.198

ポインタ移動距離設定…ポインタの移動距離を「短い、普通、長い」から選択します。

ポインタ加速度設定…ポインタの移動速度を「遅い、普通、速い」から選択します。

Bookmark表示設定…Bookmarkの表示方法を「サムネイル、リスト」から選択します。

タブ開き方設定…新しいタブでページを開くとき、「表で開く」（新しいタブに表示を切り替える）か、「裏で開く」（元の表示を残したまま、新しいタブで開く）にするかを設定します。

おしらせ

<ｉモードボタン設定>

◆海外では本機能を「i Menu・検索接続」に設定していても、ｉモードメニュー画面を表示します。

ブラウザの設定内容確認

1 MENU▶「iモード／web」▶「iモード／web設定」▶「iモード設定確認」

iモードブラウザ、フルブラウザ、共通の設定内容を表示します。

iモードの設定を初期状態に戻す

1 MENU▶「iモード／web」▶「iモード／web設定」▶「iモード設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「OK」

iモード接続先変更（ISP接続通信）

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

iモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします。「iモード」以外の接続先に変更すると、iモードやiモードメールをご利用できなくなります。

- 接続先は「iモード」のほかに10件まで登録できます。

1 MENU▶「iモード／web」▶「iモード／web設定」▶「共通設定」▶「接続先設定」▶「<未登録>」を反転▶📷［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

接続先名称…接続先名称を設定します。

接続先番号…接続先番号を設定します。

接続先アドレス…接続先アドレスを設定します。

接続先アドレス2…接続先アドレス2を設定します。

■ すでに登録した内容を削除する場合

▶MENU［サブメニュー］▶「削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

2 📷［完了］

おしらせ

◆接続先変更をした場合、iチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、CLRを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

◆接続先変更後、iチャネルの情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、CLRを押してiチャネル一覧を表示してください。

Flash画像で端末情報データを利用するかどうかの設定

Flash画像を動作させるときに端末情報データを利用するかどうかを設定します。

- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データをFlash画像で利用するには、「利用する」に設定してください。なお、Flash画像が利用する端末情報データには以下のものがあります。
  - 日付時刻情報
  - 受信レベル
  - 電池残量
  - 着信音量の設定
  - バイリンガルの設定
  - 機種種別
  - 機種情報

1 MENU▶「iモード／web」▶「iモード／web設定」▶「iモードブラウザ設定」▶「端末情報利用設定」▶「利用する」または「利用しない」

おしらせ

◆フルブラウザで端末情報データを利用する Flash画像を表示した場合、「日付時刻情報」と「バイリンガルの設定」のみ利用可能です。

◆フルブラウザで端末情報データを利用する Flash画像を表示した場合は常に端末情報データが利用されます。

Cookie設定

Cookie※を利用すると一度アクセスしたサイトやインターネットホームページに、効率よくアクセスすることができるようになります。

※ Cookieとは、サイトやインターネットホームページに訪れた日時、訪問回数など、お客様に関する情報を一時的に保存しておくしくみです。サーバからFOMA端末に書き込まれて一時的に保存され、お客様専用のページを自動的に表示するなどの目的で利用されます。Cookieを送信した場合、サイトやインターネットホームページに訪れた日時、訪問回数などの情報がサイト側に送信されます。Cookieを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。ただし、サイトやインターネットホームページ、コンテンツサービスによっては、Cookieの設定を

有効にしていないと正常に表示／利用できない場合があります。

Cookie設定

1 MENU▶「iモード／web」▶「iモード／web設定」▶「iモードブラウザ設定」または「フルブラウザ設定」▶「Cookie設定」▶以下の項目から選択

有効…Cookieを常に有効にします。
Cookieを送受信するときに確認を行いません。

毎回確認（送信時のみ）…ページに接続するたびに、Cookieを送信するかしないかを選択できます。Cookieを受信するときには確認を行わず、情報がFOMA端末に書き込まれます。

毎回確認（受信時のみ）…ページに接続するたびに、Cookieを受信するかしないかを選択できます。Cookieを送信するときには確認を行わず、情報を送信します。

毎回確認（送受信時）…ページに接続するたびに、Cookieを送受信するかしないかを選択できます。

無効…Cookieを常に無効にします。

おしらせ

◆Cookieは、最大件数、または最大容量を超えた場合に使用されないものから順に削除されます。
◆iモード設定リセットを実行するとそれぞれのCookieが削除されます。
◆ドコモUIMカードが未挿入の場合は、Cookie設定が「無効」となります。

Cookie削除

iモードブラウザまたはフルブラウザに保存されたCookieを削除します。

1 MENU▶「iモード／web」▶「iモード／web設定」▶「iモードブラウザ設定」または「フルブラウザ設定」▶「Cookie削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

iモードブラウザまたはフルブラウザに保存されているCookieがすべて削除されます。

Referer設定

Referer※を送信するかどうかを設定します。

※ Refererとは、リンク元情報のことです。
Refererを送信すると、自分がどのページからアクセスしているかなどの情報がサイトに送信されます。Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。ただし、サイトやインターネットホームページによってはRefererを送信しないと、リンク先などにアクセスできない場合があります。

Referer設定

1 MENU▶「iモード／web」▶「iモード／web設定」▶「iモードブラウザ設定」または「フルブラウザ設定」▶「Referer設定」▶以下の項目から選択

有効…Refererを常に有効にします。

無効…Refererを常に無効にします。

SSL／TLS証明書設定

SSL／TLS証明書の内容を確認したり、有効／無効の設定ができます。
SSL／TLS証明書の設定を「無効」にすると、SSL／TLS対応ページが表示されません。

1 MENU▶「iモード／web」▶「iモード／web設定」▶「共通設定」▶「証明書設定」

2 証明書を選択▶証明書を確認

■ SSL／TLS証明書を有効または無効に設定する場合

▶証明書を反転▶MENU［サブメニュー］▶「有効／無効設定」

「有効」に設定すると「」が表示されます。

「無効」に設定すると「」が表示されます。

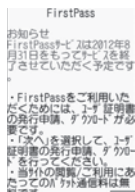
FirstPass設定

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスを契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はドコモUIMカードに保存され、クライアント認証に対応しているサイトでご利用になれます。

FirstPassセンターに接続

ユーザ証明書の発行申請からダウンロードするまでの操作をします。

- ●FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請や、ダウンロードができます。
- ●海外ではご利用になれません。
- ●FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定が必要です。→P.65
- ●FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。

1 MENU▶「iモード／web」▶「iモード／web設定」▶「共通設定」▶「セキュア通信サービス設定」▶「ユーザ証明書操作」▶内容を確認▶「次へ」

2 「証明書発行」

■ 失効申請をする場合

「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作してください。

3 内容を確認▶「実行」

4 PIN2コードを入力

PIN2コードについて→P.128

5 メッセージを確認▶「ダウンロード」▶内容を確認▶「実行」

確認のメッセージが表示されます。
ダウンロードが完了したら、FirstPassのメニュー画面に戻ります。

おしらせ

◆FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

◆FirstPassセンターへ接続中は、以下の機能が利用できません。
- ・iモードメールの送受信（SMSの送受信は利用可）
- ・メール／メッセージ問合せ（SMS問合せは利用可）
- ・メッセージR／Fの受信
- ・メールの添付ファイルを手動で取得
- ・メール詳細画面からのWeb To機能

◆ユーザ証明書を新規で発行する場合も更新で発行する場合も、必ず発行申請をしたあとにダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。

◆ユーザ証明書の失効申請が完了すると、そのユーザ証明書が必要なFirstPass対応サイトを表示できなくなります。

◆失効が完了したあとにFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードをしてください。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続

1 iモードで表示したサイト▶ユーザ証明書の送信を確認▶「YES」▶PIN2コードを入力

おしらせ

◆FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信料はiモードパケット定額サービスに含まれます。

◆ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応サイトに接続した場合や、ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、そのことを通知するメッセージが表示されます。接続を継続する場合は「YES」を選択すると続けてページを表示できる場合がありますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続を切断する場合は「NO」を選択し、FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードしたあと、再度接続してください。

■FirstPassご利用にあたって

- ・FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側がFOMA端末側を認証するクライアント認証が可能となります。
- ・FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、FirstPass PCソフトが必要です。
FirstPass PCソフトの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ユーザ証明書の発行申請をする際は、FirstPassについて画面に表示される「ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ・ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード（P.128）の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、ドコモUIMカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。

- ドコモUIMカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

接続先設定（ISP接続通信）

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先の設定をします。

1 **MENU▶「iモード／web」▶「iモード／web設定」▶「共通設定」▶「セキュア通信サービス設定」▶「センター接続先設定」**

2 **「<未登録>」を反転▶📷［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

初期画面URL…接続先の初期画面のURLを設定します。

接続先番号…接続先番号を設定します。

3 **📷［完了］**

■ **登録した接続先を削除する場合**
▶登録した接続先を反転▶MENU［サブメニュー］▶「削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

◆登録した「ユーザ指定接続先」を編集するときは、登録と同じ操作で編集します。

ｉモーション・ムービー／ｉチャネル／ｉコンシェル

■ｉモーション・ムービーの利用

ｉモーション・ムービー 220
ｉモーション・ムービーのダウンロード 221
動画自動再生設定 222

■ｉチャネルの利用

ｉチャネル 222
ｉチャネルの表示 222
ｉチャネル設定 223

■ｉコンシェルの利用

ｉコンシェル 223
ｉコンシェルの表示 224
インフォメーション受信 225
ｉコンシェル設定 225

iモーション・ムービー

iモーションは、映像や音声、音楽のデータです。iモーション対応サイトからFOMA端末に取得します。また、iモーションを着信音に設定することもできます。着モーション→P.106
インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されているさまざまなムービーをダウンロード、再生できます。
- ムービーはWindows Media Video（WMV）およびWindows Media Audio（WMA）の再生に対応しています。ムービーのダウンロード、ストリーミング時には容量の大きいデータを受信する可能性があります。容量制限のないストリーミングタイプなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● iモーションのタイプ

iモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得したiモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
標準タイプ（保存可※1）（最大50Mバイト※2）	データ取得後に再生	iモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	データ取得中に再生	iモーションのデータを取得しながら再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）（最大50Mバイト※2）	データ取得中に再生	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生し終わったデータは破棄されるので、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※1 iモーションによっては、保存できない場合があります。
※2 フルブラウザでは最大10Mバイトになります。

● ムービーのタイプ

種類		説明
タイプ	再生の種類	
ストリーミングタイプ（保存不可）（iモードブラウザでは最大10Mバイト）	ライブ配信：ムービーがリアルタイムで配信されます。一時停止はできません。	ムービーを受信しながら同時に再生します。保存することはできません。長時間の再生が可能です。
	オンデマンド配信：あらかじめサーバ上に用意されたムービーが配信されます。	
ダウンロードタイプ（保存可）（最大10Mバイト）	データ取得中に再生	FOMA端末で取得したデータだけでなく、パソコンで取得したり、作成したムービーを保存できます。

拡張子	wmv、wma、wvx、wax、asf、asx	
コーデック	ビデオ	Windows Media Video8、9
	オーディオ	Windows Media Audio 9、9.1、9.2
ビットレート	ビデオ	最大2,000kbps
	オーディオ	最大320kbps
	ビデオ＋オーディオ	最大2,000kbps+320kbps
動画サイズ	QVGA（横320ドット×縦240ドット）※1、VGA（横640ドット×縦480ドット）※2	
フレームレート	最大30fps	

※1 Windows Media Video8の場合
※2 Windows Media Video9の場合
- ストリーミングタイプの配信サーバは Microsoft Windows Media Services 9またはWindows Media Services 4.1のみに対応しています。その他のサーバから配信されるストリーミングタイプのムービーは再生できません。
- サイトによっては動作環境（ブラウザ種別、OS種別など）を確認する場合があり、FOMA端末ではムービーの再生ができないことがあります。
- 対応するムービーのファイル形式については、「ファイル形式について」（P.328）を参照してください。

ｉモーション・ムービーのダウンロード

- 「ｉモーション再生画面の見かた」→P.342
- 「ｉモーション再生画面の操作」→P.343
- 「ムービー再生画面の見かた」→P.346
- 「ムービー再生画面の操作」→P.347

1 ｉモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶ｉモーションまたはムービーを選択

■ 標準タイプまたはダウンロードタイプの場合
データのダウンロードが完了すると、ダウンロード画面が表示されます。

ダウンロード画面

■ ストリーミングタイプのｉモーションの場合
ダウンロードと同時に再生されます。
再生が完了するとダウンロード画面が表示されます。

■ ストリーミングタイプのムービーの場合
ダウンロードと同時に再生されます。
再生が完了するとｉモードブラウザ画面またはフルブラウザ画面に戻ります。

■ ダウンロードを中止する場合
▶CLR

2 「再生」
ダウンロードしたｉモーションまたはムービーを再生します。

■ ライセンス（WMDRM（Windows Media digital rights management））について
- ライセンスにより保護されたムービーで再生できるのはストリーミングタイプのみです。ライセンスに保護されたダウンロードタイプのムービーは非対応です。
- ムービーのライセンス設定によってはムービーの再生ができない場合があります。

おしらせ

◆ストリーミングタイプのｉモーション･ムービーを再生中に通信の切断などによって中断した場合には一時停止となります。また、ムービーは再生中の着信やCLR、━によって再生を終了した場合には再生前の画面に戻ります。ｉモーションの場合は中断した場合、ダウンロード画面が表示されます。
◆接続するサイトによっては、ｉモーションやムービーがダウンロードできないことがあります。また、ｉモーションによってはデータ取得中の再生ができないことがあります。
◆標準タイプのｉモーションの場合は、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
◆ｉモーションやストリーミングタイプのムービーには再生制限が設定されているものがあります。再生できる期間が制限されているｉモーション･ムービーは、期間前や期間後には再生できません。また、約30秒以上電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーション・ムービーについては、再生することができません。
◆取得したｉモーション･ムービーによっては、正しく再生できないことがあります。
◆回線速度･回線状況･電波状況により、ダウンロード中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。

ｉモーション・ムービーの保存

ストリーミングタイプのｉモーション・ムービーは保存できません。
- ｉモーションによっては、ダウンロードしたデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ｉモーションはカメラでの撮影動画とあわせて最大3,500件保存できます。ｉモーションの保存可能件数は、保存データのデータ量によって変動します。
- 最大50Mバイトのｉモーション、最大10Mバイトのムービーを保存できます。
- ｉモーション・ムービーのフォルダについて→P.324

1 ｉモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶ｉモーションまたはムービーを選択▶「保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ 保存を中止する場合
▶「NO」
保存をせずにダウンロード画面に戻ります。

おしらせ

◆タイトルが付いていないｉモーション･ムービーは一覧でファイル名が表示されます。

ｉモーション詳細情報の表示

ｉモーションのタイトル、再生制限の有無、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認します。

1 ｉモードで表示したサイト▶ｉモーションを選択▶「情報表示」

ｉモーション情報画面が表示されます。[↕]で画面をスクロールし、タイトル、表示サイズ、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認します。

動画自動再生設定

- ｉモードブラウザ画面またはフルブラウザ画面からｉモーション・ムービーをダウンロードしたときに、自動的に再生するかどうかを設定します。
- 「動画自動再生設定」は、標準タイプのｉモーションおよびダウンロードタイプのムービーのみ、設定が有効になります。ストリーミングタイプのｉモーション･ムービーは、本設定にかかわらず自動再生されます。
  ｉモーション･ムービーのタイプについて→P.220

1 ｉモードブラウザ設定画面（P.213）、フルブラウザ設定画面（P.213）▶「動画自動再生設定」▶以下の項目から選択

自動再生する…ｉモーション・ムービーをダウンロードしたあと、自動再生します。一部のｉモーション・ムービーは、データをダウンロードしながら再生します。

自動再生しない…ｉモーション・ムービーをダウンロードしても、自動再生せずにダウンロード画面を表示します。

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、[CLR]を押すことで最新情報がｉチャネル一覧に表示されます（P.222）。

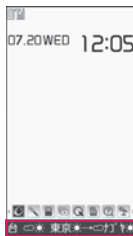
ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに、詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。

ｉチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● 待受画面のテロップ表示について

ｉチャネルをご契約された場合、情報を受信したタイミングで待受画面に情報がテロップ表示されます。

- ｉチャネル情報を受信中は[アイコン]が点滅します。
- 「テロップ表示設定」でテロップ表示の設定ができます。→P.223

おしらせ

◆待受画面にｉモーションやｉアプリ待受画面を設定していても、テロップは表示されます。また、セルフモード設定中や自動キーロック中でもテロップは表示されます。

◆ドコモUIMカード未挿入時、公共モード（ドライブモード）設定中、省電力モード時は、テロップは表示されません。

ｉチャネルの表示

ｉチャネル一覧を表示し、ｉチャネルの情報サイトにアクセスします。

1 待受画面表示中▶[CLR]

■ タッチスタイルの場合

▶待受画面表示中▶ｉチャネルテロップをタッチ

「テロップ表示設定」→P.223

■ ｉアプリ待受画面表示中からの表示方法
▶ｉアプリ待受画面表示中▶CLR（1秒以上）

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

ｉチャネル一覧画面（サブメニュー→P.223）

2 チャネル項目を選択

おしらせ

◆ご利用の状況により、ｉチャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。
◆情報を受信しても、着信音･バイブレータは鳴動しません。また、着信イルミネーションも点滅しません。

サブメニュー

❖ ｉチャネル一覧画面（P.223）

リトライ…ｉチャネル一覧画面を最初から表示します。
サウンド設定※1…P.213
ポインタ表示設定※1※2…P.214
タブ操作…P.196
クイック検索…P.201
FOMA／Wi-Fi接続切替※3※4…FOMAとWi-Fiを切り替えます。

※1 設定内容は「ｉモードブラウザ設定」の同じ機能にも反映されます。
※2 タッチスタイルでは利用できません。
※3 通信モードがシングルモードの場合は利用できません。
※4 ホームUご契約時に有効です。

ｉチャネル設定

待受画面にｉチャネル情報をテロップ表示するかしないかを設定します。また、テロップ表示するときのスクロール速度やテロップ色を設定します。
●テロップ表示設定を「表示する」に設定した場合、待受画面にはテロップが表示され続けます。

1 MENU▶「ｉモード／web」▶「ｉチャネル」▶以下の項目から選択

ｉチャネル一覧…ｉチャネル一覧を表示します。
テロップ表示設定…テロップ表示についての設定を行います。
- **テロップ表示設定**…待受画面にチャネル情報をテロップ表示するかしないか（表示する、表示しない）を設定します。
- **テロップ文字サイズ設定**…テロップを表示するときの文字サイズを「大、中、小」から選択します。→P.123
- **テロップ色設定**…テロップの文字の色を「White、Yellow、Blue、Pink、Green」から選択します。
- **テロップ速度**…テロップ表示するときのスクロール速度を「標準、高速、低速」から選択します。

ｉチャネル初期化…テロップ表示設定をお買い上げ時の状態に戻します。

おしらせ

◆ドコモUIMカード未挿入時などはｉチャネルの設定を変更できません。

<テロップ表示設定>
◆ｉチャネル解約前にｉモード解約を行った場合や、ｉチャネル解約後は、テロップ表示設定はそのままになりますが、テロップは自動的に表示されなくなります。
◆FOMA端末を閉じた状態で省電力モード中（P.118）にｉチャネル情報を受信した場合、テロップは表示されません。
◆2in1のモードごとに設定を記憶します。

<ｉチャネル初期化>
◆初期化後は、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、CLRを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

ｉコンシェル

ｉコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、メモやスケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されたメモやスケジュール、ToDoに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は

簡単にプリントすることもできます。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

■ｉコンシェルのご利用にあたって

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービス（P.144）のご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉコンシェルを海外でご利用になる場合は海外利用設定が必要となります。
  ▶MENU▶「ｉコンシェル」▶「設定」を選択▶「基本設定」▶「プロフィール設定／海外利用設定」▶海外利用設定の「変更する」を選択▶画面の指示に従って操作する
- ｉスケジュール・メモ・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉコンシェルの表示

1 MENU▶「ｉコンシェル」

ｉコンシェル画面が表示されます。

■受信したポップアップメッセージから表示する場合

「インフォメーションを受信すると」→P.225

■デスクトップアイコンから表示する場合

▶待受画面表示中▶■▶「C」を選択

※ ｉコンシェルのデスクトップアイコンは、お買い上げ時に貼り付けられています。

ｉコンシェル画面では、インフォメーションを確認したり、ｉコンシェルの設定などが行えます。

おしらせ

◆ファイル添付のスケジュールおよびトルカの情報を受信したときは、自動で保存されます。また、空きメモリがなくファイルを保存できなかった場合は、ダウンロードする画面が表示されます。

◆ｉコンシェルサービス契約中でも、設定内容によってサービス一時中止のメッセージが表示されることがあります。その場合は、表示されるメッセージに従って設定を変更してください。

今日の予定の一覧表示

開始日時が今日になっているスケジュール／メモや期限日が設定されているスケジュール／メモを一覧表示します。今日の日付や天気、何の日情報なども確認できます。

1 MENU▶「ｉコンシェル」▶「今日の予定」

■今日の予定があることをお知らせするポップアップメッセージから表示する場合

▶ポップアップメッセージを選択

スケジュール／メモを一覧表示します。

今日の予定通知設定

開始日時が今日に設定されているスケジュールやメモがあるときに、ポップアップメッセージ／アラーム音などでお知らせするかどうかを設定します。

1 MENU▶「ｉコンシェル」▶「今日の予定」▶📷［設定］▶「ON」

2 以下の項目から選択

時刻入力…ポップアップメッセージ／アラーム音などを鳴らす時刻を入力します。

曜日指定…ポップアップメッセージ／アラーム音などを鳴らす曜日を指定します。

アラーム音選択…アラーム音を選択します。

アラーム音量…でアラーム音量を設定します。

イルミネーション選択…着信イルミネーションの点滅色を「色1～色7、グラデーション」から選択します。「OFF」を選択すると点灯しません。

パターン設定…着信イルミネーションの点滅パターンを「パターン1～パターン11、メロディ連動」から選択します。

メモ0件時表示設定…今日のスケジュール／メモが0件の場合でもポップアップメッセージ／アラーム音などを通知するか通知しないかを設定します。

3 📷［完了］

クイックメモの作成

簡単なメッセージなどをメモとして登録できます。

1 MENU▶「ｉコンシェル」▶「クイックメモ」

2 本文を入力▶■［確定］

フォトメモの作成

カメラで撮影した静止画をメモとして登録できます。

1 MENU▶「ｉコンシェル」▶「フォトメモ」

2 カメラを被写体に向ける▶■［シャッター］▶■［確定］

インフォメーション受信

FOMA端末がFOMAサービスエリアの圏内にあるときは、自動的にインフォメーションが送られてきます。

- インフォメーションを受信すると画面の上部に「」が表示されます。
- 受信したインフォメーションは、最大50件保存できます。また、最大件数を超えた場合は、古いインフォメーションから順に上書きされます。

インフォメーションを受信すると

インフォメーションを自動で受信すると、待受画面にポップアップメッセージを表示します。

- インフォメーション受信後は「」が点灯します。すでに点灯している場合に受信すると一時的に点滅します。
- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合、待受画面には最新の1件が表示されます。
- ポップアップメッセージが表示されてから約15秒間操作がないと、選択状態を解除します。
- 「マチキャラ設定」でマチキャラ表示の設定ができます。→P.122

1 待受画面表示中▶ポップアップメッセージを選択

ｉコンシェル画面が表示されます。

■ ポップアップメッセージを消去する場合

▶[―]または[CLR]（1秒以上）

2 インフォメーションを選択

■ インフォメーションを削除する場合

▶インフォメーションを選択▶[カメラ]▶「YES」

おしらせ

◆インフォメーションによってはｉコンシェル画面を表示せず、サイト表示またはインフォメーションの情報のみ表示する場合もあります。

◆「着信・メール受信表示」の「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロック設定中の場合、インフォメーションを受信しても、待受画面にポップアップメッセージや画面上部に「」を表示せず、着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信イルミネーションの点滅）も行われません。

◆「便利ツール・その他」の「ｉコンシェル」にオリジナルロック設定中のときに、インフォメーションを受信すると待受画面に「新着情報があります」のポップアップメッセージが表示されます。ポップアップメッセージを選択するとインフォメーション内容にかかわらずｉコンシェル画面を起動します。

ｉコンシェル設定

ｉコンシェルの各設定項目は、機能の追加などにより変更する場合があります。

待受画面へのインフォメーション表示設定

1 MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「インフォメーション表示設定」▶「表示する」または「表示しない」

ｉコンシェル着信音の設定

インフォメーションを受信したとき、着信音、着信イルミネーション、バイブレータで知らせるように設定します。

- 着信音量の設定について→P.107
- 着信音の設定について→P.106
- 着信音を鳴らす時間の設定について→P.110
- バイブレータの設定について→P.108
- 着信イルミネーション設定について→P.120

カメラ

カメラをご利用になる前に 228
静止画撮影 235
クイックショット撮影 238
連続撮影 239
ビューティー撮影 240
自分撮り 242
パノラマ撮影 242
スマイルモード撮影 243
アートフォトモード 243
顔登録機能の利用 244
動画撮影 245
スローモーション撮影 246
撮影時の設定 246
バーコードリーダー 248

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。

カメラの使いかた

● カメラモードにするには

① 「カメラボタン設定」を「静止画撮影」、「動画撮影」に設定しているとき、待受画面表示中に[カメラ]を押す
② メインメニューの「カメラ／TV／MUSIC」、シンプルメニューから「カメラ」を選択する

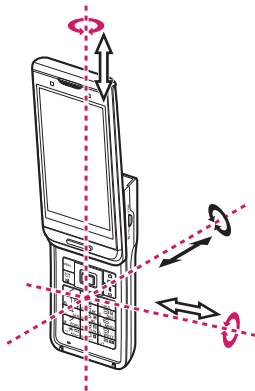
- はじめて「クイックショット」、「ムービー」、「スピードムービー」を起動するときは、カメラモードに関する説明が表示され、それぞれのカメラモードで起動します。説明内容をよくご確認の上、ご利用ください。
- 静止画撮影と動画撮影のそれぞれにおいて、前回起動したときのカメラモードで起動します。
- 約3分以上ボタン操作をしなかったときは、自動的にカメラモードを終了します。

● 接写について

- ごく近くにある被写体を撮影したいときは、「オートフォーカス」で「接写」(P.236)を選択してください。レンズとの距離が約10cmの被写体にピントが合います。

● 手ブレ補正機能について

本FOMA端末は、手ブレ補正機能を搭載しています。カメラで静止画撮影や動画撮影をするとき、以下の方向の手ブレを防止できます。

- 静止画の場合：6軸方向
- 画像サイズがQVGA以下の動画の場合：4軸方向
- 画像サイズがワイド以上の動画の場合：2軸方向（白色の矢印のみ）

※ 赤色の矢印は静止画のみ

手ブレ補正を設定する→P.233

カメラ利用にあたって

■撮影するときのご注意

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を閉じるときにレンズに力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。
- カメラでオートフォーカス撮影を行う際、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとは、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。

●シャッター音、セルフタイマーの開始音／カウント音、オートフォーカスロック完了音、自分撮りのアシスト音の音量を変更することや消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することはできません。
●手ブレ補正を「OFF」に設定している場合、撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく手ブレ補正を「オート」に設定して撮影することをおすすめします。
●静止画の撮影時にシャッター音が鳴ったあと、取り込みが完了するまで、FOMA端末が動かないようにしてください。
●室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。このようなときは、ご利用の地域の電源周波数にあわせて「ちらつき軽減」の設定を行うと、ちらつきを低減できる場合があります。
●撮影画面を表示したりカメラを切り替えたりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

■撮影認識ランプの点灯／点滅について

●撮影時などには以下のように点灯または点滅します。
- 撮影画面表示中：赤色で点滅
- 静止画撮影：赤色で点灯（約3秒間）
- 連続撮影：赤色で点灯（撮影中）
- 動画撮影、パノラマ撮影：赤色で点滅
- セルフタイマー作動中：青色で点滅→P.247
- 自分撮りで撮影：赤色で点灯／点滅→P.242

■撮影した静止画・動画などの保存について

●撮影した静止画や動画などは「保存先」で設定したフォルダに保存されます。
●「自動保存」を「ON」に設定すると、静止画や動画などを撮影後、自動的に保存できます。
●電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
●ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックを取り外したときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。

■撮影が中断されるとき

●着信（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信）やエリアメールの受信、アラーム通知（ワンセグ視聴予約、ワンセグ録画予約、アラーム、スケジュール）があったとき、ほかの機能の操作を行ったときには、撮影が中断されます。
- 連続撮影中や動画撮影中は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させると、カメラの画面に戻りますので、着信やアラーム通知などの前に撮影したデータを保存できます。
- カメラのズームや明るさを調節中は、調節中の設定が確定され、カメラメニューに戻ります。
- セルフタイマーは中止されます。

●以下の場合は中断されません。
- カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメール（エリアメールを除く）やメッセージR／Fを受信した場合は、「受信時動作設定」の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
- 「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しておくと、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。ただし、「ワンセグ録画予約」はカメラの撮影や設定、セルフタイマーを中断してアラーム通知を行います。

■microSDカードを使用するとき

●microSDカードへ保存中は「[SD]」が「[SD]」に変わります。このときは絶対にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
●「保存先」で「microSD」に設定して保存するときにmicroSDカードにフォルダが存在しない場合は、フォルダが自動的に作成されます。
●「保存先フォルダ選択」で選択したmicroSDフォルダのファイル数が最大件数のときは、そのフォルダに設定できません。→P.374

カメラモードのボタン操作

コミュニケーションスタイルの時は以下のボタン操作ができます。

[MENU]：サブメニュー
[✉]：静止画⇔動画切替
[i]：メディアスビューアを起動
[■]／[▷]：シャッター
[◻▸]：ズーム（望遠）
[◂◻]：ズーム（広角）
[◻▾]：オートフォーカスロックを実行
[✆]：ついてくフォーカスを実行
[CLR]：オートフォーカスロックを解除
※ オートフォーカスロック中のみとなります。
[1]～[8]：それぞれ以下のサブメニュー（P.232）を表示
[1]：カメラモード
[2]：シーン
[3]：オートフォーカス
[4]：サイズ
[5]：明るさ
[6]：手ブレ補正
[7]：ISO感度（静止画）／ファイルサイズ（動画）
[8]：その他
[9]：アイコン非表示⇔アイコン表示切替
[＊]：標準⇔クイックショット切替
[0]：ボタン操作の説明を表示
[＃]：ISO感度（押すたびに高感度→超高感度→ノーマルの順に切り替え）
※ カメラモードによっては表示されないサブメニューがあります。

撮影画面の見かた

撮影画面にはカメラの設定状態がアイコンで表示されます。各アイコンの意味は以下のとおりです。

■縦画面表示（コミュニケーションスタイル時）

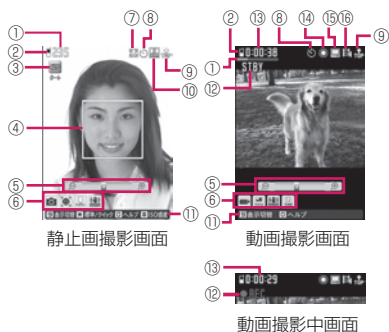
静止画撮影画面　　動画撮影画面

動画撮影中画面

■横画面表示（タッチスタイル時）

静止画撮影画面

動画撮影画面

動画撮影中画面

① 保存可能枚数／保存容量表示※1

:保存可能枚数

- 白文字：11枚以上
- 黄文字：10枚以下
- 赤文字：空きメモリなし※2

:全体容量に対する保存可能容量

- 青：残り500Kバイト以上
- 黄：残り500Kバイト未満
- 赤：空きメモリなし※2※3

※1 枚数および容量表示は目安です。また、保存先が「microSD」に設定されていて、microSDカードが挿入されていない場合は表示されません。

※2 撮影後に不要なデータを削除して保存、または保存先を変えて保存します。

※3「ファイルサイズ」を「無制限」に設定した場合は撮影できません。

② 保存先（P.233、234）

／／:保存先の設定状態（本体（カメラ）／本体（自動お預かり）／microSDカード）

③ 撮影モード表示（P.232）

カメラでフルスクリーン以上のカメラモードが「標準」、シーンが「オート」の静止画撮影のとき自動に検出されているシーン

- 撮影環境や被写体によっては、正しいシーンが検出されない場合があります。

非表示：シーン検出なし

:オート

:人物

:料理

:桜※

:紅葉※

:花※

:雪※

:夕焼け※

:夜景

:風景※

:ペット※

:花火

:イルミネーション

※ ISO感度を「超高感度」、「高感度」に設定しているときは自動選択されません。

④ フォーカス枠（P.235）

:オートフォーカスの種別が「ノーマル」、「接写」のときのオートフォーカス枠

・白色：ピント調整前
・白い点線：ピント調整中
・緑色：ピント調整完了
・赤い点線：ピント調整失敗

:オートフォーカスの種別が「顔検出」のオートフォーカス枠

・灰色：複数の顔検出時、ピント調整しないフォーカス枠

：オートフォーカスの種別が「ついてくフォーカス」のオートフォーカス枠
・白色：被写体検出前
・緑色：被写体検出時
・赤色：被写体検出失敗

：オートフォーカスの種別が「顔検出」で顔検出時のオートフォーカス枠
・白色：ピント調整中
・緑色：ピント調整完了
・赤色：ピント調整失敗

⑤ ズーム状態表示（P.246）
ズームの設定状態
- 超解像デジタルズームになる倍率部分ではズームバーが赤色で表示されます。
- 撮影サイズが「オートリサイズ」の場合、撮影サイズがVGAとなる倍率部分のズームーバーはオレンジ色で表示されます。
  SR：超解像デジタルズーム※
  ※「手ブレ補正」が「OFF」で「カメラモード」が「接写」、「スピードムービー」以外のときに利用できます。

⑥ サブメニュー（P.232）
サブメニューの各種設定状態
⑦ 顔選択モード（P.235）
：顔選択モードのとき
⑧ セルフタイマー（P.247）
：セルフタイマー設定中
⑨ 画面表示向き
TOP：撮影方向を表示
⑩ 画質（P.233）
S FINE：スーパーファイン
FINE：ファイン
NOR：ノーマル
⑪ ボタン操作ガイダンス
9 表示切替：9を押すごとにアイコンの表示／非表示を切り替えることを示すガイダンス
＊ 標準/クイック：＊を押すごとに「標準」と「クイックショット」が切り替わることを示すガイダンス
0 ヘルプ：0を押すとボタン操作の説明が表示されることを示すガイダンス
ISO感度：#を押すごとにISO感度が変更されることを示すガイダンス
⑫ 撮影状態表示
● REC：動画撮影中
STBY：動画撮影待機中
PAUSE：動画撮影一時停止中
⑬ 撮影時間
0:03:38：動画撮影の残り時間（時：分：秒）

⑭ ホワイトバランス（P.233）
非表示：オート
：晴天
：曇天
：電球
：蛍光灯
⑮ 画質／音質（P.234）
：長時間
：標準
：高品質
：最高品質
⑯ 音声設定（P.234）
：ON　：OFF
⑰ ダイレクト操作アイコンについて
タッチスタイルのときに表示され、タッチによる操作が可能です。アイコンは操作状況により表示が変わります。
シャッター：撮影します。
サブメニュー：パレットメニューを起動します。
- オートフォーカスロック（P.236）
  AF：オートフォーカスをロックします。

● タッチ操作画面の見かた

タッチスタイルでは画面のサブメニューをタッチすると、パレットが表示され、タッチ操作でさまざまな撮影条件を設定することができます。

タッチスタイルの機能画面

① 戻る／確定
② 機能
機能名をタッチすると、それぞれの機能の設定パレットが表示されます。
③ 各種設定
ここに表示されていない機能の設定パレットを表示します。

サブメニューの選択方法

コミュニケーションスタイルでサブメニューをディスプレイに表示すると、アイコンを選択するだけでさまざまな撮影条件を設定することができます。

撮影画面で 1 ～ 7 を押すと、各ボタンに対応したサブメニューが直接表示されます。
※ 本章での操作説明はこの方法で記載しています。

■[選択]を押し、反転したアイコン機能に設定します。

「8 その他」カメラの詳細設定

8 を押すと「その他」のサブメニューが表示されます。

で反転表示を移動して、■[選択]を押すことで、撮影条件を設定することができます。

● サブメニューのアイコンと設定内容

- 静止画撮影と動画撮影を切り替えるときには、✉を押してください。
- カメラモードによって選択できるサブメニューの項目が異なります。
  カメラモードを切り替えると、前回利用したときの設定内容になります。
- メールなどほかの機能から呼び出したときなど、撮影条件によっては利用できないメニューがあります。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

① カメラモード

静止画撮影

標準：→P.235

クイックショット：→P.238

連写：→P.239

ビューティー：→P.240

自分撮り：→P.242

パノラマ：→P.242

スマイル：→P.243

動画撮影

ムービー：→P.245

スピードムービー：→P.246

② シーン

静止画撮影

オート　人物　風景　夜景

逆光　ペット　料理　スポーツ

水中　OFF

動画撮影

オート　人物　風景

スポットライト　水中

※ クイックショットでは「オート」、「スポーツ」のみ設定できます。

※ 自分撮り、スマイルでは「オート」、「人物」、「逆光」、「OFF」のみ設定できます。

※ 連写では「夜景」は設定できません。

※ パノラマでは「オート」に固定されます。

※「水中」のときはタッチ操作が無効となります。

③ オートフォーカス（P.235）

ノーマル　接写　顔検出

ついてくフォーカス　OFF

④ サイズ

静止画撮影

オートリサイズ：ズーム倍率に応じて「8M（3264×2448または2448×3264）、5M（2560×1920または1920×2560）、VGA

（640×480または480×640）」から最適なサイズで撮影

～：8M（最大）（3264×2448または2448×3264）～QCIF（最小）（176×144または144×176）※1

／：480×480※2／240×240※2

、：パノラマ（3184×480：コミュニケーションスタイル時、2480×480：タッチスタイル時）

※1 ISO感度を「高感度」、「超高感度」に設定しているときは、「2M（1,600×1,200または1,200×1,600）」と「フルスクリーン（480×854または854×480）」、自分撮り、スマイルでは「フルスクリーン（480×854または854×480）」以上のみ設定できます。

※2 iアプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

動画撮影

～：HD（1,280×720）～QCIF（176×144）

※ スピードムービーでは「QVGA（320×240）」に固定されます。

⑤ 明るさ

／／／／：画像の明るさ（+2／+1／0／－1／－2）

⑥ 手ブレ補正

オート（強）　オート　OFF

※ 連写、スピードムービー、ISO感度が「ノーマル」以外のときは「OFF」に固定されます。

※ ムービーのときは「オート」「OFF」のみ設定できます。

⑦ ISO感度／ファイルサイズ

静止画撮影（ISO感度）

超高感度　高感度　ノーマル

※ 連写、パノラマ、スマイルでは「ノーマル」に固定されます。

※ ビューティー、自分撮りでは「高感度」、「ノーマル」のみ設定できます。

※「超高感度」「高感度」のときはISO感度が高くなるため暗い所でも撮影できますが、ノイズが目立つ場合があります。

動画撮影（ファイルサイズ）

500KB　2MB　10MB

無制限

⑧ その他

静止画撮影

セルフタイマー※1→P.247

連写設定※2→P.240

スマイルレベル※3

シャッターが切れる笑顔のレベルを「レベル3、レベル2、レベル1（微笑）」から選択します。

位置情報付加※4

画像に付加する位置情報について設定します。

- 現在地確認から付加
  現在の位置情報を取得し付加します。
- 位置履歴から付加
  位置履歴から位置情報を付加します。
- 電話帳から付加
  電話帳に登録されている位置情報を付加します。
- マイプロフィールから付加
  プロフィールに登録されている位置情報を付加します。
- 位置情報詳細※5
  付加した位置情報の詳細を確認します。
- 位置情報削除※5
  位置情報を削除します。

撮影設定

以下の項目を設定します。

- グリッド表示※6※7
  グリッドの表示を「ON、OFF」から選択します。
- エフェクト※8
  撮影する画像の効果を「フルカラー（通常の色調）、セピア（古い写真風）、白黒（モノクロ）」から選択します。
- フレーム※9→P.238
- 顔登録（アルバム用）※4※10→P.244
- 自動アルバム振分け※8※10※11→P.337
- シャッター音※12
  シャッター音を選択します。

画質調整

以下の項目を設定します。

- ホワイトバランス※13
  撮影する画像の色合い補正を「オート、晴天（晴れた屋外での撮影に適した設定）、曇天（曇った屋外での撮影に適した設定）、電球（白熱電球の明かりの下での撮影に適した設定）、蛍光灯（蛍光灯の明かりの下での撮影に適した設定）」から選択します。
- 画質
  撮影する画像の画質を「スーパーファイン（最高画質、ファイルサイズ：大）、ファイン（高画質、ファイルサイズ：中）、ノーマル（標準画質、ファイルサイズ：小）」から選択します。
- ちらつき軽減※14
  撮影画面のちらつきを抑えます。「オート、モード1（50Hz地域）、モード2（60Hz地域）」から選択します。
  ※東日本は50Hz地域、西日本は60Hz地域です。

保存設定

以下の項目を設定します。

- 自動保存設定※15
  撮影後「保存先」で設定した保存先に自動保存するかしないか（ON、OFF）を設定します。
- 保存先
  撮影した画像の保存先を設定します。
- 保存容量確認※4
  保存容量（目安）を確認します。

アイコン表示切替
撮影画面でアイコンを表示するかしないか（ON、OFF）を設定します。

連携機能※10
以下の機能に切り替えます。
- アートフォトモード※4→P.243
- バーコードリーダー※4→P.248
- メディアスビューア→P.333

※1 自分撮り撮影画面、スマイル撮影画面のときは操作／設定できません。
※2 連写撮影画面でのみ操作／設定できる機能です。
※3 スマイル撮影画面でのみ操作／設定できる機能です。
※4 タッチスタイルのときは操作／設定できません。
※5 位置情報が付加されていないときは操作／設定できません。
※6 アートフォトモード撮影画面、ビューティーモード撮影画面のときは操作／設定できません。
※7 自分撮り撮影画面、パノラマ撮影画面では操作／設定できません。
※8 ビューティーモード撮影確認画面のときは操作／設定できません。
※9 静止画撮影画面、自分撮り撮影画面、スマイル撮影画面で、サイズがフルスクリーン（480×854または854×480）以下のときのみ操作／設定できる機能です。
※10 アートフォトモード撮影画面のときは操作／設定できません。
※11 クイックショット撮影画面、連写撮影画面のときは操作／設定できません。
※12 クイックショット撮影画面、連写撮影画面で撮影間隔が「0.1秒」のときは操作／設定できません。
※13 静止画撮影画面、自分撮り撮影画面、連写撮影画面、スマイル撮影画面では、シーンが「OFF」以外のときは操作／設定できません。クイックショット撮影画面では、シーンが「スポーツ」のときは操作／設定できません。
※14 静止画撮影画面、クイックショット撮影画面では、ISO感度が「超高感度」のときは操作／設定できません。
※15 クイックショット撮影画面、アートフォトモード撮影画面、ビューティーモード撮影画面では操作／設定できません。

動画撮影

セルフタイマー→P.247

撮影設定
- グリッド表示
  グリッドの表示を「ON、OFF」から選択します。
- エフェクト
  撮影する画像の効果を「フルカラー（通常の色調）、セピア（古い写真風）、白黒（モノクロ）」から選択します。
- 音声設定※1
  「ON、OFF」から選択します。
- ムービーシャッター音
  シャッター音を選択します。

画質調整
- ホワイトバランス
  撮影する画像の色合い補正を「オート、晴天（晴れた屋外での撮影に適した設定）、曇天（曇った屋外での撮影に適した設定）、電球（白熱電球の明かりの下での撮影に適した設定）、蛍光灯（蛍光灯の明かりの下での撮影に適した設定）」から選択します。
- 画質／音質※1
  撮影する動画の画質／音質を「長時間、標準、高品質、最高品質」から選択します。
  「長時間」は、撮影時間は最も長くなりますが、画質は最も低くなります。これに対し「最高品質」は、画質は最も高くなりますが、撮影時間は最も短くなります。
- ちらつき軽減※1
  撮影画面のちらつきを抑えます。「オート、モード1（50Hz地域）、モード2（60Hz地域）」から選択します。
  ※ 東日本は50Hz地域、西日本は60Hz地域です。

保存設定
以下の項目を設定します。
- 自動保存設定※2
  撮影後「保存先」で設定した保存先に自動保存するかしないか（ON、OFF）を設定します。
- 保存先※2
  撮影した動画の保存先を設定します。
- 保存容量確認※3
  保存容量（目安）を確認します。

アイコン表示切替
撮影画面でアイコンを表示するかしないか（ON、OFF）を設定します。

連携機能
以下の機能に切り替えます。
- アートフォトモード※3→P.243
- バーコードリーダー※3→P.248
- メディアスビューア→P.333

※1 スピードムービーのときは、操作／設定できません。
※2 ファイルサイズが「無制限」の場合は、操作／設定できません。
※3 タッチスタイルの時は操作／設定できません。

おしらせ

<手ブレ補正>
◆本機能はあくまでも手ブレを軽減するものであり、効果は被写体や撮影条件によって異なります。

◆被写体の一部が動いていると、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は本機能を「OFF」に設定して撮影してください。

<位置情報付加>

◆「位置情報付加」を行った場合、カメラを終了しないで引き続き撮影した画像にも、同じ位置情報が付加されます。

<グリッド表示>

◆フレーム設定時は、「グリッド表示」が「ON」でもグリッド表示されません。

<画質／音質>

◆スピードムービーのときは、「高品質」に固定されます。

<音声設定>

◆スピードムービーのときは、「OFF」に固定されます。

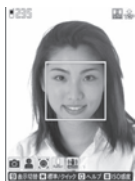
<ムービーシャッター音（録音開始音選択）>

◆ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

静止画撮影

1 [カメラ]▶[1]▶「標準」

■ メインメニューからの表示方法

▶[MENU]▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「カメラ」▶「静止画撮影」

静止画撮影画面

■ ピントをあわせたい箇所が画面の中央ではない場合

▶[3]▶オートフォーカスの種別を選択▶ ピントをあわせる箇所をフォーカス枠の中央にし[□]▶撮影したい構図になるように、カメラの向きを変更▶[■]［シャッター］

オートフォーカスロックが完了すると、フォーカス枠が緑色になり、オートフォーカスロック完了音が鳴ります。

オートフォーカスロックに失敗すると、フォーカス枠が赤くなります。再度[□]を押すとオートフォーカスロックし直すことができます。

オートフォーカスロックを解除するには、[CLR]を押します。

■ 複数の顔を検出した場合（顔選択モード）

▶[□]（1秒以上）▶[✉]［前枠］または[i]［次枠］で優先してピントをあわせたい人物の顔にフォーカス枠（白枠）を移動▶[□]（1秒以上）または、優先してピントを合わせたい人物の顔をタッチ

• 「オートフォーカス」が「顔検出」のときに操作できます。

2 カメラを被写体に向ける▶[■]［シャッター］

静止画撮影確認画面（サブメニュー→P.237）

■ 撮影し直す場合

▶[CLR]

■ 撮影した画像を拡大表示する場合

▶[カメラ]［Zoom］

[カメラ]［＋］／[MENU]［－］を押すたびに1段階ずつ拡大／縮小します。

[i]［等倍］を押すと画像を等倍表示します。

3 [■]［保存］

おしらせ

◆画像サイズによっては画質が粗くなる場合があります。

オートフォーカス撮影

カメラを使った撮影では、オートフォーカス機能を使うことができます。撮影時（セルフタイマーを使って撮影するときはタイマー開始時）にピントをあわせる「シングルオートフォーカス」と、被写体に連続してピントをあわせ続ける「コンティニュアスオートフォーカス」に対応しています。

■顔検出撮影（オートフォーカスON）

カメラを被写体に向けると、人物の顔を検出して自動的に白いフォーカス枠が移動し、ピントと露出をあわせます。

●顔検出オートフォーカス撮影は以下の条件で利用できます。

• カメラモードが「標準」で、シーンが「オート」、「人物」、「逆光」、「OFF」で、サイズがフルスク

リーン（480×854または854 ×480）以上のとき
- カメラモードが「クイックショット」で、シーンが「オート」で、サイズがフルスクリーン（480×854または854×480）以上のとき

●人物の顔は同時に5人まで検出できます。複数の顔を検出した場合は、顔の大きさや位置にあわせてカメラがピントをあわせる顔を自動的に判断します。また、優先してピントをあわせたい人物の顔を選択できます。
顔選択モードについて→P.235
ピントをあわせる顔のフォーカス枠は白色で表示され、それ以外の顔のフォーカス枠は灰色で表示されます。

●人物の顔を検出できなかった場合や画面に人物の顔が映っていない場合は、オートフォーカス撮影になります。

■ついてくフォーカス撮影（オートフォーカスON）

ピントを合わせたい箇所にタッチすると、タッチした箇所の被写体に自動的に緑色のフォーカス枠が移動し、ピントと露出を合わせます。
また、ピントを合わせるフォーカス枠を移動できます。

●ついてくフォーカス撮影は、カメラモードが「標準」、「クイックショット」または「アートフォトモード」で、シーンが「夜景」以外で、サイズがフルスクリーン（480×854 または854×480）以上のとき利用できます。

■スマイルモード撮影（オートフォーカスON）

カメラを被写体に向けると、人物の顔を検出して自動的に白いフォーカス枠が移動し、ピントと露出をあわせます。シャッターボタンを押すとフォーカス枠がピンク色に変わり、フォーカス枠があたっている人物が笑顔になると自動的にシャッターが切れます。

■自分撮り撮影（オートフォーカスON）

カメラを自分に向けると、あらかじめ設定した撮影位置を自動で検出し、自分の顔がおさまったときにランプと音でお知らせし、ピントをあわせます。ブレを防ぐためシャッターボタンを押した1秒後に撮影します。

■オートフォーカス撮影（オートフォーカスON）

画面の中央に自動的にピントをあわせて撮影します。カメラの向きを変えて被写体を変更した場合などは、自動的にピントが再調整されます。

■接写撮影（オートフォーカスON）

画面の中央のごく近くにある被写体（ないときはレンズからの距離が約10cm）に、自動的にピントをあわせて撮影します。カメラの向きを変えて被写体を変更した場合などは、自動的にピントが再調整されます。

●接写撮影は、カメラモードが「標準」「クイックショット」で、シーンが「オート」「OFF」のときに利用できます。また、カメラモードが「連写」「パノラマ」「ムービー」「アートフォトモード」のときにも利用できます。

■固定焦点撮影（オートフォーカスOFF）

オートフォーカス機能を利用しないで撮影します。

■オートフォーカスロック撮影（オートフォーカスON）

ピントをあわせたい箇所が画面の中央ではないとき、あらかじめ被写体にピントをあわせ、構図を変更して撮影します。

おしらせ

◆以下のような場合は顔検出できないことがあります。
- 顔が横や斜めを向いている場合
- 顔が傾いている場合
- めがねや帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている場合
- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、明るいまたは暗い場合

◆顔検出オートフォーカス機能のフォーカス距離は、3m以内です。

◆オートフォーカスのフォーカス距離は、10cm以上です。

◆以下のような場合はピントが合わないことがあります。
- 暗い場所で撮影する場合
- コントラストが弱い（明暗差のない）被写体を撮影する場合
- 遠いものと近いものが混在する被写体を撮影する場合
- 撮影範囲内にライトなどがある場合
- 動いている被写体を撮影する場合
- FOMA端末を動かしながら撮影する場合

◆オートフォーカスロックが完了するまでに時間がかかることがあります。

◆オートフォーカスロックが完了すると、カメラの露出も固定されます。オートフォーカスロックを完了してからカメラを動かすとカメラの明るさが適さないときがあります。そのような場合は再度オートフォーカスロックし直すか、明るさを調整してください。

サブメニュー

❖静止画撮影確認画面（P.235）

❖連続撮影詳細表示確認画面（P.239）

❖ビューティーモード撮影確認画面（P.240）

❖自分撮り撮影確認画面（P.242）

❖パノラマ撮影確認画面（P.243）

❖スマイルモード撮影確認画面（P.243）

❖アートフォトモード撮影確認画面（P.244）

保存※1…「保存先」で設定したフォルダに保存します。

鏡像保存※2※3※4※5…撮影した静止画を、左右を反転させて「保存先」で設定したフォルダに保存します。

メール作成※3…P.238

静止画撮影確認画面で✉［✉/Blog］を押してもｉモードメールやブログ投稿用のメールを作成することができます。

また、撮影した静止画は「保存先」で設定したフォルダに保存されます。

機能利用※3※4…以下の機能を利用します。

- **ビューティーモード**※6…P.240
- **アートフォトモード**※6…P.243
- **ｉアプリで画像利用**※6…「ソフト設定」の「マイピクチャから起動」で設定されたｉアプリを起動して、静止画の編集などをします。
- **顔登録（アルバム用）**※6…P.244
- **メモ作成**…P.413

ピクチャ貼付※3※4※5※6…撮影した静止画を待受画面などに設定します。

フレーム取替え※3※4※5※6※7…P.238

鏡像表示⇔正像表示※5※8…確認画面の画像を鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

保存先※5※6…撮影した画像の保存先を設定します。

ファイル制限※5…撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.329

位置情報付加※5※6…P.233

取り消し※6…撮影した静止画を削除して静止画撮影画面に戻ります。

※1 ビューティーモード撮影確認画面、アートフォトモード撮影確認画面では、「確定」となります。

※2 静止画撮影確認画面、自分撮り撮影確認画面、スマイルモード撮影確認画面で、フレームを重ねて撮影したときは操作／設定できません。

※3 ビューティーモード撮影確認画面、アートフォトモード撮影確認画面のときは操作／設定できません。

※4 パノラマ撮影確認画面のときは操作／設定できません。

※5 タッチスタイルのときは操作／設定できません。

※6 連続撮影詳細表示確認画面では操作／設定できません。

※7 静止画撮影確認画面、スマイルモード撮影確認画面、自分撮り撮影画面で、フレームを重ねて撮影したときのみ操作／設定できます。

※8 パノラマ撮影確認画面、アートフォトモード撮影確認画面のときは操作／設定できません。

おしらせ

◆画像の種類やファイルサイズによっては選択できない場合があります。

<ｉアプリで画像利用>

◆フルスクリーン（480×854）より大きい画像は、ｉアプリで利用する際に縮小されます。

<ピクチャ貼付>

◆待受画面などに設定する静止画は「保存先」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDカードには保存されません）。

ついてくフォーカスで撮影

●ついてくフォーカスで撮影できるのは、カメラモードが「標準」、「クイックショット」または「アートフォトモード」のときです。

1 静止画撮影画面（P.235）▶3▶「ついてくフォーカス」

2 カメラを被写体に向ける▶ピントを合わせる箇所をタッチ▶■［シャッター］

動いてる被写体に自動的にピントを合わせ、撮影します。

3 ■［保存］

おしらせ

◆ピントを合わせた被写体が撮影画面から外れても、しばらくの間はフォーカス枠が追従します。

◆被写体を再検出できなかった場合は、ピントを合わせる前の状態に戻ります。

フレームを重ねて撮影

●内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 静止画撮影画面（P.235）▶8▶「撮影設定」▶「フレーム」▶フレーム選択

■ フレーム撮影を解除する場合
▶「OFF」

2 カメラを被写体に向ける▶■［シャッター］

フレーム撮影確認画面が表示されます。

■ 保存する前にフレームを変更する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「フレーム取替え」▶フレームを選択
📷［回転］を押してフレームを180度回転させることができます。

3 ■［保存］

撮影した静止画または動画を利用してｉモードメールの作成

撮影した静止画または動画をｉモードメールに添付したり、ブログ投稿用のメールを作成します。
●ビューティー、アートフォトモードでは利用できません。

1 各撮影確認画面▶✉［✉/Blog］▶以下の項目から選択

画像添付※1※2※3…画像をメールに添付します。
- **サイズそのまま添付**…画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。
- **サイズ中（640×480）**※4※5…画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイルサイズを変更して添付します。
- **サイズ小（320×240）**※5…画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイルサイズを変更して添付します。

ブログ投稿※1※3…画像をブログに投稿します。
- **そのまま添付**…画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。
- **サイズ中（640×480）**※4※5…画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイルサイズを変更して添付します。
- **サイズ小（320×240）**※5…画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイルサイズを変更して添付します。

※1 サイズがQVGA縦（240×320または320×240）以下のときは「そのまま添付、サイズ中、サイズ小」の選択画面は表示されません。
※2 動画撮影確認画面のときは「動画添付」と表示されます。
※3 動画撮影確認画面のときは「そのまま添付、サイズ中、サイズ小」の選択画面は表示されません。
※4 サイズがVGA（480×640または640×480）のときは選択できません。
※5 パノラマ撮影確認画面のときは選択できません。

2 メールを作成

ｉモードメールの作成→P.152

おしらせ

◆「ブログ・メールメンバー」でブログ投稿先アドレスが設定されていると、「ブログ投稿」でメール作成するときに宛先が自動で入力されます。
→P.162
◆サイズ8M（最大）で撮影した静止画がメール添付可能な容量（2Mバイト）を超えてしまった場合、「画像添付」または「ブログ投稿」の「そのまま添付」を選択するとメール添付可能なサイズ5Mにリサイズします。

クイックショット撮影

クイックショットでは、撮影確認画面を表示させずに少ない操作で静止画を撮影・保存します。

1 📷▶1▶「クイックショット」

クイックショット撮影画面

2 カメラを被写体に向ける▶■［シャッター］

「保存先」で設定したフォルダに自動保存され、撮影画面に戻ります。

おしらせ

◆電池残量が少ないときはクイックショットができません。前回起動時にカメラモードを「クイックショット」に選択しても自動的に「標準」に切り替わることがあります。
◆クイックショットは画像調整を行わずに撮影するため、より早く次の写真を撮影することができます。
よりきれいに撮影したいときはカメラモードを「標準」にしてください。

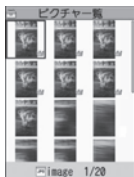
連続撮影

カメラを利用し、最大108枚の静止画を連続撮影します。
●連続撮影は、シャッターを切ると、設定した撮影枚数と撮影間隔で自動的に撮影する機能です。連続撮影の場合、オートフォーカス機能で撮影できるのは最初の1枚のみです。2枚目以降は1枚目であわせたフォーカス位置での撮影となります。
●連続撮影した静止画を、自作アニメに登録してアニメーションとして楽しむこともできます。
●連続撮影中にFOMA端末を閉じると、撮影が終了します。

1 [カメラ]▶[1]▶「連写」

連続撮影画面

■ ピントをあわせたい箇所が画面の中央ではない場合
「静止画撮影」操作1→P.235

2 カメラを被写体に向ける▶[■]［連写］

連続撮影確認画面（サブメニュー→P.240）

• 撮影した画像の中からブレの度合いや構図をもとにベストフォト画像を判断し、画像の右下に[王冠]を表示します。

■ 連続撮影を中止する場合
▶[カメラ]［中止］または[CLR]または[終話]▶「NO」

■ 保存する静止画を選択する場合
操作3の前に、あらかじめ保存する画像を選択しておきます。

■ 詳細表示で確認する場合
▶[十字]で囲み枠を確認する画像に移動▶[カメラ]［詳細］
[左右]で確認する静止画を切り替えることができます。

連続撮影詳細表示確認画面（サブメニュー→P.237）

■ 詳細表示した静止画を1件のみ保存する場合
▶[■]［保存］

■ 撮影した画像からベストフォト画像を抽出する場合
▶[メール]［ベスト候補］

3 [i]［保存］▶以下の項目から選択

グループ選択保存…[✓]を付けた静止画をグループとして保存または鏡像保存します。

グループ全保存…撮影したすべての静止画をグループとして保存または鏡像保存します。

選択保存…[✓]を付けた静止画を保存または鏡像保存します。

全保存…撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存します。

全保存&自作アニメ…撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存し、自作アニメにも登録します。

「保存先」で設定されているフォルダに保存されますが、「グループ選択保存」「グループ全保存」を選択するとマイピクチャのグループフォルダに保存されます。
「選択保存」を選択した場合、画像の保存が終了すると、保存した画像を除いた連続撮影確認画面が表示されます。

おしらせ

◆強い光源や動きが大きいものを被写体として撮影する場合、撮影間隔が設定した時間よりも長くなることがあります。

<全保存&自作アニメ>
◆「保存先」で「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDカードには保存されません）。

● 撮影間隔と撮影枚数を設定する

1 連続撮影画面（P.239）▶ 8 ▶「連写設定」▶以下の項目から選択

撮影間隔…撮影する間隔を「0.1秒、0.5秒、1.0秒、2.0秒」から選択します。

枚数…撮影する枚数（005～108枚の3桁）を入力します。
最大撮影枚数はサイズによって変わります。画像サイズがフルスクリーン（480×854または854×480）の場合は005～027枚の3桁の入力となります。

2 設定が終わったら CLR ▶ CLR

連続撮影画面に戻ります。

サブメニュー

❖ 連続撮影確認画面（P.239）

1件選択、全選択…囲み枠のある静止画またはすべての静止画に☑を表示して選択状態にします。

1件解除、全解除…囲み枠のある静止画またはすべての静止画の☑が消えて選択状態を解除します。

鏡像表示⇔正像表示…確認画面の画像を、鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

保存先…撮影した画像の保存先を設定します。

選択ファイル制限…☑を付けた静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.329

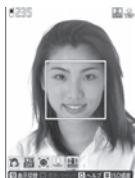
全ファイル制限…撮影したすべての静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.329

位置情報付加…P.233

取り消し…撮影した静止画をすべて削除して連続撮影画面に戻ります。

ビューティー撮影

人物の顔にメイクアップ効果（美肌、小顔、小鼻スリム、口角アップ、黒目強調、瞳キラメキ、アイシャドウ、アイライン、チーク、ハイライト、潤いリップ、歯ホワイトニング）をかけた写真を撮影できます（5人まで別々のメイクアップ効果をかけなおすことができます）。また、保存された画像にも、メイクアップ効果をかけることができます。

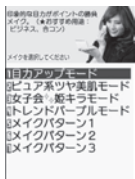
1 静止画撮影画面（P.235）▶ 1 ▶「ビューティー」

ビューティーモード撮影画面

2 カメラを被写体に向ける▶■［シャッター］

ビューティーモード撮影確認画面（サブメニュー→P.237）

3 撮影した画像を確認して■［確定］

■ 条件が合わなかったことを示すメッセージが表示された場合
▶「YES」を選択し、撮影をし直す

4 メイクパターンを選択する

ビューティーモードメイン画面（サブメニュー→P.241）

メイクパターンごとにメイクアップ効果がかかります、メイクアップパターンやメイクアップ効果（色、レベル、幅）は撮影したあとでも変更できます。

■ メイクアップ効果（色、レベル、幅）を表示する場合
▶📷［詳細］

5 人物の顔を⊡で選び、■［メイク］でメイクアップ効果をかけなおす

効果をかけることができる顔の四隅には、枠が表示されます。選択されている顔には緑色、選択されていない顔には白色の枠が表示されます。

メイクアップ顔選択画面

メイクアップ画面

メイクアップ詳細画面

左上画面：サブメニュー→P.242
右上画面：サブメニュー→P.242
左下画面：サブメニュー→P.242

■ 別の人物のメイクアップ効果をかけなおす、またはメイクアップ効果を確定する場合
▶📷［メイク完了］

■ メイクパターンをかけなおす場合
▶MENU［サブメニュー］▶「メイクパターン変更」▶メイクパターンを選択

■ メイクパターンを解除する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「メイクパターン解除」▶「YES」

■ メイクアップ効果のレベルをワンタッチで調整する場合
メイクアップ効果ボタンを押すたびに、「OFF→レベル1→レベル3→レベル5」の順に切り替わります。
- メイクアップ効果　（美肌）▶1
- メイクアップ効果　（小顔）▶2
- メイクアップ効果　（小鼻スリム）▶3
- メイクアップ効果　（口角アップ）▶4
- メイクアップ効果　（黒目強調）▶5
- メイクアップ効果　（瞳キラキラ）▶6
- メイクアップ効果　（アイシャドウ）▶7
- メイクアップ効果　（アイライン）▶8
- メイクアップ効果　（チーク）▶9
- メイクアップ効果　（ハイライト）▶*
- メイクアップ効果　（潤いリップ）▶0
- メイクアップ効果　（歯ホワイトニング）▶#

■ メイクアップ効果（色／レベル／幅）をかけなおす場合
▶✥で囲み枠を移動しメイクアップメニューを選択▶✥で色／レベル／幅を選択※▶✥で調整▶■［確定］
※ 幅はメイクアップ効果（アイシャドウ）のみで選択できます。

■ 選択されている顔の大きさを変更する場合
▶✉
✉を押すごとに「顔拡大」→「全画面」→「元のサイズ」に切り替わります。
※ サイズによっては表示されない項目があります。

■ 効果のかかっていない画像を表示する場合
▶i［元画像］

6 📷［完了］▶利用方法を選択

利用方法を選択後、撮影条件によっては、処理に時間がかかる場合があります。

iアプリで編集…メイクアップした静止画を「ソフト設定」の「マイピクチャから起動」で設定されたｉアプリを起動して編集します。

メール／ブログ…メイクアップした静止画をメールに添付したりブログに投稿します。
- **画像添付**…P.238
- **ブログ投稿**…P.238

ピクチャ貼付…メイクアップした静止画を待受画面などに設定します。

保存…メイクアップした静止画を保存し、ビューティーモードを終了します。

■ 撮影し直す場合
▶CLR▶「YES」

おしらせ

◆静止画によっては、効果をかけられない場合や効果に差が出る場合があります。

サブメニュー

❖ビューティーモードメイン画面（P.240）

タイトル編集…タイトルを編集します。

設定初期化※…変更したタイトルとメイクアップ効果（色、レベル、幅）をお買い上げ時の状態に戻します。

※ メイクパターンのタイトルもしくはメイクアップ効果が変更されているときのみ選択できます。

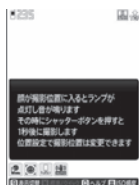
サブメニュー

❖メイクアップ顔選択画面（P.241）
❖メイクアップ画面（P.241）
❖メイクアップ詳細画面（P.241）

メイクパターン変更…メイクパターンをかけ直します。
メイクパターン保存※…メイクパターン1～3のいずれかに、現在選択している人物の顔の状態をお好みのメイクアップ効果として保存します。
メイクパターン詳細…メイクアップ効果（色、レベル、幅）を表示します。
メイクパターン解除…メイクパターンを解除します。
※ メイクアップ画面、メイクアップ詳細画面では選択できません。

自分撮り

カメラを使って撮影位置を自動で検出し、簡単に自分自身を撮影することができます。

1 📷▶1▶「自分撮り」

自分撮り撮影画面

■ 顔の撮影位置を変更する場合
▶📷［位置設定］▶顔の位置を指定▶■［選択］
位置設定が太枠で表示されます。撮影したい顔の位置を✥で移動し、選択してください。
※ 枠内に表示された数字のダイヤルボタンを押して位置を選択することもできます。

位置設定画面

設定した位置が自分撮りの撮影位置となり、自動検出されます。

2 **カメラを自分に向ける▶ランプが点灯し、アシスト音が鳴っている状態で■［シャッター］**
顔が枠内に入ると点滅していたランプが点灯してアシスト音が鳴り、シャッターボタンを押した1秒後に撮影します。
・アシスト音とは、1 秒間隔で鳴る音のことです。

自分撮り撮影確認画面（サブメニュー→P.237）

3 **■［保存］**

おしらせ
◆「アートフォトモード」、「顔登録（アルバム用）」からも起動することができます。
◆自分撮りは、「動画撮影」では利用できません。

パノラマ撮影

FOMA端末を横方向に動かし、連続して画像を取り込むことにより、1枚のパノラマ写真を自動的に作成できます。
●撮影中にFOMA端末が上下にぶれると、パノラマ写真の上下が狭くなったり、歪みが出ることがあります。
●動いているものはうまく撮影できないことがあります。
●被写体が単純な模様だったり、模様がない場合などは撮影に失敗する場合があります。

1 📷▶1▶「パノラマ」

パノラマ撮影画面

2 ■［シャッター］

パノラマ撮影中画面

パノラマ撮影が開始されます。パノラマ撮影したい範囲でFOMA端末を左右どちらか一方に動かしてください。緑色の線を撮影ガイダンスにあわせて、できるだけ水平に動かします。
FOMA端末を移動させる速度は、画面に「GOOD」が表示されるように動かしてください。速い場合は「FAST」が表示され、正確なパノラマ撮影ができません。
保存可能容量に達した場合は、自動的に撮影が終了し、パノラマ撮影確認画面が表示されます。

3 ■［終了］

パノラマ撮影確認画面（サブメニュー→P.237）

■ 撮影し直す場合
▶CLR

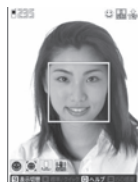
■ 撮影した画像を拡大表示する場合
▶📷［Zoom］
📷［＋］／MENU［－］を押すたびに1段階ずつ拡大／縮小します。
i［等倍］を押すと画像を等倍表示します。

4 ■［保存］

スマイルモード撮影

カメラが笑顔を検出して、自動でシャッターを切ります。

●シャッターが切れる笑顔のレベル（スマイルレベル）を設定できます。→P.233

1 📷▶1▶「スマイル」

スマイルモード撮影画面

2 カメラを被写体に向ける▶■［スマイル］

フォーカス枠があたっている人物が笑顔になるとシャッターが自動的に切れます。笑顔の検出中は☺が点滅します。

スマイルモード撮影確認画面（サブメニュー→P.237）

■ 撮影し直す場合
▶CLR

■ 笑顔の検出を中断する場合
▶📷［中止］

■ 笑顔が検出される前に撮影する場合
▶■［シャッター］

3 ■［保存］

おしらせ

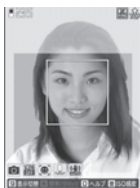
◆フォーカス枠が表示されずにシャッターが切れる場合があります。

アートフォトモード

アート風な画像加工（インスタントカメラ、ミニチュア、デカ鼻、ふんわり、モノクロ、セピア）した静止画が撮影できます。撮影後やマイピクチャ内の静止画などからも画像編集のｉアプリを使って手書き風の画像を入れるなど、いろいろな楽しみかたができます。

1 MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「カメラ」▶「アートフォトモード」

アートフォトモードメイン画面

2 画像効果を選択

アートフォトモード撮影画面

3 カメラを被写体に向ける▶■［シャッター］

アートフォトモード撮影確認画面（サブメニュー→P.237）

4 撮影した画像を確認して■［確定］

5 ■［確定］▶利用方法を選択

iアプリで編集…撮影した静止画を「ソフト設定」の「マイピクチャから起動」で設定されたｉアプリを起動して編集します

メール／ブログ…撮影した静止画をメールに添付したりブログに投稿します。

- **画像添付**…P.238
- **ブログ投稿**…P.238

ピクチャ貼付…撮影した静止画を待受画面などに設定します。

保存…撮影した静止画を保存します。

■ 撮影し直す場合

▶CLR▶「YES」

顔登録機能の利用

あらかじめFOMA端末に顔画像を登録すると、端末内のJPEG形式画像に対して登録した顔画像を検索することができます。

- 顔画像は、最大10件登録できます。
- 登録した顔画像を利用して、パーソナルアルバムに設定することができます。→P.337

撮影した顔画像を登録する

1 MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「カメラ」▶「顔登録（アルバム用）」

アルバムテーマ一覧画面

2 「未登録」を選択▶i［顔設定］▶「カメラで撮影」を選択

■ マイピクチャの画像から選択する場合

▶「マイピクチャから選択」

3 カメラを被写体に向ける▶■［シャッター］▶■［確定］▶■［確定］▶■［選択］▶名前を入力▶📷［完了］

撮影した画像に名前を登録します（最大全角16文字）。

登録した名前はあとで編集することができます。

■ マイピクチャから選択した場合

▶登録したい画像を選択▶■［確定］▶■［選択］▶名前を入力▶📷［完了］

■ 複数の顔を検出した場合（顔選択モード）

▶✉［前枠］またはi［次枠］で登録したい人物の顔にフォーカス枠（緑枠）を移動▶■［確定］▶■［選択］▶名前を入力▶📷［完了］

おしらせ

◆登録データ1件につき、顔画像は最大3枚登録できます。

◆アルバムテーマ一覧画面の各アイコンは変更できません。

◆顔の状態によっては検出できない場合があります。→P.337

● 登録した顔画像を削除する

1 アルバムテーマ一覧画面（P.244）▶MENU［サブメニュー］▶「解除」▶「1件解除」または「全解除」

おしらせ

◆アルバムテーマ一覧画面のサムネイル画像は、アルバムテーマ詳細画面にて、最後に📷［完了］を選択した画像が表示されます。
◆顔登録の画面（アルバムテーマ一覧画面など）は縦画面表示となり、横画面表示にはできません。

登録した画像を表示する

1 MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「カメラ」▶「顔登録（アルバム用）」

アルバムテーマ一覧画面が表示されます。

2 ◯でアルバムテーマを反転し、■［選択］を押す

画像が複数登録されている場合、◯で画像を切り替えることができます。

■ 登録した画像を変更する場合

アルバムテーマ一覧画面（P.244）▶変更したいアルバムテーマを反転▶■［選択］▶i［顔設定］▶「YES」▶画像の登録方法を選択▶新しいアルバムテーマを登録

動画撮影

●「サイズ」を「HD」に設定した場合、FOMA端末を左へ90度傾けて、「TOP」が上を向いた状態で撮影してください。
●「ファイルサイズ」を「無制限」に設定した場合、撮影後microSDカードに自動で保存されます。撮影した動画を確認する場合は、データBOXからデータを選択し確認してください。→P.340
●撮影時間は撮影条件によって異なります。
●通話中は動画撮影できません。
●以下の設定で撮影することで、動画再生に対応したすべてのFOMA端末で再生できます。

機能	設定
サイズ	QCIF（176×144）
画質／音質	標準、高品質
ファイルサイズ	500KB

1

動画撮影画面

2 カメラを被写体に向ける▶■［録画開始］

撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。

動画撮影中画面

■ 撮影を一時停止する場合

▶📷［●/II］
撮影を再開する場合は📷［●/II］を押します。

■ ファイルサイズで設定した容量になった場合

▶「OK」

3 ■［録画終了］

動画撮影確認画面（サブメニュー→P.246）

■ 撮影した動画を再生して確認する場合

▶📷［再生］

■ 撮影し直す場合

▶CLR

4 ■［保存］

おしらせ

◆動画撮影中は、送話口／マイクを指などで覆わないようにご注意ください。撮影時の音の大きさや周囲

の環境によっては、音質が悪くなる場合があります。
◆動画撮影中にズーム調節などのボタン操作を行ったときの音や、ストラップなどが触れたときの音が録音される場合があります。

サブメニュー

❖動画撮影確認画面（P.245）

再生…撮影した動画を再生します。
グリッド表示…グリッドの表示を「ON、OFF」から選択します。
保存…撮影した動画を「保存先」で設定したフォルダに保存します。
メール作成…撮影した動画を添付したｉモードメールを作成します。→P.152、238
動画撮影確認画面で[✉][✉/Blog]を押しても動画を添付したｉモードメールの作成、ブログ投稿用のメールを作成することができます。
また、撮影した動画は「保存先」で設定したフォルダに保存されます。
待受画面設定…撮影した動画を待受画面に設定します。
保存先…P.234
ファイル制限…撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.329
タイトル編集…タイトルを編集します。
取り消し…撮影した動画を削除して動画撮影画面に戻ります。

おしらせ
<待受画面設定>
◆待受画面に設定する動画は、「保存先」で「microSD」に設定している場合も、本体のｉモーション・ムービーのカメラフォルダに保存されます（microSDカードには保存されません）。

スローモーション撮影

動きの速い被写体を確認したいときなどに利用します。再生はスローモーションになります。
●FOMA端末を左へ90度傾けて、「TOP」が上を向いた状態で撮影してください。

1 **動画撮影画面（P.245）▶[1]▶「スピードムービー」**

2 **カメラを被写体に向ける▶[■][録画開始]**
撮影が開始されます。

■ **撮影を一時中止する場合**
▶[📷][●/II]
撮影を再開する場合は[📷][●/II]を押します。

■ **ファイルサイズで設定した容量になった場合**
▶「OK」

3 **[■][録画終了]**

■ **撮影した動画を再生して確認する場合**
▶[📷][再生]

■ **撮影し直す場合**
▶[CLR]

4 **[■][保存]**

撮影時の設定

ズームやセルフタイマーの設定などを行います。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像の大きさを調節します。
●ズームはデジタルズームです。
●本機能はスピードムービーでは利用できません。

1 **各撮影画面▶[⊡]でズームを調節**
[⊡]を押すたびに1段階ずつ変化し、1秒以上押すと連続的に変化します。

■ズームの画像サイズ別最大倍率

サイズ	静止画撮影※1	動画撮影※2
オートリサイズ	手ブレ補正ON：約5.0倍 手ブレ補正OFF：約16.0倍	－
8M	手ブレ補正ON：約1.0倍 手ブレ補正OFF：約3.1倍	
5M	手ブレ補正ON：約1.2倍 手ブレ補正OFF：約3.8倍	
2M※3	手ブレ補正OFF：約1.0倍	
フルHD	手ブレ補正ON：約1.6倍 手ブレ補正OFF：約5.5倍	

<table>
<tr><th>サイズ</th><th>静止画撮影※1</th><th>動画撮影※2</th></tr>
<tr><td>HD</td><td>－</td><td>手ブレ補正ON：約1.1倍
手ブレ補正OFF：約3.1倍</td></tr>
<tr><td>フルスクリーン</td><td>手ブレ補正ON：約3.6倍
手ブレ補正OFF：約12.1倍／約1.8倍※4</td><td rowspan="3">－</td></tr>
<tr><td>パノラマ</td><td>縦画面表示
手ブレ補正ON：約1.4倍
手ブレ補正OFF：約6.2倍
横画面表示
手ブレ補正ON：約2.0倍
手ブレ補正OFF：約8.2倍</td></tr>
<tr><td>VGA縦</td><td rowspan="2">手ブレ補正ON：約5.0倍
手ブレ補正OFF：約16.0倍</td></tr>
<tr><td>VGA</td><td rowspan="2">縦画面表示
手ブレ補正ON：約1.4倍
手ブレ補正OFF：約6.2倍
横画面表示
手ブレ補正ON：約2.0倍
手ブレ補正OFF：約8.2倍</td></tr>
<tr><td>ワイド</td><td>－</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>サイズ</th><th>静止画撮影※1</th><th>動画撮影※2</th></tr>
<tr><td>480×480※5</td><td>手ブレ補正ON：約5.0倍
手ブレ補正OFF：約16.0倍</td><td rowspan="2">－</td></tr>
<tr><td>QVGA縦</td><td rowspan="3">手ブレ補正ON：約9.8倍
手ブレ補正OFF：約32.0倍</td></tr>
<tr><td>QVGA</td><td>縦画面表示
手ブレ補正ON：約2.9倍
手ブレ補正OFF：約12.1倍
横画面表示
手ブレ補正ON：約3.8倍
手ブレ補正OFF：約16.0倍</td></tr>
<tr><td>240×240※5</td><td rowspan="2">－</td></tr>
<tr><td>QCIF縦</td><td rowspan="2">手ブレ補正ON：約16.0倍
手ブレ補正OFF：約32.0倍</td></tr>
<tr><td>QCIF</td><td>縦画面表示
手ブレ補正ON：約5.0倍
手ブレ補正OFF：約23.2倍
横画面表示
手ブレ補正ON：約6.2倍
手ブレ補正OFF：約23.2倍</td></tr>
</table>

※1 最大51段階調整
※2 最大50段階調整
※3 手ブレ補正オートはありません。
※4 ISO感度が高感度または超高感度のときのみとなります。
※5 iアプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

セルフタイマーを使う

- 撮影終了後、セルフタイマーは「OFF」に戻ります。

1 各撮影画面▶8▶「セルフタイマー」▶「ON」▶セルフタイマーの時間（01～15秒の2桁）を入力

● セルフタイマーを設定すると

ディスプレイに「　」が表示され、セルフタイマーが設定されていることを示します。

■を押して撮影を開始すると、セルフタイマーの開始音が鳴ってセルフタイマーが動作をはじめます。撮影認識ランプが青色で点滅し、ディスプレイの「」も点滅します。
撮影される約5秒前からカウント音が鳴り、点滅が速くなります。

■セルフタイマーの設定を解除する場合
▶8▶「セルフタイマー」▶「OFF」

■タイマーの動作を止める場合
▶［中止］またはCLR

おしらせ
◆セルフタイマーのカウント中に■を押して手動で撮影することもできます。
◆自分撮り、スマイルでは、セルフタイマーを利用できません。
◆ピントをあわせたい被写体が画面の中央ではない場合、オートフォーカスロック（P.235）を使ってあらかじめ被写体にピントをあわせて、セルフタイマー撮影を行ってください。

撮影時にほかの静止画や動画の確認

撮影時にメディアスビューアを起動して、保存済みの静止画や動画を確認することができます。
●メディアスビューアについて→P.333
●ビューティー、アートフォトモードでは利用できません。

1 各撮影画面▶［再生］

バーコードリーダー

カメラを利用しJANコード、QRコードを読み取ります。とくにQRコードの場合、読み取りデータからPhone To/AV Phone To、Mail To、Web To、iアプリTo、Bookmark登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピーを行うことができます。また、画像やメロディ、トルカのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。
●読み取りデータは5件まで登録できます。
●FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
●バーコードを読み取るときは、カメラをバーコードから約10cm離してください。

■JANコード、QRコードについて
●JANコードとは
太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）および13桁（JAN13）のバーコードを読み取ることができます。
※ 下記のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。

●QRコードとは
縦・横方向の模様で数字、英字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディ、トルカを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。
※ 下記のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コードを読み取る

1 MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「カメラ」▶「バーコードリーダー」
以下の手順でも、バーコードリーダーの起動ができます。
・MENU▶「便利ツール」▶「バーコードリーダー」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合
▶MENU［サブメニュー］▶「デスクトップ貼付」

2 バーコードを認識範囲に表示
自動的に読み取りが開始されます。
認識範囲は画面の四隅に“┌、┐、└、┘”で示されます。
ピントが合った状態で、バーコード全体が認識範囲の中にできるだけ大きく入るようにします。

読み取り画面
読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴ります。
読み取りに時間がかかる場合があります。

■ 読み取りを中止する場合
▶■［中止］▶「OK」

■ ズームを調節する場合
：拡大されます。

[icon]：標準に戻ります。

■ 複数のQRコードに分かれているデータを読み取る場合

▶「OK」▶[■]［読取］▶QRコードを認識範囲に表示
最大16枚に分割された複数のQRコードを読み取ることができます。

3 読み取ったデータを確認

■ 読み取ったデータを破棄する場合

▶CLR▶「YES」

4 MENU［サブメニュー］▶「登録」▶「YES」▶「OK」

読み取ったデータが保存されます。

おしらせ

◆JANコード、QRコード以外のバーコードは読み取れません。また、バーコードのサイズによっては、読み取れない場合があります。
◆傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては正しく認識できない場合があります。
◆マナーモード設定中または、「着信音量」の「FOMA電話」が「消去」の場合は、読み取り完了音は鳴りません。
◆文字編集画面からバーコードリーダーを起動することができます。→P.434
このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。
◆読み取った画像の画像サイズ、ファイルサイズによっては、保存できないことがあります。
◆読み取ったデータをmicroSDカードに登録することはできません。

読み取りデータ

●利用できる読み取りデータは、以下のとおりです。

項目	説明
電話帳登録	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.94
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたｉモードメールを作成→P.152
Bookmark登録	URLとタイトル名をBookmarkに登録→P.203
ｉアプリ起動	指定されているｉアプリを起動→P.297
メロディのアイコン	そのメロディを再生→P.352
電話番号	Phone To／AV Phone To機能→P.213
トルカのアイコン	そのトルカを表示→P.307
メールアドレス	Mail To機能→P.213
URL	Web To機能→P.213
画像	その画像を登録→P.208

1 読み取り画面（P.248）▶MENU［サブメニュー］▶「読み取りデータ一覧」▶読み取りデータを選択▶表示されている項目を選択

■ 読み取りデータの一覧／詳細画面

読み取りデータ一覧画面

読み取りデータ詳細画面

左画面：サブメニュー→P.249
右画面：サブメニュー→P.249

おしらせ

◆読み取りデータにバーコードリーダーで扱えない文字が含まれている場合、その文字はスペース（空白）に変換されます。
◆読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
・タイトル：yyyymmdd_hhmm_xxxx（年月日_時刻_4桁の数字）
同じ時刻で複数保存したときは、4桁の数字が登録した順に増えます。

サブメニュー

❖読み取りデータ一覧画面（P.249）

タイトル編集…タイトルを編集します。
結果表示…読み取りデータ詳細画面を表示します。
1件削除、全削除…読み取りデータを削除します。

サブメニュー

❖読み取りデータ詳細画面（P.249）

登録…読み取りデータを登録します。
一覧表示…読み取りデータ一覧画面を表示します。

表示しているデータが未登録の場合、データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

Internet…URLを反転している場合、そのURLのサイトに接続します。

Web To機能→P.213

メール作成…「メール作成」を反転している場合、読み取りデータが入力されたｉモードメールを作成します。→P.152

メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスが宛先に入力されたｉモードメールを作成します。

電話発信…電話番号を反転している場合、その電話番号に電話をかけます。

Phone To／AV Phone To機能→P.213

電話帳登録…「電話帳登録」を反転している場合、読み取りデータを電話帳に登録します。→P.94

電話番号を反転している場合、その電話番号を電話帳に登録します。メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスを電話帳に登録します。

Bookmark登録…「Bookmark登録」を反転している場合、読み取りデータをBookmarkに登録します。→P.203

URLを反転している場合、そのURLをBookmarkに登録します。

画像保存…画像をデータBOXのマイピクチャに保存します。

待受画面などに設定する場合は、フォルダを選択したあとに「YES」を選択します。

メロディ保存…メロディをデータBOXのメロディに保存します。

着信音などに設定する場合は、フォルダを選択したあとに「YES」を選択します。

トルカ保存…トルカをおサイフケータイのトルカに保存します。

ｉアプリ起動…「ｉアプリ起動」を反転している場合、読み取りデータで指定されているｉアプリを起動します。→P.297

コピー…読み取った文字をコピーし、文字入力（編集）画面などに貼り付けることができます。→P.436

おしらせ

<Internet><Bookmark登録>

◆URLに使用できない文字が含まれている場合、Web To機能の利用やBookmark登録はできません。

<メール作成>

◆宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

<電話発信>

◆テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

ワンセグ

ワンセグ 252
チャンネル設定 253
ワンセグ視聴 254
Gガイド番組表リモコンの利用 258
データ放送 258
テレビリンク 259
視聴中のワンセグ録画 259
ワンセグの視聴／録画予約 260
ワンセグ設定 262

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/
ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

● ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は、映像・音声と共に放送波で表示される「データ放送」と、データ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイト（ｉモードサイト等を含む）に接続し表示する「データ放送サイト」の2種類があります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
  また、サイトを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- ワンセグの視聴中に自動的にトルカを保存する場合があります。保存したトルカから詳細情報を取得する場合は、パケット通信料がかかります。

● 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

● 電池残量について

電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとすると、起動するかどうかの確認画面が表示されます。
また、視聴中や録画中に電池残量が少なくなると、電池残量警告音が鳴り、視聴または録画を終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「電池少量時録画設定」が「録画を継続する」に設定されている場合、録画中に電池残量警告音は鳴りません。
- 確認画面で約1分間何も操作しないと、自動的にワンセグが終了します。

● はじめてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、はじめてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
内容を確認して■［OK］を押し、「YES」を選択します。
「NO」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

● 放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。
放送用保存領域を消去するには→P.263
別のドコモUIMカードに差し替えた場合やドコモUIMカード未挿入の場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「NO」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■放送用保存領域の読み出し時の画面表示

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。「YES」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、「YES（以後確認しない）」を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

ワンセグをご利用になる前に

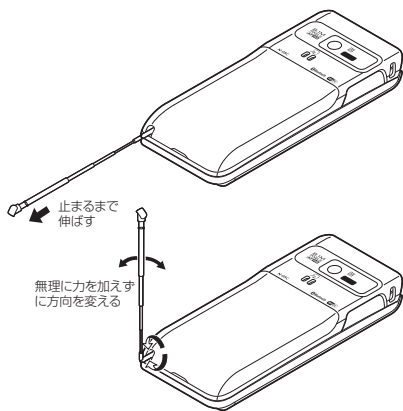
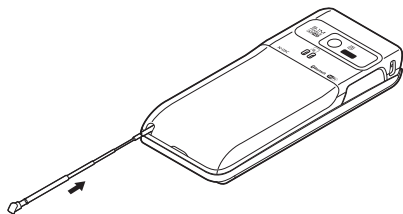
● ワンセグの視聴手順

ステップ1　チャンネル設定→P.253
ご使用になる地域に対応したチャンネルリストを登録し、使用するチャンネルリストを設定します。

⬇

ステップ2　ワンセグの視聴→P.254
ワンセグアンテナを伸ばし、ワンセグを起動します。

■ワンセグアンテナについて

● ワンセグアンテナの向きを変える際は、無理に力を加えないでください。

● ワンセグアンテナを収納するには、ワンセグアンテナの下の方を持って止まるまで押し入れます。

■視聴中や録画中に着信などがあったときは

視聴中や録画中に以下の動作が発生した場合は、映像と音声は中断し、各機能が動作します（録画は中断されません）。
各機能終了後は視聴を再開できます。

- 音声電話着信
- テレビ電話着信
- エリアメール受信
- アラーム、スケジュール、視聴予約の通知（「アラーム通知設定」が「通知優先」のとき）

おしらせ

◆充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。
◆ワンセグを視聴しないときは、ワンセグアンテナを収納してください。
◆海外ではワンセグは利用できません。

お願い

● FOMA端末の故障・修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が端末内に保存された情報（ワンセグで録画した静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など）は移し替えできません。

チャンネル設定

ワンセグを利用するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを選択しておく必要があります。地域別にチャンネルリストを登録しておくと、チャンネルリストを選択するだけでその地域の放送局を視聴できます。

● チャンネルリストは10件まで登録でき、チャンネルリスト1件につき、放送局を50件まで登録できます。
● 受信できる放送局は地域によって異なります。

チャンネルリストの登録

1 **MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「チャンネル設定」▶「地域選択」**

■ 放送局を自動で検索してチャンネルリストを登録する場合

▶「自動チャンネル設定」▶「YES」▶「YES」▶タイトルを入力
検索を途中で中止する場合は［📷］［中止］または［CLR］を押して「YES」を選択します。

- 自動チャンネル設定を行う際はワンセグアンテナを伸ばしてください。

2 **地域を選択▶都道府県を選択▶「YES」**

おしらせ

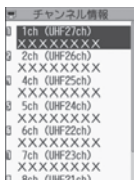
◆地域によっては「地域選択」では放送局が正しく登録できない場合があります。その場合は「自動チャンネル設定」で放送局を検索してください。
◆「自動チャンネル設定」は地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内の、放送電波を受信できる場所で行ってください。
◆「自動チャンネル設定」時にリモコン番号が重複している旨のメッセージが表示されることがあります。このようなときは、手動で地域を選択してください。

使用するチャンネルリストの選択

チャンネルリストを選択して、受信する放送局を設定します。

1 MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「チャンネルリスト選択」

チャンネルリスト選択画面（サブメニュー→P.254）

2 チャンネルリストを選択

チャンネル情報画面（サブメニュー→P.254）

■ チャンネル情報を表示する場合
▶ 📷［詳細］

サブメニュー

❖チャンネルリスト選択画面（P.254）

チャンネル設定…P.253
タイトル編集…タイトルを編集します。
削除…選択したチャンネル設定を削除します。

サブメニュー

❖チャンネル情報画面（P.254）

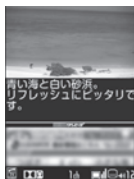
リモコン番号設定…リモコン番号に設定されている放送局を変更します。
削除※…設定した放送局を削除します。
※ チャンネルリスト内の放送局をすべて削除した場合は、チャンネルリストも削除されます。

おしらせ

◆現在設定しているチャンネルリストは、チャンネルリスト選択画面またはチャンネル情報画面で削除できません。ほかのチャンネルリストに変更してから削除してください。

ワンセグ視聴

1 MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「ワンセグ視聴」

前回視聴していたチャンネルでワンセグ視聴画面が表示されます。

ワンセグ視聴画面（サブメニュー→P.256）

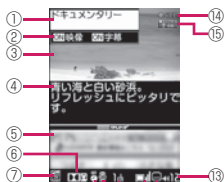
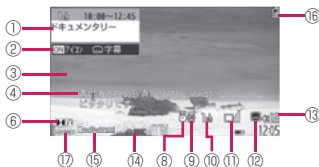
- タッチメニューからもワンセグを起動できます。→P.255
- 視聴を終了するときは ━ を押して「ワンセグ終了」を選択します。「BGMへ遷移」を選択するとBGM再生になります。
- はじめてワンセグを起動した場合は、免責事項の確認画面が表示されます。→P.252

おしらせ

◆Gガイド番組表リモコンやサイト、メールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使ってワンセグを起動することもできます。
Media To機能→P.213
◆市販のBluetooth機器を利用して、ワンセグの音声をBluetooth機器から再生できます。→P.424
◆開閉状態によって電波の受信状態が異なる場合があります。

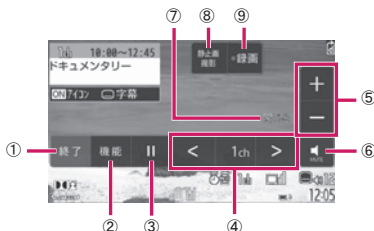
ワンセグ視聴画面の見かた

縦画面表示

横全画面表示

① 番組タイトル
② 画面表示
③ 映像
④ 字幕
⑤ データ放送
⑥ ワンセグ効果（Dolby Mobile）→P.262
　：Dolby Mobile ON
⑦ 映像／データ放送切替→P.258
　：映像モード
　：データ放送モード
⑧ オフタイマー→P.257
⑨ ワンセグecoモード→P.263
　：ワンセグecoモード設定中
⑩ チャンネル（リモコン番号）
⑪ 放送電波の受信レベル（目安）

放送圏外の場合は が表示されます。
⑫ 字幕受信
字幕情報を受信しているときは が表示されます。
⑬ 音量
⑭ 録画状態表示
　REC：ビデオ録画中
　REC：予約録画中
　PAUSE（赤色）：録画一時停止
タイムシフト再生状態表示
　PAUSE（緑色）：一時停止
　PLAY：通常速度再生
　1.3：1.3倍速再生
　FF：2倍速再生
⑮ ガイド表示
　キャプチャ（長押:録画）／キャプチャ（長押:録画）：静止画保存、録画開始（1秒以上）
　録画終了／録画終了：録画終了
⑯ 横全画面で視聴中、データ放送が更新された場合に、画面に が表示されることがあります。
⑰ 音響効果適用
「AUDYSSEY」は番組や端末の設定によらず表示されます。

● タッチ操作画面の見かた

● 任意の場所をタッチすることでタッチ操作画面が表示されます。
● 「タッチパネルの操作」→P.40

① 終了／戻る
② 機能
以下の機能が利用できます。
「Dolby Mobile」、「字幕」、「なめらかワンセグ」、「映像効果」、「お風呂モード」→P.262
番組表※：Gガイド番組表リモコンを起動→P.258
③ 一時停止
視聴を一時中断します。タイムシフト再生（P.257）のパレットが表示され、以下の機能が利用できます。
「機能」：②の機能を利用できます。
「視聴」：ワンセグ視聴に戻ります。
「 」：蓄積されたワンセグデータの先頭からタイムシフト再生を開始します。
「 」：タイムシフト再生を開始します。
「1.3」／「FF」／「Normal」：再生速度（1.3倍速／2倍速／通常速度）を選択します。
④ チャンネル
チャンネル表示のアイコンをタッチすると、選局のパレットが表示され、ワンタッチ選局ができます。「 < 」、「 > 」をタッチすると、順送り選局ができます。
⑤ 音量（＋、－）
⑥ 消音（ミュート）
⑦ 閉じる
⑧ 静止画撮影→P.235
⑨ ビデオ録画開始→P.245
※ ダウンロードした番組表ｉアプリを設定することもできます。

おしらせ

◆タッチ操作画面では、字幕は表示されません。

<ワンセグ効果>

◆「Dolby Mobile」を「ON」に設定した場合、ステレオイヤホンマイク（別売）などを接続して視聴したときのみ音響効果が加わります。また、Bluetooth機器を接続して視聴したときも音響効果が加わります。

ワンセグ視聴中の操作

データ放送モードでは利用できないボタン操作もあります。

操作ボタン	動作
[横]	順送り選局※1
[0]～[9] [*][#]	ワンタッチ選局※1 リモコン番号が1～12に設定されている放送局は、ダイヤルボタンを押して選局できます。
[横]（1秒以上）	チャンネルサーチ※1 受信可能な放送局を周波数順に検索します。[カメラ]または[CLR]を押すと検索を中止します。
[縦]（映像モード）	音量調節
[CLR]	消音（ミュート）※1
[■]	一時停止中は、再生（タイムシフト再生開始）※1／視聴（タイムシフト再生終了）※1 通常のワンセグ視聴中は、静止画録画※1 （ビデオ録画中は、ビデオ録画終了※1）
[■]（1秒以上）	ビデオ録画開始※1
[カメラ]	一時停止※1 全画面／半画面※2
[カメラ]（1秒以上）	番組情報を表示
[ペン]	番組情報表示／画面表示切替（縦画面表示のみ） 押すたびに「データ放送全画面表示」→「映像＋データ放送画面」→「映像拡大＋データ放送画面」→「映像＋字幕＋データ放送」の順で画面が切り替わります。 横全画面では押すたびに、「アイコンON／字幕ON（字幕下）」→「アイコンON／字幕ON（字幕上）」→「アイコンON／字幕OFF」→「アイコンOFF／字幕ON（字幕下）」→「アイコンOFF／字幕ON（字幕上）」→「アイコンOFF／字幕OFF」の順で画面が切り替わります。
[メール]	映像／データ放送切替（縦画面表示のみ）
[i]	Gガイド番組表リモコンを起動※3
[i]（1秒以上）	縦画面表示と横全画面表示の切り替え※4

※1 映像モードでのみ操作できます。

※2 データ放送モードで、縦画面表示でのみ操作できます。押すたびに「画面表示切替」が「データ放送全画面表示」⇔「映像＋データ放送画面」／「映像拡大＋データ放送画面」／「映像＋字幕＋データ放送」で切り替わります。

※3 ダウンロードした番組表ｉアプリを設定することもできます。

※4「画面縦横自動切替」（P.122）を「OFF」に設定しているときのみ操作できます。

おしらせ

◆番組によっては字幕が表示されない場合があります。

◆横全画面表示ではデータ放送を表示できません。

◆場所を移動したときなどにチャンネルサーチで選局を行うと、自動チャンネル設定で登録できなかった放送局が見つかる場合があります。見つかった放送局を「チャンネル追加登録」で登録すると、次回から視聴できます。

◆チャンネルサーチで受信した放送局は自動ではチャンネルリストに追加されません。

サブメニュー

❖ワンセグ視聴画面（P.254）

ワンセグ効果…P.262

番組情報表示…視聴している番組の番組名やチャンネル名、開始時刻、終了時刻などを表示します。

番組表表示…Gガイド番組表リモコンを起動します。→P.258

チャンネル表示／操作…以下の項目を表示／設定します。

- **チャンネル情報**…選択しているチャンネルリストの詳細画面を表示します。
- **チャンネルリスト選択**…P.254
- **チャンネル設定**…P.253
- **チャンネル追加登録**…現在視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録します。
- **サービス選局**…同じ放送局で複数のサービス（番組）が放送されているときに、どのサービスを視聴するかを選択します。

データ放送操作…以下の項目を表示／設定します。

- **データ放送へ戻る**…データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送へ戻ります。
- **コンテンツ再読み込み**…表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。
- **証明書表示**…SSL／TLS通信で使用している証明書を確認します。→P.197
- **画像表示設定**…データ放送サイトの画像を表示するかどうかを設定します。
- **効果音設定**…データ放送、データ放送サイトの効果音を鳴らすかどうかを設定します。
- **放送トルカ取得設定**…P.310
- **確認表示設定リセット**…データ放送の確認画面で「YES（以後確認しない）」を選択すると、それ以降は確認画面が表示されなくなります。本設定を行うと、確認画面が再度表示されるようになります。

テレビリンクリスト…テレビリンク一覧画面を表示します。→P.259

メール作成…視聴中にｉモードメールを作成します。→P.258

各種設定…以下の項目を設定します。

- **表示／操作設定**…以下の項目を表示／設定します。

  画面表示切替：「映像＋データ放送、映像拡大＋データ放送、映像＋字幕＋データ放送、データ放送」から選択します。データ放送のみを表示中でもワンセグの音声は流れます。

  映像／データ放送切替：縦画面表示で視聴中に、映像とデータ放送を切り替えます。

  アイコン常時表示設定：横全画面表示（P.255）で、番組タイトル以外のアイコンを常時表示するかどうかを設定します。

  タイムシフト再生設定：→P.262（ユーザ設定の項目）

  明るさ設定：自動調整をするかどうかを選択し、画面の明るさを「レベル1～6」から選択します。

- **音声設定**…以下の項目について設定します。

  主／副音声設定：音声の出力方法を「主音声、副音声、主／副同時」から選択します。「主／副同時」を選択すると、両方の同時出力になります。

  音声切替：音声を切り替えます。切り替えできる音声があるときのみ操作できます。

- **ワンセグecoモード**…P.263（ユーザ設定の項目）
- **オフタイマー**…設定した時間が経過すると、視聴や録画（予約録画を除く）を終了するかどうかの確認画面を表示します。

デスクトップ貼付…P.124

ボタン操作ガイド…ボタン操作の説明を表示します。

おしらせ

<画像表示設定>

◆本機能の設定を変更した場合は、「ｉモードブラウザ設定」の「画像表示設定」も変更されます。

<画面表示切替>

◆「映像＋データ放送」、「映像＋字幕＋データ放送」のテレビ映像は縦横比16：9、「映像拡大＋データ放送」のテレビ映像は縦横比4：3で表示します。

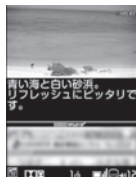
視聴中にタイムシフト再生

ワンセグの視聴を一時中断しても、後追いで再生することができます。

- ワンセグ視聴を自分で中断したとき、およびワンセグ視聴中に音声電話やテレビ電話を着信したときに、タイムシフト再生ができます。
- タイムシフト再生設定を「オートOFF」に設定しているときに音声電話やテレビ電話を着信した場合は、タイムシフト再生ができません。

1 ワンセグ視聴画面（P.254）▶📷［一時停止］

ワンセグが一時停止します。

2 ワンセグを再開できる状態になったら■［再生］

タイムシフト再生画面

■ **蓄積されたワンセグデータの先頭からタイムシフト再生を開始する場合**

▶□

■ 再生速度を切り替えたい場合

▶[早送り]
押すたびに1.3倍速→2倍速→通常速度の順に切り替わります。

■ タイムシフト再生を終了する場合

▶通常速度でタイムシフト再生中に[■]［視聴］
通常のワンセグ視聴に戻ります。

おしらせ

◆ワンセグデータは最大約1分間蓄積され、1分を超えると古いデータから順に上書きされます。
1分以上一時停止してからタイムシフト再生を開始した場合は、一時停止した場面からではなく、蓄積されたワンセグデータの先頭から再生されます。
◆タイムシフト再生設定を「オートON」に設定している場合は、タイムシフト再生中に音声電話やテレビ電話を着信すると、再生は一時停止されます。
◆ワンセグの一時停止中およびタイムシフト再生中はチャンネルを切り替えることができません。
◆1.3倍速または2倍速でタイムシフト再生した場合、現在放送中の場面に追いつくと、タイムシフト再生を終了して通常のワンセグ視聴に戻ります。
◆1.3倍速または2倍速でのタイムシフト再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

視聴中にｉモードメールの送信

「お勧めメール作成」で、Media To機能に対応したFOMA端末へｉモードメールを送信した場合、受信側ではMedia To機能を利用して、お勧めメールで指定した番組を起動できます。

1 ワンセグ視聴画面（P.254）▶[MENU][サブメニュー]▶「メール作成」

■ 新規のｉモードメールを作成する場合

▶「新規メール作成」▶ｉモードメールを作成して送信する→P.152

■ 視聴中のチャンネル情報が本文に入力されたｉモードメールを作成する場合

▶「お勧めメール作成」▶「ｉモードメール作成／送信」→P.152

Gガイド番組表リモコンの利用

Gガイド番組表リモコンを利用して、番組表からワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約を行ったりします。→P.288

1 [MENU]▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「番組表」

番組表が表示されます。

■ 番組を視聴する場合

▶番組を反転▶[i]［ワンセグ］
ワンセグを利用するかどうかの確認画面が表示された場合は、内容を確認して[■]［OK］を押し、「YES」を選択します。「NO」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

おしらせ

◆ダウンロードした番組表ｉアプリを利用する場合は、ｉアプリのソフト一覧画面のソフト設定「番組表ボタン設定」（P.283）で変更します。
◆ダウンロードした番組表ｉアプリは、2in1のBモードでは利用できない場合があります。

データ放送

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。番組と連動したサイトなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。
項目（リンク先）を選択することで、Phone To、Mail To機能などを利用できます。→P.213

1 ワンセグ視聴画面（映像モード）（P.254）▶[✉]［TV／データ］

データ放送モードに切り替わり、「[データ]」が表示されます。再度[✉]を押すと映像モードに戻ります。

■ データ放送のみを表示する場合

▶[📷]［全画面］
※ 縦画面表示でのみ操作できます。

2 項目（リンク先）を選択

ｉモード接続するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後確認しない）」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。
・サイト表示中の操作について→P.197

おしらせ

◆データ放送モード中もワンセグの音声は流れます。
◆データ放送、データ放送サイトでの文字入力時は、絵文字は入力できません。
◆データ放送の確認画面で「YES（以後確認しない）」を選択している場合は、自動的にデータ放送の情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。
◆データ放送またはデータ放送サイトの受信時に、自動的にトルカを取得する場合があります。→P.310

テレビリンク

データ放送、データ放送サイトによっては、サイトやメモ情報をテレビリンクに登録できます。よく利用するサイトやメモ情報をテレビリンクに登録しておくと、簡単に表示することができます。

- テレビリンクは、映像+データ放送でのみ利用できます。

テレビリンクの登録

- テレビリンクは50件まで登録できます。

1 MENU▶「カメラ/TV/MUSIC」▶「ワンセグ」▶「ワンセグ視聴」▶✉［TV/データ］▶テレビリンク登録可能な項目を選択

テレビリンクを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後確認しない）」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

■ 選択したURLやメモ情報がすでに登録されている場合

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「YES」を選択します。

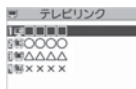
おしらせ

◆テレビリンクに登録したURLやメモ情報はワンセグからの操作でのみ利用できます。iモードブラウザやフルブラウザでは利用できません。

◆リンク先によっては有効期限が設定されているものもあります。

テレビリンクからサイトやメモ情報の表示

1 MENU▶「カメラ/TV/MUSIC」▶「ワンセグ」▶「テレビリンク」▶テレビリンクを選択

iモード接続するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。

テレビリンク一覧画面（サブメニュー→P.259）

■ 有効期限が切れたテレビリンクの場合

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

● テレビリンク一覧のアイコンについて

アイコン	種別
[icon]	メモ情報
[icon]	データ放送サイト
[icon]	iモードコンテンツ
[icon]	フルブラウザコンテンツ

- データ放送サイトに接続しても、映像・字幕は表示されません。

サブメニュー

❖テレビリンク一覧画面（P.259）

詳細表示…テレビリンクのタイトル、URL、概要、コンテンツ種別、有効期限を表示します。

登録件数確認…登録件数を確認します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

視聴中のワンセグ録画

視聴中の番組をビデオまたは静止画として保存します。

- 番組によっては著作権などの制限により録画できない場合があります。
- タイムシフト再生中はワンセグを録画できません。

ビデオの録画

録画したビデオはmicroSDカードに保存されます。FOMA端末には保存できません。

- 放送電波の受信レベルが [icon] のときはビデオ録画できません。
- 録画したビデオは、データBOXのワンセグフォルダ内のビデオフォルダに保存されます。
- 録画したビデオを再生するには→P.347

1 ワンセグ視聴画面（P.254）▶■［キャプチャ（録画開始）］（1秒以上）

録画が開始されます。

- 録画中はチャンネルを変えられません。

2 ■［停止］

録画が終了し、ビデオが保存されます。

- 保存領域がいっぱいになると、自動的に録画を終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

■保存件数と録画時間の目安

	最大保存件数※1	最大録画時間（合計）※2
microSDカード	99件	約640分※3

※1 データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。
※2 放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※3 2GバイトのmicroSDカードの場合の目安です。

おしらせ

◆録画中に電波状況が になったときは、録画は継続されますが、その間の映像・音声は保存されません（録画一時停止）。
◆録画中にマルチタスクで画面を切り替えた場合や着信があった場合でも、録画は中断されません。
◆録画中に録画予約スケジュールの開始時刻1分前になると、アラーム音が約2秒間鳴ります。その後、録画予約スケジュール登録時の「録画動作設定」の設定に応じて、以下のように動作します。
- 「録画優先」に設定した場合は、確認メッセージが表示されたあと、ビデオ録画を終了して、予約録画を開始します。
- 「操作優先」に設定している場合は、予約録画を開始するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、ビデオ録画を終了して、予約録画が開始されます。「NO」を選択すると、ビデオ録画を継続します。

◆録画データによっては、保存領域に若干の空きがあっても、自動的に録画を終了する場合があります。
◆保存されたビデオのファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
ファイル名：PRGXXX（XXXは英数字）
タイトル名：YYYY/MM/DD hh:mm
（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
◆録画したビデオは待受画面や着信音、着信画面などには設定できません。また、iモードメールへの添付や赤外線送信／iC送信、本体へのコピーや移動はできません。
◆ワンセグには、「録画不可（コピーネバー）」「1回だけ録画可能（コピーワンス）」「録画制限なし（コピーフリー）」というコピー制御信号が加えられています。コピー制御信号は、それぞれの放送局が設定します。
◆コピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」の番組は録画できません。また、録画中にコピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」に変更された場合は、録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

静止画の保存

録画した静止画はデータBOXのワンセグフォルダ内のイメージフォルダに保存されます。
- microSDカードには保存できません。
- 放送電波の受信レベルが のときは静止画録画できません。
- 録画した静止画を表示するには→P.326

1 **ワンセグ視聴画面（P.254）▶■**
静止画が保存されます。

おしらせ

◆保存された静止画のファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
ファイル名：YYYYMMDDhhmmXXX
タイトル名：YYYY/MM/DD hh:mm
（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、X：数字）
◆録画した静止画は待受画面や着信画面などには設定できません。また、iモードメールへの添付や赤外線送信／iC送信、microSDへのコピーや移動はできません。
◆字幕やデータ放送は静止画録画できません。

ワンセグの視聴／録画予約

ワンセグの視聴予約・録画予約を行います。設定した日時にアラームで番組や録画の開始をお知らせします。
- 視聴予約・録画予約のアラーム通知について→P.402
- 視聴予約、録画予約はそれぞれ100件まで登録できます。
- 番組表iアプリやサイト、メールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使って視聴予約・録画予約を登録することもできます。
Media To機能→P.213

<例：録画予約を登録する場合>

1 **MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「録画予約リスト」**

録画予約リスト一覧画面（サブメニュー→P.262）

■ 視聴予約を登録する場合
▶「視聴予約リスト」

2 [カメラ]［新規］

■ 視聴予約、録画予約を編集する場合
▶[MENU]［サブメニュー］▶「編集」

■ 録画予約で保存容量を確認する場合
▶[i]［保存容量］

3 以下の項目から選択

チャンネル…チャンネルを選択します。

番組名編集…番組名を入力します。

日時設定（開始・終了）※1…録画（視聴）を開始・終了する日付、時刻を入力します。

- **直接入力**…月日と時刻を入力します。
- **カレンダーから入力**…カレンダーで月日を選択し、時刻を入力します。

繰り返し…録画（視聴）予約の繰り返しを「設定なし、毎日、曜日指定」から選択します。

アラーム通知※2…視聴予約日時になったときのアラーム通知を「通知する、事前通知する（15秒前〜10分前）、通知しない」から選択します。

アラーム音選択※2…視聴予約日時になったときのアラーム音を時刻アラーム音やメロディ、iモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。

アラーム音設定※3…録画予約日時になったときにアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。

アラーム音量…[上下]でアラーム音量を設定します。

連携起動設定※2…予約アラーム通知の画面からのワンセグ起動を「自動連携する、手動連携する、連携しない」から選択します。

自動電源ON※2…電源を切っているときに予約アラーム通知時刻になった場合、自動的に電源をONにして予約アラーム通知するかどうかを設定します。

ワンセグ音量※2…「連携起動設定」によりワンセグが自動的に起動した時の音量を設定します。

オフタイマー※2…「連携起動設定」によりワンセグが自動的に起動したあと、設定した時間が経過すると視聴を終了するように設定できます。

マナーモード優先※2…マナーモード設定中にアラーム通知する場合、アラーム音量をマナーモードの音量にするかどうかを設定します。

録画動作設定※3…ワンセグ／ミュージックグループ（ワンセグ、データBOX［ワンセグ］、ミュージック、Music&Videoチャネル）を操作中に開始日時になったときの動作を設定します。

- **録画優先**…操作中の機能を中断・終了して録画を開始します。
- **操作優先**…録画を開始するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、操作中の機能を中断・終了して録画を開始します。

上書き録画設定※3…録画予約を繰り返す設定にしたときに、前回の録画のビデオに上書きするかどうかを設定します。

※1 視聴予約のときは「開始日時設定」を設定します。
※2 視聴予約のときのみ設定します。
※3 録画予約のときのみ設定します。

4 [カメラ]［完了］

録画予約を登録するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後確認しない）」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

● 視聴予約／録画予約を設定したら

■視聴予約

① 視聴予約日時になると、アラーム通知します。※1
② いずれかのボタンを押して、アラームを止めます。
③ [■]［起動］を押して「YES」を選択すると、設定していたチャンネルでワンセグが起動します。※2
④ 視聴を終了するときは、[終話]を押して「ワンセグ終了」を選択します。

※1「アラーム通知」を「事前通知する」に設定していると、設定した時間から視聴予約日時までアラーム通知します。「通知する」に設定した場合は、約5分間アラーム通知します。
※2「連携起動設定」を「自動連携する」に設定している場合は、自動でワンセグが起動します。「連携しない」に設定している場合は、アラーム通知後、手動でワンセグを起動します。

■録画予約

① 録画予約日時の1分前になると、約2秒間アラーム通知します。
② ディスプレイ上部に「[アイコン]」が表示され、録画開始時刻になると「[アイコン]」の表示に変わり、自動的に録画を開始します。
※ [■]［停止］を押して「YES」を選択すると、録画を手動で停止できます。
③ 録画予約終了日時になると、自動的にワンセグが終了し、デスクトップに「[REC 終了]」が表示されます。

④「REC 終了」を選択すると、録画結果を表示します（最大20件）、録画結果を選択すると、録画した番組が再生されます。

● 過去の予約録画の録画結果を表示する

① ▶MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「予約録画結果」
② 予約録画結果を選択

■ビデオを再生する場合
▶■［再生］

■予約録画結果を削除する場合
▶📷［全削除］▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

<視聴予約>
◆同じ日時に予約アラーム通知を行う視聴予約を複数登録した場合は、開始日時の早い視聴予約の通知が優先されます。開始日時も同じ場合は、アラーム通知の早い視聴予約が優先されます。

<録画予約>
◆録画時間が重複する録画予約は登録できません。
◆開始日時の約1分前に、FOMA端末が以下の状態にあると録画できませんのでご注意ください。
- 電源OFF時
- ダイヤルロック中／おまかせロック中
- 赤外線／ｉＣ／Bluetooth通信中
- ソフトウェア更新中
- メモリリフレッシュの実行中

◆以下のような場合は、設定した開始日時になっても録画できないことがあります。
- 放送電波を受信できない場合
- 放送電波の受信が不安定な場合
- 映像が提供されていない場合
- 録画先の空きデータ容量が足りない場合
- microSDカードがFOMA端末に取り付けられていない場合

◆録画予約による録画中はワンセグの音声は流れません。ただし、CLRを押すか音量調整を行うと音声が流れます。

サブメニュー

❖視聴予約リスト一覧画面
❖録画予約リスト一覧画面（P.260）

●視聴予約リスト詳細画面／録画予約リスト詳細画面でも同じ項目が表示されます。
新規登録…視聴予約・録画予約を登録します。
編集…登録した視聴予約・録画予約を編集します。
ソート…開始日時順／番組名順（昇順）／番組名順（降順）／登録順（昇順）／登録順（降順）で予約リストを並び替えます。
削除…「1件削除、過去削除、選択削除、全削除」から選択します。
- 「過去削除」を選択すると、開始日時が現在の日付、時刻より前に設定されている視聴予約・録画予約を削除します。ただし、繰り返し設定された予約は削除されません。

保存容量確認※…保存容量（目安）を確認します。
※ 録画予約リスト一覧画面でのみ利用できます。

ワンセグ設定

1 MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「ユーザ設定」

2 以下の項目から選択

表示設定…以下の項目を設定します。
- **字幕表示設定**…字幕の表示方法を「ON、OFF」から選択します。
- **横画面字幕位置設定**…横全画面表示（P.255）の字幕表示位置を「上部に表示、下部に表示」から選択します。
- **アイコン常時表示設定**…横全画面表示（P.255）で、番組タイトル以外のアイコンを常時表示するかどうかを設定します。

ワンセグ効果…以下の項目を設定します。
- **Dolby Mobile**…音響効果を設定します。
- **映像効果**…視聴する番組にあわせて、映像効果を設定します。
- **なめらかワンセグ**…なめらかな映像表示にするかどうかを設定します。
- **お風呂モード**※…お風呂で聞きとりやすい音にするための設定をします。

タイムシフト再生設定…電話の着信などがあった場合に、自動的にワンセグ視聴を一時停止（タイムシフト再生開始）にするかどうかを設定します。
- **オートON**…タイムシフト再生を行います。「視聴中にタイムシフト再生」→P.257
- **オートOFF**…通常再生を行います。

照明設定…視聴中のディスプレイの照明について設定します。
- **常時点灯**…常時点灯します。
- **時間設定**…点灯する時間（01～30分）を設定します。

電池少量時録画設定…録画中に電池残量が少なくなったときに、録画を継続するかどうかを設定します。
- **録画を継続する**…確認画面は表示されず、録画を継続します。
- **録画を終了する**…録画を終了するかどうかの確認画面が表示されます。

データ放送設定…以下の項目を設定します。

- **画像表示設定**…データ放送サイトの画像を表示するかどうかを設定します。
- **効果音設定**…データ放送、データ放送サイトの効果音を鳴らすかどうかを設定します。
- **確認表示設定リセット**…データ放送の確認画面で「YES（以後確認しない）」を選択すると、それ以降は確認画面が表示されなくなります。本設定を行うと、確認画面が再度表示されるようになります。

ワンセグecoモード…以下の設定を固定して電池の消費を抑えるワンセグecoモードを設定します。

- ワンセグ効果：すべてOFF
- バックライト輝度：ワンセグ eco モード用設定

「YES」を選択すると、ワンセグecoモード用の設定／解除が切り替わります。

ワンセグecoモードを解除すると、設定内容は元に戻ります。

チャンネル設定初期化…チャンネルリストをすべて削除します。

放送用保存領域消去…放送保存領域の放送局の情報を消去します。

■**選んでいる系列放送局の情報のみ削除する場合**

▶削除したい系列放送局を選んで MENU ［サブメニュー］▶「削除」▶「1件削除」▶「YES」

■**すべての系列放送局の情報を削除する場合**

▶ MENU ［サブメニュー］▶「削除」▶「全削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

TV設定リセット…「ユーザ設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

TV設定確認…ユーザ設定の各設定内容を確認します。

※ ワンセグ視聴画面、ビデオ再生画面のサブメニューでのみ利用できます。

おしらせ

＜ワンセグ効果＞

◆「Dolby Mobile」を「ON」に設定した場合、ステレオイヤホンマイク（別売）などを接続して視聴したときのみ音響効果が加わります。また、Bluetooth機器を接続して視聴したときも音響効果が加わります。

◆「なめらかワンセグ」を「ON」に設定していても、「映像効果」が「OFF」のときは効果がありません。

◆「お風呂モード」は、本体スピーカから音を鳴らす場合のみ有効です。

◆ワンセグを終了すると、「お風呂モード」の設定は「OFF」になります。

＜アイコン常時表示設定＞

◆「OFF」に設定していても、電波の状態が悪くなった場合は、アイコンが表示される場合があります。

＜画像表示設定＞

◆本機能の設定を変更した場合は、「ｉモードブラウザ設定」の「画像表示設定」も変更されます。
ただし、ｉモードブラウザとワンセグを同時に起動している際は以下の制限があります。

- 表タスクがワンセグの場合は「画像表示設定」を実行できません。
- 表タスクがｉモードブラウザの場合は、ｉモードブラウザ設定で「画像表示設定」を変更したあと、ワンセグに切り替えると設定は変更されますが、表示中のページには反映されません。ページを更新すると、設定が反映されます。

＜確認表示設定リセット＞

◆ワンセグ起動時の確認画面（P.252）は初期化されません。

Music

■Music&Videoチャネル
Music&Videoチャネル……266
番組設定……266
番組の再生／操作……268
■ミュージック
着うたフル®の取得……269
曲の再生……270
microSDカードリーダー／ライターでWMAデータを登録……272
Windows Media PlayerでWMAデータを登録……272
SD-Audioの利用……273
■ミュージックプレーヤー
ミュージックプレーヤー……274
プレイリストの利用……277

音楽データの取り扱いについて

- 本書では着うたフル®とWMA（Windows Media Audio）データ、SD-Audioデータをあわせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAデータや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAデータは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、機種変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合、変更前に保存したWMAデータは再生できなくなることがあります。
  上記の場合、FOMA端末で「Windows Media Player」を使って登録したWMAデータをすべて削除してから必要なWMAデータをパソコンから転送してください。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAデータとして保存できない場合については、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

Music&Videoチャネル

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大2時間程度までの音声番組が自動配信されるサービスです。また、最大1時間程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約および、ｉモードパケット定額サービスのご契約が必要です）。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にドコモUIMカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

- Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます（バックグラウンド再生）。ただし、動画番組ではできません。
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

番組設定

利用したい番組を事前に設定し、夜間に番組データを自動的に取得します。

1 MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「Music&Videoチャネル」

Music&Videoチャネル画面（サブメニュー→P.267）

2 「番組設定」▶画面の指示に従って番組を設定する

詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

◆一度に設定できる番組の数は2つです。

◆番組を設定するときは、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録（P.193）が必要な場合もあります。

◆Music&Videoチャネルをご契約されていない場合は、Music&Videoチャネル未契約のお知らせが表示されます。

● 番組の設定内容を確認・解除する

1 Music&Videoチャネル画面（P.266）▶「番組設定」▶画面の指示に従って操作する

詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

◆番組の設定を解除してもマイメニューは削除されません。

番組を設定すると

- 番組取得を開始する12時間前に、待受画面に「」が表示されます。

- 番組取得は夜間に自動的に行われ、成功すると「Music&Videoチャネル更新」のデスクトップアイコン「更新」が表示されます。
番組取得に失敗した場合、「Music&Videoチャネル更新失敗」のデスクトップアイコン「失敗」が表示されます。この場合、番組を手動で取得することができます。→P.267

おしらせ

- ◆番組取得中に通信が途切れた場合は、3分間隔で5回まで、自動的に再取得を行います。
- ◆配信番組フォルダに保存できる番組は2番組までです。新しい番組が取得されると配信番組フォルダへ上書きされるため、以前取得された番組は削除され、再生できなくなります。削除したくない番組は、データBOXのMusic&Videoチャネルの保存番組フォルダかmicroSDカードに移動してください。→P.268
- ◆取得した番組をコピーすることはできません。
- ◆番組取得には時間がかかる場合がありますので、十分に充電をして電波状況のよい環境でお使いください。
- ◆番組取得に失敗する原因として、「圏外」「電源が入っていない」「電池残量が少ない」「マルチタスクやマルチアクセスの組み合わせ」などがあります。これらの原因によって番組の取得ができなかった場合は、翌日の夜間に再度番組の取得を行います。ただし、番組取得の途中で中断したときは、再取得が行われないことがあります。
- ◆番組を設定したときと異なるドコモUIMカードを挿入した場合や端末初期化を行った場合は、番組を自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面から、再度番組を設定してください。
- ◆すでに番組を設定しているFOMA端末のドコモUIMカードを別のMusic&Videoチャネル対応のFOMA端末に差し替えた場合、番組は自動で取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度「番組設定」を選択すると、FOMA端末の番組設定が自動的に更新され、番組を自動で取得することができます。
- ◆Music&Video チャネルや i モードの解約を行うと、配信番組フォルダの番組データが削除される場合があります。

● Music&Videoチャネル画面のアイコンの見かた

アイコン	説明
	通常の番組
	放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組
	データが壊れている番組
	ダウンロードが失敗した場合
	未再生の番組

: 部分的に取得した番組
: 再生制限付きの番組（再生回数・期間・期限を過ぎると「(白色)」が「(赤色)」になります）
: チャプター戻し、チャプター送り、巻戻し、早送りが禁止されている番組
: 更新を取得できなかった番組

● 番組を手動で取得する

番組の取得に失敗した場合は、番組を手動で取得します。

1 Music&Videoチャネル画面（P.266）▶番組を選択▶「はい」

おしらせ

- ◆「Music&Video チャネル更新失敗」のデスクトップアイコンは、Music&Videoチャネル画面を一度表示すると消えます。デスクトップアイコンが消えても、取得に失敗した番組がある場合は手動で取得できます。
- ◆番組の取得が中断された場合でも、中断されるまで部分的に取得した番組は保存されます。残りの番組の取得は、一部時間帯を除きお客様の操作によって再開できます。
- ◆再生制限が切れた番組は、再取得できません。次回配信日までは更新ができません。
- ◆ご利用になる時間帯によっては、手動での番組取得ができない場合があります。

サブメニュー

❖Music&Videoチャネル画面（P.266）

❖番組一覧画面（P.269）

チャプター一覧…各チャプターのタイトル名、アーティスト名、再生時間を一覧で表示します。
チャプターを選択すると、選択したチャプターが再生されます。※1
「チャプター一覧について」→P.268

再生モード変更…番組をチャプター順に1回再生するか、繰り返し再生するかを設定します。

番組情報…番組のタイトル、再生回数、再生期限、再生期間などを表示します。
番組移動※2※3…移動先のフォルダを選択し、番組をデータBOXのMusic&Videoチャネルの保存番組フォルダやmicroSDカードに移動します。
microSDへ移動※4…番組をmicroSDカードの「移行可能コンテンツ」フォルダに移動します。
編集※5…取得したタイトルを編集します。
- **タイトル編集**…タイトルを編集します。
- **タイトル初期化**…変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

デスクトップ貼付※6…P.124
サイト接続…番組にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。
画像表示※5※7…番組に登録されている画像を表示します。
保存容量確認※5…保存容量（目安）を確認します。
番組削除※6…番組を削除します。
1件削除※8…番組を1件のみ削除します。
削除※4…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 すべてのデータを取得していないチャプターは選択できません。
※2 番組一覧画面では、配信番組フォルダのときのみ利用できます。
※3 部分的に取得した番組や放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組、再生期限の切れた番組は移動できません。また、番組によってはmicroSDカードに移動できない番組もあります。
※4 データBOXのMusic&Videoチャネルの保存番組フォルダでのみ利用できます。
※5 番組一覧画面でのみ利用できます。
※6 Music&Videoチャネル画面でのみ利用できます。
※7 登録されている画像がGIF形式のアニメーションの場合は、1コマ目しか再生されません。なお、番組画像を保存することはできません。
※8 番組一覧画面の配信番組フォルダでのみ利用できます。

おしらせ

<番組削除><削除>
◆番組を削除しても、番組設定は解除されません。

● チャプター一覧について

Music&Videoチャネル画面のサブメニューで「チャプター一覧」を選択すると、番組のチャプターが一覧で表示されます。

チャプター一覧画面（サブメニュー→P.268）

サブメニュー

❖ チャプター一覧画面（P.268）

チャプター情報…チャプターのタイトル、再生時間などを表示します。

番組の再生／操作

1 Music&Videoチャネル画面（P.266）▶番組を選択

番組の再生がはじまります。
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.275
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作」→P.275

おしらせ

◆イヤホンなどを接続しているときは、「イヤホン切替設定」の設定にかかわらず、イヤホンからのみ音が聞こえます。
◆前回途中で再生を終了した番組を選択した場合は、終了したときに再生していたチャプターの先頭から再生されます。
◆再生制限付きの番組もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある番組は、タイトルの先頭に「」が表示されます。再生できる期間が制限されている番組は、期間前や期間後には再生できません。また、約30秒以上電池パックを外した状態が続くと、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている番組については、再生することができません。

● 放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組の再生

番組を再生するときに、放送波で流れている内容と同期を取り、放送波と同じ内容を再生することができます。
- 番組はあらかじめ取得しておく必要があります。
- 番組を再生する方法は、通常番組と同様ですが、再生可能な時間以外には再生できません。

おしらせ

◆再生時間は、自動時刻補正された端末内の時計と同期しているため、本FOMA端末で日付・時刻を手動で変更した場合でも、再生可能な時間は変更されません。
◆部分的に取得した番組は再生できません。

データBOXの番組再生

1 MENU▶「データBOX」▶「Music&Videoチャネル」▶フォルダを選択▶番組を選択

番組の再生がはじまります。
「番組一覧画面の見かた」→P.269

■ microSDカードの番組を再生する場合
▶✉［microSD］

■ Music&Videoチャネルの一覧画面

フォルダ一覧画面

番組一覧画面（プレビュー表示）

左画面：サブメニュー→P.374
右画面：サブメニュー→P.267

番組一覧画面の見かた

●番組一覧画面のアイコンについて→P.267

プレビュー表示　タイトル一覧

着うたフル®の取得

●着うたフル®はFOMA端末に最大3,500件保存できます。ただし、ほかの画像やｉモーションなどとの合計件数のため、実際に保存できる件数は少なくなります。

1 ｉモードやフルブラウザで表示したサイトやインターネットホームページ画面▶着うたフル®を選択

データの取得が完了すると、ダウンロード完了画面が表示されます。

ダウンロード完了画面

■ 取得を中止する場合
▶CLR

■ 取得した着うたフル®を再生する場合
▶「再生」
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.275
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作」→P.275

■ 着うたフル®の情報を表示する場合
▶「情報表示」

2「保存」▶「YES」

■ データの一部のみ保存できる場合
電波状況により取得が中断された場合や取得を中止した場合は、ダウンロード完了画面に「部分保存」というメニューが表示されることがあります。このようなときは、取得した部分のみを保存することができます。

■ 保存を中止する場合
▶「NO」

3 保存先のフォルダを選択

おしらせ

◆再生制限付きの着うたフル®もあります。再生できる期間が制限されている着うたフル®は、期間前や期間後には再生できません。
◆約30秒以上電池パックを外した状態が続くと、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている着うたフル®については、再生することができません。
◆5Mバイトを超える着うたフル®やサイズが不明の着うたフル®は取得できません。

● 部分的に取得した着うたフル®の残りのデータを取得する

部分的に取得した着うたフル®を保存先から選択すると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、サイトに接続し、残りのデータを取得します。
すべてのデータを取得して保存すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。

- データの取得状態は、楽曲一覧画面のアイコン表示で識別できます。→P.271
- 部分的に取得した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません（うた・ホーダイの楽曲を除く）。また、取得操作を行う際に、部分的に保存されていたデータを削除できます。
- 通信モード設定や利用プロファイルによっては、データの取得ができない場合があります。

● うた・ホーダイの楽曲の再生制限を更新する

再生制限切れの更新可能なうた・ホーダイの楽曲があるフォルダやプレイリストの曲を再生すると、再生期限の更新が必要である旨のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、サイトに接続し、再生制限を更新します（パケット通信料有料）。「NO」を選択すると、音楽データを利用できません。
再生制限を更新可能なうた・ホーダイの楽曲が複数ある場合は、更新が必要な音楽配信サイトが選択されます。

- うた・ホーダイは、お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な音楽データです。再生期限は音楽データとともにダウンロードされるライセンス情報により指定されます。再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。ライセンス情報には、再生期限とともに再生猶予期間が指定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生できますが、再生猶予期間を過ぎると、ファイルの再生ができません。
  また、再生期限の更新を行っていない状態で楽曲ダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はｉモードパケット定額サービスの適用対象外です。
- 再生制限の状態は、楽曲一覧画面のアイコン表示で識別できます。→P.271
- 再生制限の更新はサイトに接続して行いますので、パケット通信（課金）が発生します。
- ドコモUIMカードを差し替えて使用する場合は、端末初期化することをおすすめします。
- 通信モード設定や利用プロファイルによっては、再生制限の更新ができない場合があります。

おしらせ

◆着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイの楽曲が再生不可能になった場合は、デモ再生や着信時、アラーム鳴動時にお買い上げ時の音が鳴ります。
◆海外で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

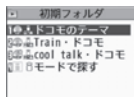
曲の再生

- プレイリストに楽曲を登録して、お好みの楽曲をお好みの順序で再生することもできます。→P.277

1 MENU▶「データBOX」▶「ミュージック」

フォルダ一覧画面（サブメニュー→P.374）

2 フォルダを選択

「楽曲一覧の見かた」→P.271

楽曲一覧画面（サブメニュー→P.271）

■ ｉモードで楽曲を検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

■ microSDカードの曲を再生する場合
▶✉［microSD］

3 楽曲を反転▶📷［デモ］

楽曲の再生がはじまります。
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.275
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作」→P.275

■ 部分的に取得した着うたフル®の場合
残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、残りのデータを取得します。→P.270

おしらせ

◆イヤホンを接続しているときは、マナーモード設定中でもイヤホンからは音が聞こえます。マナーモード設定中にイヤホンを抜くと、ミュート状態でスピーカ再生を行います。

◆再生制限付きの楽曲もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある楽曲は、ファイル種別アイコンに「🕘」が表示されます。再生できる期間が制限されている楽曲は、期間前や期間後には再生できません。

楽曲一覧の見かた

タイトル　　タイトル+画像

■ファイル種別アイコン

アイコン	説明
※1	本体またはmicroSDカードに保存されている楽曲 (楽曲保存時と同ドコモUIMカードを使用しているときのみ再生可、楽曲保存時と同機種、同ドコモUIMカードを使用しているときのみ再生可のどちらの場合も同じアイコンが表示されます。また、再生できない楽曲の場合も同じアイコンが表示されます。)
※1	着うたフル®形式の楽曲
WMA ※1※2	WMA形式の楽曲 (DRMで保護された楽曲や再生が不可能な楽曲の場合も同じアイコンが表示されます。)
※1※2	ファイル制限付きの楽曲
※1 ※2	再生制限付きの楽曲
※1 ※2	再生制限が切れた楽曲
※1 ※2	再生制限が更新可能な楽曲
※2	再生が不可能または再生制限が更新不可能な再生制限付きの楽曲
※2	部分的に取得した楽曲
※1※2	ドコモUIMカードセキュリティ機能に該当している楽曲

※1 MENU▶「カメラ/TV/MUSIC」▶「ミュージックプレーヤー」▶「全曲」/「プレイリスト」/「アーティスト」/「アルバム」/「ジャンル」内で楽曲を反転したとき、画面下部に表示されるアイコン
※2 MENU▶「データBOX」▶「ミュージック」▶「iモード」または「WMA(MTP)」または「MUSIC(microSD)」内で表示されるアイコン

サブメニュー

❖楽曲一覧画面(P.270)

●サブメニューに表示される項目は、選択したフォルダによって異なります。

着信音設定…P.106

- **まるごと着信音設定**…楽曲すべてを着信音に設定します。
- **オススメ着信音設定**…[操作キー]で着信音に設定する部分を指定し、楽曲の一部分だけを設定します。

ミュージック情報…ミュージックのファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。
MENU[サブメニュー]で「ミュージック情報編集」や「ミュージック情報初期化」をすることができます。

フォルダ移動…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、楽曲をほかのフォルダに移動します。

microSDへ移動…P.369

フォルダ追加…フォルダ名を入力してフォルダを追加します。

サイト接続…P.276

画像表示…楽曲のジャケット画像を表示します。ジャケット画像が複数枚あるときは、[操作キー]で画像を切り替えることができます。

保存容量確認…保存容量(目安)を確認します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

本体へ移動※…P.369

※ microSDカードに格納されている楽曲のときのみ利用できます。

おしらせ

<microSDへ移動>
◆着うたフル®の移動可否は「ミュージック情報」で確認できます。同じ機種間のみ移動可能な着うたフル®もあります。

microSDカードリーダー／ライターでWMAデータを登録

音楽CDや音楽配信サービスなどで入手したWMA（DRMなし）の音楽データ形式を、microSDカードに登録してFOMA端末で再生することができます。

- microSDカードリーダー／ライターで登録できるWMAデータは以下のとおりです。

ファイル形式	WMA（Windows Media Audio 9 Standard）
ビットレート	32～192kbps
DRM	なし
登録可能曲数	最大1,500曲
プレイリスト数	なし

- microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

1 以下のものを準備する

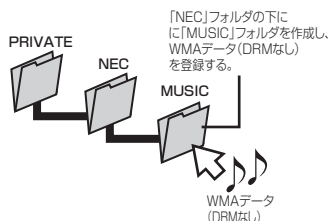
- パソコン
- microSDカードのリーダー／ライター※
- microSDカード

※ パソコンからmicroSDカードにデータを書き込むのに必要です。FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を使って、FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして使うこともできます。→P.372

2 パソコンにWMAデータ（DRMなし）を用意する

パソコンから「Windows Media Player」などを使い、音楽CDなどの音楽データをWMAデータ（DRMなし）に変換することもできます。

3 パソコンからWMAデータ（DRMなし）をmicroSDカードに登録する

microSDカードの以下のフォルダにWMAデータ（DRMなし）を登録してください。

ファイルを一括で取り込んで利用する方法もあります。→P.369

● パソコンでのWMAデータ（DRMなし）の登録時の注意点

- WMAデータ（DRMなし）は、microSDカードに、1,500件を超えて保存することができますが、FOMA端末では1,500件までしか認識できません。
- WMAデータ（DRMなし）のファイル名は、最大64バイト（拡張子含む）までの任意のファイル名を登録できます。64バイトを超えるとFOMA端末で認識できなくなります。
- 「MUSIC」フォルダの下に、2階層までフォルダを作成することができます（3階層以降のWMAデータ（DRMなし）はFOMA端末で認識されません）。ただし、FOMA端末ではフォルダは表示されず、WMA データ（DRMなし）が一覧で表示されます。

おしらせ

◆WMAデータ（DRMなし）は着信音に設定することはできません。

Windows Media PlayerでWMAデータを登録

「Windows Media Player」を使って、音楽CDの音楽データをWMAデータに変換してmicroSDカードに登録します。

- 「Windows Media Player」を使って登録したWMAデータの再生できるデータ形式、プレイリスト数、曲数は以下のとおりです。

ファイル形式	WMA9（Windows Media Audio 9 Standard）
ビットレート	32～192kbps
DRM	Windows Media DRM10 for Portable Devices/なし
登録可能曲数	最大1,000曲
プレイリスト数※	最大100件

※ 1件のプレイリストには250曲まで登録できます。
- Windows Media Player 10／11／12について Windows XPではWindows Media Player 10／11をご利用ください。Windows VistaではWindows Media Player 11をご利用ください。Windows 7ではWindows Media Player 12をご利用ください。また、操作方法についてはWindows Media Player 10／11／12のヘルプをご覧ください。
- microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

1 以下のものを準備する

- 「Windows Media Player」の動作環境を満たしたパソコン
- microSDカード
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）

2 [MENU]▶「本体設定」▶「外部接続」▶「USBモード」▶「MTPモード」

「MTPモード」に設定すると、「[icon]」が表示されます。

3 FOMA端末とパソコンを、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 02で接続する

MTPモード中にmicroSDカードが挿入され、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02が接続されている場合は、「[icon]」が表示されます。

4 パソコンから「Windows Media Player」を起動し、音楽CDなどの音楽データをWMA形式に変換する

「Windows Media Player」がFOMA端末を認識するまで時間がかかる場合があります。

5 パソコンからWMAデータをmicroSDカードに転送する

6 データ転送が終わったらFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を外す

7 FOMA端末のUSBモードを「通信モード」に戻す

おしらせ

◆WMAデータは着信音に設定することはできません。

◆ほかのFOMA端末でmicroSDカードに転送したWMAデータは、N-05Cで表示・再生されない場合があります。

◆ほかのFOMA端末でWMAデータを転送したmicroSDカードを使用すると、MTPモードに切り替えてもパソコンで認識されないことがあります。その場合には、FOMA端末でWMAのファイルをすべて削除する（P.271）か、microSDカードをフォーマット（P.371）してください。なお、microSDカードをフォーマットすると、音楽データ以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。

SD-Audioの利用

音楽CDの音楽データや音楽配信サービスなどで入手した音楽データを、SD-Jukeboxとパソコンなどを利用してmicroSDカードに登録すると、FOMA端末で再生できます。

- FOMA端末で再生できるデータ形式、プレイリスト数、曲数は以下のとおりです。

ファイル形式	MPEG2 AAC(LC)／MPEG2 AAC+SBR／ADTS Stream
ビットレート	16～192kbps
登録可能曲数	最大999曲
プレイリスト数※	最大100件（全曲リスト含む）

※ 1件のプレイリストには99曲まで登録できます（全曲リスト除く）。
- microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

> **SD-Jukeboxについて**
> SD-Jukeboxは下記のホームページより購入できます。
> http://club.panasonic.jp/mall/sense/open/
> SD-Jukeboxの対応OSはWindows XP、Windows Vista、Windows 7です。動作環境詳細は下記のホームページをご覧ください。
> http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

microSDカードにSD-Audioデータの登録

1 以下のものを準備する

- 「SD-Jukebox」の動作環境を満たしたパソコン※1
- 著作権保護機能対応のmicroSDカードのリーダー／ライター※2
- microSDカード

※1 あらかじめ「SD-Jukebox」をパソコンにインストールしておいてください。

※2 パソコンからmicroSDカードにデータを書き込むのに必要です。FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を使って、FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして使うこともできます。
→P.372

2 パソコンから「SD-Jukebox」を起動し、音楽CDなどの音楽データをAAC形式に変換する

「SD-Jukebox」の使用方法については、「SD-Jukebox」のヘルプをご覧ください。
変換済みの音楽データを書き込む場合は操作3へ進んでください。

3 「SD-Jukebox」を使ってSD-AudioデータをmicroSDカードに登録する

おしらせ

◆SD-Audioデータは着信音に設定することはできません。

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーでは、着うたフル®やMusic&Videoチャネルの番組、microSDカードに登録した楽曲を再生します。

- iモードサイトから取得した着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組、音楽CDから取り込んだ音楽データを再生することができます。
  「着うたフル®の取得」→P.269
  「番組設定」→P.266
  「microSDカードリーダー／ライターでWMAデータを登録」→P.272
  「Windows Media PlayerでWMAデータを登録」→P.272
  「SD-Audioの利用」→P.273
- ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続してステレオサウンドで音楽を楽しむことができます。ステレオイヤホンマイク 01などをFOMA端末に接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01（別売）を使用します。→P.544
- イヤホンを接続しているときは、「イヤホン切替設定」の設定にかかわらず、イヤホンからのみ音が聞こえます。
- 市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音楽を楽しむことができます。→P.424
- ミュージックプレーヤーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■BGM再生（バックグラウンド再生）について
ミュージックプレーヤーで音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます。→P.277

音楽データの再生

着うたフル®や音楽CDから取り込んだ音楽データを再生します。

1 MENU▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ミュージックプレーヤー」

2 「全曲」／「プレイリスト」／「アーティスト」／「アルバム」／「ジャンル」を選択

音楽データ一覧画面（サブメニュー→P.276）

3 再生するリストを選択▶楽曲を選択

楽曲の再生がはじまります。
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.275
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作」→P.275

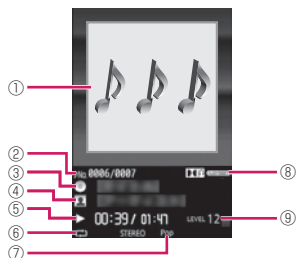
■ 状態表示アイコン
選択する音楽データの状態を示すアイコンが表示されます。

- ：FOMA端末に保存
- ：microSDに保存
- ：着うたフル®ファイル形式
- ：WMAファイル形式
- ：SD-Audioファイル形式
- ：ドコモUIMカード動作制限あり
- ：ファイル制限あり

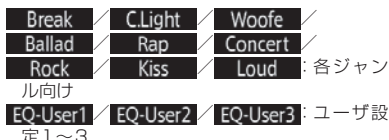
おしらせ

◆再生中（一時停止含む）の楽曲は、タイトルやアーティスト名の右側に「★」が表示されます。

ミュージックプレーヤー再生画面の見かた

ｉモーションのMusic&Videoチャネルの番組を横画面で再生した場合は、横全画面表示となります。
●ミュージックプレーヤー再生画面のサブメニュー→P.276

縦画面表示

横全画面表示

① 画像／動画
楽曲：ジャケット画像
Music&Videoチャネル：チャプター画像または番組動画
② トラック
楽曲：再生中のトラック番号／フォルダ内の全トラック数
Music&Videoチャネル：再生中のチャプター番号／全チャプター数
③ タイトル
楽曲：タイトル
Music&Videoチャネル：チャプタータイトルとアーティスト名
④ アーティスト名
楽曲：アーティスト名
Music&Videoチャネル：番組タイトル
⑤ 再生経過時間（分：秒）／全体の長さ（分：秒）
⑥ リピート状態
: ノーマル
: 1曲終了
: 1曲リピート
: 全曲リピート
: ランダム
: ランダムリピート
⑦ 音質（イコライザ）
EQ-OFF: イコライザOFF
Pop／Live／Vocal／Break／C.Light／Woofe／Ballad／Rap／Concert／Rock／Kiss／Loud: 各ジャンル向け
EQ-User1／EQ-User2／EQ-User3: ユーザ設定1～3
⑧ 音響効果適用
: Dolby Mobile
AUDYSSEY: Audyssey
「AUDYSSEY」は楽曲や端末の設定によらず表示され、「」はDolby MobileをONに設定しているときに表示されます。
⑨ 音量（レベル0～25）

おしらせ

◆音響効果は、ステレオイヤホンマイク（別売）などを接続して再生したときのみ有効です。また、Bluetooth機器を接続して再生したときも有効です。

ミュージックプレーヤー再生画面の操作

●楽曲、Music&Videoチャネルの番組や起動方法によっては、以下の操作で動作しない場合があります。

操作ボタン	動作
■	一時停止／再生を再開
	音量調節
	先頭から再生 先頭から3秒以内に押した場合は前の曲／チャプター／動画を再生※1
	次の曲／チャプター／動画を再生※1
（1秒以上）	スキップ戻し
（1秒以上）	スキップ送り
1 （3）	画像切替、歌詞切替
2	歌詞表示、画像表示、再生画面表示
	停止
	曲リストを表示※2
	BGM再生

※1 ランダム再生時は、フォルダまたはプレイリスト内の順序に関係なく、ランダムで再生します。
※2 Music&Videoチャネルの番組では、番組情報にURLが含まれる場合、Web To機能でサイトに接続します。

おしらせ

◆音量はレベル0～25まで設定でき、次回起動時も設定した音量で再生されます。
◆ミュージックプレーヤーで設定した音量は、「着信音量」の設定などには反映されません。
◆Music&Videoチャネルの番組で、再生操作に制限が設定されている（主に[◎]の操作）場合があります。
◆データによっては、巻戻し、早送りができません。

● ステレオイヤホン(別売)などを接続した場合

楽曲またはMusic&Videoチャネルの番組は、スイッチを使って以下の操作を行うことができます。

スイッチ操作	動作
1回	押すごとに再生・一時停止
再生中に連続2回	次の楽曲／チャプターを再生
再生中に連続3回	先頭から再生 先頭から3秒以内に操作した場合は前の楽曲／チャプターを再生

サブメニュー

❖ミュージックプレーヤー再生画面(P.275)

❖音楽データ一覧画面（P.274）

●再生中の楽曲によって、利用できない機能があります。

プレーヤーメニュー…プレーヤーメニューを表示します。

再生モード変更…再生するモードを変更します。

- **ノーマル**…プレイリストの楽曲を順にすべて再生して終了します。
- **1曲終了**…現在再生中の曲が終わったら停止します。
- **1曲リピート**…1曲を繰り返し再生します。
- **全曲リピート**…プレイリストの楽曲を順にすべてを繰り返し再生します。
- **ランダム**…プレイリストの楽曲をランダムにすべて再生して終了します。
- **ランダムリピート**…プレイリストの楽曲をランダムにすべてを繰り返し再生します。

サウンドエフェクト※1…音質、音響効果を設定します。

- **イコライザ**…音質を設定します。

■ ユーザ設定で好みの音質を作成する場合
▶ユーザ設定1～3を反転▶[📷]［詳細］▶[◎]で周波数を選択▶[◎]で強弱を選択▶[■]［確定］

■ 変更した音質をお買い上げ時の状態に戻す場合
▶ユーザ設定1～3を反転▶[📷]［詳細］▶[📷]［FLAT］▶[■]［確定］

- **Dolby Mobile**…音響効果を設定します。
- **お風呂モード**…お風呂で聞きとりやすい音にするための設定をします。

ミュージック情報…ミュージックのファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

プレイリストへ登録※2…楽曲をプレイリストに登録します。

- **1件登録**…追加先のプレイリストを選択し、楽曲をほかのプレイリストの最後に追加します。
- **選択登録**…楽曲を選択して、追加先のプレイリストを選択し、楽曲をほかのプレイリストの最後に追加します。

サイト接続※1…URLが含まれる場合、Web To機能でサイトに接続します。

プレーヤー※1**、画像表示、歌詞表示**※1…ミュージックプレーヤー再生中に表示する画面を、通常の画面（プレーヤー）、ジャケット画像（画像表示）、歌詞表示から選択します。
音楽データ一覧画面の場合、ジャケット画像を表示しているときに[■]［保存］でジャケット画像を保存できます。

前画像表示、次画像表示、前歌詞表示、次歌詞表示※1…ジャケット画像または歌詞が1ページ以内に表示できない場合は前後の画像または歌詞に切り替えます。

削除※2…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

アーティスト削除、アルバム削除、ジャンル削除※3…選択したグループの音楽データをすべて削除します。

※1 ミュージックプレーヤー再生画面でのみ表示されます。
※2 音楽データ一覧画面でのみ表示されます。
※3 アーティスト一覧、アルバム一覧、ジャンル一覧でのみ表示されます。

おしらせ

<サウンドエフェクト>
◆「Dolby Mobile」を「ON」に設定した場合、ステレオイヤホンマイク（別売）などを接続して再生したときのみ音響効果が加わります。また、Bluetooth機器を接続して再生したときも音響効果が加わります。
◆「お風呂モード」は、本体スピーカから音を鳴らす場合のみ有効です。
◆プレーヤーを終了させると、「お風呂モード」の設定は「OFF」になります。

音楽を再生しながらほかの機能の利用

楽曲は、ほかの機能を利用しながら再生することができます。

1 ミュージックプレーヤー再生画面（P.275）▶[i][BGM]

待受画面が表示され、ほかの機能を利用できるようになります。

■ **Music&Videoチャネルの場合**
▶[▷]▶[i][待受画面]

■ **ミュージックプレーヤーのBGM再生を終了するには**
待受画面表示中に[—]を押し、「プレーヤー終了」を選択します。

■ **Music&Videoチャネルの BGM 再生を終了するには**
待受画面表示中に[—]を押し、「Music&V Ch終了」を選択します。

● BGM再生中に利用できる機能

機能	可否
電話／テレビ電話	×
メール	○※1
ｉモード／web	○
ｉアプリ	△※2
データBOX	△
便利ツール	△
電話機能	△
本体設定	△
地図／海外	△
ｉコンシェル	○
プロフィール	○
おサイフケータイ／トルカ	○

○：利用可　△：一部利用可　×：利用不可

※1 メール設定の「受信時動作設定」を「通知優先」に設定しているとメール受信時に楽曲を一時停止します（「操作優先」に設定していても待受画面表示中にメールを受信すると一時停止します）。ｉモードメール作成時は「カメラ起動」など一部ご利用になれない機能もあります。

※2「ｉアプリ音優先設定」を「ｉアプリ優先」に設定しているとｉアプリ起動時に楽曲を一時停止します。

プレイリストの利用

プレイリストに楽曲を登録し、お好みの楽曲をお好みの順番で再生します。

- FOMA端末に登録可能な曲数とプレイリスト数は以下のとおりです。

登録可能曲数	最大100曲
プレイリスト数	最大30件

- 全曲リストにはフル楽曲、WMA、SD-Audioが合計で最大1,500件表示されます。
- FOMA端末に保存されている楽曲（着うたフル®）とmicroSDカードの楽曲（着うたフル®）、WMAデータ、SD-Audioデータを同じプレイリストに登録できます。

プレイリストの作成

1 ミュージックプレーヤー再生画面（P.275）▶[MENU][サブメニュー]▶「プレーヤーメニュー」▶「プレイリスト」▶[MENU][サブメニュー]▶「プレイリスト新規作成」

2 以下の項目から選択

全曲…楽曲一覧から楽曲を選択します。

アーティスト…アーティスト一覧から楽曲を選択します。

アルバム…アルバム一覧から楽曲を選択します。

ジャンル…ジャンル一覧から楽曲を選択します。

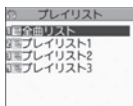
3 [📷][完了]▶プレイリスト名を入力

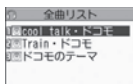
プレイリストが作成され、プレイリスト楽曲一覧画面が表示されます。

■ **再生する場合**
▶[■][再生]

プレイリストの再生

1 ミュージックプレーヤー再生画面（P.275）▶[MENU][サブメニュー]▶「プレーヤーメニュー」▶「プレイリスト」

■ **プレイリストをすぐに再生する場合**
▶再生するプレイリストを反転▶[📷][再生]

プレイリスト一覧画面（サブメニュー→P.278）

2 プレイリストを選択

プレイリスト楽曲一覧画面（サブメニュー→P.278）

3 ■［再生］

プレイリストの再生がはじまり、登録した順番で楽曲が再生されます。

サブメニュー

❖プレイリスト一覧画面（P.278）

プレーヤーメニュー…プレーヤーメニューを表示します。
再生モード変更…P.276
プレイリスト新規作成…P.277
プレイリストコピー…プレイリストのコピーをプレイリスト一覧に作成します。
プレイリスト名編集…プレイリスト名を編集します。
追加登録…楽曲を選択して、プレイリストに追加します。
プレイリスト削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

サブメニュー

❖プレイリスト楽曲一覧画面（P.278）

プレーヤーメニュー…プレーヤーメニューを表示します。
再生モード変更…P.276
ミュージック情報…P.276
追加登録…楽曲を選択して、プレイリストに追加します。
プレイリストから解除…「1件解除、選択解除、全解除」から選択します。
曲順変更…プレイリストの曲順を変更します。
プレイリストへ登録…楽曲をプレイリストに登録します。
- **1件登録**…追加先のプレイリストを選択し、楽曲をほかのプレイリストの最後に追加します。
- **選択登録**…楽曲を選択して、追加先のプレイリストを選択し、楽曲をほかのプレイリストの最後に追加します。

画像表示…P.276

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリ 280
ｉアプリのダウンロード 280
ｉアプリの起動 281
お買い上げ時に登録されているソフト 285
ｉアプリの自動起動 295
ｉアプリコール 295
ｉアプリコール設定 296
ｉアプリTo設定 297
ｉアプリ待受画面設定 297
ｉアプリの管理 298
ｉウィジェット 299
ｉウィジェットの利用 300
ウィジェットアプリのダウンロード 301

iアプリ

iアプリとは、iモード対応端末用のソフトです。iモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。
さらに、リアルタイム通信やiアプリコール（P.295）を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なiアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。
また、iアプリにはiウィジェット（P.299）対応のものがあります。

- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。→P.459
- iアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

iアプリのダウンロード

iモードのサイトから最大約2Mバイトのソフトをダウンロードして、FOMA端末で起動します。

- ダウンロードしたソフトは最大200件保存できます。保存可能件数はデータ量によって変動します。なお、部分的に取得したiアプリも保存可能件数に含まれます。

1 ソフトを選択

ダウンロードが完了し、「完了しました」というメッセージが表示されたら■［選択］を押します。ただし、サイトからすぐに起動するソフトの場合、メッセージは表示されずにソフトが起動します。

■ **データの取得中にダウンロードを中止する場合**

▶ダウンロード中▶■［Cancel］またはCLR

■ **ソフト設定画面が表示された場合**

▶ソフトを設定
ソフトの設定について→P.282

2 「YES」

ダウンロードしたソフトが起動します。

■ **ソフトを起動しない場合**

▶「NO」

● メール連動型iアプリのダウンロードについて

- メール連動型iアプリをダウンロードすると、送信BOX／受信BOXフォルダにメール連動型iアプリ専用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型iアプリ名になり、変更できません。メール連動型iアプリは5件まで保存できます。
- メール連動型iアプリを利用して送受信したメールは、メール連動型iアプリ専用フォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で振り分けることもできます。
- 以下の場合、メール連動型iアプリはダウンロードできません。
  - メール連動型iアプリ専用フォルダが5件あるとき
  - 同じフォルダを利用するメール連動型iアプリがすでに保存されているとき
  - BOXロックの設定中

おしらせ

◆iアプリによっては、ダウンロードしたあとも自動的に通信をする場合があります。あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」で通信を行わないように設定することもできます。

◆端末情報データ（登録データや携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号）を利用するiアプリ、またはiアプリDXをダウンロードする場合は、端末情報データを利用することを通知する旨のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、お客様の端末情報データは、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

◆おサイフケータイ対応iアプリの場合、ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。ソフトによっては、お客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。

◆2in1のモードがBモードの場合、iアプリによってはダウンロード後に起動できない場合があります。

ダウンロード時にiアプリの情報を見る

ソフトをダウンロードするときにソフトの情報を確認できるように設定します。

1 MENU▶「iアプリ」▶「iアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」▶「表示する」

■ 確認しない場合
▶「表示しない」

iアプリの起動

iアプリの起動

1 i（1秒以上）

ソフト一覧（本体）画面（サブメニュー→P.282）

■ iモードでiアプリを検索する場合
▶「iモードで探す」▶「YES」

■ iアプリを一覧表示する方法を切り替える
▶i［表示切替］
- i［表示切替］を押すごとに表示（アイコンとタイトル画像の一覧、アイコンとソフト名の一覧、ソフト名の一覧）が切り替わります。
- microSDのソフト一覧画面では切り替えできません。

2 ソフトを選択

ソフトを起動すると画面下に「」や「」が表示されます。
お買い上げ時のソフトについて→P.285

● タッチボタンについて

タッチボタンを利用してiアプリを操作することができます。

●画面にタッチボタンが表示されていない場合でも、ソフトによっては画面にタッチすることでタッチボタンを表示することができます。

おしらせ

◆決定ボタンに何も表示されていない場合も、選択や決定の操作を行える場合があります。

■ソフト一覧画面で表示されるiアプリの状態について

アイコン	説明
	iアプリDX
	メール連動型iアプリ
	「自動起動時刻設定」を設定済み
	「待受画面設定」を設定済み
	「自動起動時刻設定」と「待受画面設定」を設定済み
	「待受画面設定」が設定可
	SSL／TLS対応ページからダウンロードしたソフト
	microSDカードにデータを保存できるソフト→P.299
	部分的に取得したiアプリ
	未設定状態のおサイフケータイ対応iアプリ
	おサイフケータイ対応iアプリ→P.304
	iCお引っこしサービスにより移し替えたICカード内データ→P.304
	縦画面全表示対応iアプリ
	横画面全表示対応iアプリ
	横表示全画面非対応iアプリ
	GPS対応iアプリ
	オートGPS機能対応iアプリ→P.320
	ダウンロードが必要なiアプリ

おしらせ

◆が表示されている場合は、初回利用時のみiアプリをダウンロードする必要があります。ダウンロードには、別途パケット通信料がかかるものもあります。ダウンロードする前に、表示される説明内容をよくお読みください。

◆ソフト一覧画面（P.281）で、部分的に取得したiアプリ（）を選択すると、残りのデータを取得することができます。

◆ソフト一覧画面（P.281）やICカード一覧画面（P.305）で、iCお引っこしサービスにより移し替えたICカード内データ（）を選択すると、必要なおサイフケータイ対応iアプリを取得することができます。

ｉアプリの終了

1 CLR（1秒以上）または ▶「YES」

おしらせ

◆ソフトの起動中に音声電話、テレビ電話がかかってきた場合は、ソフトは一時中断されます。通話が終了するとソフトの画面に戻ります。ただし、テレビ電話の場合、ｉアプリの通信中は「パケット通信中着信設定」の設定に従います。
◆メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。
◆ソフトによってはmicroSDカードに、利用するデータ（ｉアプリ使用データ（microSD））を保存することができます。
◆ソフトによっては、ｉアプリからPhone To／AV Phone To、Web To機能を利用できます。ただし、ｉアプリ待受画面からはご利用になれません（ｉアプリ実行中は利用可能です）。
◆ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
※ ｉアプリで利用する画像とは、カメラ連携（連動）のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能やｉC通信機能を利用して取得した画像、ｉアプリがサイトやインターネット経由で取得した画像、ｉアプリがデータBOXから取得した画像を指します。
◆ソフトによっては、音が鳴らない場合があります。
◆ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。
◆ソフトによっては、バーコードリーダーを起動してJANコード、QRコードを読み取る機能に対応している場合があります。
◆ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト情報の表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IPにお問い合わせください。
◆ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
◆IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、「⇅」が点滅します。この際、通信料はかかりません。
◆2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合、ｉアプリによっては起動や操作、設定などができないことがあります。
◆ソフトによっては全画面で表示され、電池残量や受信レベルを示すアイコンなどが表示されない場合があります。
◆通信モードが「DUALモード（FOMA優先／Wi-Fi優先）」の場合は、ｉアプリオンラインの通信ができない場合があります。

● ｉアプリタッチを利用する

対戦ゲームなどをする際に、本機能が搭載された他のFOMA 端末と マークをかざすことで、簡単にBluetoothのペアリングを行うことができます。

●ヘッドセットなど、その他のBluetooth機器と接続している場合、ｉアプリタッチがご利用できない場合がございます。その際は、Bluetooth機器との接続を解除した上でご利用ください。

サブメニュー

❖ソフト一覧画面（P.281）

❖ICカード一覧画面（P.305）

ｉアプリTo設定…P.297
自動起動時刻設定…P.295
ソフト設定…ソフトの各種設定を行います。設定後、📷［完了］を押すと設定を終了します。

- **待受画面設定**…P.297
- **通信設定**…ｉアプリを起動したときに通信するかしないかを設定します。
- **待受画面通信**…待受画面に設定したｉアプリが通信するかしないかを設定します。
- **アイコン情報**…ｉアプリを起動したときに、ｉモードメールやSMS、メッセージR／F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコン情報の利用を許可するかしないかを設定します。
- **マイピクチャから起動**…マイピクチャの静止画から、指定したｉアプリを起動させるかどうかを設定します。
- **着信音／画像変更**…ｉアプリDXを起動したとき、自動的に電話やメール、メッセージの着信音、待受画面やメール送受信時などの画像、メニューアイコンの変更を許可するかしないかを設定します。「変更ごとに確認」を設定した場合は、ｉアプリが自動変更をしようとするたびに変更するかしないかを選択できます。
- **電話帳／履歴参照**…ｉアプリDXを起動したとき、自動的に電話帳や最新の発信履歴、着信履歴、最新の未読メールの参照を許可するかしないかを設定します。

- **トルカ参照**…ｉアプリDXを起動したときに、自動的にトルカを参照することを許可するかしないかを設定します。
- **位置情報利用**…ｉアプリDXを利用中に位置情報の取得を許可するかしないかを設定します。「利用する」に設定した場合は、自動的に位置情報を取得します。
- **番組表ボタン設定**…ワンセグ視聴画面（P.254）で[i]［番組表］を押して起動する番組表ｉアプリとして利用するかしないかを設定します。ダウンロードしたｉアプリを番組表ｉアプリとして設定することもできます。お買い上げ時には「Gガイド番組表リモコン」が設定されています。
- **地図設定**…画像や電話帳に設定されている位置情報などから地図を確認したいとき、地図表示を行うｉアプリとして指定するかしないかを選択できます。ダウンロードしたｉアプリを地図表示対応ｉアプリとして設定することもできます。お買い上げ時には「地図アプリ」が設定されています。
- **ｉアプリコール**…ｉアプリコール（P.295）を受信したとき、ｉアプリの起動を許可するかしないかを選択します。
- **オートGPS許可**…ｉアプリDXを起動したとき、オートGPS機能（P.320）を利用することを許可するかしないかを設定します。

ソフト情報…ｉアプリ情報を確認します。

バージョンアップ…P.298

デスクトップ貼付…P.124

microSDへ移動…本体のｉアプリおよびｉアプリ使用データをmicroSDカードに1件移動します。

「microSDカード内のｉアプリ表示」→P.298

省電力設定…FOMA端末を閉じたとき、一時停止して省電力モードにするかどうかを、ｉアプリごとに設定します。

「α省電力設定」（P.284）を「設定する」に設定しているとき、省電力モードに移ります。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

おしらせ

<ソフト設定（通信設定）>

◆「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<ソフト設定（アイコン情報）>

◆本機能を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージの有無や圏内・圏外アイコンの有無、電池残量やマナーモードの状態がお客様の「携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

◆本機能を「利用しない」に設定した場合、アイコン情報が必要なソフトによってはｉアプリが動作しないことがあります。

<ソフト設定（トルカ参照）>

◆本機能が設定不可の場合でも、ｉアプリによっては自動的にトルカを参照する場合があります。

<ソフト設定（番組表ボタン設定）>

◆「ソフト情報」の「番組表ボタン設定」が「可能」で、ワンセグと連携のあるｉアプリDXのみ設定できます。

<ソフト設定（ｉアプリコール）>

◆「設定しない」に設定した場合でも、ｉアプリによっては起動します。

<ソフト情報>

◆本機能で表示されるソフトのソフト名は変更できません。

<microSDへ移動>

◆FOMA端末本体のｉアプリをmicroSDカードに移動する場合、FOMA端末本体にあるｉアプリ使用データもmicroSDカードに移動されます。

◆メール連動型ｉアプリをmicroSDカードに移動してもFOMA端末本体にあるメール連動型ｉアプリ専用フォルダは削除されません。

<省電力設定>

◆「設定する」に設定すると、FOMA端末を閉じたときにソフトが一時停止します。そのためタイムリーな情報を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<削除>

◆メール連動型ｉアプリを削除する場合は、対応するメール連動型ｉアプリ専用フォルダも削除するかどうかのメッセージが表示されます。ソフトのみを削除する場合は「NO」を、フォルダも同時に削除する場合は「YES」を選択します。ただし、「YES」を選択してもメール連動型ｉアプリ専用フォルダが使用中の場合、フォルダにロックが設定されている場合、保護メールがある場合は削除できません。

◆おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ソフト自体の削除を行う際にICカード内のデータを削除する必要があるものがあります。このようなソフトは「1件削除」では、確認画面に従ってソフトを起動し、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行います。なお、「選択削除」または「全削除」の場合はソフトを起動できないため、事前にデータを削除してからソフトの削除を行ってください。

◆2in1のモードがBモードの場合、ｉアプリによっては削除できないことがあります。

◆「iD 設定アプリ」は削除できません。

ｉアプリ実行時の音量調節

ｉアプリの音量を調節します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリ音量設定」

2 音量を設定

おしらせ

◆ソフトによっては音量設定ができるものがあります。ただし、「ｉアプリ音量設定」を「消去」に設定している場合、ソフトの音量設定にかかわらず音が鳴りません。

◆マナーモード設定中のｉアプリ音量は、マナーモード設定に従います。

ｉアプリの音を優先して再生

ミュージック再生中やワンセグ起動中にｉアプリを起動したときに、ｉアプリまたはミュージックプレーヤー／ワンセグのどちらの音を優先して再生するかを設定します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリ音優先設定」

2「ｉアプリ優先」を選択

■ ミュージックプレーヤー／ワンセグの音を優先して再生する場合

▶「ミュージック／ワンセグ優先」を選択

オートGPS機能の動作設定

ｉアプリ起動中にオートGPS機能（P.320）が動作するのを許可するかしないかを設定します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「オートGPS優先設定」▶「ON」または「OFF」

ディスプレイの照明設定

ｉアプリ起動中のディスプレイの照明について設定します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「α照明設定」▶以下の項目から選択

システム依存…通常の照明設定に従って点灯します。

ソフト依存…ｉアプリの設定に従って点灯します。

常時点灯…常時点灯します。

おしらせ

◆α照明設定を「ソフト依存」や「常時点灯」に設定していても、「照明設定」を「明るさ」の「自動調整ON」に設定している場合、周囲の明るさによって画面の明るさが変化することがあります。

電池の消費を抑える設定

ｉアプリ起動中にFOMA端末を閉じたとき、一時停止して省電力モードに移るかどうかを設定します。

- 本機能を「設定する」に設定し、ｉアプリごとに設定する「省電力設定」を「有効にする」に設定すると、FOMA端末を閉じたときに省電力モードに移ります。
- 本機能の設定は、ｉアプリが起動中のときのみ有効になります。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「α省電力設定」▶「設定する」または「設定しない」

バイブレータの設定

ｉアプリ起動中のバイブレータの動作について設定します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「αバイブレータ」▶以下の項目から選択

システム依存…通常のバイブレータの設定に従って振動します。

ソフト依存…ｉアプリの設定に従って振動します。

ｉアプリ設定の設定状況確認

「ｉアプリ設定」の各種設定の設定状況を一括で確認できます。

- 「ｉアプリコール音設定」は確認できません。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリ設定確認」

セキュリティエラー履歴確認

ｉアプリやｉアプリDXが、許可されている機能以外の動作を起動しようとしたときは、セキュリティエラーが発生して、その内容がセキュリティエラー履歴に記録されます。

1 MENU▶「iアプリ」▶「iアプリ実行情報」▶「セキュリティエラー履歴」

MENU［サブメニュー］からセキュリティエラー情報のコピー／削除ができます。

トレース情報確認

FOMA端末に記録されたデバッグ情報やセキュリティエラー情報を確認します。

1 MENU▶「iアプリ」▶「iアプリ実行情報」▶「トレース情報」

MENU［サブメニュー］からトレース情報のコピー／削除ができます。また、microSDカードにトレース情報をコピーすることもできます。

おしらせ

◆トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。

ソフトからほかのソフトの起動

起動中のソフトからほかのソフトを起動します。ほかのソフトを指定して起動できるソフトをダウンロードすることにより、ソフト一覧画面に戻らずにソフトを起動することもできます。

- 起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを指定します。
- 起動するソフトが指定されていてもFOMA端末内に保存されていない場合は、あらかじめダウンロードしておく必要があります。

1 ソフトを起動する項目を選択

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には、29種類のソフトがあらかじめ登録されています。

- 長時間ディスプレイを見ていると、目が疲れる場合がありますのでご注意ください。

ストリートファイターII 体験版

世界中のゲームセンターや家庭用ゲーム機で一大ブームを巻き起こした対戦格闘ゲームの原点。難しい必殺技も1つのボタンに登録できるので、個性的な技を繰り出す世界中のファイターたちとお手軽に対戦することができます。プリインストール版では、「リュウ」か「チュンリー」のいずれかを選んで、ランダムによる2人のキャラクターとの対戦をお楽しみいただくことができます。他のキャラクターおよび四天王戦をお楽しみいただくには、画面の案内に従ってマイメニュー登録し、有料版のダウンロードを行ってください。

- 有料版のご利用には、株式会社カプコンの「カプコンパーティ」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- 有料版のダウンロード時には、別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

ロックマン 体験版

横スクロールアクションの名作「ロックマン」シリーズ第一作目。携帯向けに難易度や操作性を調整してゲーム内容を再現したオリジナル版です。方向キーとジャンプ／攻撃ボタンを駆使してロックマンを操り、最後に待ち受けるボスを倒すとステージクリアです。プリインストール版では、カットマンステージをお楽しみいただくことができます。すべてのステージをお楽しみいただくには、画面の案内に従ってマイメニュー登録し、有料版のダウンロードを行ってください。

- 有料版のご利用には、株式会社カプコンの「カプコンパーティ」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 有料版のダウンロード時には、別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

ぐるなび

レストラン検索サイト「ぐるなび」のレストラン検索をiアプリでご利用になれます。フリーワードや、エリア・料理・予算などの条件、位置情報を利用した現在地からの周辺店舗検索など、さまざまな検索条件からお店を探すことができます。また、自分の好みの画面デザインに変えることができるカスタマイズ機能など、便利で楽しい機能も搭載しています。

- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- ご利用にはｉモードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします。

ファミスタワイヤレスFM版

国民的野球ゲーム「ファミスタ」でユーザー同士の熱い対戦をお楽しみいただくことができます。

リッジレーサーズモバイル体験版

3Dレースゲーム「リッジレーサーズモバイル」がモーションセンサーに対応し、端末を傾けることによる直感操作もお楽しみいただけるようになりました。すべてのコースやマシンを使える完全版をお楽しみいただくには、画面の案内に従ってマイメニュー登録し、完全版のダウンロードを行ってください。

- 完全版のご利用には、株式会社バンダイナムコゲームスの「ナムコ·ゲームス」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- 完全版のダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。

音楽パズル　ルミネス

ブロックを揃える簡単ルールと、音楽＆プレイが連動した新感覚パズルゲーム。無料配信もしている多彩なステージをお楽しみください！

フォト文字クリエイター

カメラで撮影した画像やデータBOX内の画像に、メッセージやスタンプ画像を貼り付けるなど、画像加工が簡単にできます。また、「アートフォトモード」で撮影した画像の白枠に手書き風文字や日付、スタンプなどのデコレーションをして友達に送ったり、ブログにアップしたりして楽しめます。

MUSICアプリ

「MUSICアプリ」は、楽曲の再生や検索機能を備えた音楽プレイヤーアプリです。MUSICストアで提供されている幅広いジャンルから楽曲を簡単に検索できるため、新しい音楽·アーティストとの出会いを広げる場を提供します。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 初回起動時、ご利用時にはパケット通信料がかかります。
- 海外では、通信が必要な機能はご利用になれません。
- MUSICストアに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  - ｉモードサイト：ｉ▶「ドコモマーケット」▶「ミュージック」

ドコモwebメール

「ドコモwebメール」は、パソコンからもFOMA端末からも便利にご利用になれるメールサービスです。新しいメールアドレス（○○@dwmail.jp）をご利用になれるほか、現在パソコンなどでご利用中のメールアドレスをそのままご利用になれます。ｉモードメールの設定により、FOMA端末で送受信したｉモードメールを自動でドコモwebメールへ保存（最大2GB）することもできます。また、蓄積されたメールを簡単に整理できるので、過去にやりとりしたメールが一覧で見やすく表示されます。

- お申込みにはｉモードのご契約が必要です。ｉモードを解約した場合も引き続きご利用になれますが、パスワードの再発行などの一部機能はご利用になれません。
- ｉモードメールを「ドコモwebメール」へ保存するには、ｉモードメール自動保存設定を行ってください。一部自動保存対象外のメールがあります。
- 「ドコモwebメール」に6ヶ月ログインしない状態が続くと、サービスが停止され、メールボックスの保存データ・設定情報がすべて削除されます。
- 現在パソコンなどでご利用中のメールアドレスをそのままお使いいただくには、パソコンサイトで設定する必要があります。設定できるメールサービスや設定方法についてはパソコンサイトをご確認ください。
  - パソコンサイト：http://dwmail.jp
- 「ドコモwebメール」を利用して、ｉモードメールアドレスを送信元とするメールを送信できません。
- ログイン時にアプリのバージョンアップを必要とする場合があります。
- 「ドコモwebメール」に関する情報や本アプリを再度ダウンロードする場合は、ｉモードサイトをご覧ください。
  - ｉモードサイト：ｉ▶「webメール」
- メールアドレスの取得を含むFOMA端末からのご利用やアプリのダウンロード、バージョンアップなどには、別途パケット通信料がかかります。ご利用にはｉモードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

E★エブリスタアプリ

「E★エブリスタアプリ」は、ケータイ総合雑誌「E★エブリスタプレミアム」掲載作品の更新情報をリアル

タイムにチェックできるｉアプリです。「E★エブリスタプレミアム」では、プロ作家や有名人が書き下ろしたコミックや小説、エッセイの新作を、有料にて読み放題でお楽しみいただけます。
- 本アプリは会員登録不要で無料にてお楽しみいただけますが、プレミアム作品本文を閲覧するには、ｉモードサイトの「E★エブリスタ」で有料会員登録を行ってください。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
- 本アプリは最新情報を取得するため、ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外ではご利用になれません。
- 「E★エブリスタアプリ」については、ｉモードサイトをご覧ください。
  - ｉモードサイト：i▶「読み放題」

ｉCタグリーダー

ｉCタグリーダーは、本アプリに対応したポスター・カード・シールなどにおサイフケータイをかざして、情報を読み取るためのｉアプリです。読み取った情報から、URLを入力せずにサイトへアクセスしたり、電話帳にデータを保存したりできます。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 本アプリを起動して、対応サービスにFOMA端末のマークをかざすと情報の読み取りができます。
- 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉCタグリーダーの詳細については、メニューの「ヘルプ」をご覧ください。
- ｉCタグリーダーで読み取った情報から、以下の機能を使用することができます。
  - ｉモードサイトへ接続
  - ｉモードメール作成
  - 電話発信
  - 電話帳登録
  - トルカ保存
  - 画像保存
  - メロディ保存
  - テキスト表示

おサイフケータイ Webプラグイン

「おサイフケータイ Webプラグイン」はおサイフケータイを便利にするｉアプリです。例えば、本アプリに対応したサイトから会員証やクーポン券を直接おサイフケータイに取り込んで、お店の読み取り機にかざして利用することができます。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- おサイフケータイ Webプラグインを利用したサービスは、おサイフケータイ対応サービス提供者により提供されます。

モバイルGoogleマップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザー作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えたり、ストリートビューを見ることができます。また、路線検索で目的地までの移動方法を調べ、目的地までのナビゲーションをすることもできます。

■地図画面について

MENU：メニューの表示
カメラ：検索（地域のお店やサービスの情報、場所を検索して地図上に表示）
方向キー：カーソルの移動
■：コンテキストメニュー（現在地の住所、ここまでの経路、ここからの経路、ストリートビュー、お気に入りに保存、付近を検索）
1：ズームアウト
2：地図／航空写真の切り替え
3：ズームイン
0：現在地の表示
＊：お気に入りに保存／表示
- はじめて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。本ソフトはｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめいたします。
- 詳細はメニューの「ヘルプ」をご覧ください。

日英版しゃべって翻訳

マイクに向かって主に旅行で使われる日本語、英語を話すだけで翻訳した文章を画面に表示するソフトです。
すべての機能が60日間無料※1でご利用いただけます。
61日以降はマイメニュー登録※2で全機能が利用可能です。

※1 別途パケット通信料がかかります。
※2 株式会社ATR-Trekの「しゃべって翻訳」サイトからマイメニュー登録が必要です。（アクセス方法：i▶「メニューリスト」▶「【生活情報】辞書／学習／便利ツール」▶「辞書／翻訳」▶「しゃべって翻訳」）

1 ソフト一覧画面（P.281）▶「日英シャベッテ翻訳」

■ 終了する場合
▶MENU［終了］▶「はい」

2 「日→英　翻訳」または「英→日　翻訳」

画面に従って操作し、マイクに向かって話すと翻訳された文章が画面に表示されます。

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶[#]▶「チュートリアル」

■ 画面を英語表示する場合
▶[📷]［En/英］

Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とテレビのリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利なｉアプリです。知りたい時間の地上デジタル、BSデジタルのテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動することができます。ワンセグから番組表を起動することもできます。気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をBDレコーダー、DVDレコーダーなどに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているBDレコーダー、DVDレコーダーなどが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組の検索が可能です。

- はじめてご利用される際には、初期設定を行い、利用規約に同意いただく必要があります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内のパケット通信料と異なります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の「メイン時計設定」を日本時間にあわせてください。なお、ご利用は番組表の閲覧のみになります。
- Gガイド番組表リモコンの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』、またはドコモのホームページをご覧ください。

■視聴予約機能について
本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

- 視聴予約の方法
  本アプリを起動し、番組表を表示して、視聴予約したい番組を選んで[■]を押し、「ワンセグ視聴予約」を選択して、「予約実行」を選択してください。視聴予約が起動しますので、画面に従って視聴予約を行ってください。

■録画予約機能について
本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約をすることができます。

- 録画予約の方法
  本アプリを起動し、番組表を表示して、録画予約したい番組を選んで[■]を押し、「ワンセグ録画予約」を選択して、「予約実行」を選択してください。録画予約が起動しますので、画面に従って録画予約を行ってください。

■リモート録画予約機能について
リモート録画予約に対応しているBDレコーダー、DVDレコーダーなどをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

- 初期設定方法
  ① BDレコーダー、DVDレコーダーなどにインターネット接続の設定をしてください（ご利用のBDレコーダー、DVDレコーダーなどの取扱説明書をご確認ください）。
  ② 次に本アプリを起動し、「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに従って初期設定を進めてください。
- 番組予約の方法
  初期設定が完了したあと、番組表を表示して、録画予約したい番組を選んで[■]を押し、「リモート録画予約」を選択すると、本アプリで設定したBDレコーダー、DVDレコーダーなどへ録画予約をすることができます。

※ ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
※ 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
※ リモート録画予約をミニアプリから削除した場合、再度ダウンロードが必要です。

iD 設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD 設定アプリまたはカード発行会社が提供するカードアプリで設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによってはiD 設定アプリで設定の上、カードアプリの設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- iD 設定アプリは削除できません。ICオーナーを初期化する場合は、事前にiD 設定アプリの「設定メニュー」から「iDアプリ初期化」を行ってください。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

●「iD」に関する情報については、iDのｉモードサイトをご覧ください。
・ｉモードサイト：▶「メニューリスト」▶「「iD」」

DCMXクレジットアプリ

DCMXとは、「iD」に対応した、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMX／DCMX GOLDの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用になれます。

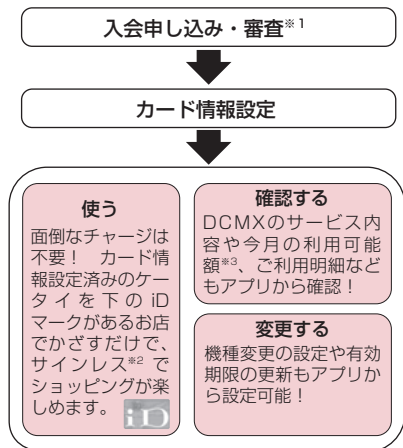
■ アプリの機能

入会申し込み・審査※1

カード情報設定

使う
面倒なチャージは不要！　カード情報設定済みのケータイを下のiDマークがあるお店でかざすだけで、サインレス※2でショッピングが楽しめます。

確認する
DCMXのサービス内容や今月の利用可能額※3、ご利用明細などもアプリから確認！

変更する
機種変更の設定や有効期限の更新もアプリから設定可能！

※1 DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2 暗証番号の入力が必要な場合があります。
※3 DCMX miniのみ可能です。

●DCMXの詳細についてはｉモードサイトをご覧ください。
・ｉモードサイト：
▶「メニューリスト」▶「DCMX」

おしらせ
◆カード情報設定が完了するまでは、ｉアプリのソフト一覧で「」と表示されます。
◆本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
◆ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
◆海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

モバイルSuica登録用ｉアプリ

「モバイルSuica登録用ｉアプリ」は、JR東日本が提供するおサイフケータイ対応サービス「モバイルSuica」をご利用になる前に必要な初期設定を行うｉアプリです。本アプリにて初期設定を行ったあと、画面に従ってJR東日本サイトからモバイルSuicaアプリをダウンロードし、会員登録を行ってください。
●はじめてご利用される際には、「ご注意事項（必読）」に承諾いただく必要があります。
●ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
●海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
●本アプリは、初期設定が完了したあとに削除できますが、モバイルSuicaサービスで利用していたICカード内エリアをほかのサービスでご利用になるためには、ドコモショップへご来店いただきICカード内のデータをすべて初期化（以下、フルフォーマット）していただく必要があります。
●フルフォーマットを実施すると、ICカード内のすべてのデータが削除されます。
●フルフォーマットを行ったあとにモバイルSuicaサービスを再度ご利用になる場合は、本アプリにて再度初期設定をしていただく必要があります。
●モバイルSuicaに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
・ｉモードサイト：
▶「メニューリスト」▶「【生活情報】おサイフケータイ」▶「モバイルSuica」

地図アプリ（ウィジェットアプリ対応）

「地図アプリ」については、P.315をご覧ください。

ｉアプリバンキング

ｉアプリバンキングとは、FOMA端末からモバイルバンキング（ご自身の口座の残高照会や入出金明細の

確認、振込・振替など）を、便利にご利用になるためのｉアプリです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つの金融機関のモバイルバンキングをご利用になれます。ペイジーによる請求書・納付書のお支払いも可能です。

- ｉアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、ｉアプリバンキングに対応した金融機関の口座およびインターネットバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉアプリバンキングの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
- ｉアプリバンキングに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  - ｉモードサイト：
    ▶「メニューリスト」▶「【金融】モバイルバンキング」▶「ｉアプリバンキング」

ウィジェットアプリ対応

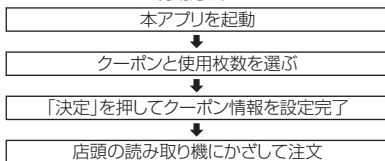
ｉアプリバンキングウィジェットでは、ウィジェット上でパスワードを入力するだけで簡単にｉアプリバンキングを起動することができ、ご自身の登録している金融機関やオプション機能の利用がより便利に行えます。

マクドナルド トクするアプリ

マクドナルドの新商品など、おすすめ情報をいち早くチェックできるほか、マクドナルドで使える割引クーポン「かざすクーポン」や対象商品の購入などでスタンプがたまる「かざす会員証」としても利用できます。
「かざすクーポン」のご利用は「トクするケータイサイト」への会員登録後、アプリからお好みのクーポンを選択・設定し、マクドナルドの店頭に設置されている読み取り機にかざしてご利用ください。

- 「マクドナルド トクするアプリ」に関する情報についてはマクドナルド公式サイト「トクするケータイサイト」をご覧ください。
  - ｉモードサイト：
    ▶「メニューリスト」▶「【生活情報】グルメ／レシピ」▶「マクドナルド トクする」
- 「かざすクーポン」はご利用になれない店舗があります。
  「かざすクーポン」が使えない地域では、「見せるクーポン」をご利用になれます。
- 「おすすめ情報」は「トクするケータイサイト」の非会員でもご覧いただけます。
- 「マクドナルド トクするアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

＜かざすクーポンの利用方法＞

本アプリを起動
↓
クーポンと使用枚数を選ぶ
↓
「決定」を押してクーポン情報を設定完了
↓
店頭の読み取り機にかざして注文

ウィジェットアプリ対応

マクドナルドの「おすすめ情報」が更新されると、ウィジェットアプリのマクドナルドの看板が回転してお知らせ。看板を選択するとおすすめ情報が表示されます。
おすすめ情報の“もっと詳しくボタン”を押すとより詳しい情報を見ることができます。

楽オク☆アプリ

「楽オク☆アプリ」は、楽天オークションに簡単に出品できる便利なアプリです。写真撮影から説明文入力、出品設定まで、ステップを進めていくだけで簡単に出品ができ、オークションがはじめてという方でも安心して使えます。説明文が簡単に作れる「かんたん入力」機能や、写真編集、履歴の保存など便利な機能もたくさんあるので、サイトからの出品よりも時間がかからずに出品することができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- 楽オク☆アプリの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録が必要になります。

●楽オクに関する情報については、i モードサイトをご覧ください。
・i モードサイト：i▶「オークション」

ウィジェットアプリ対応

楽オクのおすすめ商品や自分で出品･入札した商品の情報が表示されるので、気になるオークションの状況が簡単に確認できます。

i Wウォッチ（ウィジェットアプリ対応）

「i Wウォッチ」は、i ウィジェットにてグラフィカルに時計や電池残量を確認することができるアプリです。
時計や電池残量のデザインや色を、お好みに応じて変更することができます。

Start! i ウィジェット（ウィジェットアプリ対応）

「Start! i ウィジェット」は、i ウィジェットの使い方をムービーで見ることができるアプリです。
また、i モードに接続して、新しいウィジェットアプリをダウンロードできるサイトへ簡単にアクセスすることもできます。
●「ダウンロード」を選択し、i モードに接続する際は、別途パケット通信料がかかります。

ルナルナ★女性の医学（ウィジェットアプリ）

次の生理日･排卵日などの情報を、ウィジェットを起動するだけでチェックすることができます。
●ご利用には別途パケット通信料がかかります。

ソラダスお天気予報ウィジェット（ウィジェットアプリ）

『お天気予報』ウィジェットなら、登録地域の「雨レーダー」と「今日明日の天気」をいつでもチェックいただけます！
●ご利用には別途パケット通信料がかかります。

駅探 乗換案内（ウィジェットアプリ）

いつでもどこでも発駅着駅を入力するだけで、最適経路をご案内する駅探謹製の便利な i ウィジェットです。
●ご利用には別途パケット通信料がかかります。

鏡リュウジ★今日の運勢（ウィジェットアプリ）

絶大な人気を誇る、占星術界の巨匠･鏡リュウジがあなたの太陽の星座から占う、毎日の運勢を配信します。
●ご利用には別途パケット通信料がかかります。

今の為替と株価（ウィジェットアプリ）

「今の為替と株価」は、i ウィジェットにて株価/指数/為替情報を簡単に見ることのできるウィジェットアプリです。
表示できる情報は、
･「日経平均、TOPIX、JASDAQ指数」の3指数、
･「アメリカドル/円、ユーロ/円、オーストラリアドル/円」などの5為替、
･最大13件の登録銘柄株価
の約20分遅れの情報になります。
（表示する情報は、選択することができます）
●はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
●初回起動時にはパケット通信料がかかります。
●ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
（本アプリは i ウィジェット画面を表示した時以降1分毎に通信を行うため、i モードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします）
●海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

●本アプリの情報は、利用者ご本人にのみ提供するもので、株式などの売買および売買の支援をするものではありません。
●本アプリの情報の内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねます。

いつもNAVI［海外］

いつもNAVI［海外］とは、日本語で見やすい海外主要都市の地図を収録し、グルメ・イベント・ホテル検索などの豊富な観光コンテンツが検索できる海外ガイドマップアプリです。日本国内でmicroSDカードにデータをダウンロードしておけば、主な機能を通信不要で利用することができます。
●はじめてご利用される際には利用規約に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
●「いつもNAVI［海外］」に有料会員登録いただくと、海外主要都市の詳細な地図やスポット情報を見ることができるほか、トラベル会話フレーズといった便利な機能をご利用になれます。
●ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
●ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
●海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
●ご利用にはｉモードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします。

ｉBodymo

ｉBodymoは、「歩く」や「食べる」など、普段やっていることを気軽に楽しみながら続けることを応援するドコモの健康サービスです。
●お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
●ｉBodymoのサービス利用料のほかに、ご利用いただくコンテンツによっては別途情報料がかかる場合があります。
●はじめてご利用される際には、ｉアプリのダウンロードを行う必要があります。ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
●プロフィール設定を行う際はｉモードパスワードが必要となります。
●ｉBodymoを利用して歩数のカウントおよび歩数データの記録を行うには、「歩数計／活動量計」を「ON」にする必要があります。→P.392
●ｉBodymoを利用して記録した歩数データを自動でサーバに送信するためには、ｉアプリの「自動起動設定」を「許可する」にする必要があります。→P.295
●ご利用時には別途パケット通信料がかかります。本アプリは、ｉモードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします。
●ｉBodymoでゲームを行う際は、専用ｉアプリのダウンロードが必要です。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
●ｉBodymoを海外でご利用になるには、ｉモード海外利用設定が必要です。海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
●ｉBodymoを海外でご利用の際は、ｉBodymoの一部またはすべての機能がご利用になれない場合があります。
●ｉBodymoを海外でご利用の際は、パケット通信料の発生を避けるため、FOMA端末でｉアプリの「自動起動設定」を「許可しない」にすることをおすすめします。→P.295
●2in1のBモードではご利用になれません。
●ｉBodymoの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

お天気アプリ

お天気アプリは、気象レーダーをはじめとした詳細な気象情報や目で見ることのできないスギ･ヒノキ花粉の飛散状況を簡単な操作で確認できるアプリです。積算雨量やカミナリ危険度、風向風速などさまざまな情報を見比べることができますので、天気が気になった時から、防災目的まで、幅広くご利用になれます。
●はじめてご利用される際には、ｉアプリをダウンロードする必要があります。ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
●ご利用時には、別途パケット通信料がかかります。
●ご利用には、ｉモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。
●海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

電子マネー「nanaco」

電子マネー「nanaco」はポイントが貯まるプリペイド型の電子マネーです。ｉアプリをダウンロードして入会すれば、FOMA端末でお支払いや残高・履歴確認が可能です。
●はじめてご利用される際には、会員登録を行う必要があります。

●ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
●はじめてご利用される際には、iアプリをダウンロードする必要があります。iアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
●海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
●電子マネー「nanaco」に関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
・iモードサイト：[i]▶「メニューリスト」▶「【生活情報】おサイフケータイ」▶「電子マネー「nanaco」」

かざす請求書

かざす請求書とは、毎月のご利用料金の情報をおサイフケータイに取得し、コンビニエンスストアでお支払いいただくためのiアプリです。請求書が手元になくても、おサイフケータイがあればお支払いが可能です。また、支払料金の情報をiアプリで確認ができます。
●はじめてご利用される際にはiアプリをダウンロードする必要があります。iアプリの初期設定には別途パケット通信料がかかります。
●iアプリのダウンロードが完了するまでは、ソフト一覧画面で「[アイコン]」と表示されます。
●支払料金の取得には別途パケット通信料がかかります。
●海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
●かざす請求書に関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
・iモードサイト：
[i]▶「メニューリスト」▶「おサイフケータイ」▶「クーポン&会員証」▶「かざす請求書」

FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリは、測定した場所がFOMAハイスピードエリアであるかどうか、またフェムトセルを利用できるかどうか確認することができるアプリです。
●フェムトセルの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。
●FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
●通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
●本アプリのご利用中にほかの機能を利用すると正しく確認できない場合があります。
●はじめてご利用される際にはiアプリをダウンロードする必要があります。
●海外でのご利用は有料となります。

ドコモ料金案内

ドコモ料金案内とは、通話料・パケット通信料など、簡易なご利用履歴が一覧やグラフで確認できるiアプリです。
●はじめてご利用される際には、「ご利用にあたっての注意事項」を確認の上、iアプリをダウンロードする必要があります。
●iアプリを「自動起動」に設定することで、日々の料金データを自動で取得します。
●海外でのご利用は有料となります。
●ご利用履歴は概算であり、実際の請求金額とは異なる場合があります。
●ドコモ料金案内に関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
・iモードサイト：
[i]▶「お客様サポート」▶「料金確認・診断」▶「料金の確認・お支払い」▶「請求内容のご確認」

■ウィジェット対応アプリ
ウィジェット対応アプリでは、通話料・パケット通信料などのご利用履歴をグラフで簡単に確認できます。

モバイルAMCアプリ

「モバイルAMCアプリ」は、おサイフケータイを使ってANAの便利なサービスをご利用になるためのアプリです。
搭乗口でおサイフケータイをタッチするだけでご搭乗いただける国内線「SKiPサービス」や、電子マネー「Edy」でのお支払いでマイルが貯まる「ケータイ de Edyマイル」サービスがご利用になれます。
●「ケータイ de Edyマイル」の登録には、あらかじめ「Edy」アプリの登録が必要です。
●はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、iアプリをダウンロードする必要があります。

●ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
●ｉアプリのダウンロードが完了するまでは、ソフト一覧で「」と表示されます。
●ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
●海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
●「モバイルAMCアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
●「モバイルAMCアプリ」に関する情報や「SKiPサービス」・「ケータイ de Edyマイル」の詳細については、ｉモードサイトをご覧ください。
・ｉモードサイト：
ｉ▶「メニューリスト」▶「【生活情報】乗換／地図／交通」▶「飛行機／空港」▶「ANA全日空」

ビックポイント機能付きケータイ

「ビックポイント機能付きケータイ」は、おサイフケータイをビックポイントカードとしてご利用になれ、ビックカメラの店頭に設置されている読み取り機にかざすだけで、ポイントを貯めたり使ったりすることができるｉアプリです。また、現在のポイント残高をすぐに確認することもできます。
●本アプリをご利用される前に、ｉモードサイトの「ビックカメラ.com」で会員登録を行ってください。
●はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
●ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
●ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
●海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
●「ビックポイント機能付きケータイ」に関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。
・ｉモードサイト：
ｉ▶「メニューリスト」▶「【生活情報】おサイフケータイ」▶「ビックカメラ」

ゴールドポイントカード

「ゴールドポイントカード」は、おサイフケータイでヨドバシカメラのゴールドポイントを貯めたり、お買い物に利用したりすることができるアプリです。また、ポイント残高やゴールドポイントカード会員番号を確認することもできます。
●本アプリをご利用する前に、ｉモードサイトの「モバイルヨドバシ」で会員登録を行ってください。
●はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
●ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
●ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
●海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
●「ゴールドポイントカード」に関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
・ｉモードサイト：
ｉ▶「メニューリスト」▶「【生活情報】おサイフケータイ」▶「ヨドバシカメラ」

ｉアバターメーカー

ｉアバターメーカーでできること

■**アバターをつくる**
ｉアバターメーカーに用意されたさまざまなパーツを利用して、アバターを作成することができます。カメラで撮影した写真やデータBOXに保存してある画像を見ながら作成することや、あらかじめ用意されたアバターの見本を元に作成できます。

■**アバターをつかう**
作成したアバターは、デコメール®、デコメ絵文字®、デコメアニメ®の素材や、ｉコンシェルに対応したマチキャラに変換して利用できます。
また、作成したアバターをｉアバターサイトに登録することで、いろいろな洋服アイテムに着せ替えたり、コンテストや対応サイトで公開することができます。
●はじめてご利用される際にはｉアプリをダウンロードする必要があります。
ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
●ｉアプリのバージョンをチェックする際、またｉアプリをバージョンアップする際には別途パケット通信料がかかります。
●海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
●アバターをデコメ®素材（アニメ）やマチキャラに変換する際、またｉアバターサイトにアバターを登録する際には別途パケット通信料がかかります。
●ｉアバターサイトで着せ替えを行うには、アイテム購入が必要な場合があります。

いっしょにデコ

お互いのFOMA端末のマークをかざすだけで、一緒に撮影した静止画に2人でスタンプを貼ったり、線

や文字を描いたりしてデコレーションできるｉアプリタッチ（P.282）対応アプリです。
- デコレーションした画像は、マイピクチャのフォルダに保存することができます。
- いっしょにデコの詳細については、メニューの「ヘルプ」をご覧ください。
- はじめてご利用される際にはｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- はじめてご利用される際には、「利用許諾」への同意が必要になります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

ｉアプリの自動起動

指定した日時または時間間隔でソフトが自動起動するように設定します。

自動起動設定

- 自動起動時刻は3件まで設定することができます。

1 **MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「自動起動設定」▶「許可する」または「許可しない」**

起動日時設定

ソフトが自動起動する日時を設定します。
- 以下のような場合、ソフトは自動起動しません。
  - 電源を切っている場合
  - ほかの機能が起動している場合
  - 通話中
  - 通信中
  - ソフトウェア更新の予約時刻、アラーム／スケジュール／メモ／ワンセグ視聴予約／ワンセグ録画予約の設定時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - 同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分未満で起動時刻が設定されていた場合
  - 「ダイヤルロック」などのロック設定中
- 「自動起動設定」を「許可する」に設定しておく必要があります。→P.295

1 **ソフト一覧画面（P.281）▶MENU［サブメニュー］▶「自動起動時刻設定」▶[十字キー]で□（チェックボックス）を選択**

■ ソフトに設定されている時間間隔を有効にする場合
▶「時間間隔設定」のチェックボックスを選択
「時間間隔設定」のみ選択した場合は、[カメラ]［完了］を押して、設定完了になります。

■ 起動日時を設定する場合
▶「起動時刻設定」のチェックボックスを選択

2 **[カメラ]［完了］▶起動日時を設定**

■ 起動日時を設定する場合
▶日時を選択▶起動日時を入力

■ 自動起動の繰り返しを設定する場合
▶繰り返し設定を選択▶「毎日」または「曜日指定」
「曜日指定」を選択したときは、[十字キー]で□（チェックボックス）を選択し[カメラ]［完了］を押します。

3 **[カメラ]［完了］**

おしらせ

◆「時間間隔設定」は、ｉアプリに時間間隔が設定されているものにのみ設定できます。

ｉアプリが自動起動したかの確認

ソフトが設定した時刻に自動起動したかどうかを確認します。
- ICカード機能からの起動に失敗したソフトについても確認できます。

1 **MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ実行情報」▶「自動起動情報」**

ソフト名、自動起動時刻、起動したかどうかの情報が表示されます。自動起動した場合は「起動○」、自動起動しなかった場合は「起動×」、自動起動前の場合は「未起動」と表示されます。

おしらせ

◆自動起動できなかった場合は、待受画面に「[ソフト]」（未起動ソフトあり）というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報画面が表示されます。自動起動できなかったソフトを選択すると、ソフトを起動することができます。情報を通知するデスクトップアイコンについて→P.36

ｉアプリコール

対戦ゲームなどのｉアプリの招集通知（ｉアプリコール）をほかのFOMA端末へ送信して招待したり、ｉアプリコールを受信して応答することができます。

招集を行う

あらかじめ電話帳に登録している相手に送信して招集を行うことができます。

1 ｉアプリコール対応のｉアプリからｉアプリコールを送信

送信操作はｉアプリによって異なります。ｉアプリのヘルプを参照してください。

2 「YES」

受信したときは

ｉアプリコールを受信すると、着信音と着信イルミネーション、バイブレータの振動でお知らせし、応答するかどうかの確認メッセージが表示されます。

1 応答する場合は「応答」

対象のｉアプリが起動します。対象のｉアプリがない場合はダウンロードすることもできます。

■ 応答しない場合
▶「拒否」

■ 保留にする場合
▶「保留」
CLRまたは⌐を押したとき、約15秒間操作しなかった場合も保留になります。

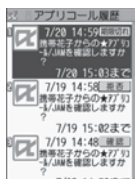
おしらせ

- ◆ｉアプリコールによっては、応答するかどうかの確認メッセージは表示されず、ｉアプリが起動する場合があります。
- ◆ｉアプリコールに応答した場合、パケット通信料がかかることがあります。
- ◆ｉアプリコールは、IP（情報サービス提供者）から通知されることもあります。
- ◆「ソフト設定」－「ｉアプリコール」（P.283）からアプリごとに、ｉアプリコールを受信したとき、ｉアプリの起動を許可するかしないかを設定できます。
- ◆ｉアプリコールの受信を一括拒否することもできます。詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ◆着信音の音量は「着信音量」の「メール」で設定した音量となります。

履歴の確認

受信したｉアプリコールの招集通知者、有効期限、応答状態などの情報は、ｉアプリコール履歴として記憶されます。

- ●履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、保留中以外の古い履歴から順に上書きされます（保留中の履歴しかない場合は保留中の履歴が上書きされます）。
- ●ｉアプリコール履歴からｉアプリを起動したり、対象のｉアプリがない場合はダウンロードすることもできます。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリコール履歴」

ｉアプリコール履歴画面

■ 履歴を削除する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「1件削除」／「全削除」

■表示される履歴の状態について

アイコン	説明
保留中	保留中（未応答／保留）の状態。有効期限内に応答可能
確認	応答／確認済みの状態
拒否	受信を拒否した状態
期限切れ	未応答のまま有効期限が切れた状態

● 保留中のｉアプリコールに応答する

1 ｉアプリコール履歴画面▶保留中の履歴を選択▶「確認」

ｉアプリコール設定

ｉアプリコール受信時にｉアプリを自動的にダウンロード

ｉアプリコールを受信したとき、対象のｉアプリがない場合、ｉアプリを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリコール機能設定」▶「ｉアプリコールダウンロード設

定」▶「拒否する」または「拒否しない」

ｉアプリコール受信時の受信動作の設定

ｉアプリコールを受信したときに鳴る着信音の種類と鳴動時間、着信イルミネーション、バイブレータを設定します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリコール機能設定」▶「ｉアプリコール音設定」▶以下の項目から選択

着信鳴動音選択…「ｉモード」または「プリインストール」のフォルダまたはユーザ作成フォルダに保存されている着信音やメロディを設定します。「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。

鳴動時間設定…着信音の鳴動時間を00～15秒の間で設定します。

バイブレータ選択…P.108

イルミネーション選択…着信イルミネーションの点滅色を選択します。

項目選択のとき、反転表示を移動すると、その色で着信イルミネーションが点灯します。

色1～色7：それぞれの色で点滅します。

グラデーション：色1～色7が順番に点滅します。

OFF：着信イルミネーションは点灯しません。

ｉアプリTo設定

サイトやメールなど、ｉアプリ以外の機能からｉアプリのソフトを起動する項目を選択して、ｉアプリを起動することができます。

ｉアプリToで起動するように設定

ｉアプリTo機能を起動するように、ソフトごとに設定します。

1 ソフト一覧画面（P.281）▶MENU［サブメニュー］▶「ｉアプリTo設定」

2 [◻]で□（チェックボックス）を選択▶[📷]［完了］

ｉアプリToで起動できる機能

■ｉモードのサイト
ｉモードのサイトにｉアプリのソフトの起動指定が表示されている場合に起動できます。

■メール
受信したｉモードメールにｉアプリのソフトの起動指定が貼り付けられている場合に起動できます。

■赤外線通信機能
赤外線通信中にｉアプリ起動の信号を受信すると、ｉアプリのソフトが起動します。

■バーコードリーダー
バーコードリーダーで読み取ったデータにｉアプリの起動指定が含まれている場合に起動できます。

■ICカード機能
FOMA端末のマークを読み取り機にかざすと、ソフトが起動します。

■トルカ
取得したトルカにｉアプリの起動指定が貼り付けられている場合に起動できます。

■データ放送
ワンセグのデータ放送サイトにｉアプリの起動指定が含まれている場合に起動できます。

■スケジュール
スケジュールデータ詳細画面にｉアプリのソフトの起動指定が表示されている場合に起動できます。

おしらせ

＜ｉモードのサイト＞
◆ｉモードのサイトからすぐに起動するｉアプリのソフトがあります（FOMA端末に保存できないソフトもあります）。

＜メール＞
◆ｉモードメールの引用返信や転送をしても、ｉアプリの起動指定は引用できません。

＜ICカード機能＞
◆以下のような場合、ソフトは起動しません。
- ほかの機能が起動している場合
- 通話中
- 起動しようとしたソフトがない場合

ｉアプリ待受画面設定

選択したｉアプリのソフトを待受画面として設定します。「設定する」にすると、待受画面を表示するたびにｉアプリ待受画面を表示します。
●待受画面に設定できないソフトもあります。

1 ソフト一覧画面（P.281）▶MENU［サブメニュー］▶「ソフト設定」▶

「待受画面設定」▶「設定する」▶📷［完了］

■ 設定を解除する場合

▶「設定しない」▶📷［完了］

おしらせ

◆ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1件のみです。
◆通信するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
◆「ソフト設定」の「待受画面通信」を「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。
◆ｉアプリ待受画面表示中に「ダイヤルロック」またはｉアプリに「オリジナルロック」を設定するか、2in1のモードをBモードまたはデュアルモードにすると、ｉアプリ待受画面は終了します。「ダイヤルロック」または「オリジナルロック」を解除するか、2in1のモードをAモードにすると、ｉアプリ待受画面が再び表示されます。
◆タスクを切り替えて待受画面を表示したときは、ｉアプリ待受画面を設定していても「待受画面設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。

ｉアプリ待受画面の実行

ｉアプリ待受画面に設定したソフトを実行します。

1 ｉアプリ待受画面表示中▶CLR

ｉアプリが実行中になり、画面下に「」または「」が点滅表示されます。

ｉアプリ待受画面の解除

● ｉアプリ実行中に解除する

1 ｉアプリ実行中▶CLR（1秒以上）または▶以下の項目から選択

キャンセル…ｉアプリ待受画面実行中の画面に戻ります。

終了する…ｉアプリ待受画面に戻ります。

解除する…ｉアプリ待受画面の設定を解除します。

● 設定中のｉアプリ待受画面を解除する

1 MENU▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「待受画面設定」▶「待受画面」▶「ｉアプリ待受画面終了」

2「設定解除」▶「YES」

■ 解除を中止する場合

▶「NO」

■ 終了する場合

▶「終了」

ｉアプリ待受画面に設定したソフトが再起動します。

ｉアプリ待受画面の終了情報の確認

ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラーが発生したソフト名、発生時刻、発生理由が記憶され、その内容を確認できます。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ実行情報」▶「待受画面終了情報」

ｉアプリによってはMENU［サブメニュー］から待受画面終了情報のコピー／削除ができます。

おしらせ

◆ｉアプリ待受画面が正常に終了した場合（通常終了時）は、記録されません。

ｉアプリの管理

ｉアプリのバージョンアップ

ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、ソフトをバージョンアップできます。

1 ソフト一覧画面（P.281）▶MENU［サブメニュー］▶「バージョンアップ」▶「YES」▶「YES」

おしらせ

◆以下のような場合、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
- BOXロックの設定中
- フォルダロックの設定中
- バージョンアップするメール連動型ｉアプリ専用フォルダの使用中

microSDカード内のｉアプリ表示

microSDカードに保存されているｉアプリを一覧表示します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ(microSD)」▶「ソフト一覧(microSD)」

ソフト一覧（microSD）画面が表示されます。
サブメニュー→P.299

サブメニュー

❖ソフト一覧（microSD）画面

ソフト情報…microSDカードに保存されているｉアプリのソフト情報を表示します。

削除…選択したｉアプリおよびｉアプリ使用データを削除します。

本体へ移動…microSDカードに保存されているｉアプリおよびｉアプリ使用データを本体に1件移動します。

おしらせ

◆ソフト一覧（microSD）からｉアプリは起動できません。
◆microSDカードに保存されているｉアプリは、ほかのFOMA端末で利用できない場合があります。
◆microSDカードに保存されているｉアプリを本体に移動する場合、microSDカードにあるｉアプリ使用データも本体へ移動されます。
◆microSDカードに保存されているｉアプリを本体に移動できるかどうかは、「ソフト情報」（P.283）で確認できます。

microSDカード内のｉアプリ使用データ表示

microSDカードに保存されているｉアプリ使用データ（microSD）をフォルダ名で一覧表示します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ(microSD)」▶「ｉアプリ使用データ」

ｉアプリ使用データ一覧画面が表示されます。
サブメニュー→P.299

サブメニュー

❖ｉアプリ使用データ一覧画面

フォルダ情報…ｉアプリの作成者、利用可能ソフト、フォルダを利用できるかどうかなどを表示します。

フォルダ削除…選択したフォルダを削除します。

おしらせ

◆ソフトからmicroSDカードに保存するｉアプリ使用データは、ほかのFOMA端末で利用できない場合があります。
◆ソフトからmicroSDカードにｉアプリ使用データを保存するかどうかは、「ソフト情報」（P.283）で確認できます。

バーコードの利用

1 ソフト実行中に、バーコードリーダーの起動項目を選択

カメラ（バーコードリーダー）が起動します。

2 バーコード（JANコード、QRコード）を認識範囲に表示

バーコード（JANコード、QRコード）が読み取られます。

ｉウィジェット

ｉウィジェットとは電卓・時計やメモ、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）に簡単にアクセスすることができる便利な機能です。
ｉウィジェット画面には複数のウィジェットアプリ（最大8個）を貼り付けることができ、ｉウィジェット画面を表示するだけで、複数のアプリを一度に楽しむことができます。
さらに使いたいウィジェットアプリを選択すれば、より詳細な情報を取得することもできます。
ウィジェットアプリはサイトからダウンロードすることにより追加することが可能です。

- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- 詳細情報を閲覧する場合は、別途パケット通信料がかかります。
- ｉウィジェットの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

お買い上げ時に登録されているウィジェットアプリ

アプリ名	説明
ｉアプリバンキング	P.289
マクドナルド トクするアプリ	P.290
地図アプリ	P.315
楽オク☆アプリ	P.290
ｉWウォッチ	P.291

アプリ名	説明
Start! ｉウィジェット	P.291
ソラダスお天気予報ウィジェット	P.291
ルナルナ★女性の医学	P.291
駅探🚃乗換案内	P.291
鏡リュウジ★今日の運勢	P.291
今の為替と株価	P.291

ｉウィジェットの利用

ウィジェットアプリの起動

ｉウィジェット画面／ウィジェットアプリ一覧画面を表示し、ウィジェットアプリを起動します。

- ●ソフト一覧画面から起動する場合→P.281
- ●日常使用するウィジェットアプリをｉウィジェット画面に貼り付けて利用します。
- ●ウィジェットアプリ一覧画面、ソフト一覧画面からウィジェットアプリを起動すると、ｉウィジェット画面にそのアプリが自動的に貼り付けられます。

1 待受画面表示中▶[ｉウィジェットキー]

ｉウィジェット画面またはウィジェットアプリ一覧画面（ｉウィジェット画面にウィジェットアプリが1つも貼り付けられていない場合）が表示されます。

ｉウィジェット画面　　ウィジェットアプリ一覧画面

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ ｉウィジェット画面から待受画面に戻る場合
▶[✉]［戻る］

2 ウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリが起動します。

■ ｉウィジェットの使い方を見る場合
▶「Start! ｉウィジェット」▶「使い方ガイド」

■ ウィジェットアプリを終了する場合
▶[ｉ]［アプリ終了］▶「YES」
ｉウィジェット画面から表示中のウィジェットアプリを消去して終了します。

- 消去しないでｉウィジェット画面に戻る場合は[✉]［戻る］を押します。

■ ｉウィジェット画面で表示されるウィジェットアプリの状態について

アイコン	説明
	通常のウィジェットアプリ
	ウィジェットアプリDX
	SSL／TLS対応ページからダウンロードしたウィジェットアプリ
	通信を利用するウィジェットアプリ
	おサイフケータイ対応ウィジェットアプリ→P.304
	GPS対応ウィジェットアプリ

■ウィジェットアプリ一覧画面で表示されるウィジェットアプリの状態について

アイコン	説明
NEW	ダウンロードしてから48時間以内のウィジェットアプリ
ACTIVE	ｉウィジェット画面に貼り付けられているウィジェットアプリ

おしらせ

◆ｉウィジェット画面には、最大8個のウィジェットアプリを貼り付けることができます。すでに8個貼り付けているときにウィジェットアプリを変更したい場合は、現在貼り付けられているウィジェットアプリのどれかを終了し、ウィジェットアプリ一覧画面から新たに貼り付けたいウィジェットアプリを起動してください。

◆ｉウィジェット画面またはウィジェットアプリ一覧画面を表示中に、約3分間ボタン操作をしなかったときは自動的に待受画面に戻ります。ウィジェットアプリを起動しているときは自動的に待受画面に戻りません。

◆ｉウィジェット画面にウィジェットアプリが1つも貼り付けられていない場合は、ウィジェットアプリ一覧画面で[✉]［戻る］を押すと待受画面に戻ります。

ウィジェットアプリのシャッフル

ｉウィジェット画面内のウィジェットアプリの配置をランダムに変えます。

1 ｉウィジェット画面▶[📷]［シャッフル］

ｉウィジェットの設定

ローミング中のネットワーク接続や、起動時の効果音の音量を設定します。

1 **MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶以下の項目から選択**

ｉウィジェット海外利用設定…国際ローミング中にｉウィジェットのネットワーク接続をするかどうかを設定します。

ｉウィジェット効果音設定…ｉウィジェット起動時の効果音のON／OFFを設定します。

おしらせ

<ｉウィジェット海外利用設定>

◆海外に移動して最初にｉウィジェット画面を起動しようとすると、本設定の確認メッセージが表示されます。

<ｉウィジェット効果音設定>

◆マナーモード設定中のｉウィジェット効果音の音量は、「マナーモード選択」の設定に従います。

ウィジェットアプリの設定

1 **ソフト一覧画面（P.281）▶MENU［サブメニュー］▶それぞれの項目を設定**

ソフト設定について→P.282

ウィジェットアプリ終了情報の確認

ウィジェットアプリの起動中に障害やセキュリティエラーが発生すると、ウィジェットアプリ終了情報に記録されます。

1 **MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ実行情報」▶「ウィジェットアプリ終了情報」**

MENU［サブメニュー］からウィジェットアプリ終了情報のコピー／削除ができます。

ウィジェットアプリのダウンロード

サイトからウィジェットアプリをダウンロードして、FOMA端末で起動します。

- ダウンロードしたウィジェットアプリは、ｉアプリとあわせて最大200件保存できます。保存可能件数はウィジェットアプリのデータ量によって変動します。

1 **ウィジェットアプリを選択**

「完了しました」というメッセージが表示されます。

■ **データの取得中にダウンロードを中止する場合**

▶ダウンロード中▶■［Cancel］またはCLR

2 **「YES」**

ダウンロードしたウィジェットアプリが起動します。

■ **ウィジェットアプリを起動しない場合**

▶「NO」

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ 304
ｉＣお引っこしサービス 304
おサイフケータイの利用 304
ICオーナー確認 305
ICカードロック 305
ICカード利用時の着信イルミネーションとバイブレータの設定 306
トルカ 306
トルカ取得 307
トルカ表示 307
トルカ設定 310

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※1も充実しています。
おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（i モード< FOMA >編）』をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※2よりおサイフケータイ対応 i アプリをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応 i アプリのダウンロードが不要なものもあります。

※1 おまかせロック、ICカードロックを利用できます。→P.130、305
※2 i ▶「メニューリスト」▶「【生活情報】おサイフケータイ」

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、 i Cお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

i Cお引っこしサービス

i Cお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
ICカード内データを移し替えたあとは、おサイフケータイ対応 i アプリをダウンロードするだけで、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。 i Cお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
i Cお引っこしサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）』をご覧ください。

おサイフケータイの利用

ICカード一覧画面からおサイフケータイ対応 i アプリを起動します。おサイフケータイ対応 i アプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーをチャージ（入金）したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。
端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。

- 以下の場合は、ソフトからICカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  - i アプリ起動中に電話がかかってきた場合
  - 電池が切れた場合
- おサイフケータイ対応 i アプリをはじめて起動したときやダウンロードしたとき、ドコモUIMカード情報とICカードの対応付けが行われます。それ以降は対応付けされたドコモUIMカードを挿入していないとICカード機能を利用することはできません。
  なお、別のドコモUIMカードに差し替えてご利用になる場合、一度おサイフケータイ対応 i アプリを削除（ICオーナー初期化）しないとICカード機能を利用することはできません。→P.305
- サービスによってはサイトからチャージや利用履歴の確認などの機能を利用することができます。
- おサイフケータイ web プラグインに対応したサイトのチャージやクーポン書き込みページをBookmarkに登録しても、Bookmarkからアクセスするとご利用できないことがあります。

1 おサイフケータイ対応 i アプリをダウンロードする
「i アプリのダウンロード」→P.280

2 MENU ▶「おサイフケータイ」▶「ICカード一覧」

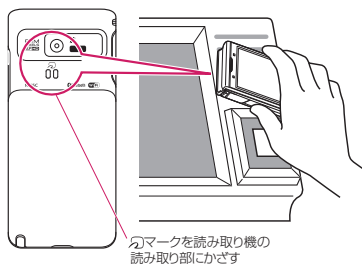
ICカード一覧画面（サブメニュー→P.282）

3 おサイフケータイ対応ｉアプリを選択▶サービスの初期設定を行う

ソフト一覧画面（P.281）からも起動できます。

4 FOMA端末のマークを読み取り機にかざして、目的のサービスを利用する

FOMA端末のマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

おサイフケータイ利用時には、「ICカード通知設定」の設定に従った着信イルミネーションの点灯およびバイブレータ（振動）でお知らせします。

おしらせ

◆通話中は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできませんが、マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけます。

◆電源が入っていないときや電池残量が少なくなってからもマークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用いただくことができます（おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません）。ただし、電池パックを長期間利用しなかったり、低電圧アラームが鳴ったあとで充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。電池パックを取り付けていないときは、ICカード機能はご利用いただけません。

◆マークの面を読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。

◆マークをかざしても認識されない場合は、読み取り機の読み取り部になるべく近づけ、平行になるように、前後左右にずらしてかざしてください。

◆マークを読み取り機の読み取り部にかざしたときに、おサイフケータイ対応ｉアプリが起動することがあります。

ICオーナー確認

おサイフケータイ内のICカードが、挿入しているドコモUIMカードに対応付けされているか確認します。別のドコモUIMカードに差し替えてご利用になる場合、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除（初期化）してICカード機能を利用します（お買い上げ時に登録されているiD 設定アプリは削除できません）。

1 MENU▶「おサイフケータイ」▶「ICオーナー確認」

別のドコモUIMカードを挿入している場合、■を押すとICオーナーを変更（おサイフケータイ対応ｉアプリを初期化）できます。

■ ICオーナーを変更する場合

▶「ICオーナー変更」▶「初期化」▶「ＹＥＳ」▶端末暗証番号入力▶「YES」

おしらせ

◆ICカード内にデータが残っているとICオーナー初期化できない場合があるため、事前にデータを削除してからICオーナー初期化を行ってください。

ICカードロック

ほかの人にICカード機能を無断で使われることを防ぐために、ICカード機能をロックします。

●電源を切ってもICカードロックは解除されません。

1 待受画面表示中▶3（1秒以上）

ICカードロックが設定されて「」が表示されます。

オートロック設定中の場合は、設定した時間が経過すると「」が表示され、ICカード機能を自動的にロックします。→P.28

■ 解除する場合
▶待受画面表示中▶3（1秒以上）▶端末暗証番号を入力

オートロック設定中でもICカードロックの解除ができます。解除後、オートロック設定で設定した時間が経過すると、再びICカード機能を自動的にロックします。

おしらせ

◆電池パックを取り外すとICカードロックが自動的に設定されます。この場合、電池パックを取り付けるとICカードロックは自動的に解除されます。
◆ICカードロックを設定しているときに電池残量がなくなって電源が切れた場合でもICカードロックは解除されません。
◆ICカードロック設定中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによってはダウンロードやバージョンアップ、削除ができないことがあります。
◆ICカードロック設定中におサイフケータイ対応ｉアプリを起動しようとすると、ICカードロックを一時的に解除しておサイフケータイ対応ｉアプリを起動することができます。ICカードロックを一時的に解除した場合、おサイフケータイ対応ｉアプリを終了すると、再度ICカードロックが有効になります。

電源OFF時ICロック設定

電源が入っていないときにおサイフケータイが利用できないよう、ICカード機能をロックします。

1 MENU▶「おサイフケータイ」▶「ICカードロック設定」▶端末暗証番号を入力▶「電源OFF時ICロック設定」▶以下の項目から選択

直前の状態を保持…電源を切る直前のICカードロックの設定と同じになります。

ICカードロックON…ICカードロックの設定にかかわらずICカード機能をロックします。

自動的にICカード機能のロック

一定時間経ったときに、自動的にICカード機能をロックします。オートロック設定でICカード機能をロックすると、待受画面には「IC」が表示されます。

1 MENU▶「おサイフケータイ」▶「ICカードロック設定」▶端末暗証番号を入力▶「オートロック設定」▶以下の項目から選択

OFF…ロックはかかりません。

1分後ON～30分後ON…設定した時間が経過すると、ICカード機能をロックします。

おしらせ

◆おサイフケータイ対応ｉアプリが起動しているときに設定した時間になった場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリを終了した時点でICカード機能をロックします。

ICカード利用時の着信イルミネーションとバイブレータの設定

ICカード利用時に着信イルミネーションとバイブレータ（振動）で知らせるかどうかを設定します。

1 MENU▶「おサイフケータイ」▶「設定」▶「ICカード通知設定」▶以下の項目から選択

イルミネーション…ICカード利用時に着信イルミネーションが点灯するように設定します。

バイブレータ…ICカード利用時にバイブレータが振動するように設定します。

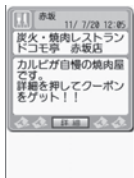
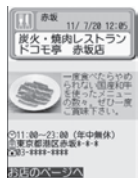
トルカ

トルカとはFOMA端末で取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは、読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メールや赤外線通信、ｉC通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。

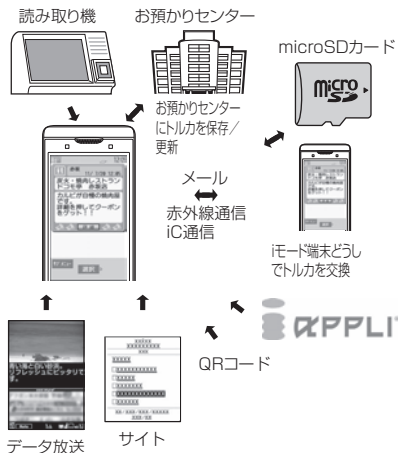
- 取得したトルカは「おサイフケータイ」メニューの「トルカ」内に保存されます。
- トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■トルカ利用の流れ

おサイフケータイの マークを読み取り機にかざしてトルカを取得

トルカ

トルカ一覧から取得したトルカを選択。
「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

トルカ（詳細）

■トルカの取得手段

おしらせ

◆サイトからトルカおよびトルカ（詳細）を取得する場合は、通常のパケット通信料がかかります。

◆IP（情報サービス提供者）の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線通信などを利用して再配布できないトルカがあります。

トルカ取得

読み取り機からトルカを取得します。

- トルカは最大495件※トルカフォルダに保存することができます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。保存できるトルカサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
  ※ 利用済みトルカフォルダには別途最大20件保存できます。

1 FOMA端末の マークを読み取り機にかざす

「ICカード通知設定」の設定に従ってバイブレータ、着信イルミネーションでお知らせし、トルカ取得音が鳴って、取得したトルカやトルカ（詳細）が約15秒間表示されます。

読み取り機へのかざしかた→P.304

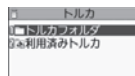
おしらせ

◆ほかの機能が起動しているときは、取得したトルカは表示されません。

◆トルカ取得音は変更できません。また、音量は「着信音量」の「FOMA電話」で設定した音量で鳴ります。「ステップ」に設定した場合は「レベル4」の音量になります。

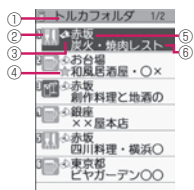
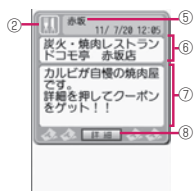
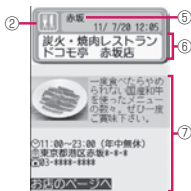
◆ICカードロック設定中、ダイヤルロック設定中、セルフモード設定中、おまかせロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。

トルカ表示

1 MENU▶「おサイフケータイ」▶「トルカ」

トルカフォルダ一覧画面（サブメニュー→P.308）

2 フォルダを選択▶トルカを選択

■ microSDカードのトルカを表示する場合
▶ [microSD]

● トルカ一覧画面・トルカ表示画面の見かた

トルカ一覧画面

トルカ表示画面(トルカ)　トルカ表示画面(トルカ(詳細))

上段左画面：サブメニュー→P.309
下段左画面：サブメニュー→P.309
下段右画面：サブメニュー→P.309

① フォルダのタイトル
② トルカのカテゴリを示すアイコン
③ トルカの状態
- : 未読トルカ
- : 既読トルカ
- : 有効期限切れトルカ

④ お気に入りに登録したことを示すアイコン
⑤ 場所など（インデックス）
⑥ トルカのタイトル
⑦ トルカの内容(Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To、ｉアプリTo※1機能を利用することもできます)
⑧ トルカ（詳細）を取得※2

※1 トルカ（詳細）でのみ利用可能です。
※2 トルカ（詳細）を取得すると、トルカが上書きされます。

● お気に入りに登録する

1 トルカ一覧画面（P.308）▶[☆マーク]

■ お気に入りの一覧を表示する場合
▶[☆一覧]

■ お気に入りを解除する場合
▶お気に入りのトルカを選択▶[☆マーク]

おしらせ

◆トルカによっては、Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To、ｉアプリTo機能が利用できない場合があります。

● 自動振分けを設定する

ジャンルやトルカのタイトル、インデックスをあらかじめ振分け条件として設定し、自動的に指定したフォルダにトルカを振り分けます。

1 トルカフォルダ一覧画面（P.307）▶振分け先のフォルダを反転▶MENU[サブメニュー]▶「自動振分け設定」▶以下の項目から選択

すでに振分け条件を設定している場合は、設定中の条件が表示されます。さらにMENU［サブメニュー］を押して「設定変更」を選択します。

ジャンル…10個のジャンルから選択します。
［アイコン］を押し、それぞれのジャンルに対応するアイコンを確認することもできます。

タイトル、インデックス…トルカのタイトル、インデックスを入力します。

■ 振分け設定を解除する場合
▶振分け設定を解除するフォルダを反転▶MENU［サブメニュー］▶「自動振分け設定」▶MENU［サブメニュー］▶「解除」▶「YES」

おしらせ

◆複数の振分け条件に該当したときの優先順位は以下のとおりです。
①ジャンル　②タイトル　③インデックス

サブメニュー

❖ トルカフォルダ一覧画面（P.307）

フォルダ追加…フォルダ名を入力してフォルダを追加します。
追加できるフォルダは20個までです。

フォルダ名編集※1…追加したフォルダのフォルダ名を編集します。

自動振分け設定※1※2※3…追加したフォルダに自動振分けを設定します。→P.308

☆マーク一覧※2※3…お気に入り登録したトルカを一覧表示します。

全検索※2※3…項目（インデックス、タイトル）を選択し、検索する文字列を入力すると、一致するトルカを一覧で表示します。

全フィルタ※2※3…選択した条件に一致するトルカのみを表示します。

全表示※2※3…全検索または全フィルタ機能による表示を解除し、保存されているすべてのトルカを表示します。
iC全送信※2※3…P.380
赤外線全送信※2※3…P.379
フォルダ削除※1…フォルダを削除します。
保存件数確認※3…トルカの保存件数を表示します。
保存容量確認…保存容量を表示します。
お預かりセンターに接続※2…P.146
トルカ全削除…FOMA端末内に保存されているトルカをすべて削除します。

※1 ユーザ作成フォルダ以外のフォルダでは、利用できません。
※2「microSD」フォルダ内のフォルダのときは利用できません。
※3「microSD」「利用済みトルカ」のフォルダ内データは、操作の対象になりません。

サブメニュー

❖トルカ一覧画面（P.308）

フォルダ移動※1※2…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、トルカをほかのフォルダに移動します。
コピー※1※2…「1件コピー、選択コピー、全コピー」を選択後、コピー先のフォルダを選択し、トルカをコピーします。
☆マーク一覧※1※3…お気に入り登録したトルカを一覧表示します。
☆マーク／解除※3…トルカにお気に入りを登録、解除します。
検索※1※3…項目（インデックス、タイトル）を選択し、検索する文字列を入力すると、一致するトルカを一覧で表示します。
フォルダ内全表示※1※3…検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示に戻します。
トルカフォルダ一覧画面で「全検索」「全フィルタ」「全表示」を実行しているときは「全表示」と表示されます。
ソート※1※3…選択した条件に従ってトルカを並び替えます。
フィルタ※1※3…選択した条件に一致するトルカのみを表示します。
メール作成※2…トルカを添付したｉモードメールを作成します。
iC送信※3…P.380
赤外線送信※3…P.379
microSDへコピー※3…P.367
本体へコピー※4…P.368
保存件数確認※2※5…トルカの保存件数を表示します。
保存容量確認…保存容量を表示します。
トルカ情報※2…タイトル名や有効期限などを表示します。
削除※1…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 トルカフォルダ画面またはトルカ一覧画面で「☆マーク一覧」を選択したときは利用できません。
※2「利用済みトルカ」のフォルダ内では利用できません。
※3「microSD」「利用済みトルカ」のフォルダ内では利用できません。
※4 microSDカードに保存されているトルカのときのみ利用できます。
※5「microSD」のフォルダ内のデータは、操作の対象になりません。

サブメニュー

❖トルカ表示画面（P.308）

フォルダ移動※1…移動先のフォルダを選択し、トルカを移動します。
コピー※1…コピー先のフォルダを選択し、トルカをコピーします。
メール作成…トルカを添付したｉモードメールを作成します。
iC送信※2…P.380
赤外線送信※2…P.379
microSDへコピー※2…P.367
本体へコピー※3…P.368
更新※2※4…トルカ（詳細）を新しい情報に更新します。
画像保存※2※4…トルカ（詳細）の画像を保存します。「通常画像、背景画像」から選択します。
電話帳登録※2…P.94
リプレイ※2※4…トルカ（詳細）のFlash画像やアニメーションを最初から再生します。
削除※1…トルカを1件削除します。

※1 トルカフォルダ画面またはトルカ一覧画面で「☆マーク一覧」を選択したときは利用できません。
※2「microSD」のフォルダ内では利用できません。
※3 microSDカードに保存されているトルカのときのみ利用できます。
※4 本体に保存されているトルカ（詳細）を表示中のときのみ利用できます。

おしらせ

◆トルカによっては、コピー、メール添付送信、iC送信、赤外線送信、microSDカードへのコピー、更新を行うことができない場合があります。

トルカ設定

1 MENU ▶「おサイフケータイ」▶「設定」▶「トルカ設定」▶以下の項目から選択

ICカードから取得…マークを読み取り機にかざしたときにトルカ取得を行う（許容する）か拒否する（許容しない）かを設定します。
「許容する」に設定した場合、トルカ取得時にFOMA端末内（「利用済みトルカ」フォルダや有効期限切れのトルカを除く）のトルカとの重複チェックを行うかどうかを設定します。

自動読取設定…マークを読み取り機にかざしてトルカを取得する際、利用可能なトルカを自動読取させるかどうかを設定します。
「ON」に設定すると、FOMA端末内（「利用済みトルカ」フォルダや有効期限切れのトルカを除く）の利用可能なトルカが自動的に認識され、「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。

スクロール設定…トルカ表示画面のスクロール行数を「1行スクロール、3行スクロール、5行スクロール」から選択します。

おしらせ

<ICカードから取得>
◆重複チェックを「行う」に設定した場合、同じトルカを取得することができません。同じトルカを取得したいときは、「行わない」に設定してください。

<自動読取設定>
◆「OFF」に設定している状態で読み取り機にかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面や自動読取機能が無効である旨のメッセージが表示される場合があります。トルカを利用される場合「YES」を選択して本機能を「ON」にしてください。

ワンセグからトルカの取得

ワンセグのデータ放送からトルカを取得するかどうかを設定します。

1 MENU ▶「おサイフケータイ」▶「設定」▶「放送トルカ取得設定」▶「取得する」または「取得しない」

おしらせ

◆同じトルカを取得することはできません。

地図・GPS機能

地図・GPS機能のご利用について.......................... 312
地図.......................... 313
ナビ.......................... 313
イマドコかんたんサーチ／イマドコサーチ.......................... 313
ｉエリア－周辺情報－.......................... 313
現在地確認.......................... 314
現在地確認設定.......................... 314
地図・GPSアプリ.......................... 315
位置提供.......................... 315
現在地通知.......................... 318
位置履歴.......................... 319
位置情報.......................... 320
オートGPS機能.......................... 320
オートGPS設定.......................... 321

地図・GPS機能のご利用について

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信してFOMA端末の位置情報を取得する機能です。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある
  - FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外では現在地確認以外のGPS機能をご利用いただけません。
- 現在地確認、位置提供、現在地通知が利用できない条件は以下のとおりです。

機能名	利用できない条件
現在地確認	テレビ電話中、自動キーロック中、ダイヤルロック中、おまかせロック中
現在地通知	「圏外」が表示されているとき、海外での利用時、セルフモード中、自動キーロック中、ダイヤルロック中、おまかせロック中、ドコモUIMカード未挿入時、Wi-Fiシングルモードのとき
位置提供	「圏外」が表示されているとき、海外での利用時、測位中、セルフモード中、ドコモUIMカード未挿入時、Wi-Fiシングルモードのとき

海外での地図・GPS機能利用

- 海外では位置提供、現在地通知、オートGPS機能は利用できません。
- 海外の3G／GPRSネットワーク圏内で現在地確認ができます。
- 海外で現在地確認をするには、iモード海外利用設定が必要です。
  海外でのｉモード利用について→P.464
- 日付・時刻を正しく設定しておいてください。
  日付時刻設定→P.65
- 海外で位置提供設定のサービス利用設定サイトに接続した場合、エラー画面が表示され、利用できません。その場合でもパケット通信料がかかります。
- 各国・地域の法制度等により、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■地図を見る

- 操作方法→P.313
- 地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「iモードサイト」または「iアプリ」を選択すると地図が表示されます。ただし、場所によっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。

■現在地確認

- 操作方法→P.314
- 現在地確認の通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。
- 海外では測位途中の位置情報を利用できません。
- 測位に失敗した場合、表示される画面から近隣の都市（地域、国、都市の順）を選択することで測位できる場合があります。
- 測位後の位置情報利用メニューで「地図を見る」を選択すると、地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「iモードサイト」または「iアプリ」を選択すると地図が表示されます。ただし、場所によっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。→P.313

■GPSボタン設定

- 操作方法→P.314
- 「地図を見る」を設定した場合、現在地確認を行うと地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「iモードサイト」または「iアプリ」を選択して地図を表示します。

■GPS対応ｉアプリ
- 操作方法→P.315
- 利用するアプリによっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。
- 「地図アプリ」は海外では利用できません。

■位置履歴／オートGPS履歴
- 操作方法→P.319
- 海外で現在地確認を行うと位置履歴には「 」のマークが表示されます。ただし、圏外で測位した場合は表示されません。
- 位置履歴、オートGPS履歴からの位置情報利用メニューで「地図を見る」を選択すると、地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択して地図を表示します。

地図

GPS対応ｉアプリを起動して地図を表示します。
- 地図設定（P.313）で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。
- お買い上げ時は「地図アプリ」が設定されています。

1 MENU▶「地図／海外」

地図／海外メニュー画面

2「地図」

地図・GPSアプリの設定

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「地図設定」▶以下の項目から選択

地図選択…「地図」や「ナビ」を選択したときに起動するアプリを設定します。

地図起動時動作設定…「地図」を選択したときに位置情報を取得するかどうかを設定します。

● 位置情報を取得して地図・GPSアプリを起動するとき
- 地図起動時動作設定（P.313）を「測位して起動」に設定してください。

ナビ

「地図設定」の「地図選択」（P.313）で設定したGPS対応ｉアプリを起動して、地図を表示したり、ナビゲーションの機能を利用することができます。
- 「ナビ」で起動するGPS対応ｉアプリは、「地図」や位置情報から地図を表示するときに起動するGPS対応ｉアプリと同一アプリとなります。
- お買い上げ時は「地図アプリ」（P.315）が起動するように設定されています。
- GPS対応ｉアプリが設定されていない場合は、地図選択の画面が表示されます。
- 地図設定されているGPS対応ｉアプリによっては、ナビゲーションの機能を利用できない場合があります。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「ナビ」

イマドコかんたんサーチ／イマドコサーチ

- イマドコかんたんサーチ
  ｉモードサイトに接続し、探したい相手の電話番号を入力して、居場所を地図で確認します。
- イマドコサーチ
  ｉモードサイトに接続し、探したい相手の居場所を地図で確認します。
  ※ イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。
  ※ あらかじめ、探したい相手の登録が必要です。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「イマドコサーチ」▶「イマドコかんたんサーチ」／「イマドコサーチ」▶「YES」▶画面に従って操作

ｉエリア－周辺情報－

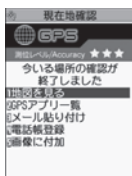
ｉモードサイトに接続し、今いる場所の地図情報や、天気予報、交通情報、店舗情報など、周辺の便利な情報を検索できます。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「ｉエリア－周辺情報－」▶「YES」▶画面に従って操作

現在地確認

現在、自分がいる場所を測位して、位置情報を取得します。取得した位置情報を使って、現在地を地図に表示したり、地図・GPSアプリを利用することができます。

- 現在地確認をしたときのパケット通信料は無料です。ただし位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「現在地確認／通知」▶「現在地確認」

測位結果画面

■ 測位に時間がかかるというメッセージが表示された場合

▶「YES」

■ 中止する場合

▶[カメラ]［中断］または[CLR]

■ 途中までの測位レベルの位置情報を現在地確認として利用するとき

▶現在地確認中▶[■]［利用］

- 測位レベル★★★
  ほぼ正確な位置情報です（誤差がおおむね50m未満）。
- 測位レベル★★☆
  比較的正確な位置情報です（誤差がおおむね300m未満）。
- 測位レベル★☆☆
  おおよその位置情報です（誤差がおおむね300m以上）。

測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

■ 位置情報を取得し直す場合

▶[カメラ]［リトライ］

2 以下の項目から選択

地図を見る…「地図選択」（P.313）で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。

GPSアプリ一覧…地図・GPS機能に対応したｉアプリの一覧を表示します。

メール貼り付け※…位置情報URLをｉモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。

電話帳登録…位置情報を電話帳に登録します。

画像に付加…画像を選択し、位置情報を付加します。

※ 送信する位置情報のURLは、ｉモード対応端末でのみ表示されます。

おしらせ

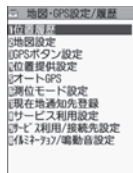
◆待受画面表示中に[1]を1秒以上押しても位置情報を取得できます。この場合、「GPSボタンの設定」（P.314）で設定した項目が自動的に選択されます。

◆FOMA端末が圏外でも現在地確認が利用できる場合がありますが、時間がかかったり、周囲の状況によっては測位できないことがあります。

現在地確認設定

GPSボタンの設定

待受画面表示中に[1]を1秒以上押したときに自動的に実行される機能を設定します。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」

地図・GPS設定／履歴画面

2 「GPSボタン設定」▶自動実行する機能を選択

自動実行する機能を「現在地確認」（P.314）の操作2と同様の項目から選択します。

なお、自動実行する機能を選択しないで[1]を押すたびに機能を選択できるように設定することもできます。この場合は「毎回確認」を選択します。

現在地確認の測位モード設定

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「測

位モード設定」▶「現在地確認」▶以下の項目から選択

標準モード…短い時間で測位することを優先します。

品質重視モード…時間をかけて測位を行います。その結果、標準モードより精度が上がります。ただし、電波の状況などにより、精度が上がらない場合もあります。

地図・GPSアプリ

地図・GPS機能に対応したｉアプリを設定して起動します。位置情報を取得するかどうかを設定することもできます。

- 地図･GPS機能に対応したｉアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。
- 地図・GPS機能に対応したｉアプリで地図・GPS機能を利用する場合、利用するソフトの「位置情報利用」を「利用する」に設定してください。→P.283

地図・GPSアプリの起動

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「GPSアプリ一覧」▶GPS対応ｉアプリを選択

おしらせ

◆利用するソフトの「位置情報利用」を「利用する」に設定していても、そのソフトの提供外の位置情報のときは、地図が正しく表示されない場合があります。その場合もパケット通信料がかかります。

地図アプリ

「地図アプリ」は、位置情報を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地までのナビゲーションなどができるドコモ地図ナビサービスのｉアプリです。ドライブのときに便利な情報や、災害時に役立つ施設情報なども検索できます。また、オートGPS機能を利用すれば、自分の居場所に応じた便利な情報を受信することができます。

● サービス利用料金について

本アプリの提供サービスは、以下に分類されます。

【無料機能】

- 地図表示、周辺情報の検索ができます。グルメクーポンの検索もできます。
- 自動的にGPSで測位した現在地情報に応じて、観光情報やグルメ情報など便利な情報をメッセージRで受信することができます。

【有料機能】

ドコモ地図ナビの有料機能をお使いの場合は、お申込みとドコモ地図ナビ月額使用料が必要です。

本サービスをはじめてお申込みいただいた方は初月無料でご利用になれます。

- 車・電車・徒歩を含めた総合的なナビゲーションができます。渋滞情報を考慮したルート検索も可能です。
- 電車の乗換案内や、時刻表の表示が可能です。
- お気に入りの場所を登録することができます（5件までは無料）。また登録した地点は、ｉMenu地図、契約者向けサイト、PCサイトなどで共有することができます。
- 過去にGPS測位した場所を、市区町村や都道府県単位で地図上に色を塗って表示する訪れた街機能が利用できます。
- 災害時に役立つ施設の検索が可能です。また、災害用地図アプリという、通信不要のｉアプリを利用できます。自宅周辺などのエリアの災害用地図をあらかじめダウンロードしておけば、いざという場合に役立ちます。

おしらせ

◆海外では本アプリはご利用になれません。ただし、アプリのダウンロードやバージョンアップは可能です。

◆ご利用時には別途パケット通信料がかかります。本アプリをご利用の場合はｉモードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします。海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

◆本アプリを削除した場合は、ｉMenu→「地図」からダウンロードしてください。

◆地図、周辺情報、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。

◆自動車、バイク、自転車などの運転中は、大変危険ですので、携帯電話の操作をしないでください。

◆走行中は、必ずドライバー以外の方が操作を行ってください。

◆オートGPSを利用する場合は、アプリを起動していない場合でもパケット通信料がかかります。

位置提供

ドコモの「イマドコサーチ」など、位置提供サービスを利用した相手などから要求があったときに、位置情報を提供するように設定します。

- 位置提供に対応したサービスを利用するには、サービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となることがあります。

●位置提供に対応したサービスを利用するには、「位置提供設定」(P.316)で位置情報の提供を許可するように設定する必要があります。また、サービスごとの利用設定が必要な場合があります。
●ｉモードから位置情報利用設定が必要な場合があります。
・[i]▶「お客様サポート」▶「各種設定(確認・変更・利用)」▶「その他サービス設定・確認」▶「位置情報利用設定」
●位置提供に対応したサービスのご利用については、サービス提供者やドコモのホームページをご覧ください。

おしらせ

◆2in1のモードを問わず、Aナンバーでのみ利用できます。相手からBナンバーで検索された場合は、位置提供は行われず、検索者には検索失敗が通知されます。

位置提供の可否設定

相手から現在の位置情報を提供するように要求があったとき、位置情報を提供するかどうかを設定します。

1 地図／海外メニュー画面(P.313)▶「地図・GPS設定／履歴」▶「位置提供設定」▶暗証番号を入力▶以下の項目から選択

位置提供ON、電話帳登録外拒否…要求があったときに位置情報の提供を許可するか、許可する条件を設定します。また、許可期間を設定します。※電話帳登録外拒否を設定すると、電話帳に登録されていない相手からの位置提供要求は自動的に拒否されます。許可期間を設定する場合は、以下の項目から選択します。

- **開始時間**…開始時刻を入力します。
- **終了時間**…終了時刻を入力します。
- **繰り返し設定**…「設定なし、毎日、曜日指定」から選択します。
- **有効期間設定**…「繰り返し設定」の「開始日」と「終了日」を設定します。

位置提供OFF…位置提供をしないようにします。

※ 位置提供を許可する期間を設定したときの動作について→P.316

おしらせ

◆位置情報の提供を許可していると、FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。
◆開始時間と終了時間に同じ時刻を設定すると以下のようになります。
・有効期間設定、繰り返し設定をしていないときは、設定した時刻から24時間の間、位置提供の許可期間となります。
・有効期間を設定しているときは、「終了日」の翌日の終了時刻まで位置提供の許可期間となります。
・繰り返し設定で「曜日指定」を設定しているときは、指定された曜日の翌日の終了時刻まで位置提供の許可期間となります。

● 位置提供を許可する期間を設定したときの動作

<例1：現在の日時が「2011/7/20　12:05」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を21:00に設定した場合>

繰り返し設定	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	2011/7/20 14:00～2011/7/20 21:00
毎日	開始日：2011/7/26 終了日：2011/8/1	2011/7/26～2011/8/1の毎日14:00～21:00
	開始日：2011/7/16 終了日：2011/8/1	2011/7/20～2011/8/1の毎日14:00～21:00
	設定なし	2011/7/20以降の毎日14:00～21:00
曜日指定	開始日：2011/7/26 終了日：2011/8/1	2011/7/26～2011/8/1の指定した曜日14:00～21:00
	開始日：2011/7/16 終了日：2011/8/1	2011/7/20～2011/8/1の指定した曜日14:00～21:00
	設定なし	2011/7/20以降の指定した曜日14:00～21:00

<例2：現在の日時が「2011/7/20　12:05」のときに開始時刻を10:00、終了時刻を翌日の10:00に設定した場合>

繰り返し設定	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	2011/7/20 12:05～2011/7/21 10:00

繰り返し設定	有効期間	位置提供が行われる期間
毎日	開始日：2011/7/26 終了日：2011/8/1	2011/7/26～2011/8/1の間10:00～翌日10:00
	開始日：2011/7/20 終了日：2011/8/1	2011/7/20～2011/8/1の間10:00～翌日10:00（7/20は12:05～翌日10:00）
	設定なし	2011/7/20以降の毎日10:00～翌日10:00（7/20は12:05～翌日10:00）
曜日指定	開始日：2011/7/26 終了日：2011/8/1	2011/7/26～2011/8/1の指定した曜日10:00～翌日10:00
	開始日：2011/7/16 終了日：2011/8/1	2011/7/20～2011/8/1の指定した曜日10:00～翌日10:00（7/20は12:05～翌日10:00）
	設定なし	2011/7/20以降の指定した曜日10:00～翌日10:00（7/20は12:05～翌日10:00）

位置提供の測位モード設定

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「測位モード設定」▶「位置提供」▶以下の項目から選択

標準モード、品質重視モード…P.315

接続先の設定

※通常は設定を変更する必要はありません。

「サービス利用設定」で接続する接続先を設定します。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「サービス利用／接続先設定」▶接続先を選択

■ 接続先を追加する場合

▶「<未登録>」を反転▶[カメラ]［編集］▶端末暗証番号を入力▶「接続先名称」、「接続先アドレス」を入力▶[カメラ]［完了］

■ 接続先を編集する場合

▶編集したい項目を反転▶[カメラ]［編集］▶ 端末暗証番号を入力▶「接続先名称」、「接続先アドレス」を入力▶[カメラ]［完了］

■ 接続先を削除する場合

▶削除したい項目を反転▶[MENU]［サブメニュー］▶「削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

サービス利用設定

「接続先の設定」（P.317）で設定されている接続先に接続して位置提供に必要な設定を行います。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「サービス利用設定」▶設定を行う

設定方法については、サービスの提供者にお問い合わせください。

● 位置提供の要求があると

相手から位置提供の要求があると、現在地を測位して相手に位置情報を提供します。

- サービスごとの利用設定で、毎回確認してから位置提供を行うように設定すると、位置情報を提供する前に確認画面が表示されます。

おしらせ

◆位置情報を送信しても、電波の状況などによりサービス提供者に届いていない場合もあります。

◆送信先が画面に表示されない場合があります。

◆公共モード（ドライブモード）中の位置提供については、次のように動作します。

- サービスごとの利用設定で、位置提供を毎回確認に設定した場合は、位置提供の要求に対して、位置情報は提供されません。

・サービスごとの利用設定で、位置提供を許可に設定した場合は、通知音・バイブレータ・イルミネーションは動作せず、画面表示のみで位置情報が提供されます。

◆イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されると、要求があるたびに位置提供の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、即座に大まかな測位結果が相手に通知されます。「YES」を選択したあと、GPS測位画面が表示されGPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。
また、「YES」を選択したあとに、位置提供を中断しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。
イマドコかんたんサーチについては、ドコモのホームページをご覧ください。

現在地通知

現在地通知の機能に対応したサービス提供者などに現在地の位置情報を通知します。

- 現在地通知機能の利用は有料です。
- 現在地通知に対応したサービスを利用するには、サービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となることがあります。
- 現在地通知のご利用については、サービス提供者やドコモのホームページをご覧ください。

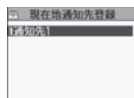
おしらせ

◆2in1のモードを問わず、Aナンバーにて位置情報を通知します。

◆位置情報を送信しても、電波の状況などによりサービス提供者に届いていない場合もあります。

位置情報を通知する相手の登録

- 通知先は5件まで登録できます。
- お買い上げ時は未登録です。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「現在地通知先登録」

現在地通知先登録画面（サブメニュー→P.318）

2 [カメラ]［新規］▶以下の項目から選択

通知先名※…通知先の名称を入力します。

通知先ID…サービス提供者から指定されたIDを入力します。

電話番号※…通知先の電話番号を入力します。

発信時通知設定…通知先として登録した相手に音声電話やテレビ電話をかけたとき、位置情報の通知方法を「する、しない、発信時確認」から選択します。ただし、発信者番号を通知しない場合は位置情報を通知しません。

※ 電話帳から引用して入力することもできます。▶[MENU]［サブメニュー］▶「電話帳参照入力」▶電話帳を選択

3 [カメラ]［完了］

サブメニュー

❖現在地通知先登録画面（P.318）

新規登録…「位置情報を通知する相手の登録」→P.318

編集…現在地通知先の編集をします。

デスクトップ貼付…P.124

microSDへコピー…現在地通知先をmicroSDカードにコピーします。

ｉC送信、ｉC全送信…P.380

赤外線送信、赤外線全送信…P.379

電話帳登録…現在地通知先の名称と電話番号を電話帳に登録します。

お預かりセンターに保存…現在地通知先をお預かりセンターに保存します。→P.146

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

● microSDカードの通知先を管理する

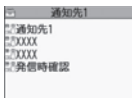
端末本体からmicroSDカードにコピーした「現在地通知先」の内容の確認や、サブメニューのさまざまな機能を実行します。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「現在地通知先登録」▶[メール]［microSD］

microSD通知先フォルダ画面（サブメニュー→P.319）

2 フォルダを選択

microSD通知先一覧画面（サブメニュー→P.319）

3 通知先を選択

microSD通知先詳細画面（サブメニュー→P.319）

サブメニュー

❖microSD通知先フォルダ画面（P.318）

フォルダ追加、フォルダ名編集、フォルダ削除…いずれかの項目を選択し実行します。

サブメニュー

❖microSD通知先一覧画面（P.319）

❖microSD通知先詳細画面（P.319）

フォルダ移動※1…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、通知先をほかのフォルダに移動します。

コピー…「1件コピー、選択コピー、全コピー」を選択後、コピー先のフォルダを選択し、通知先をほかのフォルダにコピーします。

本体へコピー…通知先を選択し、本体にコピーします。

microSD情報表示※2…microSDカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 通知先詳細画面では1件のみ移動となります。
※2 通知先詳細画面では利用できません。

通知したい相手を選択して位置情報通知

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「現在地確認／通知」▶「現在地通知」▶通知先を選択

現在地を測位して位置情報を通知します。

■ 通知先を直接入力する場合
▶「直接入力」▶通知先IDを入力▶■

おしらせ

◆「位置履歴」（P.319）に緯度・経度が記憶されていても、電波の状況などにより、相手に位置情報が届いていない場合があります。
◆現在地通知中に中断操作をしても、タイミングによっては相手に位置情報が通知される場合があります。

現在地通知の測位モード設定

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「測位モード設定」▶「現在地通知」▶以下の項目から選択

標準モード、品質重視モード…P.315

位置履歴

現在地確認、位置提供、現在地通知などの位置履歴を表示します。オートGPSサービスを利用している場合は、オートGPS機能により確認した位置情報の履歴を確認することもできます。

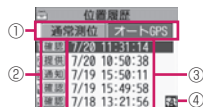
● 通常測位の位置履歴は50件まで記憶でき、オートGPSの位置履歴は800件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「位置履歴」

位置履歴一覧画面が表示されます。

2 位置履歴を選択

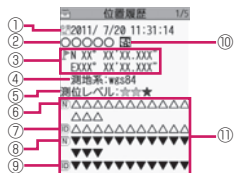
位置履歴詳細画面が表示されます。

■位置履歴一覧画面の見かた

位置履歴一覧画面（サブメニュー→P.320）

① 「通常測位」タブ／「オートGPS」タブ
　[i]を押すごとに、通常測位とオートGPSの履歴表示が切り替わります。
② 測位した機能名
　確認 ：現在地確認
　通知 ：現在地通知
　提供 ：位置提供
　オートGPS ：オートGPS（P.320）
③ 測位した日付と時間

④ 🛰: 海外で測位した履歴

■位置履歴詳細画面の見かた

▶項目を選択

位置履歴詳細画面（サブメニュー→P.320）

① 測位した日付と時間
② 測位した機能名
③ 測位した位置情報の北緯（N）／南緯（S）と東経（E）／西経（W）（度・分・秒で表示）
④ wgs84（世界測地系※）
⑤ 測位レベル
⑥ 現在地通知の通知先の名称または位置提供の送信先の名称
⑦ 現在地通知の通知先のIDまたは位置提供の送信先ID
⑧ 位置提供の検索者の名称
⑨ 位置提供の検索者のID
⑩ 海外測位アイコン
⑪ オートGPS通知先
※ 地球上の位置を緯度・経度で表すための基準

おしらせ

◆位置提供の検索者が電話帳に登録されている場合、「位置提供の検索者の名称」には電話帳に登録されている名前が表示されます。
◆表示される測位レベルは目安です。実際の誤差と異なる場合があります。
◆測位に失敗した履歴は各機能で使用できません（「検索者に発信」「検索者にメール作成」「削除」を除く）。
◆位置履歴に緯度・経度が表示されていても、電波の状況などにより通知先や提供先に位置情報が届いていない場合があります。
◆位置履歴に記録されている緯度・経度・測位レベルは、電波状況などにより位置提供先や現在地通知先に送信された緯度・経度・測位レベルとは異なる場合があります。

サブメニュー

❖位置履歴一覧画面（P.319）

❖位置履歴詳細画面（P.320）

地図を見る、GPSアプリ一覧、メール貼り付け…P.314

検索者に発信…検索者IDが電話番号の場合、電話をかけます。Phone To機能→P.213

検索者にメール作成…検索者IDがメールアドレスの場合、そのアドレスを宛先としてｉモードメール作成画面を表示します。

電話帳登録、画像に付加…P.314

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

位置情報

サイトやトルカなどで、位置情報を送信するように設定されているリンク先や、位置情報が付加されているリンク先を選択すると、位置情報を送信したり利用することができます。

● 位置情報を送信する

1 ｉモードで表示したサイト▶位置情報を送信するように設定されているリンク先を選択▶以下の項目から選択

現在地確認…現在の位置情報を取得し送信します。

位置履歴より参照…確認した位置情報の履歴から送信します。

電話帳より参照…電話帳を検索し、電話帳に登録されている位置情報から送信します。

● 位置情報を利用する

1 ｉモードで表示したサイト▶位置情報が付加されているリンク先を選択▶以下の項目から選択

地図を見る、対応ｉアプリ、メール貼り付け…P.314

位置情報確認…位置情報の内容を表示します。

おしらせ

◆位置情報URLを本文に貼り付けた場合、位置情報URLの先頭に「 」が表示されます。
◆貼り付けられた位置情報URLは、メール本文の文字数にカウントされます。

オートGPS機能

● お客様の居場所にあわせて、天気情報や店舗情報などの周辺情報や観光情報をお知らせするサービスなど、様々なサービスをご利用いただけます。
● オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応ｉアプリからオートGPSサービス情報を設定してくださ

い。ドコモが提供するサービスでオートGPS機能を利用するには、ドコモ提供サービス設定を「利用する」に設定してください。

- オートGPS機能を利用すると、お客様の移動状況に基づき自動的に現在地を測位して、サービス提供者に位置情報や歩数計情報を送信します（お客様の移動状況に応じて、概ね5分に1回測位します）。

おしらせ

- ◆「オートGPS動作設定」が「ON」でも、オートGPSサービス情報を設定していない場合は、オートGPSは動作せず、位置情報は送信されません。
- ◆オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
- ◆位置情報の送信にはパケット通信料がかかる場合があります。
- ◆お客様のご利用状況によっては、定期的に通信を行うことにより、FOMA端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。
- ◆オートGPSでは、お客様の移動状況を判定する際に歩幅を利用します。→P.321
- ◆オートGPSで確認した位置情報の履歴は、「位置履歴」で確認できます。→P.319
- ◆以下の状態の場合は、オートGPSが動作しません。
  - 各種ロックを設定中
    - GPSの現在地確認が制限されている状態（オリジナルロックでGPSをロック中）
    - ｉモードの通信が制限されている状態（おまかせロック中、セルフモード中）
    - オートGPS機能を停止する操作ができない状態（ダイヤルロック）
  - 時計未設定
  - 国際ローミング中
  - ドコモUIMカード未挿入時
  - ｉモード未契約時
  - 接続先変更時
  - Wi-Fiシングルモードのとき

● オートGPS機能を有効に設定すると

「オートGPS動作設定」を「ON」に設定すると、「 」「 」または「 」が表示されます。位置情報のオートGPS中は「 」が表示されます。

- オートGPSが動作しても測位中の画面は表示されず、ディスプレイとボタンの照明や確認音の鳴動、バイブレータの振動、イルミネーションの点滅などの動作も行われません。

● 自動キーロック中にオートGPS機能を一時停止する

オートGPS動作中に自動キーロックがかかったときは、オートGPSを一時停止できます。

1 待受画面表示中▶MENU［GPS停止］▶「YES」

オートGPS設定

ドコモが提供するサービスのオートGPSサービス情報の設定

オートGPS機能により測位された位置情報を、定期的にドコモに自動送信するかどうかを設定します。位置情報をドコモに自動送信することで、ｉコンシェルまたはドコモが提供する各種サービスと連動したサービスを受けることができます。

- 各種サービスは別途お申し込みや利用設定が必要です。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「オートGPS」▶「ドコモ提供サービス設定」▶「利用する」▶「OK」

■ 利用しない場合
▶「利用しない」▶「YES」▶「OK」

オートGPS機能の動作設定

オートGPS機能を有効にするかどうかを設定します。

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「オートGPS」▶「オートGPS動作設定」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合
▶MENU［サブメニュー］▶「デスクトップ貼付」

2 「ON」

■ 無効にする場合
▶「OFF」

3 歩幅（1～255cm）を入力

登録されているオートGPSサービスサービス情報を一覧で確認する

オートGPS機能を利用したｉアプリまたはサービスを確認します。また、オートGPS機能の利用状況を確認できます。

- 設定サービス一覧には、オートGPS機能を利用したドコモ提供サービスが1つ、ｉアプリが5つまで記録されます。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「オートGPS」▶「設定サービス一覧」

■ 対象のｉアプリを起動する場合
▶[📷]［アプリ起動］

■ 設定サービス一覧画面の見かた

設定サービス一覧（サブメニュー→P.322）
① オートGPS機能を利用したｉアプリ名またはサービス名
② 利用状況
動作中：ｉアプリまたはドコモ提供サービスがオートGPS機能を利用して位置情報を通知中
停止中：機能を利用していない

おしらせ

◆異なるドコモUIMカードを挿入した際は、登録されているオートGPSサービス情報はリセットされます。
◆オートGPSサービス情報が設定されているｉアプリを削除すると、設定されているオートGPSサービス情報も削除されます。
◆オートGPSサービス情報が設定されているｉアプリをmicroSDカードに移動した場合、設定されているオートGPSサービス情報も削除されます。

サブメニュー

❖設定サービス一覧画面（P.322）

対象ｉアプリを起動…対象のｉアプリを起動します。
削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

おしらせ

◆設定サービス一覧に、ｉアプリで設定したオートGPSサービス情報が5つ記録されている場合は、ほかのｉアプリでオートGPS機能を利用できません。オートGPS機能を利用する場合は、ｉアプリから設定した不要なオートGPSサービス情報を削除してください。

電池残量が少なくなったときにオートGPS停止

「停止する」に設定すると、電池残量が低下したときにオートGPS機能を停止し、電池の消費量を抑えることを優先します。
●お買い上げ時は「停止する」に設定されています。

1 地図／海外メニュー画面（P.313）▶「地図・GPS設定／履歴」▶「オートGPS」▶「低電力時動作設定」▶「停止する」または「停止しない」▶「OK」

データ管理

データBOX 324
■静止画
画像表示 326
画像編集 338
■動画
ｉモーションの再生 340
ｉモーションの編集 343
ムービーの再生 344
■ビデオ
ビデオの再生 347
■キャラ電
キャラ電 350
■マチキャラ
マチキャラ 351
■メロディ
メロディの再生 352
■きせかえツール
きせかえツールの管理 354
■フォント
フォントの管理 355
■コンテンツパケージ
コンテンツパッケージの利用 356
■データ検索
全検索 358
ピクチャ検索 358
■microSDカード
microSDカードの利用 359
microSDカードのデータ表示 365
microSDカードとFOMA端末間のデータコピー 366
著作権のあるデータのmicroSDカードとFOMA端末間での移動 368
データの一括バックアップ 369
パソコンなどからのデータの取り込み 370
microSDカードの管理 371
USBモード設定 372
microSDリーダー／ライター 372
microSDカードに保存されている画像の印刷方法の設定 373
■各種データ
フォルダとデータの操作 373
ドコモUIMカードで電話帳やSMSを管理 375
■赤外線通信／ｉC通信／Bluetooth通信／ケーブル接続
赤外線通信／ｉC通信の利用 376
赤外線通信によるデータ転送 379
ｉC通信によるデータ転送 380
Bluetooth接続によるデータ転送 381
ケーブル接続によるデータ転送 381
電話帳画像転送 382
赤外線リモコン機能 382
■PDF／ドキュメント対応ビューア
PDFデータの表示 382
ドキュメントの表示 384
PDFデータ画面／ドキュメント画面 384

データBOX

データBOXにはカメラで撮影した静止画や動画、メールやサイトからダウンロードしたデータなどが保存されます。

■フォルダの内容

●以下のようなフォルダが用意されており、データの種類にあわせて各フォルダに振り分けられます。

フォルダ		フォルダ説明
マイピクチャ		
iモード		サイトやメール、バーコードリーダーなどから取得した画像の保存先として選択可能です。 また以下の画像は自動的にこのフォルダに保存されます。 ・microSDカードからコピー・移動したデータ ・赤外線通信などで転送されたデータ ・DLNA対応外部機器からダウンロードしたデータ（「ダウンロード先設定」(P.498)が「本体」の場合）
カメラ		カメラで撮影した静止画、サイトやメール、バーコードリーダーなどから取得した画像の保存先として選択可能です。 またキャラ電撮影した静止画は自動的にこのフォルダに保存されます。
グループ		連写撮影で、グループ保存した静止画が保存されます。
デコメピクチャ		デコメール®用の画像が内蔵されています。iモードと同様の画像の保存先として選択可能です。
デコメ絵文字※1		
	お気に入り	サイトやメールなどから取得したり、microSDカードからコピーしたデコメ絵文字®の保存先として選択可能です。
	顔文字・i絵文字	
	表情・気持ち	
	装飾	
	ハート・キラキラ	
	天気・季節	
	移動・生活	
	食べ物	
	キャラクター	
	文字	
	ユーザ作成フォルダ※2	カテゴリ別フォルダと同様のデコメ絵文字®の保存先として選択可能です。
かんたんデコメ		かんたんデコメ用の画像が、感情の分類別フォルダに内蔵されています。 サイトから取得した画像が保存されます。
プリインストール		待受画面やウェイクアップなどの画像、アニメーションが内蔵されています。
自動お預かり		iモード、カメラと同様の画像（キャラ電撮影した静止画は除く）の保存先として選択可能です。このフォルダに保存・移動した画像は、ケータイデータお預かりサービスで自動的にバックアップできます。
シークレット※3		ほかの人に見られたくない画像を保管します。
ユーザ作成フォルダ※4		iモードと同様の画像の保存先として選択可能です。
自作アニメ		連続撮影で登録したアニメーションや自作のアニメーションが保存されます。
フレーム／スタンプ		フレームやマーカースタンプが内蔵されています。 サイトなどから取得したフレーム／スタンプは自動的にこのフォルダに保存されます。
ミュージック		
ミュージックプレーヤー		ミュージックプレーヤーが起動します。

フォルダ		フォルダ説明
iモード		
	初期フォルダ	着うたフル®などの音楽データの保存先として選択可能です。
	ユーザ作成フォルダ※5	iモードと同様の、着うたフル®などの音楽データの保存先として選択可能です。
WMA（MTP）		パソコンなどからmicroSDカードに転送した音楽データが保存されます。
MUSIC（microSD）		
Music&Videoチャネル		
配信番組		保存されている番組が表示されます。
保存番組		配信番組から移動した番組の保存先として選択可能です。 microSDカードから移動した番組は自動的にこのフォルダに保存されます。
iモーション・ムービー		
iモード		サイトやメールから取得した動画／iモーションの保存先として選択可能です。 また以下の動画／iモーションは自動的にこのフォルダに保存されます。 • microSDカードからコピー・移動したデータ • 赤外線通信などで転送されたデータ • DLNA対応外部機器からダウンロードしたデータ（「ダウンロード先設定」（P.498）が「本体」の場合）
カメラ		カメラで撮影した動画、キャラ電撮影した動画は自動的にこのフォルダに保存されます。 またiモードと同様の動画／iモーションの保存先としても選択可能です。
プリインストール		iモーションが内蔵されています。
シークレット※3		ほかの人に見られたくない動画／iモーションを保管します。
ボイスレコーダー		ボイスレコーダーで録音した音声は自動的にこのフォルダに保存されます。
ユーザ作成フォルダ※6		iモードと同様の動画／iモーションの保存先として選択可能です。
プレイリスト		FOMA端末で作成したプレイリストが保存されます。
しおり		動画／iモーションのしおりが保存されます。

フォルダ			フォルダ説明
ムービー			
	フォルダ一覧		
		本体－ムービー	サイトから取得したムービーの保存先として選択可能です。 またDLNA対応外部機器からダウンロードしたデータは自動的にこのフォルダに保存（「ダウンロード先設定」（P.498）が「本体」の場合）されます。
		ユーザ作成フォルダ※4	本体－ムービーと同様のムービーの保存先として選択可能です。
	しおり		ムービーのしおりが保存されます。
	再生履歴		ムービーの再生履歴が保存されます。
メロディ			
iモード			サイトやメール、バーコードリーダーから取得した、着信音に設定できるメロディの保存先として選択可能です。 microSDカードからコピー・移動したり、赤外線通信などで転送されたメロディは自動的にこのフォルダに保存されます。
プリインストール			着信音に設定できるメロディや効果音が内蔵されています。
ユーザ作成フォルダ※4			iモードと同様のメロディの保存先として選択可能です。
おしゃべり			「おしゃべり機能」（P.408）で録音した音声は自動的にこのフォルダに保存されます。
プログラム			メロディプログラム再生に利用するフォルダです。→P.354
コンテンツパッケージ			
iモード			サイトから取得したコンテンツパッケージは自動的にこのフォルダに保存されます。
プリインストール			コンテンツパッケージが内蔵されています。
マイドキュメント			
iモード			PDFデータが内蔵されています。サイトやメールから取得したPDFデータの保存先として選択可能です。microSDカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送されたPDFデータは自動的にこのフォルダに保存されます。
ユーザ作成フォルダ※4			iモードと同様のPDFデータの保存先として選択可能です。

フォルダ	フォルダ説明
きせかえツール	
iモード	サイトから取得したきせかえツールの保存先として選択可能です。 microSDから移動したきせかえツールは自動的にこのフォルダに保存されます。
プリインストール	きせかえツールが内蔵されています。
ユーザ作成フォルダ※4	iモードと同様のきせかえツールの保存先として選択可能です。
マチキャラ	
iモード	マチキャラが内蔵されています。 サイトから取得したマチキャラの保存先として選択可能です。
ユーザ作成フォルダ※4	iモードと同様のマチキャラの保存先として選択可能です。
ワンセグ	
イメージ	ワンセグで録画した静止画が保存されます。
ビデオ	ワンセグで録画したビデオが保存されます。
しおり	ワンセグビデオのしおりが保存されます。
キャラ電	
キャラ電が内蔵されています。サイトから取得したキャラ電は自動的にこの項目に保存されます。	
ドキュメントビューア	
メール（添付ファイル）から保存したドキュメントファイルが保存されます。	
フォント	
iモード	サイトから取得したフォントは自動的にこのフォルダに保存されます。
プリインストール	フォントが内蔵されています。
SDその他ファイル	
SDその他	メールから取得したり、パソコンなどからmicroSDカードに保存したドキュメントが保存されます。

※1 デコメ絵文字®（横20×縦20ドット、ファイル制限なしのJPEG・GIF形式の画像やGIF形式のアニメーション）のみ保存できるフォルダです。

※2「フォルダ追加」で10個まで作成できます。「フォルダ追加」時にフォルダ名を入力します。あとで「フォルダ名編集」で変更することもできます。

※3 シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。

※4「フォルダ追加」で20個まで作成できます。「フォルダ追加」時にフォルダ名を入力します。あとで「フォルダ名編集」で変更することもできます。

※5「フォルダ追加」で25個まで作成できます。「フォルダ追加」時にフォルダ名を入力します。あとで「フォルダ名編集」で変更することもできます。

※6「フォルダ追加」で19個まで作成できます。「フォルダ追加」時にフォルダ名を入力します。あとで「フォルダ名編集」で変更することもできます。

画像表示

撮影した静止画やダウンロードした画像などは、データBOXのマイピクチャで表示します。

1 **MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」**

マイピクチャのフォルダ内容について→P.324

フォルダ一覧画面（サブメニュー→P.374）

■ **ワンセグで録画した静止画を表示する場合**

▶MENU▶「データBOX」▶「ワンセグ」▶「イメージ」

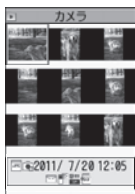
■ **microSDカードの画像を表示する場合**

▶✉［microSD］

■ **メディアスビューアで画像を表示する場合**

▶📷［　］→P.333

2 **フォルダを選択**

「画像一覧画面の見かた」→P.327

画像一覧画面（サブメニュー→P.329）

■ グループフォルダを選択した場合

メディアスビューアで静止画やｉモーションなどの動画表示→P.333

■ ｉモードで画像を検索する場合

▶「ｉモードで探す」▶「YES」

3 画像を選択

で前または次の画像を表示することができます。

マイピクチャ画面（サブメニュー→P.329）

■ 画像を拡大表示する場合

▶［ズーム］

［－］／［＋］を押すたびに1段階ずつ縮小／拡大します。［等倍］を押すと画像を等倍表示します。

画像が画面内に収まらないときは、で画像をスクロールできます。

元の表示に戻すときは、［戻る］を押します。

おしらせ

◆以下の画像は表示できません。

- 横または縦の最大が4,640ドットを超えるか、総ドット数が4,640×3,480ドットを超えるJPEG形式の画像
- 7Mバイトを超えるJPEG形式の画像
- 横または縦の最大が2,592ドットを超えるか、総ドット数が2,592×1,944ドットを超えるGIF形式の画像
- 3Mバイトを超えるGIF形式の画像
- 500Kバイト（microSDカードに保存されている場合は3Mバイト）を超えるSWF形式のFlash画像
- 横または縦の最大が854ドットを超えるか、総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像

◆拡大表示をしているとき、で前または次の画像の切り替えや、サブメニューの表示はできません。

◆自作アニメ、GIF形式のアニメーション、Flash画像は拡大表示できません。

◆Flash画像を再生する際の音量は、「着信音量」の「FOMA電話」で設定した音量になります（「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります）。

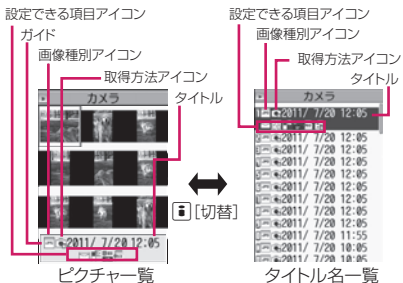
◆プログレッシブ型のFlash®Videoは、Flash®Videoは再生されず、Flash画像が表示されます。

画像一覧画面の見かた

● 画像一覧の表示のしかたを設定する

1 ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」▶「ピクチャ一覧」または「タイトル名一覧」

● 画像一覧画面の見かた

■画像種別アイコン

アイコン	説明
JPG	JPEG形式の画像
GIF	GIF形式の画像
	GIF（IFM）形式のフレーム、マーカースタンプ
	SWF形式のFlash画像
	MP4形式の動画、ｉモーション
（青色の音符）	音響効果のあるMP4形式のｉモーション
（オレンジ色の音符）	ASF形式のｉモーション
	音響効果があり、再生制限ありのMP4形式のｉモーション

アイコン	説明
	部分的に取得したｉモーション
	部分的に取得したマチキャラ
	ムービー
	AFD形式のキャラ電
	ワンセグで録画したビデオ
	マチキャラ
	フォント
	ドコモUIMカードセキュリティ機能に該当している画像

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力、FOMA端末への移動が禁止されているデータ

：再生制限付きのｉモーション（再生回数・期間・期限を過ぎると「」が「」になります）

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールデータ
※1 ※2	サイトやメール、トルカなどからダウンロードしたり、ｉアプリから取得したデータ
	カメラで撮影したデータ
	赤外線通信やｉC通信、microSDカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したデータ
	キャラ電撮影したデータ
	ワンセグで録画したデータ

※1 microSDへの移動は可能ですが、microSDへのコピーはできません。
※2 microSDへの移動は不可ですが、microSDへのコピーは可能です。

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	ｉモードメールに添付できるデータ
	デコメール®に挿入できるデータ
	画面などに設定できるデータ
	赤外線送信、ｉC送信が可能なデータ
	microSD カードにコピー可能なデータ

アイコン	説明
	ファイルのアップロードに対応しているサイトからアップロード可能なデータ
	位置情報が利用できるデータ
（グレー色の矢印）	お預かりセンターへ次回に自動でバックアップされるデータ
（青色の矢印）	お預かりセンターへバックアップ済みのデータ
（オレンジ色の矢印）	お預かりセンターへバックアップ不可のデータ
	よみがなが登録されているデコメ絵文字®

■ファイル形式について

フォルダ	ファイル形式
マイピクチャ	
ｉモード	JPEG、GIF、SWF
カメラ	
グループ	JPEG
デコメピクチャ	JPEG、GIF、SWF
デコメ絵文字	JPEG、GIF
かんたんデコメ	
プリインストール	JPEG、SWF
自動お預かり	JPEG、GIF、SWF
シークレット	
ユーザ作成フォルダ	
自作アニメ	−
フレーム／スタンプ	IFM
ミュージック	
ミュージックプレーヤー	−
ｉモード	3GP
WMA（MTP）	WMA
MUSIC（microSD）	
Music&Videoチャネル	
配信番組	3GP、MP4
保存番組	
ｉモーション・ムービー	
ｉモード	MP4
カメラ	
プリインストール	
シークレット	
ボイスレコーダー	
ユーザ作成フォルダ	

フォルダ	ファイル形式
プレイリスト	－
しおり	
ムービー	WMA、WMV、ASF
メロディ	
ｉモード	SMF、MFi
プリインストール	MFi
ユーザ作成フォルダ	SMF、MFi
おしゃべり	－
プログラム	－
コンテンツパッケージ	
ｉモード	CPM
プリインストール	
マイドキュメント	
ｉモード	PDF
ユーザ作成フォルダ	
きせかえツール	
ｉモード	UCM、UCP
プリインストール	
ユーザ作成フォルダ	
マチキャラ	
ｉモード	MMD、CFD
ユーザ作成フォルダ	
キャラ電	
－	AFD
ワンセグ	
イメージ	JPEG
ビデオ	MPEG2-TS
しおり	－
ドキュメントビューア	
－	Word、Excel、PowerPoint、TEXT
フォント	
ｉモード	LFD
プリインストール	
SDその他ファイル	
SDその他	本FOMA端末で表示できないファイル形式（BMPなど）

■タイトル、ファイル名について

●撮影した静止画や動画には自動的にタイトルとファイル名が付きます。

タイトル　：yyyy/mm/dd　hh:mm（年／月／日　時刻※）
ファイル名：yyyymmddhhmmxxxx
年月日時刻※
（静止画の場合、xxxxの部分に4桁の数字が付きます）

※静止画は保存を完了した時刻、動画は撮影を終了した時刻になります。ただし、「自動保存設定」が「OFF」の場合は、動画を保存した時刻になります。

●ダウンロードしたｉモーションやキャラ電にはオリジナルのタイトルが付きます。

●ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルが付きます。

●ワンセグで録画したビデオや静止画のタイトル、ファイル名について→P.260

●タイトルはFOMA端末の画像一覧画面に表示される名前です。

●ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示される画像データの名前です。

●ファイル名に不正な文字があるときは、ファイル名は「imagexxxx」あるいは「movie」となります。

■ファイル制限について

撮影した静止画や動画またはメロディをメールに添付して送信したとき、受信者のFOMA端末から再配布（添付、転送）できるかどうかを設定します。「なし」に設定すると、受信者は自由に再配布できますが、「あり」に設定すると、再配布はできなくなります。

●保存後もファイル制限の設定を変更することができます。→P.330、341、344、354

サブメニュー

❖画像一覧画面（P.327）

❖マイピクチャ画面（P.327）

●選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、サブメニューに表示される項目が異なります。

●グループフォルダを選択した場合は、メディアスビューアサムネイル画面のサブメニューと同様になります。→P.334

アートフォトモード…画像にアート風な画質加工とフレーム合成を行います。

ビューティーモード…人物の顔にメイクアップ効果をかけます。「目力アップモード、ピュア系ツヤ美肌モード、女子会✧姫キラモード、トレンドパープルモード、メイクパターン1～3」から選択します。→P.240

顔登録（アルバム用）…P.244

メール添付／ブログ…画像を添付および挿入してｉモードメール、ブログ投稿用のメール、デコメール®を作成します。

- **ｉモードメール添付**…P.331
- **デコメ作成**※1…P.332
- **ブログ投稿**…P.331

ピクチャ貼付…画像を待受画面などに設定します。設定した項目には「★」が表示されます。「各種画面設定」→P.115

「待受画面設定」→P.116
「テレビ電話中に送信する画像」→P.90
「着信時の着信イルミネーション設定」→P.120

ピクチャ情報…画像のファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

ピクチャ検索…P.358

赤外線送信、IrSS…P.379

ｉC送信…P.380

表示サイズ設定※2…画像表示サイズを「標準（画像サイズ）、画面サイズで表示」から選択します。

メモ作成…P.413

デスクトップ貼付…P.124

DLNA…P.499

microSDへコピー…P.367

お預かりセンターに保存…お預かりセンターに画像をバックアップします。

編集※3…以下の項目を編集します。

- **ピクチャ編集**…P.338
- **タイトル編集**…タイトルを編集します。
- **ファイル名編集**…半角の英字、数字と記号（"-"、"_"、"."のみ）で入力できます。
- **ファイル制限**…保存した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.329
- **お預かり済アイコンクリア**※4…お預かりセンターにバックアップ済みの状態を解除して、次回の自動バックアップの対象にします。

ピクチャ編集※2…P.338

ｉアプリで画像利用…「ソフト設定」の「マイピクチャから起動」で設定されたｉアプリを起動して、静止画の編集などをします。

microSDへ移動※3…P.369

位置情報…画像に付加する位置情報について設定します。

- **位置情報付加**…「現在地確認から付加、位置履歴から付加、電話帳から付加、マイプロフィールから付加（端末暗証番号の入力が必要）」から選択して位置情報を付加できます。
- **位置情報削除**…画像に付加されている位置情報を削除します。
- **位置情報詳細**…画像に付加されている位置情報（測位日時、経度緯度）を確認します。
  また MENU ［サブメニュー］で位置情報を利用して地図を表示したり、位置情報を貼り付けたｉモードメールを作成したりできます。

フォルダ移動※3…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、画像をほかのフォルダに移動します。

スライドショー※3…表示時間を標準（2秒間隔）、スロー（5秒間隔）から選択し、Flash画像を除くフォルダ内の画像を順にスライドショー表示します。

保存容量確認※3…保存容量（目安）を確認します。

ソート※3…登録日付順／タイトル順／ファイルサイズ順／ファイル取得元順でソート（並べ替え）します。

並び替え※5…並び順を「画像／位置を指定、新しい順、古い順、タイトル昇順、タイトル降順、大きい順、小さい順、ファイル取得元順」から選択します。

削除…画像一覧画面では「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

リトライ※2…アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションを最初から再生します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※3※6…「シークレットフォルダ」→P.133

本体へコピー※7…P.368

本体へ移動※3※8…P.369

DPOF設定※7…P.373

コピー※3※7…「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピー」→P.368

※1 デコメピクチャ、デコメ絵文字、かんたんデコメフォルダに保存されている画像のときのみ利用できます。
※2 マイピクチャ画面でのみ利用できます。
※3 画像一覧画面でのみ利用できます。
※4 自動お預かりフォルダに保存されている画像のときのみ利用できます。
※5 デコメ絵文字フォルダでのみ利用できます。
※6 シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※7 microSDカードに保存されている画像のときのみ利用できます。
※8 移行可能コンテンツフォルダに保存されている画像のときのみ利用できます。

おしらせ

◆画像の種類やファイルサイズによっては選択できない場合があります。

<ｉアプリで画像利用>

◆フルスクリーン（480×854）より大きい画像は、ｉアプリで利用する際に縮小されます。

<ピクチャ貼付>

◆ｉモード、カメラ、自動お預かり、ユーザ作成フォルダの画像の場合は、以下の画面に設定できます。

- 待受画面、ウェイクアップ表示※1
- FOMA音声電話・テレビ電話の発信／着信※1
- Wi-Fi音声電話の発信／着信（外線／内線）※1
- メールの送信／受信／問合せ／受信結果※1
- テレビ電話の応答保留／通話中保留／代替画像／伝言メモ／伝言準備／音声メモ※2
- 電話帳※1※3
- メニューアイコン※1

※1 横または縦が854ドット以下の画像を設定できます。ただし、待受画面の場合の

み、JPEG形式の画像であれば横または縦が4,640ドット以下の画像を設定できます。
※2 ファイルサイズ、画像サイズに関係なく設定できます（横または縦が176ドットより大きな画像を設定する際は、画像サイズが変更されます）。
※3 ファイルサイズが300Kバイト以下の画像を設定できます。

◆画像の種類やファイルサイズによっては設定できない場合があります。
◆「電話帳」に設定した場合、「★」は表示されません。
◆「メニューアイコン」の場合、貼り付け先一覧でメニューアイコンを選択したあとの画面に「★」が表示されます。

<表示サイズ設定>
◆「標準（画像サイズ）」に設定した場合、QCIF（最小）（144×176）以下の画像は、縦横を2倍にして表示されます。また、フルスクリーン（480×854）より大きい画像は、縦横を画面サイズに縮小して表示されます。

<ソート>
◆「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。
① ダウンロードしたり、ｉアプリやトルカから取得した画像
② カメラで撮影した静止画
③ 赤外線通信やｉC通信、microSDカードなどで取得した画像
④ キャラ電撮影した画像
⑤ お買い上げ時に登録されている画像

<タイトル編集>
◆microSDカードの空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。

<ファイル名編集>
◆以下の画像はファイル名編集できません。
- 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像

◆ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

<ファイル制限>
◆以下の画像はファイル制限を設定できません。
- JPEG形式以外の画像
- サイトやメール、トルカなどからダウンロードしたり、ｉアプリから取得した画像
- 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画
- ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定された画像
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像

● 画像を添付してｉモードメールやブログ投稿用のメールを作成する

保存した静止画をｉモードメールに添付したり、ブログ投稿用のメールを作成します。

1 画像一覧画面（P.327）▶MENU［サブメニュー］▶「メール添付／ブログ」▶以下の項目から選択

ｉモードメール添付、ブログ投稿…横240×縦320、横320×縦240ドット以下でファイルサイズが2Mバイト以下の画像は、そのままｉモードメールに添付またはブログに投稿されます。操作2はありません。

また、横240×縦320、横320×縦240ドット以下でファイルサイズが2Mバイトを超える画像は、2Mバイト以下に変換してｉモードメールに添付またはブログに投稿されます。操作2はありません。

※ ファイルサイズが2Mバイトを超えるGIF画像は「ｉメール添付／ブログ」が選択できません。

2 以下の項目から選択

そのまま添付…ファイルサイズが2Mバイト以下の画像はそのままｉモードメールに添付またはブログに投稿されます。

ファイルサイズが2Mバイトを超える画像は2Mバイト以下に変換されます。横1,920×縦2,560、横2,560×縦1,920を超える画像は、画像の縦と横の比率を保持したまま横1,920×縦2,560、横2,560×縦1,920ドット以下のサイズに縮小されます。

サイズ中（640×480）…画像の縦と横の比率を保持したまま、横640×縦480、横480×縦640ドット以下のサイズに縮小してｉモードメールに添付またはブログに投稿します。ファイルサイズが最大値を超える場合は、ファイルサイズも変更します。

サイズ小（320×240）…画像の縦横の比率を保持したまま、横320×縦240、横240×縦320ドット以下のサイズに縮小してｉモードメールに添付またはブログに投稿します。ファイルサイズが最大値を超える場合は、ファイルサイズも変更します。

■ 確認画像が表示された場合
▶■［確定］

3 メールを作成

ｉモードメール作成／送信→P.152

おしらせ

◆「ブログ・メールメンバー」でブログ投稿先アドレスが設定されていると、「ブログ投稿」でメール作成するときに宛先が自動で入力されます。
→P.162

● 画像を挿入してデコメール®を作成する

「デコメピクチャ」、「デコメ絵文字」、「かんたんデコメ」フォルダの静止画、デコメ絵文字®、かんたんデコメをデコメール®本文に挿入します。

1 MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」

2 「デコメピクチャ」、「デコメ絵文字」、「かんたんデコメ」のいずれかのフォルダを選択

「デコメ絵文字」、「かんたんデコメ」フォルダの場合は、もう一度フォルダを選択します。

3 画像一覧画面（P.327）▶MENU［サブメニュー］▶「メール添付／ブログ」▶「デコメ作成」

横96×縦128、横128×縦96ドット以下の画像、ファイルサイズが90Kバイト以下の画像はそのままデコメール®本文に挿入します。操作4、5はありません。

※ ファイルサイズが90Kバイトを超えるGIF画像は「デコメ作成」が選択できません。

4 以下の項目から選択

メディアスビューアからデコメールを作成した場合操作5はありません。操作6に進みます。

そのまま添付…画像サイズを変更しないで、そのままデコメール®の本文に挿入します。ファイルサイズが最大値を超える場合は、90Kバイト以下に変換して挿入します。

Sub-QCIF縮小添付…画像の縦横の比率を保持したまま、横96×縦128、横128×縦96ドット以下のサイズに縮小して挿入します。ファイルサイズが最大値を超える場合は、ファイルサイズも変更します。

Sub-QCIF切出し添付…横96×縦128、横128×縦96ドット以下のサイズに切り出して挿入します。ファイルサイズが最大値を超える場合は、ファイルサイズも変更します。

5 処理された画像を確認▶■［確定］

処理された画像がマイピクチャに保存されます。

6 メールを作成

デコメール®作成／送信→P.155

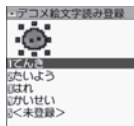
● デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャのよみがなを登録する

デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャのよみがなを登録して、iモードメールを作成する時に読みからデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャに変換することができます。

「デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャの入力」→P.153

1 MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」▶「デコメ絵文字」または「デコメピクチャ」

「デコメ絵文字」の場合は、もう一度フォルダを選択します。

2 よみがなを登録するデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャに囲み枠を移動▶✉［読み登録］

デコメ絵文字／デコメピクチャ読み登録画面（サブメニュー→P.333）

3 「未登録」▶よみがなを入力

■ よみがなを削除する場合

▶削除したいよみがなを反転▶i［削除］▶「YES」

■ 登録済みのよみがなを変更する場合

▶変更したいよみがなを選択▶よみがなを入力

4 📷［完了］

おしらせ

◆1つのデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャに5つまでのよみがなを登録できます。

◆デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャのファイルサイズによっては、よみがなを登録できない場合があります。

◆microSDカードに保存されているデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャはよみがなを登録できません。また変換候補にも表示されません。

◆デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャをOBEX™通信で転送した場合は、よみがなは転送されません。

サブメニュー

❖デコメ絵文字／デコメピクチャ読み登録画面（P.332）

よみがな削除…登録されているよみがなを削除します。「キーワード1件削除、キーワード全削除」から選択します。

よみがな初期化…よみがなをお買い上げ時の状態に戻します。

アニメーションの作成

登録されている画像を使って20コマまでのアニメーションを作成します。

- 横480×縦854ドット、または横854×縦480ドット以下のJPEG形式の静止画や画像を自作アニメに設定できます。
- 20件まで作成できます。

1 [MENU]▶「データBOX」▶「マイピクチャ」▶「自作アニメ」

自作アニメ一覧画面（サブメニュー→P.333）

2 「<未登録>」

3 コマを選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して画像を設定

■ 設定した画像を解除する場合

▶解除するコマを選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

4 [MENU]［完了］

サブメニュー

❖自作アニメ一覧画面（P.333）

タイトル編集…タイトルを編集します。

自作アニメ設定…「<未登録>」を反転しているときは、自作アニメを新規登録します。

作成した自作アニメを反転しているときは、その自作アニメを編集します。

ピクチャ表示…自作アニメを再生します（自作アニメ再生画面を表示します）。

ピクチャ貼付…自作アニメを設定する項目を選択します。

ピクチャ情報…ピクチャ貼付で設定した自作アニメの設定先を確認します。

自作アニメ解除…自作アニメを解除します。

自作アニメの表示

1 自作アニメ一覧画面（P.333）▶自作アニメを選択

自作アニメを2つ以上登録しているときは、[◀▶]で前または次の自作アニメを再生できます。

自作アニメ再生画面（サブメニュー→P.333）

サブメニュー

❖自作アニメ再生画面（P.333）

ピクチャ貼付…画像を設定する項目を選択します。

表示サイズ設定…画像表示サイズを「標準、画面サイズで表示」から選択します。

リトライ…アニメーションを最初から再生します。

メディアスビューアで静止画やｉモーションなどの動画表示

カメラで撮影した静止画やｉモーションなどの動画はメディアスビューアで表示することができます。

- 表示できるのは、マイピクチャに保存されているJPEG形式、GIF形式の画像、GIF形式のアニメーション、デコメ絵文字と、ｉモーション・ムービーに保存されている動画（音声のみの動画は除く）と、ワンセグに保存されているビデオです。

1 [MENU]▶「便利ツール」▶「メディアスビューア」

JPEG形式以外の画像やグループ画像、ｉモーションやビデオなどの動画はサムネイル画面上で形式を確認できます。また、パーソナルアルバムに振り分けられている静止画には、アルバ

ムテーマ一覧画面（P.244）の各アイコンが表示されます。

メディアスビューアサムネイル画面（サブメニュー→P.334）

2 静止画やｉモーションなどの動画を選択

静止画の場合は、[←→]で前または次の画像やGIF形式のアニメーション、グループ画像、動画の1コマ目を表示することができます。1コマ目の画像にはアイコンが表示されます。

ｉモーションなどの動画の場合は[↑↓]で音量を調節できます。[カメラ]［ミュート］を押すと音声を消すことができます。また、[←→]（1秒以上）を押すと早送りや巻き戻しができます。

メディアスビューア詳細画面（サブメニュー→P.335）

■ 静止画を拡大表示する場合

▶[↑↓]

[↑↓]を押すたびに1段階ずつ縮小／拡大します。静止画が画面内に収まらないときは、ダイヤルボタンで静止画をスクロールできます。

ボタン	方向	ボタン	方向	ボタン	方向
1	左上	2	上	3	右上
4	左	5	－	6	右
7	左下	8	下	9	右下

元の表示に戻すときは、[■]［元のサイズ］を押します。

■ 静止画および動画（1コマ目）切り替え時の効果を変更する場合

▶[メール]［エフェクト］▶効果を選択

■ コメント表示のON、OFFを切り替える場合

▶[i]［コメントON／コメントOFF］

[i]［コメントON／コメントOFF］を押してコメント表示を切り替えることができます。

静止画のファイル名、保存日時などのピクチャ情報や、コメントを表示します。

■ 静止画を削除する場合

▶[カメラ]［削除］

■ ｉモーションなどの動画を早見再生する場合

▶[MENU]［早見1.25倍／早見2倍／再生］

[MENU]を押すたびに早見再生（1.25倍速）→早見再生（2倍速）→通常再生の順に切り替わります。※

※ 動画の種類により、早見再生速度や表示されるアイコンは異なります。

■ ｉモーションなどの動画を一時停止する場合

▶[■]［一時停止］

おしらせ

◆マイピクチャで表示できない静止画（ファイルサイズ制限など）でも、メディアスビューアでは表示できる場合があります。

◆自動再生中の画像切り替え時間は、変更できません。

サブメニュー

❖メディアスビューアサムネイル画面（P.334）

メール添付／ブログ…画像を添付および挿入してｉモードメール、ブログ投稿用のメールを作成します。[メール]［メール/Blog］を押してもｉモードメールやブログ投稿用のメールを作成することができます。

- **ｉモードメール添付**…P.331
- **デコメ作成**※1…P.332
- **ブログ投稿**…P.331

表示設定…表示方法の設定を行います。

- **サムネイルテーマ**…P.336
- **フォルダ設定**…マイピクチャ、ｉモーション／ムービー、ワンセグから表示させたいフォルダのチェックボックスを選択して[カメラ]［閉］を押します（表示させたくないフォルダはチェックを外します）。
- **全表示**…静止画と動画をすべて表示します。
- **設定状況確認**…フィルタリングの設定状況を表示します。
- **コメント表示**…コメント（ファイル種別アイコン、タイトル名、撮影日時、表示サイズ、ファイルサイズ）を表示するかどうか「ON、OFF」から選択します。

パーソナルアルバム…P.337

自動再生…自動再生（スライドショー）の開始や、再生順序の設定を行います。

- **自動再生開始**…自動再生を開始します。

- **再生順序設定**…再生順序を、「ノーマル、リピート、シャッフル、シャッフルリピート」から選択します。

ファイル編集…ファイルの編集を行います。
- **アートフォトモード**※1…P.243
- **ビューティーモード**※1…P.240
- **ｉアプリで画像利用**※1…「ソフト設定」の「マイピクチャから起動」で設定されたｉアプリを起動して、静止画の編集などをします。
- **ｉモーション切り出し**※2…P.338
- **グループ画像編集**…撮影枚数の表示設定や再生する速度の設定、グループ画像の削除をすることができます。

コメント編集…コメントの入力や編集を行います。

赤外線／ｉC送信…送信方法を選択します。
- **赤外線送信**…P.379
- **IrSS**※1…P.379
- **ｉC送信**…P.380

ファイル制限…ファイルを制限するかしないか（なし、あり）を設定します。

ピクチャ移動／コピー※1…画像の移動やコピーを行います。
- **microSDへコピー**…P.367
- **本体へコピー**…P.367
- **フォルダ移動**…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、画像をほかのフォルダに移動します。

ｉモーション移動／コピー※2…ｉモーションの移動やコピーを行います。
- **microSDへコピー**…P.367
- **microSDへ移動**…P.369
- **本体へコピー**…P.367
- **本体へ移動**…P.369
- **フォルダ移動**…「1件移動、選択移動、全件移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、ｉモーションをほかのフォルダに移動します。

グループ解除…選択したファイルのグループ化を解除します。

デスクトップ貼付…P.124

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 静止画の場合のみ利用できます。
※2 動画の場合のみ利用できます。

おしらせ

◆コメント表示はメディアスビューア詳細画面ではすべてのサムネイルテーマで有効となります。また、メディアスビューアサムネイル画面では「Comment Diary」のときのみ有効となります。

サブメニュー

❖メディアスビューア詳細画面（P.334）

● ｉモーション、ムービー、ビデオの一時停止中のサブメニューについては、それぞれの再生画面のサブメニューを参照してください。なお、サブメニューによっては一部利用できない機能があります。
- ｉモーション再生画面→P.340
- ムービー再生画面→P.345
- ビデオ再生画面→P.347

メール添付／ブログ…画像を添付および挿入してｉモードメール、ブログ投稿用のメールを作成します。
- **ｉモードメール添付**…P.331
- **デコメ作成**※1…P.332
- **ブログ投稿**…P.331

パーソナルアルバム…パーソナルアルバムの設定を行います。
- **自動アルバム振分け**…P.337
- **手動アルバム振分け**…P.337
- **アルバムテーマ設定**…P.338
- **アルバム振分け解除**…P.337

自動再生…自動再生（スライドショー）の開始や、再生順序の設定を行います。
- **自動再生開始**…自動再生を開始します。
- **再生順序設定**…再生順序を、「ノーマル、リピート、シャッフル、シャッフルリピート」から選択します。

ファイル編集…ファイルの編集を行います。
- **アートフォトモード**※1…P.243
- **ビューティーモード**※1…P.240
- **ｉアプリで画像利用**※1…「ソフト設定」の「マイピクチャから起動」で設定されたｉアプリを起動して、静止画の編集などをします。
- **ｉモーション切り出し**※2…P.338
- **グループ画像編集**…撮影枚数の表示設定や再生する速度の設定、グループ画像の削除をすることができます。

コメント表示…コメントを表示するかしないか（ON、OFF）を設定します。

コメント編集…コメントの入力や編集を行います。

赤外線／ｉC送信…送信方法を選択します。
- **赤外線送信**…P.379
- **IrSS**※1…P.379
- **ｉC送信**…P.380

ファイル制限…ファイルを制限するかしないか（なし、あり）を設定します。

ピクチャコピー※1…画像の移動やコピーを行います。

- **microSDへコピー** …P.367
- **本体へコピー** …P.367

iモーション移動／コピー※2…iモーションの移動やコピーを行います。

- **microSDへコピー** …P.367
- **microSDへ移動**…P.369
- **本体へコピー** …P.367
- **本体へ移動**…P.369

グループ解除※3…選択したファイルのグループ化を解除します。

エフェクト設定…表示を切り替えるときの効果を選択します。

顔サーチ※1…検出された顔の付近が拡大されて表示されます。

・画像が粗いときには、検出されない場合があります。

1件削除…表示している静止画または動画を1件削除します。

※1 静止画の場合のみ利用できます。
※2 動画の場合のみ利用できます。
※3 グループ画像の場合のみ利用できます。

おしらせ

<iアプリで画像利用>
◆画像の種類やファイルサイズによっては選択できない場合があります。
◆フルスクリーン（480×854）より大きい画像は、iアプリで利用する際に縮小されます。

● メディアスビューアでのタッチ操作について

タッチスタイルではタッチによる操作が可能です。

■ダイレクトアイコン操作について

メディアスビューア

① サブメニュー
サブメニューが利用できます。
② 戻る
③ 削除
表示されている画像を削除します。
④ 前の画像
前の画像を表示します。
⑤ 顔サーチ
顔の付近が拡大されて表示されます。縦画面表示の場合はご利用になれません。
⑥ 元のサイズ
静止画を拡大して表示した場合に、元の表示に戻します。
⑦ 次の画像
次の画像を表示します。

■タッチ操作について

操作	動作
右にすばやくスライドして指を離す	前の画像を表示
左にすばやくスライドして指を離す	次の画像を表示
ドラッグ※	画像をスクロール
2本の指の間隔を広げる／狭める	画像を拡大／縮小
自動再生中に画面をタッチ	自動再生を終了

※ ドラッグは画像が画面内に収まらないときに行うことができます。

● 画像をフィルタリングする

撮影した日付や撮影シーンなどの条件を指定して、表示する静止画や動画をフィルタリングします。

1 メディアスビューアサムネイル画面（P.334）▶MENU［サブメニュー］▶「表示設定」▶「サムネイルテーマ」▶以下の項目から選択

Season's Timeline…季節でフィルタリングを行います。表示させたい季節を選択してサムネイルを表示します。

Scene Selection…撮影シーンでフィルタリングを行います。表示させたい撮影シーンを選択してサムネイルを表示します。

詳細な設定でフィルタリングをする場合は✉［詳細設定］を押し、撮影シーンのチェックボックスを選択してi［確定］を押します。

Comment Diary…日付でフィルタリングを行います。カレンダーから表示させたい日を選択してサムネイルを表示します。

Personal Album…登録してある人物の顔でフィルタリングを行います。アルバムを選択してサムネイルを表示します。

フィルタリングするためには人物の顔と名前を登録し、アルバム振り分けをしておく必要があります。

カメラで撮影した静止画から登録する→P.244

FOMA端末に保存されている静止画から登録する→P.338

「パーソナルアルバムに振り分ける」→P.337

Basic View…それぞれのテーマのフィルタリングを解除してサムネイルを表示します。

メディアスビューアサムネイルテーマ画面（サブメニュー→P.337）

サブメニュー

❖メディアスビューアサムネイルテーマ画面（P.337）

サムネイルテーマ…P.336
フォルダ設定…マイピクチャ、ｉモーション／ムービー、ワンセグから表示させたいフォルダのチェックボックスを選択して📷［閉］を押します（表示させたくないフォルダはチェックを外します）。
全表示…静止画と動画をすべて表示します。
コメント表示…コメント（ファイル種別アイコン、タイトル名、撮影日時、表示サイズ、ファイルサイズ）を表示するかどうか「ON、OFF」から選択します。
自動再生…自動再生（スライドショー）の開始や、再生順序の設定を行います。
- **自動再生開始**…自動再生を開始します。
- **再生順序設定**…再生順序を、「ノーマル、リピート、シャッフル、シャッフルリピート」から選択します。

設定状況確認…フィルタリングの設定状況を表示します。
デスクトップ貼付…P.124

おしらせ

◆メディアスビューアを起動する機能によっては、前回設定を保存したサムネイルテーマでフィルタリングがされません。
起動する機能によって、以下のフォルダ内の画像を表示します。
- カメラ（静止画撮影、連写モード、動画撮影）からの起動の場合
  ① カメラ（マイピクチャ）
  ② グループ（マイピクチャ）
  ③ microSD（ピクチャ、グループ）
  ④ 自動お預かり（マイピクチャ）
  ⑤ カメラ（ｉモーション・ムービー）
  ⑥ microSD（SDビデオ、HDムービー／その他）
- データBOXの「マイピクチャ」の「グループ」からの起動の場合、起動したときのフォルダ内にあるファイルのみ表示されます。

● パーソナルアルバムに振り分ける

パーソナルアルバムを利用するために、登録済みの人物が写っているかどうかの情報を静止画に登録します。
＜指定フォルダ内のすべての静止画に自動登録する場合＞

1 メディアスビューアサムネイル画面（P.334）▶MENU［サブメニュー］▶「パーソナルアルバム」▶「自動アルバム振分け」

■ 手動で登録する場合
▶「手動アルバム振分け」▶対象となる静止画を選択▶📷［完了］▶登録する人物の名前を選択▶📷［確定］

2 「フォルダ指定」▶対象となるフォルダを選択▶📷［確定］

■ ファイルを指定して登録する場合
▶「ファイル選択」▶対象となる静止画を選択▶📷［完了］

■ 表示されているすべてのファイルに登録する場合
▶「ファイル選択」▶MENU［サブメニュー］▶「全選択」▶📷［完了］

おしらせ

◆パーソナルアルバムに振り分け済みの静止画をメディアスビューアの表示対象外フォルダ（例：microSDの移行可能コンテンツフォルダ）に移動すると、パーソナルアルバムの振り分けが解除される場合があります。
◆顔登録で同じ人物を複数登録している場合、被写体の状態が最も近いアルバムにのみ振り分けられます。

● パーソナルアルバムの振り分けを解除する

静止画に登録したパーソナルアルバムの振り分けを解除します。

1 メディアスビューアサムネイル画面（P.334）▶MENU［サブメニュー］▶「パーソナルアルバム」▶「アルバム振分け解除」

2 対象となるファイルを選択▶📷［完了］

■ 表示されているすべてのファイルの情報を解除する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「全選択」▶📷［完了］

● FOMA端末に保存されている静止画から顔情報を登録する

1 メディアスビューアサムネイル画面（P.334）またはメディアスビューア詳細画面（P.334）で登録したい人物が写っている静止画に囲み枠を移動▶MENU［サブメニュー］▶「パーソナルアルバム」▶「アルバムテーマ設定」▶以下の項目から選択

顔登録…人物の顔を自動検出し、顔と名前を登録します。

名前のみ登録…顔情報は登録せず、名前だけ登録します。「名前のみ登録」の場合は操作3へ進みます。

2 ■［確定］

■ 複数の顔を検出した場合
▶✉［前枠］または⁝［次枠］で登録したい人物の顔にフォーカス枠（緑枠）を移動▶■［確定］

3 アルバムテーマを選択

■「顔登録」の場合
▶「顔登録1～3」から選択▶■［確定］

4 アルバムテーマの名前を入力▶📷［完了］

● メディアスビューアからグループ化した画像を再生する

1 メディアスビューアサムネイル画面（P.334）でグループ化された画像を選択

■ 撮影枚数を表示しない場合
▶MENU［サブメニュー］▶「撮影枚数表示」▶「OFF」

■ 再生速度を変更する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「再生速度」▶「はやい、ふつう、おそい」から選択

● メディアスビューアから動画を編集する

約2秒ごとに表示されたコマを選択して動画を切り出して編集します。

1 メディアスビューアサムネイル画面（P.334）で編集可能な動画を反転▶MENU［サブメニュー］▶「ファイル編集」▶「ｉモーション切り出し」

2 切り出しを開始したいコマを反転✉［A点設定］▶切り出しを完了させたいコマを反転▶⁝［B点設定］

メディアスビューア動画編集画面

■ デモ画面を表示する場合
▶📷［デモ］

3 ■［保存］▶保存方法を選択

保存…切り出した動画を保存します。

保存＋メール添付…切り出した動画を保存後、メールに添付します。

保存＋ブログ投稿…切り出した動画を保存後、ブログに投稿します。

画像編集

撮影した静止画などを編集します。

● 854×480、480×854 ドットより大きい画像は編集前に854×480、480×854ドット以下に縮小されます。

1 マイピクチャ画面（P.327）▶MENU［サブメニュー］▶「ピクチャ編集」▶MENU［サブメニュー］▶以下の項目から選択

マーカースタンプ…P.339

フレーム合成…P.339

文字スタンプ…P.339

待受サイズ変換…待受画面のサイズ（854×480、480×854）に変換します。

サイズ変更…変更する画像サイズを選択します。縦横の比率を保ち、選択したサイズを超えない最大のサイズに拡大、縮小されます。

トリミング…一定の大きさに切り出します。
▶切り抜くサイズを選択▶✣で切り抜き枠の位置を調整▶■［確定］

フォトレタッチ…画像に効果を付けます。

- **シャープ**…輪郭を強調した感じの画像にします。
- **ソフト**…輪郭をぼかした感じの画像にします。
- **セピア**…古い写真風の画像にします。
- **浮き彫り**…レリーフのような浮き彫り効果のある画像にします。
- **ネガ**…色調を反転した画像にします。
- **ミラー**…左右を反転した画像にします。

回転…画像を回転させる角度を、「右90度、左90度、180度」から選択します。

明るさ…[◎]で画像の明るさを「－3～±0～＋3」の7段階で調節します。

逆光補正…逆光によって暗くなっている部分を見やすく調整します。

肌色補正…人物の肌をよりなめらかにします。

メール添付／ブログ※…P.331

メモ作成※…P.413

保存※…編集した画像を保存します。

※ 画像編集後に利用できる機能です。

2 編集後の画像を確認▶[■]［確定］

3 [■]［保存］▶「YES」または「NO」

「YES」を選択したときは、編集元の画像に上書きされます。
「NO」を選択したときは、編集元の画像と同じフォルダに新規保存されます。

おしらせ

◆編集を繰り返して行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが増える場合があります。

● フレームを重ねる

- 内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 マイピクチャ画面（P.327）▶[MENU]［サブメニュー］▶「ピクチャ編集」▶[MENU]［サブメニュー］▶「フレーム合成」▶フレームを選択

フレームが重なった画像が表示されます。
[◎]でほかのフレームに変更することができます。

■ フレームを180度回転する場合
▶[MENU]［サブメニュー］▶「180度回転」

■ 設定したフレームを取り消す場合
▶[📷]［取消］

「画像編集」（P.338）の操作2へ進みます。

おしらせ

◆トリミングやサイズ変更した画像がフレームと同じサイズのときはフレーム合成できます。

● マーカースタンプを貼り付ける

- 内蔵されているマーカースタンプのほかに、ダウンロードしたスタンプを利用することもできます。
- マーカースタンプを回転したり、拡大／縮小することができます。

1 マイピクチャ画面（P.327）▶[MENU]［サブメニュー］▶「ピクチャ編集」▶[MENU]［サブメニュー］▶「マーカースタンプ」▶マーカースタンプを選択

■ マーカースタンプを回転、拡大／縮小する場合
▶[MENU]［サブメニュー］▶「右90度、左90度、180度、拡大、縮小」から選択

2 [◎]でマーカースタンプの位置を調整▶[■]［配置］

■ ほかのマーカースタンプを貼り付ける場合
▶[📷]［追加］▶操作1～2を繰り返す

「画像編集」（P.338）の操作2へ進みます。

おしらせ

◆ダウンロードして使用できるスタンプのサイズは横240×縦240ドット以下の画像となります。それ以外はGIF画像として扱われます。
◆編集している静止画よりも小さいサイズのフレームは、スタンプとして扱われます。

● 文字スタンプを貼り付ける

- 一度に入力できる最大文字数は全角15文字、半角30文字です。入力できる文字数は画像サイズ、文字サイズによって変わります。
- 文字スタンプの色、文字サイズを変更することができます。

1 マイピクチャ画面（P.327）▶[MENU]［サブメニュー］▶「ピクチャ編集」▶[MENU]［サブメニュー］▶「文字スタンプ」▶文字を入力

■ 文字スタンプを編集する場合
▶[MENU]［サブメニュー］▶以下の項目から選択

文字入力…文字スタンプを入力します。

文字色…色を設定します。色パレットを切り替えるときは[i]［切替］を押します。

文字サイズ…大きさを「拡大サイズ、通常サイズ、縮小サイズ」から選択します。

2 [十字キー]で文字スタンプの位置を調整 ▶[■]［配置］

「画像編集」（P.338）の操作2へ進みます。

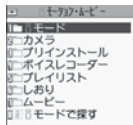
おしらせ

◆文字の太さは「フォント設定」で設定した太さになります。→P.123

ｉモーションの再生

撮影した動画、ｉモードのサイトやインターネットホームページから取得したｉモーションを再生します。

1 [MENU]▶「データBOX」▶「ｉモーション・ムービー」

ｉモーション・ムービーのフォルダ内容について→P.324

フォルダ一覧画面（サブメニュー→P.374）

■ ｉモードでｉモーションを検索する場合

▶「ｉモードで探す」▶「YES」

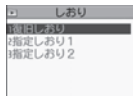
■ メディアスビューアで動画を表示する場合

▶[カメラ]［ ］→P.333

■ microSDカードのｉモーションを表示する場合

▶[メール]［microSD］▶「SDビデオ」

■ しおりを登録した位置からｉモーションを再生する場合

▶「しおり」▶しおりを選択

しおり一覧画面（サブメニュー→P.346）

「復旧しおり」を選択すると前回再生中に着信などで終了した位置から再生されます。

2 フォルダを選択

「動画一覧画面の見かた」→P.340

動画一覧画面（プレビュー表示）（サブメニュー→P.341）

3 動画を選択

動画の再生がはじまります。

「ｉモーション再生画面の見かた」→P.342

「ｉモーション再生画面の操作」→P.343

ｉモーション再生画面（サブメニュー→P.343）

■ 部分的に取得したｉモーションの場合

残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを取得しないと再生ができません。

- 「YES」を選択すると、未取得部分の取得を開始します（通信モード設定や利用プロファイルによっては取得できない場合があります）。
- 「NO」を選択すると動画一覧画面に戻ります。

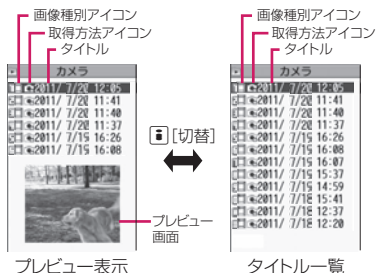
おしらせ

◆N-05C以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。

◆再生中に着信などがあった場合や[CLR]、[終話]によって再生を終了した場合は、前回終了位置から再生可能です。ただし、正確な前回終了位置から再生できない場合があります。

◆ｉモーションによってはチャプターを選択して再生することもできます。

● 動画一覧画面の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコンについて→P.327
- タイトル、ファイル名について→P.329

プレビュー表示　　タイトル一覧

※ 音声のみのｉモーションなどは、プレビュー画面は表示されません。

ディスクレコーダの番組再生

ディスクレコーダで録画した番組などをmicroSDカードに転送してFOMA端末で再生します。対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ディスクレコーダの番組をmicroSDカードに転送する

ディスクレコーダからmicroSDカードに転送するには、microSDカードをディスクレコーダのSDカードスロットにSDアダプタを使って入れるか、FOMA端末をUSBケーブルで接続します。詳しくはディスクレコーダの取扱説明書をご覧ください。

2 MENU ▶「データBOX」▶「ｉモーション・ムービー」

3 ✉ [microSD] ▶「レコーダ連携」

4 番組を選択

番組の再生がはじまります。

サブメニュー

❖動画一覧画面（P.340）

● 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、サブメニューに表示される項目が異なります。

メール添付／ブログ…動画を添付し、ｉモードメールやブログ投稿用のメールを作成します。

ｉモーション貼付…ｉモーションを貼り付ける項目を選択します。

ｉモーション情報…ｉモーションのファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

赤外線送信…P.379

ｉC送信…P.380

DLNA…P.499

microSDへコピー…P.367

microSDへ移動…P.369

フォルダ移動…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、動画をほかのフォルダに移動します。

お預かりセンターに保存…P.146

編集…以下の項目を編集します。

- **ｉモーション編集**…P.343
- **タイトル編集**…タイトルを編集します。
- **ファイル名編集**…半角英字、数字と記号（"-"、"_"、"."のみ）で入力できます。
- **ファイル制限**…保存した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.329
- **タイトル初期化**…変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

グリッド表示…グリッドの表示を「ON、OFF」から選択します。

デスクトップ貼付…P.124

保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。

ソート…登録日付順／タイトル順／ファイルサイズ順／ファイル取得元順でソート（並べ替え）します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※1…「シークレットフォルダ」→P.133

本体へコピー※2…P.368

本体へ移動※3…P.369

コピー※2…「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピー」→P.368

※1 シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※2 microSDカードに保存されている動画のときのみ利用できます。
※3 移行可能コンテンツフォルダに保存されている動画のときのみ利用できます。

おしらせ

<メール添付／ブログ>

◆「ブログ・メールメンバー」でブログ投稿先アドレスが設定されていると、「ブログ投稿」でメール作成するときに宛先が自動で入力されます。→P.162

<ｉモーション貼付>

◆着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。

◆以下の場合は着信音に設定できません。
- 音声がない動画やｉモーション
- 再生制限ありのｉモーション
- QVGA（320×240）より大きいサイズの動画

◆着モーションや着信画像に設定できる動画／ｉモーションでも、以下の場合は着モーションや着信画像に設定できません。
- 赤外線通信機能、ｉC通信機能やドコモケータイdatalink（P.471）などを使用してパソコンやほかのFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
- microSDカードからFOMA端末本体にコピーした場合（FOMA端末本体からmicroSDカードにコピーしてから、もう一度FOMA端末本体にコピーした場合を含む）

<ソート>

◆「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンの動画やｉモーションは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。

① ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したｉモーション
② カメラで撮影した動画
③ 赤外線通信やｉC送信、microSDカードなどで取得した動画
④ キャラ電撮影した動画

● ｉモーションを好きな順に再生する

お好きな動画やｉモーションを30件まで選んで登録しておき、複数の動画を連続して再生します。

●プレイリストは5つ設定できます。

1 フォルダー覧画面（P.340）▶「プレイリスト」

2 登録するプレイリストフォルダを反転▶MENU［サブメニュー］▶「プレイリスト編集」

■ プレイリストを解除する場合
▶「プレイリスト解除」▶「YES」

■ プレイリスト名を編集する場合
▶「プレイリスト名編集」▶プレイリスト名を編集

3 登録する番号を選択▶フォルダを選択▶動画を選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録した動画を解除する場合
▶解除したい動画を選択▶MENU［サブメニュー］▶「1件解除」または「全解除」▶「YES」

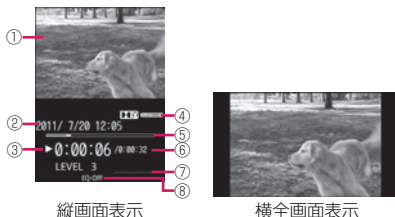
■ 登録した順番を変更する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「曲順変更」▶移動したい動画を選択▶で移動したい順番に移動して■［選択］▶MENU［完了］

4 ［完了］

プレイリストフォルダ一覧画面が表示されます。
プレイリストを反転表示し［再生］でプレイリスト再生がはじまり、登録した動画が繰り返し再生されます。

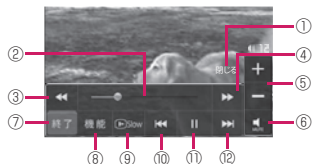
ｉモーション再生画面の見かた

縦画面表示

横全画面表示

① 動画
② タイトル
③ 再生状態
④ 音響効果適用
「AUDYSSEY」はｉモーションや端末の設定によらず表示され、「」はDolby MobileをONに設定しているときに表示されます。
⑤ 再生位置表示
現在の再生位置をマーカーで表示
⑥ 再生経過時間（時間：分：秒）／全体の長さ（時間：分：秒）
⑦ 音量（LEVEL 0～25）
⑧ イコライザ設定値

● タッチ操作画面の見かた

●任意の場所をタッチすることでタッチ操作画面が表示されます。

●再生中のｉモーションの種類によって、利用できない機能があります。

① 閉じる
② 再生位置表示

左右にドラッグしたり、再生バーの任意の位置をタッチすることで、その位置から再生します。
③ 早戻し
④ 早送り
⑤ 音量（＋、－）
⑥ 消音（ミュート）
⑦ 終了
⑧ 機能
以下の機能が利用できます。
「イコライザ」「Dolby Mobile」「お風呂モード」→P.276
「グリッド」→P.343
「ブログ投稿」「メール添付」→P.343
⑨ 早見再生（1.25倍）／早見再生（2倍）／高速再生／スロー再生／通常再生／コマ送り
コマ送りは一時停止中のみ利用できます。
⑩ 先頭から再生／前のｉモーション
⑪ 再生／一時停止
⑫ 次のチャプター／ｉモーションを再生

ｉモーション再生画面の操作

- ｉモーションの種類によっては、以下の操作で動作しない場合があります。

操作ボタン	動作
[■]	一時停止／再生を再開
[音量キー]	音量調節
[戻しキー]	先頭から再生 先頭から3秒以内に押した場合は前のチャプター／動画を再生
[送りキー]	次のチャプター／動画を再生
[戻しキー]（1秒以上）	スキップ戻し
[送りキー]（1秒以上）	スキップ送り
[MENU]	1.25倍速で早見再生→2倍速で早見再生→通常再生の順に切り替え（スロー再生、高速再生中は通常再生に戻る） 一時停止中はサブメニュー
[カメラキー]	消音（ミュート）／消音解除 一時停止中はコマ送り
[メールキー]	グリッド表示の切り替え
[ｉキー]	縦画面表示と横画面表示の切り替え※ 「横画面（右90度）」→「横全画面（右90度）」→「横画面（左90度）」→「横全画面（左90度）」→「縦画面」の順に切り替わります。

※「画面縦横自動切替」（P.122）を「OFF」に設定しているときのみ操作できます。

サブメニュー

❖ ｉモーション再生画面（P.340）

- 再生中のｉモーションの種類によって、利用できない機能があります。

通常再生、スロー再生、早見再生（1.25倍速）、早見再生（2倍速）、高速再生…再生速度を切り替えます。
チャプター一覧…チャプター一覧を表示します。
停止…再生を停止します。
再生位置選択…再生位置を[左右キー]で調節し、再生位置を選択します。
しおり登録…ｉモーションにしおりを登録します。
ｉモーション編集…P.343
メール添付／ブログ…動画を添付し、ｉモードメールやブログ投稿用のメールを作成します。
ｉモーション貼付…ｉモーションを待受画面などに設定します。着信音に設定した場合、設定した項目には「★」が表示されます。
「待受画面設定」→P.116
ｉモーション情報…ｉモーションのファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。
赤外線送信…P.379
ｉＣ送信…P.380
グリッド表示…グリッドの表示を「ON、OFF」から選択します。
デスクトップ貼付…P.124
表示サイズ設定…「等倍表示、画面サイズで表示」から選択します。
全画面モード切替※…全画面表示に切り替えます。
サウンドエフェクト…P.276
※「画面縦横自動切替」（P.122）を「OFF」に設定しているときのみ操作できます。

おしらせ
◆スロー再生はｉモーションを通常の約半分の速度で再生します。
◆スロー再生中、早見再生（1.25倍）中、早見再生（2倍）中、高速再生中は無音になります。

ｉモーションの編集

＜例：ｉモード、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面＞

1 動画一覧画面（P.340）▶MENU［サブメニュー］▶「編集」▶「iモーション編集」

編集画面

2 MENU［サブメニュー］▶以下の項目から選択

iモーション切り出し…P.344

ピクチャ切り出し…P.344

メールサイズ切り出し…P.344

メール添付／ブログ…動画を添付し、iモードメールやブログ投稿用のメールを作成します。

ファイル制限…「iモーション切り出し」した動画を再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.329

おしらせ

◆動画編集中は、マルチタスク機能を利用できません。

◆編集によって画質が劣化する場合があります。

◆「ブログ・メールメンバー」でブログ投稿先アドレスが設定されていると、「メール添付／ブログ」の「ブログ投稿」でメール作成するときに宛先が自動で入力されます。→P.162

◆本 FOMA 端末で撮影した以下の動画は「iモーション切り出し」、「メールサイズ切り出し」はできません。
- 画像サイズがQVGAを超える場合
- 画像サイズがQVGAで「画質／音質」が「最高品質」または「高品質」の場合

なお、本FOMA端末以外で撮影した動画を「iモーション切り出し」、「メールサイズ切り出し」する場合は、以下としてください。
- 「映像コーデック：MPEG-4」、「音声コーデック：AMR」、「映像ビットレート：3,000kbps以下」、「音声ビットレート：4.75～12.2kbps（無音圧縮ありも可能）」

● iモーションの一部を切り出す

1 動画一覧画面（P.340）▶MENU［サブメニュー］▶「編集」▶「iモーション編集」▶MENU［サブメニュー］▶「iモーション切り出し」または「メールサイズ切り出し」

2 ［始点］
切り出しが開始されます。

■ 途中の場面から切り出す場合
▶■［ ▶ ］▶切り出しをはじめたい場面で■［ ॥ ］▶［始点］

3 切り出したい最後の場面で■［ ॥ ］▶［終点］

■「メールサイズ切り出し」を選択している場合
▶「メールサイズ（小）」または「メールサイズ」
「メールサイズ（小）」では500Kバイト、「メールサイズ」では2,048Kバイトに到達すると自動的に停止し、操作5に進みます。

4 切り出した動画が再生される
再生が終わったら自動的に停止します。

5 ■［確定］▶■［保存］▶「YES」

● iモーションの一部を静止画として切り出す

1 動画一覧画面（P.340）▶MENU［サブメニュー］▶「編集」▶「iモーション編集」▶MENU［サブメニュー］▶「ピクチャ切り出し」

2 ■［ ▶ ］▶切り出したい場面で■［ ॥ ］▶［確定］▶「YES」▶保存するフォルダを選択

おしらせ

◆「表示サイズ設定」（P.343）の設定によって切り出しサイズが異なります。

ムービーの再生

1 MENU▶「データBOX」▶「iモーション・ムービー」
iモーション・ムービーのフォルダ内容について→P.324

フォルダ一覧画面（サブメニュー→P.374）

■ microSDカードのムービーを表示する場合
▶✉［microSD］

2 「ムービー」（microSDカードの場合は「SDムービー」）▶「フォルダ一覧」▶フォルダを選択

「ムービー一覧画面の見かた」→P.345

ムービー一覧画面（サブメニュー→P.345）

■ しおりを登録した位置からムービーを再生する場合

▶「ムービー」▶「しおり」▶しおりを選択

しおり一覧画面（サブメニュー→P.346）

しおり一覧画面が表示されます。しおり一覧画面で「復旧しおり」を選択すると、前回再生中に着信などで終了した位置から再生されます。

■ 再生履歴からムービーを再生する場合

▶「ムービー」▶「再生履歴」▶履歴を選択

再生履歴一覧画面（サブメニュー→P.346）

再生履歴一覧画面が表示されます。再生履歴は新しいものから30件記憶されます。

3 動画を選択

動画の再生がはじまります。

「ムービー再生画面の見かた」→P.346
「ムービー再生画面の操作」→P.347

ムービー再生画面（サブメニュー→P.347）

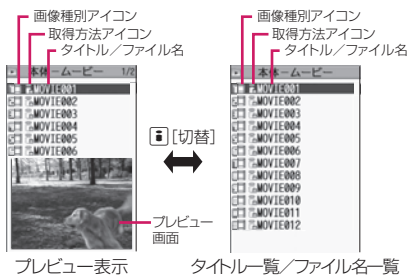
■ 部分的に取得したムービーの場合

再生可能な場合は途中まで再生が行われます。なお、ムービー再生時には、残りのデータを取得することはできません。

おしらせ

◆再生中に着信などがあった場合やCLR、[終話キー]によって再生を終了した場合は、前回終了位置から再生可能です。ただし、正確な前回終了位置から再生できない場合があります。

● ムービー一覧画面の見かた

●画像種別アイコン、取得方法アイコンについて→P.327

※ 音声のみのムービーなどは、プレビュー画面は表示されません。

サブメニュー

❖ ムービー一覧画面（P.345）

●選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、サブメニューに表示される項目が異なります。

コンテンツ情報…コンテンツのファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

フォルダ移動…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、動画をほかのフォルダに移動します。

コピー…「1件コピー、選択コピー、全コピー」を選択後、コピー先のフォルダを選択し、動画をほかのフォルダにコピーします。

microSDへ移動…P.369

編集…タイトルについて編集します。

- **タイトル編集**…タイトルを編集します。
- **タイトル初期化**…変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

説明表示…コンテンツの説明を表示します。

保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

一覧表示切替…ムービー一覧画面の表示のしかたを選択します。

- **名前**…タイトルまたはファイル名の一覧を表示します。
- **名前＋画像**…タイトルまたはファイル名の一覧をプレビュー（ムービーの1コマ目）付きで表示します。
- **ファイル名表示⇔タイトル表示**…一覧をファイル名で表示するかタイトルで表示するか設定します。

本体へ移動…P.369

サブメニュー

❖ しおり一覧画面（P.340、345）

しおり情報※1…しおりに登録されたムービーのファイル名、再生日時、再生開始位置などを表示します。

再生※2…しおりを登録した位置からｉモーションやビデオを再生します。

削除…選択したしおりを削除します。ムービーのしおり一覧画面（P.345）では、「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 ムービーのしおり一覧画面（P.345）でのみ利用できます。

※2 ｉモーション、ビデオのしおり一覧画面（P.340）でのみ利用できます。

サブメニュー

❖ 再生履歴一覧画面（P.345）

履歴情報…履歴に登録されたムービーのファイル名、再生日時などを表示します。

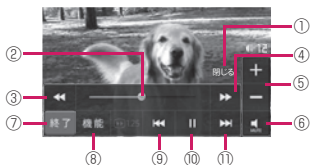
しおり登録…再生履歴の再生開始位置を、しおりに登録します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

ムービー再生画面の見かた

縦画面表示

横全画面表示

① 動画
② タイトル、作成者
③ 再生状態
④ 音響効果適用
「AUDYSSEY」はムービーや端末の設定によらず表示され、「[Dolby Mobileアイコン]」はDolby MobileをONに設定しているときに表示されます。
⑤ 再生位置表示
現在の再生位置をマーカーで表示
⑥ 再生経過時間（分：秒）／全体の長さ（分：秒）
⑦ 音量（LEVEL 0～25）
⑧ イコライザ設定値

● タッチ操作画面の見かた

- 任意の場所をタッチすることでタッチ操作画面が表示されます。

① 閉じる
② 再生位置表示
左右にドラッグしたり、再生バーの任意の位置をタッチすることで、その位置から再生します。
③ 早戻し
④ 早送り
⑤ 音量（＋、－）
⑥ 消音（ミュート）
⑦ 終了
⑧ 機能
以下の機能が利用できます。
「イコライザ」「Dolby　Mobile」「お風呂モード」
→P.276
⑨ 先頭から再生／前のムービー
⑩ 再生／一時停止
⑪ 次のムービーを再生

ムービー再生画面の操作

●ムービーの種類によっては、以下の操作で動作しない場合があります。

操作ボタン	動作
■	一時停止／再生を再開
上下	音量調節
左	先頭から再生 先頭から3秒以内に押した場合は前のムービーを再生
右	次のムービーを再生
左（1秒以上）	再生位置選択
右（1秒以上）	再生位置選択
MENU	4倍速再生／通常再生に戻る 一時停止中はサブメニュー
カメラ	消音（ミュート）／消音解除
i	縦画面表示と横画面表示の切り替え※ 「横画面（右90度）」→「横全画面（右90度）」→「横画面（左90度）」→「横全画面（左90度）」→「縦画面」の順に切り替わります。

※「画面縦横自動切替」（P.122）を「OFF」に設定しているときのみ操作できます。

サブメニュー

❖ムービー再生画面（P.345）

●再生中のムービーの種類によって、利用できない機能があります。

早送り…ムービーを早送りします。

早戻し…ムービーを早戻します。

停止…ムービーの再生を停止します。

再生位置選択…再生位置を左右で調節し、再生位置を選択します。

コンテンツ情報※…コンテンツのファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

しおり登録…ムービーにしおりを登録します。

説明…以下の項目の説明を表示します。

- **歌詞表示**※…ムービーの歌詞を表示します。
- **説明表示**※…ムービーの説明を表示します。

URLコピー…サイトでのデータ取得時、ムービーのURLをコピーし、文字入力（編集）画面などに貼り付けることができます。→P.436

表示サイズ設定…「等倍表示、画面サイズで表示」から選択します。

サウンドエフェクト…P.276

※ 1ページ以内に表示できない場合は、十字キーで画面を切り替えることができます。

ビデオの再生

ワンセグで録画したビデオなどは、ビデオプレーヤーで再生します。

1 **MENU▶「データBOX」▶「ワンセグ」▶「ビデオ」**

「ビデオ一覧画面の見かた」→P.348

ビデオ一覧画面（プレビュー表示）（サブメニュー→P.348）

■ **しおりを登録した位置からビデオを再生する場合**

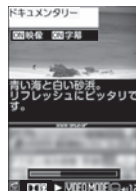
▶「ワンセグ」▶「しおり」▶「しおりを選択」

しおり一覧画面（P.340）が表示されます。しおり一覧画面で「復旧しおり」を選択すると、前回再生を中断した位置から再生されます。

2 **ビデオを選択**

ビデオの再生がはじまります。

前回再生したビデオは、前回の続きから再生します。先頭から再生するにはビデオの一覧画面でそのビデオを反転し、カメラ［先頭再生］を押します。

「ビデオ再生中の操作」→P.349

ビデオ再生画面（サブメニュー→P.349）

おしらせ

◆ビデオの種類によっては正しく再生されない場合があります。

◆市販のBluetooth機器を利用して、ビデオの音声をBluetooth機器から再生できます。→P.424

● タッチ操作画面の見かた

●任意の場所をタッチすることでタッチ操作画面が表示されます。

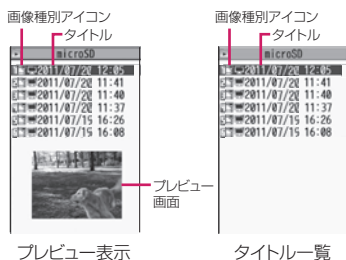
① 閉じる
② 再生位置表示
左右にドラッグしたり、再生バーの任意の位置をタッチすることで、その位置から再生します。
③ 10倍早戻し／30倍早戻し
④ 10倍早送り／30倍早送り
⑤ 音量（+、−）
⑥ 消音（ミュート）
⑦ 終了
⑧ 機能
以下の機能が利用できます。
「Dolby Mobile」「映像効果」「お風呂モード」→P.262
「字幕ON」／「字幕OFF」：字幕表示のON、OFFを切り替えます。
「なめらかワンセグ　ON」／「なめらかワンセグOFF」：なめらかワンセグのON、OFFを切り替えます。
⑨ 早見再生（1.3倍）／早見再生（2倍）／スロー再生／通常再生／コマ送り
コマ送りは一時停止中のみ利用できます。
⑩ 一時停止／再生を再開

おしらせ

◆タッチ操作画面では、字幕は表示されません。
◆タッチスタイルで再生中にを押すと、ディスプレイの表示が消え音声の出力のみとなります。再度を押すかスタイルを切り替えると、元に戻ります。

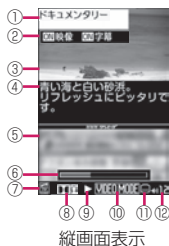
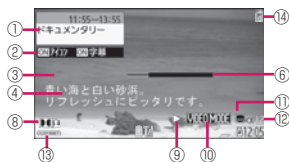
ビデオ一覧画面の見かた

●画像種別アイコン、取得方法アイコンについて→P.327
●タイトル、ファイル名について→P.260

プレビュー表示　　タイトル一覧

サブメニュー

❖ビデオ一覧画面（P.347）

タイトル編集…タイトルを編集します。
ビデオ情報…ビデオのチャンネル名、番組名、録画日時、ファイル名、ファイルサイズなどを表示します。
タイトル初期化…変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。
保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。
一覧表示切替…ビデオ一覧画面の表示のしかたをタイトルの一覧にするか、プレビュー付き（ビデオの1コマ目）の一覧にするかを選択します。

ビデオ再生画面の見かた

縦画面表示

横全画面表示

① 番組タイトル
② 画面表示

③ 映像
④ 字幕
⑤ データ放送
⑥ 再生位置表示

現在の再生位置を表示します。一時停止中にサブメニューから「再生位置選択」を選択し、で マーカーを移動して■［確定］を押すと、その位置から再生します。

⑦ 映像／データ放送切替→P.258

：映像モード

：データ放送モード

⑧ ワンセグ効果（Dolby Mobile）→P.262

：Dolby Mobile ON

⑨ 再生状態

：通常再生

：一時停止

：スロー再生

：早見再生（1.3倍速）

：早見再生（2倍速）

：早送り（10倍速）

：早送り（30倍速）

：早戻し（10倍速）

：早戻し（30倍速）

⑩ VIDEO MODE
「VIDEO MODE」固定表示

⑪ 字幕あり／なし
字幕情報が含まれているときは が表示されます。

⑫ 音量
ボリュームのレベルを0〜25で表示します。

⑬ 音響効果適用
「AUDYSSEY」は番組や端末の設定によらず表示されます。

⑭ 横全画面で視聴中、データ放送が更新された場合に、画面にが表示されることがあります。

ビデオ再生中の操作

操作ボタン	動作
■	一時停止／再生を再開
(上下)	音量調節
(カメラ)	消音（ミュート）／消音解除 一時停止中はコマ送り
(左)	10倍速で早戻し再生／30倍速で早戻し再生
(右)	10倍速で早送り再生／30倍速で早送り再生
(左)（1秒以上） ＊	約12秒スキップ戻し
(右)（1秒以上） ＃	約28秒スキップ送り
MENU	1.3倍速で早見再生／2倍速で早見再生／通常再生に戻る 一時停止中はサブメニュー
(通話)	番組情報表示／画面表示切替（縦画面表示のみ） 押すたびに「データ放送全画面表示」→「映像＋データ放送」→「映像拡大＋データ放送」→「映像＋字幕＋データ放送」の順番で画面が切り替わります。 横全画面では押すたびに、「アイコンON／字幕ON」→「アイコンON ／字幕OFF」→「アイコン OFF ／字幕OFF」→「アイコンOFF／字幕ON」の順で画面が切り替わります。
(メール)	操作モード切替
(i)	データ放送全画面に切り替え（データ放送モード） 縦画面表示と横全画面表示の切り替え（映像モード）※
CLR	終了

※「画面縦横自動切替」（P.122）を「OFF」に設定しているときのみ操作できます。

サブメニュー

❖ビデオ再生画面（P.347）

通常再生、スロー再生、早見再生、早送り、早戻し…再生速度を切り替えます。

停止…ビデオの再生を停止します。

再生位置選択…再生位置をで調節し、再生位置を選択します。

しおり登録…ビデオにしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。

ビデオ情報…ビデオのチャンネル名、番組名、録画日時、ファイル名、ファイルサイズなどを表示します。

ワンセグ効果※…P.262

画面表示切替※…「映像＋データ放送、映像拡大＋データ放送、映像＋字幕＋データ放送、データ放送」から選択します。データ放送のみを表示中でもワンセグの音声は流れます。

映像／データ放送切替…映像モードとデータ放送モードを切り替えます。

アイコン常時表示設定※…横全画面表示（P.348）で、番組タイトル以外のアイコンを常時表示するかどうかを設定します。

音声設定…音声の出力方法を選択します。
データ放送操作…P.257
データ放送へ戻る…データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送に戻ります。
※ 設定内容はワンセグの同機能にも反映されます。

おしらせ

<スロー再生、早送り、早戻し>
◆スロー再生中、早送り中、早戻し中は無音になります。

<早見再生>
◆早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

<しおり登録>
◆しおりはしおりフォルダに2件まで登録できます。
◆ビデオの再生が中断された場合は、自動的に復旧しおりが登録されます（1件のみ）。

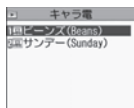
キャラ電

テレビ電話で、相手のFOMA端末にカメラ映像の代わりにキャラクタを代替画像として送信できます。

キャラ電を表示して操作

●キャラ電をダウンロードする→P.210
●キャラ電によっては、送話口／マイクからの音声にあわせて口に動きを与えるものもあります。
●キャラ電一覧画面で表示されるアイコンについて→P.327

1 MENU▶「データBOX」▶「キャラ電」▶キャラ電を選択

■ キャラ電の一覧／表示画面

キャラ電一覧画面

キャラ電画面

左画面：サブメニュー→P.350
右画面：サブメニュー→P.350

2 キャラ電を操作する

・ボタン操作によりキャラ電を操作することができます。
・[＊]を押して使用可能なアクションを確認することができます。
・アクション名の右にある「1」や「#1」のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。

■ アクションモードを切り替える場合
▶[カメラ]［パーツ⇔全体］

[パーツアクションモード アイコン]：パーツアクションモード
「右手を上げる」など、キャラクタが体の一部で表現するアクションを操作するモードです。

[全体アクションモード アイコン]：全体アクションモード
「喜ぶ」や「泣く」など、キャラクタが全体で表現するアクションを操作するモードです。

サブメニュー

❖キャラ電一覧画面（P.350）

❖キャラ電画面（P.350）

キャラ電発信…キャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。
キャラ電発信画面では電話番号の入力以外に[十字キー]を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳から電話番号を検索できます。
代替画像設定…キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
キャラ電撮影…P.350
タイトル編集※1…タイトルを編集します。
キャラ電切替※2…キャラ電を切り替えます。
アクション一覧※2…アクション一覧を表示します。
アクション切替※2…アクションを切り替えます。
キャラ電情報…キャラ電のファイル名、保存日時、ファイルサイズ、撮影後ファイル制限などを表示します。
保存容量確認※1…保存容量（目安）を確認します。
デスクトップ貼付…P.124
画像表示設定…「等倍表示、画面サイズで表示」から選択します。「等倍表示」は等倍で表示します。「画面サイズで表示」は画面サイズにあわせて表示します。
タイトル初期化※1…変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
削除※1…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。
※1 キャラ電一覧画面でのみ利用できます。
※2 キャラ電画面でのみ利用できます。

キャラ電を静止画／動画として保存

1 キャラ電画面（P.350）▶MENU［サブメニュー］▶「キャラ電撮影」

■ 静止画を撮影する場合
▶アクションを操作する▶[■]［撮影］

キャラ電撮影画面（静止画）（サブメニュー→P.351）

■ 動画を撮影する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「ムービーモード」▶■［撮影］▶アクションを操作する▶■［終了］

■ 撮影した動画を確認する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「再生確認」

■ 撮影し直す場合
▶CLR

■ 撮影した静止画・動画を添付したｉモードメールを作成する場合
▶📷［MAIL］
静止画の場合はさらに「画像添付」または「画像挿入」を選択します。

2 ■［保存］

静止画はマイピクチャのカメラフォルダに、動画はｉモーション・ムービーのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

◆動画撮影時は画像サイズ（QCIF（176×144））を変更できません。
◆動画撮影中にアクション操作をすると、ボタンを操作したときの音が送話口／マイクから録音される場合があります。

サブメニュー

❖キャラ電撮影画面（P.351）

キャラ電切替、代替画像設定、アクション一覧、アクション切替、画像表示設定…P.350
ムービーモード⇔フォトモード…ムービーとフォトを切り替えます。
画像サイズ選択※1※2…撮影する画像サイズを選択します。
撮影種別設定※2※3…「映像＋音声、映像のみ」から選択します。
動画保存設定※2※3…動画の保存について以下の項目を設定します。
- **標準**…標準の画質、撮影時間で撮影します。
- **画質優先**…よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
- **時間優先**…撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。
- **動き優先**…よりスムーズな動きで撮影したいときに選択します。

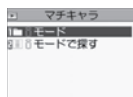
画像保存設定※1※2…静止画を撮影するときの画質を「ノーマル、ファイン、スーパーファイン」から選択します。
ファイルサイズ設定※2※3…「500KB以下、2MB以下」から選択します。

※1 フォトでのみ利用できます。
※2 次に撮影するときも、設定は保持されます。
※3 ムービーでのみ利用できます。

マチキャラ

内蔵されているマチキャラや、サイトからダウンロードしたマチキャラの内容を確認します。
- サイトからのダウンロードについて→P.210
- マチキャラの設定について→P.122

1 MENU▶「データBOX」▶「マチキャラ」

マチキャラのフォルダ内容について→P.324

フォルダ一覧画面（サブメニュー→P.374）

■ microSDカードのマチキャラを表示する場合
▶✉［microSD］

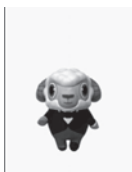
2 フォルダを選択

「マチキャラ一覧画面の見かた」→P.352

「ひつじのしつじくん®」
「メイドのメイちゃん®」
©NTT DOCOMO

マチキャラ一覧画面（サブメニュー→P.352）

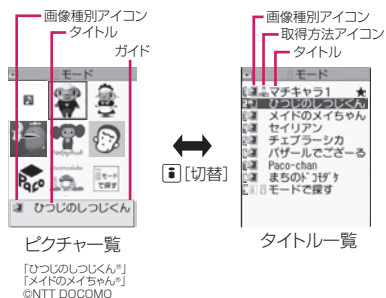
■ ｉモードでマチキャラを検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

3 マチキャラを選択

マチキャラ画面

■ **部分的に取得したマチキャラを選択した場合**
残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを追加でダウンロードする場合は、メッセージに従って取得操作を行ってください（通信モード設定や利用プロファイルによっては取得できない場合があります）。
残りのデータの取得が完了すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。

マチキャラ一覧画面の見かた

● 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.327

ピクチャ一覧　　タイトル一覧

サブメニュー

❖ マチキャラ一覧画面（P.351）

編集…以下の項目を設定します。
- **タイトル編集**…タイトルを編集します。
- **タイトル初期化**…変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

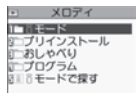
マチキャラ設定、解除…P.122
マチキャラ情報…マチキャラのファイル名、保存日時などを表示します。
手動アップデート…マチキャラの手動更新を行います。
一括情報リセット…「設定経過時間」、「積算通話時間」、「送信／受信メール数」の情報（マチキャラごとに保持）をリセットします。
microSDへ移動…P.369
フォルダ移動…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、マチキャラをほかのフォルダに移動します。
保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。
ソート…登録日付順／タイトル順／ファイルサイズ順／ファイル取得元順でソート（並べ替え）します。
削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

おしらせ

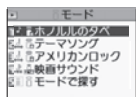
<手動アップデート>
◆ iコンシェル未契約の場合でも、マチキャラの更新は可能です。

メロディの再生

内蔵メロディや効果音、サイトなどからダウンロードしたメロディは、データBOXのメロディで再生します。

1 MENU ▶「データBOX」▶「メロディ」
メロディのフォルダ内容について→P.324

フォルダ一覧画面（サブメニュー→P.374）

■ microSDカードのメロディを再生する場合
▶ ✉［microSD］

2 フォルダを選択
「メロディ一覧の見かた」→P.353

メロディ一覧画面（サブメニュー→P.353）

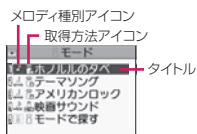
■ iモードでメロディを検索する場合
▶「iモードで探す」▶「YES」

3 メロディを選択
メロディ画面が表示され、メロディの再生がはじまります。
「メロディ再生中の操作」→P.353

メロディ画面（サブメニュー→P.353）

おしらせ

◆再生中の音量は、着信音量の「FOMA電話」で設定した音量になります（「消去」または「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で再生します）。

メロディ一覧の見かた

■メロディ種別アイコン

アイコン	説明
	MFi／SMFのメロディ

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールされているメロディ
	サイトなどから取得したメロディ
	赤外線通信やｉC通信、microSDカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したメロディ

■タイトル、ファイル名について

サイトなどから取得したメロディにはオリジナルのタイトルが付きます。
タイトルはFOMA端末のメロディ一覧画面に表示される名前です。
ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示されるメロディデータの名前です。
ファイル名に不正な文字があるときのファイル名は「melodyxxxx」（xxxx：4桁の数字）になります。
ファイル名の末尾4桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号として付けられます。

メロディ再生中の操作

操作ボタン	動作
	前後の曲の再生
	音量調節※1※2
0～9、＊、＃、、、■、	再生の停止
	消音（ミュート）
CLR	終了

※1 音量を調節したあと、■［確定］を押すか、約2秒間待つとメロディ画面に戻ります。
※2 再生中に音量を変更しても、メロディを終了すると着信音量の「FOMA電話」で設定されている音量に戻ります。

サブメニュー

❖メロディ一覧画面（P.352）

❖メロディ画面（P.353）

●サブメニューはメロディが保存されているフォルダによって変わります。

メロディ再生※1…選択したメロディを再生します。

ｉモードメール添付…メロディを添付したｉモードメールを作成します。→P.152

着信音設定…メロディを設定する項目を選択します。設定された項目には「★」が付きます。

ポイント再生、フルコーラス再生※2…再生位置が設定されている場合に、再生位置から再生するか、最初から再生するかを選択します。

メロディ情報…メロディのファイル名、保存日時などを表示します。

移動／コピー…移動やコピーを行います。

- **フォルダ移動**※1…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、メロディをほかのフォルダに移動します。
- **microSDへ移動**※1…P.369
- **microSDへコピー**…P.367
- **お預かりセンターに保存**※1…P.146

本体へ移動※3…P.369

本体へコピー※3…P.368

コピー※3…「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピー」→P.368

編集※1…以下の項目を編集します。

- **タイトル編集**…タイトルを編集します。
- **ファイル名編集**…半角の英字、数字と記号（"-"、"_"、"."のみ）で入力できます。

• **ファイル制限**…保存したメロディを再配布できるかどうかを設定します。→P.329
• **タイトル初期化**…変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

ソート※1…登録日付順／タイトル順／ファイルサイズ順／ファイル取得元順でソート（並べ替え）します。

デスクトップ貼付…P.124

赤外線／ｉC送信※1…P.376
• **赤外線送信**…P.379
• **ｉC送信**…P.380

保存容量確認※1…保存容量（目安）を確認します。

削除※1…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 メロディ一覧画面でのみ利用できます。
※2 メロディ画面でのみ利用できます。
※3 microSDカードに保存されているメロディのときのみ利用できます。

おしらせ

<ファイル名編集>
◆ファイル制限が「あり」に設定されているメロディは、ファイル名編集できません。ただし、赤外線通信やｉC通信、OBEX™通信で受信したメロディはファイル名編集できます。

<着信音設定>
◆メロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。データBOXのメロディで「フルコーラス再生」にて再生を行うと、すべてのメロディを再生できます。

<ソート>
◆「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンのメロディは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
① ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したメロディ
② 赤外線通信やｉC通信、microSDカードなどで取得したメロディ

● メロディを好きな順に再生する

お好きな曲を10曲まで選んで登録しておき、複数の曲を連続して再生します。

1 フォルダ一覧画面（P.352）▶「プログラム」を反転▶MENU［サブメニュー］▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録したメロディを解除する場合
▶解除したいメロディを選択▶フォルダ選択画面で「メロディ解除」

■ 登録したメロディを全解除する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「プログラム解除」▶「YES」

2 📷［完了］

メロディのフォルダ一覧画面が表示されます。プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録したメロディが繰り返し再生されます。

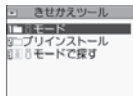
おしらせ

◆プログラムに登録されているメロディのタイトルおよびファイル名を変更、またはデータを削除すると、プログラム再生が解除されます。

きせかえツールの管理

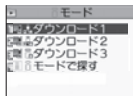
サイトからダウンロードしたきせかえツールの内容を確認します。
●お買い上げ時には「拡大メニュー」が登録されています。
●サイトからのダウンロードについて→P.210

1 MENU▶「データBOX」▶「きせかえツール」

きせかえツールのフォルダ内容について→P.324

フォルダ一覧画面（サブメニュー→P.374）

■ microSDカードのきせかえツールを確認する場合
▶✉［microSD］

2 フォルダを選択

「きせかえツール一覧画面の見かた」→P.355

きせかえツール一覧画面（サブメニュー→P.355）

■ ｉモードできせかえツールを検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

3 きせかえツールを選択

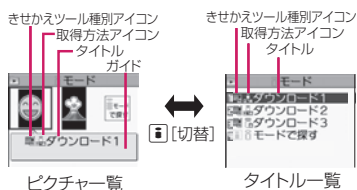
■ きせかえツールを設定する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「一括設定」

■ 部分的に取得したきせかえツールを選択した場合
データの取得が中断されたなどの理由により、一部のデータしか取得できなかったきせかえツールを開こうとすると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを追加でダウンロードする場合は、メッセージに従って取得操作を行ってください（通信モード設定や利用プロファイルによっては取得できない場合があります）。残りのデータの取得が完了すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。なお、残りのデータが正しくないと、データの取得は完了できませんが、この場合でも取得操作を行うと、部分的に保存されていた不正なデータは削除されます。

おしらせ

◆着信音など、音に関する項目を確認する場合の再生中の音量は、「着信音量」で設定した音量になります。
ただし、「消去」または「ステップ」に設定されていても「レベル2」の音量で鳴ります。iモーションはデータBOXから再生したときの音量で鳴ります。

きせかえツール一覧画面の見かた

ピクチャー一覧　タイトル一覧

■きせかえツール種別アイコン

アイコン	説明
	すべてのデータが取得されているきせかえツール
	一部のデータしか取得できなかったきせかえツール
	ドコモUIMカードセキュリティ機能に該当しているきせかえツール

■取得方法アイコン

アイコン	説明
	ダウンロードして取得したデータ すべてのデータが取得されているきせかえツールの場合、表示されます。
	ダウンロードして取得したデータ 一部のデータしか取得できなかったきせかえツールの場合、表示されます。

サブメニュー

❖きせかえツール一覧画面（P.354）

●サブメニューはきせかえが保存されているフォルダによって変わります。

一括設定…P.126

ファイル情報…きせかえツールのファイル名、保存日時などを表示します。

編集…以下の項目を編集します。
- **タイトル編集**…タイトルを編集します。
- **タイトル初期化**…変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

フォルダ操作※1…P.373

microSDへ移動…P.369

本体へ移動※2…P.369

フォルダ移動…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、きせかえツールをほかのフォルダに移動します。

保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。

ソート…登録日付順／タイトル順／ファイルサイズ順／ファイル取得元順でソート（並べ替え）します。

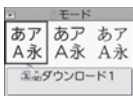
削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1 microSDカードのきせかえツール一覧画面でのみ利用できます。
※2 microSDカードに保存されているときのみ利用できます。

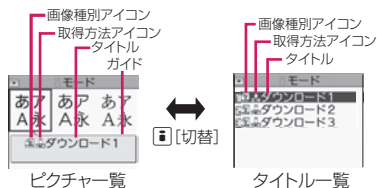
フォントの管理

内蔵されているフォントや、サイトからダウンロードしたフォントを確認します。
●サイトからのダウンロードについて→P.210
●フォントの設定について→P.123

1 MENU▶「データBOX」▶「next」▶「フォント」
フォントのフォルダ内容について→P.324

2 フォルダを選択▶確認したいフォントに囲み枠を移動
「フォント一覧画面の見かた」→P.356

フォント一覧画面（サブメニュー→P.356）

フォント一覧画面の見かた

●画像種別アイコン、取得方法アイコンについて→P.327

サブメニュー

❖フォント一覧画面（P.356）

●サブメニューはフォントが保存されているフォルダによって変わります。

フォント設定…P.123

フォント情報…フォントのタイトル、保存日時などを表示します。

タイトル編集…タイトルを編集します。

保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。

ソート…登録日付順／タイトル順／ファイルサイズ順でソート（並べ替え）します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

おしらせ

<削除>

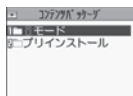
◆お買い上げ時に登録されているフォントは削除できません。

コンテンツパッケージの利用

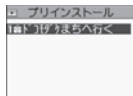
内蔵されているコンテンツパッケージや、サイトからダウンロードしたコンテンツパッケージを利用します。

●サイトからのダウンロードについて→P.210

1 MENU▶「データBOX」▶「コンテンツパッケージ」

コンテンツパッケージのフォルダ内容について→P.324

フォルダ一覧画面（サブメニュー→P.374）

2 フォルダを選択

「コンテンツパッケージ一覧の見かた」→P.357

コンテンツパッケージ一覧画面（サブメニュー→P.357）

3 コンテンツパッケージを選択▶コンテンツパッケージに含まれるデータを選択

コンテンツパッケージ利用画面（サブメニュー→P.357）

選択したデータによって、それぞれの機能が起動します。起動した画面は、データBOXのそれぞれの機能から起動したときと同じです。
また、サブメニューは選択したデータによって異なります。選択したデータのサブメニューをご確認ください。

■ 部分的に取得したデータを選択した場合

データの取得が中断されたなどの理由により、一部のデータしか取得できなかったデータを開こうとすると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを追加で取得する場合は、メッセージに従って取得操作を行ってください。残りのデータの取得が完了すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。なお、残りのデータが正しくないと、データの取得操作はできませんが、この場合でも取得操作を行うと、部分的に保存されていた不正なデータは削除されます。

■ 該当するデータが見つからない場合

「再ダウンロード」を選択すると見つからなかったデータを再度ダウンロードします。

「フォルダを確認」を選択すると、データが保存されているかどうか確認できます。

- データBOX に保存されるデータの場合、データBOX 内のフォルダを表示します。データBOX以外に保存されるデコメテンプレート、デコメアニメテンプレート、トルカ、ｉアプリはそれぞれが保存されているフォルダを表示します。
- スケジュール、ｉスケジュールの場合、スケジュール画面を表示します。

「キャンセル」を選択するとコンテンツパッケージ利用画面に戻ります。

■ URLのデータを選択した場合

▶「YES」

ｉモードブラウザでサイトに接続されます。

おしらせ

◆残りのデータや、再ダウンロードする場合、通信モード設定や利用プロファイルによっては取得できない場合があります。

◆コンテンツパッケージとしてダウンロードした各コンテンツは、お買い上げ時に保存されるフォルダに保存されます。

◆保存された各コンテンツをフォルダ移動しても、コンテンツパッケージ利用画面からダウンロード対象コンテンツとして起動できます。ただし、microSDに移動もしくは本体に移動した場合は起動できなくなります。

◆コンテンツパッケージに含まれる画像や ｉ モーションをシークレットフォルダへ移動した場合、コンテンツパッケージ利用画面から起動できません。

◆再生回数がある楽曲は、コンテンツパッケージ利用画面から起動してもカウントされます。

◆再ダウンロードすると別途パケット通信料がかかります。

◆コンテンツパッケージを削除しても、各コンテンツは削除されません。

サブメニュー

❖コンテンツパッケージ一覧画面(P.356)

❖コンテンツパッケージ利用画面(P.356)

タイトル編集…タイトルを編集します。

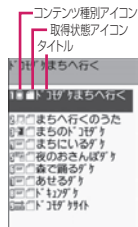
ファイル情報…コンテンツパッケージのファイル名、保存日時、ファイルサイズなどを表示します。

保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。

ソート※…登録日付順／タイトル順／ファイルサイズ順でソート（並べ替え）します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※ コンテンツパッケージ一覧画面でのみ利用できます。

コンテンツパッケージ一覧の見かた

■コンテンツ種別アイコン

アイコン	説明
	静止画（JPEG）
	静止画（GIF）
	静止画（SWF）
	静止画（ifm）
	デコメールテンプレート
	デコメアニメテンプレート
	ｉアプリのダウンロードURL
	エージェントメモ／取り込みカレンダー
	トルカ
	ｉモーション
	マチキャラ
	フル楽曲
	UIカスタマイズコンテンツ
	着信メロディ
	WebTo

■取得状態アイコン

アイコン	説明
	コンテンツが存在し、連携起動可能な場合に表示されます。
	コンテンツが部分ファイルとして存在し、連携起動不可の場合に表示されます。

アイコン	説明
(アイコン)	コンテンツの有無に関わらず連携起動不可の場合に表示されます。

全検索

データBOX内とmicroSDに保存されているデータの検索をします。

1 MENU ▶「データBOX」▶「next」▶「全検索履歴」▶「新規検索」

全検索履歴画面

■ 検索履歴から検索結果を確認する場合
▶検索履歴を反転▶■［選択］

■ 検索履歴から再検索する場合
▶検索履歴を反転▶✉［再検索］

2 検索条件を以下の項目から設定

タイトル…検索したいデータのタイトルを入力します。

ファイル種別…検索したいファイルを「□」で選択します。

取得元…検索したい取得元を「□」で選択します。

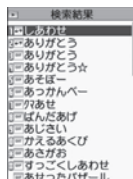
保存日時…検索したい保存日時を「指定なし、1週間以内、1か月以内、1年以内、日時指定」から選択します。

「日時指定」の「開始日時」と「終了日時」は、「日時指定」を反転し📷［編集］で編集できます。

記憶メディア…検索したい保存場所を「本体、microSD、本体＋microSD」から選択します。

3 📷［実行］

■ 検索方法を変更する場合
▶i［OR検索］
iを押すごとに「OR検索」、「AND検索」が切り替わります。

4 検索結果からデータを選択

検索結果一覧画面

■ 検索結果をソートする場合
▶MENU［サブメニュー］▶「ソート」→P.330

■ 再検索する場合
▶✉［再検索］

■ 検索したデータを保存されているフォルダで表示する場合
▶データを反転▶📷［JUMP］

ピクチャ検索

マイピクチャ内に保存されているデータの検索をします。

●検索対象のフォルダはｉモード、カメラ、デコメピクチャ、デコメ絵文字、かんたんデコメ、自動お預かり、ユーザ作成フォルダとなります。

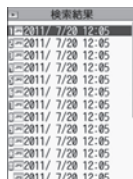
1 画像一覧画面（P.327）▶検索したいデータを反転▶MENU［サブメニュー］▶「ピクチャ検索」

2 検索条件を以下の項目から設定

日時で検索…検索したデータと保存日時の近いデータを検索

位置情報で検索…検索したデータと位置情報の近いデータを検索

表示サイズで検索…検索したデータと縦横のサイズの一致するデータを検索

3 検索結果からデータを選択

検索結果一覧画面

■ 検索結果をソートする場合
▶MENU［サブメニュー］▶「ソート」→P.330

■ 検索したデータを保存されているフォルダで表示する場合

▶データを反転▶[カメラ]［JUMP］

おしらせ

◆マイピクチャ内でセキュリティがかかったフォルダがある場合、検索開始前に暗証番号を入力し、セキュリティの一時解除をする必要があります。

microSDカードの利用

N-05Cでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年5月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

- ｉモードから
  「みんなＮらんど」への接続のしかた→P.193
- パソコンから
  http://www.n-keitai.com/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

取り扱い上のご注意

※ フォーマットは必ずN-05Cで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。→P.371

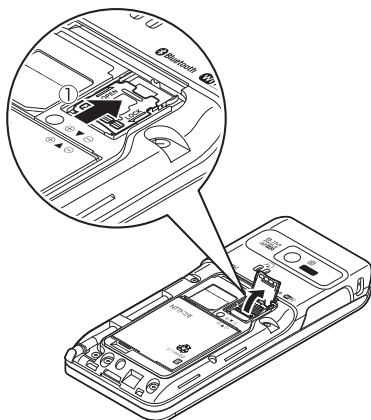
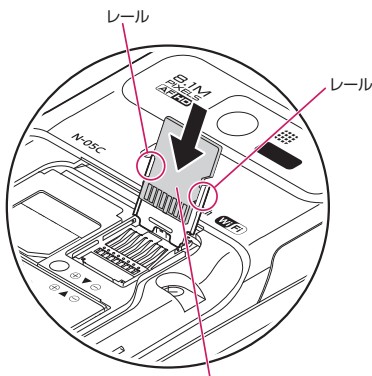
- microSDカードは、FOMA 端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。
- microSDカードにラベルやシールを貼らないでください。
- microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- microSD フォーマットや microSD チェックディスク中に [カメラ]［中止］や [終話] を押した場合は、microSDフォーマットやmicroSDチェックディスクは中止され、「[アイコン]」が表示されます。

microSDカードの取り付け／取り外し

FOMA端末の電源を切った状態で取り付け／取り外しを行ってください。

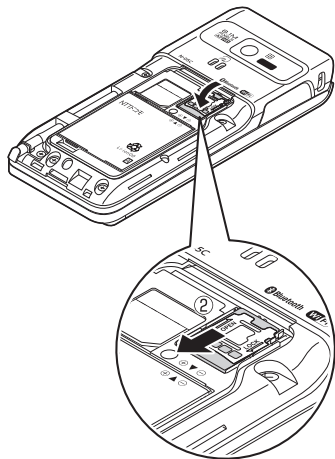
1 リアカバーを取り外す

2 金属のカバーを①の方向にスライドさせて持ち上げる

カバーを持ち上げる際は、FOMA端末の金属端子部分に触れないようにご注意ください。

3 microSDカードの金属端子面を手前にして、ゆっくりレールに沿ってまっすぐ差し込む

■ 取り外す場合

microSDカードをまっすぐにゆっくりと引き抜いて取り出します。

4 金属のカバーを閉じ、②の方向にスライドさせてロックする

カバーがうまく閉じない場合は、いったんカバーを持ち上げて、microSDカードが正しくレールにはまっているか、また奥まで差し込まれているかを確認してください。

5 リアカバーを取り付ける

microSDカードを取り付け後、電源を入れると、「SD」が表示されます。

おしらせ

◆カバーをスライドする際や持ち上げる際は、強い力をかけないようにご注意ください（カバーが破損したり手や指を傷つける恐れがあります）。

◆FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。

◆microSDカードを取り外したあとは、必ず付属の保護ケースに入れて保管してください。ほかの保護ケースで保管すると、microSDカードが使用できなくなる場合があります。

◆microSDカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。

◆microSDカードを取り付けたあと、最初に読み込みや書き込みをする場合は時間がかかることがあります。

◆対応していないmicroSDカードを使用したり、正しく取り付けられていない場合は、「SD」が表示されmicroSDカードが正しく認識されないことがあります。

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDカードにデータをコピーすると、**別表1**（P.362）のようなフォルダが作成され、データが対応するフォルダに保存されます。また、配下のフォルダ名およびファイル名も**別表1**のように自動的に付与されます。

- パソコンなどからmicroSDカードにデータを書き込む場合は、「IMPORT」フォルダにデータを保存するとmicroSDカード内の適切なフォルダに振り分けることができます。
  ファイル一括取り込みについて→P.370

おしらせ

◆SD_PIMフォルダに複数のデータをコピーした場合は、タイトル名に年月日時分（yyyy/mm/dd hh:mm）が自動的に付与されます。

◆パソコンなどで編集したファイルをmicroSDカードに保存するとき、**別表1**（P.362）のフォルダ名、ファイル名とは異なる文字を使用すると、本FOMA端末では正しく表示、再生できない場合があります。

◆microSDカードのフォルダをパソコンなどで削除したり、移動したりしないでください。
本FOMA端末でmicroSDカードが読めなくなる場合があります。

◆ほかの機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、ほかの機器で表示、再生できない場合があります。

◆microSDリーダー／ライターおよびPCカードアダプタについては、本FOMA端末で対応しているmicroSDカードとの動作を各メーカにご確認の上お買い求めください。

● microSDカードに保存できる件数について

microSDカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は以下のとおりです。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO ・PRL ・PRG	4,095件 －	4,095件 99件
SD_PIM	1件	65,500件
STILL	999件	9,999件

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
MMFILE	999件	9,999件
LCSCLIENT	999件	999件
DECOIMG	999件	9,999件
OTHER	999件	999件
RINGER	999件	9,999件
TORUCA	999件	999件
DOCUMENT※	999件	999件
DICT	1件	999件
MOVIE	999件	999件
DECO_A_T	999件	9,999件
IM_DATA	1件	999件
MUSIC	－	1,500件

※ PDFデータ用フォルダおよびドキュメント用フォルダそれぞれの最大件数です。

- microSDカード内のフォルダ・ファイルは約65,500件まで認識できます。
- フォルダを追加して、コピーする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
- microSDカードの空きデータ容量が不足していると、データをコピーしたり移動することはできません。
- microSDカード内の容量がいっぱいの場合、静止画や画像、動画やｉモーションのフォルダ追加やタイトル編集などはできません。
- 音楽データをFOMA端末からmicroSDカードにコピーすることはできません。
- コピー先／保存先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは、自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダに保存されます。また、機能によっては最新のフォルダに保存される場合もあります。

■［別表1］microSDカードのフォルダ構成と格納ファイル

●格納ファイルの説明のあとに（　）内で示したのは、ファイルの拡張子です。
●パソコンなどからフォルダ／ファイルを操作する場合は、表中に示した規則に従ってください。異なる文字を使用すると、FOMA端末で正しく扱われない場合があります。
※ 規則中の英小文字は、以下のような半角の英数字または全角の文字列になります。
- aaa：100～999の3桁の半角数字
- bbbb：0001～9999の4桁の半角数字
- ccc：001～FFFの3文字の半角英数字（16進数）
- ddd：001～999の3桁の半角数字
- eeeee：00001～65535の5桁の半角数字
- fffff ：全角文字を含む64バイト以下の文字列（「¥」、「/」、「:」、「*」、「?」、「"」、「<」、「>」、「｜」を除く）
- ggggg：00001～99999の5桁の半角数字

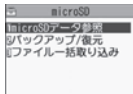
フォルダ構成	格納ファイル
DCIM	「マイピクチャ」の「ピクチャ」内の画像（JPG、GIF） フォルダ名：aaaNECDT　ファイル名：NEC_bbbb
MISC	DPOF印刷の設定ファイル
SD_VIDEO	●「ｉモーション・ムービー」の「SDビデオ」内の動画／ｉモーション（3GP、SDV、MP4、ASF） フォルダ名：PRLccc　ファイル名：MOLccc ●「ワンセグ」の「ビデオ」の「microSD」内のビデオ フォルダ名：PRGccc　ファイル名：PRGccc、MOVccc ※「MGR_INFO」はビデオの付加情報 ●「ディスクレコーダ連携機能」の動画 フォルダ名：PRGccc　ファイル名：CHP_MGR、PRGccc、MOVccc
SD_AUDIO	SD-Audioデータ
SD_PIM	PIMデータ（電話帳：VCF、メール：VMG、Bookmark：VBM、スケジュール（メモ含む）：VCS） ファイル名：PIMeeeee

フォルダ構成			格納ファイル
PRIVATE	DOCOMO	STILL	「マイピクチャ」の「イメージボックス」内の画像（JPG、GIF、SWF） フォルダ名：SUDddd　ファイル名：STILbbbb
		MMFILE	「ｉモーション・ムービー」の「HDムービー／その他」内の動画／ｉモーション（AAC形式の音楽データ含む）（3GP、SDV、MP4、ASF） フォルダ名：MUDddd　ファイル名：MMFbbbb
		LCSCLIENT	現在地通知先（LSC） フォルダ名：LSCddd　ファイル名：LSCDCddd
		DECOIMG	デコメ絵文字®（JPG、GIF） フォルダ名：DUDddd　ファイル名：DIMGbbbb
		OTHER	「SDその他ファイル」内の画像やファイル（BMPなど） フォルダ名：OUDddd　ファイル名：fffff
		RINGER	メロディ（SMF、MID、MLD） フォルダ名：RUDddd　ファイル名：RINGbbbb
		TORUCA	トルカ（TRC）　フォルダ名：TRCddd　ファイル名：TORUCddd
		DOCUMENT	PDFデータ（PDF、$DF（一部のみのデータ）、DDF（定義ファイル））、JPEG（プレビュー画像） フォルダ名：PUDddd　ファイル名：fffff
		DICT	単語登録情報（SVD）　ファイル名：DICTddd
		MOVIE	「ｉモーション・ムービー」の「SDムービー」内のムービー（WMV、ASF） フォルダ名：MVUDddd　ファイル名：fffff
		DECO_A_T	デコメアニメ®（VGT） フォルダ名：DTUDddd　ファイル名：DEATbbbb
		IM_DATA	文字入力学習データ（IPM）　ファイル名：IPMddd
		BACKUP	一括でバックアップしたデータ
		TABLE	各ファイルの付加情報
	DCMOPPL	DOCUMENT	ドキュメント（DOC、DOCX、XLS、XLSX、PPT、PPTX、TXT） フォルダ名：DOCddd　ファイル名：fffff
		TABLE	ドキュメントの付加情報
	ADOBE		フルブラウザでFlash画像からダウンロードした静止画、動画、メロディ、PDF、ドキュメントなど 「データのダウンロード」→P.208

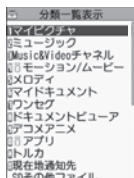
フォルダ構成			格納ファイル
PRIVATE	NEC	IMPORT	FOMA端末に一括取り込みを行う、静止画、動画、メロディ、PDF、ドキュメントなど 「一括取り込みが可能なファイルについて」→P.371
		DECOIMG	デコメ絵文字®のよみがな、並び順の管理ファイル（DAT） フォルダ名：KANA、SORT ファイル名：DECOddd、DECODIR
		STILL	デコメピクチャの読みがな管理ファイル（DAT） フォルダ名：KANA　ファイル名：STILddd
		MUSIC	ファイル一括取り込みやDLNAでダウンロードした音楽データ（WMA） フォルダ名：fffff　ファイル名：fffff
		GRP	「マイピクチャ」の「グループ」内の画像（JPG） ファイル名：GR_ggggg
		MDALK	microSDカード内のDLNA公開コンテンツリスト（dat） フォルダ名：PUBLIST　ファイル名：image_publist、movie_publist
		MDALKTMP	DLNAでダウンロードしたムービーの一時保存データ ファイル名：MP4DAT
SD_BIND			移動可能な画像、iモーション、メロディ、着うたフル®、iアプリ関連データ、Music&Videoチャネルの番組、画面メモ、マチキャラ、きせかえツール フォルダ名：SVCeeeee

microSDカードのデータ表示

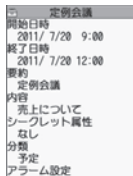
microSDカードに保存してあるデータを表示します。
<例：スケジュールを表示する場合>

1 MENU▶「便利ツール」▶「microSD」

microSD画面（サブメニュー→P.365）

2「microSDデータ参照」▶「スケジュール」▶ファイルを選択▶データを選択

■ microSD データ参照の一覧／詳細画面

microSDデータ参照画面

ファイル一覧画面

データ一覧画面

データ詳細画面

上段左画面：サブメニュー→P.365
上段右画面：サブメニュー→P.366
下段左画面：サブメニュー→P.366
下段右画面：サブメニュー→P.366

おしらせ

◆PIMデータ（スケジュール／メモ帳／Bookmark／文字入力学習データ／単語登録）のファイル一覧画面やデータ一覧画面、データ詳細画面表示中は、ほかの機能を起動することはできません。
◆文字入力学習データの場合、データ一覧画面、データ詳細画面は表示されません。

サブメニュー

❖microSD画面（P.365）

デスクトップ貼付…P.124

サブメニュー

❖microSDデータ参照画面（P.365）

microSD情報表示…P.371
本体へ全件追加コピー※1…項目データを本体に全件追加コピーします。
本体へ全件上書コピー※1…項目データを本体に全件上書きコピーします。
microSDへコピー※2…項目データをmicroSDカードにコピーします。
・「Bookmark」では「iモードブラウザ、フルブラウザ、すべて」の項目が選択できます。
microSDフォーマット…P.371
microSD チェックディスク…microSD カードをチェックし、microSD カードの不具合を修復します。

※1 電話帳、スケジュール、受信BOX、送信BOX、保存BOX、メモ帳、Bookmark、単語登録でのみ利用できます。
※2 電話帳、スケジュール、受信BOX、送信BOX、保存BOX、Bookmark、文字入力学習データ、単語登録でのみ利用できます。

おしらせ

<microSDチェックディスク>
◆microSDチェックディスク中に microSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因になります。
◆microSDカードによっては修復できない場合があります。
◆フォーマットされていないmicroSDカードや、未対応のmicroSDカードはmicroSD チェックディスクできません。
◆microSDチェックディスク中は「SD」が「⇕」に変わります。
◆microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
◆microSDカード内のデータ量によっては、microSDチェックディスクに時間がかかる場合があります。

サブメニュー

❖ファイル一覧画面（P.365）

●microSD データ参照画面でPIMデータ（電話帳／スケジュール／受信BOX／送信BOX／保存BOX／メモ帳／Bookmark／文字入力学習データ／単語登録）以外を選択した場合は、それぞれのコンテンツのサブメニューが表示されます。

タイトル編集…タイトルを編集します。

本体へ追加コピー※**、本体へ上書きコピー**…P.367

microSDへコピー…項目データをmicroSDカードに全コピーします。

・「Bookmark」では「ｉモードブラウザ、フルブラウザ、すべて」の項目が選択できます。

microSD情報表示…P.371

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※「文字入力学習データ」では表示されません。

サブメニュー

❖データ一覧画面（P.365）

❖データ詳細画面（P.365）

●microSDデータ参照画面でPIMデータ（スケジュール／メモ帳／Bookmark／単語登録）以外を選択した場合は、それぞれのコンテンツのサブメニューが表示されます。

本体へ1件追加コピー※…1件のデータを追加コピーします。
「PIMデータをFOMA端末にコピーする」→P.367

本体へ全件追加コピー※…ファイル一覧画面のサブメニュー「本体へ追加コピー」の「1件コピー」と同機能です。
「PIMデータをFOMA端末にコピーする」→P.367

本体へ全件上書コピー※…「ファイル一覧画面のサブメニュー「本体へ上書コピー」の「1件コピー」と同機能です。
「PIMデータをFOMA端末にコピーする」→P.367

microSD情報表示…P.371

プロパティ表示…電話帳一覧画面で電話帳情報を表示します。

※「本体へ全件追加コピー」「本体へ全件上書コピー」は、データ一覧画面でのみ利用できます。保存BOXでデータ詳細画面を開くと新規メール作成画面になります。

microSDカードとFOMA端末間のデータコピー

コピーできるデータ

■PIMデータ

●電話帳※1※2
●スケジュール※2
●受信※3／送信※3／保存メール
●メモ（メモ帳）
●Bookmark※3
●文字入力学習データ※4
かな漢字変換の学習履歴、ワード予測の学習履歴、T9入力方式の学習履歴
●単語登録

※1「メモリ番号」は、追加コピーの場合空き番号に登録されることがあります。コピーの種類によっては、「グループ番号」「グループ名」はコピーされない場合があります。「キャラ電」はコピーされません。
※2 コピーの種類によっては、シークレット属性（シークレットデータかどうか示すもの）はコピーされない場合があります。
※3 コピーの種類によっては、フォルダの情報はコピーされない場合があります。
※4 microSDデータ参照画面、ファイル一覧画面のサブメニューからしかmicroSDカードにコピーできません。

■データBOX内のデータ

「 」のアイコンが表示されているデータがコピー可能なデータです。

●静止画（マイピクチャ）
JPEG、GIF、SWF形式のデータ
●動画（ｉモーション）
MP4形式のデータ
●メロディ
MFi／SMF形式のメロディ
●PDFデータ（マイドキュメント）

■その他のデータ

●トルカ
●現在地通知先
現在地通知先名称、通知先ID、電話番号、発信時通知設定
●デコメアニメ®テンプレート

おしらせ

◆ワンセグで録画した静止画はコピーできません。
◆microSDカードへのアクセス中はコピーできません。

FOMA端末のデータをmicroSDカードにコピー

<例：電話帳をmicroSDカードへコピーする場合>

1 電話帳一覧画面（P.97）▶MENU［サブメニュー］▶「データコピー」▶「microSDへコピー」▶コピー方法を選択

- 受信メール、送信メール、Bookmarkの「全コピー」では、フォルダ内のデータのみが全コピーされます。すべてのデータをコピーする場合は、フォルダ一覧画面のサブメニューから「microSDへ全コピー」を選択します。

■ 詳細画面のサブメニューについて
詳細画面の「microSDへコピー」は、一覧画面の「1件コピー」と同機能です。

■ microSDデータ参照画面のサブメニューについて
microSDデータ参照画面のサブメニュー（P.365）の「microSDへコピー」は、電話帳、スケジュール、保存メール、単語登録の一覧画面の「全コピー」と同機能です。同じく受信メール、送信メール、Bookmarkのフォルダ一覧画面の「microSDへ全コピー」とも同機能です。

おしらせ

◆データをmicroSDカードへ全コピーした場合、シークレットで登録されているデータ（電話帳、スケジュール）もコピーされます。ただし、シークレットフォルダのデータはコピーされません。
◆お買い上げ時に登録されているデータはmicroSDカードへコピーできないものがあります。
◆保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されその中に保存されます。
◆シークレットデータ（電話帳、スケジュール）を1件コピーした場合、シークレットは解除されて保存されます。
◆プロフィールをmicroSDカードにコピーした場合は、電話帳データとして保存されます。
◆プロフィールの項目をすべてコピーしたい場合には「全データ表示」を行ってからコピーしてください。
◆静止画や動画をmicroSDカードへコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、microSDカードへのコピーは中断されます。

<スケジュールのコピー>
◆ｉスケジュールのデータを1件コピーした場合、通常のスケジュールのデータとしてコピーされます。
◆スケジュールを全件コピーした場合、ｉスケジュールのデータはコピーされません。

<メールのコピー>
◆ｉアプリの起動指定が貼り付けられているメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
◆メールをコピーしたとき、メールに添付されているファイルは種類によっては削除される場合があります。

<画像のコピー>
◆コピー後のファイル名は以下のようになります。
- ファイル名：NEC_mmmm（mmmm＝0001～9999）

◆以下の場合はmicroSDカードへコピーできません。
- コピーするとファイルサイズが7Mバイトを超えるとき

◆microSDカードへコピーすると、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

<動画のコピー>
◆コピー後のファイル名は以下のようになります。
- ファイル名：MOLxxx（xxx＝001～FFF：16進数）
- HDサイズの場合：MMFxxxx（xxxx＝0001～9999：10進数）

microSDカードのデータをFOMA端末にコピー

● PIMデータをFOMA端末にコピーする

microSDカードに保存している電話帳、スケジュール、メール、Bookmarkなどを、FOMA端末に追加コピー／上書きコピーします。

●「本体へ上書コピー」を行うと、コピー前にあったFOMA端末内の登録データは消去され、選択したmicroSDカード内のデータに入れ替わりますのでご注意ください。
上書きコピーを行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 ファイル一覧画面（P.365）▶MENU［サブメニュー］▶「本体へ追加コピー」または「本体へ上書コピー」▶コピー方法を選択

- 文字入力学習データの場合、「本体へ上書コピー」のみ可能です。また、「1件コピー、選択コピー、全コピー」の選択はできません。

■データ一覧画面／データ詳細画面のサブメニューについて
●データ一覧画面（P.365）の「本体へ全件追加コピー」「本体へ全件上書コピー」は、ファイル一覧画面の「本体へ追加コピー」／「本体へ上書コピー」の「1件コピー」と同機能です。
●データ一覧画面／データ詳細画面（P.365）の「本体へ1件追加コピー」は、選択した1件のデータを追加コピーします。

おしらせ

＜電話帳のコピー＞

◆「指定発信制限」を設定中は、電話帳のデータをコピーすることはできません。

◆電話帳の追加コピーで、microSDカードに登録されているグループ名がFOMA端末に登録されているグループ名と異なるときは、電話帳の「グループなし」に登録されます。

＜メールのコピー＞

◆送信BOXまたは受信BOXがいっぱいのとき、メールをデータ一覧画面／データ詳細画面から「本体へ1件追加コピー」を行うと、保護されていない最も古いメールまたは最も古い既読メールに上書きされます。

＜Bookmarkのコピー＞

◆Bookmarkを上書きコピーする場合、フルブラウザのBookmarkも対象となります（どちらか一方のデータのみ登録されている場合は、登録されているデータのみ上書きされます）。

＜文字入力学習データのコピー＞

◆文字入力学習データを上書きコピーする場合、本FOMA端末以外のデータはコピーされないことがあります。

● その他のデータをFOMA端末にコピーする

microSDカードに保存されている画像などのデータをFOMA端末のフォルダにコピーします。

●ワンセグで録画したビデオはコピーできません。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶MENU［サブメニュー］▶「本体へコピー」▶コピー方法を選択

おしらせ

＜画像のコピー＞

◆以下の画像はコピーできません。

- 500Kバイトを超えるSWF形式のFlash画像
- 7Mバイトを超えるJPEG形式の画像
- 横または縦の最大が4,640ドットを超えるか、総ドット数が4,640×3,480ドットを超えるJPEG形式の画像
- 横または縦の最大が854ドットを超えるか、総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
- 3Mバイトを超えるGIF形式の画像
- 横または縦の最大が2,592ドットを超えるか、総ドット数が2,592×1,944ドットを超えるGIF形式の画像

＜動画のコピー＞

◆以下の動画はコピーできません。

- MP4形式以外の動画のとき
- 再生できないMP4形式の動画のとき
- 50Mバイトを超える動画のとき
- ムービー

※ 上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。

＜PDFデータのコピー＞

◆2Mバイトを超えるPDFデータはコピーできません。

microSDカード内の別のフォルダにデータをコピー

●コピー先のフォルダは、あらかじめ作成しておく必要があります。→P.374

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶MENU［サブメニュー］▶「コピー」▶コピー方法を選択

・コピー方法を選択後、コピー先のフォルダを選択し、データを別のフォルダにコピーします。

おしらせ

◆コピーが終了するまではmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因になります。

著作権のあるデータのmicroSDカードとFOMA端末間での移動

著作権のある移動可能な画像やｉモーション、着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組、画面メモ、マチキャラ、きせかえツール、メロディ、ｉアプリを移動します。

●移動する際にデータは暗号化され、本体からは削除されます。

●microSDカードに移動したファイルは、移動したときと同じドコモUIMカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じドコモUIMカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

●移動できるコンテンツは以下のとおりです。

- 画像
- 着うたフル®
- Music&Videoチャネル
- ｉモーション
- メロディ
- きせかえツール
- マチキャラ
- 画面メモ
- ｉアプリ関連データ

FOMA端末からmicroSDカードに移動

●移動した画像、ｉモーション、着うたフル®、メロディ、Music&Videoチャネルの番組、画面メモ、マチキャラ、きせかえツールは、それぞれのフォルダで✉［microSD］を押すと表示されるmicroSDの移行可能コンテンツフォルダに保存されます。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶MENU［サブメニュー］▶「microSDへ移動」※1▶以下の項目から選択※2

1件移動、選択移動、全移動…データをFOMA本体からmicroSDカードへ移動します。

※1 Music&Videoチャネルでは「番組移動」、メロディでは「移動／コピー」▶「microSDへ移動」となります。

※2 楽曲一覧、画像一覧、動画一覧、マチキャラ一覧、きせかえツール一覧、メロディ一覧、画面メモ一覧のみとなります。

microSDカードからFOMA端末に移動

●移動した画像、ｉモーション、着うたフル®、メロディ、マチキャラ、きせかえツールは、それぞれのｉモードフォルダに保存されます。

●Music&Videoチャネルの番組は、保存番組へ保存されます。

●ワンセグで録画したビデオは移動できません。

1 各フォルダ一覧画面※1▶✉［microSD］※2▶「移行可能コンテンツ」※3▶microSD内のフォルダを選択

各データの一覧画面（画像一覧画面など）（P.206、266、270、326、340、351、352、354）が表示されます。

※1 画面メモのみ画面メモ一覧になります。

※2 楽曲のみ「ｉモード」フォルダ内で表示されます。

※3 画像、動画、メロディのみコピーと移動があるため、「移行可能コンテンツ」フォルダを選択します。

■ ｉアプリ関連データを移動する場合

「microSDカード内のｉアプリ表示」→P.298

2 MENU［サブメニュー］▶「本体へ移動」▶移動方法を選択

おしらせ

◆移動処理中はmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。

◆着うたフル®や画像、ｉモーションなどの移動可否は「ミュージック情報」（P.271）、「ピクチャ情報」（P.330）、「ｉモーション情報」（P.343）やアイコン（P.271）などで確認できます。

データの一括バックアップ

FOMA端末内のデータをmicroSDカードに一括でバックアップします。また、バックアップしたデータを一括で復元することもできます。機種変更などのFOMA端末お取り替え時にも、簡単にデータを移行できます。

●バックアップ／復元の対象は、電話帳、スケジュール（メモ含む）、メール、Bookmarkと、以下の設定項目です。なお、データの種類を選択してバックアップ／復元することはできません。

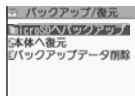
分類	設定項目
メール設定	自動振分け設定
	文字サイズ設定
	署名、署名の自動貼付設定
	メール選択受信設定
	受信時動作設定
	メッセージ自動表示設定
	添付ファイル優先受信設定
	添付ファイル自動再生設定
	エリアメールの受信設定、ブザー鳴動時間、マナー／公共モード時設定
	メール／メッセージ問合せ設定
各種設定	着信拒否設定
	指定着信許可・拒否
	伝言メモ設定
ユーザデータ	リダイヤル※1、発信／着信履歴※1
	送信／受信アドレス一覧
文字入力	単語登録
	学習履歴※2
便利ツール	アラーム

※1 Wi-Fiでの発着信データは、バックアップ／復元の対象外です。

※2 学習履歴のデータは一部復元できない場合があります。

データのバックアップ

- すでにmicroSDカード内にバックアップされたデータが存在する場合は、そのデータは上書きされますのでご注意ください。

1 microSD画面（P.365）▶「バックアップ／復元」

バックアップ／復元画面

2「microSDへバックアップ」

3 端末暗証番号を入力▶「YES」

バックアップを開始します。

■ **バックアップを中止する場合**
▶「Cancel」

おしらせ

◆バックアップの対象となるデータが設定項目のみの場合はバックアップはできません。
◆バックアップの途中に受信したメールは、バックアップされない場合があります。
◆microSDカードの空きデータ容量が不足している場合はバックアップはできません。不要なデータを削除するか、空きデータ容量が十分あるmicroSDカードを取り付けてください。
◆バックアップを途中で中止した場合は、復元できません。再度バックアップを行ってください。

FOMA端末への復元

- 復元前のFOMA端末内の登録データは消去され、microSDカード内のバックアップデータに入れ替わりますのでご注意ください。
  復元を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 microSD画面（P.365）▶「バックアップ／復元」▶「本体へ復元」

2 端末暗証番号を入力▶「YES」

復元を開始します。

■ **復元を中止する場合**
▶「Cancel」

3 [十字キー]で復元した設定の確認▶[■][OK]

確認画面の最後のページを表示すると[■]［OK］を押すことができます。

おしらせ

◆microSDカード内のバックアップデータに、存在しないデータの種類がある場合は、FOMA端末内のその種類のデータは消去されます（たとえば、バックアップデータに電話帳データが存在しない場合、復元するとFOMA端末内の電話帳データは消去されます）※。ただし、設定項目のバックアップデータが存在しない場合は、復元前の設定が保持されます。
※ 本FOMA端末以外でバックアップを行ったデータを復元した場合は、復元前の状態が保持されることがあります。
◆復元が完了すると復元結果画面が表示され、復元された項目を確認できます。復元に失敗した項目には「※」が表示されます。
◆復元の対象となるバックアップデータがmicroSDカードに存在しない場合は復元できません。
◆FOMA端末の空きデータ容量が不足している場合は、一部のデータが復元されないことがあります。
◆復元を途中で中止した場合は、バックアップしたデータが完全に復元されません。再度復元を行ってください。
◆本FOMA端末以外で復元した場合、すべての設定項目を復元できない場合があります。
◆発信履歴は、同じ電話番号に繰り返し発信した履歴のうち最新の1件のみが復元されるため、バックアップ前と件数が異なる場合があります。

バックアップデータの削除

microSDカード内にバックアップされたデータを削除します。

1 microSD画面（P.365）▶「バックアップ／復元」▶「バックアップデータ削除」

2 端末暗証番号を入力▶「YES」

削除を開始します。

パソコンなどからのデータの取り込み

パソコンなどからmicroSDカードの「IMPORT」フォルダに直接書き込んだデータを、自動的にFOMA端末で利用可能なファイル名に変更し、microSD内の適切なフォルダに振り分けます。

- FOMA端末がmicroSDで利用できるファイルのみ対象となります。
  一括取り込みが可能なファイルについて→P.371
- DRMコンテンツやバックアップデータは「ファイル一括取り込み」の対象となりません。

1 パソコンなどからmicroSDカードの「IMPORT」フォルダにデータを保存する

2 MENU▶「便利ツール」▶「microSD」▶「ファイル一括取り込み」▶「YES」▶結果を確認して📷「完了」

おしらせ

◆「IMPORT」フォルダ内のデータは、FOMA端末では操作（コピーや削除など）できません。
◆一括取り込みを行うと、「IMPORT」フォルダ内のデータはそれぞれmicroSD内の適切なフォルダに移動されて「IMPORT」フォルダ内には残りませんが、移動できなかったファイルは「IMPORT」フォルダに残ります。
◆PDF データなど全角文字を含む文字列のファイル名が重複した場合、ファイル名の末尾に00001～99999の５桁の数字が自動的に付加されます。
◆移動が完了するまではmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。

● 一括取り込みが可能なファイルについて

ファイルの種類	拡張子
静止画	JPG、GIF、SWF、JPEG※1
動画	ASF、3GP、SDV、MP4、WAX、ASX、WMV、WMX
音楽データ	WMA
メロディ	MLD、SMF、MID、MIDI※2
トルカ	TRC
デコメアニメ®テンプレート	VGT
PDF	PDF
ドキュメント	DOC、XLS、PPT、PPTX、DOCX、XLSX、TXT
文字入力学習データ	IPM
単語登録	SVD
現在地通知	LSC
電話帳	VCF
カレンダー	VCS
受信メール	VMG
保存メール	
送信メール	
フリーメモ	VNT※3
Bookmark	VBM

※1 取り込み後は拡張子が「JPG」に変わります。DCF規格ファイルは「DCIM」フォルダ配下に、それ以外は「PRIVATE／DOCOMO／STILL」フォルダに移動されます。
※2 取り込み後は拡張子が「MID」に変わります。
※3 N-05Cで作成したメモにはスケジュールも含まれ、VCSとなります。

microSDカードの管理

microSDカードをフォーマットしてFOMA端末で使用できるようにしたり、データの使用状況を確認することができます。

microSDカードのフォーマット

※ フォーマットは必ずN-05Cで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。

●はじめてmicroSDカードを使用するときは、フォーマットをしてください。
●microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 microSDデータ参照画面（P.365）▶MENU［サブメニュー］▶「microSDフォーマット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

◆フォーマット中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因になります。
◆フォーマットを中止したmicroSDカードに対し保存されるデータの保証はいたしかねます。

microSDカードの使用状況確認

microSDカードの空きデータ容量および保存容量（目安）を表示します。

●表示されるメモリ容量は、ご使用のmicroSDカードに記載されている容量より少なくなります。
●microSDカードに保存できる件数について
→P.360

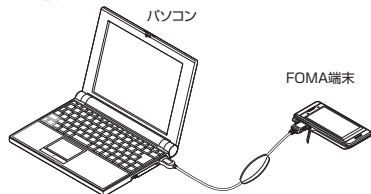
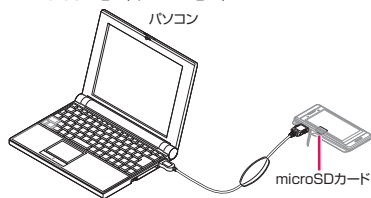
1 microSDデータ参照画面（P.365）▶MENU［サブメニュー］▶「microSD情報表示」

USBモード設定

パソコンなどとFOMA端末を接続してさまざまな機能を利用するためにUSBモードを設定します。

- USBモードには、「通信モード」「microSDモード」「MTPモード」があります。

<通信モード>

<microSDモード／MTPモード>

1 MENU▶「本体設定」▶「外部接続」▶「USBモード」▶以下の項目から選択

通信モード…外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、ケーブル接続によるデータ転送用に使います。

- 「 」…FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02が接続され、パソコンとの間でデータ通信やデータ転送を行う準備ができている場合

microSDモード…外部接続端子をmicroSDカードのリーダー／ライターとして使います。

- 「 」…FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を接続していない場合
- 「 」…FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02 が接続されている場合（FOMA端末とmicroSDカード間のコピー、メモリ内のデータ表示、フォーマットなどはできません）

MTPモード…外部接続端子をWMAデータ転送用に使います。

- 「 」…FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を接続していない場合
- 「 」…FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02が接続されている場合

おしらせ

◆電池パックを取り外すと、通信モードになります。

microSDリーダー／ライター

microSDカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

- FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして利用するためには、以下の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows XP、Windows Vista、Windows 7（各日本語版）

1 MENU▶「本体設定」▶「外部接続」▶「USBモード」▶「microSDモード」

「microSDモード」に設定すると、「 」が表示されます。

2 FOMA端末とパソコンを、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 02で接続する

「 」が表示されます。

パソコンのマイコンピュータに、microSDカードがストレージメモリ（データを保存する外部記憶領域）として表示されます。

パソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外すときは、各OSの安全に取り外す方法を用いてください。

おしらせ

◆通信モード動作中は「USBモード」の変更はできません。

お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末へデータをコピー中の通信ランプが点滅している状態では、FOMA充電機能付USB接続ケーブル02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDカードに保存されている画像の印刷方法の設定

microSDカードに保存されている画像をDPOF(Digital Print Order Format)設定します。

- DPOFとは、デジタルカメラで撮影した静止画を印刷するときの指定方式です。
- FOMA端末で撮影した静止画をmicroSDカードに保存し、印刷したい静止画とその枚数などを指定しておくと、DPOFに対応したプリンタやプリントサービスのお店で、指定した情報に沿って印刷できます。

1 フォルダ一覧画面(P.326)▶[メール][microSD]▶「ピクチャ」▶フォルダを選択

2 設定する画像に囲み枠を移動▶[MENU][サブメニュー]▶「DPOF設定」▶「1件DPOF設定」▶「プリント指定」

■ 複数の画像にDPOF設定をする場合
▶[MENU][サブメニュー]▶「DPOF設定」▶「選択DPOF設定」▶「プリント指定」▶複数の画像を選択▶[カメラ][完了]

■ 1件の画像のDPOF設定を解除する場合
▶解除する画像を選択▶[MENU][サブメニュー]▶「DPOF設定」▶「プリント指定解除」

■ 複数の画像のDPOF設定を解除する場合
▶[MENU][サブメニュー]▶「DPOF設定」▶「選択DPOF設定」▶「プリント指定解除」▶複数の画像を選択▶[カメラ][完了]

■ すべての画像のDPOF設定を解除する場合
▶[MENU][サブメニュー]▶「DPOF設定」▶「プリント指定全解除」

3 プリント枚数(01～99)を入力

おしらせ

◆DPOF設定できる画像は999件までです。ただし、プリンタによっては設定した件数まで印刷できないことがあります。
◆以下の画像にはDPOF設定はできません。
- 7Mバイトを超える画像
- 横または縦の最大が4,640ドットを超えるか、総ドット数が4,640×3,480ドットを超える画像
- 横または縦の最大が854ドットを超えるか、総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像

◆microSDカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
◆設定されている印刷枚数は「ピクチャ情報」で確認できます。

フォルダとデータの操作

データBOXの各フォルダ一覧画面やmicroSDフォルダ一覧画面にフォルダを追加して、それぞれのデータを整理することができます。

■移行可能コンテンツフォルダについて
- マイピクチャ、iモーション・ムービー、ミュージック、マチキャラ、きせかえツール、メロディの場合、microSDフォルダ一覧画面のサブメニュー(P.374)と同様のサブメニューを利用できます。
- Music&Videoチャネルの場合、Music&Videoチャネル画面／番組一覧画面のサブメニュー(P.267)の「再生モード変更」と「保存容量確認」を利用できます。
- 移行可能コンテンツフォルダに保存できるフォルダ・ファイルの最大件数は約65,500件です。ただし、マイピクチャの場合は、フォルダ最大件数が900件、1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数が9,999件となります。

フォルダの作成／編集／削除

- フォルダ一覧画面によっては、サブメニューが表示されない場合があります。

サブメニュー

❖各データのフォルダ一覧画面

フォルダ追加…フォルダ名を入力してフォルダを追加します。
フォルダ名編集…追加したフォルダのフォルダ名を編集します。
フォルダ並び替え※1…フォルダの順番を並び替えます。
フォルダ削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。データが保存されているフォルダも削除できます。
フォルダセキュリティ※2…フォルダのセキュリティを設定／解除します。セキュリティを設定したフォルダは、端末暗証番号を入力して操作します。
赤外線全件送信※3…P.379
フォルダ内全削除※4…反転しているフォルダ内のデータをすべて削除します。
再生モード変更※5…番組をチャプター順に1回再生するか、繰り返し再生するかを設定します。
プログラム編集※6…「メロディを好きな順に再生する」→P.354
プログラム解除※6…プログラムを解除します。
保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。

※1 マイピクチャのデコメ絵文字カテゴリ別フォルダでのみ利用できます。
※2 マイピクチャのｉモード、カメラ、自動お預かり、ユーザ作成フォルダ、ｉモーション・ムービーのｉモード、カメラ、ボイスレコーダー、ユーザ作成フォルダでのみ利用できます。
※3 マイピクチャ、ｉモーション・ムービー、メロディ、マイドキュメントでのみ利用できます。
※4 マイピクチャのｉモード、カメラ、自動お預かり、デコメピクチャ、デコメ絵文字、フレーム／スタンプ、ユーザ作成フォルダでのみ利用できます。
※5 Music＆Videoチャネルでのみ利用できます。
※6 メロディのプログラムフォルダ反転時のみ利用できます。

おしらせ

＜フォルダ削除＞

◆画面や自作アニメなどに設定されている画像や動画を「フォルダ削除」で削除しようとしたときや、着信音、アラーム、プログラムなどに設定されているメロディや動画、楽曲を「フォルダ削除」で削除すると、設定されていた画面などは以下のようになります。
- 設定されていた画面、着信音、アラームはお買い上げ時の設定に戻ります。
- 自作アニメ、プログラムは解除されます。
- プログラムに設定されたメロディは解除されます。

サブメニュー

❖microSDフォルダ一覧画面

フォルダ名編集…フォルダ名を編集します。
フォルダ追加…タイトルを入力してフォルダを追加します。
フォルダ並び替え※1…フォルダの順番を並び替えます。
フォルダ削除…フォルダを削除します。
保存先フォルダ選択※2…保存先のフォルダを選択します。
保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。

※1 デコメ絵文字®の保存先フォルダでのみ利用できます。
※2 デコメ絵文字®の保存先フォルダでは表示されません。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

撮影した静止画や動画、ダウンロードした各種データなどを保存しようとしたときに、不要なデータを削除して保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存するときには不要なデータを削除します。

1 確認メッセージで、「YES」

■ 保存しない場合
▶「NO」

2 削除するデータの種類を選択▶削除するデータを選択

データの種類によっては、データの保存領域を共有していないため、保存するフォルダを選択したあとにどのデータを削除するかを選択します。

3 [カメラ]［完了］▶「YES」

データを登録するためのメモリ容量が確保できるまで[カメラ]［完了］は表示されません。

■ 保存するフォルダを選択する画面が表示された場合
▶保存するフォルダを選択

ドコモUIMカードで電話帳やSMSを管理

FOMA端末とドコモUIMカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末やドコモUIMカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。

- データのコピー中、削除中は、音声電話やテレビ電話、メールの送受信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。
- ドコモ UIM カードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
  コピーできる項目や登録件数について→P.94

メインメニューから電話帳やSMSをコピーまたは削除

<例：電話帳やSMSをコピーする場合>

1 **MENU▶「電話機能」▶「電話帳」▶「UIM（FOMA）カード操作」▶端末暗証番号を入力**

端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができなくなり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、UIM（FOMA）カード操作を終了します。

2 **「コピー」**

■ 削除する場合
▶「削除」

3 **「本体→UIM（FOMA）カード」または「UIM（FOMA）カード→本体」**

■ 削除する場合
▶「本体」または「UIM（FOMA）カード」

4 **以下の項目から選択**

電話帳…電話帳を検索し、一覧画面を表示します。電話帳の検索のしかた→P.97

SMS…「受信BOX」または「送信BOX」からSMSのデータを選択します。

5 **⊕で□（チェックボックス）を選択▶📷［完了］▶「YES」**

- MENU［サブメニュー］から選択や解除ができます。

■ 電話帳やSMSの内容を確認する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「詳細表示」

電話帳詳細画面から電話帳のコピー

1 **電話帳詳細画面（P.97）▶MENU［サブメニュー］▶「データコピー」▶「UIM（FOMA）カードコピー」または「本体へコピー」▶「YES」**

電話帳の保存先（本体またはドコモUIMカード）によって、MENU［サブメニュー］を押したときに表示されるメニューは異なります。

メール画面からSMSの移動またはコピー

- メール画面での「FOMAカード操作」は、受信メール一覧画面・詳細画面、送信メール一覧画面・詳細画面の各画面のサブメニューで行えます。

<例：本体の受信SMSをドコモUIMカードに移動またはコピーする場合>

1 **受信メール一覧画面（P.171）▶SMSを反転**

2 **MENU［サブメニュー］▶「データ交換／管理」▶「FOMAカード操作」▶「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」▶「YES」**

■ ドコモUIMカード内の受信SMSを移動またはコピーする場合
▶「FOMAカードから移動」または「FOMAカードからコピー」

「受信BOX」フォルダ内の「メール」フォルダへ移動またはコピーされます。

おしらせ

<電話帳>

◆FOMA端末からドコモUIMカードへ電話帳をコピーすると名前とフリガナに含まれる「カタカナ」は全角に変換されます。名前は全角10文字、半角21文字までがコピーされ、フリガナは全角12文字、半角25文字までコピーされますが、残りの文字はコピーされません。

◆FOMA端末とドコモUIMカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末に登録された2番目以降の電話番号／メールアドレスはドコモUIMカードへコピーできません。

◆FOMA端末とドコモUIMカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。

◆シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーはできません。

◆FOMA端末とドコモUIMカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。同じグループ名がない場合は、「グループなし」に登録されます。

＜SMS＞

◆送信したSMSをコピーした場合は、SMS送達通知もコピーされます。SMS送達通知のみのコピーはできません。
ただし、受信したSMS送達通知はコピーできません。

◆ドコモUIMカードへ移動またはコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをドコモUIMカードへ移動またはコピーした場合、ドコモUIMカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。

◆2in1のBナンバー宛てのSMSを移動またはコピーした場合は、Aナンバー宛てのSMSとして保存されます。

赤外線通信／ｉC通信の利用

赤外線通信機能／ｉC通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

- 高速赤外線通信方式であるIrSimple™規格に対応しています。
- データの転送方法には、1件ずつ転送する方法と全件をまとめて転送する方法があります。
- FOMA端末の赤外線通信／ｉC通信によるデータ転送機能はIrMC™1.1規格に準拠しています。ただし、相手機器やアプリケーションの種類によっては、IrMC™1.1規格に準拠していても転送できないデータがあります。
- 転送できるデータは別表2(P.378)のとおりです。

データ転送するときのご注意

- ダイヤルロック設定中、セルフモード設定中、おまかせロック設定中、自動キーロック中は、データ転送できません。また、ICカードロック設定中はｉC通信を行えません。
- 指定発信制限設定中は、電話帳データを受信できません。ただし、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、プロフィールの個人データを送信できます。
- 相手側の機器の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやBookmarkのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコメール®の内容などが正常に登録できない場合があります。
- データ転送中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、パケット通信、64Kデータ通信、Wi-Fi通信などはできません。また、データ転送終了後、しばらく圏外の状態が続くことがあります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
- 通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。

送受信されるデータ

- FOMA端末で受信したデータは、**別表2**（P.378）のように保存されます。
- メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。
- 次のデータは、送受信できません。
  - ドコモUIMカードの電話帳、SMS
  - フレーム、スタンプのデータ（受信のみ可能）
  - ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたメロディ、静止画、動画、ｉモーション、PDFデータ、デコメアニメ®
  - シークレットフォルダのデータ
- 次のデータは、受信できません。
  - JPEG、GIF、SWF形式以外の静止画や画像
  - MP4、3GP形式以外の動画
  - 本FOMA端末で扱うことのできないサイズや容量の静止画、動画、ｉモーション、メロディ、PDFデータ
- 全件受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メール、電話帳やスケジュールのシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやシークレットフォルダ内のシークレットデータは消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
- ｉモーションを赤外線通信で全件送信／受信すると、保存されているフォルダが送信元と受信先で変わることがあります。
- データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。
- 静止画、動画、ｉモーション、PDFデータのタイトルは全角9文字、半角18文字、メロディのタイトルは全角25文字、半角50文字まで送受信できます。タイトルが最大文字数を超えた場合、超えた分の文字が削除されます。
- 電話帳のデータを転送するときは、次のことに注意してください。
  - 電話帳のシークレットコードは転送できません。
  - シークレットデータとして登録された電話帳を1件送信すると、シークレットが解除されて転送されます。

- 受信した電話帳に登録されていた静止画は「マイピクチャ」のｉモードフォルダに登録されます。ただし「マイピクチャ」の保存可能容量を超えた場合は、静止画は保存されず電話帳のみ登録されます。

●スケジュールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- ｉスケジュールのデータを1件送信すると、通常のスケジュールのデータとして送信されます。
- 全送信では、ｉスケジュールのデータは送信されません。

●メールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- 受信側の機種によっては、メールの題名の一部を受信できない場合があります。
- 全件受信は既存の全メールおよび全ユーザフォルダを削除してから受信します。
- 受信メールの1件受信で受信BOXフォルダの空き容量が不足しているときは、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メールは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。
- 送信メールの1件受信で送信BOXフォルダの空き容量がないときは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
- データの取得が完了していない添付ファイルが存在する場合は、その添付ファイルは削除されて送信されます。
- ｉアプリの起動指定、メール連動型ｉアプリの貼付情報が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、ケーブル接続で受信したデータ、microSDカードからコピーしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
- メール連動型ｉアプリ専用フォルダは転送できません。転送先には同名のユーザ作成フォルダとして登録されます。
- 受信メール一覧画面や送信メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は転送できません。
- 赤外線通信の場合、2Mバイトを超えるメールは正しく送信できないことがあります。

●定型文を受信したときに、自作の定型文がフォルダ3～5すべてに登録済みで、フォルダ1～2の固定定型文がお買い上げ時の状態のままのときは、フォルダ1～2に受信した定型文が上書きされます。

■［別表2］転送できるデータと受信データの保存場所

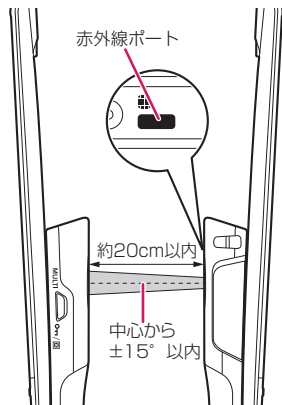
データ	1件受信	全件受信
静止画（画像）、メロディ	iモードフォルダの1番目に登録	送信元の静止画（画像）、メロディに置き換え（静止画（画像）全送信時にデコメ絵文字®も送信され、デコメ絵文字®も置き換え）
デコメ絵文字®	カテゴリ別に登録（カテゴリの指定がない場合は「お気に入り」に登録）	
動画（iモーション）、PDFデータ	iモードフォルダの1番目に登録	送信元の動画（iモーション）、PDFデータに置き換え
トルカ、トルカ（詳細）	トルカフォルダの1番目に登録	送信元のトルカに置き換え
電話帳、プロフィール	電話帳の「010」～「999」の空きメモリ番号の中で最小の番号に登録（すべて登録されているときは、「000」～「009」の空きメモリ番号の中で最小の番号に登録）	送信元の電話帳に置き換え（プロフィールのデータも送信され、プロフィールのデータ（電話番号を除く）も置き換え）
スケジュール	スケジュールの開始日時に従って登録	送信元のスケジュールに置き換え
受信メール、送信メール	受信BOX／送信BOXフォルダにメールの日付順に登録	送信元の受信BOX、送信BOXに置き換え
保存メール	保存BOXにメールの日付順に登録	送信元の保存BOXに置き換え
メモ	メモの1番目に登録	送信元のメモに置き換え
定型文	＜未登録＞の1番目に登録	送信元の定型文に置き換え
単語登録	単語登録の1番目に登録	送信元の単語登録に置き換え
Bookmark（iモードブラウザ、フルブラウザ）	Bookmarkフォルダの1番目に登録	送信元のBookmarkに置き換え
現在地通知先	現在地通知先リストの最後尾に登録	送信元の現在地通知先リストに置き換え
デコメアニメ®	デコメアニメの1番目に登録	送信元のデコメアニメ®に置き換え

認証パスワード

- 「全送信／全件受信」では、送信側と受信側の機器を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

赤外線通信によるデータ転送

赤外線通信でデータ転送するときは

- 赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
- 赤外線の通信距離は約20cm以内でご利用ください。また、通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。

赤外線通信のデータ送信

送信したいデータの一覧画面または詳細画面のサブメニューから送信します。

- 送信するデータがJPEG形式の画像の場合、高速赤外線通信（IrSS™送信）を選択できます。

<例：電話帳のデータを1件送信する場合>

1 電話帳詳細画面（P.97）▶MENU［サブメニュー］▶「データ送信」▶「赤外線送信」

■ データをまとめて送信する場合

▶「赤外線全送信」▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワード」→P.379

■ IrSS™送信について

JPEG形式の画像の場合、画像一覧画面（P.327）のサブメニュー「IrSS」から高速赤外線通信（IrSS™送信）ができます。

2 相手側の機器を受信状態にする

3 赤外線ポートを相手側の機器の赤外線ポートに向ける▶「YES」

データの送信がはじまります。

送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信中に中止する場合

▶📷［中止］

おしらせ

◆「IrSS」を選択したときは、相手側の機器が正常に受け取れない場合でも、送信側では正常に終了します。

赤外線通信のデータ受信

- 全受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メール、電話帳やスケジュールのシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやシークレットフォルダ内のシークレットデータは消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
- データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

<例：電話帳のデータを1件受信する場合>

1 MENU▶「便利ツール」▶「赤外線受信」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合

▶MENU［サブメニュー］▶「デスクトップ貼付」▶「YES」

2 「受信」▶赤外線ポートを相手側の機器の赤外線ポートに向ける

■ データをまとめて受信する場合

▶「全件受信」▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」▶上書き確認画面が表示されたら「YES」

「認証パスワード」→P.379

3 相手側の機器からデータを受信

データの受信がはじまります。
受信が完了したら「YES」を押してデータを登録します。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。
データをまとめて受信した場合は、受信したデータがFOMA端末に登録されます。

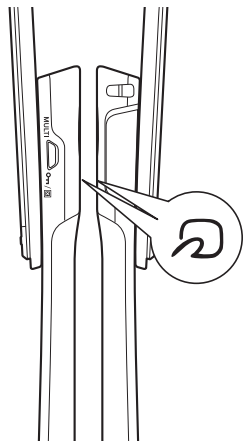
■ 受信中に中止する場合
▶📷［中止］

おしらせ

◆2in1のモードがデュアルモードの場合は、電話帳のデータを1件受信すると登録するモードを選択することができます。電話帳を全件受信したときは、送信元の設定のまま登録されます。

iC通信によるデータ転送

iC通信でデータ転送するときは

- 送信側FOMA端末の マークを受信側FOMA端末の マークに重ね合わせます。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、 マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- 相手のFOMA端末によっては、 マークを近づけた際に、ディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。その場合は、上下左右に少しずらすなどしてください。

iC通信のデータ送信

送信したいデータの一覧画面または詳細画面のサブメニューから送信します。
<例：電話帳のデータを1件送信する場合>

1 電話帳詳細画面（P.97）▶MENU［サブメニュー］▶「データ送信」▶「iC送信」※1

■ データをまとめて送信する場合
▶「iC全送信」※2▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力
「認証パスワード」→P.379

2 相手のFOMA端末と マークを重ね合わせる▶「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信中に中止する場合
▶📷［中止］

※1 Bookmarkでは「iC送信」▶「送信」、メロディでは「赤外線／iC送信」▶「iC送信」、メールでは「データ交換／管理」▶「iC送信」となります。
※2 Bookmarkでは「iC送信」▶「全送信」、メールでは「データ交換／管理」▶「iC全送信」となります。

iC通信のデータ受信

1 相手のFOMA端末と マークを重ね合わせる▶相手のFOMA端末からデータ送信の操作を行う

データの受信がはじまります。
受信が完了したら「YES」を押してデータを登録します。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ データをまとめて受信する場合
▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶上書き確認画面が表示されたら「YES」
データの受信がはじまります。
受信したデータがFOMA端末に登録されます。
「認証パスワード」→P.379

■ 受信中に中止する場合
▶📷［中止］

おしらせ

◆2in1のモードがデュアルモードの場合は、電話帳のデータを1件受信すると登録するモードを選択す

ることができます。電話帳を全件受信したときは、送信元の設定のまま登録されます。

Bluetooth接続によるデータ転送

Bluetooth通信機能を搭載したほかのBluetooth機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

- 転送できるデータは、電話帳、スケジュール、メモ、メール、Bookmark、プロフィールです。これらのデータの送受信時の注意や送受信されるデータについて→P.376

Bluetooth接続のデータ送信

送信したいデータの一覧画面または詳細画面でサブメニューから送信します。
<例：電話帳のデータを1件送信する場合>

1 電話帳詳細画面（P.97）▶MENU［サブメニュー］▶「データ送信」▶「Bluetooth送信」

■ データをまとめて送信する場合
▶電話帳一覧画面（P.97）▶MENU［サブメニュー］▶「データ送信」▶「Bluetooth送信」▶「全件送信」

2 相手側の機器を受信状態にする

3 登録機器リスト画面（P.422）▶Bluetooth機器を選択

Bluetooth機器の登録や接続について→P.421

■ データをまとめて送信する場合
▶端末暗証番号を入力
「全件転送パスワード設定」（P.424）を「パスワードあり」に設定している場合は、端末暗証番号を入力後、全件転送用の認証パスワードを入力します。

4 「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信中に中止する場合
▶📷［中止］

Bluetooth接続のデータ受信

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Bluetooth」▶「Bluetooth受信」▶「受信」

■ データをまとめて受信する場合
▶MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Bluetooth」▶「Bluetooth受信」▶「全件受信」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

- 「全件転送パスワード設定」（P.424）を「パスワードあり」に設定している場合は、端末暗証番号を入力後、全件転送用の認証パスワードを入力します。

2 相手のBluetooth機器からデータ送信▶「YES」

■ データをまとめて受信する場合
「全件転送パスワード設定」（P.424）を「パスワードなし」に設定しているとき、相手から認証パスワードの入力を求められた場合は、「YES」を選択後に全件転送用の認証パスワードを入力します。

3 「YES」▶「NO」

受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ 続けてデータを受信する場合
▶「YES」▶「YES」

■ 受信中に中止する場合
▶📷［中止］

おしらせ

◆2in1のモードがデュアルモードの場合は、電話帳のデータを1件受信すると登録するモードを選択することができます。電話帳を全件受信したときは、送信元の設定のまま登録されます。

ケーブル接続によるデータ転送

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続すると、電話帳や画像などの各種データのデータ転送が行えます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を使ってデータ転送（OBEX™通信）を行うときには、ドコモケータイdatalink（P.471）、およびドコモのホームページ上の「FOMA通信設定ファイル」をインストールする必要があります。
- ドコモケータイdatalinkのインストール方法などの詳細については、同ソフトのダウンロードページ

をご覧ください。なお、データの転送方法の詳細については、同ソフトのヘルプをご覧ください。
- 「FOMA通信設定ファイル」のインストール方法、およびパソコンの動作環境については、「パソコン接続」、およびドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。
- データ転送の前に、「USBモード」を「通信モード」に設定しておく必要があります。

お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データを転送できないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データ転送ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末への全送信の途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全送信の前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

電話帳画像転送

赤外線通信機能/ｉC通信機能/Bluetooth通信機能、microSDカードへのコピー、データ転送(OBEX™通信)機能で電話帳のデータを送信するとき、電話帳に登録されている静止画を転送しないように設定します。

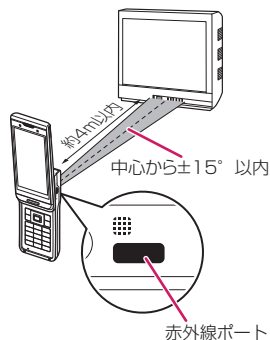
1 MENU▶「電話機能」▶「電話帳」▶「電話帳画像転送」▶「しない」

■ 転送する場合
▶「する」

赤外線リモコン機能

- リモコン機能を利用する場合は、ご使用になる機器に対応したソフトをダウンロードしてください(リモコンのボタン操作はソフトにより異なります)。
- お買い上げ時には「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。→P.288
- 機器によってはリモコン操作ができない場合があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコン機能を利用できません。

リモコン操作

- FOMA端末の赤外線ポートを、テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください。操作できる範囲は正面で約4mですが、周囲の明るさによって変わります。

PDFデータの表示

データBOXの「マイドキュメント」フォルダにプリインストールされている「海外ご利用ガイド」のほかに、サイトからダウンロードして保存したPDFデータを、PDFビューアで表示できます。また、microSDカードに保存されているPDFデータを表示することもできます。
- サイトからのダウンロードについて→P.209

1 MENU▶「データBOX」▶「マイドキュメント」▶フォルダを選択

■ マイドキュメントの一覧画面

フォルダ一覧画面　PDFデータ一覧画面

左画面：サブメニュー→P.374
右画面：サブメニュー→P.383

■ microSDカードのデータを表示する場合
▶✉［microSD］

■ 部分的に取得したPDFデータを追加で取得する場合
- 「ページ単位で取得したPDFデータ（、）を取得する場合」→P.210
- 「一部のデータしか取得できなかった PDF データ（、）を取得する場合」→P.210

2 PDFデータを選択

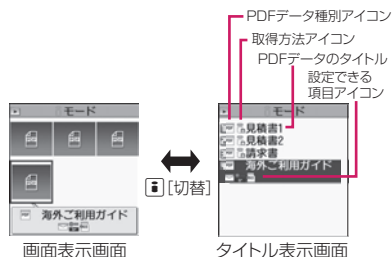
PDFデータ画面（サブメニュー→P.386）

■ パスワード入力画面が表示された場合
PDFデータに設定されているパスワードを入力してください。

おしらせ

◆PDF データによっては、表示に時間がかかることがあります。
◆PDFビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。
◆ページ単位で部分的に取得したPDFデータを表示中に、まだ取得していないページを表示しようとすると、データの取得（ダウンロード）が行われます。残りページを一括でダウンロードすることもできます。→P.209
◆microSDカード内のPDFデータを表示中は、「」が「」に変わります。

PDFデータ一覧の見かた

画面表示画面　タイトル表示画面

■PDFデータ種別アイコン

アイコン	説明
	すべてのページが取得されているPDFデータ 2M バイトを超える PDF データはFOMA端末本体に保存することはできません。
	ページ単位で部分的に取得したPDFデータ（データ転送不可）
	一部のデータしか取得できなかった不完全なPDFデータ（データ転送不可）

：ファイル制限が設定されているPDFデータ（データ転送や、microSDカードへのコピー不可）

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されているPDFデータ
	サイトなどからダウンロードしたPDFデータ
	赤外線通信やｉC通信、microSDカード、パソコンなどから取得したPDFデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	メール添付可能なPDFデータ（2Mバイト以下）
	赤外線送信とｉC送信が可能なPDFデータ
	microSDカードにコピー可能なPDFデータ

サブメニュー

❖PDFデータ一覧画面（P.382）

❖ドキュメント一覧画面（P.384）

●選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、サブメニューに表示される項目が異なります。

タイトル編集…タイトルを編集します。
ドキュメント情報※1…PDFデータ／ドキュメントのファイル情報を表示します。
ｉモードメール添付…PDFデータ／ドキュメントを添付したｉモードメールを作成します。
赤外線送信※2※3…P.379
ｉC送信※2※3…P.380
microSDへコピー※2※3…P.367

フォルダ移動…「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、PDFデータ／ドキュメントをほかのフォルダに移動します。
デスクトップ貼付※2※3…P.124
保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。
ソート※2※3…指定した条件に従ってPDFデータを並び替えます。登録日付順／タイトル順／ファイルサイズ順／ファイル取得元順でソート（並べ替え）します。
削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。
本体へコピー※2※4…P.368
コピー※4…「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピー」→P.368

※1 ドキュメント一覧画面では「ファイル情報」と表示されます。
※2 PDFデータ一覧画面でのみ利用できます。
※3 microSDカードの一覧画面では利用できません。
※4 FOMA端末の一覧画面では利用できません。

おしらせ

<ソート>
◆「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
① サイトからダウンロードしたPDFデータ
② 赤外線通信やｉC通信、microSDカードから取得したPDFデータ

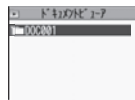
ドキュメントの表示

メールに添付されていたり、microSDカードに保存されているドキュメントをドキュメントビューアで表示します。

■表示できるドキュメントの種類

ドキュメントの種類	拡張子
Excel（Excel 97～Excel 2007）	xls、xlsx
Word（Word 97～Word 2007）	doc、docx
PowerPoint（PowerPoint 97～PowerPoint 2007）	ppt、pptx
TEXT	txt

1 MENU▶「データBOX」▶「ドキュメントビューア」▶フォルダを選択▶ドキュメントを選択

■ ドキュメントビューアの一覧／詳細画面

microSDフォルダ一覧画面(ドキュメント)

ドキュメント一覧画面

ドキュメント画面

上段左画面：サブメニュー→P.374
上段右画面：サブメニュー→P.383
下段左画面：サブメニュー→P.386

おしらせ

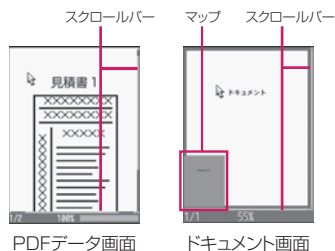
◆ドキュメントによっては、表示に時間がかかることがあります。
◆ドキュメントビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。

ドキュメント一覧の見かた

■ ドキュメント種別アイコン

アイコン	説明
doc xls ppt txt	表示可能なドキュメントの種類

PDFデータ画面／ドキュメント画面

PDFデータ画面／ドキュメント画面には、画面の表示位置を確認するためのスクロールバーが表示されます。
また、ドキュメント画面ではマップ（ページ全体の縮小イメージ）が表示され、ページのどの部分が画面に表示されているのかを確認できます。

PDFデータ画面　　ドキュメント画面

画面の操作

表示倍率の変更など画面の表示変更は、サブメニューだけでなく、各種機能が割り当てられたダイヤルボタンを使って行います。

● スクロールのしかた

[十字キー]を押すとその方向にポインタが移動します。ポインタが画面端近くまでくると、それにあわせて画面がスクロールします。

● PDFデータ画面／ドキュメント画面の便利なボタン

ボタン	説明
1	縮小表示
2	ページ全体を表示
3	拡大表示
4	前のページを表示
5※1	ページを右90°回転
6	次のページを表示
8※1	ページの横幅を画面の横幅にあわせて表示
0※1	ダイヤルボタンに割り当てられた操作説明を表示（終了するにはCLR）
#※1※2	スクロール方向を2方向、4方向に切り替え

※1 PDFデータ画面ではご利用になれません。
※2 WordおよびTEXTデータのときのみ利用できます。また文字列の検索中はご利用になれません。

● 文字列を検索する

1 PDFデータ画面（P.383）、ドキュメント画面（P.384）▶MENU［サブメニュー］▶「検索」▶文字列入力欄を選択▶検索する文字列を入力

一部記号など検索できない場合があります。

2 条件の□（チェックボックス）を選択

「完全一致」はスペースを含めて、完全に一致するものを検索します。「大文字小文字区別」は大文字と小文字を区別して検索します。

■ Excelを検索する場合
「行方向に検索」を選択すると行方向（横方向）に検索します。「行方向に検索」を選択しないと列方向（縦方向）に検索します。

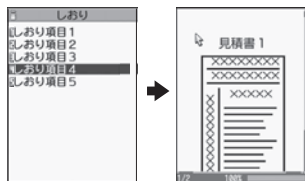
3 [カメラ]［検索］

検索した文字列が見つかった場合、文字列を含むページが表示されます。
[メール]を押すとページの先頭に向かって同じ条件で検索できます。
[i]を押すとページの後ろに向かって同じ条件で検索できます。

● しおりを使ってPDFデータを表示する

● PDFデータにあらかじめしおりが設定されている場合は、以下の操作で、しおりが設定されている箇所（ページ）に移動できます。

1 PDFデータ画面（P.383）▶MENU［サブメニュー］▶「しおり」▶「しおり表示」▶「しおり」▶表示したいしおりを選択

選択したしおりが設定されている箇所（ページ）が表示されます。
表示しているPDFデータにしおりが1つも設定されていない場合は、しおりがないことを通知するメッセージが表示されます。

さらに下にしおりのある項目で[カメラ]［次へ］を押すと、その下のしおりが表示されます。

●「iモードしおり」を使ってPDFデータを表示する

● iモードしおりは、見たいページ・位置へすばやくジャンプできるように、お客様の好きな位置にしおりを設定する機能です（1つのPDFデータにつき最大10件設定できます）。

1 PDFデータ画面（P.383）▶MENU［サブメニュー］▶「しおり」▶「し

おり表示」▶「iモードしおり」▶表示したいiモードしおりを選択
選択したiモードしおりを設定したときの表示状態（倍率など）で、その箇所（ページ）が表示されます。

■ iモードしおりを追加する場合
PDFデータ画面（P.383）▶MENU［サブメニュー］▶「しおり」▶「iモードしおり追加」▶iモードしおりのタイトルを入力▶「OK」
現在の表示状態（表示しているページ、倍率など）がiモードしおりとして登録されます。

■ iモードしおりのタイトルを変更する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「タイトル編集」▶タイトルを入力▶「OK」

■ iモードしおりを削除する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「1件削除、選択削除、全削除」から選択

サブメニュー

❖PDFデータ画面（P.383）
❖ドキュメント画面（P.384）

●サイトやメールなどから閲覧した場合や、microSDカード内のデータを閲覧した場合など、利用できる機能が異なるため、サブメニューに表示される項目が異なります。

表示…以下の項目を設定します。
- **ズームイン、ズームアウト**…決まった倍率で縮小／拡大表示します。
- **倍率指定**…倍率を指定して表示します。
- **全画面表示**※1…ページ番号や倍率、スクロール、タブを非表示にし、画面全体で表示します。再度表示するにはCLRを押してください。
- **全体表示**…表示中のページ全体が画面に収まる倍率で表示します。
- **実際の大きさ**…ドキュメント作成時の倍率（通常は100%）で表示します。
- **幅にあわせる**…ページの横幅を画面の横幅にあわせて表示します。
- **表示を回転**…ページを回転する方向を「右90゜回転、左90゜回転、180゜回転」から選択します。
- **ページレイアウト**※1…ページの表示スタイルを「単一ページ、見開きページ、連続ページ」から選択します。
- **リンク表示**※1…URL、電話番号、メールアドレスを選択するとリンク先にアクセスや電話発信およびiモードメール作成ができます。
  - PDFデータ内にあるリンクを表示させた場合は画面のスクロールができません。CLRを押すと、通常のPDFデータ画面に戻ります。
- **表示情報設定**※1…表示倍率とページ番号、およびスクロールバーを表示するかどうかを設定します。
- **残り全てを取得**※1…「部分的に取得したPDFデータを追加で取得する」→P.209

ページ移動…表示するページを「前のページ、次のページ、指定のページ、最初のページ、最後のページ、」から選択します。「指定のページ」を選択したときは、表示するページ番号を入力します。
Excelの場合は、「シート移動」となります。

検索…「文字列を検索する」→P.385

保存…表示中のPDFデータ、ドキュメントを保存します。

画面切り出し※1…「ページを切り出す」→P.387

しおり※1…PDFデータのしおりを操作します。
- **しおり表示**…しおり、iモードしおりを表示します。
  - 「しおりを使ってPDFデータを表示する」→P.385
  - 「「iモードしおり」を使ってPDFデータを表示する」→P.385
- **iモードしおり追加**…iモードしおりを追加します。

マーク※1…PDFデータのマークを操作します。
- **マーク表示**…PDFデータのマーク一覧を表示します。マークを選択すると、マークされているページに移動します。
  一覧でマークを反転▶MENU［サブメニュー］▶「削除」で、マークを削除することができます。
- **マークの追加**…PDFデータの指定した位置にマークを追加します。追加した位置には、マークが表示されます。マークは最大10件設定できます。

プロパティ表示※1…PDFデータのプロパティ（タイトル、作成者、作成・更新日時など）を表示します。プロパティ表示を終了するにはCLRを押します。

ファイル情報表示…PDFデータ、ドキュメントのファイル名、種別、ファイルサイズ、保存日時、ファイル制限有無などを表示します。

コピー※1…表示中のページの文字をコピーします。→P.436

スライドショー※3…スライドショーモードでPowerPointファイルを表示します。

操作ガイド…ボタンに割り当てられた操作説明を表示します。ヘルプ表示を終了するにはCLRを押します。

表示設定※2…以下の項目を設定します。

- **ステータスバー設定**…表示倍率、ページ番号、スクロールモードを表示するかどうか設定します。
- **スクロールバー設定**…スクロールバーを表示するかどうか設定します。
- **マップ設定**…マップを表示するかどうか設定します。
- **スクロール設定**※4…スクロールを上下方向のみ（2Way）にするか、上下左右（4Way）にするかを設定します。

タブ操作※1…P.196

メール作成…PDFデータ、ドキュメントを添付したｉモードメールを作成します。

※1 PDFデータ画面でのみ利用できます。
※2 ドキュメント画面でのみ利用できます。
※3 PowerPointデータのときのみ利用できます。
※4 WordおよびTEXTデータのときのみ利用できます。

● ページを切り出す

PDFデータ画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存します。

1 切り出したいページを表示▶MENU［サブメニュー］▶「画面切り出し」▶「YES」▶保存するフォルダを選択

切り出したページが保存されます。

おしらせ

◆FOMA端末外への出力が禁止されているPDFデータから切り出した画像は、メール送信やmicroSDカードへのコピーなど、FOMA端末の外部に出力することはできません。
◆コピーが禁止されているPDFデータの場合は、画面の切り出しができない場合があります。

便利な機能

歩数計 390
マルチアクセス 393
マルチタスク 394
ライフヒストリービューア 394
スライドアクション設定 396
自動電源ON／OFF 396
ショートカット機能 396
メインメニューを並び替え 397
アラーム機能の利用 397
スケジュールの管理 398
アラーム通知の設定 402
セキュリティフォルダ 405
プロフィール登録 405
通話中音声メモ／音声メモ録音 407
自動音声メモ 408
アラーム音や応答保留音の録音／再生 408
ボイスレコーダー 409
通話時間／通話料金表示 411
通話料金通知 412
電卓 413
メモの利用 413
電子辞書の利用 415
スイッチ付イヤホンマイク 418
Bluetooth機能 419
フェムトセル設定 425

歩数計

日常歩行を計測する「WALK」と、エクササイズ目的の走行を計測する「RUN」の2つの計測機能があります。

●「WALK」では以下の項目を計測できます。
- 歩数
- きっちり歩数※
- 歩行距離
- 歩行時間
- 消費カロリー
- 脂肪燃焼量

※ 毎分90歩以上のペースで約10分以上歩行したときの歩数です。

●「RUN」では以下の項目を計測できます。
- 走行距離
- 走行時間
- ラップタイム
- 平均速度
- RUN歩数
- 消費カロリー
- 脂肪燃焼量

■目標値達成通知機能

●WALK目標設定、RUN目標設定、ラップタイム設定を設定すると、目標値や設定距離に達したことを画面表示やバイブレータなどでお知らせします。

●歩数計利用時には体調を考慮し、無理な目標設定などは行わないでください。

■測定について

●一定のペースで歩行、走行していただくとより正確に歩数を計測できます。

●Enjoy Exerciseは、あらゆる方向の動きを検知し、精度の高い歩数測定を行いますが、歩きかたやバイブレータの動作（振動時には計測停止）などにより、誤差が生じる場合があります。また、歩行距離（走行距離）、消費カロリー、脂肪燃焼量は、入力した歩幅、体重をもとに計算しています。測定値はあくまでも目安としてご活用ください。

●歩き始めや歩くペースを変えた場合、歩行を始めたかどうかを判断しているため（誤カウント防止）、表示が変わりません。目安として5秒程度（10歩以上）歩くとそこまでの歩数が一度に表示されます。

●計測をストップしてもデータはリセットされません。再度スタートした場合、それまでのデータに加算されます。

■正確な測定を行うために

●「時計設定」を行っていない場合、本機能は利用できません。

●ecoモード中は本機能は利用できません。測定中にecoモードにした場合、測定を中止します。

●電源が入っていないときやソフトウェア更新中は計測を行いません。

●バイブレータ動作中は測定を中止します。

●カウントした歩数は約10分ごとに保存されます。FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数が消失してしまう場合があります。

●キャリングケースL 01（別売）、キャリングケース02（別売）に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。また、走行、歩行時はからだに密着するようにご使用ください。

●かばんやポーチ、各種ホルダーなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中などに入れてください。

●以下の場合は、歩数を正確にカウントしないことがあります。

[FOMA端末が不規則に動くとき]
- FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
- FOMA端末を腰やかばんからぶら下げたとき

[不規則な歩行や極端な歩行をしたとき]
- すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
- 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
- 極端にゆっくり歩いたとき

[上下運動や振動の多い所で使用したとき]
- 立ったり、座ったりしたとき
- 歩行やランニング以外のスポーツを行ったとき
- 階段や急斜面の昇り降りを行ったとき
- 乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車中の上下振動または横揺れのとき

●表示可能なデータの最大値は以下のとおりです。

[WALK]
- 歩数：999,999歩
- きっちり歩数：999,999歩
- 歩行距離：999,999m
- 歩行時間：999時間59分59秒
- 消費カロリー：9,999kcal
- 脂肪燃焼量：9,999g

[RUN]
- 走行距離：99,999m
- 走行時間：24時間00分00秒00
- ラップタイム：279分56秒15
- 平均速度：99.99km／h
- RUN歩数：999,999歩
- 消費カロリー：9,999kcal
- 脂肪燃焼量：9,999g

※ モードなどにより単位が異なる場合があります。

歩数計利用時のご注意

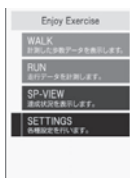
●歩数計の操作を行う場合は、安全な場所に立ち止まってください。操作中に事故を起こした場合であっても、当社は一切の責任を負いません。

●走行、歩行以外の目的では使用しないでください。また、走行、歩行時でも周囲の安全を確認してご使用ください。
●FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、歩数計のデータが消失してしまう場合があります。万が一、歩数計のデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

「WALK」で計測

●計測を開始すると、ディスプレイに🚶が表示されます。Enjoy Exerciseの各画面を閉じたあとでも「歩数計／活動量計」をOFFにするまでは計測が継続されます。
●「WALK」の目標値達成通知（画面表示、バイブレータ）は、WALK画面表示中にのみ行われます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Enjoy Exercise」

■ はじめて計測するとき
お買い上げ後、はじめてEnjoy Exerciseを利用する場合、歩数計／活動量計／利用者設定の確認画面が表示されます。内容を確認して■[OK]を押し、必要な項目を設定してください。
「基本情報の設定」→P.392

Enjoy Exercise画面（サブメニュー→P.392）

2「SETTINGS」▶「歩数計／活動量計」▶「ON」

■ 終了する場合
▶「OFF」

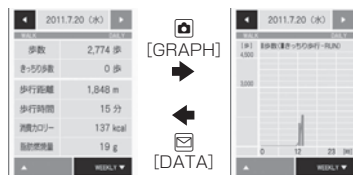
おしらせ
◆「WALK」では省電力モード中に目標値を達成しても通知（省電力モードを解除しての画面表示、バイブレータ）は行われません。
◆WALK画面起動中は、「自動キーロック」を「ON」に設定中にFOMA端末を閉じても、自動キーロックがかかりません。

● 歩数計データを確認する

●「WALK」の歩数計データには、「RUN」での計測データが含まれて表示されます。また、表示される歩数は、きっちり歩数とRUN歩数を含めた歩数が表示されます。
●表示データは累計値です。

1 Enjoy Exercise画面（P.391）▶「WALK」

WALK画面（詳細）

📷[GRAPH] ➡
⬅ ✉[DATA]

WALK画面（グラフ）

✉[一覧] ⬇　⬆ ■[選択]

WALK画面（一覧）

上段左画面：サブメニュー→P.392
上段右画面：サブメニュー→P.392
下段画面：サブメニュー→P.392

■ 詳細表示画面、グラフ表示画面のボタン操作
[上下]：1日表示／週間表示／月間表示
[左右]：前日／翌日、前週／翌週、前月／翌月
📷：（グラフ表示画面のみ）歩数→歩行距離→消費カロリー

■ 一覧表示画面のボタン操作
[上下]：前日／翌日
[左右]：前月／翌月
📷：歩数・きっちり歩数→歩行距離・歩行時間→消費カロリー・脂肪燃焼量

■ 歩数計利用中にミュージックプレーヤーを起動する
▶ i [🎧]
音楽データの再生→P.274
SP-VIEW画面やRUN画面でも利用できます。

■ 目標設定時の表示内容
「WALK目標」「RUN目標」を設定している場合、目標を達成した項目に「★」が表示されます。

■ 測定データの保存期間
- 測定データは以下の期間保存されます。
  時間別歩数データ：31日（本日分含めて32日）
  日別歩数データ：365日（本日分含めて366日）
- 保存期間が過ぎた場合、古いデータから削除されます。
- 日時を変更すると設定した日時より未来のデータと保存期間より前のデータは削除されます。

● SP-VIEWで目標達成状況を表示する

1 **Enjoy Exercise画面（P.391）▶「SP-VIEW」**

「歩行距離」と「消費カロリー」の表示の切り替え

SP-VIEW画面

サブメニュー

❖Enjoy Exercise画面（P.391）

全データリセット…すべての表示データをゼロに戻します。端末暗証番号の入力が必要です。
デスクトップ貼付…P.124

サブメニュー

❖WALK画面（P.391）

歩数計／活動量計、WALK目標設定…P.393
本日データリセット…WALK画面の本日の表示データをゼロに戻します。

「RUN」で計測

●「RUN」の目標値達成通知、ラップタイム通知は、ほかの機能を使用していても行われます。ただし音声電話・テレビ電話の着信中、通話中は通知されません。

1 **Enjoy Exercise画面（P.391）▶「RUN」**

RUN画面（サブメニュー→P.392）

2 **[START]▶走る▶ [STOP]**

■ 終了する場合
▶ [END]▶「YES」

おしらせ

◆RUN画面起動中は、「自動キーロック」を「ON」に設定中にFOMA端末を閉じても、自動キーロックがかかりません。

サブメニュー

❖RUN画面（P.392）

表示カウンターリセット…RUN画面の表示データをゼロに戻します。
RUN目標設定…P.393
ラップタイム設定…測定する距離を設定し、ラップタイムを計測します。
▶「ON」▶ で距離を設定し [確定]
ラップタイムを設定しない場合は「OFF」を選択します。

基本情報の設定

計測を開始／終了する「歩数計／活動量計」のほか、データ計測の精度を向上させるため、身長、体重、歩幅などの利用者設定を行います。
●「歩数計／活動量計」のON状態は、電源を切っても維持されます。ただし測定は行われません。

1 Enjoy Exercise画面（P.391）▶「SETTINGS」▶以下の項目を設定

歩数計／活動量計…歩数計計測（WALK）を開始（ON）または終了（OFF）します。

身長／体重…端末暗証番号入力後、「身長、体重」を入力します。

WALK歩幅、RUN歩幅…歩くとき（WALK）の歩幅や、走るとき（RUN）の歩幅を入力します。

■ キャリブレーション機能を利用する

あらかじめ距離がわかっている区間を実際に歩いたり走ったりして、歩幅を設定します。

- 「歩数計／活動量計」が「ON」のときに利用できます。

▶「WALK歩幅入力画面」または「RUN歩幅入力画面」▶MENU［サブメニュー］▶「キャリブレーション」▶測定距離を入力▶📷［START］▶ 歩くまたは走る▶📷［STOP］（キャンセルする場合はi［CANCEL］）▶「YES」

- 測定中にバイブレータが振動すると、測定が中断されます。「YES」を選択し、📷［START］を押すと、再度測定できます。

WALK目標設定、RUN目標設定…「WALK」の目標値（歩数、歩行距離、消費カロリー）や、「RUN」の目標値（走行時間、走行距離、消費カロリー）を設定します。

マルチアクセス

マルチアクセスとは、複数の回線を同時に使用できる機能です。

●マルチアクセスの組み合わせについて→P.542

●以下の3回線を同時に使用できます。

音声電話	1回線
ｉモード、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

おしらせ

◆マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。

通信中に着信があったとき

● 音声通話中のｉモードメール受信

音声通話中にｉモードメールを受信すると、音声通話中画面のままｉモードメールを受信します。受信したｉモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1 ▷▶「送受信」を選択

ｉモードメールの受信結果画面に切り替わります。

タスクの切り替えについてはP.394を参照してください。

2 ｉモードメールを確認

ｉモードメールの見かたについてはP.171を参照してください。

3 ▷▶「音声通信」を選択

音声通話中画面に切り替わります。

● ｉモード中／パケット通信中の音声電話着信

ｉモードの接続中やメールの送受信中、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、ｉモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

<例：ｉモード中に音声電話を着信した場合>

1

音声通話中画面に切り替わり、通話ができます。

■ 音声電話に出ないでｉモード画面に戻る場合

▶▷▶「閲覧」を選択

相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

2 通話が終了したら

通話が終了し、ｉモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままｉモード画面に戻る場合

▶▷▶「閲覧」を選択

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。
- マルチアクセス中に画面を切り替えるには、TASK MENU画面から表示したい機能を選択します。→P.394

● iモード中の音声電話発信

iモードの接続中やメールの送受信中に、iモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1 iモード中▶▷（1秒以上）

待受画面が表示されます。

2 音声電話をかける

音声電話のかけかた→P.70

3 通話が終了したら[—]

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままiモード画面に戻る場合

▶▷▶「閲覧」を選択

マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。
- マルチタスク中はTASK MENU画面（P.394）に使用中のタスク名が表示されます。複数のタスクを起動している場合、タスクを選択して操作するタスクを切り替えます。
- 音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、通話中の電話の通話料金は発生します。

タスク（機能）の呼び出しかた

現在使用している機能を終了しないで、新しいタスク（機能）を起動します。

1 タスクを起動中▶▷

TASK MENU画面（P.394）が表示されます。

2 [MENU]［MENU］▶新たに起動するタスクを選択

起動中の機能が1つの場合は「 」、複数の場合は「 」が表示されます。

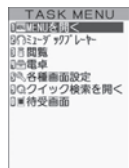
おしらせ

◆機能によっては、ほかのグループの機能として起動するものがあります。

◆以下の場合はメールの閲覧などをしながらメールを作成できるようになるため、タスクが1つ追加されます。
- メールメニューからの新規メール作成
- メールメニューからのSMS作成
- メールメニューからのデコメアニメ®作成
- デコメール®テンプレートを利用してデコメール®作成
- デコメアニメ®テンプレートを利用してデコメアニメ®作成
- 受信メールの返信／引用返信／転送
- 送信メールの再編集
- 保存メールの再編集

タスクの切り替えかた

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えたり、すべてのタスクを同時に終了することができます。

1 複数のタスクを起動中▶▷

TASK MENU画面

■ タスクを切り替える場合

▶切り替えるタスクを選択

■ メインメニューを表示する場合

▶[MENU]［MENU］

■ メールメニューを表示する場合

▶[✉]［MAIL］

■ 待受画面を表示する場合

▶[i]［待受画面］

※ タスク起動中に▷（1秒以上）を押すごとにTASK MENU画面を表示しないで起動中の機能を切り替えられます。

■ 起動中のいずれかのタスクを終了する場合

▶終了するタスクを反転▶[—]▶「YES」

■ すべてのタスクを終了する場合

▶[📷]［END］▶「YES」

ライフヒストリービューア

過去に自分が保存した画像やメールの送受信履歴などを、日付や時間に沿って参照することができます。
- 参照できるデータの種類は以下のとおりです。

• JPEG形式の静止画や画像
• 動画、ｉモーション
• スケジュール
• メールの送受信履歴

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「ライフヒストリービューア」

「ライフヒストリービューア画面の見かた」→P.395

ライフヒストリービューア画面（サブメニュー→P.395）

■ 時間軸を縮小／拡大する場合
▶✉［縮小］／ｉ［拡大］

2 ✥で画像やアイコンを選択

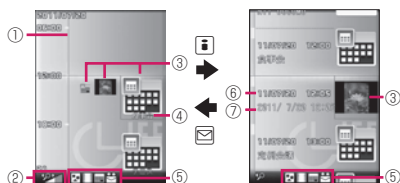
動画、ｉモーションを選択した場合はライフヒストリービューア拡大画面で再生されます。

ライフヒストリービューア拡大画面（サブメニュー→P.395）

■ 動画／ｉモーションの音量調節をする場合
▶✥

3 📷［開く］

データの種類に対応した機能が起動し、データが表示されます。

ライフヒストリービューア画面の見かた

※ ｉ［拡大］／✉［縮小］を押すたびに拡大／縮小します。

① 時間軸
② 時間軸状態表示
　時間の間隔にあわせ、～～～
③ アイコン
　静止画、画像：画像のサムネイル
　動画、ｉモーション：動画のアイコン
　スケジュール：スケジュールのアイコン
　送受信メールの履歴：送受信メールの履歴のアイコン
④ データの情報
　静止画、画像、動画、ｉモーション：表示なし
　スケジュール：スケジュールの件名
　送受信メールの履歴:受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先
⑤ 表示対象のデータの種類
　: 静止画、画像
　: 動画、ｉモーション
　: スケジュール
　／／: 受信／送信／送受信メールの履歴
⑥ 日時
　静止画、画像、動画、ｉモーション：撮影日時／更新日時／保存日時
　スケジュール：開始日時
　送受信メールの履歴：送受信日時
⑦ タイトル
　静止画、画像、動画、ｉモーション：タイトル
　スケジュール：スケジュールの件名
　送受信メールの履歴:受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

サブメニュー

❖ライフヒストリービューア画面（P.395）

❖ライフヒストリービューア拡大画面（P.395）

拡大表示※…ライフヒストリービューア拡大画面を表示します。
開く…データの種類に対応した機能を起動し、データを表示します。

表示設定…ライフヒストリービューアで表示するかどうかを、データの種類ごとに設定します。
データの種類を選択時にサブメニューから「全選択、全解除、既定値に戻す」を選択することもできます。
デスクトップ貼付※…P.124
時間軸拡大、時間軸縮小※…表示される時間軸の範囲を拡大、縮小します。
再読み込み…表示情報を最新の状態に更新します。
※ ライフヒストリービューア拡大画面では利用できません。

スライドアクション設定

着信中／不在着信時／新着メール時に、FOMA端末を開いたときの動作を設定します。

■着信応答を「ON」にすると
着信があったときにFOMA端末を開くと、ボタンを押さなくても通話状態になり、すぐ電話に出られます。→P.82

■新着メール閲覧／不在着信履歴閲覧を「ON」に設定すると
新着メールや不在着信があるときにFOMA端末を開くと、メール内容や電話の相手をすぐに確認できます。
- 新着のメール／メッセージがあるときは、待受画面で「 01／ メッセージ」を選択したときと同様、メール詳細画面／メッセージ詳細画面が表示されます。→P.164、184
- 不在着信があるときは、待受画面で「 01」を選択したときと同様、着信履歴一覧画面が表示されます。→P.87

1 MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「スライド設定」▶「スライドアクション設定」

2 [上下]で□（チェックボックス）を選択▶[カメラ]［完了］

おしらせ
<着信応答>
◆テレビ電話は代替画像で着信応答を行います。
<新着メール閲覧／不在着信履歴閲覧>
◆他の機能が起動している場合は、動作しません。
<スライドアクション設定の優先順位>
◆すべて「ON」に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
① 着信応答
② 新着メール閲覧（①メール、②メッセージR／F）
③ 不在着信履歴閲覧

自動電源ON／OFF

決められた時刻に自動的に電源が入るように、または切れるように設定します。
- 自動電源OFFで設定した時刻になっても、ほかの機能を利用中は電源は切れません。また、アラームなどの通知やｉアプリの自動起動と自動電源OFFの設定時刻を同じ時刻に設定している場合も、電源は切れません。機能終了後に電源が切れます。
- FOMA端末の電源が切れていると、Music&Videoチャネルの番組取得や、ソフトウェアの予約更新、ワンセグの予約録画などは動作しませんのでご注意ください。

<例：自動で電源を入れる場合>

1 MENU▶「本体設定」▶「時計」▶「自動電源ON」

■ 自動で電源を切る場合
▶「自動電源OFF」

2 「ON」▶時刻を入力▶「繰り返しなし」または「毎日繰り返し」を選択

■ 自動電源ON／OFFを解除する場合
▶「OFF」

おしらせ
◆高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

ショートカット機能

待受画面表示中に[カメラ]を押して呼び出す機能を変更します。
- 割り当てできる機能は、静止画撮影、動画撮影、ボイスレコーダー、スケジュール、ミュージックプレーヤー、ワンセグ、Bluetooth、電卓、赤外線受信、バーコードリーダー、アラーム、電子辞書、サイト表示、ｉアプリ、クイック検索、メディアスビューア、地図、Enjoy Exercise、使いかたガイド、Music&Videoチャネル、DLNAです。

1 MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「ボタンカスタマイズ設定」▶「カメラボタン設定」

■ お買い上げ時の設定に戻す場合
ボタン設定画面で MENU ［サブメニュー］を押し、「カメラボタン初期化」を選択します。

2 割り当てる機能を選択▶「YES」

メインメニューを並び替え

ユーザカスタマイズに対応しているメニューを、自分で並び替えます。中項目のメニューを配置することもできます。
●お買い上げ時に登録されているメニューで並び替えできるものはありません。
<第一階層のメニューを並び替える場合>

1 並び替え可能なメニューを表示中▶新たに配置する位置を反転▶ MENU ［サブメニュー］▶「入替え機能」▶メニューを選択

2「並び替える」▶「OK」

■ 第二階層以下のメニューを選択する場合
「項目から選択」を選び、並び替えたいメニューを選択し、「並び替える」を選択します。

おしらせ
◆ MENU ［サブメニュー］を押して「基本構造メニュー呼出」を選択すると、「スタンダード」を一時的に表示します（設定はされません）。

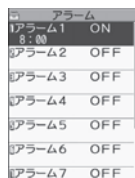
● 画面／音設定、メニュー画面、メニューの操作履歴をリセットする

1 メインメニュー▶ MENU ［サブメニュー］▶「リセット機能」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

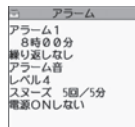
画面／音設定初期化※1…一括設定できる項目（P.126）をお買い上げ時の状態に戻します。
メニュー画面リセット※2…メニューをお買い上げ時の状態に戻します。
※ 文字サイズはリセットされません。
メニュー操作履歴リセット…メニューの操作履歴をリセットします。
※1 設定した項目のうち、一部お買い上げ時の状態に戻らない項目があります。
※2 待受画面で 9 を1秒以上押した場合にも「メニュー画面リセット」を行います。

アラーム機能の利用

指定した時刻にアラームをならします。
●アラームは10件まで登録できます。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「アラーム」

アラーム一覧画面（サブメニュー→P.398）

■ 前回の設定内容のままON、OFFを切り替える場合
▶設定項目を反転▶ i ［ON／OFF］
i を押すたびに「ON、OFF」が切り替わります。

■ 前回の設定内容を確認する場合
▶設定項目を選択

アラーム詳細画面（サブメニュー→P.398）

2 アラームを選択▶ 📷 ［編集］

3 以下の項目から選択

タイトル編集…タイトルを編集します。
時刻入力…アラームを鳴らす時刻を入力します。
繰り返し…アラームの繰り返しを「設定なし、毎日（D）、曜日指定（W）」から選択します。
アラーム音選択…アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、iモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。
アラーム音量…[十字キー]でアラーム音量を設定します。
イルミネーション選択…着信イルミネーションの点滅色を設定します。
パターン設定…着信イルミネーションの点滅パターンを設定します。
スヌーズ通知…スヌーズ（繰り返し）で通知するかしないかを設定します。

・**スヌーズ通知する**…鳴動回数（01～10回）と鳴動間隔（01～10分）を入力します。アラーム音（約1分間）が設定した鳴動間隔で、設定した鳴動回数分繰り返し鳴ります。
・**スヌーズ通知しない**…鳴動時間（01～10分）を入力します。アラーム音が設定した時間で鳴り続けます。

自動電源ON…アラーム時刻に自動で電源を入れるか入れないかを設定します。

4 [完了]

おしらせ

◆PIN1コード入力設定がONとなっているときに、自動的に電源を入れてアラームを通知すると、サイトからダウンロードしたメロディやｉモーション、ミュージックがアラーム音に設定されていても「時刻アラーム音」で鳴ります。
◆高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

サブメニュー

❖アラーム一覧画面（P.397）
❖アラーム詳細画面（P.397）

編集…P.397
詳細表示※…アラームの内容を表示します。
完了（1件ON）…アラームを有効にします。
1件OFF…アラームを1件無効にします。
全件OFF…設定されているアラームをすべて無効にします。
※ アラーム一覧画面でのみ利用できます。

スケジュールの管理

スケジュールでアラーム・リマインド設定を登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や誕生日も登録できます。誕生日は、電話帳に設定したデータを自動的に登録します。登録したｉスケジュールは、スポーツの試合日程やお気に入りアーティストのイベント情報などを自分のスケジュールにダウンロードでき、新しい情報を自動的に更新するサービスです。
ｉスケジュールはケータイデータお預かりサービスと連動して、情報が自動更新されます。→P.144

■スケジュールとしてカレンダーに表示されるデータ

データ	内容
ｉスケジュール	サイトからダウンロードしたｉスケジュールを表示します。
スケジュール	ユーザが登録したスケジュールや休日を表示します。
誕生日	電話帳から登録した誕生日データを表示します。
週間天気予報	受信した天気予報（当日から8日分）を表示します。

おしらせ

◆ｉスケジュールのダウンロードや週間天気予報を受信するには、ｉコンシェルサービス契約（P.223）が必要です。

スケジュール登録

定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録したり、スケジュールの内容にあわせたアラーム音やアニメーションを設定するなど、いろいろな方法で登録できます。
●2000年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。
●スケジュールはメモやフォトメモなど他機能から作成されるものを含め、最大2,500件作成することができます（添付ファイルなどのデータ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。また、1日に複数のスケジュールを登録することもできます。
●スケジュールのアラーム通知について→P.402

1 MENU▶「便利ツール」▶「スケジュール」▶日付を選択

スケジュール画面（サブメニュー→P.400）

2 MENU [サブメニュー] ▶「新規登録」

3 スケジュールの内容を入力

スケジュールの登録項目はメモと同じです。スケジュールの登録項目については、P.413をご覧ください。

4 [完了]

おしらせ

◆「いつ？」で設定した「開始日時」より遅い日時に「アラーム・リマインド設定」のアラーム通知を設定した場合、アラームは「開始日時」と同じ日付・時刻に設定されます。

◆アラーム通知をするタイミングが重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
① 「いつ？」で時刻設定なしのスケジュール
② 「いつ？」で時刻設定ありのスケジュールの開始時刻
③ 「いつ？」で時刻設定なしのｉスケジュール
④ 「いつ？」で時刻設定ありのｉスケジュールの開始時刻

◆開始日時で設定した日付の曜日と、毎週繰り返しで指定した曜日が違う場合は、毎週繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。

祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2011年5月現在）。

休日登録

- 休日は100件まで登録できます。お買い上げ時に登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
- 休日は1日に1件のみ登録できます。

1 スケジュール画面（P.398）▶MENU［サブメニュー］▶「休日設定」▶「新規登録」

■ 登録した休日を削除する場合
▶「休日リセット」

2 以下の項目から選択

年月日設定…休日を登録する年月日を入力します。
繰り返し…休日の繰り返しを「設定なし、毎年（Y）」から選択します。
休日編集…休日の内容を入力します。

3 ［完了］

スケジュール・休日・誕生日の確認

登録したスケジュール・休日・誕生日の内容を確認します。

1 スケジュール画面（P.398）▶スケジュール・休日・誕生日が登録されている日付を選択

一覧表示では選択した日付の登録内容や設定内容が表示されます。
で表示する日付を切り替えることができます。

登録したスケジュール／祝日／休日／誕生日／ｉスケジュールを表示（ｉスケジュールは左端の帯をオレンジ色で区別）

スケジュール一覧画面（サブメニュー→P.400）

2 項目を選択

スケジュールの登録内容に電話番号、URL、メールアドレスが含まれている場合、Phone To・Web To・Mail To機能を利用できます。

誕生日詳細画面

スケジュール詳細画面

休日詳細画面

下段左画面：サブメニュー→P.400
下段右画面：サブメニュー→P.400

● スケジュールをタイムラインで表示する

スケジュールの表示方法を切り替えて、一日または一週間ごとの予定をタイムラインで表示することができます。

1 **スケジュール画面（P.398）▶MENU［サブメニュー］▶「表示切替」▶「週タイムライン」または「日タイムライン」を選択**

■表示形式について

月…1ヶ月単位のカレンダー形式

週タイムライン…1週間を時間軸で表示する形式

日…1日単位のカレンダー形式

日タイムライン…1日を時間軸で表示する形式

おしらせ

◆MENU［サブメニュー］▶「基本表示設定」でスケジュールを開いたときに表示される画面を設定することができます。

● 電話帳に誕生日を登録すると

誕生日は、本体電話帳で入力します。→P.95

入力された誕生日は自動で登録され、スケジュール画面に表示されます。

- 誕生日詳細画面（P.399）から、電話をかけたり、メールを送信できます。
- スケジュール画面からは、誕生日の編集や削除はできません。

おしらせ

◆誕生日は、待受画面の「誕生日」からも確認することができます。「誕生日」を選択すると、誕生日の詳細画面が表示されます。同じ日に複数の誕生日が登録されている場合は、スケジュール一覧画面などで一番上に表示されている誕生日の詳細画面が表示されます。

◆「プロフィール」に登録されている誕生日は、登録できません。

サブメニュー

❖**スケジュール画面（P.398）**

❖**スケジュール一覧画面（P.399）**

❖**スケジュール詳細画面（P.399）**

❖**休日詳細画面（P.399）**

❖**ｉスケジュール内予定一覧画面（P.401）**

❖**ｉスケジュール内予定詳細画面（P.401）**

新規登録…P.398

シールを貼る…メモ一覧画面、スケジュール一覧画面で表示するシールを登録したメモを作成します。→P.413

編集…選択した日付のスケジュールの登録内容や設定内容を編集します。

コピー…選択したスケジュール・休日をコピーし、編集します。

メモ一覧表示…メモ一覧画面を表示します。→P.414

ｉコンシェルメニュー表示…P.224

お預かりセンターに接続…P.146

ｉスケジュール一覧…ｉスケジュール一覧画面を表示します。→P.401

シールを選ぶ…シールが登録されているメモが2件以上ある場合に、スケジュール上で表示するシールを選択します。

クイック検索…P.201

シール表示設定…メモに設定されたシールを表示するかを選択します。

画像保存…メモに添付されているシールおよび、静止画をデータBOXへ保存します。

基本表示設定…スケジュール画面を開いたときのスケジュール一覧の表示方法を変更します。→P.399

表示切替…スケジュール画面の表示方法を選択します。→P.399

表示条件設定…共有する相手の名前やアイコン、文字色などを指定し、条件に合うものを表示します。

表示条件解除…条件の指定をやめて、すべてのスケジュールを表示します。

シークレット解除…P.132

メール作成…登録したスケジュールの内容（開始年月日･時間･詳細）を本文にしたｉモードメールを作成します。→P.152

メール添付…スケジュールを添付したメールを作成します。

デスクトップ貼付…デスクトップに貼り付けると、デスクトップから選択したときに、スケジュール画面が表示されます。→P.124

登録件数確認…スケジュールと休日の登録件数を確認します。電話帳に登録した誕生日の登録件数は確認できません。

iC送信、iC全送信…P.380

赤外線送信、赤外線全送信…P.379

Bluetooth送信、Bluetooth全送信…P.381

microSDへコピー…P.367

休日設定…P.399

削除…「1件削除、選択削除、全削除、前日まで削除、期限削除」から選択します。

- 「前日まで削除」を選択すると、スケジュール画面でカーソルのある日付より前の項目がすべて削除されます。
- 「全削除、前日まで削除」では、「メモ、休日、すべて」の項目を選択する操作があります。
- 「期限削除」を選択すると、選択した期間より前のスケジュールが全て削除されます。

1件削除…スケジュール、休日を1件のみ削除します。

※ 画面によっては表示されない機能があります。

おしらせ

◆「全削除」の「休日」や「すべて」を選択したときは、祝日はお買い上げ時の状態に戻ります。

◆ iスケジュールの削除はできません。

<メール添付>

◆ iスケジュールのデータをメール添付すると通常のスケジュールのデータとして添付されます。

iスケジュールの利用

サイトからダウンロードしたiスケジュールや、自動受信した週間天気予報のインフォメーションなどは、通常のスケジュールや休日とともに、スケジュール画面に表示されます。

- スケジュールデータ、iスケジュールのダウンロード→P.210
- iコンシェルについてはP.224を参照してください。

● iスケジュールだけを表示する

iスケジュールは、iスケジュール一覧画面でまとめて表示することができます。

1 スケジュール画面（P.398）▶[カメラ]［iスケジュール］

■ iモードでiスケジュールを検索する場合

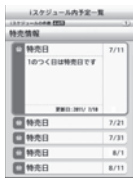
▶「iスケジュールリストへ」▶「YES」

iスケジュール一覧画面

iスケジュール詳細画面

左画面：サブメニュー→P.402
右画面：サブメニュー→P.402

■ iスケジュール内の予定を閲覧する場合

iスケジュール詳細画面で[i]［一覧］を押すと、iスケジュール内の予定一覧を表示することができます。

iスケジュール内予定一覧画面

iスケジュール内予定詳細画面

左画面：サブメニュー→P.400
右画面：サブメニュー→P.400

おしらせ

◆ iスケジュールが1件も登録されていない場合、iスケジュールの説明を表示します。

◆ iスケジュールの個々のデータを編集すると、元のデータはそのまま残り、通常のスケジュールデータが新規に1件登録されます。

● 天気予報を確認する

iコンシェルのインフォメーションによって自動で受信した週間天気予報は、スケジュール画面で確認します。

- 週間天気予報のデータを受信しても、着信動作やiコンシェル画面表示は行わず自動更新されます。

1 インフォメーションを自動受信

2 スケジュール画面（P.398）で日付を選択

スケジュール一覧画面（P.399）にその日の天気予報が表示されます。

サブメニュー

❖ i スケジュール一覧画面（P.401）

❖ i スケジュール詳細画面（P.401）

クイック検索※…P.201
デスクトップ貼付…P.124
削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。
※ i スケジュール詳細画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

<削除>
◆ i スケジュールを削除すると、i スケジュールの個々のデータも削除されます。

アラーム通知の設定

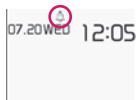
「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定します。
●「ワンセグ録画予約」は本機能の設定にかかわらず、アラーム通知を行います。

1 **MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「アラーム通知設定」▶「操作優先」または「通知優先」**
「操作優先」に設定した場合、待受画面表示中のときのみアラームを通知します。
「通知優先」に設定した場合、FOMA端末を操作しているときや通話中でもアラームを通知します。

アラーム通知の動作

● アラーム通知を設定すると

「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

07.20WED 12:05

■待受画面のアイコン表示
: 設定あり
: 通知当日の通知時刻前

● 設定した時刻になると

各機能ごとに別表1（P.403）のような動作でアラームを通知します。

- ●アラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリによって変わります。ただし、アラーム音にｉモーションを設定すると、その映像や音声でアラーム通知を行います。

■[別表1] アラーム通知動作

<table>
<tr><th>状態</th><th>アラーム</th><th>スケジュール・ワンセグ視聴予約／録画予約</th></tr>
<tr><td>待受画面表示中
ｉモード中※1
メール送受信中※1</td><td>アラームを設定したときの動作でアラームを通知します。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。</td><td>アラーム音が約5分間繰り返し鳴ります。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。※2
録画予約の場合、開始日時の約1分前にアラーム音が約2秒間鳴り、通知画面表示後、ワンセグ視聴画面が表示されます。</td></tr>
<tr><td>電源OFF時</td><td>「自動電源ON」の設定に従います。「電源ONしない」に設定している場合は、電源を入れたあともデスクトップアイコンは表示されません。</td><td>アラームを通知しません。設定はそのまま残ります。
録画予約の場合、開始日時の約1分前に電源がONになっていないと録画されません。電源をONにしたあともデスクトップアイコンは表示されません。
視聴予約の場合、「自動電源ON」の設定に従います。「OFF」に設定している場合は、電源を入れたあともデスクトップアイコンは表示されません。</td></tr>
<tr><td>通話中※1</td><td colspan="2">受話口／スピーカからアラーム音が鳴ります。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。</td></tr>
<tr><td>イヤホンマイク（別売）接続中</td><td colspan="2">「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム音は「イヤホン切替設定」の設定に従ってイヤホンおよび受話口／スピーカから鳴ります。</td></tr>
<tr><td>ダイヤルロック／おまかせロック設定中</td><td colspan="2">アラームを通知しません。録画予約の場合、開始日時の約1分前に各ロックが解除されていないと録画されません。
各ロックの解除後にデスクトップアイコンでお知らせします。</td></tr>
<tr><td>オリジナルロック設定中</td><td colspan="2">アラーム／スケジュールのアラームは通知しません。デスクトップアイコンは表示されます。
ワンセグ視聴予約／録画予約のアラームは通知します。</td></tr>
</table>

※1「通知優先」に設定している場合の動作です。「操作優先」に設定している場合は、待受画面に「アラーム（未通知アラームあり）」「アラーム（未視聴予約あり）」のデスクトップアイコンが表示されます。

※2 待受画面表示中のスケジュール通知の場合、ｉコンシェルにご契約されていて待受画面にマチキャラを設定していると通知アニメーションやｉモーションは表示されず、マチキャラが通知時刻であることをお知らせします。

おしらせ

- ◆「スケジュール」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「FOMA電話」で設定した音量になります。
- ◆通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- ◆通話中のアラームでのアラーム通知では、「スヌーズ通知する」に設定していても、スヌーズで通知は行いません。
- ◆「アラーム音選択」でｉモーションを設定しても、通話中などｉモーションを起動できないときは、アラーム音とアニメーションでアラーム通知を行います。

◆自動マナーモードを起動／解除する時間を「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」の設定した時間と同じ時間に設定すると、マナーモードを起動／解除してからアラーム通知されます。

<アラーム通知の優先順位>

◆「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は以下のとおりです。
①アラーム　②ワンセグ録画予約　③スケジュール　④ワンセグ視聴予約
アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「アラーム（未通知アラームあり）」「アラーム（未視聴予約あり）」「終了（予約録画終了あり）」のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。→P.405

● アラーム音を止めるには

■アラームのアラーム音

「スヌーズ通知しない」の場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止します。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。

「スヌーズ通知する」の場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止し、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示され、設定した鳴動間隔（分）で再度アラームを通知します。「スヌーズ中・・・」に[━]を押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■その他のアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止し、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます（ワンセグ視聴予約では「連携起動設定」が「連携しない」のとき）。

iコンシェルを契約していてマチキャラがONの場合、待受画面でスケジュールのアラームが鳴動したときは、いずれかのボタンを押すと鳴動は停止し、そのまま操作が可能になります（アラームメッセージ画面は待受のみ表示されません）。

■FOMA端末を閉じている場合

[STOP]ボタンをタッチするとアラーム音が停止します。

[→]ボタンを右にスライドするとアラーム通知前の画面に戻ります。

■アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「アラーム」のスヌーズも解除されます。

通知できなかったアラームの内容確認

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「[((♪))アラーム]（未通知アラームあり）」「[アラーム]（未視聴予約あり）」「[REC 終了]（予約録画終了あり）」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認します。

1 待受画面表示中▶[■]▶「[((♪))アラーム]（未通知アラームあり）」「[アラーム]（未視聴予約あり）」または「[REC 終了]（予約録画終了あり）」を選択

未通知アラーム情報が表示されます。

■ デスクトップアイコンを消す場合

▶[CLR]（1秒以上）

デスクトップアイコンを消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

2 内容を確認

[CLR]を押すと待受画面に戻り、デスクトップアイコンは消えます。

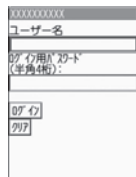
セキュリティフォルダ

「定型文」のセキュリティフォルダにサイトなどのパスワードをあらかじめ登録しておき、サイトでのパスワード入力時に利用できます。

●定型文を登録する→P.436

<例：セキュリティフォルダの定型文からパスワードを入力する場合>

1 サイトを表示する

2 ユーザ名などを入力する

3 パスワード入力画面を表示する

4 [MENU][サブメニュー]▶「データ引用／入力」▶「定型文」▶「セキュリティフォルダ」▶端末暗証番号を入力▶タイトルを選択

登録されている定型文が入力されます。

プロフィール登録

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録します。個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力（編集）画面で登録されている内容を引用できます。

- 自局番号、機種名を変更したり削除することはできません。
- 自局番号、機種名以外は登録したデータが FOMA端末に記憶されます。ほかのドコモUIMカードを差し込んでも、FOMA端末に登録したデータは変更なく表示されます。

プロフィールの表示

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。

1 MENU▶「プロフィール」

- MENU▶0でも確認できます。
- 自宅の電話番号や住所などの個人データを登録している場合は、サブメニューから「全データ表示」を選択して端末暗証番号を入力すると、すべてのデータを表示できます。

プロフィール画面（サブメニュー→P.406）

おしらせ

◆2in1のモードがデュアルモードの場合は、プロフィール画面でiを押してAナンバーとBナンバーの情報を切り替えることができます。
◆2in1利用中にドコモUIMカードを入れ替える場合は、Bナンバーのプロフィールを初期化したあと、ドコモUIMカードを入れ替えてください。→P.406
◆ホームUサービスの050番号はを押すと表示されます（ホームUご契約時に有効です）。
◆Wi-FiのマイIP電話番号は本機能から変更や削除できません。マイIP電話番号は「移動機SIPアドレス設定」（P.488）で設定や変更ができます。

サブメニュー

❖プロフィール画面（P.406）

編集…P.406
Bナンバー取得※1…Bナンバーの情報を取得し、Bナンバーのプロフィール画面に登録します。
表示…以下を表示します。
- **全データ表示**…で登録内容を確認します。
- **拡大表示⇔標準表示**…表示する名前の文字サイズの「拡大、標準」を切り替えます。

データコピー…データのコピーをします。
- **名前コピー**…プロフィールに登録されている名前をコピーします。コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.436
- **電話番号コピー**※2…現在表示している電話番号をコピーします。コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.436
- **microSDへコピー**…P.367

データ送信…データの送信を行います。
- **赤外線**…P.379
- **iC送信**…P.380
- **Bluetooth送信**…P.381
- **メール添付**※3…電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

位置情報／居場所…以下の確認をします。
- **GPSアプリ一覧**※4…地図・GPS機能に対応したiアプリの一覧画面を表示します。
- **地図を見る**※4…「地図選択」（P.313）で設定したGPS対応iアプリが起動します。※5
- **メール貼り付け**※4…位置情報URLをiモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。
- **画像に付加**※4…静止画に位置情報を付加します。

マイIP電話番号一覧※6…マイIP電話番号の一覧を表示します。
プロフィール初期化…自局番号以外のプロフィールを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。
電話番号削除※7…自局番号以外の登録した電話番号を削除します。

※1 2in1のBナンバーのプロフィール画面を表示しているときのみ利用できます。
※2 選択している項目によってメニュー名は「メールアドレスコピー、住所コピー、位置情報コピー、誕生日コピー、メモコピー」と表示されます。
※3 全データ表示中にのみ利用できます。
※4「全データ表示」表示中に、位置情報を反転しているときのみ利用できます。
※5 国際ローミング中の場合、「iモードサイト」「iアプリ」のどちらを利用するかを確認する画面が表示されます。
※6 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※7 選択している項目によってメニュー名は「メールアドレス削除、住所削除、位置情報削除、誕生日削除、メモ削除、静止画削除」と表示されます。

プロフィールの登録

1 プロフィール画面（P.406）▶［編集］▶端末暗証番号を入力

2 以下の項目から選択

名前入力／姓…お客様の名字を入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字などを入力できます。

フリガナ入力／姓…お客様の名字を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。半角のカタカナ、英字、数字、記号で入力できます。

名前入力／名…名字と同様、お客様の名前を入力します。

フリガナ入力／名…名字と同様、お客様の名前を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。

電話番号入力…自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。「＜電話番号＞」を選択すると電話番号を追加登録できます。

メールアドレス入力…メールアドレスを入力してアイコンを選択します。半角の英字、数字、記号で入力できます。

- **自動取得**…設定されているメールアドレスをｉモードセンターから自動で取得できます（メールアドレスにシークレットコードを登録している場合、シークレットコードも自動で取得します）。すでに登録されている内容がある場合は表示されません。
- **直接入力**…メールアドレスを直接入力します。

「＜メールアドレス＞」を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

住所入力…郵便番号以外の住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字などを入力できます。※

位置情報付加…位置情報を現在地を測位して登録するか、画像や位置履歴から登録します。登録済みの情報内容を確認する場合は「位置情報詳細」、削除する場合は「位置情報削除」を選択します。

誕生日入力…誕生日（西暦・月日）を入力します。

設定できる西暦は、1800年から2099年までです。

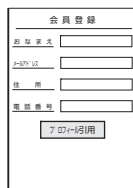
メモ入力…メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字などを入力できます。

静止画登録…プロフィールで表示される静止画をカメラで撮影するか、またはマイピクチャから選択して設定します。「静止画解除」を選択すると、設定中の静止画を解除できます。

※「都道府県」「市町村、郡、区」「番地」「マンション名など」の4項目あわせて全角50文字、半角100文字まででで入力してください。

3 [完了]

おしらせ

◆自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録した場合は、本機能のメールアドレスの登録内容も変更してください（自動的には変更されません）。

個人データ（プロフィール）の引用

個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者情報を確認したり、文字入力（編集）画面／ｉモードで登録されている内容を引用できます。
＜例：ｉモードサイトで個人データを引用する＞
選択する項目はサイトによって異なります。

1 個人データを引用するサイトを表示▶「プロフィール引用」を選択▶端末暗証番号を入力

引用できる項目が一覧で表示されます。

■ 引用する項目を指定する場合
▶で引用する項目のチェックを付ける

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合
▶「プロフィールA」または「プロフィールB」

2 [完了]

引用する項目が自動で入力されます。

おしらせ

◆住所情報を文字入力、ｉモードサイトで引用する場合、項目間に空白が入る場合があります。
◆プロフィールを引用した場合、自動で入力された項目以外のデータが引用されることはありません。

通話中音声メモ／音声メモ録音

音声メモには、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」と、待受画面表示中に自分の声を録音できる「音声メモ録音」の2種類があります。

●録音できる件数は、通話中音声メモまたは音声メモ録音のどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
●録音できる時間は約20秒です。
●録音したメモの再生、消去について→P.88

通話中に相手の声の録音

1 通話中▶MENU［サブメニュー］▶「通話中音声メモ」

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合
▶■［停止］またはCLR

待受中に自分の声の録音

1 MENU▶「電話機能」▶「伝言メモ／音声メモ」▶「音声メモ録音」▶「YES」▶音声メモを録音

「ピッ」と鳴ったら送話口／マイクに向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴ります。

■ 録音を途中でやめる場合
▶■［停止］またはCLR

おしらせ

◆録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

<通話中音声メモ>
◆サブメニューの各項目の操作中、テレビ電話の保留中などは録音することはできません。
◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用していない電話番号の音声メモには「★」が表示されません。モードを変更するか、デュアルモードにすると再生できます。

自動音声メモ

通話中の相手の声を自動で録音するように設定します。
●自動録音できるのは音声電話のみで、通話の終わり部分約1分間が録音されます。
●録音できる件数は2件で、古いものから順に上書きされます。
●自動録音したメモの再生、消去について→P.88

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中詳細設定」▶「自動音声メモ」▶「ON」または「OFF」

■ 自動音声メモをONにした場合
待受画面にアイコンが表示されます。→P.27

おしらせ

◆以下の動作を行ったときは、それまでの録音内容がいったん消去され、通話を再開した時点で新たに録音が開始されます。
- 「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたとき
- 電話帳、リダイヤル、着信履歴を表示したとき
- テレビ電話に切り替えたとき
- 通話を保留にしたとき
- 通話中音声メモを動作させたとき
- マルチタスクでほかの機能に切り替えたとき
- 通話中に別の電話がかかってきたとき（通話を切り替えた場合は、最後の通話内容が録音されます）

◆伝言メモ動作中は録音されません。伝言メモから音声通話に移行した場合は、その時点で録音が開始されます。
◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用していない電話番号の自動音声メモには「★」が表示されません。モードを変更するか、デュアルモードにすると再生できます。

アラーム音や応答保留音の録音／再生

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定します。
●録音できる音声は「おしゃべり1、2」の2件です。
●録音できる時間は約15秒です。
●「おしゃべり機能」が録音されている場合は、おしゃべり機能画面に「★」が表示されます。
●本機能で録音した音声を設定できる機能は以下のとおりです。
- 各種着信音（音声電話、テレビ電話、メール、メッセージR／F、ｉコンシェル、着信拒否設定、マルチナンバー、2in1設定の着信設定）
- 各種アラーム通知音（アラーム、スケジュール、ワンセグ視聴予約、通話料金通知）
- 応答保留音、通話中保留音
- 応答メッセージ（伝言メモ）

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「おしゃべり機能」

■ 再生する場合

▶「★」が付いている項目を選択

■ 消去する場合

▶MENU［サブメニュー］▶「消去」▶「YES」

2 **項目を選択▶「YES」▶音声を録音**

送話口／マイクに向かってお話しください。録音時間（約15秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴ります。

■ 録音を途中でやめる場合

▶■［停止］

おしらせ

◆録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーを使って、音声を録音します。録音したデータは、音声のみの動画として保存されます。また、録音したデータの一部分を繰り返し再生することもできます。

■撮影認識ランプの点滅について

以下のように点滅します。

・ボイスレコーダー画面、録音中画面：赤色で点滅

ボイスレコーダーで録音

1 MENU▶「便利ツール」▶「ボイスレコーダー」

ボイスレコーダー画面（サブメニュー→P.409）

■ 最新の音声を再生する場合

▶✉［再生］

2 ■［録音開始］

録音が開始されます。

■ 録音を一時中止する場合

▶📷［一時停止］

録音を再開する場合は📷［録音再開］を押します。

■ ファイルサイズで設定した容量になった場合

▶「OK」

録音中画面

3 ■［録音終了］

おしらせ

◆ボイスレコーダー画面および録音中画面では、▢でマイク感度を5段階に調整できます。

◆録音中は、送話口／マイクを指などで覆わないようにご注意ください。録音時の音の大きさや周囲の環境によっては、音質が悪くなる場合があります。

◆録音中にマイク感度調節などのボタン操作を行ったときの音や、ストラップなどが触れたときの音が録音される場合があります。

◆ボイスレコーダー画面および録音中画面では、ボタン確認音は鳴りません。

◆「ボイスレコーダー」フォルダにフォルダセキュリティ（P.374）を設定している場合は、録音以外の機能をご利用になれません。

サブメニュー

❖ボイスレコーダー画面（P.409）

メール添付／ブログ…音声を添付し、ｉモードメールやブログ投稿用のメールを作成します。

再生…最新の音声を再生します。

ｉモーション再生…最新の音声をｉモーションで再生します。

ファイル一覧画面…ファイル一覧を表示します。

ファイルサイズ…以下のファイルサイズを設定します。

- **500KB**…メールで送ることができるサイズで500Kバイトまで録音が可能です。
- **2MB**…メールで送ることができるサイズで2Mバイトまで録音が可能です。
- **10MB**…10Mバイトまで録音が可能です。
- **無制限**…ファイルサイズを制限せずにmicroSDに保存します。1回の録音は最長360分まで可能です。

保存先※…保存先を設定します。microSDカードに保存する場合、「HDムービー／その他」内に保存されます。

音質…録音する音声の音質を「標準、高品質」から選択します。「高品質」は、音質は最も高くなりますが、録音時間は最も短くなります。

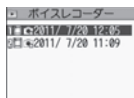
保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。

ファイル制限※…保存した音声を再配布できるかどうかを設定します。→P.329

タイトル編集…タイトルを編集します。

※ ファイルサイズが「無制限」のときは、保存先は「microSD」、ファイル制限は「なし」に固定されます。

ボイスレコーダーで再生

1 ボイスレコーダー画面（P.409）▶ i ［ファイル一覧］

ボイスレコーダーファイル一覧画面（サブメニュー→P.410）

2 音声を選択

ボイスレコーダー再生中画面（サブメニュー→P.410）

■ **先頭から再生する場合**

▶□

■ **A点（繰り返し再生する先頭）、B点（繰り返し再生する末尾）を指定し、A-B間リピートする場合**

▶A点で✉［A-Bリピート］▶B点で✉［B点］

画面でA点、B点のアイコンをスライドさせることで位置を変更することができます。

✉［リピート終了］を押すとA-B間リピートを終了します。

□を押すとA点から再生します。

■ **再生速度を変更する場合**

▶📷［再生速度］▶□で再生速度を調節▶■［確定］

おしらせ

◆A点とB点を1秒以内に設定した場合、自動的に間隔が1秒開きます。

サブメニュー

❖ボイスレコーダーファイル一覧画面（P.410）

メール添付／ブログ…音声を添付し、ｉモードメールやブログ投稿用のメールを作成します。

ボイスレコーダー起動…ボイスレコーダーを起動します。

ｉモーション貼付…音声を貼り付ける項目を選択します。

ｉモーション情報…音声のファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

赤外線送信…P.379

ｉC送信…P.380

DLNA…P.498

microSDへコピー…P.367

microSDへ移動…P.369

フォルダ移動……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、音声をほかのフォルダに移動します。

お預かりセンターに保存…P.146

編集…P.343

デスクトップ貼付…P.124

保存容量確認…保存容量（目安）を確認します。

ソート…登録日付順／タイトル順／ファイルサイズ順／ファイル取得元順でソート（並び替え）します。

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

サブメニュー

❖ボイスレコーダー再生中画面（P.410）

通常再生…再生を再開します。

ｉモーション再生…ｉモーションで再生します。

再生速度…再生速度を調整します。

停止…再生を終了します。

再生位置選択…P.410

ｉモーション編集…P.343

メール添付／ブログ…音声を添付し、ｉモードメールやブログ投稿用のメールを作成します。

ｉモーション貼付…ｉモーションを貼り付ける項目を選択します。

ｉモーション情報…音声のファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

赤外線送信…P.379
ｉC送信…P.380
デスクトップ貼付…P.124

通話時間／通話料金表示

音声通話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認します。
- 確認できる内容は以下のとおりです。

項目	表示内容
通話時間	直前の通話時間を表示※1
通話料金	直前の通話料金を表示（FOMA音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信別）※2
積算時間	前回リセット時からの積算通話時間を表示（FOMA音声電話、Wi-Fi音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信別）※3
積算通話料金	前回リセット時からの積算通話料金を表示（FOMA音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の合計）
前回積算時間リセット日時	前回の積算時間リセット日時を表示
前回積算料金リセット日時	前回の積算料金リセット日時を表示

※1「FOMA」はFOMAでの通話、「Wi-Fi」はWi-Fiでの通話を表示します。
※2 FOMA音声電話は「音声通話」、テレビ電話は「デジタル呼（AV呼）」、64Kデータ通信は「デジタル呼（非制限デジタル）」に表示されます。
※3 FOMA音声電話は「音声通話」、Wi-Fi音声電話は「Wi-Fi通話」、テレビ電話は「デジタル呼（AV呼）」、64Kデータ通信は「デジタル呼（非制限デジタル）」に表示されます。

- FOMA音声電話とテレビ電話の通話を切り替えた場合、通話時間にはFOMA音声電話とテレビ電話の合計の通話時間が表示され、通話料金にはFOMA音声電話とテレビ電話の通話料金が個別に表示されます。なお、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
- 通話時間は、FOMA音声電話通話時間、Wi-Fi電話通話時間とデジタル通信通話時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「￥0」または「￥＊＊」が表示されます。
- 通話料金はドコモUIMカードに蓄積されるため、ドコモUIMカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が積算通話料金に表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間、料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 2in1をご契約いただいている場合、積算時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。
- 通話料金および積算通話料金は、Wi-Fi音声電話ご利用分は対象外です。

1 **MENU▶「電話機能」▶「通話時間・料金」▶「通話時間・料金」**

おしらせ

◆前回および積算の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
◆ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
◆着信中や相手を呼び出している時間、FOMA音声電話とテレビ電話を切り替えている時間はカウントされません。
◆着信を受けたり電源を入れ直したりすると、通話料金の表示は「￥＊＊」になります。また、電源を入れ直すと通話時間の表示は「0秒」になります。
◆電源を切っても、積算時間、積算料金の情報は残ります。
◆WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話時間と積算通話料金のリセット

「通話時間／料金」に表示される通話の積算時間および積算料金をゼロに戻します。

1 **MENU▶「電話機能」▶「通話時間・料金」▶「積算リセット」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

積算時間リセット…積算時間をリセットします。
積算料金リセット…PIN2コードを入力して積算通話料金をリセットします。
PIN2コードについてはP.128を参照してください。

積算通話料金の自動リセット設定

毎月1日の0:00になると、「通話時間／料金」に表示される積算通話料金が自動的にゼロに戻るように設定します。

1 MENU▶「電話機能」▶「通話時間・料金」▶「積算料金自動リセット」▶端末暗証番号を入力

2 「自動リセット設定」▶「ON」▶PIN2コードを入力

PIN2コードについてはP.128を参照してください。

■ 設定しない場合
▶「OFF」

おしらせ

◆積算料金自動リセットを「ON」に設定し、「メイン時計設定」で月を変更すると積算通話料金はリセットされます。

◆次の場合、積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
- ドコモUIMカードを未挿入の状態で電源を入れたとき
- FOMA端末の電源を入れたときに表示されるPIN2コード入力画面でCLRを押したとき
- PIN2コードがロック中のとき→P.129
- ドコモUIMカードに異常があるとき

通話料金通知

「通話時間／料金」で表示される積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると待受画面やアラームなどでお知らせします。

- アラーム通知は、積算通話料金が設定した上限料金を超えたときに一度だけ行います。
- 上限料金を超えても通常どおり電話をかけることができます。

1 MENU▶「電話機能」▶「通話時間・料金」▶「通話料金通知」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

上限料金の設定…10～100,000円の範囲で10円単位で上限の料金を設定します。

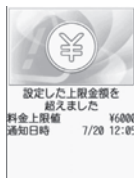
通知設定…通話料金通知についての設定を行います。
- **上限値通知設定**…通話料金通知を行うかどうかを設定します。
- **アラーム音選択**…アラーム音を選択します。
- **アラーム音量**…でアラーム音量を設定します。

2 [完了]

おしらせ

◆ｉモード通信、パケット通信の通信料金、Wi-Fi通信の通信料金は本機能の対象外です。ｉモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● アラーム通知の動作

通話終了後、積算通話料金が設定した上限料金を超えると次のような動作で通知します。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」以外に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、通話を終了して3秒後にアラーム音が約5分間鳴り、上限料金を超えたことを通知する画面が表示されます。アラーム音を止めるにはいずれかのボタンを押します。通知動作終了後、CLRまたはを押すと、待受画面に「上限（通話料金通知）」のデスクトップアイコンが表示されます。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、待受画面に「上限（通話料金通知）」のデスクトップアイコンが表示されます。

●「上限（通話料金通知）」の内容を確認する

待受画面に表示された「上限（通話料金通知）」のデスクトップアイコンを選択して、通話料金通知の内容を確認します。

1 待受画面表示中▶■▶「上限（通話料金通知）」を選択▶端末暗証番号を入力

「通話料金通知」の内容が表示されます。

2 内容を確認▶■［確認］

待受画面に戻り、「上限（通話料金通知）」が消えます。

電卓

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）を行います。
- 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
- 計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「電卓」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合
▶ MENU ［サブメニュー］▶「デスクトップ貼付」

2 計算する

■「23＋57」を計算する場合

2	3	＋	5	7	＝
2	3	▷	5	7	■

■ 負の数を計算する場合
先頭の数字に「－」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。

－	2	3	＋	5	7	＝
◁	2	3	▷	5	7	■

おしらせ
◆ CLR （ AC ）は、計算を最初からやり直すときに使います。また、数字や小数点の入力中は C の表示となり、CLR を押して間違えた数字や小数点を消去することができます。

メモの利用

メモを作成、表示することができます。メモを作成する際にはタイトル、詳細以外にもカテゴリアイコンを設定したり、シールを登録してメモをデコレートしたり、画像を登録したり、メールに添付やスケジュールに表示するなど様々な用途に使うことができます。
また、共有設定を使うと、相手を設定してメモを共有することもできます。

メモの作成

スケジュールやメールなどさまざまな機能からメモを作成できます。
- メモはスケジュールやフォトメモなど他機能から作成されるものを含め、最大2,500件作成することができます（添付ファイルなどのデータ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「メモ」

2 📷［新規］

メモ編集画面

■ メモを編集する場合
▶編集するメモを選択▶ i ［編集］

■ スケジュールから作成する場合
▶スケジュール画面（P.398）▶日付を選択▶ MENU ［サブメニュー］▶「新規登録」

■ 静止画撮影確認画面から作成する場合※
▶静止画撮影確認画面（P.235）▶ MENU ［サブメニュー］▶「機能利用」▶「メモ作成」

■ マイピクチャ画面から作成する場合※
▶マイピクチャ画面（P.327）▶ MENU ［サブメニュー］▶「メモ作成」

※ サイズがVGA縦（480×640または640×480）より大きいときには、「そのまま添付」「サイズ中（VGA）」「キャンセル」から選択することができます。

3 以下の項目を入力

カテゴリアイコン…メモのカテゴリアイコンを選択します。選択すると自動で件名編集画面になります。

件名…メモのタイトルを入力します。

詳細…メモの内容を入力します。

シール…絵文字やデコメ絵文字®をシールとして登録します。登録したシールはスケジュール画面やメモ画面などでアニメーションで再生します。

ラベルカラー…ラベルの色を選択します。

文字カラー…メモ一覧画面やスケジュール画面などで表示されるタイトルの色を選択します。

ToDo…ToDoを設定すると予定の管理ができます。日時を設定したメモはスケジュールでも表示されます。
- **設定**…「あり」「なし」から選択します。
「なし」を選ぶとToDo機能は無効になります。
- **期限**…用件の期日を設定します。
- **状態**…用件の状態を「完了、未完了、予定、承諾、依頼、暫定、確認、拒否、代理」か

ら選択します。「完了」を選択した場合は、完了日を設定します。
- **完了日**…用件の完了日を設定します。
- **優先順位**…用件の優先度を「なし」「高」「低」から選択します。

いつ？…用件の日時を設定します。日時を設定したメモはスケジュールにも表示されます。
- **開始日時**…開始日時を設定します。
- **終了日時**…終了日時を設定します。開始日時を設定しない場合は入力できません。
- **繰り返し**…スケジュールの繰り返しを「なし、毎日、毎週（曜日指定）、毎月、毎年」から選択します。

どこで？…場所を入力します。

だれと？…だれと予定を行うかを設定します。「電話帳検索、メール送信履歴、メール受信履歴、メモ共有履歴、直接入力」から選択します。

共有設定※…メンバーを指定して、作成したメモを共有することができます。

添付…メモに画像とメールを関連付けることができます。
- **添付するフォト**…「カメラ撮影して添付、データBOXから添付、microSDから添付」から選択します。
- **関連するメール**…「受信BOX、送信BOX、未送信メール」から選択します。

アラーム・リマインド設定…指定したタイミングにｉコンシェルやアラームで通知するように設定することができます。
- **アラーム設定**…「利用する、利用しない」を選択します。
- **場所でリマインド設定**※…通知してほしい場所、内容を登録すると、その場所に近づいたときに通知するように設定します。
  オートGPSが「OFF」の場合は、利用できません。
- **メールでリマインド設定**※…登録したアドレスからメールが届いた際に、メール表示画面から検索できるように設定します。

※ ｉコンシェルに契約していない場合は利用できません。

4 [カメラ] ［完了］

おしらせ

◆「いつ？」「どこで？」「だれと？」を入力するとき、入力候補のヒントが表示されます。ヒントを選択するとヒントの表示内容が入力され、簡単にメモの作成ができます。

メモの閲覧

スケジュールなどで作成したメモを一覧で表示することができます。

1 [MENU]▶「便利ツール」▶「メモ」

メモ一覧画面（サブメニュー→P.414）

一覧表示では選択したメモの登録内容や設定内容が表示されます。

[□]で表示内容を切り替えることができます。

■ **メモをフィルタリングして表示する場合**

画面上部のプルダウンで、表示されるメモをフィルタリングすることができます。

選択するとフィルタリング条件のリストが表示されます。

2 メモを選択

メモ詳細画面（サブメニュー→P.414）

おしらせ

◆メモが１件も登録されていない場合、メモの説明を表示します。

サブメニュー

❖ メモ一覧画面（P.414）

❖ メモ詳細画面（P.414）

新規登録…P.413

編集…選択したメモの登録内容や設定内容を編集します。
コピー…選択したメモをコピーし、編集します。
スケジュール…スケジュール画面を表示します。
iコンシェルメニュー表示…P.224
お預かりセンターに接続…P.146
クイック検索…P.201
シール表示設定…メモに設定されたシールを表示するかを選択します。
画像保存…メモに添付されているシールおよび、静止画をデータBOXに保存します。
優先表示設定…「ON」「OFF」から選択します。「ON」に設定したメモにはメモ一覧画面でクリップのアイコンが表示され、一覧の前部に優先的に表示されます。
検索…メモ一覧に、相手の名前やアイコン、文字色など、指定した条件に合うメモ、スケジュールのみを表示します。
表示条件選択…メモをフィルタリングする条件を選択します。
表示条件解除…メモのフィルタリングを解除します。
シークレット解除…P.132
メール作成…メモの内容が挿入されたiモードメールを作成します。→P.152
メール添付…メモを添付したメールを作成します。
デスクトップ貼付…デスクトップに貼り付けると、デスクトップから選択したときに、メモ一覧画面が表示されます。→P.124
iC送信、iC全送信…P.380
赤外線送信、赤外線全送信…P.379
Bluetooth送信、Bluetooth全送信…P.381
microSDへコピー…P.367
削除…1件削除／選択削除／全削除／期限削除から選択します。
1件削除…メモを1件のみ削除します。
※ 画面によっては表示されない機能があります。

電子辞書の利用

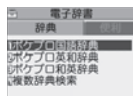
辞典を起動して単語の意味を調べることができます。調べたい単語にあわせて、辞典の種類を選択できます。また、日常生活や海外旅行、ビジネスでの英会話の例文などを検索できる便利な辞典も利用できます。
●電子辞書には、以下のコンテンツが収録されています。

辞典のコンテンツ	収録数
ポケットプログレッシブ国語辞典 出版社：小学館	約70,000語
ポケットプログレッシブ英和辞典 出版社：小学館	約85,000項目
ポケットプログレッシブ和英辞典 出版社：小学館	約100,000項目

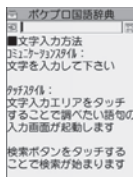
便利辞典のコンテンツ	特徴
英会話とっさのひとこと辞典	日常で使う実用的な表現を集めた便利な英会話集です。
英会話海外旅行ひとこと辞典	海外旅行をスムーズに、もっと楽しくする旅行会話集です。
英会話ビジネスひとこと辞典	オフィスや商談などで使える、社会人必携のビジネス英会話表現集です。

見出し語で検索

ポケプロ国語辞典、ポケプロ英和辞典、ポケプロ和英辞典では、見出し語から検索できます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「電子辞書」

辞典一覧画面

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合
▶MENU［サブメニュー］▶「デスクトップ貼付」

2 で「辞典」タブを選択▶辞典の種類を選択

検索開始画面（サブメニュー→P.417）

■ 複数の辞典で検索する場合
▶「複数辞典検索」
検索率の高い順に検索結果を一覧で表示できます。
［文字切替］を押すと入力文字種の切り替えができます。

■ キーワードから例文検索をする場合

▶「複数辞典検索」▶✉［検索切替］▶ キーワードを入力

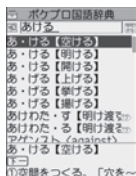
一覧から例文を検索できます。

■ 連語検索をする場合

▶「ポケプロ英和辞典」▶✉［検索切替］▶ 文字を入力▶■［検索］

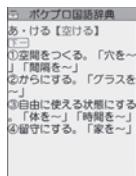
入力した単語の用法や慣用句などが表示されます。

3 検索したい文字を入力

検索語は全角9文字、半角18文字まで入力できます。該当する候補が一覧に表示されます。
入力の途中でも候補から選択できます。
ポケプロ英和辞典ではワイルドカード検索を利用できます。
「ワイルドカード検索について」→P.416

検索結果画面（一覧）（サブメニュー→P.417）

複数辞典検索の場合は、該当する辞典のアイコンが表示されます。

4 該当する単語を選択

ポケプロ国語辞典
あ・ける【空ける】
①空間をつくる。「穴を～」「間隔を～」
②からにする。「グラスを～」
③自由に使える状態にする。「体を～」「時間を～」
④留守にする。「家を～」

検索結果画面（詳細）（サブメニュー→P.417）

類似語や用例などがある場合はリンクが表示されます。リンクを選択すると、その単語の詳細画面が表示されます。

■ 前後の単語を表示する場合

▶検索結果画面（詳細）▶◎

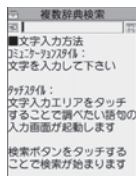
■ 文字サイズを縮小／拡大する場合

▶✉［縮小］／ⓘ［拡大］

● ワイルドカード検索について

ポケプロ英和辞典では、検索語を入力する際に、📷［ */? ］を押すと、ワイルドカード検索が利用できます。文字数がわかっていてスペルが不明なときは、わからない文字の代わりに📷［ */? ］を押して「?」を入力することで検索できます。
また、文字数もスペルも不明なときは、スペルがわからない部分に📷［ */? ］を押して「*」を入力することで検索できます。

● キーワードから検索する

1 辞典一覧画面（P.415）▶「複数辞典検索」

検索開始画面（サブメニュー→P.417）

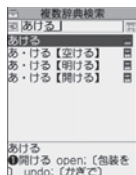
■ 入力文字種の切り替えをする場合

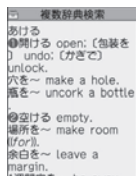
▶ⓘ［文字切替］

■ キーワードから例文検索をする場合

▶✉［検索切替］▶キーワードを入力

一覧から例文を検索できます。

2 検索したい文字を入力

検索結果画面（一覧）（サブメニュー→P.417）

3 該当する項目を選択

検索結果画面（詳細）（サブメニュー→P.417）

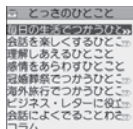
例文の検索

- あらかじめ用意された目次候補の例文をたどって検索することができます。

● 目次候補から検索する

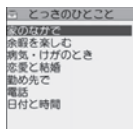
1 辞典一覧画面（P.415）▶［十字キー］で「便利」タブを選択

2 「とっさのひとこと」、「海外旅行ひとこと」または「ビジネスひとこと」を選択

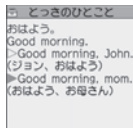
表示される目次候補はコンテンツによって異なります。

目次候補画面（第一階層）（サブメニュー→P.417）

■ キーワードから例文検索をする場合
▶［✉］［検索切替］▶キーワードを入力
一覧から例文を検索できます。

3 目次候補を選択

表示される項目はコンテンツによって異なります。

目次候補画面（第二階層）（サブメニュー→P.417）

4 例文の項目を選択

コンテンツによって項目を選択する回数が異なります。

検索結果画面（詳細）（サブメニュー→P.417）

サブメニュー

❖検索開始画面（P.415、416）
❖検索結果画面（一覧）（P.416）
❖目次候補画面（P.417）

検索履歴※…以前検索した単語の履歴を表示します。→P.417

ガイド※…それぞれの辞典ごとに、凡例（編集の方針、利用のしかたなど）やアドバイス、収録内容の説明などが表示されます。

プレビュー OFF⇔プレビュー ON…検索結果画面（一覧）や目次候補画面で、反転されている項目の意味や例文などを表示するかしないかを設定します。

※ 複数辞典検索からサブメニューを表示したときは利用できません。

サブメニュー

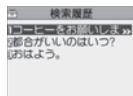
❖検索結果画面（詳細）（P.416、417）

新規検索…検索開始画面を表示して、新たに検索できます。

コピー…範囲の始点と終点を指定して、文字をコピーします。コピーした文字は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.436

辞典一覧に戻る…辞典一覧画面に戻ります。

検索履歴

1 検索開始画面（P.415、416）、検索結果画面（一覧）（P.416）、目次候補画面（P.417）▶［MENU］［サブメニュー］▶「検索履歴」

検索履歴画面（サブメニュー→P.417）

2 項目を選択

サブメニュー

❖検索履歴画面（P.417）

1件削除、全削除…以前検索した単語の履歴を削除します。

スイッチ付イヤホンマイク

ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使って電話をかけたり、受けたりします。
- 平型ステレオイヤホンセット P01と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01を接続しても、電話をかけたり受けたりすることができます。
- 「ボタン確認音」の設定にかかわらず、電話を受けたり電話を切ったりしたときのスイッチ音は鳴ります。
- ステレオイヤホンマイク 01のコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中にステレオイヤホンマイク 01のコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。
- FOMA端末を閉じた状態でも電話をかけたり受けたりすることができます。

イヤホンマイクのスイッチ動作設定

設定した相手に、スイッチを1秒以上押すだけで音声電話をかけるように設定します。
- 本機能には、FOMA端末の電話帳に登録されている電話番号を設定します。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「イヤホン機能設定」▶「イヤホンスイッチ発信設定」▶以下の項目から選択

音声発信…電話帳に登録されている電話番号を選択します。

電話帳の検索のしかた→P.97

OFF…発信設定をしません。

おしらせ

◆ドコモUIMカードの電話帳は設定できません。
◆本機能に設定した電話番号が2in1の設定により利用できない場合は、ステレオイヤホンマイク 01などのスイッチを使った発信ができなくなります。

イヤホンマイクをつないだときに使うマイクを選ぶ

ステレオイヤホンマイク 01を接続しているときに使うマイクを、FOMA端末側の送話口／マイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「外部接続」▶「イヤホンマイク」▶「本体マイク」または「イヤホンマイク」

マイクのないイヤホンを接続する場合は、「本体マイク」を選択してください。

おしらせ

◆「イヤホンマイク」を「本体マイク」に設定するとハンズフリーをONに設定した場合と同じマイク感度になります。イヤホンマイクを接続した場合、FOMA端末側の送話口／マイクに近づけて通話する必要はありません。

スイッチを使って電話をかける

1 電話番号をダイヤル▶スイッチを1秒以上押す

電話帳、直デン、リダイヤル／発信履歴、着信履歴からかけることもできます。

■ 電話番号をダイヤルしない場合

「イヤホンスイッチ発信設定」で設定した電話番号に電話がかかります。

2 通話が終了したら、スイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

スイッチを使って電話を受ける

1 着信中▶スイッチを押す

■ 音声電話を受ける場合

「ピッ」という音が鳴り、音声電話を受けます。

■ テレビ電話を受ける場合

「ピッ」という音が鳴り、自画像でテレビ電話を受けます。

2 通話が終了したら、スイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

おしらせ

◆「キャッチホン」をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話にステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチを押して出ることができます。また、スイッチを1秒以上押して通話中の電話を切り替えることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。
◆ステレオイヤホンマイク 01のスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける

ステレオイヤホンマイク 01を接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話を自動で受けるようにそれぞれ設定します。
- 音声通話中、テレビ電話中は、本機能によって自動で電話を受けることはできません。
- FOMA端末を閉じた状態でも自動で受けることができます。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「着信詳細設定」▶「オート着信設定」▶「FOMA電話」「Wi-Fi電話」「テレビ電話」のいずれかを選択

2 「オート着信あり」▶呼出時間（001～120秒の3桁）を入力

■ 無効にする場合
▶「オート着信なし」

おしらせ
◆テレビ電話をオート着信した場合、相手側には代替画像が表示されます。
◆ステレオイヤホンマイク 01を着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。

Bluetooth機能

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。たとえばFOMA端末とワイヤレスイヤホンセット 02（別売）をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末をかばんなどに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。
- Bluetooth接続を使用すると電池の消費量が多くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- セルフモード設定中はBluetooth機能を利用できません。

Bluetoothでできること

FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの6つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ／ビデオリモートコントロールサービスも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠※

※ FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

対応プロファイル※1（対応サービス）
HSP：Headset Profile（ヘッドセットプロファイル） HFP：Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル） A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル） AVRCP※2：Audio/Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル） DUN：Dial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） OPP：Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル） SPP：Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル）

※1 Bluetooth機能の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
※2 A2DPにも対応している場合のみ有効で、AVRCP単独のプロファイルには対応していません。

■ヘッドセットで通話する（ヘッドセットサービス）
ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）やBluetoothヘッドセット（市販品）とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

■ハンズフリーで通話する（ハンズフリーサービス）
カーナビなどのBluetooth通信対応機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカを利用してハンズフリーで通話できます。

■オーディオ機器で再生する（オーディオサービス）
ワイヤレスイヤホンセット P01／02（別売）やBluetooth通信対応オーディオ機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。
- ワンセグやビデオの音声に関しては対応する機器が制限されます。→P.424

●Bluetooth 機器とオーディオサービス接続中にｉアプリからBluetooth通信を行うと、オーディオサービスが切断されます。

■ワイヤレスで通信する（ダイヤルアップ通信サービス）

Bluetooth通信対応パソコンなどとFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行えます。

●詳細については、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■Bluetooth通信でデータを送受信する（オブジェクトプッシュサービス）

Bluetooth機器とFOMA端末をBluetooth通信で接続して、電話帳、スケジュール、メモ、メール、Bookmark、プロフィールをやりとりできます。
→P.381

■ｉアプリからBluetooth通信を利用する（シリアルポートサービス）

Bluetooth通信を利用して他の携帯電話やBluetooth通信対応機器と接続することにより、ｉアプリで対戦ゲームをしたり、データを管理したりできます。

■Bluetooth機器から出力される音

お使いのBluetooth機器によっては、下記の動作にならない場合があります。

出力される音	接続サービス		
	HSP	HFP	A2DP
FOMA音声電話発信音	○	○	×
FOMA音声電話／テレビ電話着信音	○※1※2	○※2	×
FOMA音声電話／テレビ電話時の呼び出し音	○	○	×
FOMA音声電話／テレビ電話時の相手の音声	○	○	×
FOMA音声電話時の相手の伝言メモの音声	○	○	×
Wi-Fi音声電話着信音	×	×	×
ワンセグの音声	×	×	○
ｉアプリの音声	×	×	○
ビデオ再生音	×	×	○
ミュージックプレーヤー再生音	×	×	○
アラーム通知音	○※3	○※3	×
メール着信音	×	×	×

○：Bluetooth機器から出力されます。
×：Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります。
※1「イヤホン切替設定」を「イヤホンとスピーカー」に設定している場合は、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から鳴ります。
※2「着信音送出設定」を「送らない」に設定している場合は、Bluetooth機器からは設定中の着信音とは異なる音が鳴ります。
※3 通話中のみBluetooth機器から鳴ります。Bluetooth機器から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく時刻アラーム音が鳴ります。

おしらせ

◆Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

●他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
●他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
●放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
●Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について

お買い上げ後、はじめてBluetooth機能を利用した場合、無線LANとの電波干渉についての注意画面が表示されます。内容を確認して■［OK］を押してください。
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因に

なる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
- FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。
場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth利用の流れ

Bluetooth機能を利用するには、あらかじめFOMA端末にBluetooth機器を登録し、各機能に対応したサービスで接続する必要があります。
<例：ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）と接続する場合>

Bluetooth機器の登録（P.421）
ワイヤレスイヤホンセット 02をFOMA端末に登録します。

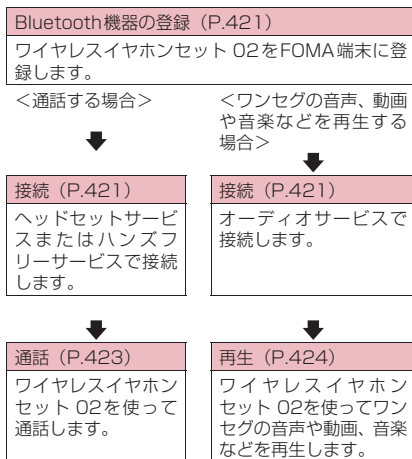
<通話する場合>

接続（P.421）
ヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続します。

通話（P.423）
ワイヤレスイヤホンセット 02を使って通話します。

<ワンセグの音声、動画や音楽などを再生する場合>

接続（P.421）
オーディオサービスで接続します。

再生（P.424）
ワイヤレスイヤホンセット 02を使ってワンセグの音声や動画、音楽などを再生します。

Bluetooth機器登録

Bluetooth機器をFOMA端末に登録します。
- Bluetooth機器は10件まで登録できます。
- 登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておきます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Bluetooth」

Bluetoothメニュー画面

2 「登録機器リスト」▶「YES」▶「OK」

Bluetooth機器の検索がはじまります。検索が終了すると、「登録機器リスト画面」（P.422）が表示されます。
「新規機器登録」からもBluetooth機器の検索を行うことができます。

■ すでにBluetooth機器が登録されている場合
「登録機器リスト画面」（P.422）が表示されますので、📷［サーチ］を押すとBluetooth機器の検索がはじまります。

3 登録したいBluetooth機器を選択▶「YES」

4 Bluetoothパスキーを入力

登録する機器がワイヤレスイヤホンセット 02（別売）の場合は、Bluetoothパスキーの入力は不要です。
Bluetoothパスキーについては、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth機器と接続

登録したBluetooth機器とFOMA端末を接続します。

1 Bluetoothメニュー画面（P.421）▶「登録機器リスト」

「登録機器リスト画面の見かた」→P.422

登録機器リスト画面（サブメニュー→P.422）

■ Bluetooth機器を検索する場合

▶ [サーチ]

「Bluetooth機器登録」→P.421

2 Bluetooth機器を選択

接続中のサービスは「」、接続待機中のサービスは「」が表示されます。

3 サービスを選択

Bluetooth機器と接続されディスプレイに「(青色)」が点滅します。一定時間、Bluetooth機器との通信がないと、省電力状態となり「(黒色)」の点灯に変わります。

「ダイヤルアップ」を選択した場合は、接続履歴がある機器、「ダイヤルアップ登録待機」から登録した機器も含め、接続待機状態になります。複数のサービスで接続できるBluetooth機器の場合は、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 接続中のサービスを停止する場合

▶接続中のサービスを選択▶「YES」

おしらせ

◆接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に時間がかかることがあります。

◆接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中にFOMA端末の電源を切った場合も、再度電源を入れたときに接続待機中になります。

◆以下の場合、オーディオサービスで接続中にBluetooth機器から出力される音が停止することがあります。このとき、Bluetooth機器によっては、接続が切断されることがあります。

- Bluetooth機器との接続が途切れたとき
- GPSの位置提供要求を受信したとき
- メールやメッセージR／Fを受信したとき
- 音声電話着信、テレビ電話着信があったとき
- 音声電話発信、テレビ電話発信を行ったとき
- アラーム通知（電池切れアラーム含む）があったとき

● 登録機器リスト画面の見かた

■機種種別アイコン

アイコン	説明
	パソコン
	電話
	AV機器
	ネットワーク機器
	周辺機器
	イメージング機器
	その他

■機器名称

Bluetooth機器の名称が表示されます。機器の検索時に名称を取得できなかった場合は、機器（Bluetooth）アドレスが表示されます。

■保護アイコン

登録機器が保護されている場合に「」が表示されます。

■接続状態アイコン

アイコン	説明
	接続中
	未接続
	未検出
NEW	未登録

■プロファイルの状態アイコン

プロファイルの種類と状態がアイコンで表示されます。

アイコン表示例	文字色	背景色	枠色	説明
HSP	白色	灰色	なし	未接続（未登録）
HSP	白色	緑色	白色	接続中
HSP	灰色	灰色	なし	未対応
HSP	白色	灰色	白色	接続待機中
HSP	白色	緑色	灰色	優先機器設定
HSP	白色	灰色	灰色	未接続（登録済み）

サブメニュー

❖ 登録機器リスト画面（P.422）

機器登録…P.421

優先機器設定…FOMA音声電話やテレビ電話の着信時に、自動接続するBluetooth機器を設定します。設定できるのはヘッドセットサービスに対応しているBluetooth機器のみです。解除するには同様の操作を行います。

保護／解除、機器名称変更…登録機器の保護／解除、名称変更を行います。保護できるBluetooth機器は5件までです。

デスクトップ貼付…P.124

登録機器情報…Bluetooth機器の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。

登録機器削除…登録機器を削除します。

おしらせ

◆よく使うBluetooth機器は、保護を設定しておくことをおすすめします。

<機器登録>

◆すでに登録済みの Bluetooth 機器を選択すると登録情報が更新されます。

Bluetooth機器の接続待機設定

登録しているすべてのBluetooth機器の接続待機状態を設定します。

1 Bluetoothメニュー画面（P.421）▶「接続待機」

2 [十字キー]で□（チェックボックス）を選択▶[カメラキー]［完了］

「□」（チェックを外した状態）に設定すると、そのサービスは接続待機を解除します。

FOMA端末のBluetooth機能停止

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetooth機能を停止します。

1 Bluetoothメニュー画面（P.421）▶「Bluetoothオフ」▶「YES」

■ Bluetooth機能を有効にする場合

▶「Bluetoothオン」

パソコンとワイヤレス接続

Bluetooth通信対応パソコンなどとFOMA端末をワイヤレスに接続して、パケット通信や64Kデータ通信を行います。

1 Bluetoothメニュー画面（P.421）▶「ダイヤルアップ登録待機」

これ以降の詳しい操作手順については、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」の「Bluetooth通信を準備する」をご覧ください。

Bluetooth機能を使った通話

FOMA端末をBluetooth機器とヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続し、ワイヤレスで通話します。

● Wi-Fi音声電話には対応していません。

1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

Bluetooth機器との接続について→P.421

2 Bluetooth機器で電話をかける／受ける

Bluetooth機器で通話中はディスプレイに「[アイコン]」が表示されます。

Bluetooth 機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

◆ダイヤルロック／おまかせロック設定中は、Bluetooth機器での着信への応答ができません。

◆Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、マナーモード設定中でもBluetooth機器から着信音が鳴ります。

◆Bluetooth 機器で通話中は、FOMA 端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。

◆Bluetooth機器で通話中は「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

◆初期設定では、Bluetooth機器で通話中または発信中にBluetooth通信が切断された場合は、通話または発信を終了します。
「Bluetooth設定」の「切断時通話設定」（P.424）を「本体で通話継続」に設定することにより、Bluetooth通信が切断された場合もFOMA端末での通話を継続させることができます。

◆通信モードがWi-Fiシングルモードのときは、Bluetooth機器を使って電話をかけることはできません。

● FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを切り替えるには

1 通話中▶[通話キー]（1秒以上）

Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

- ◆Bluetooth機器に切り替えても、ハンズフリー対応機器やイヤホンマイク（別売）を接続しているときは、Bluetooth機器で通話できない場合があります。
- ◆通話中画面、テレビ電話中画面のサブメニューからも通話を切り替えることができます。
- ◆Wi-Fi音声通話中は、通話を切り替えることはできません。

Bluetooth機器を使った音楽・音声などの再生

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ミュージックプレーヤーの音楽やワンセグ・ビデオ・動画の音声などをBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

Bluetooth機器との接続について→P.421
オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動で起動されます。ただし、待受画面以外を表示中や、他の機能が起動している場合、「ミュージックプレーヤー設定」の設定などによっては、自動で起動されないことがあります。

2 再生する

Bluetooth機器から音が出力されます。
Bluetooth機器で再生中はディスプレイに「」が表示されます。

おしらせ

- ◆ｉアプリで対戦ゲームをするなどSPPを利用中、アクセスポイントモード利用中は本機能は動作しません。
- ◆SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみワンセグやビデオの音声を再生できます。
- ◆ワンセグ・ビデオ・動画の音声や音楽などをBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- ◆Bluetooth機器とオーディオサービスで接続中に、Bluetooth機器から再生や一時停止の操作をすることで、ミュージックプレーヤーを起動することもできます（対応しているBluetooth機器のみ）。
- ◆ミュージックプレーヤーをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetooth機器のリモコン操作は有効です。
- ◆ステレオイヤホン（別売）やイヤホンマイク（別売）を接続しているときは、Bluetooth機器で再生できません。
- ◆一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ワンセグを視聴する際やミュージックを再生する際に自動的にBluetooth機器と接続します。接続が成功するとBluetooth機器から音が出力され、接続に失敗するとFOMA端末から音を出力するかどうかの確認画面が表示されます。
- ◆動画やビデオ、音楽を再生中にBluetooth通信が切断された場合は、切断されたことを示すメッセージが表示されます。ただし、「ミュージックプレーヤー設定」の設定やFOMA端末の開閉状態などによっては、メッセージは表示されず、自動的にミュージックプレーヤーが終了する場合があります。

Bluetooth設定

1 Bluetoothメニュー画面（P.421）▶「Bluetooth設定」▶以下の項目から選択

セキュリティ設定…Bluetooth送信／Bluetooth受信時の認証の有無を設定します。

全件転送パスワード設定…Bluetooth全送信時に認証パスワードを入力するかどうかを設定します。

サーチ時間…Bluetooth通信対応機器を検索する時間（05～20秒）を設定します。

着信音送出設定…接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に、音声電話やテレビ電話の着信音を送信するかどうかを設定します。

切断時通話設定…Bluetooth機器で通話中にBluetooth機器との接続が切断されたとき、FOMA端末で通話を継続するか、通話を終了するかを設定します。

ヘッドセット操作による発信…外部機器から電話をかけることができるかどうか設定します。

ミュージックプレーヤー設定…オーディオサービス対応Bluetooth機器からミュージックプレーヤーを自動起動させたり、オーディオサービスが切断された場合にミュージックプレーヤーを自動終了させるかどうかを設定します。

自局情報…FOMA端末に搭載しているBluetooth機能の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示し

ます。また、[カメラキー]［編集］を押して機器名称の変更もできます。

おしらせ

<着信音送出設定>

◆ヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中または接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<自局情報>

◆機器名称に絵文字を設定した場合、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

フェムトセル設定

ドコモが提供する「マイエリア」を利用できます。「マイエリア」は、ご自宅にフェムトセル小型基地局を設置し、ご自宅専用FOMAエリアを作ることで、安定した通話と通信がご利用いただけるサービスです。

- 「マイエリア」はお申し込みが必要な有料サービスです。
- 「マイエリア」の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

フェムトセルの設定

「フェムトセルサーチ」「フェムトセル優先在圏設定」を有効にするかどうかを設定します。

1 待受画面表示中▶[6]（1秒以上）▶「フェムトセル利用設定」▶「ON」

■ フェムトセルを優先的に使う場合

▶「フェムトセル優先在圏設定」▶「ON」

通常の通信とフェムトセルを使った通信の両方が可能な場合、フェムトセルの電波が弱いときに、フェムトセルを使った通信を利用するか（ON)、通常の通信を利用するか（OFF）を設定します。

2 [カメラキー]［完了］

おしらせ

◆フェムトセルエリア圏内では「[アイコン]」（フェムトセル利用可能）が表示されます。

◆フェムトセルを利用してFOMA音声電話／テレビ電話を発信した場合は、発信中／呼出中／通話中の画面に「フェムトセル××中」と表示されます。

フェムトセルの検索

フェムトセルを利用するとき、手動でフェムトセルエリアを検索して在圏に切り替えます。

- 「フェムトセル利用設定」が「ON」の場合に利用できます。

1 待受画面表示中▶[6]（1秒以上）▶「フェムトセルサーチ」

フェムトセルエリアの検索が開始されます。検索が終了すると、フェムトセルエリアの在圏／圏外をお知らせするメッセージが表示されます。

文字入力

文字入力 428
かな方式 429
タッチ入力 435
文字のコピー／切り取り／貼り付け 436
定型文や単語の登録 436
学習履歴クリア 438
ダウンロード辞書 438
2タッチ方式 438
T9入力方式 439
音声による文字入力 440

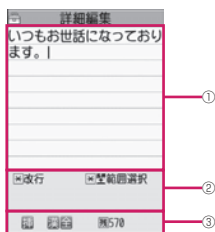
「区点コード一覧」については、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」をご覧ください。

文字入力

FOMA端末には文字の入力方式として、「かな方式」「2タッチ方式」「T9入力方式」の3方式が用意されています。ここでは、「かな方式」での文字入力を中心に説明します。

- 文字入力方式の設定、およびそれぞれの入力方式の特徴と入力方法については、次の項目をご覧ください。
  「上書きモード／挿入モードの切り替え」→P.429
  「かな方式」→P.429
  「2タッチ方式」→P.438
  「T9入力方式」→P.439

文字入力（編集）画面

文字入力（編集）画面は①文字入力エリア、②操作ガイダンスエリア、③情報表示エリアで構成されています。各エリアに表示されるアイコンの意味は以下のとおりです。

文字入力（編集）画面（サブメニュー→P.434）

① 文字入力エリア

アイコン	説明
|	カーソル（文字入力位置）
◀	エンドマーク（文字終了位置）

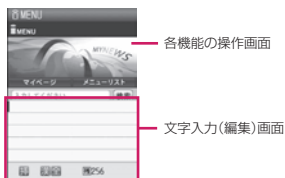
② 操作ガイダンスエリア

アイコン	説明
▲ ▼ 変換	[↕]で変換できるときに表示
▲ ▼ 全件 ▲ ▼ 検索	[↕]で電話帳検索ができるときに表示
◀ ▶ ▲ ▼ 領域	文字コピー（切り取り）または定型文登録の範囲選択時に表示
[*] 改行	[*]で改行できるときに表示
[*] あ／ぁ゛゜	[*]で入力した文字の小文字／大文字切り替えができるとき、または濁点／半濁点が付けられるときに表示
[#] AA→aa	[#]を押してCapsLockモードを解除できるときに表示→P.433
[#] aa→Aa	[#]を押してShiftモードにできるときに表示→P.433
[#] Aa→AA	[#]を押してCapsLockモードにできるときに表示→P.433
[*] 長押 範囲選択	[*]（1秒以上）で範囲選択ができるときに表示
[#] 長押 貼り付け	コピーまたは切り取りした文字があり、[#]（1秒以上）で貼り付けができるときに表示
[↗] 逆順	文字を入力中に[↗]で前の読みに戻せるときに表示（例：え→う）
[↗] デコレーション	メール本文入力中などに[↗]でデコメール®の作成ができるときに表示

③ 情報表示エリア

アイコン	説明
2 T9	文字入力方式（2タッチ方式／T9入力方式）を表示（かな方式は表示なし）
挿 上	挿入モード／上書きモード
漢 カナ 英 数	入力できる文字種
区	区点入力モード→P.435
全 半	全角モード／半角モード
小	小文字入力モード
Shift CAPS LOCK	Shiftモード／CapsLockモード→P.433
残	入力可能な残りバイト数（半角文字：1バイト、全角文字：2バイト）
入	ドコモUIMカードの電話帳、SMS本文入力時に、入力済み文字数を表示

分割画面

クイック検索など、画面によっては各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示される場合があります。

●以下の場合に、各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されます。
・クイック検索画面からの直接入力

● 操作する画面の切り替えかた

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているときは、サブメニューから「ウィンドウ切替」を選択すると、操作する画面を切り替えることができます。

文字入力方式の設定

3つの文字入力方式（かな方式、2タッチ方式、T9入力方式）のうち、利用する入力方式を設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「文字入力機能」▶「入力方式切替」▶文字入力方式を選択

おしらせ

◆文字の入力中に文字入力方式を切り替えることもできます。✉［文字切替］を1秒以上押すか、サブメニューから「入力設定」▶「入力方式切替」を選択します。

文字入力サイズの切り替え

文字入力（編集）画面の文字サイズを「小、中、大、特大」の4種類から選択します。
「文字の設定」→P.123

1 MENU▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「フォント設定」▶「文字サイズ」▶「個別設定」▶「文字入力」▶入力サイズを選択▶📷［完了］

予測機能（学習辞書）の設定

予測機能（学習辞書）を利用するかしないか（ON、OFF）を設定します。
●お買い上げ時にはあらかじめ予測候補が登録されています。
●予測機能（学習辞書）での文字の入力方法について→P.429

1 MENU▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「文字入力機能」▶「ワード予測（学習辞書）」▶「ON」または「OFF」

上書きモード／挿入モードの切り替え

文字を入力する際に「上書きモード」にするか、「挿入モード」にするかを設定します。「上書きモード」ではカーソルより後の文字が上書きされ、「挿入モード」ではカーソルの前に文字が挿入されます。

1 MENU▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「文字入力機能」▶「挿入／上書き」▶「挿入」または「上書き」

おしらせ

◆メールの本文入力画面では、本設定は反映されず挿入モードに設定されます。

かな方式

1つのダイヤルボタンを何回か押し、1つの文字を入力します。たとえば「う」は、「あ行（あいうえお）」の3番目なので、1を3回押します。
●文字割り当ての詳細については、「かな方式で入力できる文字」（P.531）をご覧ください。

漢字・ひらがな・カタカナ・英字・数字の入力

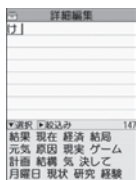
ひらがなの読みを入力し、それを漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字など、目的の文字に変換します。

● 予測機能を利用して入力する

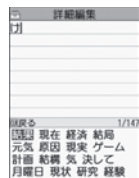
予測機能には、1文字入力するだけでその文字に対する用語を予測する機能や、選択した用語に続く用語を予測する機能があります。このため、少ない文字入力で簡単に文字を入力できます。
<例：「携帯電話」と入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢 全）」になっていない場合は、✉［文字切替］▶「漢字」で切り替えます。

2 読みの一部を入力

文字入力エリアに「け」が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、1文字入力しただけで、その文字に対する用語を先読みし、「予測候補」が表示されます。

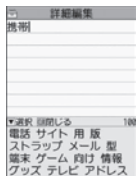
3 ▢

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補が選択できるようになります。

■ 入力したい文字が予測候補にない場合
▶CLR
読みの入力に戻ります。読みの続きを入力すると、予測候補も変更されます。または変換機能を利用します。
「入力したひらがなを変換する」→P.431

4 予測候補を選択

▶「携帯」を選択
文字入力エリアに選択した用語が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、選択した用語に続く予測候補が表示されます。

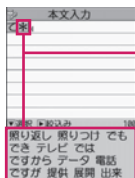
5 ▢▶次の予測候補を選択

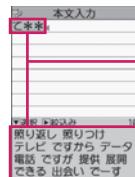
▶「電話」を選択

■ 予測候補表示を閉じる場合
▶MENU［閉］

おしらせ

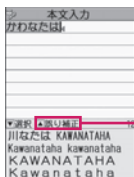
◆予測候補には、よく使う顔文字、絵文字なども表示されます。
◆漢字ひらがな、英字入力モード以外では予測候補は表示されません。
◆学習機能により、一度入力した用語は予測候補に追加されます。追加された予測候補は、反転しCLRを1秒以上押すと削除できます。
すべての予測候補の学習履歴を削除する場合は、「学習履歴クリア」で予測機能の学習履歴をクリアします。
◆シークレットモード、シークレット専用モードのときに入力した文字は、予測候補に登録されません。

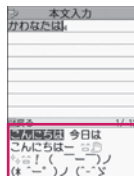
● 予測候補の絞り込みをする

予測候補が表示されているときに▢［絞込み］を押すことで、予測候補の絞り込みをすることができます。

1 文字を入力して、▢［絞込み］を押す

2 ▢［絞込み］または▢を押して予測候補の文字数を調整する

● 誤り補正を利用する

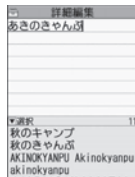
同じボタンに割り当てられた文字の入力を間違えたときは、間違いを補正した変換候補を、予測候補に表示させることができます。
<例：「こんにちは」の入力を間違えた場合>

1 2 0 5 4 6と続けて入力する

表示があるときに
使用できます。

2 [誤り補正]を押す

誤り補正をした変換候補が
予測候補に表示されます。

● 入力したひらがなを変換する

予測候補に目的の用語が表示されないときや、予測機能をOFFに設定しているときは、入力したひらがなを目的の用語に変換します。
<例：「秋のキャンプ」と入力する場合>

1 ひらがなを入力

■ ボタンを押し間違えた場合

▶CLRで文字を削除

■ ボタンを押す回数を間違えた場合

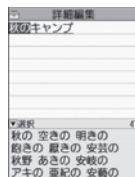
▶

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

■ ひらがなで確定する場合

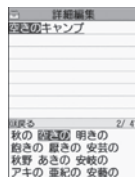
▶■［確定］

2 入力した文字を編集する

▶i［変換］で漢字やカタカナなどに変換
最初の文節の変換候補が反転表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されている場合

▶■［確定］
変換候補が確定し、次の文節が反転表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されていない場合

▶i［変換］または▶で変換する文字を選択
反転表示している文節の変換候補、予測候補が表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。

■ 変換範囲を変更する場合

▶で変換範囲を変更
変換した範囲に応じて変換候補も変更されます。

■ 英数カナ変換候補を表示する場合

▶［英数カナ］
入力したボタンに対応する英字、数字、カタカナの変換候補が表示されます。たとえば23(かさ)［英数カナ］と押すと、「AD」「23」「カサ」などの変換候補が表示されます。
2～4桁の数字を入力すると、日付や時刻として表示可能な数字は、日付や時刻などの変換候補も表示されます。

- 10/19
- 10月19日
- 10:19
- 10時19分
- 1019年

おしらせ

◆変換候補、予測候補に記号、絵文字、顔文字が表示された場合は、それらの文字に変換することもできます。
変換できる記号、絵文字、顔文字の読みについては以下の一覧をご覧ください。

- 「変換記号読み一覧」→P.534
- 「絵文字読み一覧」→P.535
- 「顔文字読み一覧」→P.539

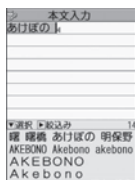
◆日時に関する読み（「ことし」「きょう」「いま」など）を入力すると、現在の日時に対応した変換候補も表示されます。

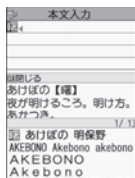
◆記号、絵文字、スペース、改行の入力など、その他の入力操作については、「入力を補助する便利なボタン」（P.433）をご覧ください。

◆変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.435

● 入力した文字列を辞典検索する

文字入力中に入力した単語の意味を調べることができます。

1 入力したひらがなを変換する前の未確定の状態

■ 変換してから辞典検索する場合
▶[i]［変換］

2 [✉]［辞書検索］

■ 和英辞典で検索する場合
▶[📷]［辞書切替］

■ 調べたい単語ではない場合
▶[✥]で目的の単語を反転
英字が反転されている場合は、自動的に英和辞典で検索します。
[MENU]［詳細］を押すと、検索結果の詳細が表示されます。
文字を確定するには[■]［選択］を押します。

おしらせ

◆英数カナ変換でも同じように単語を調べられます。英字を反転しているときは英和辞典、日本語（カタカナ）を反転しているときは国語辞典で検索します。

● 文字数とスクロールについて

■残文字数、入力済み文字数について

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。

- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 半角文字の濁点「ﾞ」と半濁点「ﾟ」は、1文字分としてカウントされます。

各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

■スクロールについて

文字入力（編集）画面では、[⇕]で行単位のスクロールができます。

● 入力中、編集中のデータ保護について

文字入力（編集）画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

■電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力（編集）画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。
電話帳の再編集について→P.95

■[⏤]を押した場合

文字の入力中に[⏤]を押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

＜入力中の内容を保存しないで終了する場合＞
「YES」を選択します。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。
[⏤]を押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。

＜文字の入力を続ける場合＞
「NO」を選択します。入力したデータはそのままで文字入力（編集）画面に戻ります。
[CLR]を押しても文字入力（編集）画面に戻ります。

■音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力（編集）画面に戻ります。音声通話中に[▷]でTASK MENU画面を表示させて、通話しながら文字入力（編集）画面に戻ることもできます。→P.394

その他の入力機能

文字入力（編集）画面を表示中に文字入力方式を切り替えたり、記号や絵文字などを入力するときは、サブメニューだけでなく、便利なボタンを利用できます。

● 入力を補助する便利なボタン

ボタン	説明
[文字切替]	●かな方式、T9入力方式では、[文字切替]を押すと文字種切替画面が表示され、項目を選択すると文字種が切り替わります。 ●2タッチ方式では[文字切替]を押すたびに、全角／半角が切り替わります。 全角 → 半角
[文字切替]（1秒以上）	文字入力方式を切り替えます。 [文字切替]（1秒以上）を押すたびに、次のように切り替わります。 かな方式 → 2タッチ方式 → T9入力方式
[絵記]	絵文字や記号を連続して入力したり、顔文字やURLを入力します。 一覧表示中は、MENUまたは📷を押してタブ表示を切り替えることができます。 ※ デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャは利用できるときのみ表示されます。 連続入力を終了するときはCLRを押します。 ●[絵記]を押したあと、デコメ絵文字®が利用できる場合、#を押すとカテゴリ別デコメ絵文字®入力画面が表示されます。→P.153
MENU [デコメ]	入力した読みがデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャに変換できる場合にMENU[デコメ]を押すと変換候補のデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャが表示されます。→P.153 入力した読みがデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャに変換できない場合は*を押してよみがなをデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャに追加することができます。→P.153
📷 [音声入力]	音声を文字に変換して入力します。→P.440
*	●文字の変換確定後は、改行マーク「↲」を入力し、カーソルを次の行に移動します（数字入力モード以外）。 ●かな方式、2タッチ方式では「濁点／半濁点」の入力や、入力した文字の「大文字／小文字」の切り替えが行えます。 ●改行マーク「↲」は文字と同じように削除したり上書きできます。
*（1秒以上）	文字の装飾やコピー、切り取り、定型文登録、単語登録の範囲を選択します。
▢	カーソルが文末にあるとき、▢を押すとスペースが入力され、▢を押すと改行マークが入力されます。
#	●T9入力方式の英字入力では押すたびに、大文字／小文字の入力モードが次のように切り替わります。 モード解除 → Shiftモード → CapsLockモード ・モード解除：すべて小文字で入力されます。 ・Shiftモード：モードを切り替えた直後の1文字のみ大文字で入力され、以降は小文字で入力されます（Shiftモードが解除されます）。 ・CapsLockモード：すべて大文字で入力されます。 ●T9入力方式ではかな入力と漢字入力を切り替えます。
#（1秒以上）	コピーまたは切り取りした文字を貼り付けます。
✓	●かな方式で文字を入力中に、前の読みに戻します。（例：え→う） ●デコメール®が作成できる場合、デコレーションメニューが表示されます。→P.155
✓（1秒以上）	文字の変換・貼り付け・切り取りなどの操作を1つ前の状態に戻します。

おしらせ

<[絵記]>

◆絵文字、デコメ絵文字®、全角記号、半角記号それぞれの画面の先頭の行に、過去に入力した絵文字・記号が表示されます。

◆メールアドレスの登録画面、iモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。

サブメニュー

❖文字入力（編集）画面（P.428）

音声で文字入力…P.440

コピー、切り取り、貼り付け…P.436

データ引用／入力…P.434

入力設定…文字入力について設定します。

- **入力方式切替**…文字入力方式（かな方式、2タッチ方式、T9入力方式）を切り替えます。
- **自動カーソル移動**…かな方式（漢字モード）で文字を入力中、1文字入力するごとに自動でカーソルを右に移動するように設定します。
  - 速い…約0.5秒後にカーソルが右に移動します。
  - 普通…約1.0秒後にカーソルが右に移動します。
  - 遅い…約1.5秒後にカーソルが右に移動します。
  - OFF…自動でカーソルを移動しません。
- **ワード予測**…予測機能（学習辞書）を利用するかしないか（ON、OFF）を設定します。
- **T9かな／漢字切替**…T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字に変換するか、かなに変換するか（漢字、かな）を設定します。
- **挿入／上書き**…入力中のモードを一時的に（挿入、上書き）に切り替えます。
  文字入力（編集）画面を表示したときは、「文字入力」で設定したモードになります。
  →P.429
- **文字サイズ**…文字入力（編集）画面の文字サイズ（小、中、大、特大）を設定します。
- **定型文登録**…定型文を登録します。→P.435
- **単語登録**…単語を登録します。→P.437

JUMP（文頭／文末）…カーソルを文頭または文末へ移動します。

元に戻す…文字の変換・貼り付け・切り取りなどの操作を1つ前の状態に戻します。5回まで戻せます。

ウィンドウ切替…分割画面が表示されているとき、操作する画面を切り替えます。→P.428

おしらせ

<入力方式切替>

◆郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

◆文字の入力中に[メール]［文字切替］を1秒以上押しても、押すたびに「かな方式→2タッチ方式→T9入力方式」のように切り替えられます。

<自動カーソル移動>

◆本機能は、数字入力モード以外で有効です。

◆カーソルが移動したあとでも、[＊]を押して入力した文字の小文字／大文字の切り替え、または濁点／半濁点を付けることができます。

<ワード予測><T9かな／漢字切替><挿入／上書き>

◆設定は現在の文字入力（編集）画面でのみ有効です。次に文字入力（編集）画面を表示したときには、「ワード予測（学習辞書）」（P.429）、「T9かな／漢字切替」（P.440）、「挿入／上書き」（P.429）のそれぞれの設定に戻ります。

文字の削除

[方向キー]で削除したい文字の前にカーソルをあわせ、[CLR]を短く（1秒未満）押します。カーソルの右側の文字が削除されます。

➡

■カーソルの右側に文字がない場合

カーソルの左側の1文字が削除されます。

■[CLR]を1秒以上押した場合

カーソルの右側にあるすべての文字が削除されます。

■カーソルより右側に文字がないときに[CLR]を1秒以上押した場合

すべての文字が削除されます。

定型文や電話帳やプロフィールなどからの引用

メール、サイト、メモなどの文字入力（編集）画面で、「定型文」「電話帳」「プロフィール」の内容や区点コードやバーコードリーダーからの読み取ったデータを利用できます。

● データ引用機能を利用する

- 引用できるのは、名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、位置情報、誕生日、メモ、iコンシェル 住所、iコンシェル URL、iコンシェル メモです。
- 一部の文字入力（編集）画面では引用できません。

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶[MENU]［サブメニュー］▶「データ引用／入力」▶以下の項目から選択

定型文…P.435

区点…P.435

電話帳…電話帳を検索して目的の電話帳を表示し、引用するデータを選択して入力します。
電話帳検索のしかた→P.97

プロフィール…引用するデータを選択して入力します。
バーコードリーダー …P.248

おしらせ

<プロフィール>
◆住所情報を引用する際、項目間に空白が入る場合があります。
◆所有者情報の誤入力により生じる問題については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 定型文を入力する

●お買い上げ時に登録されている「固定定型文」は、入力モードによって「漢字ひらがな」または「半角カタカナ」のどちらかで入力されます。
●定型文の修正／登録について→P.436

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶MENU［サブメニュー］▶「データ引用／入力」▶「定型文」▶フォルダを選択

2 定型文を選択▶■［選択］

おしらせ

◆定型文は以下のような文字入力（編集）画面で利用できます。
- メモの詳細編集
- ｉモードメールの題名／本文
- ｉモードメールの冒頭文／署名／引用符
- メール検索の題名入力
- 自動振分け設定の題名入力
- 定型文フォルダ名／定型文編集
- アラームタイトル編集
- ウェイクアップのメッセージ編集
- ｉモードのテキストボックスでの編集
- ｉアプリでの文字編集
- パスワードの入力

◆パスワード入力画面で定型文を入力した場合、入力された文字は「＊」で表示されます。
◆セキュリティフォルダ内の定型文を選択した場合、タイトル名ではなく、タイトルに関連付けられている定型文が入力されます。

● 区点コードで入力する

４桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力します。
●区点コードおよび区点コードで入力できる文字については、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」をご覧ください。
●画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

<例：「慶」（区点コード2336）を入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶MENU［サブメニュー］▶「データ引用／入力」▶「区点」

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「区」が表示されます。

2 区点コード 2 3 3 6 を入力

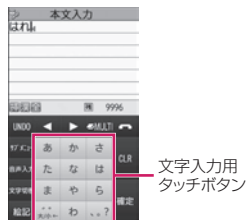
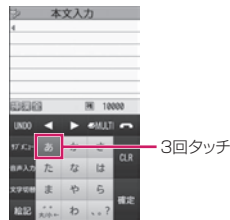
入力した区点コードに対応した文字（ここでは「慶」）が入力され、元の入力モードに戻ります。

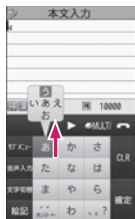
■ 入力した区点コードに対応する文字がない場合

スペースが入力されます。

タッチ入力

● 文字の入力

●タッチスタイルではタッチパネルを使用して２通りの文字入力（かな入力、フリック入力）ができます。
かな入力は、文字入力用タッチボタンを何回かタッチすることで、１つの文字を入力します。フリック入力は、文字入力用タッチボタンをタッチしたまま上下左右にスライドさせることで、１つの文字を入力します。

■かな入力で「う」を入力する場合

「う」は、「あ行（あいうえお）」の３番目なので、「あ」を３回タッチします。

■フリック入力で「う」を入力する場合

「う」は、「あ行（あいうえお）」なので、「あ」をタッチして、ガイドウィンドウの「う」が表示された上方向に指をスライドさせます。

おしらせ

◆フリック入力のときは、カーソルは自動移動しません。
◆タッチスタイルのタッチパネルを使用した文字入力は、「入力方式切替」が「2タッチ方式」や「T9入力方式」のときでもかな入力もしくはフリック入力による文字入力となります。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

●コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字のコピー（または切り取り）

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶[＊]（1秒以上）

2 コピーまたは切り取りする先頭の文字の前にカーソルを移動▶[■]［始点］

3 コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動▶[■]［終点］▶「コピー」または「切り取り」

選択した範囲の文字が記憶されます。全角5,000文字、半角10,000文字まで記憶できます。
サブメニューから「コピー」または「切り取り」を選択してもコピーや切り取りができます。

■ 切り取りした場合
選択した範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

おしらせ

◆予測候補が表示されているとコピーや切り取りはできません。

文字の貼り付け

●コピーまたは切り取った文字は、次にほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで、何度でも貼り付けることができます。

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶貼り付けする位置にカーソルを移動▶[＃]（1秒以上）

サブメニューから「貼り付け」を選択しても貼り付けることができます。

おしらせ

◆コピーまたは切り取った文字がない場合は利用できません。

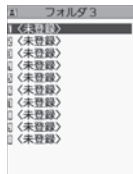
定型文や単語の登録

新しい定型文の作成

よく使う言葉をあらかじめ登録しておき、文字入力の際に呼び出して入力します。
セキュリティフォルダにはサイトなどのパスワード入力画面で入力するパスワードを、あらかじめ定型文として登録することができます。
●セキュリティフォルダの定型文の利用方法について→P.405
●定型文は6つのフォルダに分けて保存されます。
フォルダ1～2には、あらかじめ固定定型文がそれぞれ10件登録されています。
フォルダ3～5、セキュリティフォルダには自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。
●固定定型文も修正できます。ただし、入力モードによる「漢字ひらがな／半角カタカナ」の自動判別入力は行われません。修正された内容で入力されます。
●セキュリティフォルダ以外のフォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

1 [MENU]▶「便利ツール」▶「next」▶「定型文／単語登録」▶「定型文」▶フォルダを選択

セキュリティフォルダを選択した場合は、端末暗証番号を入力します。

定型文フォルダ一覧画面

定型文一覧画面

左画面：サブメニュー→P.437
右画面：サブメニュー→P.437

■ メールから起動する場合
▶MENU▶「メール」▶「メール設定」▶「定型文／単語登録」

■ 定型文の内容を変更する場合
▶変更したい定型文を反転▶📷［編集］

■ 文字入力（編集）から登録する場合
▶文字入力（編集）画面（P.428）▶＊（1秒以上）▶定型文登録する先頭の文字の前にカーソルを移動▶■［始点］▶定型文登録する終わりの文字までカーソルを移動▶■［終点］▶定型文登録▶フォルダを選択

2「<未登録>」を反転▶📷［編集］▶定型文を入力

■ セキュリティフォルダの場合
▶「<未登録>」を反転▶📷［編集］▶定型文を入力▶タイトルを入力

■ 文字入力（編集）から登録する場合
▶「<未登録>」を反転▶■［選択］

おしらせ

◆メール用の定型文に絵文字を使用することもできます。
◆文字入力（編集）から登録する場合、予測候補が表示されていると定型文登録できません。

サブメニュー

❖定型文フォルダ一覧画面（P.437）

フォルダ名編集…選択したフォルダの名前を変更します。
フォルダ名初期化…お買い上げ時のフォルダ名に戻します。
ｉＣ全送信…P.380
赤外線全送信…P.379
※ セキュリティフォルダではサブメニューは利用できません。

サブメニュー

❖定型文一覧画面（P.437）

編集…選択した定型文を編集します。
ｉＣ送信※…P.380
赤外線送信※…P.379
1件削除、全削除…登録した定型文を削除します。
※ セキュリティフォルダのときは利用できません。

おしらせ

＜1件削除、全削除＞
◆フォルダ1またはフォルダ2の定型文を削除すると、お買い上げ時の定型文に戻ります。

よく使う単語の登録

よく使う単語に好きな読み（ひらがな）を付けて単語登録します。文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換できるようにします。
●単語は100件まで登録できます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「定型文／単語登録」▶「単語登録」

単語登録画面（サブメニュー→P.438）

■ メールから起動する場合
▶MENU▶「メール」▶「メール設定」▶「定型文／単語登録」

■ 文字入力（編集）から登録する場合
▶文字入力（編集）画面（P.428）▶＊（1秒以上）▶単語登録する先頭の文字の前にカーソルを移動▶■［始点］▶単語登録する終わりの文字までカーソルを移動▶■［終点］▶単語登録

2「<新規登録>」▶単語を入力▶読みを入力

■ 単語の内容を確認する場合
▶確認する単語を選択

■ 単語の内容を変更する場合
▶変更したい単語を反転▶📷［編集］

■ 文字入力（編集）から登録する場合
▶「<新規登録>」▶選択した範囲の単語を再編集▶読みを入力

おしらせ

◆登録した単語は予測機能でも入力できるようになります。
◆文字入力（編集）から登録する場合、予測候補が表示されていると単語登録できません。

サブメニュー

❖単語登録画面（P.437）

編集…登録した単語を編集します。
iC送信、iC全送信…P.380
赤外線送信、赤外線全送信…P.379
microSDへコピー…P.367
削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

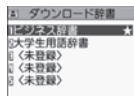
学習履歴クリア

一度入力した文字列を自動的に記憶し、予測候補にする機能（学習履歴）をクリア（お買い上げ時の初期状態に戻す）します。

1 **MENU▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「文字入力機能」▶「学習履歴クリア」▶端末暗証番号を入力**

ダウンロード辞書

iモードのサイトなどからダウンロードした辞書を変換用辞書として設定します。
- ダウンロード辞書は5件まで登録できます。
- ダウンロード時は有効に設定されます。
- 辞書のダウンロードのしかたについて→P.210

1 **MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「ダウンロード辞書」**

ダウンロード辞書画面（サブメニュー→P.438）

2 **辞書を選択**

有効に設定した辞書には「★」が付きます。

■ **無効に設定する場合**
▶「★」が付いている辞書を選択
無効に設定されて「★」が消えます。

おしらせ

◆顔文字のダウンロード辞書を有効にすると、変換候補、予測候補のみ顔文字データが反映されます。

サブメニュー

❖ダウンロード辞書画面（P.438）

タイトル編集…選択したダウンロード辞書のタイトルを編集します。
辞書ファイル設定…ダウンロード辞書を有効または無効に設定します。
辞書情報…ダウンロード辞書の情報（初期タイトル、バージョン、製作者）を表示します。
1件削除、全削除…ダウンロード辞書を1件またはすべて削除します。

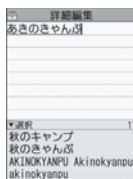
2タッチ方式

2つのダイヤルボタンを押し、1つの文字を入力します。
たとえば「う」は、「あ行（あいうえお）」の3番目なので、1 3と押します。
- 文字割り当ての詳細については、「2タッチ方式で入力できる文字」（P.532）をご覧ください。
- 予測機能で予測候補を選択する方法、および入力したひらがなを目的の用語に変換する方法は、かな方式と同じです。→P.429

<例：「あきのきゃんぷ」と入力する場合>

1 **文字入力（編集）画面（P.428）▶全角入力モードにする**

「全角入力モード（全）」になっていない場合は、✉［文字切替］で切り替えます。

2 **ひらがなを入力**

おしらせ

◆「濁点／半濁点」の入力や「大文字／小文字」の切り替えは＊でも行えます。

T9入力方式

少ないボタン操作（1文字1回）で文字を入力し、予測・変換候補の中から目的の文字や用語を選択します。

たとえば「春」と入力したいときは、「は行」の[6]、「ら行」の[9]を押し、表示された予測・変換候補の中から「春」を選択します。

- T9入力方式の入力補助機能として、予測・変換候補に目的の文字がないときに読みを正しくする「読み編集機能」があります。
- 文字割り当ての詳細については、「T9入力方式で入力できる文字」（P.533）をご覧ください。
- T9入力方式が働くのは、入力モードが「漢字ひらがな」「カタカナ」「英字」のときです。「数字」では自動的に「かな方式」になります。

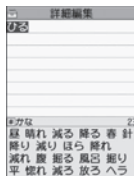
<例：「春」と入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢全）」になっていない場合は、[✉]［文字切替］▶「漢字」で切り替えます。

2 文字を入力

[6]（は行）　[9]（ら行）

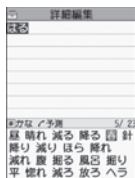
「は行」と「ら行」の組み合わせから予測できる予測・変換候補が表示されます。

■ 入力した文字が多すぎる場合

認識できない文字がグレーで表示されます。この場合、[◐]で変換範囲を変更すると、予測・変換候補も変更されます。

■ 予測・変換候補の表示を切り替える場合

漢字／かな：[#]　英語／日本語：[✉]

3 [⬍]

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、変換候補が選択できるようになります。

■ 文字の入力に戻る場合

▶[CLR]

■ 反転した読みに対する予測候補を表示する場合

予測・変換候補を反転し、[✓]を押すと、反転した候補の読みに対する予測候補が表示されます。

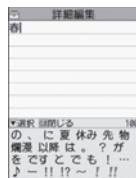
たとえば「春」に対する予測候補としては、「春休み」「遥か」などが表示されます。

■ 反転した読みに対する変換候補を表示する場合

予測・変換候補を反転し、[i]［変換］を押すと、反転した候補の読みに対する変換候補が表示されます。

たとえば「春」に対する変換候補としては、「張る」「貼る」などが表示されます。

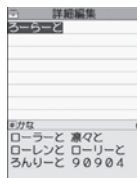
4 予測・変換候補を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。

● 読みを編集する

<例：「らんらんと」と入力する場合>

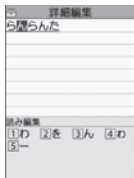
1 文字を入力

[9]（ら行）、[0]（わ行）、[9]（ら行）、[0]（わ行）、[4]（た行）

この場合、予測・変換候補の中に「らんらんと」という文字はありません。

2 [📷]［読み］

読み編集モードになり、カーソルが先頭に移動します。操作ガイダンスエリアには、「ら行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合[1]（ら）を押します。

文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して読みを修正します。

■ 読みを修正しない場合
▶[□]で次に修正する文字にカーソルを移動

■ 途中で編集を終了する場合
▶[カメラ]［戻る］
終了時の読みに対する予測・変換候補が表示されます。

T9変換モードの設定

T9入力方式で文字を入力するとき、入力候補を漢字やカタカナで表示するか、ひらがなで表示するかを設定します。

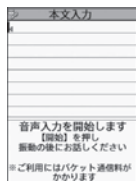
1 **[MENU]▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「文字入力機能」▶「T9かな／漢字切替」▶「漢字」または「かな」**

音声による文字入力

音声を文字に変換してメールの作成やクイック検索を行います。

- 音声入力メールはお申し込みが必要な有料サービスです。はじめて音声入力サービスをご契約された日から30日間はサービスを無料でご利用いただけます（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。音声入力メールの利用には、別途パケット通信料がかかります。詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 音声での入力は、以下の機能で利用できます。
  - ｉモードメールの題名、本文入力
  - クイック検索のキーワード入力
  - SMSの本文入力（「SMS設定」で「本文入力設定」が「日本語入力（70文字）」の場合のみ）
- 以下の場合などは、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声が中断された場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、雑音を出した場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合
- イヤホンマイク（別売）などの使用時はマイク部分を口に近づけて発声してください。
- Wi-Fiシングルモードでは音声入力機能を利用できません。

<例：メールの本文に音声で「お元気ですか」と入力する場合>

1 **メールの本文入力画面（P.152）▶[MENU]［サブメニュー］▶「音声で文字入力」**

音声入力開始画面

通信を開始するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後非表示）」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

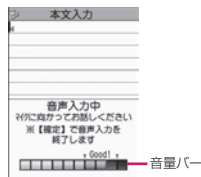
2 **[■]［開始］**

バイブレータが振動しますので、音声入力を開始します。

■ 音声入力を終了する場合
▶[カメラ]［終了］
メールの本文入力画面に戻ります。

■ 音声入力についての注意事項などを表示する場合
▶[メール]［ガイド］

3 **「お元気ですか」と発声する▶[■]［確定］**

30秒以内に発声してください。
クイック検索から起動した場合は、10秒以内に発声してください。
約3秒間無音となった場合は、自動的に音声の入力は終了します。
発声した音声の音量が音量バーに表示されます。

音声入力中画面

音声入力後はバイブレータが振動し、音声入力メールサーバと通信して音声が文字に変換されます。変換が完了すると、変換された文字と変換候補が表示されます。

■ 音声入力を中断する場合

▶[カメラ]［中止］または[CLR]

バイブレータが振動し、音声入力開始画面に戻ります。

4 変換された文字を確認する

[左右キー]で文節を移動します。変換範囲を変更することはできません。

■ 変換候補から選択して入力する場合

▶[上下キー]▶変換候補を選択

■ 再入力する場合

▶[カメラ]［再入力］▶「YES」

音声入力された内容を破棄し、音声入力開始画面に戻ります。

■ 通常の文字入力で編集を行う場合

▶[メール]［編集］

入力内容をすべて確定し、メールの本文入力画面に戻ります。

5 [i]［全確定］

入力内容をすべて確定し、音声入力開始画面に戻ります。

最後の文節を反転表示しているときに[■][確定]を押しても入力内容がすべて確定されます。

おしらせ

◆音声入力メールで文字変換したときに表示される変換候補と通常の文字入力で表示される変換候補では、表示される内容が異なります。

ネットワークサービス

留守番電話サービス........................ 444
電源OFF・圏外時着信お知らせサービス........................ 445
キャッチホン........................ 445
転送でんわサービス........................ 446
迷惑電話ストップサービス........................ 447
番号通知お願いサービス........................ 448
デュアルネットワークサービス........................ 448
英語ガイダンス........................ 448
ドコモへのお問合せ........................ 449
通話中機能選択........................ 449
遠隔操作設定........................ 450
マルチナンバー........................ 450
2in1 452
OFFICEED 456
追加サービス........................ 457

■利用できるネットワークサービス

●FOMA 端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	必要	有料	P.444
電源OFF・圏外時着信お知らせサービス	不要	無料	P.445
キャッチホン	必要	有料	P.445
転送でんわサービス	必要	無料	P.446
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	P.447
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.66
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.448
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.86
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.86
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P.448
英語ガイダンス	不要	無料	P.448
マルチナンバー	必要	有料	P.450
2in1	必要	有料	P.452
OFFICEED	必要	有料	P.456
メロディコール	必要	有料	P.109
声の宅配便	不要	無料	P.77

●サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。

●「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

●「OFFICEED」の詳細については、ドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/offic eed/）をご確認ください。

●本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA 端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

●お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

留守番電話サービス

FOMAの電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないとき、Wi-Fiシングルモードのときなどに、FOMA電話番号にFOMA音声電話／テレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 留守番電話サービスの対象は、FOMA 電話番号にかかってきた電話のみです。
- 「伝言メモ設定」（P.87）を同時に設定しているときに、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきたFOMA音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます
- 伝言メッセージは1件あたり最長3分、FOMA音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件録音／録画でき、最長72時間保存されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

↓

お客様のFOMA端末にFOMA音声電話／テレビ電話がかかる

↓

FOMA音声電話／テレビ電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

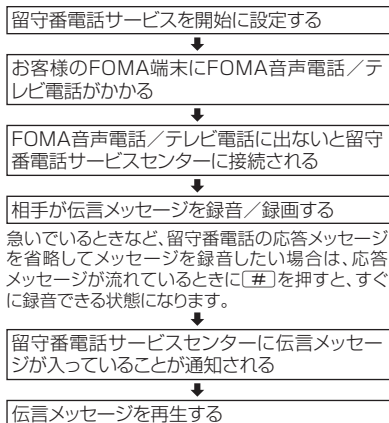
↓

相手が伝言メッセージを録音／録画する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに録音できる状態になります。

↓

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

↓

伝言メッセージを再生する

留守番電話サービスの利用

1 [MENU]▶「電話機能」▶「留守番電話サービス」▶以下の項目から選択

留守番メッセージ再生※…音声電話の伝言メッセージまたはテレビ電話の伝言メッセージのどちらを再生するか選択すると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。

このあとは音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。

留守番サービス開始※…留守番電話サービスを開始します。呼出時間（000～120秒）を0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

留守番サービス停止※…留守番電話サービスの利用を一時的に停止します。

留守番呼出時間設定…呼出時間（000～120秒）のみを変更します。

留守番電話サービスセンターに接続されるまでの間は、電話に出ることができます。

留守番設定確認※…留守番設定確認画面のサブメニューから、「留守番サービス開始、留守番サービス停止、呼出時間設定、テレビ電話対応ON、テレビ電話対応OFF」が選択できます。

留守番サービス設定※…音声電話またはテレビ電話の留守番電話サービスの設定を変更します。

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。

このあとは音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

メッセージ問合せ…伝言メッセージがあるかどうかを確認します。

件数増加鳴動設定…留守番電話サービスセンターで預かっている伝言メッセージが増えたとき、専用のお知らせ音を鳴らします。

FOMA音声電話／テレビ電話による伝言メッセージのときのみ有効です。

表示消去…待受画面に表示された「[留守番電話アイコン]」（留守番電話アイコン）などを消去します。

留守番テレビ電話設定…テレビ電話の伝言メッセージに対応するかどうかを設定します。

※ 2in1のモードがデュアルモードの場合は、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。ただし、「留守番設定確認」ではBモードの場合も選択画面が表示されます。

おしらせ

◆キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューよりDTMF送信モードに切り替えてください。→P.73

<留守番サービス停止>

◆サービス停止中でも月額使用料はかかります。

<留守番設定確認>

◆2in1のBナンバーの設定内容を確認した場合は、サービス中か停止中のみの情報が表示されます。

<メッセージ問合せ>

◆留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、FOMA音声電話／テレビ電話による伝言メッセージは、待受画面に「[留守番電話アイコン]」（留

守番電話アイコン）などと「［留守］」（「留守番電話あり」のデスクトップアイコン）を表示します。
◆留守番電話アイコンはお預かりしている伝言メッセージの件数によって、「1」「2」「3」…「10」（10件以上）と表示が替わります。
表示される伝言メッセージの件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
◆メッセージ問合せ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

<件数増加鳴動設定>
◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しない電話番号に対する伝言メッセージが録音されても、お知らせ音は鳴りません。

<表示消去>
◆留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問合せを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

電源OFF・圏外時着信お知らせサービス

電源が入っていないときやFOMA圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMS（留守番着信通知）でお知らせします。

1 **MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「着信通知」▶以下の項目から選択**

開始…着信通知を開始します。

- **全着信**…すべての着信を通知します。
- **発番号あり**…番号を通知している着信のみ通知します。

停止…着信通知を受けないようにします。

設定確認…着信通知の設定を確認します。

おしらせ

<開始>
◆SMS一括拒否を設定している場合でも、履歴は通知されます。

キャッチホン

FOMA音声電話中に別のFOMA音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しいFOMA音声電話に出ることができるサービスです。また、通話中のFOMA音声電話を保留にして、別の相手へFOMA音声電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」（P.449）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始してもFOMA音声通話中にかかってきたFOMA音声電話に応答することができません。
- キャッチホンを開始し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していれば、FOMA音声通話中にテレビ電話の着信があったとき、テレビ電話中にFOMA音声電話またはテレビ電話の着信があったときに、あとからかかってきた着信に応答することができます。ただし、この場合は通話中のFOMA音声電話やテレビ電話を終了する必要があります（現在の通話を保留にすることはできません）。→P.449

キャッチホンの利用

1 **MENU▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「キャッチホン」▶以下の項目から選択**

開始…キャッチホンを有効にします。

停止…キャッチホンを無効にします。

設定確認…キャッチホンの設定を確認します。

おしらせ

<開始>
◆FOMA音声電話を通話中保留にしているときにFOMA音声電話がかかってくると、保留が解除され通話中の状態となります。

通話中のFOMA音声電話を保留にして、かかってきたFOMA音声電話に出る

1 **通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［通話］**

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきたFOMA音声電話を受けます。

2 **最初の相手との通話に切り替える**

■ あとからかかってきた相手との通話を終了する場合
▶[終話]▶[通話]

あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合
▶[通話]

あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
[通話]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ 保留中のFOMA音声電話を終了する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「保留呼切断」

通話中のFOMA音声電話を終了して、かかってきたFOMA音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[終話]
最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。

2 [通話]
あとからかかってきたFOMA音声電話を受けます。

通話中のFOMA音声電話を保留にして、別の相手にFOMA音声電話をかける

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤル▶[通話]
最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。
電話帳、着信履歴、リダイヤルからも検索することができます。→P.75、98

2 最初の相手との通話に切り替える

■ 新しくかけた相手との通話を終了する場合
▶[終話]▶[通話]
新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ 新しくかけた相手との通話を保留にする場合
▶[通話]
新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
[通話]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

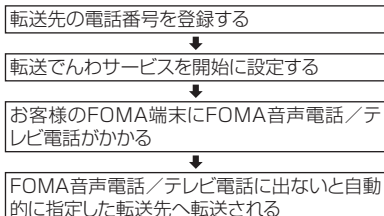
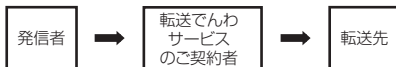
■ 保留中の音声電話を終了する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「保留呼切断」

転送でんわサービス

FOMAの電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったとき、Wi-Fiシングルモードのときなどに、FOMA音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

●転送でんわサービスの対象は、FOMA 電話番号にかかってきた電話のみです。
●「伝言メモ設定」（P.87）を同時に設定しているときに、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
●転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきたFOMA音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する
⬇
転送でんわサービスを開始に設定する
⬇
お客様のFOMA端末にFOMA音声電話／テレビ電話がかかる
⬇
FOMA音声電話／テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者に通話料がかかります。　転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

転送でんわサービスの利用

1 MENU▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「転送でんわ」▶以下の項目から選択

転送サービス開始※1…転送先や呼出時間を設定し、「開始」を選択します。

- **転送先設定**…転送先の電話番号を入力します。
  設定すると「転送先設定」に「★」が付きます。
  - [上]または[下]を押すと電話帳を検索して入力できます。

電話帳の検索のしかた→P.97

- **呼出時間設定**…呼出時間（000～120秒）を入力します。
  設定すると「呼出時間設定」に「★」が付きます。0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。
- **開始**…転送でんわサービスを有効にします。

転送サービス停止※1…転送でんわサービスを無効にします。

転送先変更…転送先の電話番号を入力し、「転送先変更」または「転送先変更＋転送開始」を選択します。「転送先変更＋転送開始」を選択すると、同時に転送でんわサービスを「開始」に設定できます。

転送先通話中時設定※2…転送先が通話中のとき、かかってきたFOMA音声電話／テレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送サービス設定確認※1…転送でんわサービスの設定を確認します。

※1 2in1のモードがデュアルモードの場合は、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。ただし、「転送サービス設定確認」ではBモードの場合も選択画面が表示されます。

※2「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。

おしらせ

<転送サービス開始>

◆2in1のモードがBモードの場合、「転送先設定」と「呼出時間設定」は選択できません。

◆転送でんわサービスをいったん停止したあと、同じ転送先と呼出時間で再開する場合は、転送先電話番号や呼出時間の設定は不要です。

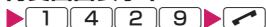
<転送先変更>

◆2in1のモードがBモードの場合、「転送先変更＋転送開始」は選択できません。

<転送サービス設定確認>

◆2in1のBナンバーの設定内容を確認した場合は、「開始中」または「停止中」のみの情報が表示されます。

転送ガイダンスの有無の設定

1 待受画面表示中
▶［1］［4］［2］［9］▶［発信］

- 音声ガイダンスに従って設定してください。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。また、迷惑電話ストップサービス設定サイトに接続し、着信拒否する電話番号の登録・確認・削除を行うこともできます。

- 迷惑電話ストップサービスを利用できるのは、FOMA電話番号にかかってきた電話番号のみです。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、「着信履歴」にも記憶されません。

迷惑電話ストップサービスの利用

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「迷惑電話ストップ」▶以下の項目から選択

着信番号拒否登録…最後に着信応答した迷惑電話を拒否登録します。

番号指定拒否登録…電話番号を入力、もしくは電話帳や着信履歴などから引用して拒否登録します。

- ［上］または［下］を押すと電話帳を検索して入力できます。
  電話帳の検索のしかた→P.97
- ［左］を押すと着信履歴、［右］を押すとリダイヤルを検索して入力できます。

全登録番号削除…拒否登録をすべて削除します。

最終登録番号削除…最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

登録件数確認…拒否登録した件数を確認します。

詳細設定…Web To機能で迷惑電話ストップサービス設定サイトに接続し、登録した電話番号の確認・削除ができます。

おしらせ

<詳細設定>

◆迷惑電話ストップサービス設定サイトは、iモード契約の有無に関わらず利用できます。

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこないFOMA音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。ガイダンス応答後は自動的に電話を終了します。

- 番号通知お願いサービスの対象は、FOMA 電話番号にかかってきた電話のみです。
- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスの利用

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「番号通知お願いサービス」▶以下の項目から選択

開始…番号通知お願いサービスを開始します。

停止…番号通知お願いサービスを停止します。

設定確認…番号通知お願いサービスの設定を確認します。

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末のFOMA電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA 端末と mova 端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

デュアルネットワークサービスの利用

1 MENU▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「デュアルネットワーク」▶以下の項目から選択

デュアルネットワーク切替…切り替えにはネットワーク暗証番号の入力が必要です。

ネットワーク暗証番号について→P.128

デュアルネットワーク状態確認…現在デュアルネットワークサービスを利用可能かどうかを確認します。

おしらせ

◆海外でFOMA端末を利用して帰国したあと、mova端末でデュアルネットワークサービスを利用する場合は、FOMA端末の電源を入れてから利用してください。

<デュアルネットワーク切替>

◆ネットワークの切り替えを行う場合は、利用可能状態の端末の通信を終了してから切り替えの操作を行ってください。

英語ガイダンス

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、FOMA圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

項目	言語	ガイダンス
発信時（各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを含む）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	英語	英語ガイダンスが流れます。
着信時（相手がかけてきたときに相手に流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、そのあとに英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、そのあとに日本語ガイダンスが流れます。

英語ガイダンスの利用

1 MENU▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「英語ガイダンス」▶以下の項目から選択

ガイダンス設定…設定内容を以下の項目から選択します。

- **発信時＋着信時**…発信時の言語を「日本語、英語」から選択し、次に着信時の言語を「日本語、日本語＋英語、英語＋日本語」から選択します。
- **発信時**…発信時の言語のみを「日本語、英語」から選択します。
- **着信時**…着信時の言語のみを「日本語、日本語＋英語、英語＋日本語」から選択します。

ガイダンス設定確認…ガイダンスの設定を確認します。

おしらせ

◆発信者側･受信者側ともに本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

ドコモへのお問合せ

ドコモ総合案内･受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

●お使いのドコモUIMカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「ドコモへのお問合せ」▶以下の項目から選択

ドコモ故障問合せ…故障の問い合わせ先へ電話をかけます。

ドコモ総合案内・受付…総合案内・受付へ電話をかけます。

海外紛失・盗難等…海外から紛失、盗難などの問い合わせ先に電話をかけることができます。

海外故障…海外から故障問い合わせ先に電話をかけることができます。

通話中機能選択

「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中にかかってきたFOMA音声電話／テレビ電話および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

●「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。

●「通話中の着信動作選択」を利用するには、「通話中着信設定」を「開始」に設定してください。なお、「キャッチホン」を「開始」に設定している場合は、「通話中着信設定」を「開始」に設定する必要はありません。

通話中の着信動作の選択

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中の着信動作」▶「通話中の着信動作選択」▶以下の項目から選択

留守番電話…「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきたFOMA音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。

転送でんわ…「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきたFOMA音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。

着信拒否…通話中にかかってきたFOMA音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。

通常着信…FOMA音声通話中にFOMA音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。FOMA音声通話中（「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき）、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。

- 通話中のFOMA音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきたFOMA音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に応答することができます。
- 通話中にかかってきたFOMA音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、サブメニューから手動で操作できます。→P.450
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

「通話中の着信動作選択」で選択した機能設定を有効／無効にしたり、設定内容を確認します。

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中の着信動作」▶「通話中着信設定」▶以下の項目から選択

開始…「通話中の着信動作選択」の設定を有効にします。

停止…「通話中の着信動作選択」の設定を無効にします。

設定確認…「通話中の着信動作選択」の設定を確認します。

通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答

● 通話中と着信が同じ種類の場合

<例：通話中のFOMA音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［終話］

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。

■ テレビ電話、64Kデータ通信の場合

▶［終話］

2 [通話キー]

かかってきたFOMA音声電話を受けます。

■ 64Kデータ通信の場合

▶パソコン側で着信操作を行う

● 通話中と着信の種類が異なる場合

FOMA音声通話中にテレビ電話または64Kデータ通信の着信があったとき、テレビ電話中にFOMA音声電話または64Kデータ通信の着信があったとき、64Kデータ通信中にFOMA音声電話またはテレビ電話の着信があったときは次の操作をすれば通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答できます。

<例：通話中のテレビ電話を終了して、かかってきたFOMA音声電話に出る場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえ、音声電話着信中画面が表示される

64Kデータ通信の着信があった場合は「ププ・・ププ・・」という音は鳴りません。

2 [通話キー]

■ 64Kデータ通信の場合

▶[終話キー]▶パソコン側で着信操作を行う

手動で着信拒否したり、転送でんわサービスや留守番電話サービスに接続

<例：通話中着信設定が「通話中着信設定開始」、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、[MENU]［サブメニュー］

2 かかってきた電話の対応方法を選択

■ かかってきた電話を着信拒否する場合

▶「着信拒否」

■ かかってきた電話を転送先へ転送する場合

▶「転送でんわ」

■ かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合

▶「留守番電話」

いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

遠隔操作設定

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外でネットワークサービスを利用する場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」を「開始」にしておく必要があります。
- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 [MENU]▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「遠隔操作設定」▶以下の項目から選択

開始…遠隔操作を有効にします。

停止…遠隔操作を無効にします。

設定確認…遠隔操作の設定を確認します。

マルチナンバー

FOMA端末のFOMA電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけます。

- 2in1と同時に利用することはできません。
- 発着信中画面には、マルチナンバー（基本契約番号、付加番号1、付加番号2）に対応した登録名が表示されます。
- リダイヤル／発信履歴や着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

マルチナンバーの利用

1 [MENU]▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

通常発信番号設定…通常発信するときに使用する電話番号を設定します。

- **基本契約番号**※…ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。
- **付加番号1、付加番号2**※…付加番号で発信するように設定します。

通常発信番号設定確認…通常発信するときに使用する電話番号を確認します。

電話番号設定…マルチナンバーご契約時に通知された付加番号をFOMA端末に登録します。

▶付加番号を登録（または変更）する項目を反転▶[カメラキー]［編集］▶登録名を入力▶付加番号を入力

付加番号は26桁まで入力できます。
- すでに登録名、付加番号を編集した項目を選択した場合、詳細が表示されます。
- 「電話番号設定」を選択したときに表示されるマルチナンバー電話番号設定画面のサブメニューについて→P.451

着信音設定…付加番号1または付加番号2に着信したときの着信音をそれぞれ設定します。
→P.106

※ 登録名を変更している場合は、変更した登録名が表示されます。

おしらせ

◆ドコモUIMカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。

<電話番号設定>

◆登録名は、マルチナンバーの各種設定操作を行うときや、通話ごとに使用する電話番号を選択したときなどに表示されます。

<着信音設定>

◆着信音の設定が重なった場合の優先順位については、P.107をご覧ください。

サブメニュー

❖マルチナンバー電話番号設定画面

編集…基本番号の名前または付加番号の電話番号と名前を編集します。

1件削除…基本番号の名前または付加番号の電話番号と名前を1件削除します。

全削除…基本番号の名前とすべての付加番号の電話番号と名前を削除します。

1回の通話ごとにFOMA電話番号を切り替えて発信

電話をかけるたびに使用するFOMA電話番号を切り替えて発信します。

1 電話番号入力画面（P.70）▶MENU［サブメニュー］▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

基本契約番号※…ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。

付加番号1、付加番号2※…付加番号で発信するように設定します。

設定消去…設定を解除し「通常発信番号設定」の設定で発信するように設定します。

※ 登録名を変更している場合は、変更した登録名が表示されます。

2 [発信キー]

音声電話を発信します。

■ **テレビ電話を発信する場合**

▶[カメラキー]［テレビ電話］

おしらせ

◆電話帳の詳細画面、リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面などのサブメニューからも電話番号を切り替えて発信できます。

2in1

1つの携帯電話で、2つの電話番号・2つのメールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 本機能では、お客様のFOMA電話番号・メールアドレスを「Aナンバー・Aアドレス」、追加のFOMA電話番号・メールアドレスを「Bナンバー・Bアドレス」と呼びます。
- マルチナンバーと同時に利用することはできません。

モード

2in1では、モードを「Aモード」「Bモード」または「デュアルモード」に設定できます。

モード	内容
Aモード	お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード	2in1電話番号（Bナンバー）での発信とｉモードメール（Bアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード	A･Bモードの両方の機能を備えたモードです。

- モードごとに利用できるサービスについては別表1（P.453）をご覧ください。

おしらせ

◆Bモードにすると、通信モードがFOMAシングルモードとなります。Wi-Fi機能は利用できません。

◆Bナンバー・Bアドレスの情報は、以下の操作で取得できます。

- Bナンバー：Bナンバーのプロフィール画面からサブメニューの「Bナンバー取得」を実行する→P.406
- Bアドレス：Bナンバーのプロフィールの登録時にメールアドレスの「自動取得」を実行する→P.406

◆2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

◆ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。

◆2in1契約済みのドコモUIMカードから未契約のドコモUIMカードに差し替える場合は、Aモードに設定してから差し替えてください。

◆2in1利用中にドコモUIMカードを入れ替える場合は、Bナンバーのプロフィールを初期化したあと、ドコモUIMカードを入れ替えてください。→P.406

■［別表1］モードごとに利用できるサービスについて

●モードごとに動作が異なる項目のみ記載しています（Aモードと共通の動作をするものは除いています）。

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
FOMA音声電話／テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信※2	すべて		
電話帳※3	表示※4	A・共通	B・共通	すべて
	名前変換※5	A・共通	B・共通	すべて
	新規登録時の2in1設定	A	B	登録時に選択可
	赤外線／iC／Bluetooth／microSDカードからの全件受信	送信元の電話帳2in1設定をコピー※6		
	赤外線／iC／Bluetooth／microSDカードからの1件受信	A	B	登録時に選択可※7
	ドコモUIMカードの電話帳 ドコモUIMカードへコピー	電話帳2in1設定は共通		
	ドコモUIMカードの電話帳 ドコモUIMカードから本体へコピー	A	B	A
リダイヤル	表示	Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべて
着信履歴	表示	Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべて
メール／SMS	表示※8	Aアドレスで送受信したメール Aナンバーで送受信したSMS	Bアドレスで送受信したメール Bナンバーで受信したSMS	Aアドレスで送受信したメール Bアドレスで送受信したメール Aナンバーで送受信したSMS Bナンバーで受信したSMS
	送信	Aアドレスからのメール AナンバーからのSMS	Bアドレスからのメール BナンバーからのSMS送信不可	Aアドレスからのメール AナンバーからのSMS Bアドレスからのメール BナンバーからのSMS送信不可
	受信	Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動あり） Bアドレス宛てのメール／Bナンバー宛てのSMS（鳴動なし）	Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動なし） Bアドレス宛てのメール／Bナンバー宛てのSMS（鳴動あり）	Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動あり） Bアドレス宛てのメール／Bナンバー宛てのSMS（鳴動あり）

サービス			Aモード	Bモード	デュアルモード
メール／SMS	赤外線／iC／Bluetooth／microSDカードからの全件受信		送信元の状態をコピー※6		
	赤外線／iC／Bluetooth／microSDカードからの1件受信		A		
	ドコモUIMカード（SMSのみ）	ドコモUIMカードへコピー	A		
		ドコモUIMカードから本体へコピー	A	表示不可	A
iアプリ			すべて利用可能	利用可能※9	利用可能※10
プロフィール			Aナンバー･Aアドレス	Bナンバー･Bアドレス	A・Bナンバー A・Bアドレス
Wi-Fi	Wi-Fi音声電話	発信	利用可能	利用不可	利用可能
		着信	利用可能	利用不可	利用可能
	フルブラウザ	Wi-Fi通信	利用可能	利用不可	利用可能
	クライアントモード	設定画面起動	利用可能	利用不可	利用可能
	通信モード切替		利用可能	利用不可	利用可能

※1「電話帳2in1設定」が「A」･「AB」（共通）の設定の電話帳の場合はAナンバー発信、「B」の設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※2 電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否を設定しているときは、利用しているモードと電話帳2in1設定にかかわらず、着信を許可／拒否します。
※3 電話帳にシークレット登録をしている場合、シークレットモードが優先されます。
※4「電話帳2in1設定」にかかわらず「1件コピー」でmicroSDカードにコピーした電話帳は詳細を表示することができます。
「選択コピー」、「全コピー」でmicroSDカードにコピーした電話帳は「電話帳2in1設定」に従って表示されます。
※5 発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳データとの照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳データの名称に変換して表示する機能になります。
※6 送信元が2in1非対応機種の場合、すべてAになります。
※7 microSDカードから1件コピーした場合は、Aとして登録されます。
※8 メール／SMSをmicroSDカードにコピーした場合、2in1のモードにかかわらず一覧表示されますが、詳細表示については宛て先の2in1のモードに従います。
※9 メール連動型iアプリ、iアプリ待受画面は除きます。
※10 iアプリ待受画面は除きます。

おしらせ

◆送信メール全削除、受信メール全削除の場合、2in1の設定により表示されていないメール、シークレットモードにより表示されていないメールも削除されます。

2in1の利用

● 2in1をONに設定する

2in1をONに設定します。

1 待受画面表示中▶2（1秒以上）▶端末暗証番号を入力▶「YES」

2in1をONにすると、2in1画面が表示され、引き続き各種設定を行うことができます。

■ すでに2in1がONの場合

端末暗証番号の入力後にモード切替画面が表示されます。

● 2in1の各種設定を行う

各種操作設定を行います。

- 2in1設定を行う場合は、通信モードをFOMAシングルモードまたはDUALモードに設定してください。
 Wi-Fiシングルモードの場合、設定できません。

1 MENU▶「電話機能」▶「2in1」▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶以下の項目から選択

■ すでに2in1がONの場合

端末暗証番号の入力後に2in1をONにするかどうかの確認画面は表示されず、2in1画面が表示されます。

モード切替…2in1のモードを「Aモード、Bモード、デュアルモード」から選択します。
モードについてはP.452を参照してください。

電話帳2in1設定…2in1利用時、モードによって表示される電話帳を「電話帳2in1設定」または「グループ2in1設定」から設定します。設定する電話帳または電話帳のグループを反転して■［切替］でモードを選択し、📷［完了］を押します。■［切替］を押すごとにA→B→ABの順に切り替わります。
電話帳の検索のしかた→P.97

モード別待受画面設定…Aモード、Bモード、またはデュアルモードのときに表示する待受画面をそれぞれ設定します。→P.116
設定を変更した項目には「★」が付きます。
お買い上げ時の設定に戻す場合は📷［解除］を押します。

番号別発着信設定…2in1利用時、各電話番号での発着信時の動作の設定をします。

- **発着信番号表示設定**…発着信時に「Aナンバー（Aアドレス）」と「Bナンバー（Bアドレス）」のどちらの情報（名前や電話番号、メールアドレスなど）かわかるように、文字色を変えて表示するように設定します。
 i［切替］を押すとパレットの色（16色と256色）を切り替えることができます。
 お買い上げ時の設定に戻す場合は📷［リセット］を押します。
- **着信設定**…「Aナンバー（Aアドレス）」、「Bナンバー（Bアドレス）」でのそれぞれの着信動作を設定します。「音声着信設定」「テレビ電話着信設定」では、以下の①着信音、②着信画面、③イルミネーション、④バイブレーション、⑤応答メッセージを設定できます。「メール着信設定」では、以下の①着信音、③イルミネーション、④バイブレーションを設定できます。
- **音声着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定**…各種着信時の動作の設定をします。
 ① 着信音設定：「着信音設定」（P.106）の操作2へ
 ② 着信画面設定：「着信音設定」（P.106）の操作2「■着信画像を設定する場合」へ
 ③ イルミネーション設定：「着信時の着信イルミネーション設定」（P.121）の操作1へ
 ④ バイブレーション設定：「バイブレータ設定」（P.108）の操作2へ
 ⑤ 応答メッセージ設定：「伝言メモ設定」（P.87）の操作1で「ON」を選択後の操作へ

2in1機能OFF…2in1機能を無効にします。

着信回避設定…Aナンバー、Bナンバーの着信を規制します。

- **着信回避設定変更**…AナンバーおよびBナンバーの着信回避機能を設定します。
- **着信回避設定確認**…AナンバーおよびBナンバーの着信回避機能設定を確認します。
- **モード切替連動設定**…2in1機能のモード切替と着信回避設定が連動するように設定します。AモードのときはAナンバー、BモードのときはBナンバーの着信のみを許可し、デュアルモードのときは両方の着信を許可するように設定します。
 ※ 停止にしていると、「圏外」ではモード切り替えができません。
- **着信回避設定（海外）**…海外から着信回避を設定します（モード切替連動設定を開始にしている場合は停止されます）。

おしらせ

<モード切替>

◆通信モードがDUALモード時にBモードを選択した場合、通信モードをFOMAシングルモードに切り替える確認画面が表示されます。「YES」を選択した場合、通信モードがFOMAシングルモードに

切り替わり、Bモードに切り替えられます。Aモードまたはデュアルモードに変更した場合、元の通信モードに自動的に変更されます。

<電話帳2in1設定>

◆ドコモUIMカードの電話帳には、本機能を設定できません。

◆本機能で電話帳一覧画面から電話帳詳細画面を表示するには、サブメニューから「詳細表示」を選択してください。

<モード別待受画面設定>

◆モードがAモードの場合は、「待受画面」の設定に従って待受画面が表示されます。

◆プリインストールされている「ダイレクトメニュー」やダウンロードしたきせかえツールを設定中、またはiアプリ待受画面やランダム待受画面が設定されている場合は、「Aナンバーと同じ」に設定していても各モードのお買い上げ時の画面が表示されます。

◆待受画面に設定できない画像はグレー表示され、選択できません。

◆画像のダウンロード時（P.208）や、データBOX（P.329）からでも設定できます。

<発着信番号表示設定>

◆以下の画面に表示される名前／電話番号／メールアドレスが設定した文字色で表示されます。

- 通話中／テレビ電話通話中画面
- 発信／着信中画面
- リダイヤル／発信履歴画面（一覧／詳細）
- 着信履歴画面（一覧／詳細）
- 送信／受信アドレス履歴画面（一覧／詳細）

◆Aナンバー／Bナンバー(Aアドレス／Bアドレス)の設定は、2in1をOFFにした場合でも着信中画面などに反映されます。

◆Wi-Fi音声電話の発着信情報表示はAナンバーの設定と同じ文字色となります。

<着信設定>

◆Aナンバー・Aアドレスと同じ設定にする場合は、各項目を「Aナンバーと同じ」に設定してください。

◆着信音の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.107

◆Bナンバーで非通知の音声電話着信があった場合、「着信拒否設定」の設定に従います。また、「着信拒否設定」の設定が「許可」のときにテレビ電話着信があった場合は、「着信設定」の「テレビ電話着信設定」に従います。

◆メロディのダウンロード時（P.210）、データBOX（P.353）からでも設定できます。
ただし設定中のモードにかかわらず、Aモードの着信音に設定されます。

◆デュアルモード設定中に「着信音選択」「バイブレータ設定」「各種画面設定※」「着信イルミネーション」から設定を行おうとするとモードを選択する画面が表示されます。また、Bモードに設定中は「着信音選択」「バイブレータ設定」「各種画面設定※」「着信イルミネーション」にBモードの設定が行われます。

※「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」設定時

1回の通話ごとにFOMA電話番号を切り替えて発信

2in1をONに設定し、モードをデュアルモードにしている場合は、利用するFOMA電話番号を切り替えて発信できます。

- 本機能が利用できるのは「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話帳を利用して電話をかける場合>

1 電話帳詳細画面（P.97）▶MENU［サブメニュー］▶「発信オプション」▶「2in1／マルチナンバー」▶以下の項目から選択

Aナンバー、Bナンバー…AナンバーまたはBナンバーで発信するように設定します。

設定消去…設定を解除し、電話帳の2in1設定に従って発信するように設定します。

おしらせ

◆次の操作を行った場合は、発信番号選択画面が表示され、そこから利用する電話番号を選択します。

- 電話番号入力画面で電話番号を入力して発信した場合
- 追加サービスに登録した特番からのサービスの利用時
- 送受信メール以外からPhone To機能を利用した場合
- 電話番号入力画面でイヤホンマイク（別売）などのスイッチを1秒以上押した場合

◆外部機器から発信･ATコマンド発信を行った場合、Aモード／デュアルモードのときはAナンバーで、BモードのときはBナンバーで発信します。

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。
詳細はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご覧ください。

OFFICEED圏外転送機能の利用

OFFICEED圏外転送機能を利用して、OFFICEED着信をOFFICEEDエリア外へ転送することができます。

1 MENU▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「OFFICEED」▶以下の項目から選択

エリア表示設定…OFFICEEDエリア内にいるとき、「OFFICEED」を表示するかどうかを設定します。
「ON」を選択した場合、エリア表示設定を「ON」にするかどうかの確認画面が表示されます。

圏外転送開始…OFFICEED圏外転送機能を開始します。

圏外転送停止…OFFICEED圏外転送機能を停止します。

圏外転送設定確認…OFFICEED圏外転送機能の設定を確認します。

追加サービス

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

追加サービスや応答メッセージの登録

1 MENU▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「追加サービス」▶以下の項目から選択

追加サービス…新しいサービスを登録します。
▶「<未登録>」を反転▶MENU［サブメニュー］▶「設定追加」▶サービス名を入力▶以下の項目から選択

- **特番**…特番で接続します。
  番号は20桁まで入力できます。
- **USSD**…サービスコードで接続します。
  番号は40桁まで入力できます。

応答メッセージ設定…登録したネットワークサービスを「サービスコード（USSD）」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録します。
▶「<未登録>」を反転▶MENU［サブメニュー］▶「設定追加」▶コマンドを入力▶応答メッセージ名を入力▶「YES」
コマンドは20桁まで入力できます。

■ 追加サービスや応答メッセージ設定を変更する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「設定変更」

■ 追加サービスや応答メッセージ設定を削除する場合
▶MENU［サブメニュー］▶削除方法を選択

おしらせ

<追加サービス>
◆サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード（USSD）」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

サブメニュー

❖追加サービス画面

❖応答メッセージ設定画面

設定追加、設定変更、1件削除、全削除…いずれかの項目を選択し実行します。

登録したサービスの利用

1 MENU▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「追加サービス」▶「追加サービス」

2 サービスを選択▶📷［送信］

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要 460
ご利用できるサービス 460
ご利用時の確認 460
滞在国での電話のかけかた 461
滞在先での電話の受けかた 462
お問合せ（海外） 463
3G／GSM切替 463
ネットワークサーチ設定 463
ｉモードサービス利用設定 464
メール／メッセージ利用設定 464
利用できる通信サービスの確認 464
優先ネットワーク設定 464
オペレータ名表示設定 465
ローミングガイダンス 465
ローミング時着信規制 465
ローミング着信通知 465
ローミング中のネットワークサービス利用 466

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、iモードメールは設定の変更なくご利用になれます。

■対応エリアについて

本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』
- データBOXの「マイドキュメント」にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」

おしらせ

◆国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

ご利用できるサービス

主な通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
SMS※2	○	○	○
iモード※3	○	○	×
iモードメール	○	○	×
iチャネル※3※4	○	○	×
iコンシェル※5	○	○	×
iウィジェット※6	○	○	×
パソコンと接続して行うパケット通信	○	○	×
GPSの現在地確認※7	○	○	×

※1 2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。

※2 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。

※3 iモード海外利用設定が必要となります。→P.464

※4 iチャネル海外利用設定が必要となります（P.464）。ベーシックチャネルの情報の自動更新もパケット通信料がかかります（日本国内ではiチャネル利用料に含まれます）。

※5 iコンシェルの海外利用設定が必要となります（P.464）。インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。

※6 iウィジェット海外利用設定が必要となります（P.464）。iウィジェット画面を表示すると複数のウィジェットアプリが通信する場合があり、この場合1通信ごとにパケット通信料がかかります。

※7 GPS測位（現在地確認）は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。
海外での利用についてはP.312をご覧ください。

おしらせ

◆接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

●ご契約について
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

●充電について
- 海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
- ACアダプタ（別売）の取り扱い上のご注意について→P.16「アダプタについてのお願い」
- ACアダプタ（別売）での充電方法について→P.60

●料金について
海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。

事前設定

■ｉモードについて
ｉモード海外利用設定を「利用する」に設定する必要があります。→P.464

■ｉモードメールについて
ｉモードメールについては受信方法が選択できます。→P.464

■ネットワークサービスの設定について
ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス･番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。
- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を「開始」にする必要があります。日本国内から→P.450、海外から→P.466
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■接続について
「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的にほかの利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。
「ネットワークサーチ設定」を「マニュアル」に設定している場合は、定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が定額（1日あたり）でご利用いただけます。なお、ご利用にはｉモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

■ディスプレイの表示について
- 画面の上部には利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	意　味
3G	3Gネットワーク（パケット通信可）
3G	3Gネットワーク（パケット通信可／通話可）
3G	3Gネットワーク（パケット通信不可）
GPRS	GSM／GPRSネットワーク（パケット通信可）
GPRS	GSM／GPRSネットワーク（パケット通信可／通話可）
GSM	GSM／GPRSネットワーク（パケット通信不可）

- 「オペレータ名表示設定」を「表示あり」に設定しているときは、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。→P.465

■メイン時計設定について
「自動時刻時差補正」を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。→P.65
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- サマータイムがある国は、現地時間と待受画面の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

■お問い合わせについて
- FOMA端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話･通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている国際電話アクセス番号またはユニバーサルナンバー用国際識別番号が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。
- 「3G／GSM切替」を「自動」に設定してください。→P.463
- 「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。→P.463

滞在国での電話のかけかた

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

滞在国から日本への発信

1 待受画面表示中に＋（0（1秒以上））▶81▶地域番号（市外局

番）▶相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。

2 **［発信キー］（音声電話）、［カメラキー］（テレビ電話）**

滞在国から他国（日本以外）への発信

1 **待受画面表示中に＋（［0］（1秒以上））▶国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順にダイヤル**

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 **［発信キー］（音声電話）、［カメラキー］（テレビ電話）**

●「国際ダイヤルアシスト」の「国番号」に登録されている国へ電話をかける

よくかける相手先の国名と国番号を「国際ダイヤルアシスト」で登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

- 「国際電話設定」→P.81
- リダイヤル（P.76）、発信履歴（P.76）などの詳細画面のサブメニューから国際電話をかけることもできます。
- 電話帳詳細画面（P.99）のサブメニューから「発信オプション」を選択して国際電話をかけることもできます。

1 **相手の番号をダイヤル▶［MENU］［サブメニュー］▶「国際電話発信」▶電話をかけたい国名を選択▶［発信キー］（音声電話）、［カメラキー］（テレビ電話）**

「＋」と「国番号」が追加されて国際電話がかかります。

●「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能」で設定した国へ電話をかける

- 電話帳、リダイヤル、発信履歴などから国際電話をかけることもできます。
- 電話番号が「0」ではじまる場合のみ有効です。
- 「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能」を「ON」に設定してください。

1 **相手の番号をダイヤル▶［発信キー］（音声電話）、［カメラキー］（テレビ電話）▶「発信」**

滞在国内への発信

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルして電話をかけます。
→P.70

- 電話帳などを利用して電話をかけるとき、「国際ダイヤルアシスト」のメッセージが表示される場合があります。「元の番号で発信」を選択してください。

海外にいるWORLD WING利用者への発信

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）をダイヤル）電話をかけてください。

1 **待受画面表示中に＋（［0］（1秒以上））▶［8］［1］▶先頭の「0」を除いた携帯電話番号をダイヤル▶［発信キー］（音声電話）、［カメラキー］（テレビ電話）**

おしらせ

◆通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。

滞在先での電話の受けかた

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話を受けることができます。

おしらせ

◆国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかたについて

■日本から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先のFOMA端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。090（または080）－XXXX－XXXX

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先が日本国内または海外にかかわらず、国際アクセス番号＋「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

国際アクセス番号－81－90（または80）－XXXX－XXXX

お問合せ（海外）

海外での紛失･盗難や故障のお問い合わせ先へ電話をかけることができます。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「お問合せ（海外）」▶以下の項目から選択**

海外紛失・盗難…海外から紛失・盗難などの問い合わせ先に電話をかけることができます。

海外故障…海外から故障問い合わせ先に電話をかけることができます。

3G／GSM切替

滞在先で接続するネットワークの切り替えの方法を設定します。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外ネットワークサーチ」▶「3G／GSM切替」▶以下の項目から選択**

自動…3GネットワークとGSM／GPRSネットワークを自動で切り替えます。

3G…3Gネットワークに固定します。

GSM／GPRS…GSM／GPRSネットワークに固定します。

おしらせ

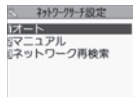
◆「自動」または滞在先で接続するネットワークにあわせて設定してください。

ネットワークサーチ設定

利用中の通信事業者のネットワークが圏外になった場合に､ほかの通信事業者のネットワークに接続し直します。

- 電波の状態やネットワークの状況により､本機能を設定できない場合があります。
- 2011年5月現在､日本国内ではNTTドコモ以外の通信事業者は選択できません。
- 海外で接続する通信事業者を手動で切り替えた場合は､帰国後に「ネットワークサーチ設定」を「オート」に変更してください。

接続する通信事業者の手動切り替え

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外ネットワークサーチ」▶「ネットワークサーチ設定」**

ネットワークサーチ設定画面

2 **「マニュアル」▶「YES」▶接続したい通信事業者を選択▶「OK」**

■ 自動で通信事業者を切り替える場合

▶「オート」

自動検索の際に優先的に接続する通信事業者をあらかじめ設定しておくことができます。→P.464

ネットワークの再検索

- 「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定しているときに通信事業者が検出できなかった場合や､「マニュアル」に設定しているときに通信事業者を切り替えたい場合に､ネットワークを再検索してから接続先を切り替えます。
- 「ネットワークサーチ設定」を「マニュアル」に設定している場合､圏外になったときはデスクトップアイコンから「ネットワーク再検索」を行うことができます。

  再検索アイコン表示設定について→P.463

1 **ネットワークサーチ設定画面（P.463）▶「ネットワーク再検索」▶「YES」▶接続したい通信事業者を選択▶「OK」**

■「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合

▶「ネットワーク再検索」▶「OK」

● 圏外になったときにデスクトップにネットワーク再検索アイコンを表示する

海外ローミング中に圏外になったとき､デスクトップに「再検索」を表示して通知するように設定します。「再検索」を選択すると､ネットワーク再検索を行います。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外ネットワークサーチ」▶「再検索アイコン表示設定」**

2 **「表示する」または「表示しない」を選択**

おしらせ

◆「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合、ネットワーク再検索アイコンは表示されません。

ｉモードサービス利用設定

海外からのｉモード、ｉコンシェル、ｉチャネル、ｉウィジェットの海外利用について設定します。

- 日本国内では無料で設定できます。海外での設定にはパケット通信料がかかります。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「ｉモードサービス利用設定」▶以下の項目から選択**

ｉモード海外利用設定、お預かりサービス／ｉコンシェル、ｉチャネル海外利用設定…ｉモードブラウザの表示に従って設定します。

ｉウィジェット海外利用設定…国際ローミング時のミニアプリからのネットワーク接続の許可・不許可を設定します。

メール／メッセージ利用設定

メールを選択受信するか、自動受信するかを設定します。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「メール／メッセージ利用設定」▶以下の項目から選択**

メール選択受信…「ON」「OFF」いずれかを選択します。

本設定を変更すると、「メール設定」の「メール選択受信設定」も変更されます。

メッセージR海外利用設定…ｉモードブラウザの表示に従って設定します。

利用できる通信サービスの確認

通話、パケット通信が利用できる状態にあるかどうかを確認します。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外ネットワークサーチ」▶「在圏状態表示」**

確認画面が表示されます。

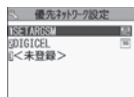
- 「圏外」：サービスエリア外または電波が届かないところにいます。
- 「電話発信　通信不可、パケット発信　通信不可」：セルフモード中、またはドコモUIMカードが挿入されていません。
- 「電話発信　通信可、パケット発信　通信不可」：通話はできますが、パケット通信はできません。
- 「電話発信　通信不可、パケット発信　通信可」：通話はできませんが、パケット通信はできます。
- 「電話発信　通信可、パケット発信　通信可」：通話、パケット通信ともできます。

優先ネットワーク設定

ネットワークの自動検索や再検索のときに、優先的に接続したい通信事業者を設定します。

- ユーザ設定による優先ネットワークリストには、最大20件登録できます。
- ドコモ指定の優先ネットワークリストとして通信事業者があらかじめ登録されています。
- 優先ネットワーク設定はドコモUIMカードに記憶されます。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外ネットワークサーチ」▶「優先ネットワーク設定」**

優先順位の高い通信事業者から順番に一覧で表示されます。

優先ネットワーク設定画面（サブメニュー→P.465）

2 **優先順位を変更する通信事業者を反転▶MENU［サブメニュー］▶「優先順位変更」**

3 **移動したい位置を反転▶■［選択］**

反転表示した項目の上に移動します。「<最後尾へ>」を選択した場合は最後尾に移動します。

4 **📷［完了］▶「YES」**

サブメニュー

❖優先ネットワーク設定画面（P.464）

マニュアル登録…通信事業者を手動で登録します。

▶国番号（オペレータコード（MCC））を3桁で入力▶ネットワーク番号（オペレータコード（MNC））を3桁もしくは2桁で入力▶「3G」「GSM」または「3GおよびGSM」▶「YES」

リストから登録…リストから通信事業者を選択して登録します。

▶通信事業者を選択▶■［確定］▶「3G」「GSM」または「3GおよびGSM」▶「YES」

在圏ネットワーク登録…現在接続している通信事業者が登録されます。

優先順位変更…P.464

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

おしらせ

◆電波の状態やネットワークの状況などによっては、本機能で設定した優先順位どおりに通信事業者が優先されない場合があります。

オペレータ名表示設定

国際ローミング中に、現在接続している通信事業者名をディスプレイに表示するかどうかを設定します。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外ネットワークサーチ」▶「オペレータ名表示設定」▶「表示あり」または「表示なし」**

おしらせ

◆国内（FOMAネットワーク）在圏時は、「表示あり」に設定しても通信事業者名は表示されません。

◆「ネットワークサーチ設定」を「マニュアル」に設定している場合、「圏外」のときは「ネットワーク再検索」が表示され、待受画面に「再検索（ネットワーク再検索）」のデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選択するとネットワーク再検索を行います。

ローミングガイダンス

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

「海外ローミングガイダンス（有料）」→P.466

●日本国内で設定してください。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「ローミングガイダンス」▶以下の項目から選択**

開始、停止、設定確認…いずれかの項目を選択し実行します。

おしらせ

◆ガイダンス設定を行わない場合でも、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。

◆海外通信事業者の事情により、外国語ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング時着信規制

●海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「ローミング時着信規制」▶以下の項目から選択**

規制開始…国際ローミング中の着信を「全着信規制」（音声電話、SMS、iモードメール自動受信を含むすべての着信を受け付けない）するか、「テレビ電話／データ呼規制」（テレビ電話の着信を受け付けない※）するかを設定します。

設定にはネットワーク暗証番号（P.128）の入力が必要です。

規制停止…ローミング時着信規制を停止します。停止にはネットワーク暗証番号（P.128）の入力が必要です。

規制確認…ローミング時着信規制の内容を確認します。

※ 本FOMA端末では、国際ローミング中の64Kデータ通信は利用できません。

おしらせ

＜規制開始＞

◆iモードサイト表示とメール送信は可能です。

◆「全着信規制」に設定しても、発信、iモード接続・iチャネルの自動更新、留守番電話・転送でんわは規制されません。また、パケット通信を行うと、メールなどが受信される場合があります。

ローミング着信通知

FOMA端末の電源が入っていないときや、ネットワーク圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を再び電源を入れたとき

やネットワーク圏内になったときにSMSにてお知らせします。
●SMSの受信料は無料です。

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「ローミング着信通知」▶以下の項目から選択**

通知開始、通知停止、通知設定確認…いずれかの項目を選択し実行します。

ローミング中のネットワークサービス利用

●海外から「留守番電話」や「転送でんわ」などのネットワークサービスの一部を利用できます。
●海外で「留守番電話（有料）」や、「転送でんわ（有料）」を利用するには、あらかじめ「留守番電話」「転送でんわ」のご契約が必要です。また、あらかじめ「遠隔操作設定」（P.450）を「開始」に設定しておく必要があります。
●「圏外」のときは操作できません。
●海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の日本向け通話料がかかります。
●海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

海外遠隔操作設定（有料）

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「ネットワークサービス」▶「遠隔操作（有料）」▶「YES」▶音声ガイダンスの指示に従って設定**

海外番号通知お願いサービス（有料）

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「ネットワークサービス」▶「番号通知お願い（有料）」▶「YES」▶音声ガイダンスの指示に従って設定**

海外ローミング着信通知（有料）

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「ネットワークサービス」▶「ローミング着信通知（有料）」▶「YES」▶音声ガイダンスの指示に従って設定**

海外ローミングガイダンス（有料）

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「ネットワークサービス」▶「ローミングガイダンス（有料）」▶「YES」▶音声ガイダンスの指示に従って設定**

海外留守番電話サービス（有料）

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「ネットワークサービス」▶「留守番電話（有料）」▶項目を選択▶「YES」▶音声ガイダンスの指示に従って設定**

■「再生」または「設定」を選択した場合
▶音声電話またはテレビ電話を選択▶「ＹＥＳ」▶音声ガイダンスの指示に従って設定

海外転送でんわサービス（有料）

1 **MENU▶「地図／海外」▶「海外設定」▶「ネットワークサービス」▶「転送でんわ（有料）」▶項目を選択▶「YES」▶音声ガイダンスの指示に従って設定**

パソコン接続

データ通信 468
ご使用になる前に 469
データ通信の準備の流れ 469
ATコマンド 471
ドコモ コネクションマネージャの紹介 471
ドコモケータイdatalinkの紹介 471

データ通信の詳細については、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

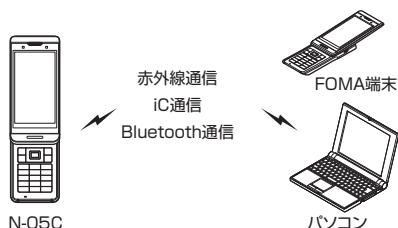
データ通信

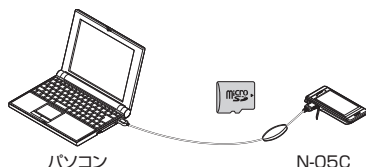
FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX™通信）に分類されます。

● データ転送（OBEX™通信）

画像や電話帳、メールなどのデータを、ほかのFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

■無線でデータ転送を行う場合

●赤外線通信→P.379
● i C通信→P.380
●Bluetooth通信→P.381

■USB 接続ケーブルまたはmicroSDカードでデータ転送を行う場合

●FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02→P.544
●microSDカード→P.359
●ドコモケータイdatalink→P.471

● パケット通信

送受信されたデータ量に応じて課金され※1、FOMAハイスピードエリアでは受信最大7.2Mbps※2、送信最大5.7Mbps※2の高速通信を行うことができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。

- 本FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」と接続してパケット通信を行うことができます。
- ドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」でパケット通信をご利用のときは、通信速度が遅くなる場合があります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。
- 送信時最大 5.7Mbps の対応エリアの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスすることもできます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信対応アクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）やBluetooth通信、Wi-Fi接続を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。

- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。
- Wi-Fi接続を利用してパケット通信を行う場合は、PPP接続で通信を行ってください（IP接続ではパケット通信できません）。
- Bluetooth接続の場合、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機器間の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。

※1 データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

※2 技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。また、FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、通信速度が遅くなる場合があります。

● 64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。※
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64Kデータ通信対応アクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02やBluetooth通信を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。

- 本FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」と接続して64Kデータ通信を行うことができます。
- 海外で64Kデータ通信は利用できません。

※ 長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

ご利用にあたっての留意点

● インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサー

ビスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

● **接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について**

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご覧ください。
http://www.mopera.net/mopera/index.html

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項目	説明
パソコン本体	• PC/AT互換機 • FOMA 充電機能付 USB 接続ケーブル 02（別売）を使用する場合：USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠） • Bluetooth通信を使用する場合：Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） • Wi-Fi接続を使用する場合：無線LAN標準規格IEEE 802.11bまたはIEEE 802.11g準拠 • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows XP（日本語版） • Windows Vista（32ビット／64ビット）（日本語版） • Windows 7（32ビット／64ビット）（日本語版）
必要メモリ※2	• Windows XP：128Mバイト以上 • Windows Vista：512Mバイト以上 • Windows 7（32ビット）：1Gバイト以上 • Windows 7（64ビット）：2Gバイト以上
ハードディスク容量※2	• 5Mバイト以上の空き容量

※1 OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
※2 パソコンのシステム構成によって異なることがあります。
- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。

おしらせ

◆本FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
◆本FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）※1
- 「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）※2

※1 USB接続の場合
※2 ドコモのホームページからダウンロードしてください。

おしらせ

◆USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
◆USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ通信の準備の流れ

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続します。
●FOMA通信設定ファイルは、FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX™通信）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。FOMA通信設定

ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
ドコモ コネクションマネージャを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

おしらせ

◆FirstPass PCソフトを、ご利用の際は、ドコモのホームページからダウンロードしてください。

設定完了までの流れ

■データ転送（OBEX™通信）の場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をダウンロード、インストールする※

ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

※ ドコモケータイdatalink（P.471）もインストールしてください。

■パケット通信／64Kデータ通信の場合

●USB接続

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をダウンロード、インストールする

ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル02(別売)で接続する

インストール後の確認をする

●Bluetooth接続

パソコンとFOMA端末をBluetooth通信でワイヤレス接続する

モデムを確認する

「ドコモ コネクションマネージャ」で接続先の設定をする場合

ドコモのホームページから「ドコモ コネクションマネージャ」をダウンロードしてインストールする

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わないで設定をする場合

設定する※

パケット通信をする場合と64Kデータ通信をする場合、またドコモ コネクションマネージャを使う場合と使わない場合のそれぞれで設定方法は異なります。

接続／切断

※ USB接続でデータ通信を行うには「USBモード」を「通信モード」に設定してください。→P.372

FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもあり

ます。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

● Wi-Fi接続（パケット通信のみ）

FOMA端末をアクセスポイントモードにする※

設定する

接続／切断

※ 設定後はP.474を参照してください。

ATコマンド

ATコマンドとは、モデムなどの制御に使われるコマンド体系の1つで、FOMA端末はATコマンドに準拠しています。さらにFOMA端末では拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのATコマンドの詳細については、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

ドコモ コネクションマネージャの紹介

「ドコモ コネクションマネージャ」は、ドコモのデータ通信を行うのに便利なソフトウェアです。
お客さまのご契約状況に応じた、パソコン設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記ホームページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

● ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、「ドコモケータイdatalink」をご利用になるには、別途「USB接続ケーブル（別売）」が必要となります。

Wi-Fi

Wi-Fi 474
アクセスポイントモード 474
クライアントモード 479
接続先設定項目一覧 486
Wi-Fi音声電話のかけかた 492
Wi-Fi音声電話の受けかた 495
キャッチホンの利用設定 495
Wi-Fi番号通知設定 496
インターホン機能 496
DLNA対応外部機器の利用 497
カンタンデータ転送の利用 500

Wi-Fi

本FOMA端末はWi-Fiに対応しており、ご家庭のアクセスポイントや公衆無線LANサービスを通じて、フルブラウザを利用してインターネットに接続できます。
アクセスポイントモードを利用すれば、ポータブルゲーム機やパソコンなどのWi-Fi対応機器でのオンライン通信が楽しめます。

- ホーム U でご利用いただく場合は、ホームUウェブサイト（http://www.homeu.jp/）をご覧ください。また、ホームUに関する設定や接続方法については、『ご利用ガイドブック（ホームU編）』をご覧ください。
- 2in1のモードがBモードの場合はFOMAシングルモードに切り替わり、Wi-Fi機能を利用できません。→P.453

Wi-Fiでできること

■アクセスポイントモード
Wi-Fi対応機器と接続してゲーム対戦などのサービスが利用できます。→P.474

■クライアントモード

- Wi-Fi 音声電話の発着信（内線、外線）ができます。→P.453
- Wi-Fiのネットワークを経由して、ｉモードのサイト※やインターネットのサイトに接続できます。→P.192、194
- インターホン機器と連携し、本FOMA端末をインターホンの子機として使用できます。→P.496
- 家庭内などの無線LANネットワークを経由してパソコンとコンテンツデータを共有できます。→P.497

※ ホームUご契約時に、ホームU接続先に接続した場合に有効です。

Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

アクセスポイントモード

N-05CをWi-Fiアクセスポイント（親機）とすることでWi-Fi対応機器（子機）でゲーム対戦などのサービスがFOMA圏内なら場所を問わず利用できるようになります。

- ご利用には、mopera Uなど（外部機器を接続した通信を利用するため）のプロバイダへの接続が必要となります。
- お買い上げ時の接続先には「mopera U 128k」が設定されています。
- mopera Uのサービス内容については、mopera Uのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/

アクセスポイントモード利用時のご注意

アクセスポイントモードを利用時のパケット通信は、パソコン・PDAなどを接続したパケット通信となります。データ量の大きい通信を行うと通信料が高額となる場合がありますので、ご契約の料金プランを再度ご確認の上、ご利用ください。

● はじめてアクセスポイントモードを利用する場合の画面表示

はじめてアクセスポイントモードを利用する場合、ご利用確認の画面が表示されます。内容を確認して、✉［はい］を押します。✉［はい］を押すと、次回からご利用確認の画面は表示されません。
また、ご利用確認画面の注意事項は、以下の操作でも表示することができます。

- MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「アクセスポイントモード」▶「ご利用上の注意」を選択

● アクセスポイントモードにするには

- 待受画面のデスクトップアイコン（A）を選択
- MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「アクセスポイントモード」▶「接続開始」を選択
- 子機と通信の無い状態が「接続待ち時間設定」で設定した時間を越えると、アクセスポイントモードは自動的に終了します。

● Wi-Fi対応機器のご利用にあたって

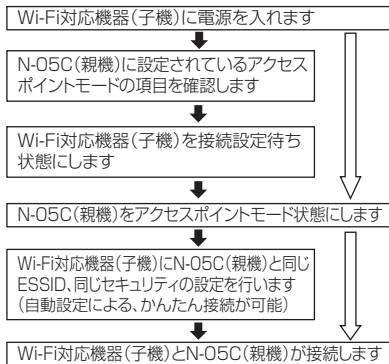
- 通信方式によって複数の規格がありN-05C（親機）とWi-Fi対応機器（子機）が同じ規格に対応していないと接続できません。
  N-05CはIEEE802.11bとIEEE802.11gに対応していますのでWi-Fi対応機器（子機）の通信規格をあらかじめご確認ください。
- アクセスポイントモード中は、ｉモード通信／赤外線通信／ｉC通信／Bluetooth通信を伴う機能、お

よびMENU▶「iモード／web」以下のすべてのメニューが利用できません。
- アクセスポイントモードの利用は発信履歴に記憶されます。→P.75
- アクセスポイントモード中に接続できるWi-Fi対応機器は4台までです。
- Wi-Fiシングルモードのときはアクセスポイントモードを利用できません。
- 海外ではアクセスポイントモードを利用できない場合があります。
- iモード通信中／赤外線通信中／iC通信中／Bluetooth通信中は、アクセスポイントモードを利用できません。
- アクセスポイントモードを起動すると、Bluetooth機能がオフになります。アクセスポイントモード終了後は、Bluetooth機能をオンにしてください。
- ゲームによってはアクセスポイントモードでゲーム機を接続すると利用できなくなるものがあります。
- Wi-Fi接続を利用してパケット通信を行う場合は、PPP接続で通信が行われます（IP接続ではパケット通信できません）。
- Wi-Fi対応機器に固定IPが割り当てられている場合、本機能を利用できません。

● アクセスポイントモードでWi-Fi対応機器を接続する流れ

お買い上げ時は暗号化機能が無効になっています。「セキュリティ方式設定」で暗号化機能（暗号化方式と暗号キー）の設定をおすすめします。→P.478
- 登録済みのWi-Fi対応機器とはアクセスポイントモードにすると自動的に接続します。

➡：はじめての接続手順　⇨：登録後の接続手順

Wi-Fi対応機器（子機）に電源を入れます
↓
N-05C（親機）に設定されているアクセスポイントモードの項目を確認します
↓
Wi-Fi対応機器（子機）を接続設定待ち状態にします
↓
N-05C（親機）をアクセスポイントモード状態にします
↓
Wi-Fi対応機器（子機）にN-05C（親機）と同じESSID、同じセキュリティの設定を行います（自動設定による、かんたん接続が可能）
↓
Wi-Fi対応機器（子機）とN-05C（親機）が接続します

関連用語集

■アクセスポイント
Wi-Fiを利用する際の接続先です。

■ESSID
Extended Service Set Identifierの略です。Wi-Fiにおけるネットワーク識別子の1つです。ESSIDが一致するアクセスポイントと通信が可能です。

■MACアドレス
Media Access Controlアドレスの略です。ネットワーク上で機器を識別するための固有のハードウェアアドレスです。

■WEP
Wired Equivalent Privacyの略です。アクセスポイント（親機）とクライアント（子機）に共通の暗号キー（WEPキー）を設定します。設定できるWEPキーの長さは、「64bit」「128bit」の2種類です。

■Wi-Fi
Wireless Fidelityの略です。Wi-Fi対応機器は無線免許なしで相互接続による通信を行うことができます。

■WPA2-PSK
Wi-Fi Protected Access 2-Pre Shared Keyの略です。WEPよりセキュリティの強度が向上した暗号化方式で、アクセスポイントモードでは暗号化はAES方式のみ対応し、一定時間ごとに暗号キーが更新されます。

Wi-Fi対応機器の接続

Wi-Fi対応機器（子機）に電源を入れた状態でN-05C（親機）の近くに置いてください。

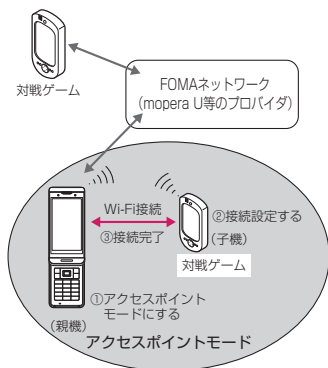
● 設定確認をする

接続作業をはじめる前にN-05Cに設定されているアクセスポイントモードの項目を確認します。
手動で接続登録するときに利用すると便利です。

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「アクセスポイントモード」▶「設定確認」

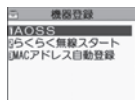
■設定値メモ
ここに記載した情報は他者に見られないようにご注意ください。

セキュリティ方式	□なし／□WEP（64）／□WEP（128）／□WPA-PSK/AES／□WPA-PSK/TKIP／□WPA2-PSK/AES
WEPキー※1	KeyID： 文字形式： キー：
WPA-PSKキー※1 WPA2-PSKキー※1	文字形式： キー：
通信チャネル設定	
接続待ち時間設定	
ESSID設定	
接続先設定	
MACフィルタ設定※2	
接続MACアドレス※2	

※1「セキュリティ方式設定」で設定した場合に記載してください。
※2「MACフィルタ設定」で設定した場合、MACアドレスを確認できます。

● AOSSで接続登録する

「AOSS」は、AOSSボタンを押すだけで簡単にセキュリティ設定などができる自動設定システムです。N-05C（親機）に設定されたSSIDや暗号化キーを、自動的にWi-Fi対応機器（子機）に登録するので、セキュリティ設定も同時に行うことができ安心です。

● あらかじめWi-Fi対応機器側を接続設定待ち状態にしてください。操作についてはWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「アクセスポイントモード」▶「機器登録」

機器登録画面

2「AOSS」

「MACフィルタ設定」が「ON」の場合、MACアドレス自動登録のメッセージが表示されます。
- 「YES」を選択すると自動登録され接続登録を継続します。
- 「NO」を選択すると接続設定は中止されます。

3「YES」▶ ■［AOSS］

Wi-Fi対応機器の検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作を行います。Wi-Fi対応機器との間でセキュリティなどの設定情報が交換され、N-05C（親機）の情報が反映されます。

4 📷［完了］

接続が完了すると「アクセスポイントモード通信中」と表示されます。

■ アクセスポイントモードの接続を終了する
▶ i［切断］または ━

■ 登録したMACアドレスを表示する
▶ MENU ▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「アクセスポイントモード」▶「設定確認」▶「AOSS情報」

おしらせ

◆AOSSでWi-Fi対応機器（子機）を追加すると、セキュリティ種別が変更されることがあります。そのため、AOSS以外で設定したWi-Fi対応機器（子機）は接続できなくなる場合があります。

● らくらく無線スタートで接続登録する

「らくらく無線スタート」は、少ない操作で接続登録を可能にする自動設定システムです。
あらかじめN-05C（親機）に設定されたSSIDや暗号化キーを、自動的にWi-Fi対応機器（子機）に登録するので、セキュリティ設定も同時に行うことができ安心です。

● あらかじめWi-Fi対応機器側を接続設定待ち状態にしてください。操作についてはWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 機器登録画面（P.476）▶「らくらく無線スタート」

「MACフィルタ設定」が「ON」の場合、MACアドレス自動登録のメッセージが表示されます。

- 「YES」を選択すると自動登録され接続登録を継続します。
- 「NO」を選択すると接続設定は中止されます。

「セキュリティ方式設定」が「なし」の場合、セキュリティの確認メッセージが表示されます。

- 「YES」を選択すると「セキュリティ方式設定」の設定画面が表示されます。
- 「NO」を選択すると接続設定は中止されます。

2 [■]［SET］

Wi-Fi対応機器の検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作を行います。Wi-Fi対応機器との間でセキュリティなどの設定情報が交換され、N-05C（親機）の情報が反映されます。

3 [■]［SET］▶[📷]［完了］

接続が完了すると「アクセスポイントモード通信中」と表示されます。

■ **アクセスポイントモードの接続を終了する**

▶[i]［切断］または[━]

おしらせ

◆接続が完了しない場合は、再度「らくらく無線スタート」で接続登録を行うと接続できる場合があります。

◆一部のWi-Fi対応機器では、接続に失敗する場合がありますが、その際はセキュリティ方式設定（P.478）を「WPA2-PSK/AES」以外に変更して、再度「らくらく無線スタート」で接続登録を行うと接続できる場合があります。

● MACアドレス自動登録で接続登録する

Wi-Fi対応機器（子機）のMACアドレスを、N-05C（親機）に登録します。

1 機器登録画面（P.476）▶「MACアドレス自動登録」

Wi-Fi対応機器の検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作を行います。

「MACフィルタ設定」（P.478）を「ON」に設定していても一時的に解除されます。

■ **登録後に確認メッセージが表示された場合**

「YES」を選択すると「MACフィルタ設定」を「ON」に設定できます。

● 手動で接続登録する

「AOSS」や「らくらく無線スタート」に対応していないWi-Fi対応機器（子機）では、手動で接続登録することができます。

- あらかじめWi-Fi対応機器側を接続設定待ち状態にしてください。操作についてはWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 [MENU]▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「アクセスポイントモード」▶「接続開始」

■ **接続を終了する場合**

▶[i]［切断］

2 [✉]［機器登録］▶「手動機器接続」

「MACフィルタ設定」が「ON」の場合、MACアドレスが未登録の機器は接続できない旨のメッセージが表示されます。

- MACアドレスを登録してある場合は「YES」を選択します。
- 「NO」を選択すると接続設定は中止されます。

「セキュリティ方式設定」が「なし」の場合、セキュリティの確認メッセージが表示されます。

- 「YES」を選択すると「セキュリティ方式設定」の設定画面が表示されます。
- 「NO」を選択すると接続設定は中止されます。

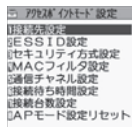
3 画面の指示に従って設定▶[📷]［完了］

接続が完了すると「アクセスポイントモード通信中」と表示されます。

■ **アクセスポイントモードの接続を終了する**

▶[i]［切断］または[━]

通信を行う際の接続先の選択

1 [MENU]▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「アクセスポイントモード」▶「アクセスポイントモード設定」

アクセスポイントモード設定画面

2「接続先設定」▶項目を選択

● 接続先を変更する

1 アクセスポイントモード設定画面（P.477）▶「接続先設定」▶変更する項目を反転▶[📷]［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目を選択▶[📷]［完了］

接続先名称、接続先番号、ユーザID、パスワード…接続先に関する設定や編集をする場合、選択します。

共有する通信先名の指定

通信時の混乱を防ぐIDです。ここで設定したESSIDはWi-Fi対応機器側で同一のものに指定する必要があります。

- 半角英数字（一部の半角記号を含む）で32文字まで入力できます。

1 アクセスポイントモード設定画面（P.477）▶「ESSID設定」▶IDを入力

不正アクセスを防止するためのセキュリティ設定

アクセスポイントモード利用時の不正アクセスを防ぐためにセキュリティを設定します。セキュリティ強度は、「WEP」<「WPA-PSK」<「WPA2-PSK」の順に高くなり、「WPA-PSK」の中では、「AES」の方が「TKIP」よりも高いセキュリティ強度となります。セキュリティ方式はWi-Fi対応機器同士が同じ方式に対応している必要があります。

- セキュリティ方式や文字形式などを選択する際には、「【推奨】」と表示されている項目を選択することをおすすめします。

● WEPを設定する

1 アクセスポイントモード設定画面（P.477）▶「セキュリティ方式設定」▶「WEP」▶KeyIDを選択▶以下の項目から文字形式を選択

64bit/ASCII…5文字の半角英数字を入力します。

64bit/HEX…10桁の0～9、a～f、A～Fのみで構成された半角英数字を入力します。

128bit/ASCII…13文字の半角英数字を入力します。

128bit/HEX…26桁の0～9、a～f、A～Fのみで構成された半角英数字を入力します。

2 WEPキーを入力

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKキーの入力について→P.490

● WPA-PSK／WPA2-PSKを設定する

1 アクセスポイントモード設定画面（P.477）▶「セキュリティ方式設定」▶「WPA-PSK/TKIP」～「WPA2-PSK/AES」から選択▶以下の項目から文字形式を選択

ASCII設定…8～63文字の半角英数字を入力します。

HEX設定…64桁の0～9、a～f、A～Fのみで構成された半角英数字を入力します。

2 キーを入力

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKキーの入力について→P.490

おしらせ

◆WEP以外の方式が使用できますが接続相手となるWi-Fi対応機器のなかにはWEPしか設定できない機器があります。あらかじめご確認の上、選択してください。

◆端末初期化を行うと「セキュリティ方式設定」は「なし」に設定され、設定されたキーは削除されます。

登録した機器固有番号以外の機器を接続できないようにする

登録したMACアドレスを持つWi-Fi対応機器のみを接続するかどうかを設定します。MACフィルタ設定は最大5件登録できます。

- 登録するWi-Fi対応機器のMACアドレスの確認方法についてはWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 アクセスポイントモード設定画面（P.477）▶「MACフィルタ設定」

■ 登録したMACアドレスを削除する場合
▶削除する項目を反転▶[i]［削除］▶「YES」

2 「ON」▶項目を選択▶MACアドレスを入力▶[📷]［完了］

■ 設定しない場合
▶「OFF」

干渉をなくすための通信チャネル変更

1 アクセスポイントモード設定画面(P.477)▶「通信チャネル設定」▶通信チャネルを選択

「Auto（1-11ch)」に設定した場合は、周辺のWi-Fiの状況を検出して、空いているチャネルを通信チャネルとして自動的に設定します。

操作がないときにアクセスポイントモードを切断する時間の変更

1 アクセスポイントモード設定画面(P.477)▶「接続待ち時間設定」▶項目を選択

利用可能な機器を増やす設定

1 アクセスポイントモード設定画面(P.477)▶「接続台数設定」▶項目を選択

接続台数を2台以上に設定するときは、あらかじめ「セキュリティ方式設定」を「なし」以外に設定するか、「MACフィルタ設定」を「ON」に設定してください。

アクセスポイントモード設定をお買い上げ時の状態に戻す

- 接続先設定、ESSID設定、セキュリティ方式設定、MACフィルタ設定、通信チャネル設定、接続待ち時間設定、接続台数設定の各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 アクセスポイントモード設定画面(P.477)▶「APモード設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

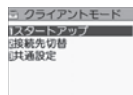
クライアントモード

N-05CをWi-Fiのアクセスポイントに接続することで、Wi-Fiのネットワークを経由してｉモードやインターネットのサイトに接続したり、DLNAなどのサービスが利用できるようになります。

● クライアントモードのご利用にあたって

- N-05Cは、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11nに対応しています。N-05Cとアクセスポイントが同じ通信規格に対応していないと接続できませんので、アクセスポイント側の規格をあらかじめご確認ください。
- アクセスポイント側のセキュリティ方式が「WEP」または「802.1X」の場合、IEEE802.11nでの通信は行えず、IEEE802.11b/gでの通信となります。
- アクセスポイント側のセキュリティ方式が「WPA/WPA2-PSK」や「WPA2-PSK」の場合でも、暗号化設定が「TKIP」の場合はIEEE802.11nでの通信は行えず、IEEE802.11b/gでの通信となります。
- FOMA シングルモードのときはクライアントモードを利用できません。
- 海外ではクライアントモードを利用できない場合があります。

クライアントモード

Wi-Fiのアクセスポイントに接続するために必要な設定を行ったり、設定内容の変更や確認をすることができます。

項目	説明
スタートアップ	
ワイヤレスネットワーク検索	接続するアクセスポイントをスキャン（検索）します。→P.483
AOSS	アクセスポイントに接続するために必要な設定を簡単な操作で行うことができます。→P.481
らくらく無線スタート	
WPS	
手動設定	アクセスポイントに接続するために必要な設定を手動で行うことができます。→P.482
ホームＵ初期設定	ホームＵサイトに接続します。
接続先切替	
ワイヤレスネットワーク検索	接続するアクセスポイントをスキャン（検索）します。→P.483
接続先一覧	アクセスポイントに接続するために必要な設定内容を参照したり、変更することができます。→P.483
共通設定	
優先接続設定	通信モードを設定したり、通信切替時の確認画面表示について設定します。→P.490

項目	説明
クライアントモード情報表示	接続しているアクセスポイントの情報や、本FOMA端末のWi-Fi通信時のMACアドレスを表示します。
SSL証明書管理	SSL証明書の管理ができます。
クライアントモード設定リセット	「クライアントモード」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。→P.484

■**クライアントモードの設定完了までの流れ**

お買い上げ時から、クライアントモードでの接続までの準備について説明します。

通信モードをFOMAシングルモード以外に設定
通信モード設定を切り替える（P.67）

アクセスポイントを準備する※1	
自動設定対応アクセスポイントの場合	自動設定非対応アクセスポイントの場合

自動設定によるセットアップを行う
AOSS、らくらく無線スタート、WPSで接続登録を行う（P.481）

アクセスポイント側のセキュリティ方式の設定を確認する※1	
「なし」、「WEP」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」の場合※2	左記以外のセキュリティ方式の場合

ワイヤレスネットワーク検索を行う
アクセスポイントをスキャンする（P.483）

手動設定によるセットアップを行う
手動設定で接続登録を行う（P.482）

※1 アクセスポイント側の設定方法は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

※2 アクセスポイント側のセキュリティ方式が「なし」、「WEP」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」の場合でも、手動設定でWi-Fiへの接続を行うことが可能です。

関連用語集

■**アクセスポイント**

Wi-Fiを利用する際の接続先です。

■**ビーコン**

アクセスポイントから一定間隔で送出される信号です。FOMA端末でビーコンを受信することにより、Wi-Fiの同期をとることができます。

■**プロファイル**

アクセスポイントに接続するために必要な設定を組み合わせたものです。

■DTIM
Delivery Traffic Indication Messageの略です。ビーコンに含まれる信号の1つで、アクセスポイントから無線クライアント（FOMA端末）向けのデータがあることを通知します。

■ESSID
Extended Service Set Identifierの略です。Wi-Fiにおけるネットワーク識別子の1つです。ESSIDが一致するアクセスポイントと通信が可能です。

■MACアドレス
Media Access Controlアドレスの略です。ネットワーク上で機器を識別するための固有のハードウェアアドレスです。

■QoS
Quality of Serviceの略です。ネットワークの優先制御と帯域制御に関するサービス品質のことです。

■SIP
Session Initiation Protocolの略です。IPネットワーク上でマルチメディア通信を行うための通信上の取り決め（プロトコル）です。FOMA端末ごとに設定されたSIPアドレス（IP電話番号）により、Wi-Fi音声電話が利用できます。

■TTC-SIP
TTC（Telecommunication Technology Committee：社団法人情報通信技術委員会）の標準規格で規定されたSIPです。

■TTC-SIPサーバ
TTCの標準規格で規定されたSIPを利用して、Wi-Fi音声電話を制御するサーバです。

■WMM®
Wi-Fi Multimediaの略です。ストリーミングなどのマルチメディアデータ転送向けのQoS機能規格で、Wi-Fiネットワーク内のさまざまなデータに優先順位を割り当てる機能を有しています。

接続設定

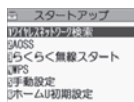
アクセスポイントに接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定することができます。

- アクセスポイントの操作についてはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- FOMAシングルモードの場合やほかのタスクを起動している場合はアクセスポイントをスキャンすることができません。

● AOSSで接続登録を行う

- 「AOSS」は、AOSSボタンを押すだけで簡単にセキュリティ設定などができる自動設定システムです。接続する機器それぞれに対して異なる暗号化キーを設定することができます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「クライアントモード」▶「スタートアップ」

■ デスクトップアイコンから起動する場合
▶待受画面表示中▶■▶「Wi-Fi」を選択

スタートアップ画面

2「AOSS」
アクセスポイントの検索がはじまります。
接続先一覧画面で設定したい項目を反転表示しMENU［サブメニュー］から「AOSS」を選択しても起動できます。

3 画面に従い、アクセスポイント本体のAOSSボタンを押す
以降は画面の指示に従って操作を行います。
アクセスポイントとの間でWi-Fiの設定情報が交換され、接続先に反映されます。

■ 設定が正常に完了した場合
設定完了を通知するメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

■ 設定に失敗した場合または時間内に接続できなかった場合
「再検出」または「Cancel」を選択できます。

● らくらく無線スタートで接続登録を行う

- 「らくらく無線スタート」は、アクセスポイントに設置されたボタンを操作することで、少ない操作で接続登録を可能にする自動設定システムです。アクセスポイントが暗号化されていても、暗号化キーの入力が不要で接続登録ができます。

1 スタートアップ画面（P.481）▶「らくらく無線スタート」
アクセスポイントの検索がはじまります。
接続先一覧画面で設定したい項目を反転表示しMENU［サブメニュー］から「らくらく無線スタート」を選択しても起動できます。
アクセスポイント側の設定によっては、アクセスポイントが検出されない場合があります。その場合は、アクセスポイント側の設定を確認してからもう一度検索を行ってください。

2 画面に従い、アクセスポイント本体の「らくらく無線スタートボタン」を押す

以降は画面の指示に従って操作を行います。
アクセスポイントとの間でWi-Fiの設定情報が交換され、接続先に反映されます。
画面の指示に従ってアクセスポイント本体のらくらくスタートボタンを押してください。
アクセスポイントによっては操作方法が異なる場合があります。

■ 設定が正常に完了した場合
設定完了を通知するメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

■ 設定に失敗した場合または時間内に接続できなかった場合
「再検出」または「Cancel」を選択できます。

● WPS（PIN コード入力方式）で接続登録を行う

- 「Wi-Fi Protected Setup™※」（WPS）に対応したアクセスポイントに接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

※ 無線LANの業界団体Wi-Fi Alliance®が策定した無線LAN設定に関する標準規格で、対応機器どうしであれば簡単な操作のみで安全なWi-Fiネットワーク環境の構築が可能となります。

- FOMA端末がランダムに生成する「PINコード」を用いて認証を行うため、より安全にWi-Fiの設定を行うことができます。

1 スタートアップ画面（P.481）▶「WPS」

接続先一覧画面で設定したい項目を反転表示し MENU［サブメニュー］から「WPS」を選択しても起動できます。

2 「PINコード入力方式」

アクセスポイントの検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作を行います。
FOMA端末の画面に「PINコード」（WPS用PINコード）が表示されたら、その番号をアクセスポイントに登録してください。※
アクセスポイントとの間でWi-Fiの設定情報が交換され、接続先に反映されます。

■ 設定が正常に完了した場合
設定完了を通知するメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

■ 設定の一部ができなかった場合
設定ができない理由を通知するメッセージが表示されます。

■ 設定に失敗した場合
失敗した理由を通知するメッセージが表示されます。「再検出」または「Cancel」を選択できます。

※ WPS用PINコードのアクセスポイントへの入力を誤った場合
FOMA端末画面に表示されている正しいPINコードを再度、アクセスポイントへ入力してください。

■ 時間内に接続できなかった場合
「再試行」または「Cancel」を選択できます。アクセスポイントによっては接続が一度失敗することがありますので、その場合は「再試行」を選択して何度か実行してください。

● WPS（プッシュボタン方式）で接続登録を行う

- 「Wi-Fi Protected Setup™」（WPS）に対応したアクセスポイントのプッシュボタンを用いてより簡単な操作で設定を行います。

1 スタートアップ画面（P.481）▶「WPS」

接続先一覧画面で設定したい項目を反転表示し MENU［サブメニュー］から「WPS」を選択しても起動できます。

2 「プッシュボタン方式」

アクセスポイントの検索がはじまりますのでアクセスポイント本体またはアクセスポイントの設定画面のプッシュボタンを押してください。
以降は画面の指示に従って操作を行います。
アクセスポイントとの間でWi-Fiの設定情報が交換され、接続先に反映されます。

■ 設定が正常に完了した場合
設定完了を通知するメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

■ 設定に失敗した場合
失敗した理由を通知するメッセージが表示されます。「再検出」または「Cancel」を選択できます。

● 手動設定で接続登録を行う

1 スタートアップ画面（P.481）▶「手動設定」

新規接続先が設定されます。

2 各項目を設定

「接続先ごとに設定できる項目」→P.486

3 📷［確定］▶📷［完了］

● ホームUのサイトに接続して初期設定を行う

●ホームUに関する設定や接続方法については、『ご利用ガイドブック（ホームU編）』をご覧ください。

1 スタートアップ画面（P.481）▶「ホームU初期設定」▶ホームU初期設定サイトの画面に従って設定▶「OK」▶アクセスポイントとの接続の設定方法を選択

アクセスポイントのスキャン

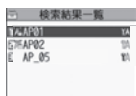
接続するアクセスポイントをスキャン（検索）します。

●FOMAシングルモードの場合やほかのタスクが起動している場合は、アクセスポイントをスキャンすることができません。

●接続先の状態を示すアイコンは以下のとおりです。

- ：セキュリティ設定あり
- ：接続先無効
- ：接続先設定あり
- ：接続先設定なし
- ：WPSで接続できるアクセスポイント

1 待受画面表示中に■（1秒以上）

アクセスポイントを検索して、結果を表示します。

検索結果一覧画面

■ 途中で中止する場合

▶「Cancel」

■ アクセスポイントが検出されなかった場合

「OK」を選択して再度、検索を行います。

2 アクセスポイントを選択▶[完了]

登録済みのアクセスポイントの場合は、接続は完了です。

無効のアクセスポイントの場合は、さらに「YES」を選択して有効にすると接続は完了です。

● ワイヤレスネットワーク検索で接続登録を行う

1 スタートアップ画面（P.481）▶「ワイヤレスネットワーク検索」

アクセスポイントの検索がはじまります。

アクセスポイント検索結果の検索結果一覧画面（P.483）を表示します。

■ 途中で中止する場合

▶「Cancel」

■ アクセスポイントが検出されなかった場合

「OK」を選択して再度、検索を行います。

2 検索結果一覧画面（P.483）で未登録のアクセスポイントを選択

接続先に空きがない場合は、「YES」を選択し上書きする項目を選択します。

3 接続先の名称を入力▶[完了]

■ WPS対応のアクセスポイントの場合

「YES」を選択すると「WPS」による接続設定画面が表示されます。

以降は画面の指示に従って操作を行います。

おしらせ

◆「」が表示されているアクセスポイントを選んだ場合は、WEPキーまたはWPA／WPA2-PSKキーの入力が必要です。→P.490

クライアントモードの設定内容の参照／変更

接続先ごとに設定したり、すべての接続先に共通の項目をまとめて設定することができます。

●20個の接続先が設定可能です。（ホームU設定時は21個の接続先が設定可能です。）

●FOMAシングルモードに設定している場合でも、設定変更や設定の確認は行えますが、その他のアクセスポイントの検出は行われません。アクセスポイントを検出し接続するには、Wi-FiシングルモードまたはDUALモードに切り替える必要があります。

■設定変更の操作について

「接続先設定」の各項目で変更した内容はすぐに反映されず一時保存されます。

各項目の設定を確定後、接続先一覧画面（P.484）まで戻り、[完了]が押された時点でFOMA端末に変更内容が反映されます。

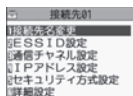
● 接続先ごとに設定する

<例：接続先名を変更する場合>

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「クライアントモード」▶「接続先切替」▶「接続先一覧」

接続先一覧画面（サブメニュー→P.484）

2 **接続先を選択**

「接続先ごとに設定できる項目」→P.486

接続先画面

3 **「接続先名変更」▶接続先名を入力**

4 **[確定]▶ [完了]**

設定を反映します。反映が終了すると、アクセスポイントに接続します。

■「接続先切替」を変更していない場合

[完了]を押すと、接続先切替画面に戻ります。

サブメニュー

❖接続先一覧画面（P.484）

新規接続先設定…新規の接続先を登録します。登録名は「接続先XX」（XX：01～20、初期値01）となります。

優先順位の変更…反転表示した優先順位を、選択した優先順位に変更します。

AOSS、らくらく無線スタート、WPS…反転表示している接続先に対して接続登録を行います。→P.481

接続先有効⇔接続先無効…反転表示している接続先の設定を有効または無効にします。

コピー…反転表示している接続先の設定をほかの接続先にコピーします。

TTC-SIP自動設定…反転表示している接続先の設定をTTC-SIPサーバ用に変更します。

削除…反転表示している接続先を削除します。

おしらせ

<TTC-SIP自動設定>

◆以下の項目の設定が変更されます。

- IPアドレス設定
  - 「IPアドレス自動取得設定」：「自動設定」
- SIP設定
  - 「移動機SIPアドレス設定」：<空欄>
  - 「サーバ設定」：「自動設定」
  - 「TTC-SIP設定」：「ON」
- DNS設定
  - 「DNS自動取得設定」：「自動設定」

● すべての接続先に共通する項目を設定・確認する

<例：接続状態とMACアドレスを確認する場合>

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「クライアントモード」▶「共通設定」▶「クライアントモード情報表示」

情報表示画面

接続ステータス…接続状態を表示します。

タイミングによっては、「電界強度」に「0dBm」と表示される場合があります。■[更新]を押して接続ステータス画面を表示し直すと、正しい電界強度が表示されます。

海外で利用されていると判定した場合、「Wi-Fi利用制限中」と表示されます。ただし、登録されている接続先が0件の場合は表示されません。

MACアドレス…Wi-Fiでホストを識別するために設定される固有のハードウェアアドレスを参照します。

クライアントモードの設定をお買い上げ時の状態に戻す

●「クライアントモード設定リセット」を実行すると、次の機能やデータが、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 優先接続設定
- SSL証明書管理の有効／無効設定（お買い上げ時に登録されている証明書とｉモードユーザ証明書1を除くすべての証明書が削除されます。）
- 接続先切替の接続先一覧（登録済のすべての接続先を削除）
- インターホン機能

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「クライアントモード」▶「共通設定」▶「クライアントモード設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

◆「クライアントモード設定リセット」を実行するとWi-Fi接続を利用できなくなります。

接続先設定項目一覧

● 接続先ごとに設定できる項目

●設定方法については「接続先ごとに設定する」（P.483）を参照してください。
●各項目で設定を変更したあとは、📷［確定］を押して接続先一覧画面（P.484）に戻り、📷［完了］を押してください。この操作によりFOMA端末に設定内容が反映されます。

項目	設定範囲（下線部はお買い上げ時の設定）	操作
接続先名変更 接続先名を変更します。	接続先01～接続先20 ※ 全角で8文字、半角で16文字まで入力できます。スペース（空白）は使用できません。	▶接続先名を入力
ESSID設定 通信時の混線を防ぐためのIDです。アクセスポイントと同一のものに指定します。	ESSID01～ESSID20 ※ 半角英数字（一部の半角記号を含む）で32文字まで入力できます。	▶ESSIDを入力
通信チャネル設定 複数のWi-Fiどうしの干渉をなくすために通信チャネルを選択します。	Auto（1,6,11,14）／Auto（1,5,9,13）／Auto（1-14）／1ch～14ch ※ 海外では12ch～14chは使用できません。	▶チャネルを選択
IPアドレス設定 IPアドレスを設定します。IPアドレスとは、パケットを送受信する機器を識別するための番号です。	自動設定／手動設定 IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ：－－－.－－－.－－－.－－－（未設定）～255.255.255.255 ※ 以下の値は入力できません。また、IPアドレスとサブネットマスクには必ず0.0.0.0以外の値を入力する必要があります。 ＜IPアドレス／デフォルトゲートウェイ＞ ・ループバックアドレス（127.0.0.1） ・クラスD/Eアドレス（224.0.0.0～255.255.255.255） ・ホスト部がオールビットOFF（例：192.168.0.0/24） ・ホスト部がオールビットON（例：192.168.0.255/24） ＜サブネットマスク＞ ・255.255.255.255 ※ 0.0.0.0を入力すると、現在の設定内容を消去して未設定状態に戻ります。	**■ 自動で設定する場合** ▶「自動設定」 **■ 手動で設定する場合** ▶「手動設定」▶「IPアドレス」、「サブネットマスク」または「デフォルトゲートウェイ」▶アドレスを入力

項目	設定範囲（下線部はお買い上げ時の設定）	操作
セキュリティ方式設定 外部から無線パケット解析を防止するためにセキュリティを設定します。		
セキュリティ方式選択	なし／WEP／802.1x／WPA/WPA2／WPA2／WPA/WPA2-PSK／WPA2-PSK ※ WPA2、WPA2-PSKの暗号化方式はTKIPまたはAESに対応しています。	■ **設定しない場合** ▶「なし」 ■ **「WEP」を設定する場合** ▶「WEP」▶KeyIDを選択▶文字形式を選択▶WEPキーを入力 ■ **「802.1x」、「WPA/WPA2」、「WPA2」を設定する場合** ▶フェーズ1を選択▶フェーズ2を選択 ※ フェーズ1に「EAP-TLS」を選択した場合は、フェーズ2の選択は不要となります。 ■ **「WPA/WPA2-PSK」、「WPA2-PSK」を設定する場合** ▶文字形式を選択▶WPA-PSKキーまたはWPA2-PSKキーを入力
証明書 セキュリティ方式選択で「802.1x」、「WPA/WPA2」、「WPA2」を選択した場合に認証時に用いる証明書を認証サーバにあわせて設定します。 ※ クライアント証明書はフェーズ1に「EAP-TLS」を選択した際にのみ設定可能となります。	ルート証明書選択：(未設定) クライアント証明書選択：(未設定)	■ **証明書を確認する場合** ▶「ルート証明書選択」または「クライアント証明書選択」▶証明書を選択 ■ **証明書を設定する場合** ▶「ルート証明書選択」または「クライアント証明書選択」▶証明書を反転▶MENU［サブメニュー］▶「選択」 ※ 選択中の証明書は、「 」が表示されます。
CN検証設定 証明書のCN（Common Name）と一致しない不正な認証サーバへの接続を防止するために認証サーバのCN検証有無を設定します。 ※ セキュリティ方式選択で「802.1x」、「WPA/WPA2」、「WPA2」を選択した場合に設定可能です。	ON／OFF ※ 半角英数字（一部の半角記号を含む）で64文字まで入力できます。	■ **CN検証する場合** ▶「ON」▶CNを入力 ■ **CN検証しない場合** ▶「OFF」

項目	設定範囲（下線部はお買い上げ時の設定）	操作
EAP用ID設定 802.1x／WPA（EAP）用のIDを設定します。	(未設定) ※ 半角英数字（一部の半角記号を含む）で64文字まで入力できます。	▶IDを入力
EAPフェーズ2用ID設定 802.1x／WPA（EAP）でのクライアント認証時に使用するIDを設定します。	ID：(未設定) パスワード：(未設定) ※ 半角英数字（一部の半角記号を含む）で64文字まで入力できます。	▶「ID」▶IDを入力▶「パスワード」▶パスワードを入力
BB回線接続情報 ホームＵのサイトに接続して、BB回線接続情報を表示します。 （ホームＵの接続先を選択した場合に表示されます。）		
詳細設定		
HTTP Proxy設定 Proxyサーバを使用するかどうか設定します。Proxyサーバとは、内部ネットワークとインターネットの間に設置されるコンピュータです。インターネットへのアクセス制御や外部からの不正なアクセスを遮断します。	使用しない／使用する サーバアドレス：0.0.0.0（未設定）～255.255.255.255 ポート番号：(未設定)（1～65535） 未使用アドレス：(未設定) （例）192.168.1.1,www.△△△.jp,192.168.1.254 ※ 半角英数字（一部の半角記号を含む）で512文字まで入力できます。 ※ 未使用アドレスは、区切りとして「,（カンマ）」を入力すると複数指定できます。 IPアドレスに対して「/（スラッシュ）」を入力するとサブネットマスク（1～32）を指定することができます。 後方一致での指定によるワイルドカード指定もできます（例：「co.jp」と記述することで「co.jp」ドメインすべてが対象となります）。	■ **使用しない場合** ▶「使用しない」 ■ **使用する場合** ▶「使用する」▶「サーバアドレス」▶アドレスを入力▶「ポート番号(HTTP)」▶番号を入力▶「ポート番号（SSL）」▶番号を入力▶「未使用アドレス」▶アドレスを入力
SIP設定 Wi-Fi音声電話を使用するためのSIPサーバの情報を設定します。		
移動機SIPアドレス設定 FOMA端末のSIPアドレス（マイIP電話番号）を設定します。	(未設定) ※ 半角英数字で50文字まで入力できます。ただし、アドレス部については半角数字のみ使用可能です。	▶本FOMA端末のSIPアドレス（マイIP電話番号）を入力
サーバ設定	自動設定／手動設定 IP-PBXサーバ IPアドレス： 0.0.0.0（未設定）～255.255.255.255 ポート番号： 5060（1～65535） Registerサーバ IPアドレス： 0.0.0.0（未設定）～255.255.255.255	■ **自動で設定する場合** ▶「自動設定」 ■ **手動で「IP-PBXサーバ」を設定する場合** ▶「手動設定」▶「IP-PBXサーバ」▶「IPアドレス」▶アドレスを入力▶「ポート番号」▶番号を入力 ■ **手動で「Registerサーバ」を設定する場合** ▶「手動設定」▶「Registerサーバ」▶「IPアドレス」▶アドレスを入力

項目	設定範囲（下線部はお買い上げ時の設定）	操作
ダイジェスト認証設定	ID：(未設定) パスワード：(未設定) ※ 半角英数字（一部の半角記号を含む）で64文字まで入力できます。	▶「ID」▶IDを入力▶「パスワード」▶パスワードを入力
VoIP設定 ジッタバッファ、ジッタバッファサイズ、RTPポート番号を設定します。		
・ジッタバッファ設定 Wi-Fi音声電話時に音声データを蓄えるジッタバッファのサイズを固定にするか、データ送信の遅れや混雑状況に応じて自動的に変更するかを設定します。	ダイナミック／スタティック	▶「ダイナミック」または「スタティック」を選択
・ジッタバッファサイズ Wi-Fi音声電話時に音声データを蓄えるジッタバッファのサイズを設定します。 ※ ジッタバッファのサイズが大きいと、音質は良くなりますが、音声データの送信が遅くなります。サイズが小さいと音声データの送信は早くなりますが、音質が悪くなる場合があります。	40～240	▶「40（ms）」～「240（ms）」から選択
・RTPポート番号 Wi-Fi音声電話時に音声データを送信するポートの番号を設定します。	5006（1～65532）	▶ポート番号を入力
TTC-SIP設定 SIPサーバにあわせ、SIPシーケンスをTTC-SIP固定にするかどうかを設定します。TTC-SIPとは、社団法人情報通信技術委員会の標準規格で規定されたIPネットワークのプロトコル（通信上の取り決め）です。	ON／OFF	▶「ON」または「OFF」
DNS設定 DNSアドレスを設定します。	自動設定／手動設定（プライマリDNS／セカンダリDNS）： プライマリDNS/セカンダリDNS： －－－.－－－.－－－.－－－(未設定) ～255.255.255.255 ※ 以下の値は入力できません。 ・ループバックアドレス（127.0.0.1） ・クラスD/Eアドレス（224.0.0.0～255.255.255.255） ※ 0.0.0.0を入力すると、現在の設定内容を消去して未設定状態に戻ります。 ※「IPアドレス設定」を「手動設定」に設定している場合は、「手動設定」のみ可能です。	**■ 自動で設定する場合** ▶「自動設定」 **■ 手動で設定する場合** ▶「手動設定」▶「プライマリDNS」または「セカンダリDNS」▶アドレスを入力
送信電力 Wi-Fi通信時の送信電力を設定します。	1（Min）／2／3／4／5（Max）	▶送信電力を選択

項目	設定範囲（下線部はお買い上げ時の設定）	操作
QoS設定 ネットワーク上の帯域制御やパケットの優先制御を行うかどうかを設定します。	ON／OFF	▶「ON」または「OFF」
外線特番自動付加設定 内線発信で外線に電話をかけるとき、電話番号が特定の条件と一致した場合に、自動的に外線特番を付加して発信するように設定します。	ON／OFF 外線プレフィックス：(未設定) 外線特番自動付加設定：1～0 外線プレフィックスは、10桁まで入力できます。	■ **付加する場合** ▶「ON」▶ 外線プレフィックスを入力▶ 自動付加する条件を選択▶📷［確定］ ■ **付加しない場合** ▶「OFF」

おしらせ

<HTTP Proxy設定><サーバ設定>

◆サーバアドレス、IP アドレスは文字形式で入力することもできます。半角の英数字、記号、スペース（空白）で64文字まで入力できます。

<WEP/WPA-PSKキーの入力について>

◆WEPキーの文字形式は「64bit／ASCII」、「64bit／HEX」、「128bit／ASCII」、「128bit／HEX」のいずれかを選択します。また、WPA-PSK／WPA2-PSKの文字形式は「ASCII設定」、「HEX設定」のいずれかを選択します。「64bit／HEX」、「128bit／HEX」または「HEX設定」を選択した場合、キーは16進数入力で入力します。16進数入力には「0」～「9」の数字と「a」～「f」、「A」～「F」のアルファベットを使用します。「a」～「f」は*、「A」～「F」は#を繰り返し押して入力します。また、*、#を押したあと、CLRを繰り返し押すことにより文字を「f」→「e」…（*を押した場合）、「F」→「E」…（#を押した場合）の順に切り替えることもできます。

● すべての接続先に共通して設定できる項目

●設定方法については「すべての接続先に共通する項目を設定・確認する」（P.484）を参照してください。

項目	設定範囲（下線部はお買い上げ時の設定）	操作
優先接続設定		
通信モード設定 接続する通信モードを設定します。	DUALモード（FOMA優先）／DUALモード（Wi-Fi優先）／FOMAシングルモード／Wi-Fiシングルモード	▶項目を選択
接続切替画面設定 DUALモードに設定している場合、モード切替時のメッセージ画面の表示について設定します。 （通信モードをDUALモードに設定かつ、接続先一覧に接続先が1件以上登録されている場合のみ設定可能）	表示する／表示しない	▶項目を選択
クライアントモード情報表示 Wi-Fiの接続状況や、本FOMA端末のMACアドレスを表示します。	接続ステータス／MACアドレス	▶項目を選択

項目	設定範囲（下線部はお買い上げ時の設定）	操作
SSL証明書管理 SSL／TLS証明書の確認や、SSL／TLS証明書の有効／無効を切り替えます。証明書を無効にすると、その証明書に対応しているページは表示されないようになります。	（未設定）	**■ 証明書を確認する場合** ▶証明書を選択 **■ 証明書の有効／無効を切り替える場合** ▶証明書を反転表示▶MENU［サブメニュー］▶「有効／無効設定」 ※ 有効時は「」、無効時は「」が表示されます。 **■ 証明書を削除する場合** ▶証明書を反転表示▶MENU［サブメニュー］▶「証明書削除」▶ 端末暗証番号を入力▶「YES」 ※ ｉモード証明書、ｉモードドコモ証明書、ｉモードユーザ証明書は削除できません。
クライアントモード設定リセット クライアントモードの設定をリセットします。		▶端末暗証番号を入力▶「YES」

Wi-Fi音声電話のかけかた

Wi-Fi音声電話とは

Wi-Fi音声電話は、IPネットワーク上で行う音声通話です。
- 内線機能を利用するために、SIPサーバで設定されている内線特番（特別な内線番号）を使用する場合があります。各サービスの内線特番については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- Wi-Fi音声電話とSIPアドレス
  Wi-Fi音声電話では、電話番号の代わりに、各電話機に割り当てられたSIP（Session Initiation Protocol）アドレスをIP電話番号として使用します。
  SIPアドレスはアドレス部とHOST部（ドメイン名）から構成されますが、Wi-Fi音声電話の着信中などにHOST部（ドメイン名）は表示されません。
  <SIPアドレスの例>
  1234@□□□□.com
  アドレス部（IP電話番号）　HOST部（ドメイン名）

内線のかけかた

電話番号（内線番号）をダイヤルしてWi-Fi音声電話をかけます。
- FOMAシングルモードではWi-Fi音声電話をかけることはできません。

1 相手の電話番号（内線番号）をダイヤル

「FOMA」が表示されている場合は i［FOMA Wi-Fi］を押して「Wi-Fi」を表示させてください。

電話番号入力画面（サブメニュー→P.493）

■ 内線特番を入力する場合
「電話番号（内線番号）に内線特番を付加する」→P.493

2

Wi-Fi音声通話中画面（サブメニュー→P.493）

■ 受話音量を調節する場合
「受話音量調節」→P.85

■ ハイパークリアボイスの設定を切り替える場合→P.81

3 通話が終了したら［終話］

■ 一定時間無音となった場合
自動的に回線が切断され、待受画面に戻ります。

おしらせ

◆DUALモード（FOMA優先／Wi-Fi優先）の場合、電話番号入力中に i［Wi-Fi FOMA／FOMA Wi-Fi］を押すことで、FOMA音声電話でかけるかWi-Fi音声電話でかけるかを選択することができます。
◆「（Wi-Fi圏外アイコン）」が表示されている状態で長時間放置すると、Wi-Fi圏内に移動してもしばらくの間「（Wi-Fiアイコン）」が表示されないことがあります。その場合は、アクセスポイントをスキャンしてください。→P.483
◆Wi-Fi音声電話をかけたときに「ツーツー」という話中音が聞こえ、回線が混み合っている、またはネットワーク障害などの理由を示すメッセージが表示される場合があります。この場合は「OK」を選択し、しばらくたってからおかけ直しください。問題が解決しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
◆電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合は、相手の携帯電話の電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。［終話］を押して、しばらくたってからおかけ直しください。
◆ハンズフリーを利用して通話することができます。→P.74
◆イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけることができます。→P.418
◆DUALモード（Wi-Fi優先）またはWi-Fiシングルモードの場合、緊急通報番号（110番、119番、118番など）に電話をかけると自動的にFOMA音声電話で発信します。
◆Wi-Fi音声通話中にFOMA音声電話の着信があると、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、通話終了後に「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

◆Bluetoothヘッドセットを利用してのWi-Fi音声通話はできません。

サブメニュー

❖電話番号入力画面（P.492）

発信モード選択※1…発信モードを「FOMA」または「Wi-Fi」から選択します。
発信者番号通知※2…本設定にかかわらずマイIP電話番号が相手に通知されます。
プレフィックス…P.79
内線特番…P.493
国際電話発信※2…国際電話を発信します。
マルチナンバー※2…マルチナンバーを設定します。
電話帳登録…P.94
メール作成…P.152
テレビ電話画像選択※2…テレビ電話の画像を選択します。

※1 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。通信モード設定がシングルモードの場合は利用できません。
※2 Wi-Fi音声電話では利用できません。

サブメニュー

❖Wi-Fi音声通話中画面（P.492）

直デン…P.102
電話帳…P.97
リダイヤル…P.75
着信履歴…P.75
通話中音声メモ…P.407
ミュートON⇔ミュートOFF…送信する音声をミュート（消音）するかしないかを切り替えます。
内線特番…P.493
保留音…相手に保留音が流れます。ただし、保留中は内線機能を使った転送などのサービスは利用できません。→P.85
通話呼切断※…通話中の回線を切断して、保留中の回線を呼び出します。
保留呼切断※…保留中の回線を切断して、通話中の回線を継続します。
保留呼切替※…通話中の回線を保留にして、保留中の回線を呼び出します。

※「マルチ接続中」と表示されている場合のみ表示されます。

● 電話番号（内線番号）に内線特番を付加する

内線特番を付加すると、着信の転送など内線機能を使うことができます。

1 待受画面表示中▶電話番号入力画面で電話番号（内線番号）を入力

2 MENU［サブメニュー］▶「内線特番」▶「内線特番入力」▶内線特番を入力

内線特番はダイヤルした電話番号（内線番号）の前に付加されます。
内線特番は10桁まで入力できます（内線特番＋IP電話番号の合計は半角で80文字まで）。
<内線特番200を付加した場合>
200　1234
内線特番　電話番号（内線番号）

外線のかけかた

最初に外線発信番号をダイヤルして内線発信で外線に電話をかけます。
●あらかじめ外線特番を自動的に付けて発信できるように設定できます→P.486
<例：外線発信番号が「0」でかける場合>

1 0（外線発信番号）＋相手の電話番号をダイヤル

電話番号入力画面（サブメニュー→P.493）

■ 外線（市外局番）03-XXXX-XXXXにかける場合
外線発信番号-03-XXXX-XXXX

■ 携帯電話にかける場合
外線発信番号-090-XXXX-XXXX
または外線発信番号-080-XXXX-XXXX

2 [通話キー]

音声通話中画面（サブメニュー→P.493）

3 通話が終了したら[終話]

● 外線特番自動付加の設定をする

内線発信で外線に電話をかけるとき、外線特番（例えば、「0」発信など）が必要な場合があります。このようなとき、電話番号の先頭が特定の条件と一致した場合に、外線発信と判断し、自動的に外線特番を付加して発信することができます。
<例：外線特番が「0」で、自動付加条件が携帯電話（090-ではじまる）のとき>

1 [MENU]▶「便利ツール」▶「next」▶「Wi-Fi」▶「クライアントモード」▶「接続先切替」

2 「接続先一覧」▶接続先を選択▶「詳細設定」▶「外線特番自動付加設定」▶「ON」

外線プレフィックス編集画面が表示されます。

3 外線特番「0」を入力

4 外線特番付加条件を設定

外線特番設定画面

例の場合は「0」を選びチェックボックスを☑にします（090-ではじまる番号のため）。

- 外線特番付加条件は、複数選択することができます。
- [MENU]［サブメニュー］から「全選択／全選択解除」ができます。

5 [カメラ]［確定］▶[カメラ]［確定］▶[カメラ]［確定］▶[カメラ]［完了］

■ 上記の設定を行ったあとで、090- ではじまる携帯電話に電話をかけると

外線特番付加条件の「0」と電話番号の先頭が一致するため、自動的に外線特番の「0」を付加した電話番号で発信されます。発信後、呼出中の表示は「0090-XXXX-XXXX」となります。リダイヤル／発信履歴には、外線特番が付いていない電話番号が記録されます。

電話番号（内線番号）などの入力を間違えたとき

■番号を挿入する場合

[左右]を押して挿入したい位置の1つ左の番号にカーソルを移動して番号を入力します。

■番号を削除する場合

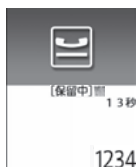
[左右]を押して削除したい番号にカーソルをあわせて[CLR]を押します。
[CLR]を1秒以上押すと、カーソルのあたっている番号とその左側にあるすべての番号が削除されます。

■入力し直す場合

カーソルを番号の先頭または最後にあわせて[CLR]を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

通話中に保留にする

1 通話中▶[CLR]

相手に保留音が流れます。

Wi-Fi音声通話保留中画面（サブメニュー→P.495）

■ [CLR]で保留できない場合

▶[MENU]［サブメニュー］▶「保留音」

保留音を音声として相手に送ります（インバンド保留）。インバンド保留中は内線機能を使った転送などのサービスは利用できません。

■ 保留中に電話を切る場合

▶[終話]

2 電話に出られるようになったら[CLR]または[■]

サブメニュー

❖Wi-Fi音声通話保留中画面（P.494）

直デン…P.102
電話帳…P.97
リダイヤル…P.75
着信履歴…P.75
内線特番…内線特番を入力します。→P.493
保留呼切断…保留中のWi-Fi音声電話を終了します。

リダイヤル／発信履歴／着信履歴の利用

リダイヤル／発信履歴／着信履歴を使って、かけたり、かかってきた相手の内線や外線の音声電話にかけ直すことができます。リダイヤル／発信履歴／着信履歴でのWi-Fi音声電話のかけかたは、FOMA音声電話と同じです。→P.75

Wi-Fi音声電話の受けかた

Wi-Fi音声電話がかかってきたときは、かけてきた相手によって画面に次のように表示されます。

表示※	電話をかけてきた相手
Wi-Fi着信中	Wi-Fi音声電話の着信
内線電話着信中	内線電話からの着信
外線電話着信中	外線電話からの着信

※ SIPサーバの設定によっては、表示が異なる場合があります。

- 電話番号を電話帳に登録した相手からWi-Fi音声電話がかかってくると、電話番号と登録した名前が表示されます。
- 外線電話の受けかたは「FOMA音声電話／テレビ電話の受けかた」(P.82) と同じ操作で行うことができます。

1 Wi-Fi音声電話がかかってきたら［通話キー］または［■］［通話］

[MENU]［サブメニュー］から「着信拒否」ができます。
着信音が鳴り、着信イルミネーションが点滅します。

着信中画面（内線電話からの着信の場合）

■ 着信音量を調節する場合
「着信音量設定」→P.107

■ 受話音量を調節する場合
「受話音量調節」→P.85

■ ハイパークリアボイスの設定を切り替える場合→P.81

2 通話が終了したら［終話キー］

おしらせ

◆「エニーキーアンサー」で電話を受けるように設定できます。→P.84
◆「クイックサイレント」でボタンを押すと着信音のみがとまるように設定できます。→P.84
◆着信中に伝言メモへ移り、相手の用件を録音できます。→P.87
◆電話の着信は「着信履歴」に30件まで記憶されます。相手が電話番号を通知してきた場合は、通知してきた電話番号が表示されます。また、電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、名前も表示されます。電話番号を通知してこない相手の場合は、その理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。
◆回線が混み合っているなどの理由で着信できなかった場合は、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「Wi-Fi」などが表示されます。また、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
◆Wi-Fi音声通話中にFOMA音声電話の着信があると、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、通話終了後に「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
◆Bluetoothヘッドセットを利用してのWi-Fi音声通話はできません。

キャッチホンの利用設定

「キャッチホン」を利用するかどうかを設定します。

- 本機能はTTC-SIP設定時のみ有効です。未設定の場合は、この機能を利用することはできません。

1 [MENU]▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「着信詳細設定」▶「Wi-Fi

キャッチホン設定」▶「ON」または「OFF」

おしらせ

◆本機能のキャッチホンを利用するには、別途キャッチホンの契約が必要です。
◆本機能によるキャッチホン操作は「キャッチホン」（P.445）と同様です。

Wi-Fi番号通知設定

電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

- 本機能はTTC-SIP設定時のみ有効です。未設定の場合は、この機能を利用することはできません。

1 **MENU▶「電話機能」▶「発着信･通話設定」▶「Wi-Fi番号通知設定」▶「通知する」または「通知しない」**

インターホン機能

自宅に設置されているインターホン機器とWi-Fi通信で連携し、本FOMA端末をインターホンの子機として使用してインターホンの応答、玄関先のカメラ映像の確認、玄関の解錠などができます。

携帯電話との連携機能を搭載したインターホンをご利用の方を対象とした機能です。対応の有無や、機能詳細については、ご利用のインターホン機器の取扱説明書をご覧ください。

インターホン機能の起動

- 初期設定が行われている場合のみ、インターホンを起動できます。

1 **MENU▶「本体設定」▶「外部接続」▶「インターホン機能」▶「インターホン」**

インターホン機能は常駐し、インターホンの応答が可能になります。
インターホンにうまく接続できない場合は、本メニューから接続状態をご確認ください。

おしらせ

◆インターホン機能の各種着信音は変更できません。
◆「インターホン画面」の設定から「着信音量」を変更すると、「本体設定」の「着信音量」の「Wi-Fi ホームU／内線電話」も変更されます。

インターホン機能の設定

インターホン機器を利用するには、最初に初期設定を行う必要があります。
インターホン機器に接続し、インターホンの設定ファイルをFOMA端末にダウンロード保存することで初期設定が完了します。

- インターホン機能の初期設定の前にWi-Fiの設定（P.483）を行う必要があります。

1 **MENU▶「本体設定」▶「外部接続」▶「インターホン機能」▶「初期設定」▶■［接続］**

インターネットホームページに接続され、簡易設定ファイルがダウンロードされます。

■ **接続するIPアドレスを変更してから接続する場合**

▶📷［編集］▶IPアドレスを入力▶■［接続］

2 **画面に従って操作▶「設定」▶「YES」▶端末暗証番号を入力**

FOMA端末に簡易設定ファイルが保存されます。

3 **「YES」または「NO」**

機能をデスクトップに貼り付ける場合は「YES」を選択します。

インターホン機能の設定確認

インターホン機能の設定を確認します。

- 初期設定が行われている場合のみ、設定を確認できます。

1 **MENU▶「本体設定」▶「外部接続」▶「インターホン機能」▶「設定確認」▶端末暗証番号を入力**

■ **設定確認画面の見かた**

① 接続先名称
② インターホン番号
③ インターホンサーバ設定
④ SIPポート番号
⑤ HTTPポート番号
⑥ インターホンID
⑦ インターホンパスワード
パスワードは「＊」で表示されます。

■ **設定を削除する場合**

▶📷［削除］▶「YES」

DLNA対応外部機器の利用

DLNAとは、パソコンなどのDLNA対応外部機器とFOMA端末を家庭内でWi-Fi接続して、保存されている画像や動画、音楽データを共有できる機能です。
たとえば、FOMA端末で撮影した動画をパソコンにアップロードして表示したり、パソコンに接続された大画面テレビなどで見たりすることができます。
また、パソコン内のコンテンツデータをFOMA端末にダウンロードして外出先で楽しむことができます。

● DLNA共有できるコンテンツ

- ●静止画（JPEG）
- ●動画（3GP、MP4、WMV）
- ●音楽データ（WMA）

● DLNAのご利用にあたって

- ●FOMAシングルモードのとき、Wi-Fi圏外のときはDLNAを利用できません。
- ●DLNAを利用するにはWi-Fi通信の接続設定を行う必要があります。→P.483
- ●DLNAを利用中はFOMA音声電話／テレビ電話の着信、iモードメール受信、SMS受信、エリアメール受信以外の操作はできなくなります。
- ●ほかの機能が起動中はDLNAを利用できません。
- ●Auto-IP機能に対応していますので、IPアドレスの手動設定が必要なアクセスポイントにも、DLNAを起動すれば自動で接続できます。
  Auto-IP機能を利用中は、「 」が表示されます。
- ●使用する外部機器によっては、FOMA端末のデータの再生や取得ができない場合があります。
- ●DLNA機能を利用できる対応外部機器については下記のサイトをご覧ください。
  パソコン：http://www.n-keitai.com/

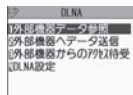
おしらせ

◆マイピクチャ、iモーション／ムービーにオリジナルロックを設定中のときは、DLNAを起動する際に端末暗証番号を入力してロックを解除できます。ロックを解除しない場合は、DLNAを起動できません。

DLNA対応外部機器からFOMA端末にアクセスできる状態にする

● 外部機器側で表示されるFOMA端末の名称を変更する

- ●お買い上げ時は機種名が設定されています。
- ●半角英数字で24文字、全角英数字で12文字まで入力（一部の半角記号を含む）できます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「next」▶「DLNA」

DLNAメニュー画面

2 「DLNA設定」▶「機器名称設定」▶名称を入力

● 外部機器側で表示されるフォルダを選択する

- ●外部機器側とデータ共有するフォルダを「マイピクチャ」と「iモーション」から、それぞれ1つずつ選択できます。

1 DLNAメニュー画面（P.497）▶「DLNA設定」▶「公開フォルダ設定」▶「マイピクチャ」または「iモーション」▶「公開」

■ 外部機器側でフォルダが表示されないようにする場合
▶「非公開」

2 フォルダを選択

選択したFOMA端末またはmicroSDのフォルダが外部機器側で表示されるようになります。

■ 本体またはmicroSDのフォルダを切り替える場合
▶ ✉［microSD］または ✉［本体］

- FOMA端末本体のデータは、静止画1,000件、動画200件まで公開できます。

おしらせ

◆「ミュージック」（音楽データ）は、公開フォルダを設定できません。

● 外部機器からアクセスできる状態にする

DLNAを利用中に、FOMA端末を外部機器側からアクセスできる状態（アクセス待受）にすることができます。
アクセス待受状態では、外部機器からの操作で以下のアップロード／ダウンロードの操作ができるようになります。

- ●FOMA端末の「公開フォルダ」のデータを外部機器側で表示、再生、ダウンロードできます。
- ●外部機器側のデータをFOMA端末の「Upload」フォルダにアップロードできます。アップロードされたデータは「ダウンロード先設定」（P.498）に従いFOMA端末本体もしくはmicroSDへ保存されます。

●外部機器によっては本機能を利用できないものがあります。

1 DLNAメニュー画面(P.497)▶「外部機器からのアクセス待受」

Wi-Fi圏外の場合やクライアントモードが未設定の場合は、ワイヤレスネットワーク検索の確認画面が表示されます。「YES」を選択するとワイヤレスネットワーク検索(P.483)が起動します。以降は画面の指示に従って操作を行います。

■ 公開フォルダが参照できない場合

▶表示された画面で「YES」を選択して「公開フォルダ設定」の操作を行ってください。

2 「外部機器で操作できます」と画面に表示される

FOMA端末はアクセス待受状態になります。

● 外部機器からのアクセスを受けると

アクセス受信により通信が発生した場合は、「⇅」が表示されます。
外部機器からのアクセス待受を終了するには[📷][中止]を選択します。

おしらせ

◆外部機器からアクセスした場合、「公開フォルダ設定」で設定したフォルダと、アップロード受付専用の「Upload」フォルダを確認できますが「Upload」フォルダはアップロード受付専用のフォルダですので通常、データは保存されていません。

FOMA端末からDLNA対応外部機器にアクセス

● 外部機器側データのダウンロード先を設定する

外部機器側のデータをFOMA端末にダウンロードする際の保存先を「本体」または「microSD」から設定します。

●ダウンロードコンテンツの種別により保存先が異なります。
●音楽データ(WMA)は、「microSD」にのみ保存できます。

種別	「本体」の保存先	「microSD」の保存先
JPEG	「マイピクチャ」－「iモード」フォルダ	「保存先フォルダ選択」(P.374)の設定のフォルダ
3GP, MP4	「iモーション・ムービー」－「iモード」フォルダ	
WMV	「ムービー」－「フォルダ一覧」－「本体－ムービー」フォルダ	
WMA	-	

●「ダウンロード先設定」が「microSD」に設定され、microSD未挿入の場合は、「本体」の保存先フォルダに保存されます。

1 DLNAメニュー画面(P.497)▶「DLNA設定」▶「ダウンロード先設定」▶「ピクチャ」または「ムービー」▶「本体」または「microSD」

■ 音楽データの保存先を設定する場合

▶「ミュージック」▶「microSD」

● FOMA端末に外部機器側のデータをダウンロードする

DLNAを起動して外部機器のデータをFOMA端末にダウンロード(受信)することができます。

1 DLNAメニュー画面(P.497)▶「外部機器データ参照」

外部機器の検索がはじまります。Wi-Fi圏外の場合やクライアントモードが未設定の場合は、ワイヤレスネットワーク検索の確認画面が表示されます。「YES」を選択するとワイヤレスネットワーク検索(P.483)が起動します。以降は画面の指示に従って操作を行います。

■ 外部機器が見つからない場合

▶[📷][再検索]

2 外部機器一覧画面から項目を選択▶フォルダを選択

3 項目を反転表示

コンテンツ一覧画面（外部機器側）（サブメニュー→P.499）

■ 画像を表示する場合
▶■［表示］で画像が表示されます。◎で前または次の画像を表示することができます。

■ 表示する方法を切り替える場合
▶ｉ［切替］

4 📷［ダウンロード］▶「YES」

ダウンロードが開始されます。
以降は画面の指示に従って操作を行います。
- 50Mバイトを超える3GP、MP4データをダウンロードした場合または10Mバイトを超えるWMVデータをダウンロードした場合は、microSDカードに保存されます。
- 動画データや音楽データを1件ダウンロードした場合は、ダウンロード完了時に再生するかどうかの確認画面が表示されます。

サブメニュー

❖ コンテンツ一覧画面（外部機器側）（P.499）

ファイル情報…反転表示された項目のファイル情報を表示します。

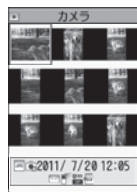
ダウンロード…外部機器側からFOMA端末側へデータをダウンロードします。1件ダウンロード、選択ダウンロード、全ダウンロードから選択します。

● DLNAを起動してFOMA端末から外部機器側へデータをアップロードする

DLNAを起動して、FOMA端末側のデータを外部機器側にアップロード（送信）することができます。
- ●音楽データはアップロードできません。

1 DLNAメニュー画面（P.497）▶「外部機器へデータ送信」▶「マイピクチャ」または「ｉモーション」▶フォルダを選択

2 項目を反転表示

■［表示］／［再生］でデータが表示されます。◎で前または次のデータを表示することができます。

コンテンツ一覧画面（FOMA端末側）（サブメニュー→P.499）

■ 表示する方法を切り替える場合
▶ｉ［切替］

3 📷［送信］

外部機器の検索がはじまります。Wi-Fi圏外の場合やクライアントモードが未設定の場合は、ワイヤレスネットワーク検索の確認画面が表示されます。「YES」を選択するとワイヤレスネットワーク検索（P.483）が起動します。以降は画面の指示に従って操作を行います。

■ 外部機器が見つからない場合
▶📷［再検索］

4 外部機器一覧画面から外部機器を選択

5「YES」

アップロードが開始されます。

サブメニュー

❖ コンテンツ一覧画面（FOMA端末側）（P.499）

ピクチャ情報／ｉモーション情報…反転表示された項目のファイル情報を表示します。

DLNA…データを1件送信、選択送信、全送信から選択します。

● データBOXで選択したデータをFOMA端末から外部機器側へアップロードする

データBOXでデータを選択して、FOMA端末側のデータを外部機器側にアップロード（送信）することができます。
- ●音楽データはアップロードできません。

1 画像一覧画面（P.327）、動画一覧画面（P.340）▶MENU［サブメニュー］▶「DLNA」▶以下の項目から選択

1件送信…データを1件送信します。

選択送信…データを選択して送信します。

全送信…データをすべて送信します。

外部機器の検索がはじまります。Wi-Fi圏外の場合やクライアントモードが未設定の場合は、ワイヤレスネットワーク検索の確認画面が表示されます。「YES」を選択するとワイヤレスネットワーク検索（P.483）が起動します。以降は画面の指示に従って操作を行います。

■ 外部機器が見つからない場合

▶[カメラ]［再検索］

2 外部機器一覧画面から外部機器を選択

3「YES」

アップロードが開始されます。

カンタンデータ転送の利用

カンタンデータ転送をご利用になると、データBOXのマイピクチャとｉモーション・ムービーフォルダに保存されている静止画や動画を、Wi-Fiのネットワークを経由してお使いのパソコンに簡単に転送することができます。

● カンタンデータ転送のご利用について

- カンタンデータ転送は、お客様のお使いのパソコンに専用のソフトをインストールしてご利用いただく機能です。専用ソフトのダウンロードや動作詳細については、下記のサイトをご覧ください。
  <ダウンロードサイト>
  http://www.n-keitai.com/guide/download/
- カンタンデータ転送をご利用いただくには、Wi-Fi対応のパソコンが必要です。
- カンタンデータ転送では、N-05Cをアクセスポイントとしてお使いのパソコンとWi-Fi接続を行います。お使いのパソコンがWi-Fiに対応していれば、接続可能なアクセスポイントがなくてもご利用になれます。

● カンタンデータ転送で転送できるコンテンツ

以下のフォルダに保存されている静止画（JPEG、GIF、SWF）および動画（3GP、MP4）。

※ ファイル制限などのセキュリティ設定がされている場合は転送できません。

マイピクチャ		
FOMA端末		
	ｉモード	
	カメラ	
	自動お預かり	
	ユーザ作成フォルダ	
microSDカード		
	ピクチャ	100NECDT～999NECDT
		ユーザ作成フォルダ
	イメージボックス	SDイメージ
		ユーザ作成フォルダ
ｉモーション・ムービー		
FOMA端末		
	ｉモード	
	カメラ	
	ボイスレコーダー	
	ユーザ作成フォルダ	
microSDカード		
	SDビデオ	ユーザ作成フォルダ
	HDムービー／その他	その他のｉモーション
		ユーザ作成フォルダ

● ファイルをパソコンに転送する

カンタンデータ転送には、設定したフォルダに保存されているすべてのファイルを自動で転送する「自動データ転送」と、転送するファイルを個別に選択できる「手動データ転送」があります。

1 パソコンのカンタンデータ転送を起動し、転送方法（「自動データ転送」または「手動データ転送」）や転送ファイルの保存先などを設定する

2 [MENU]▶「便利ツール」▶「next」▶「カンタンデータ転送」

■ デスクトップアイコンから起動する場合

▶待受画面表示中▶[■]▶「[アイコン]」を選択

3 バーコードリーダーで、パソコンの画面に表示されたQRコードを読み取る

自動データ転送の場合は、対象となるファイルが自動的に転送されます。

手動データ転送の場合は、転送したいファイルを選択します。

■ フォルダロックが設定されている場合

▶端末暗証番号を入力

■ 接続を切断する場合

▶[カメラ]［切断］

おしらせ

◆ファイルの転送中にWi-Fi通信が切断した場合は、転送が完了したファイルがパソコンに保存されます。

◆パソコンの保存先に同名のファイルがある場合の動作については、カンタンデータ転送の「データ転送設定」で設定できます。
◆パソコンのデータをFOMA端末に転送することはできません。

付録／困ったときには

メニュー一覧 504
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧 531
変換記号読み一覧 534
絵文字読み一覧 535
顔文字読み一覧 539
マルチアクセスの組み合わせ 542
オプション・関連機器 544

■外部機器との連携

動画再生ソフトのご紹介 544

■困ったときには

故障かな？と思ったら 545
こんな表示が出たら 553
保証とアフターサービス 561
ｉモード故障診断サイトについて 563
ソフトウェア更新 564
スキャン機能 573
メモリリフレッシュ 575
主な仕様 576
カメラのサイズと登録件数／撮影時間 578
FOMA端末の保存・登録・保護件数 581
携帯電話機の比吸収率（SAR） 583
輸出管理規制 586
Wi-Fi Certified™ 586
知的財産権 588

メニュー一覧

- ●（ピンク色の網掛け）の項目は「設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。
- ●①～⑭およびそのほかの設定リセットされる機能については、別表1（P.528）をご覧ください。
- ●（灰色の網掛け）は、以下のリセット／初期化を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。
  - •メール設定リセット（P.182）
  - •ｉモード設定リセット（P.215）
  - •ｉチャネル初期化（P.223）
  - •APモード設定リセット（P.479）
  - •クライアントモード設定リセット（P.484）
- ●あらかじめ機能に割り当てられている機能番号は、ダイヤルボタンに対応しています。同じ番号のダイヤルボタンを押すと、機能をすばやく呼び出すことができます。
- ●きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度にあわせてメニュー構成が変わるものや機能番号を押しても機能を呼び出せないものがあります。また、メニューの機能番号が表示されなかったり、表示されていてもダイヤルボタンに対応していない場合があります。

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
1 メール	1 受信BOX			−	P.171
	2 送信BOX			−	P.171
	3 保存BOX			−	P.162
	4 送受信BOX			−	P.171
	5 新規メール作成			−	P.152
	6 新規デコメアニメ作成			−	P.157
	7 デコメテンプレート			−	P.158
	8 新規SMS作成			−	P.186
	9 メール／メッセージ問合せ			−	P.166
	* メール選択受信			−	P.165
	0 SMS問合せ			−	P.187
	# メール設定	1 受信設定	メール選択受信設定	OFF	P.181
			添付ファイル優先受信設定	イメージ～その他：全てチェックあり	
			添付ファイル自動再生設定	自動再生する	
			メール着信音	メール：You' ve got mail メッセージR：Small Message メッセージF：Small Message メール／メッセージ鳴動 ●メール～ｉコンシェル：すべてON（鳴動時間：5秒）	P.106

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
1 メール	# メール設定	2 表示設定	メモ検索ボタン表示設定	ON	P.181
			受信時動作設定	通知優先	
			メッセージ自動表示設定	メッセージR優先	
			スクロール設定	1行スクロール	
			文字サイズ設定	中	
			メール一覧表示設定	1行＋本文表示 一覧表示切替：名前表示	
			メッセージ一覧表示設定	2行表示	
			メール本文表示設定	通常表示	
		3 冒頭文／署名設定	冒頭文編集	未登録	P.183
			署名編集	未登録	
			自動貼付設定	冒頭文自動貼付：チェックあり 署名自動貼付：チェックあり	
		4 定型文／単語登録	定型文	固定定型文初期状態（フォルダ名はフォルダ1、2）	P.436
			単語登録	<未登録>	P.437
		5 BOXロック	受信BOX、送信BOX、保存BOX	全てチェックなし	P.141
		6 メール／メッセージ問合せ設定	メール～メッセージF	全てチェックあり	P.183
		7 メール返信引用設定	返信ボタン設定	ｉモードメール返信優先	P.167
			引用文字編集	>	
		8 アドレス・迷惑メール設定		－	P.182
		9 編集時自動保存設定		ON	P.182
		0 メール読み上げ設定	読み上げ音声設定	女性ボイス1	P.182
			受信時読み上げ設定	有効	
		＊ 感情／キーワードお知らせ	感情お知らせ	チェックあり	P.183
			キーワードお知らせ	チェックなし	
			キーワード	なし	
		# SMS設定	送達通知設定	－	P.187
			有効期間設定	－	
			本文入力設定	日本語入力（70文字）	
			センター設定	－	P.188

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
1 メール	# メール設定	緊急速報「エリアメール」設定	受信設定	利用する	P.186
			ブザー鳴動時間	10秒	
			マナー／公共モード時設定	マナー／公共モード時でも鳴動	
			着信音確認	緊急地震速報	
				災害・避難情報	
			その他	受信登録	
				●緊急地震速報 ●災害・避難情報	
				未登録	
		メール設定確認		－	P.182
		メール設定リセット		－	P.182
2 iモード／web	1 iMenu・検索			－	P.192
	2 Bookmark			－	P.203
	3 画面メモ			－	P.205
	4 サイト閲覧履歴			－	P.201
	5 URL入力	1 URL入力		－	P.202
		2 URL入力履歴		－	P.202
	6 iチャネル	1 iチャネル一覧		－	P.222
		2 テロップ表示設定	テロップ表示設定	表示する	P.223
			テロップ文字サイズ設定	中	
			テロップ色設定	White	
			テロップ速度	標準	
		3 iチャネル初期化		－	P.223
	7 iモード／web設定	1 iモードブラウザ設定	画像表示設定	表示する	P.213
			サウンド設定	ON：3	P.213
			動画自動再生設定	自動再生する	P.222
			ページ内データ取得設定	毎回確認	P.213
			Script動作設定	有効	P.213
			端末情報利用設定	利用する	P.215
			文字サイズ設定	中	P.213
			Cookie設定	有効	P.216
			Cookie削除	－	P.216
			Referer設定	有効	P.216
			タブ自動起動設定	自動起動する	P.214
			ポインタ表示設定	表示しない	P.198

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
2 iモード／web	7 iモード／web設定	2 フルブラウザ設定	画像表示設定	表示する	P.213
			サウンド設定	ON：3	P.213
			動画自動再生設定	自動再生する	P.222
			ページ内データ取得設定	毎回確認	P.213
			Script動作設定	有効	P.213
			文字サイズ設定	中	P.213
			Cookie設定	有効	P.216
			Cookie削除	－	P.216
			Referer設定	有効	P.216
			タブ自動起動設定	自動起動する	P.214
			ポインタ表示設定	表示する	P.198
			フルブラウザホーム設定	http://www.google.co.jp	P.214
			表示モード設定	PCレイアウトモード	P.214
			フルブラウザ確認表示	毎回表示	P.214
			自動通信サイズ制限	毎回確認	P.214
			フルブラウザ利用設定	利用しない	P.214
			拡大縮小表示	100%	P.214
			ショートカット	1：ズームアウト 2：上ページスクロール 3：ズームイン 4：左ページスクロール 5：PagePilot 6：右ページスクロール 7：前のページへ戻る 8：下ページスクロール 9：次のページへ進む 0：Bookmark一覧 ＊：左タブに切替 #：右タブに切替	P.214

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
2 iモード／web	7 iモード／web設定	3 共通設定	証明書設定	すべて有効	P.216
			接続先設定	iモード ユーザ指定接続先：未登録	P.215
			セキュア通信サービス設定	ユーザ証明書操作 センター接続先設定 ●ドコモ ●ユーザ指定接続先：未登録	P.218
			iモードボタン設定	iMenu・検索接続	P.214
			スクロール設定	1行スクロール	P.214
			自動PagePilot設定	移動中に表示する	P.198
			ポインタ移動距離設定	普通	P.214
			ポインタ加速度設定	普通	P.214
			Bookmark表示設定	サムネイル	P.214
			タブ開き方設定	表で開く	P.214
		4 iモード設定確認		－	P.215
		5 iモード設定リセット		－	P.215
	8 ワンタッチマルチウィンドウ			－	P.204
	9 フルブラウザホーム			－	P.194

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
3 iアプリ	1 ソフト一覧（本体）			－	P.281
	2 iアプリ（microSD）			－	P.298
	3 iアプリコール履歴			－	P.296
	4 iアプリ実行情報		待受画面終了情報～トレース情報	すべてデータなし	P.284
	5 iアプリ設定	1 自動起動設定		許可しない	P.295
		2 ソフト情報表示設定		表示しない	P.280
		3 ｉウィジェット海外利用設定		通信しない	P.301
		4 ｉウィジェット効果音設定		ON	P.301
		5 オートGPS優先設定		OFF	P.284
		6 iアプリコール機能設定	ｉアプリコールダウンロード設定	拒否しない	P.296
			ｉアプリコール音設定	着信鳴動音選択：Lucky Charm 鳴動時間設定：５秒 バイブレータ選択：OFF イルミネーション選択：色2	P.297
		7 iアプリ音量設定		レベル4	P.284
		8 iアプリ音優先設定		ミュージック／ワンセグ優先	P.284
		9 α照明設定		システム依存	P.284
		0 α省電力設定		設定しない	P.284
		＊ αバイブレータ		システム依存	P.284
		＃ iアプリ設定確認		－	P.284

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
4 カメラ／TV／MUSIC	1 カメラ	1 静止画撮影		⑫	P.235
		2 動画撮影		⑫	P.245
		3 アートフォトモード		⑫	P.243
		4 顔登録（アルバム）		全て未登録	P.244
		5 バーコードリーダー		－	P.248
		6 メディアスビューア	表示設定	詳細設定 ●サムネイルテーマ：Basic View ●フォルダ設定：マイピクチャ（本体：ｉモード、カメラ、グループ、プリインストール microSD：ピクチャ、イメージボックス、グループ）、ｉモーション／ムービー（本体：ｉモード、カメラ、ムービー microSD：SDビデオ、移行可能コンテンツ、HDムービー／その他、SDムービー、レコーダ連携）、ワンセグ（本体：ビデオ） ●コメント表示：OFF	P.333
	2 ワンセグ	1 ワンセグ視聴		－	P.254
		2 番組表		－	P.258
		3 視聴予約リスト		－	P.260
		4 録画予約リスト		－	P.260
		5 予約録画結果		－	P.262
		6 テレビリンク		－	P.259
		7 チャンネルリスト選択		－	P.254
		8 チャンネル設定		－	P.253
		9 ユーザ設定		⑮	P.262
	3 ミュージックプレーヤー			②⑤	P.274
	4 Music&Videoチャネル			③⑤	P.266

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
5 データBOX（1/2）	1 マイピクチャ			①	P.326
	2 ミュージック			② ⑤	P.270
	3 Music&Videoチャネル			③ ⑤	P.269
	4 iモーション・ムービー			④ ⑤	P.340
	5 メロディ			⑥	P.352
	6 コンテンツパッケージ			－	P.356
	7 マイドキュメント			⑦	P.382
	8 きせかえツール			⑧	P.354
	9 マチキャラ			⑨	P.351
	* ワンセグ			－	P.347
	0 キャラ電			⑩	P.350
	# ドキュメントビューア			－	P.384
5 データBOX（2/2）	1 フォント			⑪	P.355
	2 SDその他ファイル			－	P.326
	3 全検索履歴			－	P.358
6 便利ツール（1/2）	1 バーコードリーダー			－	P.248
	2 電卓			－	P.413
	3 アラーム			すべてOFF	P.397
	4 赤外線受信			－	P.379
	5 スケジュール			－	P.398
	6 メモ			－	P.413
	7 メディアスビューア		表示設定	詳細設定 ●サムネイルテーマ：Basic View ●フォルダ設定：マイピクチャ（本体：ｉモード、カメラ、グループ、プリインストール microSD：ピクチャ、イメージボックス、グループ）、ｉモーション／ムービー（本体：ｉモード、カメラ、ムービー microSD：SDビデオ、移行可能コンテンツ、HDムービー／その他、SDムービー、レコーダ連携）、ワンセグ（本体：ビデオ） ●コメント表示：OFF	P.333
	8 ボイスレコーダー			ファイルサイズ：10MB 保存先：本体 音質：高品質 ファイル制限：なし	P.57
	9 電子辞書			－	P.415
	* microSD			－	P.365

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定	参照ページ
6 便利ツール（1/2）	0 ケータイデータお預かりサービス	データ確認／ダウンロード	－	P.145
		電話帳等を更新	－	P.145
		画像を更新	－	P.147
		設定情報を更新	－	P.147
		詳細設定／通信履歴	自動更新設定：－ 電話帳画像送信設定：OFF メモ添付画像送信設定：ON その他設定：－ 通信履歴確認：履歴なし	P.145
	# 使いかたガイド		－	P.57
6 便利ツール（2/2）	1 Enjoy Exercise		歩数計／活動量計：OFF 身長／体重 身長：160cm、体重：60kg WALK歩幅：60cm RUN歩幅：70cm WALK目標設定：設定なし [設定時] 歩数：10,000歩 歩行距離：3km 消費カロリー：300kカロリー RUN目標設定：設定なし [設定時] 走行時間：30分 走行距離：3km 消費カロリー：300kカロリー	P.390
	2 ライフヒストリービューア		－	P.394
	3 カンタンデータ転送		－	P.500

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
6 便利ツール（2/2）	4 Bluetooth	1 登録機器リスト		未登録 接続状態：すべて停止	P.421
		2 新規機器登録		−	P.421
		3 Bluetoothオン⇔Bluetoothオフ		Bluetoothオン※ ※ Bluetoothの電源はオフの状態）	P.423
		4 接続待機		個別設定：すべて解除	P.423
		5 ダイヤルアップ登録待機		−	P.423
		6 Bluetooth受信		−	P.381
		7 Bluetooth設定		セキュリティ設定：セキュリティ設定なし 全件転送パスワード設定：パスワードなし サーチ時間：5秒 着信音送出設定：送る 切断時通話設定：通話終了 ヘッドセット操作による発信：有効 ミュージックプレーヤー設定：自動起動／終了あり	P.424
				自局情報：−	
	5 DLNA	1 外部機器データ参照		−	P.498
		2 外部機器へデータ送信		−	P.499
		3 外部機器からのアクセス待受		−	P.497
		4 DLNA設定	機器名称設定	N05C	P.497
			公開フォルダ設定	マイピクチャ、i モーション：公開（フォルダ：カメラ）	
			ダウンロード先設定	ピクチャ、ムービー：本体	
				ミュージック：microSD	

大項目	中項目	小項目			お買い上げ時の設定	参照ページ
6 便利ツール（2/2）	6 Wi-Fi	1 アクセスポイントモード	1 接続開始		－	P.474
			2 機器登録	AOSS	－	P.476
				らくらく無線スタート	－	P.476
				MACアドレス自動登録	－	P.477
			3 アクセスポイントモード設定	接続先設定	mopera U 128k	P.477
				ESSID設定	N05CXXXX（Xはシリアル番号）	P.478
				セキュリティ方式設定	なし	P.478
				MACフィルタ設定	OFF（未登録）	P.478
				通信チャネル設定	1ch	P.479
				接続待ち時間設定	15分	P.479
				接続台数設定	1台	P.479
				APモード設定リセット	－	P.479
			4 設定確認		－	P.475
			5 ご利用上の注意		－	－
		2 クライアントモード	1 スタートアップ	ワイヤレスネットワーク検索	－	P.483
				AOSS	－	P.481
				らくらく無線スタート	－	P.481
				WPS	－	P.482 P.482
				手動設定	－	P.482
				ホームU初期設定	－	P.483
			2 接続先切替	ワイヤレスネットワーク検索	－	P.483
				接続先一覧	－	P.483
			3 共通設定	優先接続設定	通信モード設定:FOMAシングルモード 接続切替画面設定：表示する	P.67
				クライアントモード情報表示	－	P.484
				SSL証明書管理	－	P.490
				クライアントモード設定リセット	－	P.484
	7 おしゃべり機能				－	P.408

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
6 便利ツール（2/2）	8 定型文／単語登録	1 定型文		固定定型文初期状態（フォルダ名はフォルダ1、2）	P.436
		2 単語登録		－	P.437
	9 ダウンロード辞書			－	P.438
	＊ ドコモへのお問合せ			－	P.449
7 電話機能	1 電話帳	1 電話帳検索		⑭	P.97
		2 電話帳登録		⑭	P.94
		3 UIM（FOMA）カード操作		－	P.375
		4 電話帳設定･確認	ブログ・メールメンバー	－	P.162
			電話帳登録件数	－	P.101
			グループ設定	－	P.96
		5 電話帳画像転送		する	P.382
	2 直デン			－	P.102
	3 伝言メモ／音声メモ	1 メモの再生／消去		－	P.88
		2 テレビ電話メモの再生／消去		－	P.88
		3 音声メモ録音		－	P.408
		4 伝言メモ設定		OFF 応答メッセージ：標準（伝言メモ「ON」設定時） 呼出時間：13秒（伝言メモ「ON」設定時）	P.87
	4 発着信履歴	1 発信履歴		－	P.75
		2 着信履歴		－	
		3 リダイヤル		－	
	5 発着信・通話設定	1 迷惑電話ストップ		－	P.447
		2 番号通知お願いサービス		－	P.448
		3 発信者番号通知		－	P.66
		4 通話中の着信動作	通話中の着信動作選択	通常着信	P.449
			通話中着信設定	－	P.449
		5 発信詳細設定	ポーズダイヤル	－	P.78
			サブアドレス設定	ON	P.81
			プレフィックス設定	「WORLD CALL」（009130010）、「184」（184）、「186」（186） ユーザ設定：未登録	P.79

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
7 電話機能	5 発着信・通話設定	6 着信詳細設定	着信アンサー設定	エニーキーアンサー	P.84
			オート着信設定	FOMA電話～テレビ電話：オート着信なし	P.419
			呼出時間表示設定	無音時間設定：すべてOFF ●無音時間：1秒（無音時間設定「ON」設定時）	P.144
				時間内不在着信表示：すべて表示する	
			電話帳画像着信設定	ON	P.117
			発着信番号表示設定	白（本体色：BLACK、PURPLE）、黒（本体色：WHITE）	P.117
			Wi-Fiキャッチホン設定（TTC-SIP設定時のみに有効）	ON	P.495
		7 通話中詳細設定	ハイパークリアボイス	OFF	P.81
			受話音量	レベル4	P.85
			自動音声メモ	OFF	P.408
			ノイズキャンセラ	ON	P.82
			通話品質アラーム	FOMA通話品質アラーム：アラームなし Wi-Fi通話品質アラーム：アラーム高音 Wi-Fi受信レベル低下通知：アラームなし	P.110
			再接続機能	アラームなし	P.81
			保留音設定	応答保留音：応答保留音1 通話中保留音：通話中保留音	P.85
		8 イヤホン機能設定	イヤホンスイッチ発信設定	OFF	P.418
			イヤホン切替設定	イヤホンとスピーカー	P.111
		9 着信拒否設定	登録外着信拒否	許可	P.143
			非通知設定～Wi-Fi発番号なし	すべて許可 着信音：通常着信音と同じ 着信画面：通常着信画面と同じ	
		* ツータッチダイヤル設定		ON	P.103
		0 着信通知		－	P.445
		# Wi-Fi番号通知設定（TTC-SIP設定時のみに有効）		通知しない	P.496

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
7 電話機能	6 テレビ電話設定	1 受信画質設定		標準	P.72
		2 画像選択	応答保留選択	内蔵	P.90
			通話保留選択	内蔵	
			代替画像選択	キャラ電（ビーンズ(Beans))	
			伝言メモ選択	内蔵	
			伝言メモ準備選択	内蔵	
			音声メモ選択	内蔵	
		3 音声自動再発信		OFF	P.90
		4 テレビ電話切替機能通知		－	P.90
		5 ハンズフリー切替		ON	P.90
		6 パケット通信中着信設定		テレビ電話優先	P.90
	7 通話時間・料金	1 通話時間・料金		－	P.411
		2 通話料金通知	料金上限値設定	未設定	P.412
			上限値通知設定	通知しない	
			アラーム音選択	アラーム音	
			アラーム音量	レベル4	
		3 積算リセット		－	P.411
		4 積算料金自動リセット		OFF	P.412
	8 声の宅配便		メッセージ再生	－	P.77
			設定	－	

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
7 電話機能	9 2in1			OFF	P.455
		1 モード切替		デュアルモード	
		2 電話帳2in1設定		−	
		3 モード別待受画面設定		デュアルモード：Fabric、 Bモード：Smoke	
		4 番号別発着信設定		発着信番号表示設定 ●Aナンバー(Aアドレス)：白（本体色：BLACK、PURPLE)、黒（本体色：WHITE) ●Bナンバー(Bアドレス)：モスグリーン 着信設定 ●Aナンバー(Aアドレス) 各個別設定の値と同じ ●Bナンバー(Bアドレス) ・音声着信設定 着信音設定：着信音2 上記以外：Aナンバーと同じ ・テレビ電話着信設定 着信音設定：着信音2 上記以外：Aナンバーと同じ ・メール着信設定 着信音設定：Lucky Charm 上記以外：Aナンバーと同じ	
		5 2in1機能OFF		−	
		6 着信回避設定		−	
	* 留守番電話サービス			−	P.444
	0 メロディコール			−	P.109
	# その他ネットワークサービス	1 転送でんわ		−	P.446
		2 キャッチホン		−	P.445
		3 英語ガイダンス		−	P.448
		4 遠隔操作設定		−	P.450
		5 マルチナンバー	着信音設定	通常着信音と同じ	P.450
		6 デュアルネットワーク		−	P.448
		7 追加サービス		−	P.457
		8 OFFICEED		−	P.456

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
8 本体設定	1 画面・ディスプレイ	1 きせかえツール設定		–	P.126
		2 待受画面設定	待受画面	Black Layout（本体色：BLACK）、Vivid Graph（本体色：PURPLE）、Stream Line（本体色：WHITE）	P.116
			待受時計表示	表示方法：英語	P.123
				表示サイズ：上に小さく表示	
				文字色：ホワイト	
			アイコンパターン	電池アイコン、アンテナアイコン：White	P.119
			デスクトップアイコン設定	アイコンセット1～3 ●ショートカット： iコンシェル ボイスレコーダー 電子辞書 メディアスビューア クイック検索 microSD 使いかたガイド 音声クイック起動 Wi-Fiスタートアップ アクセスポイントモード DLNA カンタンデータ転送 みんなNらんど ●通知（不在着信通知アイコン、新着メールアイコン） ・アイコン画像変更：画像設定なし ・相手別アイコン画像設定：未登録	P.124
		3 カラーテーマ設定		Black（本体色：BLACK）、Purple（本体色：PURPLE）、White（本体色：WHITE）	P.119

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
8 本体設定	1 画面・ディスプレイ	4 各種画面設定	ウェイクアップ表示	ウェイクアップ音：ON ウェイクアップ表示：N-05C メッセージ：未入力	P.115
			FOMA電話発信～メール受信結果	White	
		5 マチキャラ設定	表示設定	ON（ひつじのしつじくん）	P.122
			自動アップデート設定	ON	
			アップデート通知設定	OFF	
		6 ソフトキー		Black（本体色：BLACK、PURPLE）、Gray（本体色：WHITE）	P.120
		7 オリジナルメニュー		プロフィール iモード/web バーコードリーダー スケジュール メール アラーム 赤外線受信 電卓 電子辞書 使いかたガイド ボタンカスタマイズ設定 未登録	P.120
		8 メニュー画面設定		Black Layout（本体色：BLACK）、Vivid Graph（本体色：PURPLE）、Stream Line（本体色：WHITE）	P.120
		9 ピクチャ表示設定		ピクチャ一覧	P.327
		0 表示アイコン説明		－	P.27
		* 表示アイコン設定		ON	P.125
		# プライバシーアングル		OFF	P.117
			表示調整	濃度：標準、明るさ：標準	P.117
		充電中ディスプレイ		OFF	P.117
		表示画質モード設定		ダイナミック	P.121
		クイックインフォ設定		送信元のみ表示	P.171
		インフォメーション表示設定		表示する	P.225

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
8 本体設定	2 音／バイブ／マナー	1 着信音量	FOMA電話～ｉコンシェル	すべてレベル4	P.107
		2 着信音選択	FOMA電話～Wi-FiホームU／内線電話	着信音1	P.106
			テレビ電話	着信音3	
			メール	You've got mail	
			メッセージR	Small Message	
			メッセージF	Small Message	
			ｉコンシェル	Soundroid	
		3 その他音設定	ボタン確認音	ON	P.109
			充電確認音	ON	P.110
			メール／メッセージ鳴動	メール～ｉコンシェル：すべてON（鳴動時間：5秒）	P.110
			音量制限	ON	P.110
		4 バイブレータ設定	FOMA電話～ｉコンシェル	すべてOFF	P.108
		5 マナーモード設定	マナーモード選択	マナーモード（オリジナルマナーの設定：初期値→P.115）	P.115
			マナー起動時間設定	すべてOFF	P.111
			マナー解除時間設定		
		6 ステレオ・3Dサウンド設定		ON	P.108
		7 マチキャラおしゃべり設定	おしゃべり	ON（おしゃべり出力先：スピーカー）	P.122
			音量	レベル4	
	3 照明・イルミネーション	1 照明設定	通常時	ON（点灯時間10秒間）＋省電力モード（待ち時間30秒）	P.118
			充電時	通常時と同じ	
			明るさ	自動調整ON（レベル4）	
		2 イルミネーション設定	着信イルミネーション	着信イルミネーション選択 ●FOMA電話～テレビ電話：色5（本体色：BLACK）、色6（本体色：PURPLE）、色2（本体色：WHITE） ●メール～メッセージF：色2（本体色：BLACK、PURPLE）、色6（本体色：WHITE） ●ｉコンシェル：色6（本体色：BLACK）、色5（本体色：PURPLE、WHITE） パターン設定：パターン1 不在お知らせ：ON	P.120
			メモイルミネーション	●イルミネーション選択：色4 ●パターン選択：パターン7	P.120

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
8 本体設定	4 文字表示／入力	1 フォント設定	フォント選択	FA丸ゴシック	P.123
			太さ	太字	
			文字サイズ	（一括設定）中	
		2 文字入力機能	入力方式切替	かな方式	P.429
			ワード予測（学習辞書）	ON	P.429
			学習履歴クリア	－	P.438
			T9かな／漢字切替	漢字	P.440
			挿入／上書き	挿入	P.429
		3 Select language		日本語	P.123
	5 時計	1 メイン時計設定	自動時刻時差補正	時刻補正：自動 時差補正：自動	P.65
			サマータイム	OFF	
		2 サブ時計設定	表示方法	自動（ローミング時自動表示）	P.65
			サマータイム	OFF	
		3 待受時計表示	表示方法	英語	P.123
			表示サイズ	上に小さく表示	
			文字色	ホワイト	
		4 自動電源ON		OFF	P.396
		5 自動電源OFF		OFF	
	6 ロック・セキュリティ	1 ロック	ダイヤルロック	解除	P.130
			オリジナルロック	解除 グループや項目の選択設定 オリジナルロック（個人情報）～（カスタム2）:「メール・iモード・iアプリ」、「データBOX」、「便利ツール・その他」、「電話機能・プロフィール」のみすべて選択	P.134
		2 自動キーロック	クローズロック設定	OFF	P.139
			無操作ロック設定	OFF	
		3 ロックバー設定		ON	P.140
		4 シークレット	シークレットモード	解除	P.131
			シークレット専用モード	解除	P.131
			シークレット通知設定	通知しない	P.132
			着信動作設定	登録外着信の扱い	P.132
		5 着信拒否設定	登録外着信拒否	許可	P.143
			非通知設定～Wi-Fi発番号なし	すべて許可 着信音：通常着信音と同じ 着信画面：通常着信画面と同じ	

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
8 本体設定	6 ロック・セキュリティ	6 端末暗証番号変更		0000（数字のゼロ4つ）	P.129
		7 ICカード認証設定		無効	P.140
				外部ICカード情報:未登録	
		8 UIM（FOMA）カード設定		－	P.129
		9 スキャン機能	スキャン機能設定	スキャン機能：ON	P.573
				メッセージスキャン：ON	
		0 ICカードロック設定	ICカードロック	OFF	P.305
			電源OFF時ICロック設定	直前の状態を保持	
			オートロック設定	OFF	
	7 電池	1 ecoモード		OFF	P.118
		2 ecoモード自動起動設定		ON 電池残量：40% 設定アシスト機能：OFF	P.119
		3 電池残量		－	P.63
	8 外部接続	1 USBモード		通信モード	P.372
		2 Bluetooth		－	P.419
		3 イヤホンマイク		イヤホンマイク	P.418
		4 Wi-Fi		－	P.474 P.479
		5 インターホン機能		－	P.496
		6 フェムトセル	フェムトセル利用設定	OFF	P.425
			フェムトセルサーチ	－	P.425

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
8 本体設定	9 その他設定	1 ボタンカスタマイズ設定	カメラボタン設定	静止画撮影	P.396
		2 スライド設定	スライドアクション設定	すべてチェックなし（OFF）	P.396
			クローズ動作設定	通話継続	P.84
			スライド音	オープン音 • メロディ：オープン1 • 鳴動時間：2.0秒 クローズ音 • メロディ：クローズ1 • 鳴動時間：2.0秒	P.110
			クローズ動作照明設定	消灯	P.119
		3 タッチパネル有効設定	タッチスタイル、コミュニケーションスタイル	ON	P.122
			バイブレータ	OFF	
		4 画面縦横自動切替		ON	P.122
		5 アラーム通知設定		通知優先	P.402
		6 セルフモード		解除	P.144
		7 メモリリフレッシュ	タイマー設定	ON	P.575
		8 設定リセット		－	P.147
		9 端末初期化		－	P.148
		0 ソフトウェア更新	自動更新設定	自動で更新 ●曜日：指定なし ●時刻：03:00	P.564
		* クイック検索接続先設定		Google検索、Google画像検索、Googleニュース検索	P.202

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
9 地図／海外	1 地図			－	P.313
	2 ナビ			－	P.313
	3 イマドコサーチ	1 イマドコかんたんサーチ		－	－
		2 イマドコサーチ		－	－
	4 iエリア－周辺情報－			－	－
	5 GPSアプリ一覧			ぐるなび、地図アプリ、Gガイド番組表リモコン、モバイルGoogleマップ	P.315
	6 現在地確認／通知	1 現在地確認		－	P.314
		2 現在地通知		未登録	P.318
	7 地図･GPS設定／履歴	1 位置履歴		履歴なし	P.319
		2 地図設定	地図選択	地図アプリ	P.313
			地図起動時動作設定	測位して起動	
		3 GPSボタン設定		地図を見る	P.314
		4 位置提供設定		位置提供OFF	P.315
		5 オートGPS	ドコモ提供サービス設定	利用しない	P.321
			オートGPS動作設定	ON、歩幅登録：60cm	
			設定サービス一覧	未登録	
			低電力時動作設定	停止する	
		6 測位モード設定	現在地確認～位置提供	すべて標準モード	P.314 P.317 P.319
		7 現在地通知先登録		未登録	P.318
		8 サービス利用設定		－	P.317
		9 サービス利用／接続先設定		契約時接続先	P.317
		0 イルミネーション／鳴動音設定	音量	現在地確認～位置提供／毎回確認：レベル4	P.109
			音選択	現在地確認～位置提供／毎回確認：Soundroid	
			バイブレータ	現在地確認～位置提供／毎回確認：パターン1	
			通知時間設定	現在地確認：OFF、現在地通知：ON（5秒）、位置提供／許可、位置提供／毎回確認：ON（20秒）	
			イルミネーション選択	現在地確認：OFF 現在地通知～位置提供／毎回確認：色3	

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
9 地図／海外	8 海外ネットワークサーチ	1 3G／GSM切替		自動	P.463
		2 ネットワークサーチ設定		オート	P.463
		3 優先ネットワーク設定		－	P.464
		4 オペレータ名表示設定		表示あり	P.465
		5 在圏状態表示		－	P.464
		6 再検索アイコン表示設定		表示する	P.463
	9 海外設定	1 お問合せ（海外）		－	P.463
		2 サブ時計設定	表示方法	自動（ローミング時自動表示）	P.65
			サマータイム	OFF	
		3 ローミング時着信規制		－	P.465
		4 ローミング着信通知		－	P.465
		5 ローミングガイダンス		－	P.465
		6 国際ダイヤルアシスト	自動変換機能	ON	P.81
			国番号	「日本」（国番号：81）22件登録済み	
			国際プレフィックス	「WORLD CALL」（009130010） ユーザ設定：未登録	
		7 iモードサービス利用設定	iウィジェット海外利用設定	通信しない	P.464
		8 メール／メッセージ利用設定	メール選択受信	OFF	P.464
			メッセージR海外利用設定	－	
		9 ネットワークサービス	遠隔操作（有料）	－	P.466
			番号通知お願い（有料）	－	P.466
			ローミング着信通知（有料）	－	P.466
			ローミングガイダンス（有料）	－	P.466
			留守番電話（有料）	－	P.466
			転送でんわ（有料）	－	P.466
	＊ 海外ご利用ガイド			－	P.460
＊ iコンシェル				⑯	P.224
0 プロフィール				⑬	P.66 P.405

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時の設定		参照ページ
# おサイフケータイ	1 ICカード一覧			－	P.304
	2 DCMX			－	P.289
	3 トルカ			－	P.307
	4 ICカードロック設定		ICカードロック	OFF	P.305
			電源OFF時ICロック設定	直前の状態を保持	
			オートロック設定	OFF	
	5 設定		トルカ設定	ICカードから取得：許容する ●重複チェック：行う 自動読取設定：ON スクロール設定：1行スクロール	P.310
			放送トルカ取得設定	取得する	P.310
			ICカード通知設定	イルミネーション：ON バイブレータ：OFF	P.306
	6 ICオーナー確認			－	P.305
	7 ICオーナー変更			－	
	8 モードで探す			－	－

■[別表1]そのほかの設定リセット機能

機能名	お買い上げ時の設定
①マイピクチャ	ソート：新しい順 表示サイズ設定：標準 一覧表示切替：タイトル＋画像（FOMA端末、microSD）
②ミュージック	一覧表示切替：タイトル＋画像
③Music&Videoチャネル	一覧表示切替：タイトル＋画像
④iモーション・ムービー	iモーション ●ソート：新しい順 ●音量：LEVEL12 ●表示サイズ設定：画面サイズで表示 ●サウンドエフェクト ・イコライザ：OFF ・Dolby Mobile：OFF ムービー ●一覧表示切替：名前＋画像（FOMA端末、microSD） ●音量：LEVEL12 ●表示サイズ設定：等倍表示 ●サウンドエフェクト ・イコライザ：OFF ・Dolby Mobile：OFF
⑤ミュージックプレーヤー	サウンドエフェクト ●イコライザ：OFF ●Dolby Mobile：OFF 再生モード変更：ノーマル 音量：LEVEL12
⑥メロディ	ソート：新しい順
⑦マイドキュメント	ソート：新しい順 一覧表示切替：タイトル＋画像（FOMA端末、microSD）
⑧きせかえツール	ソート：新しい順 一覧表示切替：タイトル＋画像（FOMA端末、microSD）
⑨マチキャラ	ソート：新しい順 一覧表示切替：タイトル＋画像（FOMA端末、microSD）
⑩キャラ電	代替画像設定：ビーンズ（Beans） 画像表示設定：画面サイズで表示 キャラ電撮影：フォト フォト ●画像サイズ選択：QCIF（176×144） ●画像保存設定：ファイン ムービー ●撮影種別設定：映像＋音声 ●動画保存設定：標準 ●ファイルサイズ：2MB以下
⑪フォント	ソート：新しい順 一覧表示切替：タイトル＋画像
⑫カメラ	静止画撮影 ●カメラモード：クイックショット ●シーン：オート ●オートフォーカス：ノーマル（カメラモードが標準のときは「顔検出」） ●サイズ：フルスクリーン ●ISO感度：ノーマル ●その他 ・撮影設定 グリッド表示：OFF 自動アルバム振分け：ON ・保存設定 自動保存設定：OFF アートフォトモード ●カメラモード：標準 静止画撮影／アートフォトモード共通 ●その他 ・画質調整 画質：スーパーファイン ・保存設定 保存先：本体（カメラフォルダ） 動画撮影 ●カメラモード：ムービー ●シーン：オート ●オートフォーカス：ノーマル ●サイズ：HD ●ファイルサイズ：10MB ●その他 ・撮影設定 グリッド表示：OFF 音声設定：ON ・画質調整 画質／音質：最高品質 ・保存設定 自動保存設定：OFF 保存先：本体

機能名	お買い上げ時の設定
	共通 ●明るさ：0 ●手ブレ補正：オート ●ISO感度：ノーマル ●その他 ・セルフタイマー：10秒 ・撮影設定 シャッター音／ムービーシャッター音：シャッター音1 ・画質調整 ホワイトバランス：オート ちらつき軽減：オート ●ファイル制限：なし その他 自分撮り ●位置設定：5 連写 ●撮影設定-連写設定 ・撮影間隔：0.1秒 ・枚数：20枚 スマイル ●その他 ・撮影設定 スマイルレベル：レベル 1（微笑） メイクアップ効果 ●メイクパターン1：すべてレベル1 ●メイクパターン2：すべてレベル3 ●メイクパターン3：すべてレベル5 ・共通 アイライン：ブラック アイシャドウ：ブラウン、細（メイクパターン1）、中（メイクパターン2）、太（メイクパターン3） チーク：ピンク
⑬プロフィール	拡大表示⇔標準表示：標準表示
⑭電話帳	個別着信音／画像：すべて解除 個別発着信動作選択：すべて解除 拡大表示⇔標準表示：標準表示 誕生日お知らせ ●お知らせイルミネーション：ON ●イルミネーション選択：色4 ●パターン選択：パターン7

機能名	お買い上げ時の設定
⑮ワンセグ	音量：レベル12 データ放送操作 ●放送トルカ取得設定：取得する 各種設定 ●表示／操作設定 ・画面表示切替：映像＋字幕＋データ放送 ユーザ設定 ●表示設定 ・字幕表示設定：ON ・横画面字幕位置設定：下部に表示 ・アイコン常時表示設定：ON ●ワンセグ効果 ・Dolby Mobile：OFF ・映像効果：ダイナミック ・なめらかワンセグ：OFF ●タイムシフト再生設定：オートON ●照明設定：常時点灯 ●クローズ音声継続設定：ON ●電池少量時録画設定：録画を継続する ●データ放送設定 ・画像表示設定：表示する ・効果音設定：ON ●ワンセグecoモード：解除
⑯ｉコンシェル	今日の予定：ON
そのほかの機能	テレビ電話中 ●テレビ電話設定の明るさ調節：0 ●照明設定：常時点灯 文字入力中 ●自動カーソル移動：普通 マナーモード：解除 公共モード（ドライブモード）：解除 デスクトップ表示設定：常に表示

シンプルメニュー一覧

大項目	中項目	参照ページ
電話	電話帳登録	P.94
	電話帳検索	P.97
	伝言メモ／音声メモ	P.87、407
	発着信履歴	P.75
	通話時間・料金	P.411
	声の宅配便	P.77
	留守番電話	P.444
	電話番号表示	P.406
メール	受信メール	P.171
	送信メール	P.171
	保存メール	P.161
	新規メール作成	P.152
	センター問合せ	P.166
iモード	iメニュー	P.192
	Bookmark	P.203
	画面メモ	P.205
	サイト閲覧履歴	P.201
	URL入力	P.202
	フルブラウザホーム	P.194
カメラ	写真をとる	P.235
	動画をとる	P.245
	写真を見る	P.326
	動画を見る	P.340
ワンセグ	ワンセグ視聴	P.254
	録画予約	P.260
	チャンネル設定	P.253
データBOX	写真・静止画	P.326
	動画	P.340
	音楽・メロディ	P.270 P.352
	ワンセグ	P.347
	Music&Videoチャネル	P.268
	きせかえツール	P.354
	マチキャラ	P.351
	その他データ	P.326
便利ツール	スケジュール	P.398
	メモ	P.413
	アラーム	P.397
	電卓	P.413
	赤外線受信	P.379
	使いかたガイド	P.57
設定	着信音設定	P.106
	画面	P.115
	セキュリティ	P.130
	日付時刻	P.65

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

かな方式で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ1	./@-:~※1 _1	1
2	かきくけこ	カキクケコ2	abcABC2	2
3	さしすせそ	サシスセソ3	defDEF3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ4	ghiGHI4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ5	jklJKL5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ6	mnoMNO6	6
7	まみむめも	マミムメモ7	pqrsPQRS7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ8	tuvTUV8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ9	wxyzWXYZ9	9
0	わをんゎー	ワヲンヮ※2ー0	0	0+※3
*	゛ ゜ ※4、※5、※6	゛ ゜ ※4、※5、※6	________ ※4、※5	*
#	、。？！・スペース※7	、。？！・スペース※7	,.?!'-&()¥ ｽﾍﾟｰｽ	#

※1 全角入力のときは「～」となります。
※2「ヮ」の小文字は全角入力のときに入力できます。
※3「+」は1秒以上押して入力できます。
※4 小文字／大文字を切り替えることもできます。
※5 改行マーク「↲」が入力されます。
※6 文字を確定する前に[□]を押すと一時的に「_」が表示され、その状態で[*]を押すと単独で「゛」「゜」が入力できます。
※7 単語登録の読み入力では、入力できません。また、ドコモUIMカードへの電話帳登録のフリガナ入力のときは「、」「。」「？」「！」「・」は入力できません。

2タッチ方式で入力できる文字

■全角入力モード

ボタン 1桁目	2桁目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	？	！	―	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		※1 ☎	
8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	＃		※1 ♥	※2
9	ら	り	る	れ	ろ	１	２	３	４	５
0	わ ゎ	を	ん	゛ 、	゜ 。	６	７	８	９	０

■半角入力モード

ボタン 1桁目	2桁目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		※1 ☎	
8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#		※1 ♥	※2
9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ -	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 @docomo.ne.jp	5
0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	ﾞ ,	ﾟ .	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

- ドコモUIMカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力モードでもカタカナ入力になります。

※1「メモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」ができるときだけ使えます。また、常に全角文字として入力されます。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「☎」「♥」は入力できます。

※2 [8][0]を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。また、大文字を入力したあとに[＊]を押して小文字に切り替えることもできます。

（灰色）: スペースが入力されます。

T9入力方式で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード
1	あ行、1	ア行、1	./@?!(),-_:' ~※1 &¥1スペース
2	か行、2	カ行、2	ABCabc2
3	さ行、3	サ行、3	DEFdef3
4	た行、4	タ行、4	GHIghi4
5	な行、5	ナ行、5	JKLjkl5
6	は行、6	ハ行、6	MNOmno6
7	ま行、7	マ行、7	PQRSpqrs7
8	や行、8	ヤ行、8	TUVtuv8
9	ら行、9	ラ行、9	WXYZwxyz9
0	わをんゎー、0	ワヲンヮ※2ー、0	0
*	※3、※4	※3、※4	※4、※5
#	※6	※6	――――

- 「数字入力モード」の文字割り当ては「かな方式」の文字割り当てを参照してください。
- ドコモUIMカードの電話帳登録時のフリガナ入力、「単語登録」の読み入力時には、数字候補は表示されません。
- 「CapsLockモード」ではすべて大文字入力となります。「Shiftモード」でははじめの1文字のみ大文字が入力され、以降は小文字入力となります。モード解除の状態ではすべて小文字入力となります。
- 「Shiftモード」で文字確定後は、モード解除の状態に戻ります。

※1 全角入力のときは「￣」となります。
※2「ワ」の小文字は全角入力のみ入力できます。
※3 読み編集中は、「゛」「゜」（濁点、半濁点）が付いた変換候補の切り替えを行います。
※4 改行マーク「↲」が入力されます。
※5 文字を確定する前に押すと、スペースを入力し文字を確定します。
※6 読みおよび文字の確定後は、「、」「。」「?」「!」「・」「スペース」が表示されます。

変換記号読み一覧

以下の記号については、読みを入力して変換することもできます。なお、「きごう」と入力して変換すると、一部の記号が変換候補に表示されます。

文字入力	記号
あっと、あっとまーく	@ ＠
あんど	& ＆
いこーる	= ＝
えん	¥ ￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	() <> [] {} ‘’ “” ≪≫〈〉《》「」『』 【】〔〕（）〈〉［］｛｝ ｢｣ "
から	～

文字入力	記号
こめ	※
ころん	: ： ;
こんま	, ，
さんかく	△▲▽▼
しかく	□■◇◆
しめ	〆
しゃせん	／＼
たす	+ ＋
てん	… 、・
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	% ％
はてな	? ？
ひく	- －
ひしがた	◇◆

文字入力	記号
びっくり	! ！
ぷらす	+ ＋
ぷらすまいなす	±
ほし	☆★
まいなす	- －
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
るん	♪
わる	÷

絵文字読み一覧

絵文字は、以下の読みを入力して変換することもできます。
• ここでは代表的な読みのみ掲載しております。

	読み
	わーい・かお・うれしい
	おこる・いかり・かお・ちっ
	がく・かお・かなしい・らくたん
	やだ・かお・かなしい・もうやだ
	かんがえる・かお・うーむ・うーん
	ほっ・かお
	ひやあせ・あせ・かお・にがわらい
	ひやあせ・あせ・かお
	いかり・かお・ぷー・ふくれる・ぷっくっく
	ぼけー・かお・ぼー
	はーと・かお
	あかんべ・かお・べー・あかんべー・あっかんべー
	うぃんく・かお・ういんく
	うれしい・かお・にこ・きゃー
	がまん・かお
	ねこ・どうぶつ・かお
	なみだ・かお・なき・えーん・かなしい・なく
	なみだ・かお・なき・かなしい
	えぬじー・だめ
	うまい・たべる・かお
	にやり・かお・わらい・いひひ・うれしい・うっしっし
	げっそり・さけび・むんく・かお・がーん
	はーと
	はーと
	しつれん・はーと
	はーと

	読み
	ふらふら・びっくり・かお・しょっく
	ぐっど・やじるし・や・うえ
	るんるん・おんぷ
	かわいい・はな
	きすまーく・きす・ちゅっ・くちびる
	ぴかぴか・あたらしい・きら・ぴか・きらきら
	でんきゅう・ひらめき・きら・ぴか
	むかっ・いかり
	ぱんち・いかり・て・ぐー
	ばくだん・ばくはつ・いかり
	むーど・おんぷ
	ばっど・やじるし・や・した・おちこむ・だうん
	ねむい・すいみん・ねる・ぐー・おやすみ
	びっくり・おどろき・えくすくらめーしょん
	びっくり・おどろき・えくすくらめーしょん
	びっくり・おどろき・えくすくらめーしょん
	どんっ・しょうげき
	あせあせ・あせ・とびちる
	あせ・たらーっ
	だっしゅ・にげろ・はしる・はしりだす
	のばす・ー
	のばす・ー
	はしるひと・だっしゅ・はしる・にげる・ひと
	め・みる・みて
	みみ・きく
	て・ぐー
	て・ちょき・ぴーす

	読み
	て・ぱー
	あし・あしあと
	めがね
	おーけー・て・おっけー・ぐー・ぐっど・らじゃー
	おひつじざ・せいざ
	おうしざ・せいざ
	ふたござ・せいざ
	かにざ・せいざ
	ししざ・せいざ・がっかり
	おとめざ・せいざ
	てんびんざ・せいざ
	さそりざ・せいざ
	いてざ・せいざ
	やぎざ・せいざ
	みずがめざ・せいざ
	うおざ・せいざ
	ぽけっとべる・ぽけべる・べる
	かめら・しゃしん
	かばん・ばっぐ・おでかけ・かいもの
	でんわ
	けいたいでんわ・けいたい・けーたい・でんわ
	めも
	はーと・とらんぷ
	すぺーど・とらんぷ
	だいや・とらんぷ
	くらぶ・とらんぷ
	くるまいす
	かちんこ・かっと・かんとく
	ふくろ
	ぺん・めも

	読み
	ひとかげ
	いす
	とけい・じかん
	めーる・てがみ・あどれす・めーるする
ID	あいでぃー
	ぱすわーど・かぎ
	つぎ・りたーん・かいぎょう・じこうあり
CL	くりあ
	さーち・しらべる・むしめがね
NEW	にゅー・にゅう・あたらしい
	はた・ふらっぐ・いち・いちじょうほう
	ふりーだいやる
	しゃーぷ・しゃーぷだいやる
	もばきゅー
OK	けってい・おーけー・おっけー
	あいあぷり・あぷり
	あいあぷり・あぷり
	ちゃぺる・べる・かね・けっこん
	どあ・とびら
	どるぶくろ・かね・おかね・どる
	ぱそこん・ぴーしー
	らぶれたー・らぶめーる・てがみ・めーる
	れんち・しゅうり・せってい
	くりっぷ・てんぷ
©	こぴーらいと・こぴー
TM	とれーどまーく
	まるひ・ひみつ
	りさいくる・くりかえし
®	とうろくしょうひょう・れじすたーどとれーどまーく・れじすとれっど
	きけん・ちゅうい・けいこく
	きんし

	読み
	くうしつ・くうせき・くうしゃ・あき
	ごうかく
	まんしつ・まんせき・まんしゃ・いっぱい
	はれ・てんき・たいよう・いいきぶん
	くもり・てんき・くも・もやもや
	あめ・てんき・かさ・ゆううつ
	ゆき・てんき・ゆきだるま
	かみなり・てんき・ぴか
	たいふう・てんき・まる・ぐるぐる・うずまき
	きり・てんき
	あめ・こさめ・てんき・かさ
	しんげつ・つき・まる
	みかづき・つき
	はんつき・つき・はんげつ
	つき・ややかけつき
	まんげつ・つき・まる
	よる・つき・おやすみ
	なみ・うぇーぶ・うみ
	くろーばー・はな・よつば
	ちゅーりっぷ・はな
	め・は
	でんしゃ・のりもの・いどう
	ちかてつ・のりもの・めとろ
	しんかんせん・のりもの
	くるま・のりもの・せだん・いどう
	くるま・のりもの・あーるぶい・いどう
	ばす・のりもの・いどう
	ふね・のりもの・ぼーっ
	ひこうき・のりもの
	いえ・たてもの・うち
	びる・たてもの・かいしゃ
	ゆうびんきょく・ゆうびん
	びょういん

	読み
BK	ぎんこう・ばんく
ATM	えーてぃーえむ・ばんく
	ほてる
CVS	こんびに・こんびにえんす
GS	がそりんすたんど・がすすたんど・がす
	ちゅうしゃじょう・ぱーきんぐ・ぴー
	しんごう
	といれ・べんじょ
	れすとらん・しょくじ・ごはん・めし
	びよういん・はさみ・とこや
	おんせん・いいきぶん
	がっこう
	きっさてん・しょくじ・さてん・おちゃ・かっぷ
	ばー・しょくじ・さけ・かんぱい・かくてる・ぐらす
	びーる・しょくじ・さけ・かんぱい・じょっき
	ふぁーすとふーど・しょくじ・はんばーがー・たべもの・ばーがー
	ゆのみ・おちゃ・ちゃ・まったり
	さくらんぼ・はな・ちぇりー
	ばなな・たべもの
	りんご・たべもの・あっぷる
	おにぎり・おむすび・たべもの
	しょーとけーき・けーき・たべもの
	とっくり・おちょこ・さけ・かんぱい・にほんしゅ
	どんぶり・ごはん・たべもの・しょくじ・らーめん
	ぱん・しょくじ・たべもの・しょくぱん
	わいんぐらす・わいん・さけ・かんぱい・ぐらす
	いぬ・どうぶつ
	ねこ・どうぶつ

	読み
	かたつむり・どうぶつ
	ひよこ・どうぶつ
	ぺんぎん・どうぶつ
	さかな・どうぶつ
	うま・どうぶつ・けいば
	ぶた・どうぶつ・ぶー
	ぶてぃっく・くつ・ふく・はいひーる
	くつ
	てぃーしゃつ・しゃつ・ふく
	さいふ・かね・おかね・がまぐち
	けしょう・くちべに
	じーんず・ふく・ずぼん
	えんぴつ・めも
	おうかん・かんむり・おう
	ゆびわ・りんぐ
	すなどけい・じかん
	うでどけい・とけい・じかん
	しゃつ・すぽーつ・ふく・らんにんぐ
	やきゅう・すぽーつ・ぼーる
	くらぶ・ごるふ・すぽーつ
	てにす・らけっと・すぽーつ
	さっかー・すぽーつ・ぼーる
	すきー・すぽーつ
	ばすけっとぼーる・すぽーつ・ばすけ・ばすけっと・かれし
	ごーる・もーたーすぽーつ・はた・ふらっぐ・えふわん・しゅうごう
	からおけ・まいく・うた
	えいが・びでお・むーびー
	ゆうえんち・もくば
	おんがく・きく・へっどほん
	あーと・かいが・ぱれっと
	えんげき・しばい

	読み
	いべんと
	ちけっと・きっぷ
	きつえん・たばこ
	きんえん・たばこ
	ほん
	りぼん
	ぷれぜんと・おめでとう
	ばーすでー・おめでとう・たんじょうび・きゃんどる・ろうそく
	てれび
	げーむ・こんとろーらー
	しーでぃー
	りぞーと・よっと・ふね
	くりすます・き・つりー
	すのぼ・すのーぼーど・すぽーつ・さーふぃん
	じてんしゃ・のりもの・ちゃり
	ふじさん・やま
	もみじ・は
	さくら・はな
	みぎななめうえ・やじるし・うえ
	みぎななめした・やじるし・した
	ひだりななめうえ・やじるし・うえ
	ひだりななめした・やじるし・した
	あいもーど・あい
	あいもーど・あい
1	いち・すうじ
2	に・すうじ
3	さん・すうじ
4	し・よん・すうじ
5	ご・すうじ
6	ろく・すうじ
7	なな・しち・すうじ
8	はち・すうじ
9	きゅう・く・すうじ
0	ぜろ・れい・すうじ

	読み
	やじるし・や・さゆう
	やじるし・や・じょうげ
soon	すーん
ON!	おん
end	えんど・おわり
	でんわ・でんわばんごう・けいたいでんわ・でんわする
	めーる・あどれす・めーるする
FAX	ふぁっくす
	どこも・どこもていきょう
	どこもぽいんと・どこも
¥	ゆうりょう・えん・かね
FREE	むりょう・ただ・ふりー

● 絵文字の予測候補について

文字入力（編集）画面では、読みに対応した絵文字が組み合わされて表示されます（組み合わせ絵文字）。
たとえば、「ありがとう」にはや などが予測候補として表示されます。

<例>

- こんにちは
- かなしい
- おめでとう
- うれしい

おしらせ

◆絵文字を ｉ モード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。なお、ｉ モード端末であっても、相手の機種によっては正しく表示されないこともあります。

顔文字読み一覧

顔文字は、以下の読みを入力して変換することもできます。
・ここでは代表的な顔文字のみ掲載しております。

読み	顔文字
あきれた	(-.-)
	(--;)
	(-_-)
	(-_-;)
あせ	(。・ω・。)
	(--;)
	(^^;
	(^-^;
	(^_^;)
	(^o^;)
	(-_-;)
	(汗)
	f(^^;
	f(^_^;
あせあせ	(;^_^A
あっかんべ	:-p
あは	(o^o^o)
ありがと	m(__)m
ありがとう	m(__)m
いいな	(m'□'m)
	(o> ω <o)
いかり	(` ´)
いかる	(怒)
いじいじ	φ(.. ;)
いじわる	Ψ(` ∀ ´ #)
いたい	(>_<)
いたた	(>_<)
	(><)
いっぷく	(^ .^)y-~~~
	(^!^)y~
いてっ	(>_<)
うぃんく	(*^_ ')
	(^_-)
ういんく	(*^_ ')
	(^_-)
	;-)

読み	顔文字
うーん	(*_*)
	(--;)
	(-_-;)
	(￣～￣ ;)
	(- ω -)
うなずき	(..)
	(__)
うるうる	(;_;)
	(;o;)
	(T_T)
	(ToT)
	(TT)
	(T-T)
うん	(..)
	(^^)
	(^-^)
	(^_^)
	(__)
え	(@_@;)
えーん	(;_;)
	(;o;)
	(´ Д `)
	(T_T)
	(ToT)
	(TT)
	(T-T)
	(T ω ヽ)
	(ノд<。)゜。
	X-<
	Ω Å Ω ;
えがお	(^.^)
	(^^)
	(^-^)
	(^^)d
	(^^)v
	(^-^)v
	(^_^)

読み	顔文字
えがお	(^_^)v
	(^o^)
	(^o^)v
	(^q^)
	:-)
	:->
	＼(^^)／
	＼(^-^)／
	＼(^_^)／
	＼(^o^)／
	f(^_^)
えへん	(￣^￣)
おいしい	(^q^)
おー	(^o^)
おお	:-O
おーい	(^O^)／
おこる	(怒)
	:-(
	:-<
おじぎ	m(__)m
おどろき	:-O
おねがい	m(__)m
がーん	(____ ;)
	(￣□￣ ;)!!
	Σ (￣□￣ ;)
かお	(*^^*)
	(*_*)
	(-.-)
	(..)
	(._.)
	(._.)_
	(--;)
	(;_;)
	(;o;)
	(@_@)
	(^.^)
	(^^)
	(^-^)

読み	顔文字
かお	(^^)d
	(^^)v
	(^-^)v
	(^^;
	(^-^;
	(^^ゞ
	(^_-)
	(^_^)
	(^_^)v
	(^_^;)
	(^◯^)
	(^0_0^)
	(^ O^)
	(^o^)
	(^o^)v
	(^o^;)
	(^q^)
	(-_-)
	(-_-;)
	(__)
	(~_~)
	(~_~;)
	(~o~)
	(+_+)
	(>_<)
	(T_T)
	(ToT)
	(TT)
	(T-T)
	)^o^(
	:-(
	:-)
	:-<
	:->
	:-O
	:-p
	;-)
	＼(^^)／
	＼(^-^)／
	＼(^_^)／
	＼(^o^)／
	^/^
	^^;
	^_^;

読み	顔文字
かお	_(._.)_
	>^_^<
	f(^^;
	f(^_^)
	f(^_^;
	m(__)m
	X-<
かぜ	(*> U <*)
かなしい	:-(
	:-<
がまん	(;´ ∩ `)
かよう	(火)
がんば	p(^^)q
かんぱい	(^^) ／▽☆▽＼ (^^)
きこえない	|(-_-)|
きゃー	(。≧∇≦。)
ぎゃはは	(^Q^)/^
きらーん	(☆。☆)
きんよう	(金)
くしょう	(苦笑)
ぐっど	(^^)d
げつよう	(月)
こあら	(－Q－)
こまった	) ω (
	＞＜
こまったもんだ	(￣～￣) ξ
ごめん	(* c *)
	(^ 人 ^)
	(- 人 -)
ごめんなさい	m(__)m
こんにちは	(●´ ∀ `●)/
さよなら	(^_^)/~
	(_´ Д `) ノ~~
	(T_T)/~
しあわせ	(*´ ∀ ` *)
	ヽ(´ ▽`)/
じーっ	(-_-)
しーん	(-_-)

読み	顔文字
しくしく	(;_;)
	(;o;)
	(´ ; ω ; `)
	(T_T)
	(ToT)
	(TT)
	(T-T)
しくじる	X-<
じとっ	(-.-)
	(-_-)
じばく	(爆)
しまったー	X-<
しょう	(笑)
すいよう	(水)
すまいる	:-)
	;-)
すみません	m(__)m
だっしゅ	ε ＝ ┏ (・_・) ┛
たらー	(--;)
	(^^;
	(^-^;
	(^_^;)
	(^o^;)
	(-_-;)
ちゅ	(^3^)/
	(^ ε ^)-☆Chu!!
つっこみ	(＝・ω・)/
てれ	(*^^*)
	(照)
てれる	(*/ ω＼*)
	(*ymy*)
	(// ∀ //)
	(／_＼;)
	(∩∇ `)
	(≧ω≦)
	(● ´ mn `)
どき	(◎-◎;)
ども	＼(^_^)(^_^)／
どよう	(土)
どれどれ	(..)
どんまい	b(・∇・●)
なかよし	^ — ^) 人 (^ — ^
なき	(泣)

読み	顔文字
なきがお	(;_;)
	(;o;)
	(T_T)
	(ToT)
	(TT)
	(T-T)
なく	(泣)
なぜ	(?_?)
	(° U。)?
なみだ	(涙)
なやむ	(-_-;)
にこ	(*^_^*)
	(*´ ▽ `)
	(^-^)
	(^m^)
	(' ∀ '●)
	(o^ ∀ ^o)
	(o ‘∀ ‘o)
	(o ^ ▽ ^ o)
	:-)
	:->
	;-)
にこっ	(^.^)
	(^^)
	(^-^)
	(^_^)
にちよう	(日)
ね	(^.^)b
ねてる	(-_-)zz
ねむい	(ρ _-) ノ
	(眠)
	＼ (˘o˘) ／
ばく	(爆)
ばくしょう	(爆)
はてな	(・ ・?)
ばんざい	＼ (^^) ／
	＼ (^-^) ／
	＼ (^_^) ／
	＼ (^o^) ／
	＼ (^O^) ／
びくっ	(*_*)
びっくり	(ο д O ;)
	w(° O°)w

読み	顔文字
ひやあせ	(^o^;
ぶい	(^^)v
	(^-^)v
	(^_^)v
	(^o^)v
ぶたー	)^o^(
ぷぷっ	(´ ψψ `)
べー	:-p
へこむ	(´ `)
	(´ ω `)
	(・ ω ・)
ぺこり	m(__)m
ほし	☆彡
ぽりぽり	(^^ ゞ
	f(^^;
	f(^_^)
	f(^_^;
まずい	(--;)
	(-_-;)
む	(ー＿ーメ)
	o(￣ ^ ￣ o)
むー	:-(
	:-<
むか	(;-_-+
	(` へ ´)
めがてん	(・ ・;)
めも	φ (..)
もくよう	(木)
やだ	(○ >_<)
よだれ	(^q^)
よろしく	☆ヽ (▽⌒ *)
わーい	(*^ □ ^*)
	(^o^)
	(^O^)
	(´ ∀ `)
	(≧▼≦)
	＼ (^^) ／
	＼ (^-^) ／
	＼ (^_^) ／
	＼ (^o^) ／
	o(^ ▽ ^o)(o^ ▽ ^)o
わくわく	o(^-^)o

読み	顔文字
わらい	(^ ω ^)
	(^ 皿 ^)
	(笑)

マルチアクセスの組み合わせ

新たに発生した通信＼現在の通信状態	FOMA音声電話		テレビ電話		Wi-Fi音声電話		iモードを利用※1	iアプリを利用	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信	発信	着信			送信	受信
FOMA音声通話中	△※2	△※3	×	△※4	×	×	○	×	○	○
Wi-Fi音声通話中	×	×	×	×	△※5	△※5	○	×	○	○
テレビ電話中	×	△※4	−	△※4	×	×	×	×	×	×※6
iモード中※1	○	○	△※7	△※8	○	○	−	○	○	○
データ通信中（パケット）	○	○	×	×	○	○	×	△※9	×	×※6
データ通信中（64K）	×	△※4	×	△※4	×	×	×	×	×	×※6
Wi-Fi通信中（クライアントモード）	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○
Wi-Fi通信中（アクセスポイントモード）	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×※6
カンタンデータ転送利用中	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×※6

新たに発生した通信＼現在の通信状態	SMS		データ通信（パケット）		データ通信（64K）		Wi-Fi通信（クライアントモード）	Wi-Fi通信（アクセスポイントモード）	カンタンデータ転送
	送信	受信	送信	受信	送信	受信			
FOMA音声通話中	○	○	○	○	×	△※4	○	○	×
Wi-Fi音声通話中	○	○	○	○	×	×	○	×	×
テレビ電話中	×	○	×	×	×	△※4	−	×	×
iモード中※1	○	○	×	×	×	×	−	×	×
データ通信中（パケット）	○	○	−	−	×	×	○	×	×
データ通信中（64K）	○	○	×	×	×	△※4	○	×	×
Wi-Fi通信中（クライアントモード）	○	○	○	○	○	○	−	×	−
Wi-Fi通信中（アクセスポイントモード）	○	○	×	×	×	×	×	−	−
カンタンデータ転送利用中	×	○	×	×	×	×	−	×	−

○：起動できます。　×：起動できません。　△：条件により起動できます。
−：機能的に実現しない組み合わせです。

※1 iチャネルの情報サイトの表示、フルブラウザ、トルカでの通信を含みます。
※2「キャッチホン」をご契約されている場合、現在のFOMA音声電話を保留にして発信することができます。
※3「キャッチホン」をご契約されている場合、現在のFOMA音声電話を保留にして応答することができます。また、「留守番電話」や「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.449
※4「キャッチホン」「留守番電話」「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.449
※5 ご利用になっているSIPサーバによっては処理できます。
※6 iモードメールやメッセージR／Fは受信されず、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されたiモードメールやメッセージR／Fは通信終了後、「メール／メッセージ問合せ」を行うと受信できます。
※7 iモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。

※8「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定している場合、テレビ電話の着信に応答すると、ｉモード通信が切断されます。
※9 ｉアプリのソフトの通信はできません。

オプション・関連機器

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- イヤホンマイク 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※2／P02※2
- 平型ステレオイヤホンセット P01※2
- Bluetoothヘッドセット F01※3
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- ワイヤレスイヤホンセット P01／02
- 骨伝導レシーバマイク 01※2／02
- FOMA USB接続ケーブル※4
- FOMA ACアダプタ 01※5／02※5
- FOMA乾電池アダプタ 01
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※4
- FOMA 補助充電アダプタ 01／02／03
- 車載ハンズフリーキット 01※6
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- データ通信アダプタ N01
- FOMA室内用補助アンテナ※7
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※7
- 車内ホルダ 01※8
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※5
- FOMA DCアダプタ 01／02
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- FOMA ecoソーラーパネル 01
- 卓上ホルダ N33
- 電池パック N26
- リアカバー N52

※1 N-05Cと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ01が必要です。
※2 N-05Cと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※3 Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。
※4 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※5 ACアダプタでの充電方法について→P.60、62
※6 N-05Cを充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※7 日本国内で使用してください。
※8 N-05Cを車内ホルダに取り付ける際は、「車内ホルダ 01 取扱説明書」に記載されている使用方法②の表「5段目」に取り付けてください。

動画再生ソフトのご紹介

- パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生するには、Apple Inc. のQuickTime Player（無料）ver. 6.4以上（またはver. 6.3+3GPP）が必要です。
- QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
  http://www.apple.com/jp/quicktime/download/
  - ダウンロードには、インターネットと接続しているパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
  - 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。→P.564
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。
- FOMA端末の現象は、カテゴリ別に分類して記載しています。一覧中の色文字は現象、黒文字はそれに対するチェック箇所と参照ページです。

電源

FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.59
- 電池切れになっていませんか。→P.62

[終話キー]を1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる

- 電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。→P.101

充電

次のようなアニメーションが表示され、「ピーッピーッピーッ …」というアラーム音が鳴っている

- 電池が切れました。充電してください。→P.60、63

- 充電しながらｉモードやｉアプリなどの操作を行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電が停止し、電池が切れる場合があります。FOMA端末の温度が下がるのを待ってから充電してください。

充電ができない（充電ランプが点灯しない／点滅する）

- FOMA 端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.59
- アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットにしっかりと差し込まれていますか。→P.62
- アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか（ACアダプタ（別売）をお使いのとき、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか）。→P.59
- 卓上ホルダを使用する場合、FOMA 端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、そのほか機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して、電池アイコンが点滅している状態で、充電ランプが消える場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- ご使用の状況により充電が途中で停止する場合があります。使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。

端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- 操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。
  圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.60
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
  十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。→P.60
- アクセスポイントのDTIM設定によっては電池の使用時間が短くなることがあります。「接続先一覧」（P.483）にて使用していない接続先を「接続先無

効」とすることにより、電力の消費を抑えることができる場合があります。

電源断・再起動が起きる

- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

ボタンやタッチパネルの操作ができない

- 磁気を帯びた製品にFOMA端末を近づけると、ボタンやタッチの操作が正しくできなくなることがあります。磁気からFOMA端末を離してご使用ください。
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定していませんか。→P.130
- 自動キーロック中ではありませんか。→P.139
- 「タッチパネル有効設定」を「OFF」に設定していませんか。→P.122
- タッチパネル操作の自動ロックを「ON」にしていませんか。→P.140

ボタン確認音が出ない

- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定していませんか。→P.109
- マナーモード設定中ではありませんか。→P.111
- ecoモードを設定していませんか。→P.118

エニーキーアンサーで音声電話、テレビ電話に出ることができない

- 「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。→P.84
- テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。

FOMA端末を閉じているときに、メインメニューボタン、画面ロックボタン／MULTIボタンを押しても操作できない

- 自動キーロック中ではありませんか。→P.139

ボタンを押したときの画面の反応が遅い

- FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカード間で容量の大きいデータをやりとりしたときなどに起こる場合があります。

発信履歴／リダイヤル、送信アドレス一覧が勝手に消えてしまう

- 「個別発着信動作選択」の「指定発信制限」を設定しませんでしたか。→P.141

ドコモUIMカードが認識されない

- ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.58
- FOMAカード（青色）を挿入していませんか。→P.58

時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。

自動時刻時差補正が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P.65

通話

ダイヤルボタンを押しても発信できない

- 「発信・メール送信」の「ダイヤル発信」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.137
- 自動キーロック中ではありませんか。→P.139
- 指定発信制限設定中ではありませんか。→P.141
- ダイヤルロックを設定していませんか。→P.130
- セルフモードを設定していませんか。→P.144

着信できない、または着信音が鳴らない

- 以下の機能を設定していませんか。
  個別発着信動作選択→P.141
  - 指定着信拒否
  - 指定着信許可
  - 指定転送でんわ
  - 指定留守番電話

  呼出時間表示設定→P.144
  - 無音時間設定

  着信拒否設定→P.143
  - 登録外着信拒否
  - 通知不可能
  - 公衆電話
  - 非通知設定
  - Wi-Fi発番号なし
- マナーモード設定中ではありませんか。→P.111
- 公共モード（ドライブモード）設定中ではありませんか。→P.86
- 「着信・メール受信表示」の「着信」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.137
- セルフモード設定中ではありませんか。→P.144
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。→P.444、446
- 番号通知お願いサービスを開始に設定していませんか。→P.448
- デュアルネットワークサービスでmovaを有効にしていませんか。→P.448
- 着信音量を「消去」に設定していませんか。→P.107
- 伝言メモの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。→P.87
- 相手の電話帳をシークレットデータとして登録していませんか→P.131。
  - 「シークレット」の「着信動作設定」を「サイレント着信」に設定していませんか。→P.132
  - 「シークレット」の「着信動作設定」を「登録外着信の扱い」に設定していて、「登録外着信拒否」を「拒否」に設定していませんか。→P.132、143
- 「音量制限」を「ON」にしていませんか。→P.110

着信があっても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信イルミネーションの点滅）が行われない

- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を「ON」に設定している場合、電話帳に登録されていない電話番号や、電話番号を通知しない相手からの着信が

あると、設定した時間が経過するまで着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信イルミネーションの点滅）が行われません。→P.144

メール着信音やアラーム音は鳴るのに、電話がかかってきたときの着信音が鳴らない

- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を長い時間（99秒など）に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。→P.144

音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る

- 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.107
- 相手の電話帳をシークレットデータとして登録していませんか。→P.131

音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定したイメージと違うイメージが表示される

- 各機能の着信の設定が重なった場合、画像は優先順位に従って動作します。→P.107
- 相手の電話帳をシークレットデータとして登録していませんか。→P.131

音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した色や点滅パターンと違うパターンで着信イルミネーションが動作する

- 各機能の着信イルミネーションの設定が重なった場合、着信イルミネーションは優先順位に従って動作します。→P.121
- 相手の電話帳をシークレットデータとして登録していませんか。→P.131

着信画面や着信音がお買い上げ時の設定で動作する

- 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。
- ダウンロードしたFlash画像を着信画面やメール受信結果画面に設定したあと、ｉモーション、ミュージックを着信音やメール着信音に設定すると着信画面と着信音の組み合わせによっては、画面がお買い上げ時の設定で表示される場合があります。

電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示されてしまう

- 電源を入れた直後はドコモUIMカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。
- ダイヤルロック／おまかせロック設定中ではありませんか。→P.130
- 相手の電話帳をシークレットデータとして登録していませんか。→P.131

「圏外」の表示が出て電話がかけられない

- サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。→P.63

通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。
- 電波の性質により、「 」～「 」を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 指定着信拒否、指定着信許可など着信制限を設定していませんか。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない（FOMA音声電話の場合）

- 市外局番を忘れていませんか。→P.70
- 「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。

ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない（Wi-Fi音声電話の場合）

- 「サーバに接続できません」や「回線が混み合っているため切断しました」の表示が出ていませんか。

画面に「圏外です」と表示される

- サービスエリア外か、FOMA（Wi-Fi）の電波の弱い場所にいませんか。→P.63

「圏外」の表示が出て話中音（ツーツー音）が出る

- サービスエリア外か、FOMAの電波の弱い場所にいませんか。→P.63

「 」の表示が出る

- Wi-Fiの電波の弱い場所にいませんか。Wi-Fiの電波の強い場所（アクセスポイントの近く）へ移動してください。→P.64
- クライアントモードは正しく設定されていますか。→P.483

「 」が表示されない／「 」が表示されない／「 」が表示されるが発信や接続ができない

- アクセスポイントのスキャンを行ってください。→P.483
- クライアントモードは正しく設定されていますか。→P.483
- アクセスポイントは正しく設定されていますか。→P.483
- アクセスポイントモードを利用していませんか。→P.474

「 」が表示されない／「 」が表示されるが発信や接続ができない

- アクセスポイントのスキャンを行ってください。→P.483

●クライアントモードは正しく設定されていますか。→P.483
●アクセスポイントは正しく設定されていますか。→P.483
●『ご利用ガイドブック(ホームU編)』をご覧ください。
●アクセスポイントモードを利用していませんか。→P.474
●ドコモUIMカードは挿入されていますか。→P.58

アクセスポイントへの接続が行えない

●「優先接続設定」の「通信モード設定」を「FOMAシングルモード」に設定していませんか。→P.66
●クライアントモードは正しく設定されていますか。→P.483

BluetoothやWi-Fiの通信速度が遅い、音が途切れる

●BluetoothとWi-Fiを同時に利用していませんか。同時に利用すると通信速度が遅くなったり、音が途切れることがあります。

画面

ディスプレイが暗い

●「照明設定」でディスプレイの点灯時間の設定を短い時間に設定していませんか。→P.118
●「照明設定」でディスプレイの明るさの設定を「レベル1」や「レベル2」、「自動調整ON」に設定していませんか。→P.118
「自動調整ON」の場合は周囲の明るさによって変わります。
●省電力モードを「ON」に設定していませんか。→P.118
●ecoモードまたはecoモード自動起動設定を設定していませんか。→P.118
●「プライバシーアングル」を「ON」に設定していませんか。→P.117

ディスプレイ、ダイヤルボタンの照明が点灯しない

●「照明設定」でディスプレイの照明の通常時の点灯を「OFF」に設定していませんか。→P.118
●[5]を1秒以上押してディスプレイの照明の点灯/消灯を切り替えることができます。→P.118
●ワンセグecoモードを設定していませんか。→P.263

ディスプレイに何も表示されない

●省電力モード中です。ボタンを押すと、省電力モードが解除されます。→P.118

音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

●受話口と耳の位置がずれていませんか。→P.25
●受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。
●ハンズフリー中にスピーカが何かでふさがれていませんか。
●「受話音量」の設定を変更していませんか。
聞き取りやすい音量に変更してください。→P.85
●ハイパークリアボイスの設定を変更すると、相手の声が聞き取りやすくなります。→P.81

耳元で急に大きな音が鳴る

●本FOMA端末では、受話口と着信音などが鳴動するスピーカが同一個所にあり、耳元で急に大きな音が鳴る可能性があります。

音量が設定したとおりにならない

●お買い上げ時の設定は、着信音/アラーム音などの鳴りはじめの3秒間のスピーカ音量を小さくしています。なお、「音量制限」を「OFF」に設定すると、鳴りはじめのスピーカ音量を設定音量でご使用いただけます。→P.110

データ表示

各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する

●画像やメロディなどの取得時に挿入していたドコモUIMカードが挿入されていますか。→P.58

動画/iモーションや着うたフル®の表示、再生に時間がかかる

●「移行可能コンテンツ」フォルダに保存された動画/iモーションや着うたフル®ではありませんか。
「移行可能コンテンツ」フォルダに保存されたデータの場合、表示や再生に時間がかかることがあります。

フォント、画像、iモーション、ミュージック、Music&Videoチャネル、ビデオ、マチキャラの替わりに文字が表示される

●以下の表示がされた場合は、利用している機能で選択できないフォント、画像、iモーション、ミュージック、Music&Videoチャネル、ビデオ、マチキャラです。
以下の表示がされていないデータを選択してください。
「Not Available」「Expired File」「No Preview Data」→P.123、269、270、326、340、347、351

PDFデータが正しく表示されない

●PDFビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。

PDFデータの表示に時間がかかる

●サイズが大きいPDFデータなどの場合、表示に時間がかかることがあります。

ドキュメントデータが正しく表示されない

●ドキュメント対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントデータの場合、正しく表示されないことがあります。

ドキュメントデータの表示に時間がかかる

●サイズが大きいドキュメントデータなどの場合、表示に時間がかかることがあります。

メール

メールを自動で受信しない

●メール設定の「メール選択受信設定」で「ON」を設定していませんか。「OFF」に設定してください。→P.165、181

メールを受信しても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信イルミネーションの点滅）が行われない

●「メール／メッセージ鳴動」を「OFF」に設定していませんか。→P.110
●「着信・メール受信表示」の「メール／メッセージ受信表示」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.137
●「受信時動作設定」を「操作優先」に設定していませんか。→P.181
●相手の電話帳をシークレットデータとして登録していませんか。→P.131

メールを受信したときにメールに設定した着信音と違う着信音が鳴る

●各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.107
●複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されている着信音が鳴ります。→P.107
●相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定してください。→P.101
●メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定していますか。→P.101
●SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたSMS着信設定の着信音設定が有効となります。→P.101
●相手の電話帳をシークレットデータとして登録していませんか。→P.131

メールを受信したときにメールに設定した着信イルミネーションと違う色やパターンで点滅する

●各機能の着信の設定が重なった場合、着信イルミネーションは優先順位に従って点滅します。→P.121
●複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されているメール着信設定のイルミネーション設定に従って着信イルミネーションが点滅します。→P.121
●相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定のイルミネーション設定でイルミネーションを設定してください。→P.101
●メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定のイルミネーション設定でイルミネーションを設定していますか。→P.101
●SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたSMS着信設定のイルミネーション設定が有効となります。→P.101
●相手の電話帳をシークレットデータとして登録していませんか。→P.131

メールが自動振分けされない

●相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、自動振分け設定には電話番号のみを登録してください。→P.176
●相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは自動振分け設定にはドメインまですべて登録しないと振り分けされません。→P.176

SMSを受信したときに電話帳に登録した名前が表示されない

●電話帳の電話番号欄（ ）に送信元の電話番号を正しく登録していますか。→P.94

メール送信中に切断され、SMSを受信した／もう一度操作しようとするとメッセージが表示される

●一定時間内に著しく大量のデータ通信が多いと切断されSMSで通知されます。SMSの内容と表示されるメッセージに従ってください。

送信したメールが送信BOXに残らない

●メール連動型ｉアプリ専用フォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。
メール連動型ｉアプリ専用フォルダを選択して確認してください。→P.172
●相手の電話帳をシークレットデータとして登録していませんか。→P.131

受信したメールが受信BOXに残らず、「（白色）」が消えない

●受信BOXの中のメール連動型ｉアプリ専用フォルダに「」が表示されていませんか。またはメール連動型ｉアプリ専用フォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。
該当するメール連動型ｉアプリ専用フォルダを選択して確認してください。→P.172

添付ファイルが自動受信されない／添付ファイルが削除されてしまう

●「添付ファイル優先受信設定」を確認してください。
●「メールサイズ制限」の設定を確認してください。
詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

ｉモード

ｉモード、ｉモードメール、ｉアプリ、ｉチャネル、ｉコンシェルに接続できない

- 「優先接続設定」の「通信モード設定」を「Wi-Fiシングルモード」にしていませんか。→P.66
- 「接続先設定」を「ｉモード」以外に設定していませんか。→P.215
- ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

「」が点滅したまま消えない

- メール／メッセージ問合せ·メール送受信などのあとや途中でｉモード接続が途切れたときは、ｉモードマークは点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、電源ボタンを押せばすぐに終了できます。

カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを「接写」に切り替えてください。→P.236
- 手ブレ補正が「OFF」になっていませんか。→P.233
- オートフォーカスを「OFF」で撮影していませんか。→P.236
- 人物を撮影するときは、オートフォーカスを「顔検出」に切り替えてください。→P.235
- 任意の場所にフォーカス枠をあわせるときは、オートフォーカス設定を「ついてくフォーカス」に切り替えてください。→P.237

カメラで撮影すると画像がちらつく

- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。「ちらつき軽減」の設定を変更することにより、画面のちらつきを軽減することができる場合があります。→P.233

カメラで撮影した静止画や動画が白っぽくなる

- 「ちらつき軽減」の設定を「モード1（50Hz地域）」または「モード2（60Hz地域）」に変更したまま屋外などの明るい場所で撮影していませんか。「ちらつき軽減」の設定を「オート」に戻してください。→P.233

ワンセグ

ワンセグ視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。
- チャンネル設定をしていますか。→P.253

おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない

- FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P.304
- ICカードロック、ダイヤルロックやおまかせロックを設定していませんか。→P.130、305
- 電池パックを取り外すと、おサイフケータイの機能は利用できなくなります。

おサイフケータイ対応ｉアプリが削除できない

- ICカード内のデータを削除したあと、ｉアプリを削除してください。→P.283
  なお、「iD 設定アプリ」は削除できません。
  削除したいｉアプリが利用しているICカード内のデータを削除しないと、ｉアプリを削除できない場合があります。
  削除できなかった場合は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。

海外利用

海外でFOMA端末が使えない

■アンテナマークが表示されている場合

- WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
  WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

■「圏外」が表示されている場合

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
  利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。
  「3G／GSM切替」を「自動」に設定してください。→P.463
  「ネットワークサーチ設定」を「自動」に設定してください。→P.463
- FOMA 端末の電源を「OFF」にしたあと、再び「ON」にすることで回復することがあります。

海外で電話がかかってこない

- 「ローミング時着信規制」を「規制開始」に設定していませんか。→P.465
- 「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」以外に設定していませんか。→P.90
- GSM ／ GPRS ネットワーク利用中にテレビ電話は利用できません。

相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

●相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。
また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

海外で利用中に、突然FOMA端末が使えなくなった

●利用停止目安額を超えていませんか。
「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

Wi-Fi機能が利用できない

●通信チャネルを12ch～14chに設定していませんか。クライアントモードの接続ステータス画面に「Wi-Fi利用制限中」と表示されている場合は12ch～14chが利用できません。→P.484、486

データ管理

画像表示しようとすると「」、「Not Available」が表示される　または　デモやプレビューで「」、「Not Available」が表示される

●画像データが壊れている場合は「」、「Not Available」が表示されることがあります。

データ転送が行われない

●USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない

●「microSDチェックディスク」を行ってください。→P.365

動画／ｉモーションや着うたフル®をmicroSDカードにコピー、移動できない

●部分的に保存された着うたフル®ではありませんか。→P.271
●再生制限（回数、期間、期限）の切れた動画／ｉモーションや着うたフル®ではありませんか。→P.327

SD-Audioデータ再生時に、microSDカードを認識しなくなったり、「このデータは　再生できません」と表示される

●いったん「SD-Jukebox」で音楽データをパソコンに移動し、microSDカードを「SD-Jukebox」でフォーマットしてください。その後、音楽データをmicroSDカードに戻して使用してください。

PDFデータをFOMA端末にコピーできない

●PDFデータのサイズが2Mバイトを超えていませんか。→P.383

PDFデータをmicroSDカードにコピーできない

●ページ単位で取得したPDFデータではありませんか。→P.383

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールやデータ通信ができない

●USBモードを「microSDモード」や「MTPモード」に設定していませんか。「通信モード」に設定してください。→P.372

MTPモードでパソコンと接続できない

●ほかのFOMA端末でWMAデータを転送したmicroSDカードを使用すると、MTPモードでパソコンと接続できない場合があります。→P.272

MTPモードでパソコンと接続するとカメラデバイスとして認識されてしまう

●Windows Media Playerのバージョンが9以下ではありませんか。→P.272
Windows Media Playerのバージョンが9以下の場合は、Windows Media PlayerがMTPに対応していないため、MTPデバイスとして認識されません。
Windows Media Playerのバージョンアップを行い、いったんカメラデバイスとして認識されたN-05Cを以下の手順で削除してください。
［Windows XPの場合］
1. N-05CをUSBケーブルでパソコンに接続する
2. 「スタート」メニューの「マイコンピュータ」を右クリックし、「管理」をクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする
3. 「イメージングデバイス」の「N-05C」を右クリックし、「無効」をクリックする
4. 「イメージングデバイス」の「N-05C」を右クリックし、「削除」をクリックする
5. パソコンからN-05Cを取り外す

再度、MTPモードに設定してN-05Cをパソコンに接続してください。

Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

●Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない

●相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。
  「低電力時動作設定」により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→P.322
- オートGPS動作設定がOFFになっていませんか。→P.321
- オートGPS機能が動作しない状態になっていませんか。→P.321

こんな表示が出たら

- 以下の表では、色文字がエラーメッセージ、黒文字がエラーメッセージに対する説明／対処方法と参照ページです。
- エラーメッセージは数字、英字、五十音順に記載しています。
- エラーメッセージ中の（ ）内の数字は、ｉモードセンターのエラー識別コードです。

数字／英字

「“●▲■.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信できません（555）Unable to send.
“●▲■.ne.jp”is not available temporarily.」

※ ドメイン名については送信先により表示が異なります。

- 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから操作し直してください。

「ACMmax規制中です　発信できません」

- ドコモUIMカード内に設定されている積算料金上限値を超えているため発信できない場合に表示されます。「積算料金リセット」を実行すると規制が解除されます。→P.411

「BOXロック設定中のため　削除できません」

- 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型ｉアプリ専用フォルダにロックがかかっているため、メール連動型ｉアプリとメール連動型ｉアプリ専用フォルダを削除できません。メール連動型ｉアプリとメール連動型ｉアプリ専用フォルダを削除する場合は、該当BOXやフォルダのロックを解除してください。
  メール連動型ｉアプリのみ削除する場合は、ｉアプリ削除時に、対応するメール連動型ｉアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されたら「NO」を選択します。→P.141

「BOXロック設定中のためダウンロードできません」

- 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型ｉアプリ専用フォルダにロックがかかっているため、メール連動型ｉアプリをダウンロードやバージョンアップできません。メール連動型ｉアプリをダウンロードやバージョンアップする場合には、該当BOXやフォルダのロックを解除してください。→P.141

「ICカード内データがいっぱいのため移動できません」

- おサイフケータイ対応ｉアプリをmicroSDカードから移動する際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。
  「OK」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名と、そのサービスを削除することで確保できる容量（バイト数）、不足エリアサイズが表示されます。

「ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか？」／「ICカード内データがいっぱいのためバージョンアップできません　いずれかのサービスを削除しますか？」／「ICカード内データがいっぱいのため起動できません　いずれかのサービスを削除しますか？」／「ICカード内データがいっぱいのため移動できません　いずれかのソフトを削除しますか？」

- おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。「YES」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名が表示されますので、削除するサービスを選択し、サービスを削除してください。
  また、サービスによっては、ｉアプリを起動してサービスの削除を行う必要があります。その場合にはメッセージに従いｉアプリを起動してサービスを削除してください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリをmicroSDカードから移動する際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。「YES」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名が表示されますので、削除するサービスを選択し、メッセージに従いサービスを削除してください。

「ｉアプリTo設定されていません」

- サイト、メール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード、トルカ、データ放送、スケジュールからソフトを起動しようとしたときに、指定されたソフトが連携許可されていないため、起動できない場合に表示されます。→P.297

「ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」

- ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「YES」を選択し、通信を行わ

ない場合は「NO」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「終了」を選択します。

「ｉアプリ利用を継続し通信を行いますか？」
- 「ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」と表示されたときに「NO」または「終了」を選択し、またすぐに通信が発生した場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「YES」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「終了」を選択します。

「ｉモーション最大サイズを超えています」
- ｉモーションをダウンロードしたときに、最大サイズを超えた場合などに表示されます。

「microSDが挿入されていません」
- microSDカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。microSDカードがFOMA端末に正しく取り付けられているか確認してください。→P.359

「microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします」
- microSDカードのチェックディスクを行ってください。→P.365

「microSDへコピーできませんでした」
- 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDカードと交換してコピーし直してください。

「PIN1コードがロックされています」
- PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。■を押すとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。→P.129

「PINロック解除コードがロックされています」
- PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりドコモUIMカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。→P.129

「SSL/TLS通信が切断されました」
- SSL／TLS通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再度接続し直してください。

「SSL/TLS通信が無効です」
- SSL／TLS通信の認証中にエラーが発生してSSL／TLS通信が切断されたときに表示されます。

「SSL/TLS通信が無効に設定されています」
- 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。→P.197、216

「UIM（FOMA）カードが異なるため起動できませんでした」
- ドコモUIMカードセキュリティ機能によって制限されているｉアプリを自動起動しようとした場合に表示されます。→P.58

「UIM（FOMA）カードが異なるためご利用できません」
- ドコモUIMカードセキュリティ機能により保護されているデータのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。→P.58
- ドコモUIMカードセキュリティ機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選択して実行しようとしたときに表示されます。→P.58

「UIM（FOMA）カードが異なるため指定されたソフトが起動できませんでした」
- ドコモUIMカードセキュリティ機能によって制限されているｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。→P.58

「UIM（FOMA）カード読み込み中です　起動できません」
- ドコモUIMカードを読み込み中にドコモUIMカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。しばらくたってから操作し直してください。

「UIM（FOMA）カードを挿入／再確認してください」
- ドコモUIMカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。ドコモUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。→P.58

「URLが長すぎて登録できません」
- URLが半角256文字を超えるため、Bookmarkへの登録ができません。

「URLが不正です」
- 「URL入力」のとき、「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない状態で「ｉモードで接続」もしくは「フルブラウザで接続」を選択したときに表示されます。URLを入力し直してください。→P.196、202、214

「Wi-Fiシングルモード設定中のため接続できません」／「Wi-Fiシングルモード設定中のため発信できません」
- Wi-FiシングルモードでFOMA通信（FOMA音声電話発信、テレビ電話発信、ｉモードメール送信など）を行おうとした場合に表示されます。
  「優先接続設定」の「通信モード設定」を「FOMAシングルモード」または「DUALモード（FOMA優先／Wi-Fi優先）」に設定してください。→P.66

あ行

「相手を発見できませんでした」

●Bluetooth機器からの応答がないため、登録または接続できませんでした。

「応答がありませんでした(408)」

●サイトからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してください。

「同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません　該当するサービスを削除しますか?」/「同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません　該当するサービスを削除しますか?」

●おサイフケータイ対応 i アプリで同様のサービスをすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスのダウンロードやバージョンアップができません。「YES」を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。

「同じサービスを利用するソフトをすべて削除後移動してください」

●おサイフケータイ対応 i アプリで同様のサービスをすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、microSDカードからの移動ができません。登録済みのサービスを削除してください。

「おまかせロック中です」

●おまかせロックが設定されています。おまかせロック設定中は、音声電話/テレビ電話の着信、電源を入れる/切るの操作を除き、すべてのボタン操作がロックされます。→P.130

か行

「海外でご利用の場合　Bナンバー発信はできません　Aナンバー発信します」

●2in1のモードがBモードのとき、海外から電話の発信操作を行った場合に表示されます。Aナンバーで電話番号を非通知にして発信する場合は「非通知発信」を選択します。

「回線が混み合っているため切断しました」

●回線が混み合っているときにWi-Fi音声電話を発信しようとした場合に表示されます。しばらくたってからご利用ください。

「該当するデータはありません」

●電話帳検索を行ったとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。

「外部ICカードが見つかりません」

●ICカード認証機能を利用したユーザ認証時に、タイムアウトにより認証できなかった場合に表示されます。→P.140

「画像に誤りがあり正しく動作しません」

●画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できなくなったときに表示されます。

「切替できません」

●音声通話中にテレビ電話に切り替えようとしたとき、相手側がパケット通信中(i モード含む)などの理由で切り替えできない場合に表示されます。相手側の状況を確認して再度切り替え操作を行ってください。→P.73

「携帯電話/UIM(FOMA)カードの製造番号を送信します」

●サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。「YES」を選択すると、携帯電話製造番号が送信されます。送信したくないときは「NO」を選択します。→P.193

「圏外です」

●サービスエリア外や電波が届かない場所で、i モードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。「」が表示される場所まで移動して i モードのサービスをご利用ください。→P.63

●Wi-Fiの電波が届かない場所で、Wi-Fiのサービスを利用しようとしたときに表示されます。「」が表示される場所まで移動してWi-Fiのサービスをご利用ください。→P.63

「現在お使いのUIM(FOMA)カードがICオーナーではないためダウンロードできません」/「現在お使いのUIM(FOMA)カードがICオーナーではないため移動できません」/「現在お使いのUIM(FOMA)カードがICオーナーではないため起動できません」/「現在お使いのUIM(FOMA)カードがICオーナーではないため削除できません」/「現在お使いのUIM(FOMA)カードがICオーナーではないためバージョンアップできません」

●挿入しているドコモUIMカードとおサイフケータイ内のICカードに登録されているドコモUIMカード情報が異なる場合、おサイフケータイ対応 i アプリを操作しようとしたときやmicroSDカードから i アプリを移動しようとしたときに表示されます。

「この i モーションは再生可能回数が終了しました」

●再生回数が終了した i モーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。

「この i モーションは再生期限が切れました」

●再生期間または再生期限が終了した i モーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。

「このカードは使用できません」

●本FOMA端末に対応していないmicroSDカードです。対応しているmicroSDカードを使用してください。→P.359

- ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、使用できないカードが挿入されています。なお、本FOMA端末ではFOMAカード（青色）はご使用できません。→P.58
- 他社のSIMカードを使用している場合、利用できないサービスや機能などを選択したときに表示されます。

「この外部ICカードは解除できません」

- ICカード認証機能を利用したユーザ認証時に、登録されていない非接触ICカードを マークに重ね合わせた場合に表示されます。→P.140

「このサイトとのSSL/TLS通信は無効です」

- 書き換えられたSSL／TLS証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL／TLS通信できません。

「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」

- サポート外のSSL／TLS証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。

「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」

- 期限切れまたは有効期間前のSSL／TLSサーバ証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。
- 「メイン時計設定」が行われていない場合にSSL／TLS通信に対応したサイトやインターネットのホームページに接続しようとしたときに表示されます。「メイン時計設定」を行ってください。→P.65

「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」

- 端末内のSSL／TLSルート証明書が期限切れの場合に表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。
- SSL／TLS通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続中に、クライアント証明書の送付要求があったときに表示されます。→P.197

「この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？」

- SSL／TLS証明書のCN（名前）が一致しないときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。

「このデータは再生できない可能性があります」

- MP4（Mobile MP4）形式以外のｉモーションを取得したときに表示されます。

「このデータは取得できません」

- データをダウンロードしたときに、通信エラーが起きた場合やデータ不正や最大サイズを超えた場合に表示されます。

「これ以上機能を起動できません」

- ほかの機能を終了してから操作をしてください。

「コンテンツに誤りがあるためダウンロードできません」

- ｉモーション以外のデータや非対応のｉモーションを取得しようとしたときに表示されます。

さ行

「サーバに接続できません」

- SIPサーバへの登録が行われていないときにWi-Fi音声電話を発信しようとした場合に表示されます。SIPサーバへの登録を行ってください。→P.488

「サービス未契約です」

- ｉモードをご契約いただいていないため、ｉモードのサービスをご利用になれません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。
- ｉモードを途中からご契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

「再起動しました」

- エラーが発生したため再起動しました。

「再起動しました　UIM（FOMA）カードの金属部分の汚れは　再起動の原因となります　金属部分の清掃を　おすすめします」

- ドコモUIMカードの金属部分の汚れにより、接触が悪くなったため再起動しました。ドコモUIMカードの金属部分を乾いた綿棒などで拭いてください。

「再起動しました　電源ON時の電池の抜き差しや電池の金属部分の汚れは　再起動の原因となります　金属部分の清掃を　おすすめします」

- 電源を入れたままでの電池パックの付け直しや、電池パックの金属部分の汚れにより、接触が悪くなったため再起動しました。電池パックの金属部分が汚れているときは、乾いた綿棒などで拭いてください。

「再生可能回数が終了しました　削除しますか？」

- 再生回数が終了した、ｉモーションや着うたフル®を再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、削除されます。

「再生可能期限が切れました　削除しますか？」

- 再生可能期限または再生可能期間が過ぎているｉモーションや着うたフル®を再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、削除されます。

「再生制限データに誤りがあるため取得できません」

- 再生可能期限または再生可能期間が過ぎているため、ｉモーションや着うたフル®をダウンロードできません。

「最大サイズを超えました」「最大サイズを超えたので中断しました」「最大サイズを超えているためダウンロードできません」

- ｉモードブラウザや、フルブラウザで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、取得したところまでのデータを表示します。
- ダウンロード辞書、キャラ電などをダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。

「最大サイズを超えています　受信できません（452）」

- 受信するデータが最大サイズを超えているため受信できない場合に表示されます。

「最大フレーム数を超えたので中断しました」

- ｉモードブラウザや、フルブラウザで表示できるフレーム数を超えているため、インターネットホームページを表示できません。

「サイトが移動しました（301）」

- サイトが移動したため、URLが変更されています。Bookmarkやデスクトップアイコンに登録されている場合は登録し直してください。→P.124、203、214

「サイトに接続できませんでした（403）」

- 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。

「削除される添付ファイルがあります」

- 転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。■を押すと、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが削除されます。

「作成可能サイズを超えるため一部削除されます」

- 宛先、題名、本文のいずれか、または複数のデータが最大サイズを超えているため、超えた部分が削除されて新規メール作成画面が表示されます。

「指定サイトがみつかりません（404）」

- サイトが見つかりませんでした。サイトが存在しない可能性があります。

「指定されたソフトがありません」

- メール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード、データ放送、スケジュールからのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。

「指定されたデータがありません　デスクトップアイコンを削除しますか？」

- 削除されたデータのデスクトップアイコンを選択して起動しようとしたときに表示されます。

「指定したサイトへは接続できませんでした（504）」

- 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。

「指定の宛先には送信できません」

- 宛先に「,」が含まれているため送信できません。「,」を削除してください。
- 受信したメールのメールアドレスが半角50文字を超えるため、メールを返信することができません。
- 数字と「#」「✗」以外の文字およびスペースを含むためSMSを送信できません。数字または「#」「✗」以外の文字やスペースを削除してください。

「指定発信制限設定中です」

- 指定発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。→P.141

「しばらくお待ちください」

- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから音声電話やテレビ電話、ｉモードをご利用ください。
  なお、110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

「しばらくお待ちください（パケット）」

- パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

「充電器異常　充電を中止してください」

- 付属の卓上ホルダ、ACアダプタ、FOMA端末をそれぞれ外し、さらにFOMA端末から電池パックを外したあと、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合は、ACアダプタやDCアダプタ、FOMA端末の異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。

「受信可能なチャンネルがサーチできませんでした」

- その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。

「上限額を超過しているため接続出来ません」

- リミット機能付料金プランの上限額を超えています。

「すでに他の機能が起動中です　起動できません」／「すでに他の機能が起動中です　設定できません」

- ほかの機能が起動しているときに、利用できない操作をしようとしたときに表示されます。

「セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました」／「セキュリティエラーのため終了しました」

- 許可されていない動作をしようとしたため、ｉアプリやｉアプリ待受画面（ｉアプリDXを含む）やウィジェットアプリが終了したときに表示されます。→P.284、298、301

（赤外線通信中／ｉC通信中に）「接続相手が見つかりません　続けますか？」

●接続相手を発見／認識できません。赤外線通信の場合は赤外線ポートを向かい合わせて置いてください。ｉC通信の場合は マークを確認してもう一度重ね合わせてください。「YES」を選択するともう一度やり直すことができます。→P.379、380

「接続が中断されました」

●FOMAの電波が弱いため、ｉモードが中断されました。電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。→P.63

●FOMAの電波が強く「」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトなどが非常に混み合っています。しばらくたってから接続してください。

●デコメールテンプレート、デコメアニメテンプレートなどをダウンロードしたときに、通信エラーが起きた場合に表示されます。

●Wi-Fi電波が弱いため、使用中のWi-Fi通信が中断されました。電波の強い場所に移動してからWi-Fiのサービスをご利用ください。

「接続できません」

●接続先の設定が正しくないときに表示されます。MENU▶「ｉモード／web」▶「ｉモード／web設定」▶「共通設定」▶「接続先設定」で接続先を正しく設定し直してください。→P.215

●何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してください。

「接続できませんでした」

●「発信者番号通知」を「通知する」に設定しておかけ直しください。→P.66、78

●「アクセスポイントモード設定」の「接続先設定」が正しく設定されているか確認してください。→P.478

「選局情報がありません」

●チャンネル情報がないため、お勧めメールを作成できません。

「送信できない宛先があります」

●複数の宛先にｉモードメールを返信するときに、返信できない宛先がある場合に表示されます。

「送信できなかった宛先があります（561）」

●一部の宛先にメールが正しく送信できませんでした。

「送信できませんでした　宛先を確認してください（451）」

●指定した宛先にメールが正しく送信できなかった場合に表示されます。

「ソフトに誤りがあります」／「ソフトに誤りがあるため移動できません」／「ソフトに誤りがあるためダウンロードできません」／「ソフトに誤りがあるためバージョンアップを中止しました」

●ソフトのデータが不正のため、ダウンロードやバージョンアップ、microSDカードからの移動ができないときに表示されます。

「ソフトに継続動作できない障害が発生しました」

●ソフト起動中に動作を継続できないエラーが発生したときに表示されます。

「ソフト利用を継続し通信を行いますか？」

●「通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」と表示されたときに「NO」または「終了」を選択し、またすぐに通信が発生した場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「YES」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「終了」を選択します。

た行

「対応機種ではありません」

●取得しようとしたソフトが本FOMA端末に対応していないためダウンロード、microSDカードからの移動ができないときに表示されます。

「対応していないコンテンツがあります」

●バーコードリーダーで読み取った情報に、本FOMA端末で対応していないコンテンツが含まれているため認識できません。

「対応ソフトが削除されています」

●選択したメールフォルダに対応するメール連動型ｉアプリが削除されているため、ソフトを起動できません。ただし、フォルダ内のメールの参照は可能です。

「ダウンロードできませんでした」

●メロディのダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。

「端末暗証番号が違います」／「端末暗証番号は4～8桁です」

●端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。→P.128

「チャネル情報取得失敗」

●お買い上げ後はじめてｉチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、またはｉチャネル初期化、ｉチャネルの接続先URLの変更、端末初期化、ドコモUIMカードの差し替えの操作を行ったあとにｉチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、ｉチャネルの情報が取得できなかった場合に表示されます。「」が表示される場所まで移動して、もう一度　ｉ　チャネル一覧画面を表示してください。→P.222

「注意！　電話番号やURLの記述があります。　送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。」

●「スキャン機能」の「メッセージスキャン」を「ON」に設定し、本文に電話番号やURLが含まれている

SMSを表示しようとしたときに表示されます。送信元を確認後、SMSの本文を表示する場合は■を押してください。→P.574

「通信回数が多くなっていますクリアボタンを押して確認を行ってください」

- ｉアプリ待受画面からの通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。CLRを押すと、ｉアプリ待受画面からの通信を許可する、許可しない、あるいはｉアプリ待受画面を終了させるかを選択することができます。→P.297

「通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」

- ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「YES」を選択し、通信を行わない場合は「NO」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「終了」を選択します。

「通信が切断されました」

- アクセスポイントモード利用時に頻繁に切断するときは、通信チャネルを変更すると改善される場合があります。→P.479

「通話中です起動できません」／「通話中です操作できません」

- 通話中に行えない操作をしようとしたときに表示されます。→P.394、542

「転送先番号を設定してください」

- 転送でんわサービスをご契約されていて、転送先が未設定の状態で着信中にサブメニューの「転送でんわ」を選択した場合に表示されます。→P.446

「添付ファイルが削除されます」

- 受信したｉモードメールを引用返信しようとしたときに、元のｉモードメールに添付ファイルがある場合に表示されます。また、転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルのみ添付されている場合にも表示されます。■を押すと、添付ファイルが削除されます。

「添付ファイルを登録できません」

- 赤外線通信、ケーブル接続の通信、microSDカードからのコピーで登録できない添付ファイル付きメールを受信したときに表示されます。

「登録サービスがいっぱいです　上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります　上書きしますか？」

- 登録できるミュージック（会員制）サービスの上限値を超えている場合に表示されます。「YES」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードしたミュージックは再生できなくなります。

な行

「入力データまたはURLが長すぎます」

- テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信することができません。文字数を減らしてから送信し直してください。

「入力データをご確認ください（205）」

- サイトやインターネットホームページで入力を行い送信したあとに表示されます。■を押すと元のページに戻りますが、入力した文字や設定は削除されます（設定・入力した内容は送信されています。送信を取り消す操作ではありません）。

「認証タイプに未対応です（401）」

- 認証できないときに表示されます。■を押すと元のページに戻ります。

「認証を中止しました（401）」

- 認証画面で「Cancel」ボタンを押したときに表示されます。

「ネットワーク暗証番号が誤っています」

- ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。→P.128

は行

「パスワードが違います　再入力してください」

- PDFデータを表示するときや、ダウンロードするときに、パスワード入力画面で誤ったパスワードを入力したときに表示されます。→P.209、382

「パスワードをご確認ください（401）」

- 「認証」や「再認証」の画面で認証できないときに表示されます。「OK」を選択すると認証画面に戻ります。

「発信／着信機能オリジナルロック設定中です」

- 「発信・メール送信」にオリジナルロック設定中に禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。→P.137

「発信できませんでした（XXX）」

- 何らかの原因でWi-Fi音声電話を発信できませんでした。もう一度発信してください。エラーメッセージの中の（数字）については、SIPサーバより送信されたエラーを区別するためのコードです。

「フォーマットエラーです　正しいフォーマットのカードを挿入してください」

- microSDカードがフォーマットされていないなどの異常です。microSDカードをフォーマットし直してください。→P.371

「編集中のため削除できません」

●保存BOXに保存されているメールを編集中に、そのメールを削除しようとしたときに表示されます。

「保存メールがいっぱいです」

●保存BOXに保存メールがいっぱい(SMSとあわせて最大200件)のとき表示されます。

「保留できませんでした」

●何らかの原因でWi-Fi音声電話を保留にできませんでした。

ま行

「見つかりませんでした」

●FOMA端末の周辺にBluetooth機器が1台も見つかりませんでした。

「無効なデータを受信しました」/「無効なデータを受信しました(XXX)」

●受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。なお、“XXX”にエラーの内容を示す番号が表示されることがあります。

「メール/メッセージ問合せがすべて無効に設定されています」

●「メール/メッセージ問合せ設定」がすべて「問い合わせしない」に設定されているためメール/メッセージ問合せができません。
「メール/メッセージ問合せ設定」で問い合わせる項目を指定してください。→P.183

「メモリ番号:XXX書き換えできません」

●シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。→P.131

「メモリ不足です」

●メモリが不足したため、処理の継続ができないときに表示されます。頻繁に表示される場合には、一度電源を入れ直してください。

「メモリ不足です　終了します」

●メモリが不足したため処理を中断します。iモードメール作成時の場合、タスクの起動数、文字の種類の組み合わせなどによっては全角で5,000文字まで入力できないことがあります。

「文字数オーバーのため冒頭文/署名を貼り付けできません」

●iモードメール転送時に、冒頭文/署名を貼り付けると全角で5,000文字を超えてしまうため、冒頭文/署名が自動貼り付けされなかったときに表示されます。

「文字数がオーバーします　作成可能サイズまで本文を削除してください」

●引用返信するiモードメールの本文と引用符の合計が全角で5,000文字を超えるため全角で5,000文字以下になるまで本文を削除してください。

「文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません」

●本文と署名の合計が全角で5,000文字を超えるため貼り付けできません。

「文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません」

●本文と冒頭文の合計が全角で5,000文字を超えるため貼り付けできません。

や行

「ユーザ証明書がありません　継続しますか?」

●ユーザ証明書がダウンロードされていません。「YES」を選択することでサイトを表示することができますがサイトによっては継続できないことがあります。→P.216

「ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか?」

●サイトからユーザ証明書が要求されましたが有効期限が切れています。「YES」を選択することで継続できる場合がありますが、新しくユーザ証明書をダウンロードすることをおすすめします。→P.216

「ユーザ証明書を　送信しますか?」

●サイトからユーザ証明書が要求されました。ユーザ証明書を送付する場合は「YES」を、しない場合は「NO」を選択してください。

「容量不足です　移動できません」

●シークレットフォルダにデータを保管または出す場合、移動先のフォルダの容量がいっぱいのときに表示されます。保存先のデータを消去してから移動し直してください。→P.133、134

「読み込みできませんでした」

●何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDカードと交換してコピーし直してください。

「読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか?」

●「自動読取設定」を「OFF」に設定した状態で マークを読み取り機にかざした場合に表示されます。「YES」を選択すると、自動読取機能を利用できます。→P.310

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※ 本FOMA端末は、電話帳やｉモーション、ｉアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
  ※ 本FOMA端末は、ケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。
  ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.471）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用になることにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もご

ざいますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■お願い

●FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
- 火災・けが・故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
  以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

●FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

●各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

●修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

●FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
　使用箇所:受話口／スピーカ、メインメニューボタンの右横付近

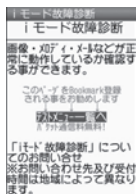
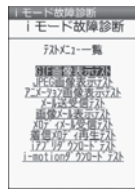
●本FOMA端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報など

●FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。

※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

TOP画面

テストメニュー画面

●「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
- [i]▶「お知らせ」▶「サポート情報」▶「お問い合わせ」▶「故障・電波状況お問い合わせ先」▶「ｉモード故障診断」

サイト接続用QRコード

●海外でのご利用は有料となります。
●FOMA端末の機種により、テスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
●各テスト項目で動作をご確認いただく際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
●ｉモード故障診断サイトへの接続および、メール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
FOMA端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内させていただきます。

- 更新方法には「自動更新」「即時更新」「予約更新」の3種類があります。
  自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- Wi-Fiシングルモードでは本機能は利用できません。あらかじめ「通信モード設定」をFOMAシングルモードまたはDUALモード（FOMA優先／Wi-Fi優先）に設定してください。DUALモード（FOMA優先／Wi-Fi優先）の場合は、自動的にFOMAシングルモードに切り替えて更新を行います。ダウンロード完了後に元の設定に戻ります。
- 接続先設定をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）へSSL／TLS通信を行います。証明書設定を有効にしておいてください（お買い上げ時：有効　設定方法は→P.216）。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 以下の場合はソフトウェア更新のソフトウェアをダウンロードできません。
  ・ドコモUIMカード未挿入時　・ドコモUIMカードの不正　・PINロック中
  ・PINロック解除コードロック中　・日付・時刻未設定時　・おまかせロック設定中
  ・セルフモード設定中　・「圏外」時　・パケット発信規制中
  ・デュアルネットワークサービスでmova端末利用中　・64Kデータ通信中　・国際ローミング中
  他機能を利用中に予約更新の予約時刻になった場合は、機能終了後にダウンロードを開始します（機能により開始できない場合があります）。
- 以下の場合はソフトウェア更新の書換えができません。
  ・おまかせロック設定中　・他機能を利用中
  ・「圏外」時　・国際ローミング中
  ・ソフトウェア更新の書換えが可能な電池残量でないとき
  自動更新の書換えの開始に失敗した場合は、自動更新設定の時刻（翌日または1週間後）に再度、書換えを実行します。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、そのほかの機能を利用できません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはできます。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

おしらせ

◆ソフトウェア更新は、FOMA 端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

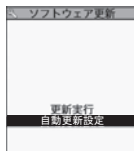
◆即時更新、予約更新の場合、お客様の確認操作なしでソフトウェアの更新が終了すると、待受画面に「更新」（ソフトウェア更新完了）のデスクトップアイコンが表示されます。「更新」を選択して端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

ソフトウェア更新の自動更新設定

新しいソフトを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。書換え可能な状態になると待受画面に更新（書換え予告アイコン）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えを行うかどうかを選択することができます。

● お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新」（曜日：指定なし、時刻：03:00）に設定されています。
● 更新（書換え予告アイコン）が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、更新（書換え予告アイコン）は消去されます。

● 自動更新日時の設定

1 MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

ソフトウェア更新機能一覧画面

2「自動更新設定」▶「自動で更新」▶📷［確定］

新しいソフトを自動でダウンロードし、待受画面に更新（書換え予告アイコン）が表示されます。

■ 更新の曜日や時刻を変更する場合

▶「曜日」または「時刻」を選択して設定▶📷［確定］

■ 更新の通知のみを行うように設定する場合

▶「更新の通知のみ」を選択▶📷［確定］

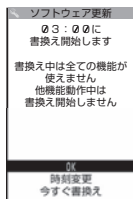
ソフトウェア更新が必要な場合に、待受画面に更新（更新お知らせアイコン）を表示します。

■ 自動更新を設定しない場合

▶「設定しない」を選択▶📷［確定］▶「YES」

● 更新が必要な場合の動作

1 待受画面表示中▶■▶「更新」を選択

2「OK」

予約時刻になると書換えを開始します。→P.570

■ **書換え更新の時刻を変更する場合**

▶「時刻変更」▶端末暗証番号を入力▶「曜日」または「時刻」を選択して設定▶[カメラ]［確定］

■ **すぐにソフトウェア更新を実行する場合**

▶「今すぐ書換え」▶端末暗証番号を入力

「ソフトウェアの即時更新」（P.568）の操作2に進みます。

おしらせ

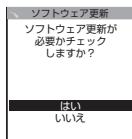
◆ 更新（書換え予告アイコン）は、一度確認すると消えます。

◆ 更新（更新お知らせアイコン）はドコモから通知があった場合や予約更新に失敗した場合などに表示されます。

ソフトウェア更新の起動

ソフトウェア更新を起動するには、待受画面に表示された「更新」(更新お知らせアイコン)を選択して行う方法と、メニュー画面から行う方法があります。

●「更新」(更新お知らせアイコン)を選択してソフトウェア更新を起動する

1 待受画面表示中▶■▶「更新」を選択

2「はい」

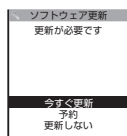
■ ソフトウェア更新を起動せずに「更新」を消去する場合

▶「いいえ」▶「はい」

3 端末暗証番号を入力

4 ソフトウェア更新が必要かチェック

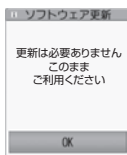
5 チェックの結果が表示される

■「更新が必要です」と表示された場合

チェック結果画面

▶「今すぐ更新」または「予約」

すぐにソフトウェアを更新する場合は「今すぐ更新」を選択します。→P.568

あとから更新する場合は「予約」を選択します。→P.570

■「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示された場合

▶「OK」

ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

● メニューからソフトウェア更新を起動する

1 MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

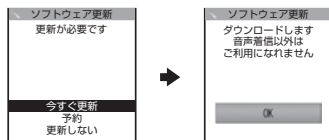
ソフトウェア更新機能一覧画面（P.565）が表示されます。

2 「更新実行」

「 更新」（更新お知らせアイコン）を選択してソフトウェア更新を起動する」（P.567）の操作4に進みます。

ソフトウェアの即時更新

1 チェック結果画面（P.567）▶「今すぐ更新」▶「ダウンロードします」と表示されたら「OK」

すぐにソフトウェアのダウンロードを開始します。
「OK」を選択しなくても、しばらくするとダウンロードが開始されます。

2 ダウンロードが終了し「書換え開始します」と表示されたら「OK」

ソフトウェアの更新を開始します。
「OK」を選択しなくても、しばらくすると書換えが開始されます。書換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

ソフトウェアの書換え中はすべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
ソフトウェアの書換えが完了すると、自動的に再起動します。
再起動後「ソフトウェア更新完了しました」と表示されたら「OK」を選択します（自動更新の場合は表示されません）。これでソフトウェアの更新は終了です。
更新完了時に「OK」を選択しない場合、待受画面に更新が完了したことを表す「 更新」（ソフトウェア更新完了アイコン）が表示されます。「 更新」は、一度確認すると消去されます。

おしらせ

◆ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
◆書換え中に電源が切れた場合でも、電源が回復すると書換えが再開されます。

◆ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても自動的に更新処理を実行します。
◆サーバが混み合っている場合は、次の画面が表示される場合があります。
その場合は、「予約」を選択し、予約更新を行ってください。

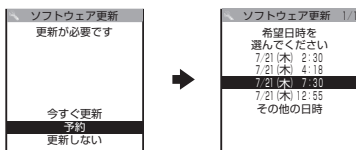
◆書換え中に自動的に再起動する場合があります。

ソフトウェアの予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合は、あらかじめソフトウェア更新を実行する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。
<例：7月21日（木）7：30に予約する場合>

1 チェック結果画面（P.567）▶「予約」▶希望日時を選択

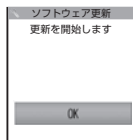
■ 希望する日時が見つからない場合

▶「その他の日時」→P.571

2 選択した日時を確認▶「YES」▶「OK」

これでソフトウェア更新の予約は完了です。

■ 希望日時を選択し直す場合

▶「NO」

● 予約時間になると

上の画面が表示され、約5秒後にFOMA端末は自動的にソフトウェアの更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受状態にしておいてください。以降の動作は「ソフトウェアの即時更新」（P.568）と同じです。

おしらせ

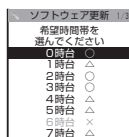
◆予約更新の希望日時には、サーバの時刻が表示されます。
◆ソフトウェア更新の予約時刻とアラーム通知の時刻が同じ場合は、ソフトウェア更新が優先されます。
◆ほかの機能を使用しているときに予約時刻になった場合は、機能終了後にソフトウェア更新を起動します。
◆予約が完了したあとに「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

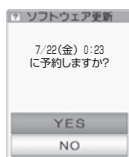
●「その他の日時」を選択した場合

「ソフトウェアの予約更新」（P.570）の希望日時の選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と時間帯を選択することができます。

1 希望日を選択

希望日の選択画面には各希望日の予約空き状況が以下のように表示されます。
○　：空きあり
△　：空きわずか
無印：空きなし

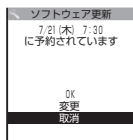
2 時間帯を選択

時間帯の選択画面には各時間帯の予約空き状況が以下のように表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし
希望する時間帯を選択すると、再度サーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

3 ソフトウェア更新の希望日時を確認

選択した日時を確認して「YES」を選択すると、再度サーバと通信します。
これでソフトウェア更新の予約は完了です。

● 予約した日時を確認・変更・取り消す

<例：予約を確認したあと、予約を取り消す場合>

1 **MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力▶「更新実行」**

2 **「取消」**

■ 予約した日時でよい場合
▶「OK」

■ 予約した日時を変更する場合
▶「変更」
FOMA端末固有の情報をサーバに送信したあと、「その他の日時」を選択したときと同じ操作を行ってください。→P.571

3 **「予約を取消しますか？」と表示されたら「YES」**

このときFOMA端末固有の情報をサーバに送信します。
なお、当社に送信されたお客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号）を第三者に公表・転用することはありません。
「予約を取消しました」と表示されたら、「OK」を選択します。これで予約の取り消しは完了です。

● ソフトウェアの更新を終了する

各画面で「NO」や「Cancel」を選択した場合は、操作終了の画面が表示されます。「YES」を選択するとソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。「NO」を選択すると前の画面に戻ります。

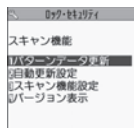
スキャン機能

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P.573
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。

パターンデータ更新

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

1 MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「スキャン機能」

スキャン機能画面

2「パターンデータ更新」▶「YES」▶「YES」▶「OK」

※ パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

◆パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。

◆パターンデータの更新中に音声電話がかかってきたり、圏外になったりしたときにはパターンデータの更新が中断されます。

◆更新情報がネットワークから通知された場合、ほかの機能が起動しているときや、ｉモード中、パケット通信中、国際ローミング中のときはパターンデータを自動更新できません。

◆Wi-Fiシングルモードでは本機能は利用できません。あらかじめ「通信モード設定」をFOMAシングルモードまたはDUALモード（FOMA優先／Wi-Fi優先）に設定してください。DUALモード（FOMA優先／Wi-Fi優先）の場合は、自動的にFOMAシングルモードに切り替えて更新を行います。更新終了後に元の設定に戻ります。

パターンデータ自動更新設定

1 スキャン機能画面（P.573）▶「自動更新設定」▶「有効」▶「YES」▶「YES」▶「OK」

おしらせ

◆パターンデータ自動更新終了、パターンデータ自動更新失敗、新規パターンデータありの場合は、待受画面に「更新」が表示されます。

スキャン機能設定

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。
SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定することもできます。

1 スキャン機能画面（P.573）▶「スキャン機能設定」▶「スキャン機能」または「メッセージスキャン」▶「ON」

■ 設定を変更するかどうかのメッセージが表示された場合

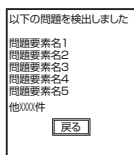
▶「YES」

※ スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P.574

おしらせ

◆「メッセージスキャン」を「ON」に設定しても、留守番着信通知はチェックの対象になりません。

スキャン結果の表示

■スキャンされた問題要素の表示について

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧がレベルの高いものから順に5件まで表示されます。問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素名は省略されます。
問題要素名が省略された残りの件数（6件目以降の件数）は次のように表示されます。

- 1～9998件の場合：件数がそのまま表示されます。
- 9999件以上の場合：すべて「他9999件」と表示されます。

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない 場合があります	正常に動作できない 場合があります 動作を中止しますか？	正常に動作できない 場合があるため 終了します	正常に動作できない 場合があります データを削除しますか？	正常に動作できないため データを削除します
[OK]…動作を継続します。	[YES]…動作を中止し、終了します。 [NO]…動作を継続します。	[OK]…動作を中止し、終了します。	[YES]…データを削除し、終了します。 [NO]…動作を中止し、終了します。	[OK]…データを削除し、終了します。

おしらせ

◆スキャン結果については状況によって上記以外のメッセージが表示される場合があります。

パターンデータのバージョン表示

1 スキャン機能画面（P.573）▶「バージョン表示」

メモリリフレッシュ

FOMA端末を快適に利用するために、定期的に電源を入れ直し、メモリをリフレッシュする機能です。

●メモリリフレッシュの実行時間は約1分間です。

●メモリリフレッシュの実行中は他の機能を利用できません。

1 MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「メモリリフレッシュ」

2 「タイマー設定」▶「ON」

曜日…メモリリフレッシュを実行する曜日を選択します。

時刻…メモリリフレッシュを実行する時刻を入力します。

■ すぐにメモリリフレッシュを実行する場合

▶「メモリリフレッシュ実行」

3 [完了]

おしらせ

◆メモリリフレッシュを実行しても、データが削除されることはありません。

◆FOMA端末を快適に利用するために、およそ1週間に1回を目安に定期的メモリリフレッシュの実行をおすすめします。

◆「タイマー設定」で設定した時刻になっても、ほかの機能を利用中はメモリリフレッシュは実行されません。また、アラームなどの通知やｉアプリの自動起動などの設定時刻を含めた前5分間はメモリリフレッシュを「タイマー設定」で実行することはできません。

主な仕様

■本体

項目		仕様	
品名		N-05C	
サイズ（閉じているとき）		高さ約115mm×幅約52mm×厚さ約14.7mm （最厚部約16.3mm）	
質量		約133g（電池パック装着時）	
連続待受時間	FOMAシングルモード	[FOMA／3G]	静止時（「自動」設定時※1）：約700時間 移動時（「3G」設定時※1）：約520時間 移動時（「自動」設定時※1）：約470時間
		[GSM]	静止時（「自動」設定時※1）：約310時間
	Wi-Fiシングルモード	通常プロファイル：約510時間 ホームUプロファイル：約430時間	
	DUALモード	通常プロファイル：約350時間 ホームUプロファイル：約280時間	
連続通話時間	FOMA音声電話	[FOMA／3G]	音声電話時：約240分 テレビ電話時：約100分
		[GSM]	音声電話時：約240分
	Wi-Fi音声電話	通常プロファイル	パワーセーブOFF時：約500分 パワーセーブON（Legacy）時：約1,040分 パワーセーブON（U-APSD）時：約1,040分
		ホームUプロファイル	約470分
充電時間		ACアダプタ：約130分　DCアダプタ：約130分	
ワンセグ視聴時間		約300分（ワンセグecoモード時：約380分）	
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216色	
	サイズ	約3.4inch	
	画素数	409,920画素（480×854ドット）	
撮像素子	種類	CMOS	
	サイズ	1/3.2inch	
	有効画素数	約810万画素	
カメラ部	記録画素数（最大時）	約800万画素	
	ズーム（デジタル）	最大約32.0倍	
記録部	静止画記録枚数	最大約1,300枚※2	
	静止画連続撮影	5～108枚※3	
	静止画ファイル形式	JPEG	
	動画録画時間	本体保存時：約83秒※4 microSDカード（2Gバイト）保存時：約120分※4	
	動画ファイル形式	MP4	
	ワンセグ録画時間	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約640分（合計）※5	

音楽再生	連続再生時間	ｉモーション	約540分※6
		着うたフル®	約1,800分※6※7
		SD-Audio	約1,800分※6※7
		Windows Media Audio（WMA）ファイル	約1,920分※7
		Music&Videoチャネル	約2,160分(音声)※7 約540分（動画）
保存容量	着うた®･着うたフル®	約202Mバイト※8※9	
無線LAN※10	方式	IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n（2.4GHz）準拠	

※1 ネットワークの接続切り替え設定は、「3G／GSM切替」（P.463）で行います。
※2 サイズ＝QVGA（320×240）、画質＝ファイン（ファイルサイズ＝25Kバイト）の場合です。
※3 サイズによって異なります。
※4 以下の条件での１件あたりの録画時間です。
　＜本体＞
　サイズ＝VGA（640×480）、画質／音質＝標準、ファイルサイズ＝10MB、音声設定＝ON
　＜microSDカード（2Gバイト）＞
　サイズ＝VGA（640×480）、画質／音質＝標準、ファイルサイズ＝無制限、音声設定＝ON
※5 放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※6 ファイル形式＝AAC形式
※7 バックグラウンド再生対応
※8 着うた®としては、シークレットフォルダには別途最大約10Mバイトの保存容量があります。
※9 画像、ｉモーション、メロディ、PDFデータ、画面メモ、ミュージック、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、インターネット動画、トルカ、ｉアプリ、フォント、コンテンツパッケージと共有
※10 本製品の無線LANは、Wi-Fi認証を取得しています。

■電池パック

品名	電池パック N26
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8V
公称容量	880mAh

カメラのサイズと登録件数／撮影時間

N-05Cで撮影できるサイズおよび撮影した静止画の登録件数、動画の撮影時間は以下のとおりです。

■撮影できるサイズとカメラモードの関係

サイズ	標準／クイックショット	連写	ビューティー	自分撮り	パノラマ	スマイル	アートフォトモード
オートリサイズ	○	×	○	×	×	×	×
8M（最大）	○	×	○	○	×	○	×
5M	○	×	○	○	×	○	×
フルHD	○	×	○	○	×	○	×
2M※1	○	×	○	○	×	×	×
パノラマ	×	×	×	×	○	×	×
フルスクリーン	○	○	○	○	×	○	○
VGA縦※2／VGA※3	○	×	○	×	×	×	×
480×480／240×240	○	×	×	×	×	×	×
QVGA縦※2／QVGA※3	○	○	×	×	×	×	×
QCIF縦（最小）※2／QCIF（最小）※3	○	○	×	×	×	×	×

サイズ	ムービー	スピードムービー
HD※4	○	×
VGA※5	○	×
ワイド※5	○	×
QVGA	○※5	○※4
QCIF※5	○	×

※1 ISO感度が「超高感度」「高感度」のみ撮影できます。
※2 縦撮りで撮影した場合の向きとなります。
※3 横撮りで撮影した場合の向きとなります。
※4 撮影の向きは横撮り固定となります。
※5 撮影の向きはレイアウトに合わせた向き固定となります。

■静止画の保存先別登録件数の目安

画質	8M（最大）	5M	フルHD	2M※1	パノラマ※2	フルスクリーン※3	VGA縦／VGA	QVGA縦/QVGA	QCIF縦（最小）／QCIF（最小）
保存先：N-05C（本体）									
スーパーファイン	約57枚	約104枚	約260枚	約260枚	約260枚	約417枚	約417枚	約1,385枚	約1,385枚
ファイン	約69枚	約129枚	約320枚	約320枚	約320枚	約1,061枚	約1,061枚	約1,385枚	約1,385枚
ノーマル	約104枚	約173枚	約417枚	約417枚	約417枚	約1,385枚	約1,385枚	約1,385枚	約1,385枚
保存先：microSD（2Gバイト）									
スーパーファイン	約552枚	約999枚	約2,496枚	約2,496枚	約2,496枚	約4,009枚	約4,009枚	約9,999枚	約9,999枚
ファイン	約662枚	約1,244枚	約3,076枚	約3,076枚	約3,076枚	約9,999枚	約9,999枚	約9,999枚	約9,999枚

画質	8M（最大）	5M	フルHD	2M※1	パノラマ※2	フルスクリーン※3	VGA縦／VGA	QVGA縦／QVGA	QCIF縦（最小）／QCIF（最小）
ノーマル	約999枚	約1,660枚	約4,009枚	約4,009枚	約4,009枚	約9,999枚	約9,999枚	約9,999枚	約9,999枚

- 登録件数は撮影環境などにより異なります。

※1 ISO感度が「超高感度」「高感度」のみ撮影できます。
※2 最大、横3,184×縦480ドット
※3 横480×縦854ドット、横854×縦480ドット

■動画の保存先別撮影時間の目安

※ 600秒未満は「秒」で表現し、600秒以上（10分以上）は「分」で表現します。

サイズ	ファイルサイズ	音声設定	1回あたりの撮影可能時間				総撮影可能時間			
			画質／音質				画質／音質			
			長時間	標準	高品質	最高品質	長時間	標準	高品質	最高品質
保存先：N-05C（本体）										
HD	10MB	ON	約28秒	約17秒	約12秒	約8秒	約562秒	約337秒	約241秒	約169秒
		OFF	約28秒	約17秒	約12秒	約8秒	約565秒	約339秒	約242秒	約169秒
VGA	2MB	ON	約32秒	約17秒	約8秒	約6秒	約54分	約28分	約14分	約559秒
		OFF	約33秒	約17秒	約8秒	約6秒	約55分	約28分	約14分	約565秒
	10MB	ON	約159秒	約83秒	約41秒	約28秒	約54分	約28分	約14分	約559秒
		OFF	約164秒	約84秒	約42秒	約28秒	約55分	約28分	約14分	約565秒
ワイド	2MB	ON	約42秒	約21秒	約10秒	約7秒	約71分	約36分	約17分	約12分
		OFF	約44秒	約22秒	約10秒	約7秒	約74分	約37分	約18分	約12分
	10MB	ON	約210秒	約107秒	約51秒	約34秒	約71分	約36分	約17分	約12分
		OFF	約218秒	約109秒	約52秒	約35秒	約74分	約37分	約18分	約12分
QVGA	2MB	ON	約82秒	約34秒	約17秒	約8秒	約138分	約57分	約28分	約14分
		OFF	約87秒	約35秒	約17秒	約8秒	約147分	約59分	約28分	約14分
	10MB	ON	約411秒	約170秒	約83秒	約41秒	約138分	約57分	約28分	約14分
		OFF	約437秒	約175秒	約84秒	約42秒	約147分	約59分	約28分	約14分
QCIF	500KB	ON	約108秒	約55秒	約21秒	約16秒	約730分	約371分	約138分	約105分
		OFF	約131秒	約66秒	約22秒	約16秒	約883分	約441分	約147分	約110分
	2MB	ON	約434秒	約220秒	約82秒	約63秒	約730分	約371分	約138分	約105分
		OFF	約524秒	約262秒	約87秒	約66秒	約883分	約441分	約147分	約110分
	10MB	ON	約36分	約18分	約411秒	約313秒	約730分	約371分	約138分	約105分
		OFF	約44分	約22分	約437秒	約328秒	約883分	約441分	約147分	約110分
保存先：microSD（2Gバイト）										
HD	10MB	ON	約28秒	約17秒	約12秒	約8秒	約90分	約54分	約39分	約27分
		OFF	約28秒	約17秒	約12秒	約8秒	約90分	約54分	約39分	約27分
	無制限	ON	約90分	約54分	約39分	約27分	約90分	約54分	約39分	約27分
		OFF	約90分	約54分	約39分	約27分	約90分	約54分	約39分	約27分
VGA	2MB	ON	約32秒	約17秒	約8秒	約6秒	約513分	約267分	約133分	約89分
		OFF	約33秒	約17秒	約8秒	約6秒	約529分	約271分	約135分	約90分
	10MB	ON	約159秒	約83秒	約41秒	約28秒	約513分	約267分	約133分	約89分
		OFF	約164秒	約84秒	約42秒	約28秒	約529分	約271分	約135分	約90分
	無制限	ON	約120分	約120分	約120分	約89分	約501分	約260分	約130分	約89分
		OFF	約120分	約120分	約120分	約90分	約517分	約265分	約132分	約90分

サイズ	ファイルサイズ	音声設定	1回あたりの撮影可能時間				総撮影可能時間			
			画質／音質				画質／音質			
			長時間	標準	高品質	最高品質	長時間	標準	高品質	最高品質
ワイド	2MB	ON	約42秒	約21秒	約10秒	約7秒	約677分	約346分	約166分	約111分
		OFF	約44秒	約22秒	約10秒	約7秒	約706分	約353分	約169分	約113分
	10MB	ON	約210秒	約107秒	約51秒	約34秒	約677分	約346分	約166分	約111分
		OFF	約218秒	約109秒	約52秒	約35秒	約706分	約353分	約169分	約113分
	無制限	ON	約120分	約120分	約120分	約111分	約662分	約338分	約162分	約111分
		OFF	約120分	約120分	約120分	約113分	約689分	約345分	約165分	約113分
QVGA	2MB	ON	約82秒	約34秒	約17秒	約8秒	約1,327分	約551分	約267分	約133分
		OFF	約87秒	約35秒	約17秒	約8秒	約1,411分	約565分	約271分	約135分
	10MB	ON	約411秒	約170秒	約83秒	約41秒	約1,327分	約551分	約267分	約133分
		OFF	約437秒	約175秒	約84秒	約42秒	約1,411分	約565分	約271分	約135分
	無制限	ON	約120分	約120分	約120分	約120分	約1,296分	約538分	約260分	約130分
		OFF	約120分	約120分	約120分	約120分	約1,378分	約551分	約265分	約132分
QCIF	500KB	ON	約108秒	約55秒	約21秒	約16秒	約7,002分	約3,556分	約1,327分	約1,010分
		OFF	約131秒	約66秒	約22秒	約16秒	約8,468分	約4,234分	約1,411分	約1,058分
	2MB	ON	約434秒	約220秒	約82秒	約63秒	約7,002分	約3,556分	約1,327分	約1,010分
		OFF	約524秒	約262秒	約87秒	約66秒	約8,468分	約4,234分	約1,411分	約1,058分
	10MB	ON	約36分	約18分	約411秒	約313秒	約7,002分	約3,556分	約1,327分	約1,010分
		OFF	約44分	約22分	約437秒	約328秒	約8,468分	約4,234分	約1,411分	約1,058分
	無制限	ON	約120分	約120分	約120分	約120分	約6,837分	約3,473分	約1,296分	約987分
		OFF	約120分	約120分	約120分	約120分	約8,269分	約4,135分	約1,378分	約1,034分

- 時間はそのファイルサイズで撮影できるおおよその時間です。
- 登録できる撮影時間は撮影環境などにより異なります。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種別		保存・登録可能件数	保護可能件数
電話帳		最大1,000※1	ー
ワンセグ	テレビリンク	50	ー
	視聴予約	100	ー
	録画予約	100	ー
スケジュール	スケジュール	2,500※2	ー
	休日	100	ー
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大2,500※3※4※5	最大2,500※3
	送信メール	最大1,000※3※4	最大500※3
	保存メール	最大200※3	ー
エリアメール		最大100	ー
デコメール®テンプレート／デコメアニメ®テンプレート		最大300※3※6	ー
メッセージ	メッセージR	最大100※3	最大50※3
	メッセージF	最大100※3	最大50※3
Bookmark		最大200	ー
画面メモ		最大250※3	最大250※3
ｉアプリ		最大200※3 （メール連動型ｉアプリは5）	ー
トルカ		最大495※3	ー
静止画		最大3,500※3※6※7	ー
動画／ｉモーション		最大3,500※3※6※8	ー
ワンセグで録画した静止画		最大3,500※3	ー
キャラ電		3※6	ー
メロディ		最大3,500※3	ー
きせかえツール		最大3,500※3※6	ー
PDFデータ		最大3,500※3※6	ー
Music&Videoチャネル		最大10※3	ー
着うたフル®		約67※3※9	ー
マチキャラ		最大3,500※3※6	ー
フォント		最大3,500※3※6	ー
コンテンツパッケージ		最大3,500※3※6※10	ー

※1 50件までドコモUIMカードに保存できます。
※2 ｉスケジュールを含みます。
※3 データ量やほかのデータ件数によっては、実際に保存・登録・保護できる件数が少なくなる場合があります。
※4 SMSの場合は、さらに受信メールと送信メールをあわせて20件までドコモUIMカードに保存できます。
※5「メール」フォルダに保存されている「NEW ｉモーション！」（Welcomeメール）のメール件数を含みます。

※6 お買い上げ時に登録されているデータやほかのデータ件数を含む場合があります。
※7 シークレットフォルダには別途最大250件保存できます。
※8 シークレットフォルダには別途最大10件保存できます。
※9 1曲のサイズを3Mバイトとした場合の保存件数です。
※10コンテンツパッケージと各コンテンツの件数を含みます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種N-05Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.255W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します。※2 NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ　http://www.n-keitai.com/lineup/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年5月現在）

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR

are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.25W/kg, and when worn on the body, is 0.45W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at https://gullfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm after search on FCC ID A98-JZW0935.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

FCC Regulations

This mobile phone complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

The product “N-05C” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.345W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

Wi-Fi Certified™

無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が実施している認証テストで、この認証テストにパスした製品のみ「Wi-Fi Certified™」という認定が与えられ、Wi-Fiロゴがついた製品との相互接続が保証されます。

● 認証取得内容

■IEEE Standard※1

- IEEE 802.11b
- IEEE 802.11g
- IEEE 802.11n

Optional 802.11n Capabilities※2

- Short Guard Interval
- TX A-MPDU

■Security※3

- WPA™ - Enterprise, Personal
- WPA2™ - Enterprise, Personal

Vendor EAP Types※4

- EAP-TLS
- PEAPv0/MS-CHAPv2
- PEAPv1/EAP-GTC

■Multimedia

- WMM®※5
- WMM Power Save※6

■Special Features

- Wi-Fi Protected Setup™※7

※1 無線LAN規格IEEE 802.11に基づいたWi-Fi認証のベースとなる規格です。
※2 802.11n特有の以下のオプション機能に対応しています。

●Short Guard Interval
Guard Intervalは送信されるデータの時間間隔のことで、受信側で反射などによりタイミングがずれた信号が重なり、復元が困難になることを防ぐ仕組みです。11nではオプションとして400nsecも可能になっています。

●TX A-MPDU
A-MPDUはAggregation MAC Protocol Data Unitの略で、MACフレーム1つに複数の送信データを多数連結することで，1回のフレーム送信で大量のデータを送信することができます。

※3 IEEE 802.11iに基づきWi-Fi Alliance®が策定した無線LANの暗号化方式の規格です。

- WPA™

Wi-Fi Protected Accessの略で、相互運用可能なセキュリティ拡張の標準化仕様です。
暗号化方式はTemporal Key Integrity Protocol（TKIP）を使用します。

• WPA2™

IEEE 802.11i規格に準拠し、WPA™認証をさらに強化しており、下位互換性があります。
暗号化方式はAdvanced Encryption Standard（AES）を使用し、現在Wi-Fi認証ではWPA2™認証は必須となっています。

WPA™、WPA2™の両方の認証にEnterpriseとPersonalがあり、Enterpriseは802.1xとEAP、Personalは事前共有キー（WPA/WPA2-PSK）で認証を行います。

※4 EAPはExtensible Authentication Protocolの略で、ネットワークデバイスのIDを確認するために使用される認証プロトコルです。WPA™/WPA2™ - Enterprise 認証で使用されます。

• EAP-TLS

Extensible Authentication Protocol Transport Layer Securityの略で、クライアントと認証サーバの両方でデジタル証明書を使って無線LANクライアントの認証を行います。

• PEAPv0/MS-CHAPv2

PEAPはProtected Extensible Authentication Protocolの略で、パスワードなどの認証データを 802.11 ワイヤレスネットワークで転送するために、クライアントと認証サーバの間に暗号化されたSSL/TLSトンネルを作成し、サーバ側のデジタル証明書のみを使って無線LANクライアントを認証します。本方式では暗号化されたSSL/TLSトンネルを介してMS-CHAPv2を実行します。

• PEAPv1/EAP-GTC

PEAP方式の1つで、暗号化されたSSL/TLSトンネルを介してEAP-GTCを実行します。

※5 WMM®はWi-Fi Multimediaの略で、IEEE 802.11eに基づいてWi-Fi Alliance®が策定したQoS機能規格です。無線LANネットワーク内のさまざまなトラフィックに優先順位を割り当てる機能を有しています。
※6 WMM®機能を拡張したもので、省電力機能が追加されています。信号品質の改善や電力消費の最適化などを通じて、無線ネットワークにおける効率的な省電力を実現する機能です。
※7 WPS機能で、無線LANの接続設定内容（SSIDや認証方式、暗号キーなど）をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

- 「FOMA」「声の宅配便」「mova」「ホームU」「iモード」「iアプリ」「iアプリDX」「iモーション」「iコンシェル」「iウィジェット」「iアプリコール」「iアプリタッチ」「iスケジュール」「かんたんデコメ」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「デコメアニメ®」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「iチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「iショット」「iモーションメール」「iエリア」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「IMCS」「OFFICEED」「iメロディ」「うた・ホーダイ」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「直感ゲーム」「きせかえツール」「i Bodymo」「ドコモwebメール」「spモード」「ドコモ地図ナビ」「docomo SMART series」および、「i-mode」ロゴ、「i-αppli」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「DCMX」ロゴ、「iD」ロゴ、「直デン」ロゴ、「Music&Videoチャネル」ロゴ、「iC」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2011 Aplix Corporation. All rights reserved. JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「バザールでござーる」は日本電気株式会社の商標または登録商標です。
- 「ピクトマジック」「感情お知らせメール」「みんなNらんど」「ライフヒストリービューア」「クイックインフォ」「タッチスタイル」「コミュニケーションスタイル」「メディアスビューア」「フォト文字クリエイター」「Enjoy Exercise」「SP-VIEW」「クイックショット」「Quick Shot」「アートフォト」「なめらかワンセグ」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance 所有法人の商標または登録商標です。
- Powered By Mascot Capsule®／Micro3D Edition™ MASCOT CAPSULE®は株式会社エイチアイの登録商標です。
- PhotoSolid®、MovieSolid®、QuickPanorama®およびロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- IrSimple™、IrSimpleShot™、IrSS™、OBEX™はInfrared Data Associationの商標です。

- Google, モバイルGoogleマップは、Google Inc.の登録商標です。
- 「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WMM®、WPA®、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIED ロゴおよびWi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Allianceの登録商標です。

- Wi-Fi CERTIFIED™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。

- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- 「AOSS™」および、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- DLNA、DLNA認証ロゴはDigital Living Network Allianceの登録商標あるいは認定マークです。
- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- 「いっしょにデコ」は、ソニー株式会社の商標です。
- 「iアバター」は、株式会社ディーツー コミュニケーションズの登録商標です。
- 「アバターメーカー」は、株式会社アクロディアの登録商標です。
- 「ストリートファイター」はCAPCOM U.S.A., INC.の登録商標です。
- 「ロックマン」は株式会社カプコンの登録商標です。
- 「ぐるなび」は株式会社ぐるなびの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player、Adobe® Flash® Lite® およびAdobe Reader® Mobile テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright© 1993-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash Lite はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。Powered by ADOBE® FLASH®
- コンテンツ所有者は、WMDRM（Windows Media digital rights management）技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewer、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright© 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  ACCESS™
  NetFront®
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。
  IrFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。IrFront®
- The IrDA® Feature Trademark is owned by the Infrared Data Association and used under license therefrom.
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。
  また、「AXIS」フォントは タイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- この製品は Audyssey からのライセンスに基づいて製造されています。Audyssey社の技術は米国と各国の特許で保護されています。
  2002年に設立されたAudysseyは、プロ用と民生用のオーディオ研究に基づいたイコライゼーション技術の業界リーダーです。 AUDYSSEY
- ハイパークリアボイスはSRS Labs, Inc.よりライセンスされたSRS VIP+技術に基づき製品化されています。SRS VIP+
  SRS、VIP+、および記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- SRS TruSpeed™は、元の音程を保持しつつ、録音内容の再生速度を変えることができます。
  SRS TruSpeed
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアに関する詳細はメニュー→「データBOX」→「マイドキュメント」→「iモード」→「GPL/LGPLライセンス説明」をご参照ください。
- 本製品に搭載しているHMM音声合成エンジンは、修正BSDライセンスを使用しています。
  The HMM-Based Speech Synthesis System (HTS)
  hts_engine API developed by HTS Working Group
  http://hts-engine.sourceforge.net/
  Copyright© 2001-2010 Nagoya Institute of Technology, Department of Computer Science
  2001-2008 Tokyo Institute of Technology, Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering
  All rights reserved.
  Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
  - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
  - Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
  - Neither the name of the HTS working group nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
  THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
- 本製品は、データ放送BMLブラウザとして、株式会社ACCESSのNetFront DTV Profile Wireless Editionを搭載しています。
  本製品は、放送コンテンツ起動機能として、株式会社ACCESSのMedia:/メディアコロン仕様を採用しています。
  Copyright© 1996-2011 ACCESS CO., LTD.
  ACCESS、NetFront及びMedia:/メディアコロンは、株式会社ACCESSの日本国またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Living Connectを搭載しています。
- フレーム補間機能には株式会社モルフォのFrameSolid™を採用しております。
  FrameSolid™は株式会社モルフォの商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
  Copyright ©2006-2011, GestureTek, Inc. All Rights Reserved.
- ©2010 Q Entertainment Inc.
- ©2004 BANDAI/NBGI
- ©Primeworks/catalyst mobile
- ©ATR-Trek Co., Ltd.
- ©MTI Ltd.
- ©2010 Google - 地図データ ©2010 ZENRIN
- ©駅探
- ©1986-2010 NBGI
- ©2004-2010 NBGI
- ©タカラトミーエンタメディア
- ©赤塚不二夫/ぴえろ
- ©タツノコプロ
- ©TOMY
- TM & ©Felix the Cat Productions, Inc. All Rights Reserved
- ©DAIKIN.H.T., 2000

- ©SUGAR
- ©2010 CMP/CP
- ©1999-2011 CYBIRD

Windowsの表記

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

索引 594

索引

索引の引きかた

●本索引は「五十音目次」としての機能もあわせ持っています。本書に記載されている用語だけでなく、記載内容を要約した用語も収録しています。知りたい事項が収録されていない場合は、別のキーワードで探してください。

<例 1：自動キーロックをON に設定したいとき>

自動キーロック. 129
自動キーロックの一時解除 130
自動更新（ソフトウェア更新） 505

ロック機能
オリジナルロック 116
顔認証設定 120
自動キーロック. 129

<例 2：すぐに電話に出られないとき>

応答保留. 67
おこのみチャネル（ｉチャネル）. . . 202

保留（着信中、通話中). 67
保留音設定 67

<例 3：別の用語で収録しているとき>

初期化 → リセット
初期設定 47

リセット
一括情報リセット（マチキャラ). . 293

●「五十音／英字／数字」索引のあとに「サブメニュー」索引を収録しています。サブメニュー（P.54）の項目を検索したいときにご利用ください。

あ

アイコン説明
海外利用. 461
画像（サイト). 198
画像・動画 327
楽曲 271
カメラ撮影画面. 230
感情お知らせメール 165
きせかえツール. 355
個別着信音／画像 101
サブメニュー（カメラ). 232
着信履歴／不在着信履歴 75
ディスプレイ 27
デスクトップ（情報通知） 36
デスクトップ（貼り付け） 36
テレビ電話画面. 72
テレビリンク 259
ドキュメントビューア. 384
バイブレータ 108
ビデオプレーヤー 348
フルブラウザ 195
メッセージ画面 184
メロディ 353
メール一覧画面 173
メール詳細画面 174
メールフォルダ一覧画面. . . . 172
文字入力（編集）画面 428
リダイヤル／発信履歴 75
ワンセグ視聴画面. 255
ｉアプリ 281
ｉウィジェット 300
Music&Videoチャネル画面. . .267
PDFデータ 383
アイコン操作
デスクトップ 124
表示アイコン選択. 125
アイコンパターン 119
あかさたな検索（電話帳） 97
明るさ（ピクチャ編集） 339
明るさ調節
カメラ 233
テレビ電話. 72
マイピクチャ. 339
アクセスポイント 483
アクセスポイントモード 474
機器接続 475
宛先削除. 154
宛先タイプ変更（メール） 154
宛先登録（メールアドレス） . . 168
宛先入力／追加. 152
アドレス → メールアドレス
アドレス一覧からの宛先入力. . . 152
アドレス一覧の確認 180
アドレス・迷惑メール設定 . . . 182
アニメーションの作成. 333
アニメーションの表示. 333
アフターサービス 561
アラーム（タイマー機能） 397
アラーム音（内蔵データ） 106
アラーム音の止めかた. 405
アラーム通知
再接続. 81
通話品質 110

優先順位 404
アラーム通知設定 402
アラーム通知動作 402, 403
アラーム内容の確認 405
暗証番号について 128
暗証番号入力 52
暗証番号変更 129
安全上のご注意 8

い

位置情報 312, 320
いっしょにデコ 294
いつもNAVI海外 292
移動（フォルダ間）
画像 330
楽曲 271
きせかえツール 355
動画／ｉモーション 341
ドキュメント 384
トルカ 309
マチキャラ 352
ムービー 345
メロディ 353
メール 178, 179
Bookmark 204
Music&Videoチャネル . . . 268
移動（本体／microSD間）
画像 368
画面メモ 368
きせかえツール 368
着うたフル® 368
動画／ｉモーション 368
マチキャラ 368
ムービー 368
メロディ 368
ｉアプリ 368
Music&Videoチャネル . . . 368
今の為替と株価 291
イメージ → 画像
イヤホン切替設定 111
イヤホンスイッチ発信設定 . . . 418
イヤホン接続時マナーモード動作 . . 114
イヤホンマイク 418
イルミネーション
メモイルミネーション 121
イルミネーション設定
メモイルミネーション 121
印刷方法の設定（microSD） . . 373
インターネット接続 202
インターネットホームページ . . 202
インフォメーション表示設定 . . 225
引用入力 434
引用符 167
引用返信（メール） 166

う

ウィジェットアプリ 300
ウェイクアップ表示の画面設定 . . .115
上書きモード切替 429

え

英語ガイダンス 448
英語表示 123
駅探🚃乗換案内 291
エニーキーアンサー 84
絵文字記号連続入力 433
絵文字読み一覧 535
エラーメッセージ一覧 553
エリアメール 185
エリアメールの保存可能件数 . .581
遠隔初期化 148
遠隔操作（有料） 466
遠隔操作設定（ネットワークサービス） . .450

お

応答保留 85
おこのみチャネル（ｉチャネル） . .222
おサイフケータイ 304
データの読み書き 304
読み取り機へのかざしかた . .305
ICカードロック設定 305
おサイフケータイの利用 304
おサイフケータイ Webプラグイン .287
おしゃべり機能 408
お天気アプリ 292
音の選択（着信音） 106
オプション・関連機器 544
オペレータ名表示設定（海外） . .465
おまかせロック 130
オリジナルマナーモード 115
オリジナルメニュー 120
オリジナルメニューの表示方法 . . 50
オリジナルロック 134
音楽パズル　ルミネス 286
音声クイック起動 56
音声自動再発信 90
音声で文字入力 440
音声電話／テレビ電話切替（着信側） . . . 84
音声電話／テレビ電話切替（発信側） . . . 73
音声メモ 407
音声メモの再生・消去 88
音声メモ録音 407
音量制限 110
音量調節
受話音 85
スライド音 110
着信音 107
ｉアプリ音 284
オート着信設定 419
オートロック設定 306
オートGPS機能 320
オートGPS設定 321

か

海外で利用できるサービス 460
海外用サービス 466
改行入力 433
解除
画面メモ保護 206
公共モード（電源OFF） 86
公共モード（ドライブモード） . . 86
個別発着信動作選択 142
シークレット専用モード 132
シークレットデータ 131
ダイヤルロック 130
バイブレータ 108
マナーモード 111
メッセージ保護 185
メール全保護 178
メール保護 178, 179
ｉアプリ待受画面 298
PINロック 129
外線特番 494
回転（ピクチャ編集） 339
顔登録機能 244
顔文字読み一覧 539
鏡リュウジ★今日の運勢 291
学習履歴クリア（文字入力） . . .438
各種画面設定 115
拡大メニュー（きせかえツール） . . 126
確認音
充電 110
ボタン 109
各部の名称と機能 24
かざす請求書 293
画像
アップロード 212
一覧表示の切り替え 327
移動 330
サイズ 578
削除 330
タイトル、ファイル名について . .329
ダウンロード 208
添付ファイル送信 160
添付ファイル保存 168
表示（本体） 326
表示（microSD） 365
編集 338
保存（サイト・メッセージ） . .208
保存可能件数 581
本体からmicroSDへコピー . .367
本体／microSD間の移動 . .368

microSDから本体へコピー . .367
画像一覧 327
画像選択 90
画像表示設定 213
かな方式での文字入力 429
かな方式の文字割り当て. 531
カメラ
起動の方法 228
撮影画面の見かた 230
撮影時の設定 246
ボタン操作 229
利用上のご注意. 228
microSDカードを使用するとき . . .229
カメラボタン設定. 396
カメラモード切替. 232
画面縦横自動切替. 39, 122
画面の切り替え（文字入力分割画面）. .429
画面の見かた
撮影画面. 230
テレビ電話 72
トルカ表示画面. 308
歩数計 391
ミュージックプレーヤー再生画面. 275
ライフヒストリービューア . .395
ワンセグ視聴画面 255
PDFデータ画面 384
画面メモ 205
画面メモの保存可能件数. 581
カラーテーマ設定. 119
カレンダー設定（待受画面）. . .116
漢字変換 431
感情お知らせメール 164
感情／キーワードお知らせ 183
かんたんデコメ 157
かんたんデコメの作成 152
かんたんデコメピクチャのダウンロード. . .210
カンタンデータ転送 500
関連機器・オプション 544

き

記号読み一覧（変換記号読み一覧）. .534
帰国後の確認. 461
きせかえツール
拡大メニュー 126
管理 354
設定 126
ダウンロード 210
保存可能件数 581
機能の優先順位
アラーム通知 404
キャラ電設定 95
着信イルミネーション. 121
着信音／着信画像 107
バイブレータ動作 109
待受画面 117
迷惑電話防止機能. 149
基本操作 51
キャッシュ 199
キャッチホン. 445
キャラ電
キャラ電 350
撮影. 350
操作. 350
ダウンロード 210
テレビ電話での利用 89
表示. 350
保存可能件数 581
キャラ電設定. 72
キャラ電設定の優先順位 95
休日の確認 399
切り取り（文字）. 436
緊急地震速報. 186
緊急速報「エリアメール」. . . .185
緊急速報「エリアメール」設定 . .186
キーワード検索 201

く

クイックインフォ設定. 171
クイック検索. 201
クイック検索接続先設定 202
クイックサイレント. 84
クイックショット 238
クイック伝言メモ 88
区点コード入力. 435
クライアントモード. 479
共通設定 484
接続先一覧. 483
接続先設定. 477
接続設定 481
ワイヤレスネットワーク検索 . .483
クライアントモード情報表示. . .484
接続ステータス 484
MACアドレス 484
クライアントモード設定リセット . .484
ぐるなび 285
グループ検索（電話帳）. 97
グループ着信音／画像 101
グループ名編集（電話帳）. 96
クローズ動作照明設定. 119
クローズ動作設定 84

け

携帯電話製造番号 193
圏外 64
検索（電話帳）. 97
ケータイデータお預かりサービス
自動お預かりフォルダ内の画像 . .147
電話帳 145
データ確認・自動更新 146
ｉコンシェル. 147
ケータイデータお預かりサービス . . 144
ケーブル接続（USB）. . 372, 381
ゲーム機. 474

こ

公共モード（電源OFF）. 86
公共モード（ドライブモード). . .86
高速赤外線通信（IrSS[TM]送信）. . 379
項目の複数選択. 54
声の宅配便 77
国際ダイヤルアシスト. 81
国際電話のかけかた 79
国際ローミング. 460
故障かな？と思ったら. 545
故障診断（ｉモード）. 563
個人データの引用入力. 434
個人データの登録・表示. . . . 405
誤動作防止機能. 140
コピー
本体からmicroSDへ. 367
文字 436
microSDから本体へ. 367
microSD内で別のフォルダへ . . 368
個別着信音／画像 101
個別発着信動作選択 141
個別発着信動作選択の解除 . . . 142
コンテンツ移行対応 368
コンテンツパッケージ. 356
保存可能件数. 581
ゴールドポイントカード 294

さ

在圏状態表示 464
サイズ（カメラ）. 232
サイズ変更（ピクチャ編集）. . 338
再生
音声 408
ディスクレコーダ連携 341
伝言メモ・音声メモ. 88
ビデオ 347
再生制限の更新（うた・ホーダイ）. . 270
再生中の操作
ビデオ. 349
ミュージック. 275
メロディ 353
再接続機能 81
再送信（メール）. 179
サイト閲覧履歴. 201
サイトからのｉアプリ起動. . . 297
サイトの電話番号・メールアドレス登録 . . 200
サイト表示
画面メモ 206

サイト／メールから. 213
マイメニュー. 192
ワンタッチマルチウィンドウ . . 205
Bookmark 203
ｉチャネル 222
ｉモード. 192
URL履歴 202
再編集（メール). 179
サウンド効果
ステレオ・3Dサウンド設定 . . 108
3Dサウンド 108
サウンド設定 213
削除
画像 330
楽曲 271
画面メモ 206
きせかえツール. 355
既読メール全削除. 175
キャラ電 350
受信メール全削除. 175
送信メール全削除. 175
着信履歴 77
チャンネルリスト 254
デスクトップアイコン. 125
電話帳（一覧画面） 99
電話帳（詳細画面） 100
動画／ｉモーション 341
ドキュメント. 384
トルカ. 309
ビデオ. 348
フォルダ内全削除 374
マチキャラ 352
ムービー 346
メッセージ 185
メロディ 354
メール（一覧画面） 178
メール（詳細画面） 180
文字 434
予約リスト（視聴・録画） . . 262
リダイヤル／発信履歴. 77
Bookmark 204
Bookmark全削除. 204
ｉアプリ. 283
撮影
オートフォーカス撮影. 236
オートフォーカスロック撮影 . . 236
顔検出オートフォーカス撮影 . . 235
固定焦点撮影. 236
スマイルモード撮影. 243
静止画. 235
接写 236
動画 245
パノラマ撮影. 242
メール作成 238
連続撮影. 239
撮影画像の表示 326
撮影が中断されるとき 229
撮影画面の見かた（カメラ). . .230
撮影間隔／枚数（連続撮影). . .240
撮影時の設定. 246
撮影時の注意. 228
撮影認識ランプの点灯／点滅 . .229
サブアドレス設定 81
サブ時計設定. 65
サブメニューについて 54
サブメニューのアイコン 232
サブメニューの選択方法 232
サーチ（Bluetooth機器） 421

し

時間内不在着信表示. 144
時刻設定 65
自作アニメの作成 333
自作アニメの表示 333
辞書の設定（ダウンロード辞書) . .438
辞書のダウンロード. 210
視聴予約（ワンセグ） 260
視聴予約（Gガイド番組表リモコン）. .288
指定発信制限. 142
辞典・辞書. 415
自動音声メモ. 408
自動起動時刻設定（ｉアプリ） . .295
自動起動設定（ｉアプリ） 295
自動キーロック 139
自動更新（ソフトウェア更新） . .565
自動更新設定（パターンデータ) . .574
自動受信（メール・メッセージ) . .163
自動電源ON／OFF. 396
自動振分け設定（メール). 176
自動保存（静止画）. 233
自動保存（動画） 234
自動PagePilot設定 214
自分撮り撮影. 242
車載ハンズフリー 82
写真 → 画像
修正・編集
画像 338
電話帳 100
動画／ｉモーション 343
保存メール 162
充電確認音. 110
充電中ディスプレイ 117
充電のしかた. 60
受信アドレス一覧 180
受信画質設定（テレビ電話） 89
受信画面の設定 115
受信時動作設定（メール). 181
受信レベル（電波の強さ). 64
受信BOX 171
受話音量調節 85
仕様 576
消去
音声. 409
着信音量 108
伝言メモ・音声メモ. 88
肖像権. 588
省電力モード 118
商標 588
証明書設定 216
証明書発行接続先の変更 218
照明設定. 118
初期化 → リセット
初期設定. 64
署名／冒頭文 183
ショートカット機能 396
ショートカットボタン機能 49
ショートメッセージ → SMS
新着メール
表示. 164
振動（バイブレータ). 108
シンプルメニュー 51
シンプルメニュー一覧. 530
シークレットコード 100
シークレット専用モード 131
シークレット専用モード解除 132
シークレットデータ解除 131
シークレットデータ登録 131
シークレットフォルダ. 133
シークレットフォルダの機能. . .133
シークレットモード 131
シーン（カメラ) 232

す

スイッチ付イヤホンマイク . . .418
数値の入力方法. 52
スキャン機能 573
スクロール機能
ドキュメントビューア 385
ｉモード／フルブラウザ . . .198
PDFデータ 385
スクロール設定. 214
スクロール設定（メール） 182
スケジュール 398
アラーム通知動作. 403
確認. 399
休日の登録. 399
シークレットデータ 131
添付ファイル送信. 160
添付ファイル保存. 168
登録. 398
登録可能件数 581
本体からmicroSDへコピー . .367

microSDから本体へコピー . .367
microSD内データの表示 . . .365
ステレオ・3Dサウンド設定 . . .108
ストリートファイターII体験版 285
ストリーミングタイプのムービー . .220
ストリーミングタイプのｉモーション . .220
スマイルモード 243
スライドアクション設定 396
スライド音 110
スローモーション撮影 246
スーパーサイレント 115
ズーム調節 246

せ

静止画
オートフォーカス撮影 235
オートフォーカスロック撮影 . . .236
固定焦点撮影 236
撮影 235
登録件数 578
表示（本体） 326
表示（microSD） 365
編集 338
本体からmicroSDへコピー . .367
microSDから本体へコピー . .367
静止画の保存について 229
製造番号の送信（ｉモード） . . .193
赤外線からのｉアプリ起動 . . .297
赤外線通信 379
高速赤外線送信（IrSS™送信） . .379
受信 379
赤外線ポートについて 379
送信 379
赤外線リモコン 382
積算リセット（通話時間・料金） . .411
積算料金自動リセット 412
セキュア通信サービス設定 . .217, 218
セキュリティエラー履歴の確認（ｉアプリ） . . .284
セキュリティスキャン → スキャン機能
セキュリティ方式設定 478
接続先一覧 483
コピー 484
接続先設定（ｉモード） 215
接続先設定（Wi-Fi） 477
接続台数 479
接続待ち時間設定 479
設定アシスト機能 119
設定状況確認
個別発着信動作選択 142
設定リセット 147
セルフタイマー 247
セルフモード 144
選択受信（メール） 165
センター設定 188

そ

騒音抑制（ノイズキャンセラ） . . 82
操作画面の切り替え（文字入力分割画面） . . 429
操作制限
オリジナルロック 134
指定発信制限 142
自動キーロック 139
セルフモード 144
ダイヤルロック／おまかせロック . . 130
ICカードロック設定 305
操作の取り消しかた 46, 53
操作履歴リセット 397
送受信できるデータ（データ転送） . . 376
送受信BOX 171
送信アドレス一覧 180
送信プレビュー（SMS） 187
送信元登録（メールアドレス） . . 168
送信BOX 171
送達通知設定 187
挿入モード切替 429
即時更新（ソフトウェア更新） . . 568
ソフト一覧（microSD） 298
ソフトウェア
ドコモケータイdatalink . . . 471
ドコモテレビ電話ソフト 91
SD-Jukebox 273
ソフトウェア更新 564
ソフトキー → ファンクションボタン
ソフトキーデザイン 120
ソフト情報表示設定（ｉアプリ） . . 280
ソラダスお天気予報ウィジェット . 291
ソート機能
画像 330
デコメール®テンプレート . . 159
電話帳 98
動画／ｉモーション 341
トルカ 309
マチキャラ 352
メッセージ 185
メロディ 354
メール 178

た

タイトル一覧
動画 340, 345
ビデオ 348
マチキャラ 352
タイトル編集
画面メモ 206
キャラ電 350
ダウンロード辞書 438
チャンネルリスト 254
デコメアニメ®テンプレート . . 159
デコメール®テンプレート . . 159
デスクトップアイコン 125
ドキュメント 383
バーコードリーダー 249
ビデオ 348
マチキャラ 352
microSD 366
タイトル名一覧（画像） 327
タイマー機能（アラーム） 397
ダイヤルアップ登録待機 423
ダイヤルロック 130
ダウンロード
画像 208
かんたんデコメピクチャ . . . 210
きせかえツール 210
キャラ電 210
コンテンツパッケージ 210
ダウンロード辞書 210
着うたフル® 269
デコメアニメ®テンプレート . . 210
デコメ®ピクチャ 210
デコメール®テンプレート . . 210
トルカ 210
マチキャラ 210
ムービー 221
有料コンテンツ 207
ユーザ証明書 217
ｉアプリ 280
ｉメロディ 210
ｉモーション 221
PDFデータ 209
ダウンロード辞書の設定 438
ダウンロードタイプのムービー . . 220
卓上ホルダ 61
タッチパネル 40
スライド 41
ダイレクト操作アイコン 45
タッチ 40
パレット 45
タッチパネル有効設定 122
タッチボタン 42
タッチメニュー 41
タブ自動起動設定 214
タブ開き方設定（ｉモード） . . 214
単語登録 437
誕生日お知らせあり（アイコン） . . .36
誕生日お知らせ設定 95
誕生日の確認 399
端末暗証番号 128
入力方法 52
変更 129
端末情報利用設定 213, 215
端末初期化 148

ち

チェックマークの付けかた.....55
地図.....313
地図アプリ.....289, 315
知的財産権.....588
着うたフル®
再生.....270
取得.....269
保存.....269
本体／microSD間の移動..368
着信アンサー設定.....84
着信イルミネーション.....120
着信イルミネーション（設定）.....120
着信イルミネーションの優先順位..121
着信音
音量調節.....107
次第に大きく（ステップ）..108
消去.....108
内蔵データ.....106
鳴動時間（メール・メッセージ）..110
優先順位.....107
着信音選択.....106
着信画像の設定.....106
着信画像の優先順位.....107
着信許可（個別発着信動作選択）..142
着信拒否（個別発着信動作選択）..142
着信拒否設定.....143
着信中の表示.....83
着信履歴.....75
チャプター一覧.....268
チャンネル設定（ワンセグ）..253
チャンネルリストの登録.....253
直デン.....102
著作権.....588

つ

追加サービス（ネットワークサービス）...457
追加取得
きせかえツール.....355
着うたフル®.....270
iモーション.....340
PDFデータ.....209
通信チャネル設定.....479
通信モード（ネットワーク）....66
設定.....66
通信モード（USBモード）...372
通話時間・料金の確認.....411
通話中音声メモ.....407
通話中機能選択.....449
通話中着信設定.....449
通話中の着信動作選択.....449
通話中保留.....85, 494
通話品質アラーム.....110
通話料金通知.....412
通話料金の上限設定.....412
使いかたガイド.....57
ツータッチダイヤル.....103

て

定型文登録.....436
定型文入力.....435
ディスクレコーダ連携機能....341
ディスプレイ
照明設定.....118
配色・背景.....119
フォント設定.....123
プライバシーアングル.....117
見かた.....27
ディスプレイとボタンの照明設定..118
デコメアニメ®
作成・送信.....157
作成・保存（デコメアニメ®テンプレート）.158
デコメ絵文字®・デコメ®ピクチャ
入力.....153
よみがな登録.....153
デコメ®ピクチャのダウンロード..210
デコメール®
作成.....155
作成（かんたん）.....157
作成（デコメール®テンプレート）.158
デコメール®テンプレート
ダウンロード.....210
保存可能件数.....581
保存件数確認.....159
デスクトップ.....124
デスクトップアイコンの貼り付け..124
デスクトップ初期化.....125
デスクトップ変更.....124
手ブレ補正.....233
デュアルネットワーク.....448
デュアルモード（2in1）.....452
テレビ視聴.....254
テレビ電話
受けかた.....82
音声自動再発信.....90
外部機器での操作.....91
かからなかった場合.....73
かけかた.....70
画像選択.....90
画面の見かた.....72
キャラ電設定.....72
キャラ電の利用.....89
伝言メモの再生・消去.....88
ハンズフリー切替.....90
iモード中の応答方法設定...90
テレビ電話／音声電話切替（着信側）...84
テレビ電話／音声電話切替（発信側）...73
テレビ電話切替機能通知.....90
テレビ電話着信音
音量調節.....107
選択.....106
テレビ電話発着信中の画面設定..115
テレビリモコン.....382
テレビリンク.....259
テロップ色設定.....223
テロップ速度.....223
テロップ表示.....222
テロップ表示設定.....223
電源の入れかた／切りかた....63
電源を入れたときの画面設定..115
電源OFF時ICロック設定....306
伝言メモの再生・消去.....88
伝言メモの設定.....87
電子辞書.....415
電子マネー「nanaco」.....292
転送（メール）.....167
転送でんわ.....446
転送でんわ（個別発着信動作選択）...142
転送でんわ（有料）.....466
電卓.....413
電池
充電のしかた.....60
使用可能時間.....61
電池切れ表示.....63
電池残量確認.....63
電池残量（ecoモード自動起動設定）.....119
電池の節約（省電力モード）..118
電池パックの寿命.....60
電池パックの付け外し.....59
電波の強さ（受信レベル）.....64
添付ファイル
選択受信取得.....168
送信.....160
保存.....168
添付ファイル自動再生設定（メール）...181
添付ファイル優先受信設定...181
電話着信音
音量調節.....107
選択.....106
優先順位.....107
電話帳.....93
一覧画面（タブ表示）.....97
グループ着信音／画像.....101
グループ名編集.....96
検索.....97
個別着信音／画像.....101
サイトから登録.....200
削除（一覧画面）.....99
削除（詳細画面）.....100
指定着信許可.....142
指定着信拒否.....142

指定転送でんわ 142
指定発信制限 142
指定留守番電話 142
修正・編集 100
シークレットコード 100
シークレットデータ 131
添付ファイル送信 160
添付ファイル保存 168
登録（ほかの画面から） 96
登録（本体、ドコモUIMカード） . .94
登録外着信拒否 143
登録可能件数 581
登録件数確認 101
登録内容 94
本体からmicroSDへコピー . .367
本体とドコモUIMカードの違い . .94
メール作成 154
microSDから本体へコピー . .367
microSD内データの表示 . . .365
電話帳画像着信設定 117
電話帳画像転送 382
電話帳からの宛先入力 152
電話帳データの引用入力 434
電話の受けかた 82
電話の受けかた（海外） 462
電話の受けかた（スイッチ付イヤホンマイク） . . .418
電話のかけかた 70
海外利用 461
国際電話 79
サイト／メールから 213
スイッチ付イヤホンマイク . .418
ダイヤル入力 70
着信履歴 75
直デン 102
ツータッチダイヤル 103
電話帳 97
リダイヤル／発信履歴 75
Wi-Fi音声電話 492
電話発着信中の画面設定 115
電話番号
確認（自分） 66
検索（電話帳） 97
入力の修正 70
電話番号通知 66
データ通信 468
データ転送（OBEX™通信） . . .468
データ放送 258
データ放送からのｉアプリ起動 . .297
データリンクソフト → ドコモケータイdatalink
データBOX
フォルダ構成 324
フォルダ作成・削除・編集 . . .373
テーマの変更 120

と

問い合せ中の画面設定 115
動画（カメラ）
アップロード 212
移動 341
切り出し（編集） 344
再生（本体） 340
再生（microSD） 365
再生ソフト（パソコン） 544
削除 341
撮影 245
撮影時間 579
タイトル、ファイル名について . .329
添付ファイル送信 160
添付ファイル保存 168
フォルダ作成・削除・編集 . .373
プレイリスト再生 342
編集 343
保存可能件数 581
本体からmicroSDへコピー . .367
本体／microSD間の移動 . . .368
microSDから本体へコピー . .367
動画自動再生設定 222
動画の保存について 229
登録外着信拒否 143
登録可能件数（各種データ） . . .581
登録商標 588
ドキュメントビューア 384
スクロール 385
操作 385
ドキュメント一覧の見かた . .384
表示 384
文字列の検索 385
時計設定 65
時計表示の設定（待受画面） . . . 123
ドコモケータイdatalink 471
ドコモ コネクションマネージャ . .471
ドコモ証明書 197
ドコモテレビ電話ソフト 91
ドコモへのお問合せ 449
ドコモ料金案内 293
ドコモUIMカード
暗証番号 128
差し替え時の設定 59
製造番号 193
セキュリティ機能（動作制限機能） . . 58
付け外し 58
電話帳登録 94
電話帳の管理 375
SMSの管理 375
ドコモwebメール 286
ドメイン名 492
ドライブモード → 公共モード
取り扱い上のご注意 15
トリミング（ピクチャ編集） . . 338
トルカ 306
取得 307
設定 310
ダウンロード 210
添付ファイル送信 160
添付ファイル保存 168
表示 307
表示（microSD） 365
表示画面の見かた 308
保存可能件数 581
本体からmicroSDへコピー . . . 367
microSDから本体へコピー . . 367
トルカからのｉアプリ起動 . . . 297
トルカビューア 307

な

内線特番 493
内蔵データ
拡大メニュー（きせかえツール） . . 126
着信音・メロディ・アラーム音 . . 106
ｉアプリ 285
PDFデータ 382
ナビ 313
名前検索（電話帳） 97
並び替え → ソート機能、フィルタ機能

に

日英版しゃべって翻訳 287
入力方式切替 429
認証パスワード（データ転送） . . 379

ね

ネットワーク暗証番号 128
ネットワーク（3G／GSM）切替 . . . 463
ネットワーク再検索（海外） . . 463
ネットワークサーチ設定（海外） . . . 463
ネットワークサービス 443
英語ガイダンス 448
遠隔操作（海外） 466
遠隔操作設定 450
キャッチホン 445
追加サービス 457
通話中機能選択 449
デュアルネットワーク 448
電源OFF･圏外時着信お知らせサービス 445
転送でんわ 446
転送でんわ（海外） 466
ドコモへのお問合せ 449
番号通知お願い（海外） 466
番号通知お願いサービス . . . 448
マルチナンバー 450
迷惑電話ストップ 447

留守番電話（海外）. 466
留守番電話サービス. 444
ローミングガイダンス（海外）. . 466
OFFICEED 456
2in1 452

の

ノイズキャンセラ 82

は

ハイパークリアボイス 81
バイブレータ（振動） 108
バイブレータ動作の優先順位 . . 109
パケット通信 468
パケット通信中着信設定. 90
パスワード変更（ｉモード）. . 193
パソコン接続 467
パターンデータ更新 573
バックアップ 369
バックアップデータ削除 . . . 370
復元 370
バックグラウンド再生 277
発信者番号通知
基本設定 66
通話ごとの設定. 78
186付加／184付加発信. . . .78
発信制限（個別発着信動作選択）. . 142
発信モード選択 72, 493
発信履歴. 75
発着信番号表示設定 117
パノラマ撮影 242
貼り付け（文字）. 436
番組一覧
Music&Videoチャネル . . . 269
番組設定（Music&Videoチャネル）. . . 266
番組の再生（Music&Videoチャネル）. . . 268
番組の取得 267
番号通知お願い（有料）. 466
番号通知お願いサービス. 448
ハンズフリー（通話中切替） 74
ハンズフリー切替（テレビ電話）. . .90
バーコードリーダー 248, 299
バーコードリーダーからのｉアプリ起動 . . 297
バージョンアップ（ｉアプリ）. . . 298
バージョン表示（パターンデータ）. . 575
パーソナルアルバム
アルバム振分け 337
アルバム振分け解除. 337

ひ

比吸収率（SAR） 583
ピクチャ一覧での画像表示 52
ピクチャ表示設定. 327
ピクチャ編集 338
ビックポイント機能付きケータイ .294
日付設定 65
ビデオ
再生 347
削除 348
ビデオプレーヤー 347
画面の見かた 348
操作 349
ビューティー. 240
表示アイコン設定 125
表示画質モード設定. 121
標準タイプのｉモーション . . .220

ふ

ファイル制限. 329
ファイル添付メール. 160
ファイル名一覧
動画 345
ファミスタワイヤレスFM版 . .285
ファンクション表示. 33
ファンクションボタンの使いかた . . 33
フィルタ機能
トルカ 309
メッセージ. 185
フェムトセル. 425
フォト 235
フォト文字クリエイター 286
フォトレタッチ（ピクチャ編集）. . .338
フォルダ移動 → 移動（フォルダ間）
フォルダ作成・削除・編集
データBOX 374
メール 175
Bookmark. 203
microSD 374
フォルダロック 141
フォント
管理 355
保存可能件数 581
フォント設定. 123
フォントの変換 152
フォーマット（microSD）. . . .371
複数選択（項目） 54
不在お知らせ（着信イルミネーション）. . .121
不在着信
確認 87
件数確認. 75
履歴 75
付属品 1
ブックマーク → Bookmark
プッシュ信号送信 78
プライバシーアングル 117
フリガナ検索（電話帳）. 97
フリーワード検索 177
フルブラウザ. 191
画像や動画のアップロード. . 212
画面の見かた. 195
サイト閲覧履歴 201
自動PagePilot設定 214
ショートカット 214
スクロールする 198
設定する 213
ダブルクリック機能. 199
ドラッグモード 198
表示方法を切り替える 195
表示モード設定 214
フルブラウザホーム設定 . . . 214
フレーム 200
ページの表示. 194
ボタン操作. 195
Bookmark表示設定. 214
Cookie 215
Flashの再生 211
ｉモードから切り替える . . . 194
Referer. 216
SSL／TLS 197
フルブラウザ確認表示. 214
フルブラウザホーム設定 214
プレイリスト 277
プレビュー表示. 340, 345
プレフィックス. 79
フレーム. 200
フレーム合成（ピクチャ編集）. . 339
フレーム撮影 238
プロファイル 480
プロフィール
引用入力 434
自局番号確認. 66
添付ファイル送信. 160
登録. 406
表示. 406

へ

変換モード設定（T9）. 440
編集時自動保存設定 182
編集・修正
画像. 338
電話帳 100
動画／ｉモーション 343
保存メール. 162
返信（メール）. 166
ベーシックチャネル（ｉチャネル）. . . 222
ページ内データ取得設定 213
ページの切り替え方法. 51
ページ表示
インターネットホームページ . . 197, 202
画面メモ 206
サイト閲覧履歴 201
サイト／メールから 213

マイメニュー 192
ワンタッチマルチウィンドウ . . .205
Bookmark 203
ｉチャネル 222
ｉモードサイト. 192
URL履歴 202

ほ

ボイスレコーダー. 409
ポインタ移動距離設定 214
ポインタ加速度設定. 214
ポインタ表示設定. 214
防水／防塵性能 18
放送トルカ取得設定. 310
放送用保存領域 252
冒頭文／署名設定. 183
保護
画面メモ. 206
メッセージ 185
メール 178, 179
Bluetooth機器 423
保護可能件数（各種データ）. . .581
保証とアフターサービス. 561
歩数計 390
歩数計の設定. 392
保存可能件数（各種データ）. . .581
保存件数確認
画面メモ. 206
デコメアニメ®テンプレート . . .159
デコメール®テンプレート . .159
メッセージ 185
メール 175
保存先（カメラ）（静止画）. . . .233
保存先（カメラ）（動画）. 234
保存容量確認
画像一覧. 330
楽曲一覧. 271
きせかえツール一覧 355
キャラ電一覧 350
コンテンツパッケージ一覧 . .357
静止画撮影 233
動画一覧. 341
動画撮影. 234
ドキュメント一覧 384
ビデオ一覧 348
マチキャラ一覧. 352
ムービー一覧 346
メロディ一覧 354
保存BOX. 162
ボタン確認音 109
ボタンカスタマイズ設定. 396
ボタン操作
ショートカットボタン機能 . . . 49
長押し操作 26
ファンクションボタンの使いかた. . 33
ボタンの名称と機能 24
ボタンの照明設定 118
ボタンの文字割り当て 531
保留（着信中、通話中）. 85
保留音設定 85
ホワイトバランス 231, 233
本書の見かた／引きかた 2
本体へコピー
画像など 368
電話帳など（PIMデータ）. . .367
本文入力設定. 187
本文表示設定（メール）. 182
ポーズダイヤル 78
ホームページ. 202

ま

マイドキュメント 382
マイピクチャ
表示. 326
フォルダ作成・削除・編集 . .373
マイメニュー. 193
マクドナルド トクするアプリ . .290
待受画面
画面設定 116
戻りかた 53
優先順位 117
待受時計表示. 123
待受ｉアプリ 297
マチキャラ
おしゃべり設定 122
設定. 122
ダウンロード 210
表示. 351
保存可能件数 581
マチキャラおしゃべり設定 . . . 122
マチキャラ設定 122
マナーモード. 111
マナーモード選択 115
マルチアクセス 393
マルチアクセスの組み合わせ . . .542
マルチタスク. 394
マルチナンバー 450
マーカースタンプ（ピクチャ編集）. . .339

み

水抜き. 20
ミュージックの保存可能件数 . . .581
ミュージックプレーヤー 274
音楽データの再生. 274
再生. 270
再生画面の見かた. 275
再生中の操作 275
プレイリスト 277
みんなＮらんど. 193

む

無音時間設定 144
ムービー
移動 345
再生画面の操作 347
再生画面の見かた 346
再生中の操作. 347
削除 346
ダウンロード. 221
動画自動再生設定 222
保存（サイト）. 221
ムービー（カメラ）. 245

め

迷惑電話ストップ. 447
迷惑電話防止機能の優先順位. . . 149
迷惑メール報告. 167
メイン時計設定. 65
メインメニューの切り替え 50
メインメニューの並び替え . . . 397
メインメニューの表示方法 47
メインメニューの変更. 120
メッセージ
削除 185
自動受信. 163
表示（既読・未読メッセージ）. . 184
保護／保護解除 185
保存可能件数. 581
保存件数確認. 185
メール／メッセージ問合せ設定 183
メッセージ一覧表示設定. 182
メッセージ自動表示設定. 182
メッセージ着信音
音量調節 107
選択 106
鳴動時間 110
メッセージの基礎知識
アイコン説明. 184
受信したときは 183
メディアスビューア 333
メニューアイコンの変更. 120
メニュー一覧 504
メニュー画面設定 120
メニュー操作履歴リセット . . . 397
メニューの選択方法 47
メモ 413
メモイルミネーション 121
メモ検索ボタン表示設定. 181
メモの再生・消去（音声／動画）. . .88
メモリ番号検索（電話帳）. 97
メモリリフレッシュ 575
メモリーカード → microSD

メロディ
移動 353
再生（本体） 352
再生（microSD） 365
再生中の操作. 353
削除 354
タイトル、ファイル名について. . 353
ダウンロード. 210
添付ファイル送信 160
添付ファイル保存 168
内蔵データ 106
フォルダ作成・削除・編集 . . 373
プログラム再生. 354
保存（サイト）. 210
保存可能件数. 581
本体からmicroSDへコピー. . . 367
microSDから本体へコピー. . 367
メロディコール 109
メロディ連動（バイブレータ）. . 108
メールアドレス
確認（自分） 66
検索（電話帳）. 97
自動取得 407
登録（宛先・送信元）. 168
メール一覧表示設定 182
メールからのｉアプリ起動. . . 297
メール着信音
音量調節 107
選択 106
鳴動時間 110
優先順位 107
メールの各種設定
自動振分け設定. 176
送受信中の画面設定. 115
メール一覧表示設定. 182
メール設定 181
メール設定確認. 182
メール設定リセット. 182
メール選択受信設定. 181
メール／メッセージ問合せ設定 183
メール／メッセージ鳴動 . . . 110
メール読み上げ設定. 182
BOXロック／フォルダロック . . 141
メールの管理
移動（フォルダ間） . . .178, 179
検索 178
削除 178
添付ファイル削除 180
添付ファイル保存 168
表示（未読メール） 164
表示（メールBOX）. 171
ブログ・メールメンバー登録 . . 162
保護／保護解除. 179
保存可能件数. 581
保存件数確認 175
本体からmicroSDへコピー . . .367
microSDから本体へコピー . .367
microSD内データの表示. . .365
メールの基礎知識
一覧画面の表示行数切替. . . .172
一覧画面の表示名切替 172
一覧画面の見かた. 173
作成・送信. 152
受信したときは. 163
詳細画面の見かた. 174
新着メールの表示. 164
フォルダ一覧画面の見かた . . .172
本文の文字サイズ変更 172
メール 152
メール表示（メールBOX） . .171
メールメニューの表示 152
メール読み上げ. 169
メールの作成
宛先削除. 154
宛先タイプ変更. 154
一時保存. 161
音声入力. 440
添付ファイル送信. 160
ブログ・メールメンバーからの宛先入力. . .152
メールの送受信
再送信 179
再編集 179
自動受信. 163
選択受信. 165
送信（サイト／メールから） . .213
転送 167
表示（新着メール） 164
返信 166
保存メール送信. 162
メール返信引用設定. 167
メール／メッセージ問合せ. . . .166
メール／メッセージ問合せ設定 .183
メール連動型ｉアプリ 280

も

文字
絵文字記号連続入力 433
改行入力. 433
切り取り. 436
区点コード入力. 435
コピー 436
削除 434
定型文 435
データ引用. 434
入力方式切替 433
貼り付け. 436
フォント・太さ・サイズの設定. 123
変換 431
変換範囲の変更 431
文字サイズ
電話帳（拡大／標準）. 98
入力サイズ切替 429
フォント設定. 123
文字サイズ設定 213
文字サイズ設定（メール）. . . 182
文字サイズ設定（ｉチャネル） . . 223
文字スタンプ（ピクチャ編集）. . 339
文字入力. 427
音声入力 440
学習履歴クリア 438
かな方式 429
ダウンロード辞書の設定 . . .438
T9入力方式. 439
2タッチ方式 438
文字入力（編集）画面. 428
文字割り当て 531
モバイルAMCアプリ 293
モバイルGoogleマップ 287
モバイルSuica登録用ｉアプリ . . 289
モード別待受画面設定. 455

ゆ

有効期間設定 187
優先順位 → 機能の優先順位
優先ネットワーク設定（海外）. . 464
有料コンテンツのダウンロード . . 207
輸出管理規制 586
ユーザ証明書 197
ユーザ設定（ワンセグ）. 262

よ

用語集（Wi-Fi関連） . . . 475, 480
予測機能（学習辞書）の設定. . 429
呼出音（相手）の変更. 109
呼出時間表示設定 144
読み上げルール. 170
読み編集（T9）. 439
予約更新（ソフトウェア更新）. . 570

ら

ライフヒストリービューア . . . 394
楽オク☆アプリ. 290

り

リセット
一括情報リセット（マチキャラ） . . 352
オリジナルメニュー初期化. . 120
学習履歴クリア 438
クライアントモード設定リセット 484
積算リセット. 411
積算料金自動リセット 412
設定リセット. 147

全データリセット（歩数計）. .392
端末初期化 148
デスクトップ初期化 125
プロフィール初期化 406
メニュー操作履歴リセット . .397
メール設定リセット 182
ｉチャネル初期化. 223
ｉモード設定リセット 215
リダイヤル. 75
リッジレーサーズモバイル体験版 286
リトライ 196
リモコン機能 382
リモート録画予約（Gガイド番組表リモコン）. . .288
料金の上限設定 412
履歴参照（ライフヒストリービューア）. . .394

る

留守番電話（個別発着信動作選択）. . .142
留守番電話（有料）. 466
留守番電話サービス 444
ルナルナ★女性の医学 291

れ

連続撮影 239
連続通話時間 61
連続待受時間 61

ろ

録音
音声 408
音声メモ. 407
録画予約（ワンセグ）. 260
ロック機能
オリジナルロック 134
誤動作防止機能. 140
個別発着信動作選択 141
自動キーロック. 139
シークレット専用モード. 131
シークレットフォルダ. 133
セルフモード 144
ダイヤルロック／おまかせロック . .130
着信拒否設定 143
登録外着信拒否. 143
呼出時間表示設定. 144
BOXロック／フォルダロック . .141
ICカード認証設定. 140
ICカードロック設定 305
ロックバー設定 140
ロックマン 体験版 285
ローミングガイダンス 465
ローミングガイダンス（有料）. .466
ローミング時着信規制 465
ローミング着信通知（有料）. . .465

わ

ワンセグ 252
アラーム通知動作. 403
視聴. 254
視聴（サイト／メールから）. .213
視聴画面の見かた. 255
視聴時間（電池）. 61
視聴・録画の予約. 260
視聴・録画の予約（サイト／メールから）. .213
チャンネル設定 253
チャンネルリスト. 253
テレビリンク 259
データ放送. 258
ユーザ設定. 262
録画. 259
録画の再生. 347
Gガイド番組表リモコン. . . .258
ワンタッチマルチウィンドウ . . .204

英字

Aナンバー／アドレス（2in1）. . .452
Aモード（2in1）. 452
ACアダプタ 62
APモード設定リセット 479
ATコマンド 471
AV Phone To機能. 213
Bナンバー／アドレス（2in1）. . .452
Bモード（2in1）. 452
BGM再生. 277
Bluetooth 419
機能の停止. 423
接続. 421
接続待機 423
設定. 424
対応サービス 419
通信. 381
通話. 423
動画音声や音楽の再生 424
登録. 421
取り扱い上のご注意. 420
パソコンとの接続. 423
利用の流れ. 421
ワンセグ音声の再生. 424
Bluetooth通信. 381
受信. 381
送信. 381
Bookmark 203
添付ファイル送信. 160
添付ファイル保存. 168
登録可能件数 581
本体からmicroSDへコピー. .367
microSDから本体へコピー . .367
microSD内データの表示. . .365
Bookmark登録. 203
BOXロック 141
CA証明書. 197
CLR（CLR）ボタンについて . . .53
DCアダプタ 62
DCMXクレジットアプリ 289
DLNA 497
DPOF設定. 373
DTMF送信. 73
DUALモード 66
E★エブリスタアプリ 286
ecoモード 118
ecoモード自動起動設定. 119
設定アシスト機能 119
電池残量 119
Enjoy Exercise. 390
Enjoy Exerciseの設定. 392
FeliCa 304
おサイフケータイ 304
トルカ取得 307
ICカード認証機能 140
ｉC通信 380
FirstPassの設定. 216
Flash. 211
再生 212
Flash画像. 211
Flash®Video 211
FOMA音声電話
受ける. 82
かける. 70
FOMAシングルモード 67
FOMA端末の暗証番号 128
FOMA端末へコピー
画像など 368
電話帳など（PIMデータ）. . 367
FOMA通信環境確認アプリ 293
Gガイド番組表リモコン. . 258, 288
GPRSネットワーク 460
GPS機能. 312
位置提供 315
位置履歴 319
オートGPS機能 320
オートGPS設定 321
現在地確認 314
現在地確認設定. 314
現在地通知 318
対応ｉアプリ 315
地図 313
地図アプリ 315
ナビ 313
GSMネットワーク. 460
ｉアバターメーカー 294
ｉアプリ 280
音量調節 284
起動（サイト・メールなど）. . 297

削除 283
自動起動時刻設定 295
自動起動設定. 295
セキュリティエラー履歴の確認. . 284
ダウンロード. 280
登録ソフト 285
バージョンアップ 298
保存可能件数. 581
ｉアプリ音優先設定 284
ｉアプリ音量設定. 284
ｉアプリコール 295
機能設定 296
履歴 296
ｉアプリ使用データ 299
ｉアプリの基礎知識
起動と終了 281
メール連動型ｉアプリ 280
ｉアプリ 280
ｉアプリバンキング 289
ｉアプリ待受画面
解除 298
終了情報確認. 298
設定 297
ｉアプリTo設定 297
ｉウィジェット 299
起動 300
設定 301
ダウンロード. 301
ｉエリア 313
ｉコンシェル 223
インフォメーションの受信 . . 225
インフォメーション表示設定 . . 225
お預かりセンターの利用 . . . 147
設定 225
表示 224
ポップアップメッセージ . . . 225
ｉチャネル. 222
初期化. 223
設定 223
ｉチャネル一覧（ｉチャネル）. . 222
ｉメロディのダウンロード . . . 210
ｉモーション 220
アップロード. 212
移動 341
切り出し（ｉモーション編集）. 344
コピー（本体／microSDカード間）366
再生（本体）. 340
再生（microSD）. 365
再生画面の操作 343
再生画面の見かた 342
再生ソフト（パソコン）. . . . 544
削除 341
ダウンロード. 221
添付ファイル送信 160
添付ファイル保存 168
動画自動再生設定 222
フォルダ作成・削除・編集 . . .373
プレイリスト再生 342
保存（サイト）. 221
保存可能件数 581
本体からmicroSDへコピー . . .367
本体／microSD間の移動. . .368
ｉモーション編集. 343
microSDから本体へコピー . .367
ｉモーション情報の確認 222
ｉモード故障診断 563
ｉモード接続先 215
ｉモード設定. 213
ｉモード設定確認 215
ｉモード設定リセット 215
ｉモードの基礎知識
開始と終了 192
画像表示について 198
サイトで使う操作 199
スクロール機能. 198
ページの戻りかた／進みかた. . .199
ｉモード 192
ｉMenu画面の表示 192
SSL／TLSページの表示 . . .197
ｉモードパスワード. 128
ｉモードパスワード変更 193
ｉモードメニュー 192
ｉモードメール 152
ｉBodymo 292
ｉCお引っこしサービス. 304
ICオーナー確認 305
ICオーナー変更 305
ICカードからのｉアプリ起動. . .297
ICカード通知設定 306
ICカード認証設定 140
ICカードロック設定. 305
ｉCタグリーダー. 287
ｉC通信 380
受信 380
送信 380
iD 設定アプリ 288
ｉMenu・検索 192
IrSS™送信（高速赤外線通信）. . .379
ISP接続通信 215
ｉWウォッチ. 291
JANコード 248, 299
MACフィルタ設定. 478
Mail To機能 213
Media To機能 213
microSD
コピーできるデータ 366
付け外し. 359
データの表示 365
取り扱い上のご注意 359
バックアップ 369
フォルダ構成 360
フォルダ作成・削除・編集 . . 373
フォーマット 371
復元. 370
保存件数 360
microSDカード → microSD
microSDデータ参照. 365
microSDへコピー 367
microSDモード 372
microSDリーダー／ライター . . 372
MTPモード 372
MUSICアプリ 286
Music&Videoチャネル 266
保存可能件数. 581
OBEX™通信. 381, 468
OFFICEED. 456
PDFデータ. 382
ダウンロード. 209
添付ファイル送信. 160
添付ファイル保存. 168
保存可能件数. 581
PDFデータ画面の見かた. 384
Phone To機能. 213
PINコード（PIN1／PIN2）. . 128
PINロック解除. 129
PINロック解除コード 129
QRコード. 248, 299
RUN. 392
SAR（比吸収率） 583
Script動作設定 213
SD-Audioデータの登録 273
SD-Jukebox 273
Select language 123
SIPアドレス. 492
SMS
作成・送信. 186
受信. 188
送信プレビュー 187
本体からmicroSDへコピー. . 367
microSDから本体へコピー. . 367
SMS設定. 182
SMS送達通知表示 187
SMS問合せ 187
SSL／TLS証明書の操作 216
SSL／TLSページの表示 197
Start! ｉウィジェット 291
T9入力方式
文字入力 439
文字割り当て. 533
読み編集 439
T9変換モード設定（漢字・かな）. . 440
UIM → ドコモUIMカード

UIM（FOMA）カード設定....129
UIM（FOMA）カード操作....375
URL入力................202
URL履歴................202
USBケーブル接続.....372, 381
USBモード...............372
WALK..................391
Web To機能..............213
WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKキー...490
Wi-Fi...............474, 586
Wi-Fi音声電話............492
　受ける................495
　かける................492
Wi-Fiキャッチホン設定......495
Wi-Fiシングルモード.........67
Wi-Fi番号通知設定..........496
WMAデータ..............272
WORLD CALL.............79
WORLD WING............460
WPS...................482
YES／NOの選択............52

数字

1Seg → ワンセグ
186付加／184付加.........78
2タッチ方式
　文字入力................438
　文字割り当て............532
2in1...................452
3Dサウンド..............108
3Gネットワーク...........460
3G／GSM切替............463
64Kデータ通信............468

サブメニュー

アラーム
　一覧画面................398
　詳細画面................398
アートフォトモード
　撮影確認画面............237
位置履歴
　一覧画面................320
　詳細画面................320
オリジナルメニュー画面......120
画面メモ
　一覧画面................206
　詳細画面................206
きせかえツール
　一覧画面................355
　設定一覧画面............126
キャラ電
　一覧画面................350
　キャラ電画面............350
　撮影画面................351
個別発着信動作選択画面.....143
コンテンツパッケージ
　一覧画面................357
　利用画面................357
サイト
　閲覧履歴画面............201
　クイック検索タブ切替画面..202
　iモードブラウザ画面.....195
　URL入力履歴画面.........203
自作アニメ
　一覧画面................333
　再生画面................333
自分撮り撮影
　確認画面................237
スケジュール
　一覧画面................400
　スケジュール画面.........400
　スケジュール・休日の詳細画面..400
スマイルモード
　撮影確認画面............237
静止画
　確認画面................237
設定サービス一覧画面.......322
ソフト一覧（microSD）画面..299
ダウンロード辞書画面.......438
単語登録画面..............438
地図・GPS機能
　現在地通知先登録画面.....318
　設定サービス一覧画面.....322
　microSD通知先一覧画面...319
　microSD通知先詳細画面...319
　microSD通知先フォルダ画面...319
着信履歴画面...............76
直デン画面................103
使いかたガイド画面..........57
定型文
　一覧画面................437
　フォルダ一覧画面.........437
デコメアニメ®
　新規デコメアニメ画面.....154
　テンプレート一覧画面.....159
　テンプレートプレビュー画面.159
　編集メニュー画面.........158
デコメ絵文字／デコメピクチャ読み登録画面..................333
デコメール®
　テンプレート一覧画面.....159
　テンプレートプレビュー画面..159
デスクトップ
　アイコン画面............124
　アイコンセット画面.......124
　デスクトップアイコン設定画面...124
電子辞書
　検索開始画面............417
　検索結果画面（一覧）......417
　検索結果画面（詳細）......417
　検索履歴画面............417
　目次候補画面............417
電話帳
　一覧画面.................98
　グループ設定画面..........96
　詳細画面.................99
電話／テレビ電話
　着信中画面................83
　テレビ電話着信中画面.......83
　テレビ電話中画面...........72
　番号入力画面..............72
　FOMA音声通話中画面.......72
データBOX
　フォルダ一覧画面.........374
動画一覧画面..............341
動画／ムービー
　再生履歴一覧画面.........346
　しおり一覧画面...........346
　動画撮影確認画面.........246
　ムービー一覧画面.........345
　ムービー再生画面.........347
ドキュメント
　一覧画面................383
　ドキュメント画面.........386
トルカ
　一覧画面................309
　表示画面................309
　フォルダ一覧画面.........308
ネットワークサービス
　応答メッセージ設定画面...457
　追加サービス画面.........457
　マルチナンバー電話番号設定画面...451
発信履歴画面...............76
パノラマ
　撮影確認画面............237
バーコードリーダー
　読み取りデータ一覧画面...249
　読み取りデータ詳細画面...249
ビデオ
　一覧画面................348
　再生画面................349
ビューティー
　撮影確認画面............237
　ビューティーモードメイン画面..241
　メイクアップ顔選択画面...242
　メイクアップ画面.........242
　メイクアップ詳細画面.....242
フォント一覧画面..........356
フルブラウザ画面..........195
ブログ・メールメンバー
　一覧画面................163
　詳細画面................163

プロフィール画面 406
ボイスレコーダー
ボイスレコーダー画面 409
ボイスレコーダー再生画面 . 410
ボイスレコーダーファイル一覧画面 410
マイピクチャ
画像一覧画面. 329
マイピクチャ画面 329
マチキャラ一覧画面 352
マナー起動（解除）時間設定
一覧画面 112
詳細画面 112
ミュージックプレーヤー
音楽データ一覧画面. 276
楽曲一覧画面. 271
再生画面 276
プレイリスト一覧画面 278
プレイリスト楽曲一覧画面 . . 278
メッセージ
一覧画面 185
詳細画面 185
メディアスビューア
サムネイル画面 334
サムネイルテーマ画面 337
詳細画面 335
メモ
一覧画面 414
詳細画面 414
メロディ
一覧画面 353
メロディ画面. 353
メール
アドレス画面（一覧・詳細）. . 181
一覧画面 178
受信BOXフォルダ一覧画面. 175
詳細画面 179
新規メール画面 154
新規SMS画面 187
送受信BOXフォルダ一覧画面 . . 177
送信BOXフォルダ一覧画面. 175
編集メニュー画面 158
保存メール一覧画面. 162
本文入力画面. 155
未読メール一覧画面. 179
文字入力（編集）画面 434
優先ネットワーク設定画面 . . . 465
ライフヒストリー
ビューア拡大画面 395
ビューア画面. 395
リダイヤル画面 76
連続撮影
確認画面 240
詳細表示確認画面 237
ワンセグ
視聴画面. 256
視聴予約リスト一覧画面 262
チャンネル情報画面 254
チャンネルリスト選択画面 . . .254
テレビリンク一覧画面 259
録画予約リスト一覧画面 262
ワンタッチマルチウィンドウ
グループ一覧画面. 205
データ一覧画面. 205
Bluetooth登録機器リスト画面 . .422
Bookmark
一覧画面. 204
フォルダ一覧画面. 203
Enjoy Exercise画面. 392
ｉアプリ
ソフト一覧画面. 282
ソフト一覧（microSD）画面 . . .299
ｉアプリ使用データ一覧画面 . .299
ICカード一覧画面. 282
ｉスケジュール
一覧画面. 402
詳細画面. 402
ｉスケジュール内予定
一覧画面. 400
詳細画面. 400
ｉチャネル
ｉチャネル一覧画面 223
ｉモーション
再生画面. 343
動画一覧画面 341
ICカード認証設定画面 140
microSD
データ一覧画面. 366
データ詳細画面. 366
ファイル一覧画面. 366
フォルダ一覧画面. 374
microSD画面 365
microSDデータ参照画面 . . .365
Music&Videoチャネル
チャプター一覧画面 268
番組一覧画面 267
Music&Videoチャネル画面. . .267
PDF
データ一覧画面. 383
データ画面 386
RUN画面 392
WALK画面 392
Wi-Fi
コンテンツ一覧画面 499
接続先一覧画面. 484
電話番号入力画面. 493
Wi-Fi音声通話中画面 493
Wi-Fi音声通話保留中画面. 495

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから i Menu ⇒お客様サポート⇒お申込・お手続き⇒各種お申込・お手続き **パケット通信料無料**

パソコンから My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒各種お申込・お手続き

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【公共モード（ドライブモード／電源OFF）】→P.86
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
【伝言メモ機能】→P.87
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。
【バイブレータ設定】→P.108
電話がかかってきたことを、振動でお知らせます。
【マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナーモード】→P.111、115
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード・スーパーサイレント）。マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナーモード）。
※ただし、シャッター音は消せません。
そのほかにも、留守番電話サービス（P.444）、転送でんわサービス（P.446）などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/　　iモードサイト　iMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて 〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-05Cから、ご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について 〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-05Cから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社

Li-ion00

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

再生紙を使用しています

'11.6（1.2版）
MDT-000156-JAA1